

321-64



•1200600659156•

321

64



始



321
64

明治四十五年三月編纂

移民調查報告

第九

伊國移民問題
北米合衆國及布哇
英領哥倫比亞州
伯刺西爾國
秘露國

外務省通商局

移民調査報告

第九

外務省 寄贈本

總目次

- 一、伊國移民問題
- 一、北米合衆國「インペリアルヴァレー」ノ開發ト棉花栽培ノ現況
- 一、北米合衆國「アイダホ」州日本人事情報告
- 一、北米合衆國「モンタナ」州視察復命書
- 一、北米南部華盛頓州哥倫比亞河流域視察報告
- 一、馬哇島視察報告書
- 一、英領哥倫比亞州北部沿岸地方事情並ニ在留日本人ノ狀態
- 一、伯國「サンパウロ」州巡回報告書
- 一、秘露國「タンボバタ」護謨林視察復命書
- 一、秘露國「マドレ、デ、デイオス」河附近ニ於ケル狀況一斑

明治 45. 3. 5 寄贈

(Sagebrush) 木灌ルセ生叢ニ域地燥乾ノ東以脈山、ド一ケスヤキ¹米北



華盛頓州ニ於テ農業ヲ創メント欲スルニ當リテハ其多クハ「セーザブ
ラシ」類條タル原野ヲ開墾シ之ニ水利ヲ通シ障垣ヲ作リ種子ヲ播キ
或ハ樹苗ヲ植付ケ以テ收穫ノ途ヲ講セザルニカラズ(哥倫比亞河流域
觀察報告中農業開始ニ關スル實際的方面ノ一般狀況參照)

部一ノ「シヨシーペーザレンアチンイ、マキヤ」
(地據根ルタ主ノ者業農年青邦本)

園葡萄ルケ於ニ郡「マキヤ」州華米北



部一ノ岸沿灣、ドンウサトツゼーユビ

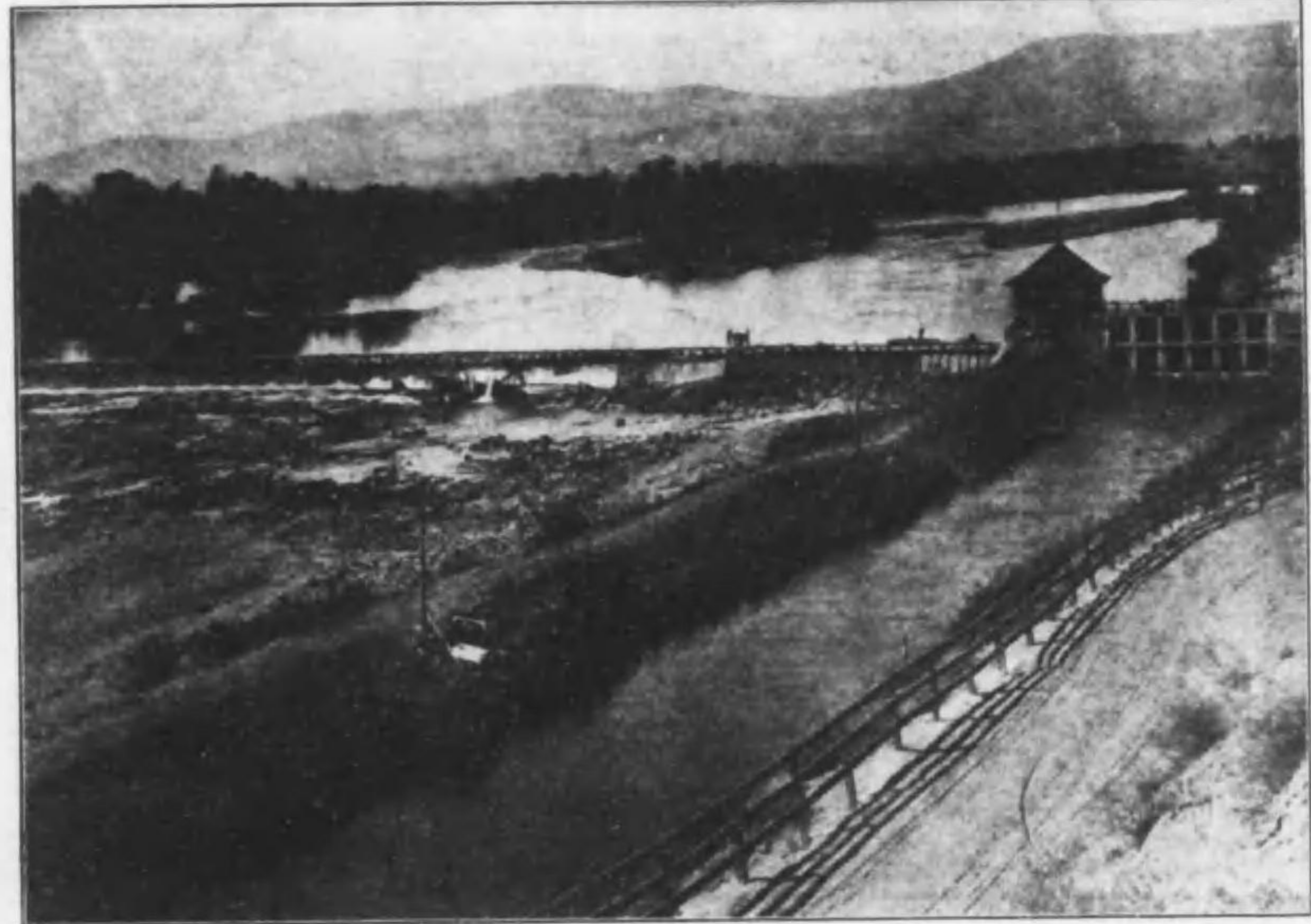
我船ニ於テ、
最良ナルノ材
リトスルノミ
史参照)



物産農藝園ノ方地、ドンベクツビ州華



河運部幹ノ事工漑灌、ドイサニンサト河、マキヤ州華



瀑、一ミルコノスルケ於ニ中脈山、ドーケスヤキ

其間ヲ繞ヒテ東西ニ急走スル幾多溪流ノ激湍タル水勢モ亦是レ華州産
業ノ發達ヲ促進セシムル所以ノ要素ナリ。(哥倫比亞河流域視察報告
中華盛頓州地理大要参照)



（千五萬三力馬） 觀壯ノ「スルーホトーレグ」州「ナタンモ」



（北米「モンタナ」州視察復命書参照）

景光ノ穫收「アフルアフルア」ルケ於ニ州「ナタンモ」米北



（同上参照）

穫收ノ園檜林ノ近附「マキヤスー」州華



畑麥小ノ地漑灌ルケ於ニ郡「ントラ」州「ナタンモ」米北



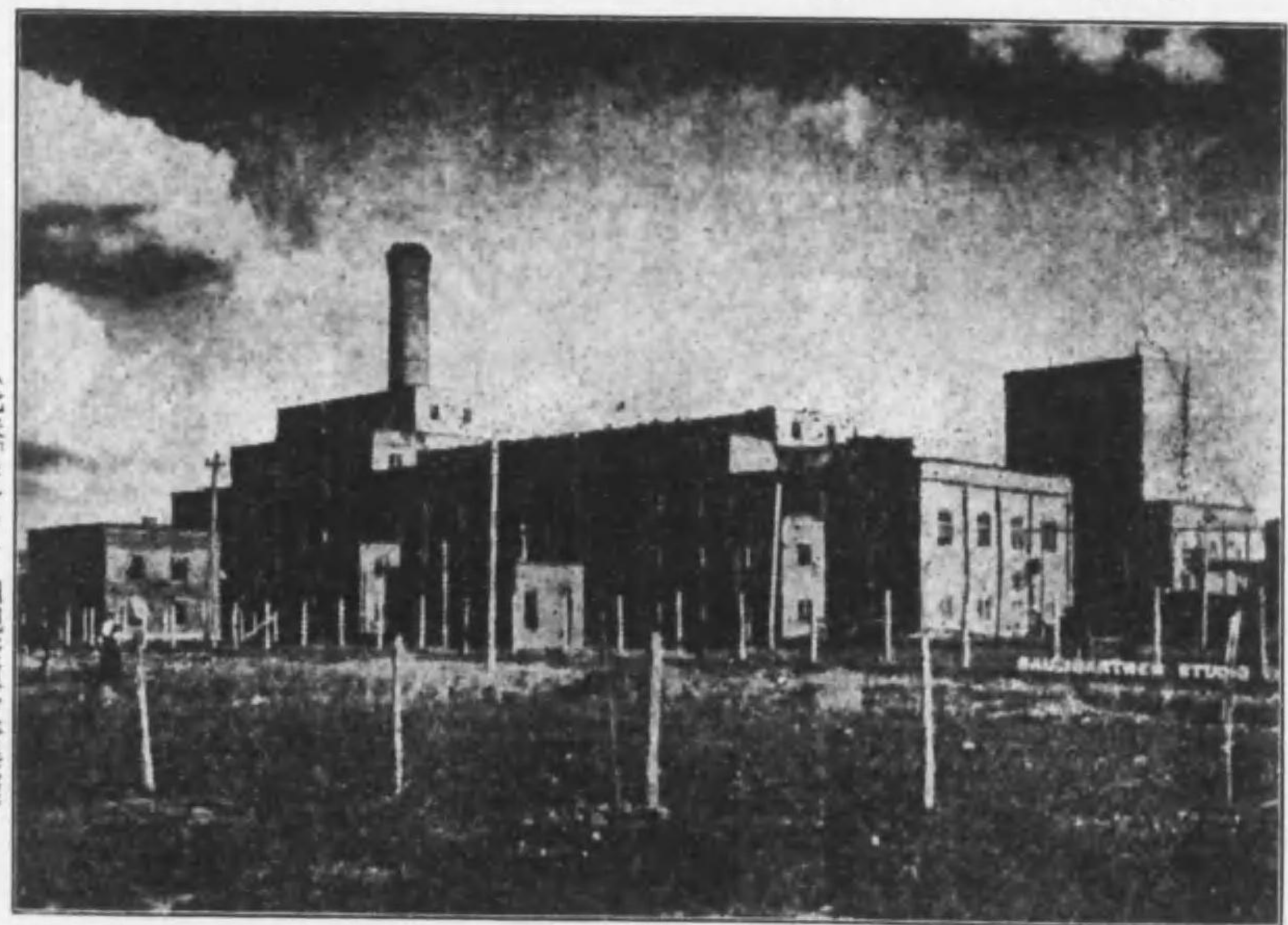
（北米「モンタナ」州視察復命書参照）

(二其) 景ノ心中街首市、ロトンセルエ⁷州加米北



(インペリアルヴァレー「棉花ニ關スル報告記事参照」)

社會糖製ノ市、ズグンリビ⁷州、ナタンモ⁷米北



(北米「モンタナ」州視察復命書参照)

場工棉繰ノ市、ロトンセルエ⁷、ーレアヴ、ルアリピンイ⁷



(同上参照)

(一其) 景ノ心中街首市、ロトンセルエ⁷州加米北



(インペリアルヴァレー「棉花ニ關スル報告記事参照」)

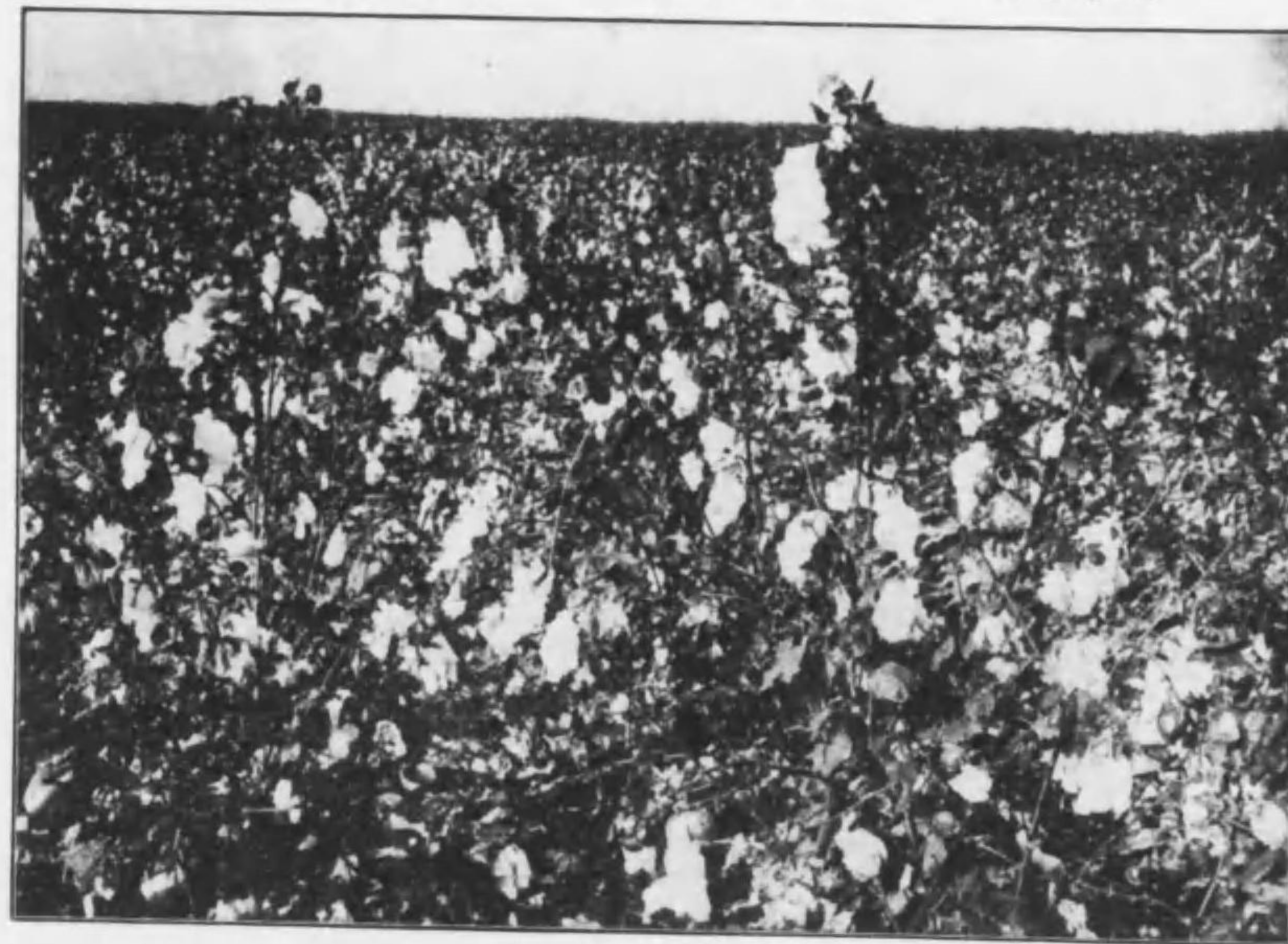
(三其) 花棉ノ、一レアヅ、ルアリピンイ⁷州加米北



(四其) 上 同



(一其) 花棉ノ、一レアヅ、ルアリピンイ⁷州加米北



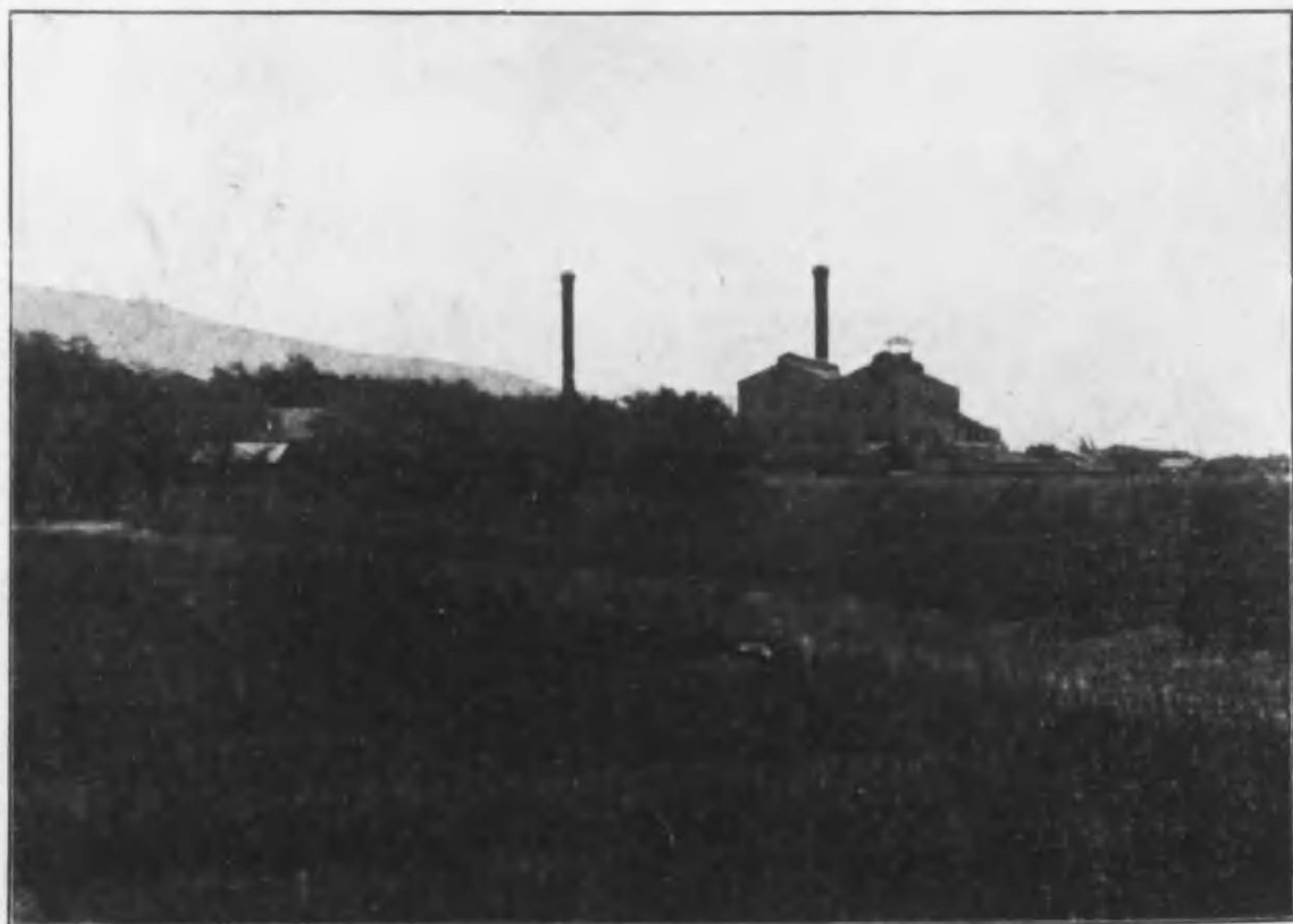
(二其) 上 同



シエコ、シアナブヂエ⁷ノ産所、一レアヴ、ルアリピンイ⁷



所造製糖砂⁷ネネウ⁷ア⁷島哇馬哇布



(以下所掲寫真十葉ハ馬哇島視察報告記事参照)

蔗甘ノ、一レアヴ、ルアリピンイ⁷州加米北



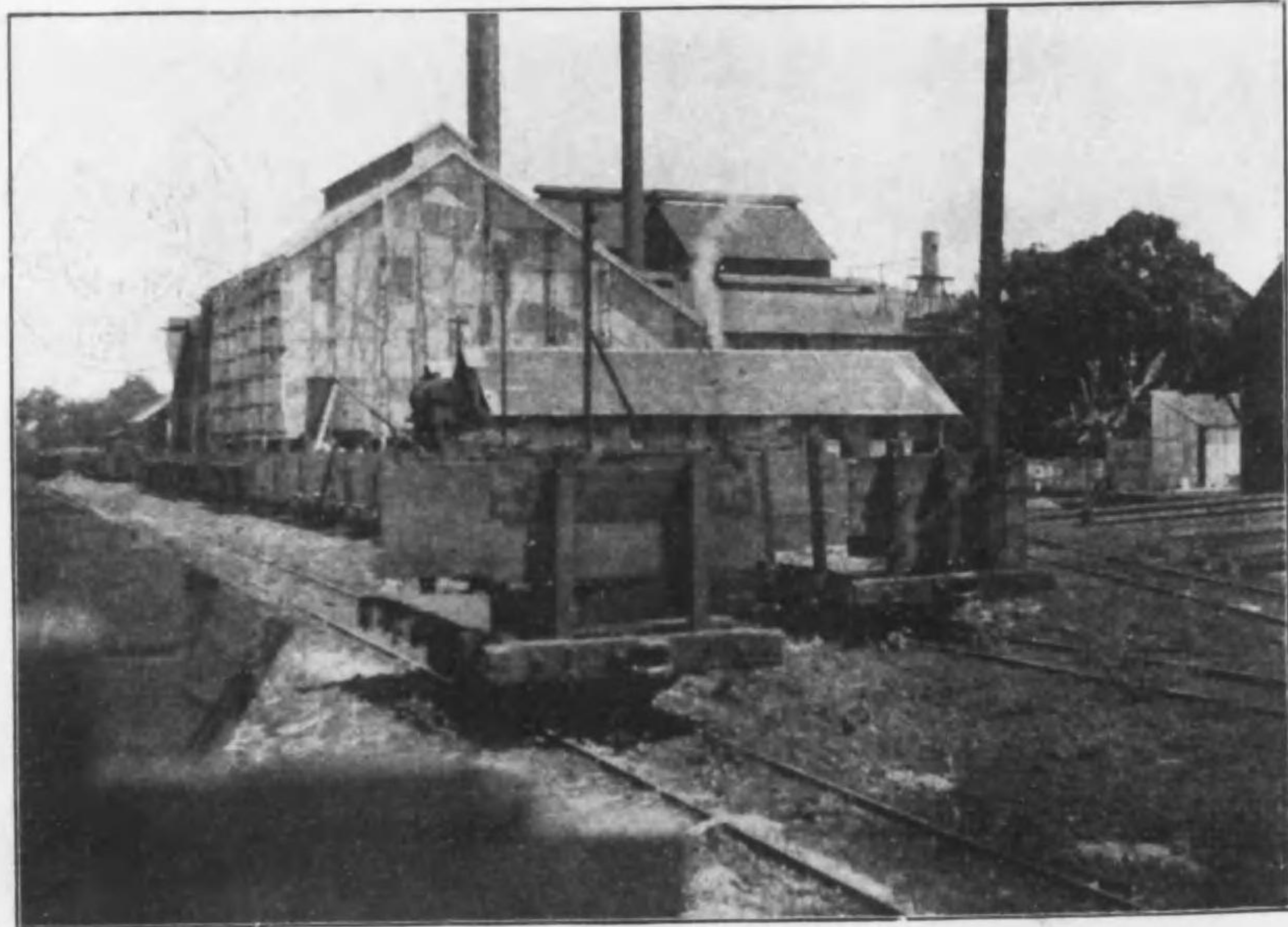
線幹ノ路水汽灌、一レアヴ、ルアリピンイ



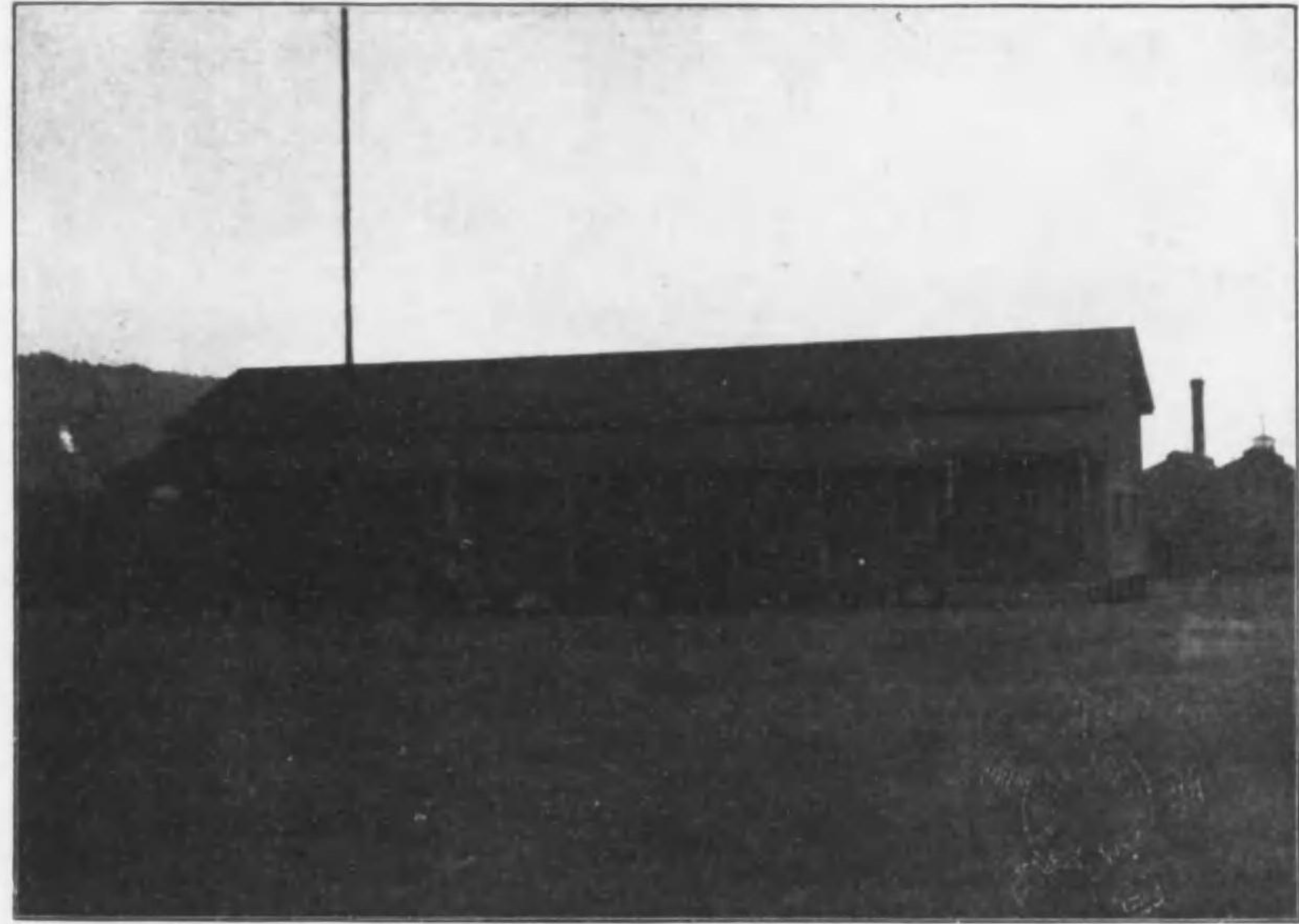
馬哇島「ラク」玉蜀黍耕地及日本人居家



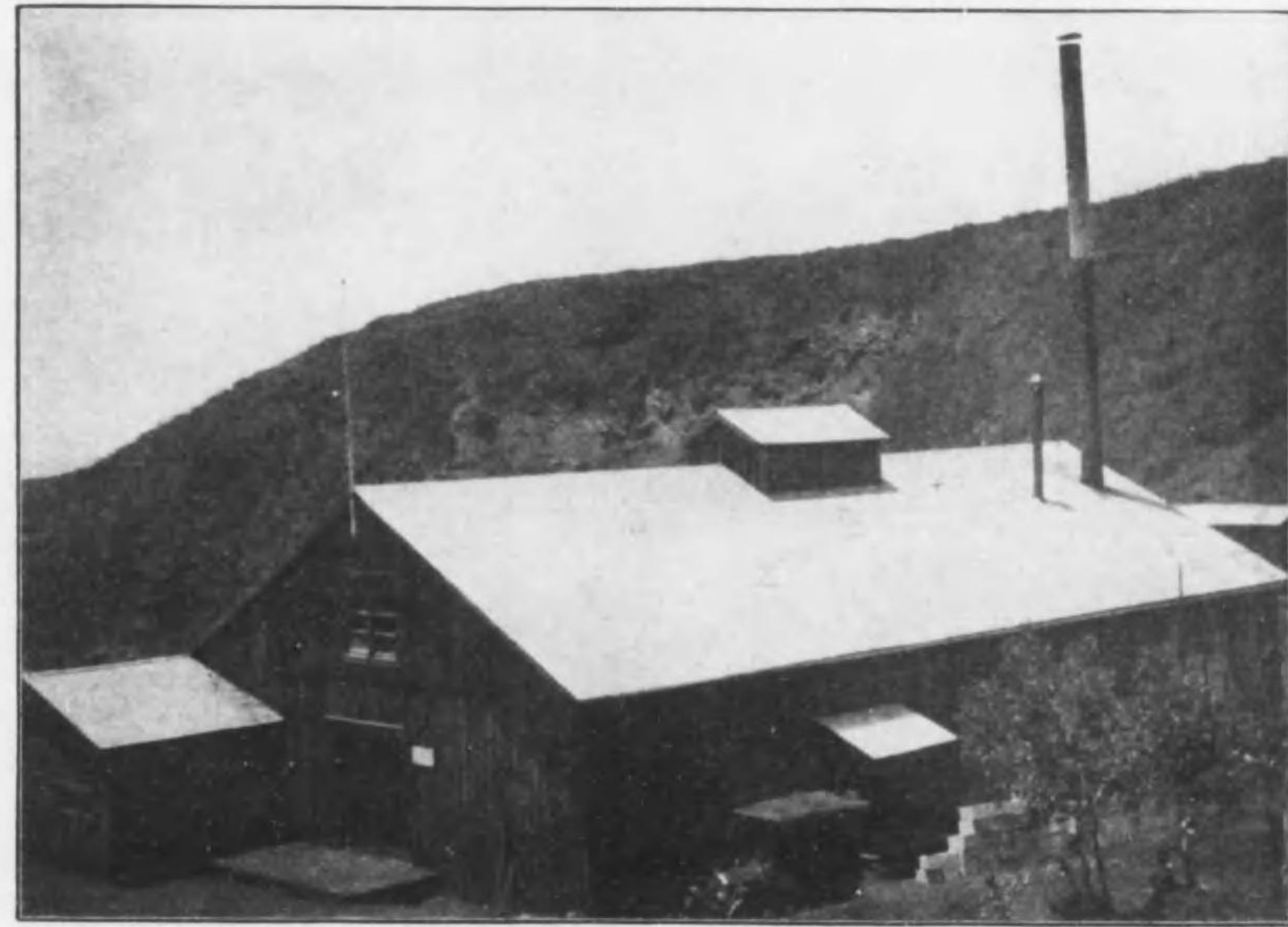
同島「ハライ」砂糖製造所



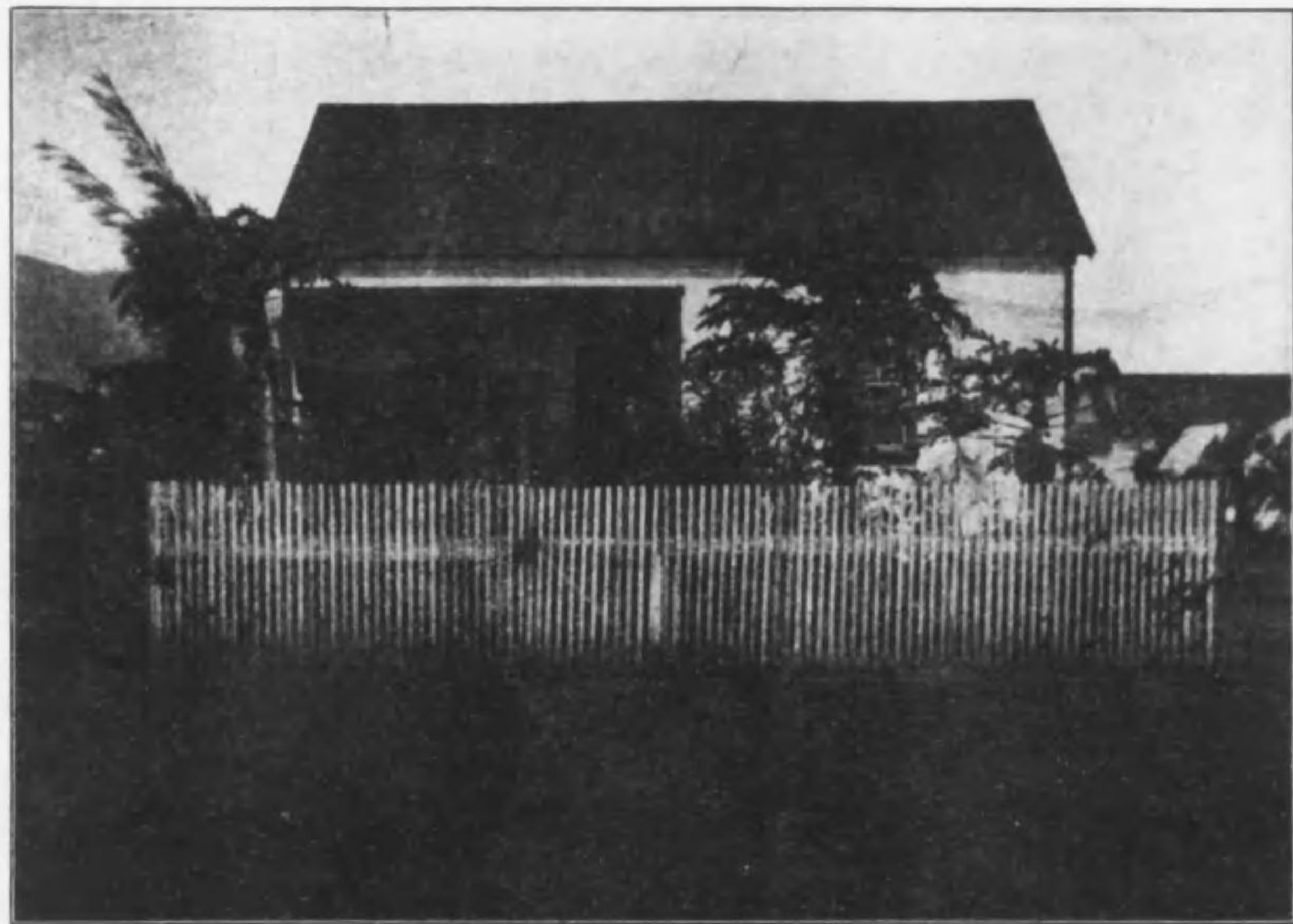
馬哇島「アップネ」砂糖製造所附屬日本小學校
(右端ノ建物製所ナリ)



同島「ハイク」日本經理鳳梨罐詰所



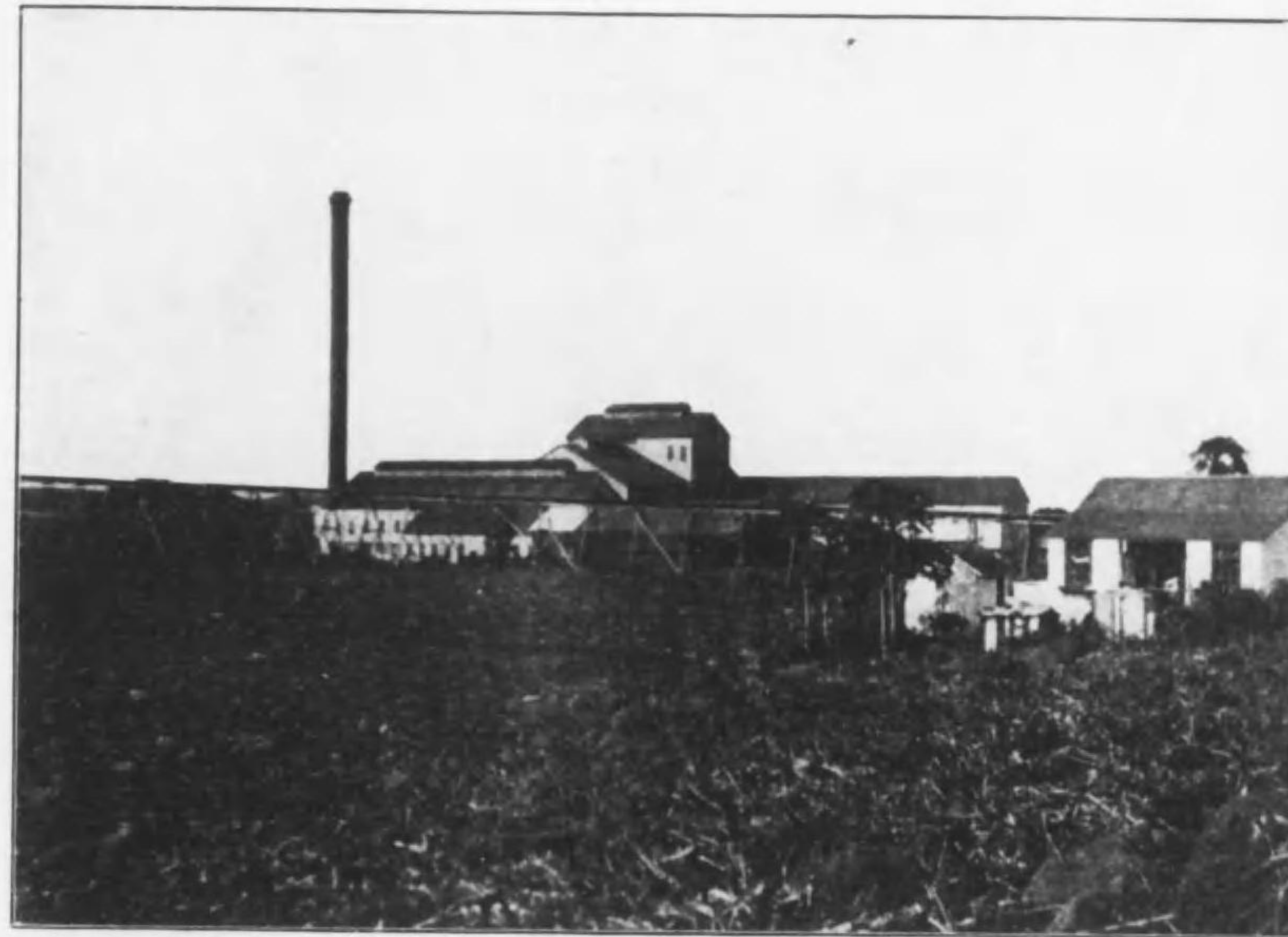
(一其) 屋家者働勞式兩舊新
(式新レネネウヅ在)



(二其) (式舊クルイワヅ在)



所造製糖砂クルイワヅ島哇馬



部一ノ地培栽謨護クヒナ島同



部一ノ場筒唧上水、ネネウブ

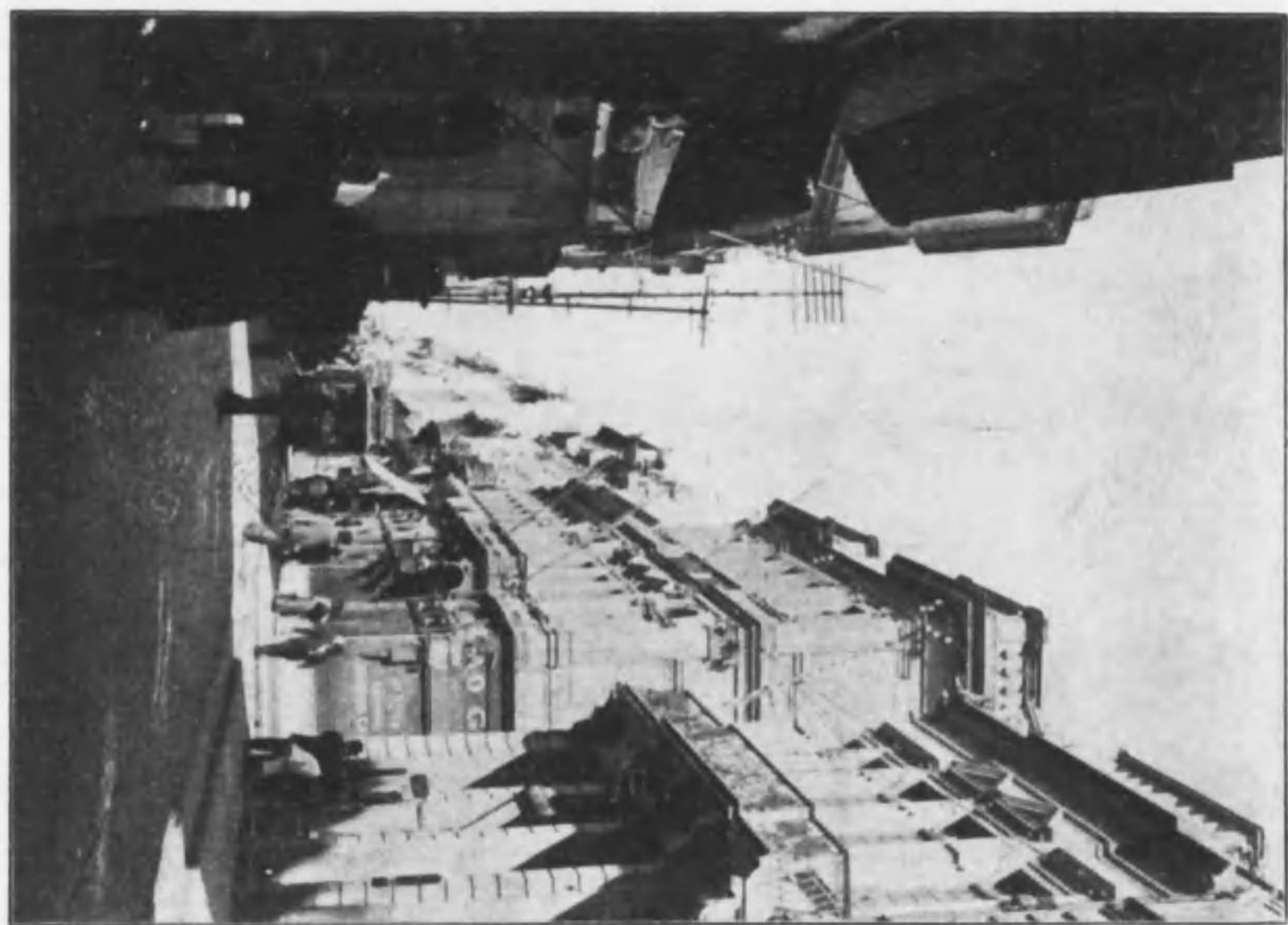


前宅官領統大州、ロウバンサ



(以下伯國サンパウロ州巡回報告書参照)

(二其) 上 同



(一其) 街「トレンソカ」市「ロウバンサ」



場劇立市、ロウバンサ



(宅官領統大ハ内棚鐵) 省務工商農内市同



ム望ヲ街市北西リヨ橋堀空市、ロウバンサ



ム望ヲ場劇立市リヨ、ルテホ、デンラグ、市、ロウバンサ



(一其) 地源水_ライ_レタン_カ⁷_ロウ_バン_サ⁷

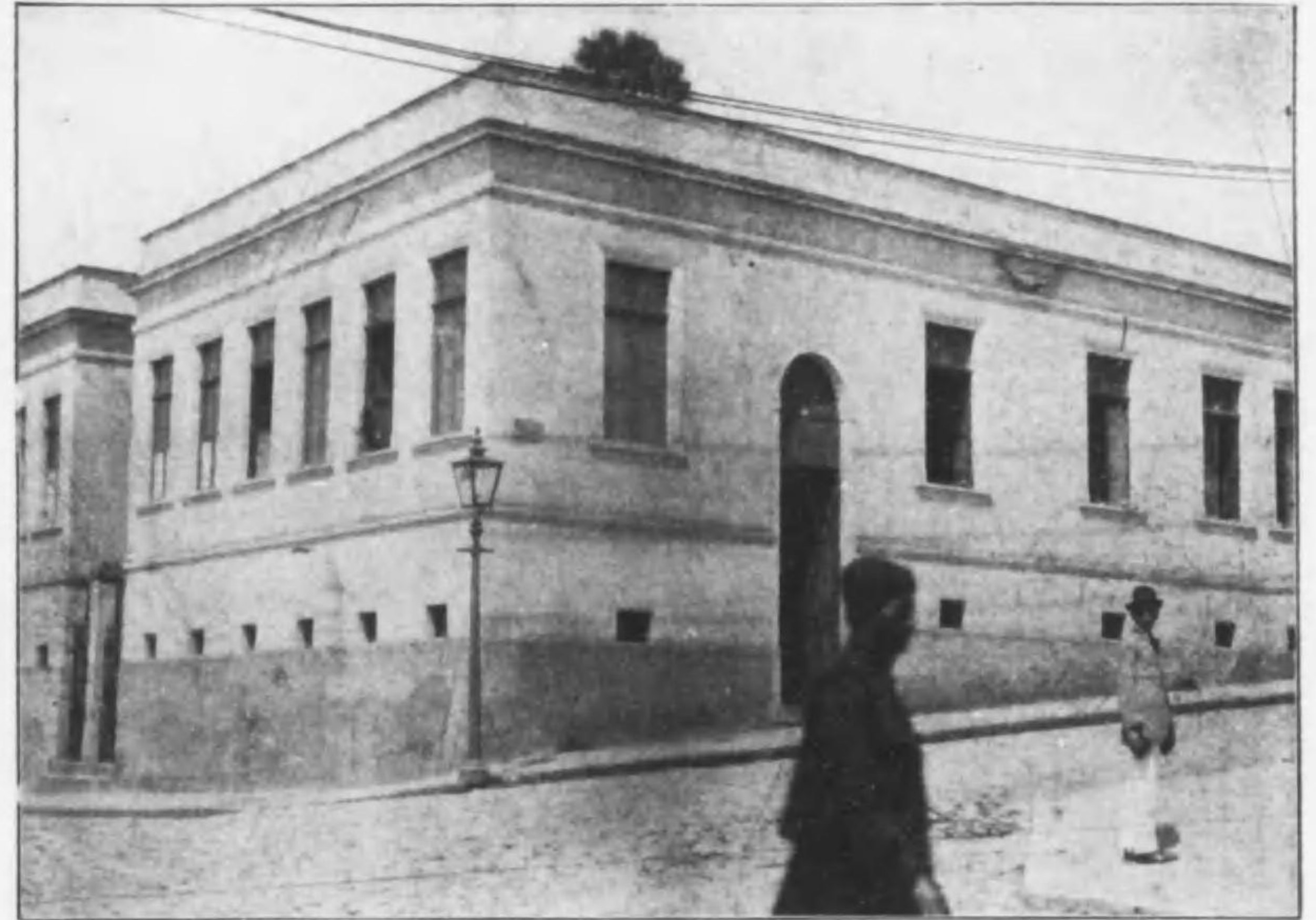


(二其) 上

同



(一其) 所宿合人本日_ロウ_バン_サ⁷



(二其) 上

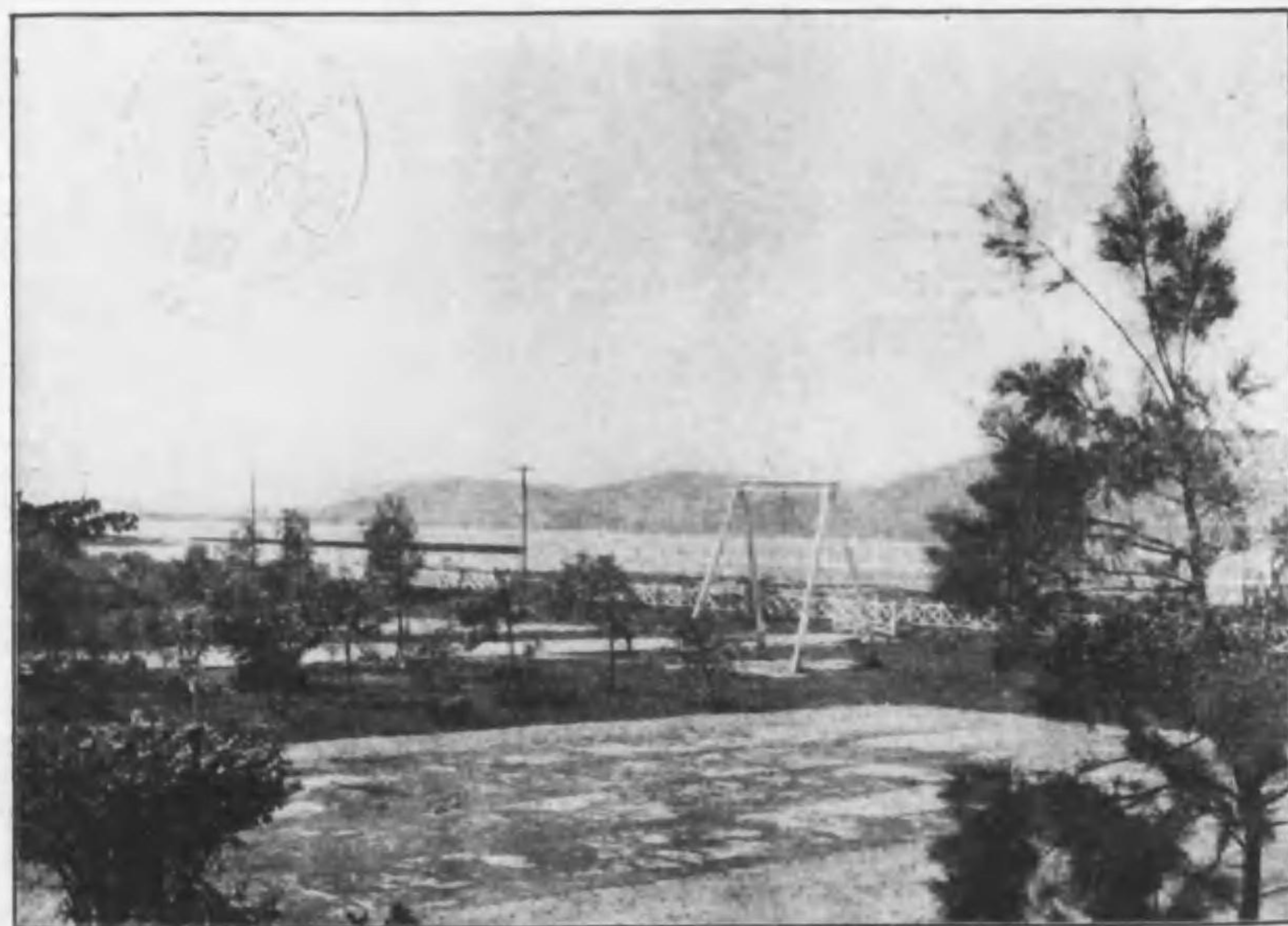
同



所查檢民移港「ストーンサ」國伯



(一其) 園庭「ルテホ」岸海港同



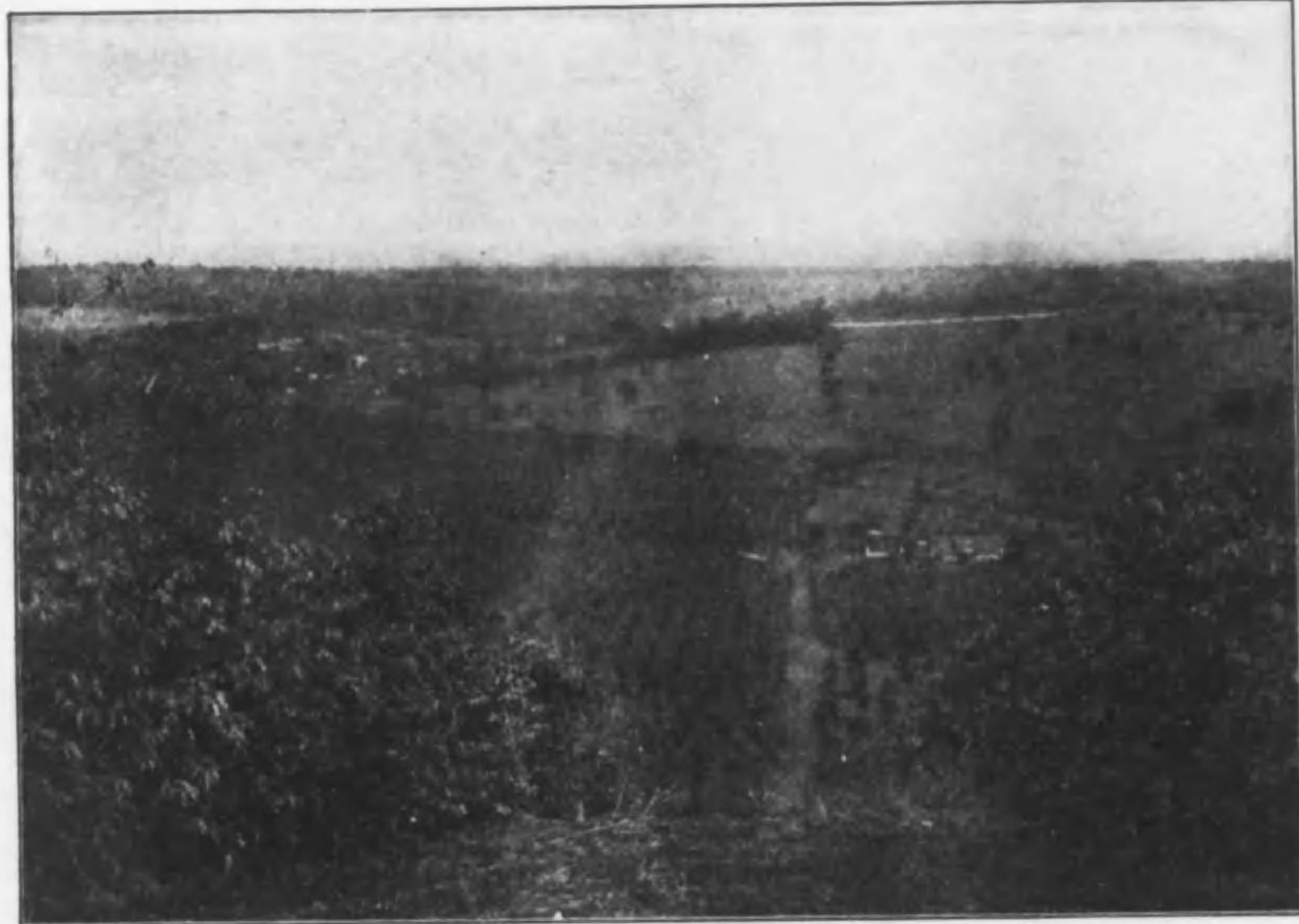
園公地源水「ライレタンカ」市「ロウバンサ」



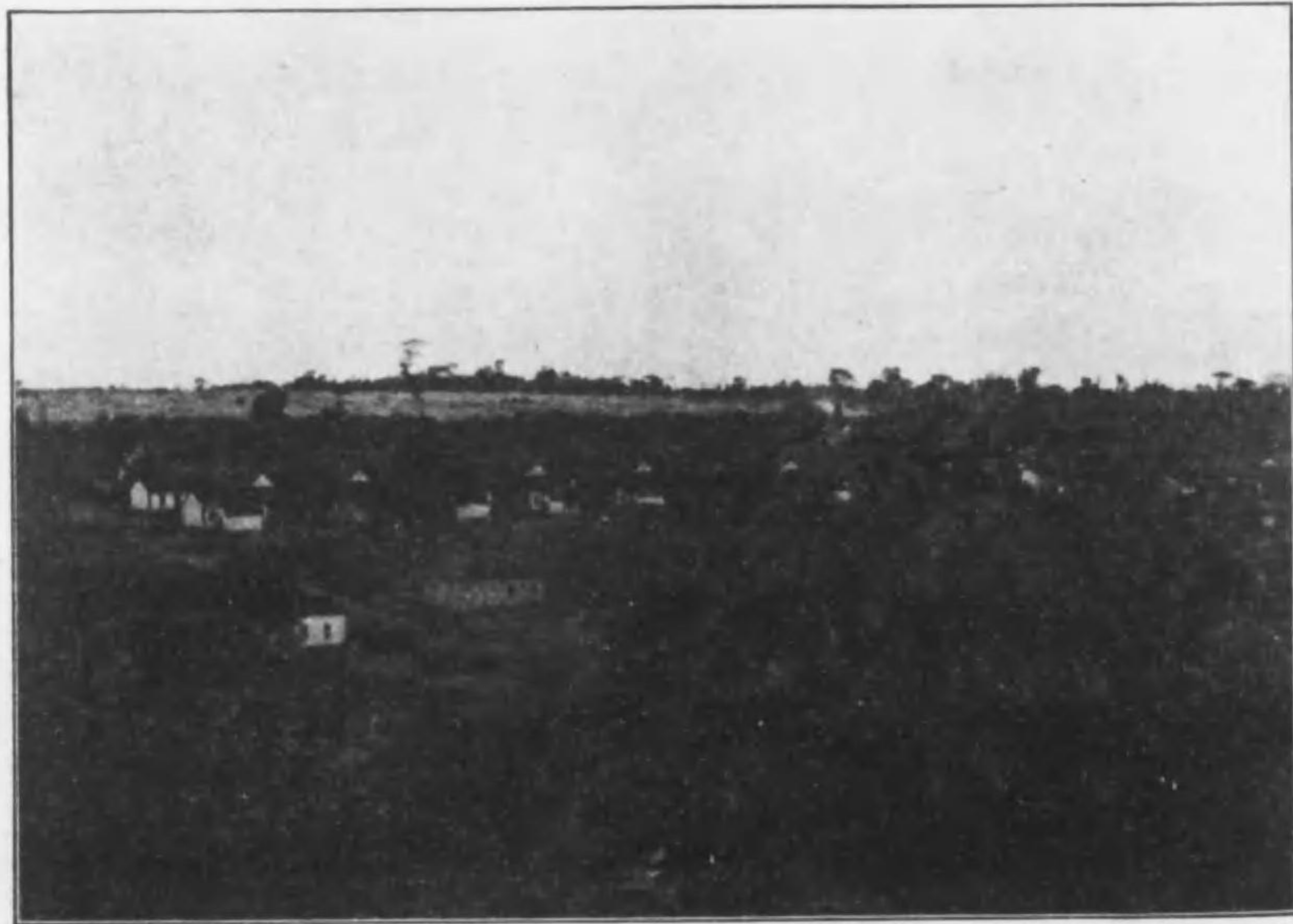
場作試草牧屬附場育飼畜家市「ロウバンサ」



地 耕 珐 珈^ラ パ タ ガ^カ
 (ム 望 フ 屋 小 民 移 ニ 并 地 耕 リ ヨ 上 丘 小)



ム 望 ナ 落 部 民 移 リ ヨ 宅 住 人 配 支 地 耕 珐 珈^ラ パ タ ガ^カ



(二其) 上 同



岸 海 港^{ス ト ン サ} 國 伯



ム望ヲ地耕琲珈リヨ上丘地耕琲珈ラバタガ⁷
 (フ云ト本萬十八日一ヲシ稱ヲ處此人邦リナ樹琲珈皆悉目滿)



ム望ヲ地耕隣リヨ上丘、上同



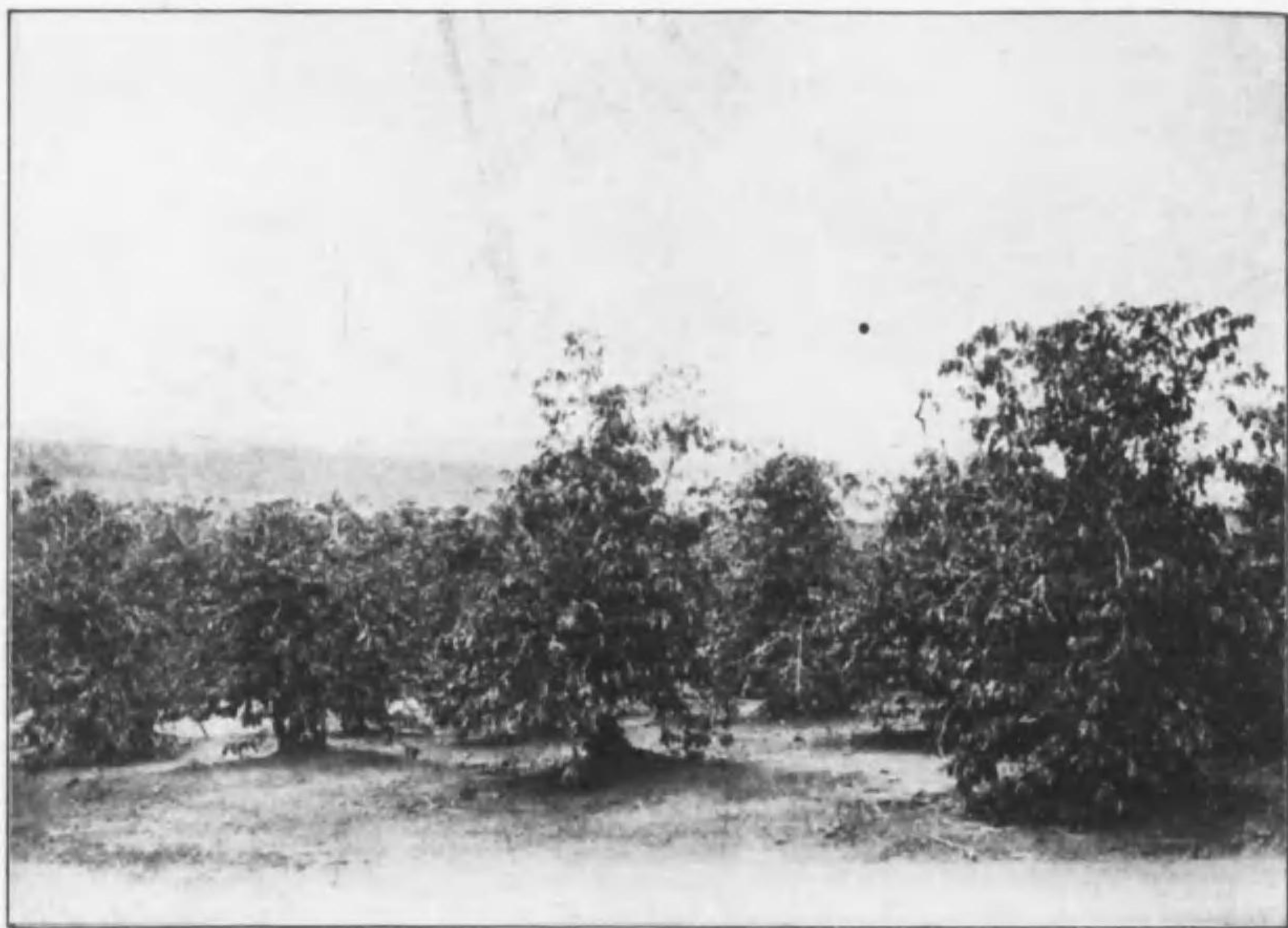
舍小民移本日地耕琲珈ラバタガ⁷



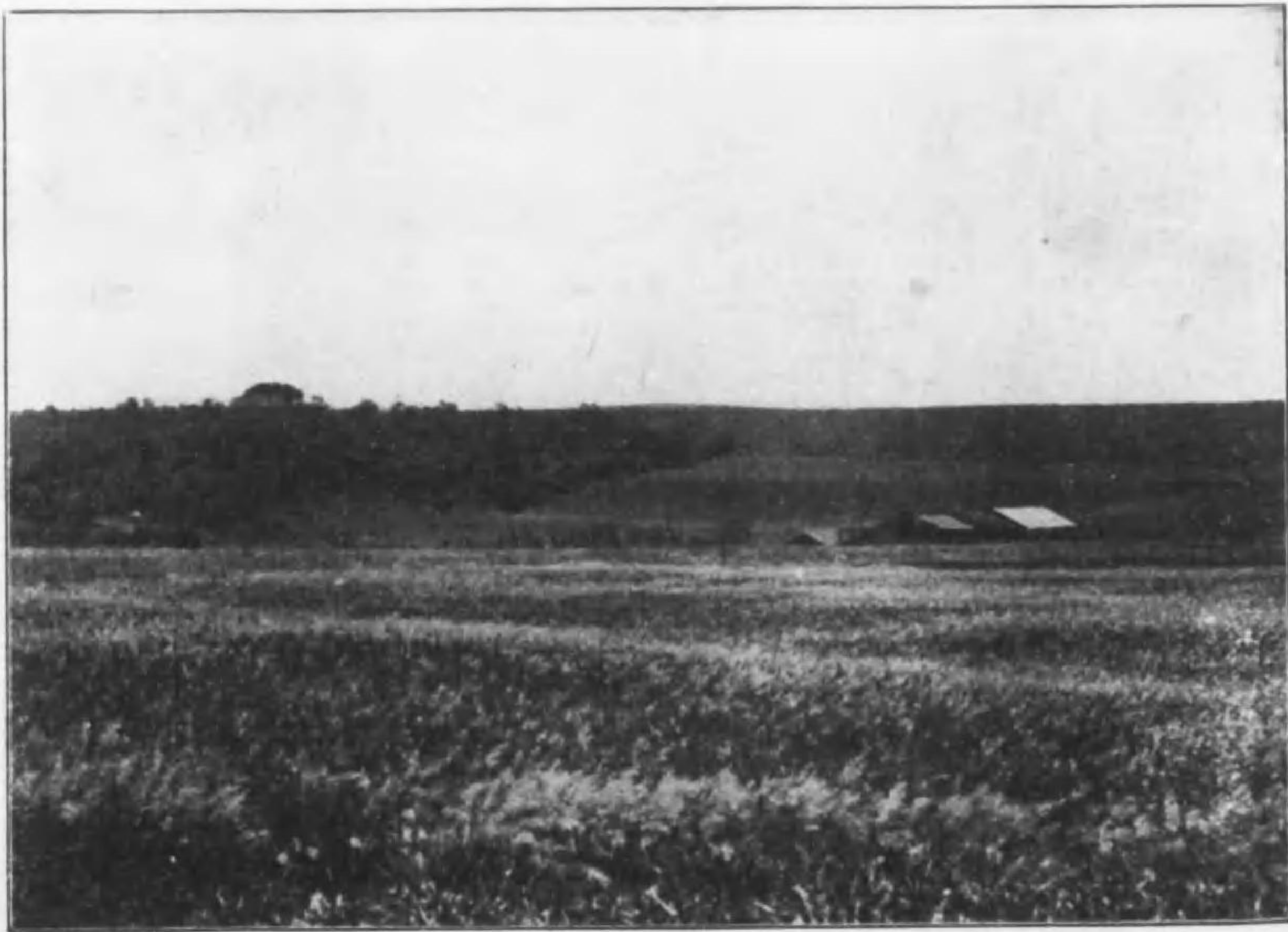
業作草除婦夫民移本日、上同



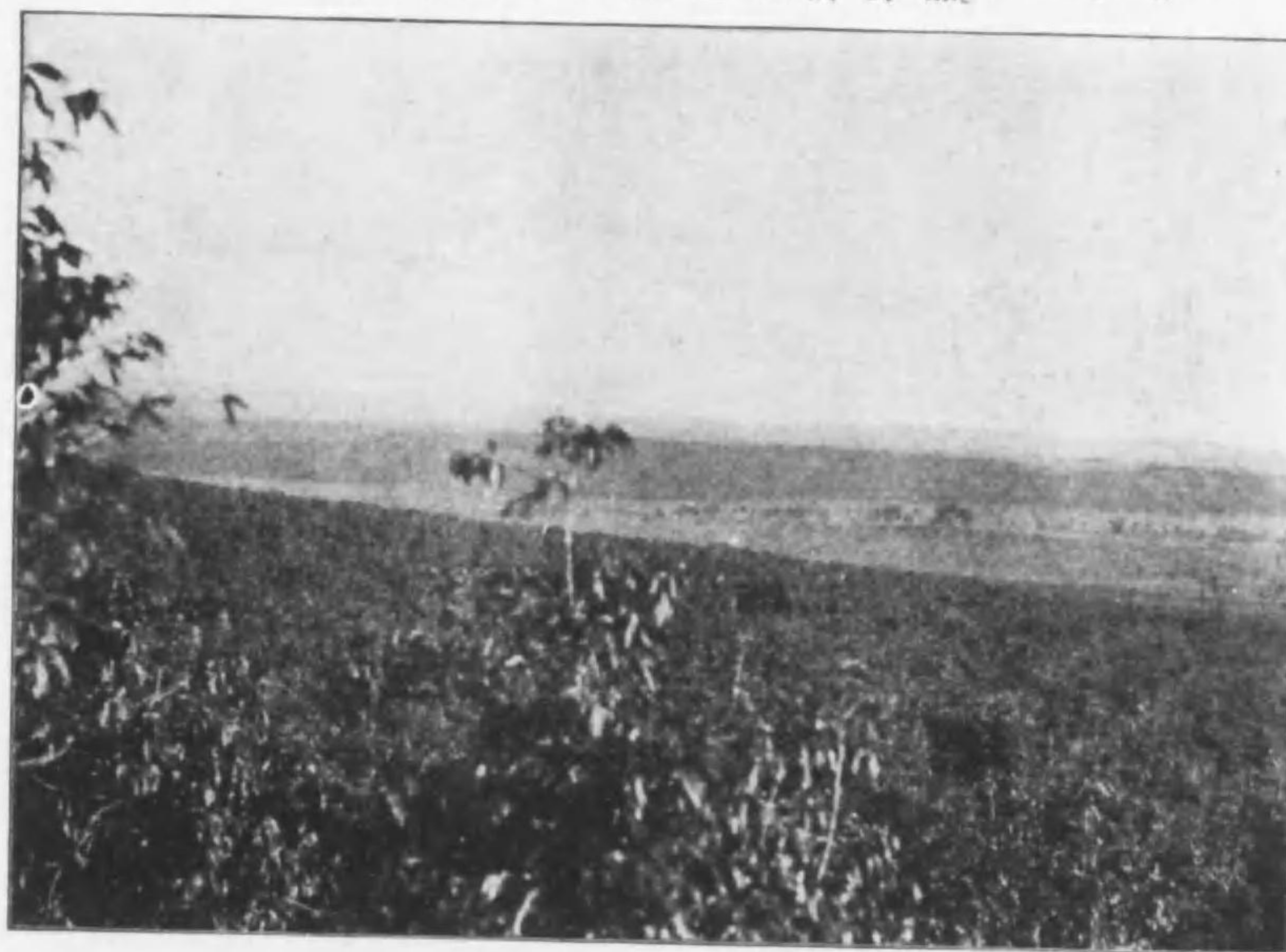
斐珈ノ地耕、ドッミュシ⁷國伯



場製精ニ并燥乾其及園斐珈、マセライ⁷上同



ム望ヲ地耕部北リヨ上丘地耕斐珈、ラバタガ⁷



ム望ヲ落部民移西、伊、日リヨ宅住人配支地耕、上同



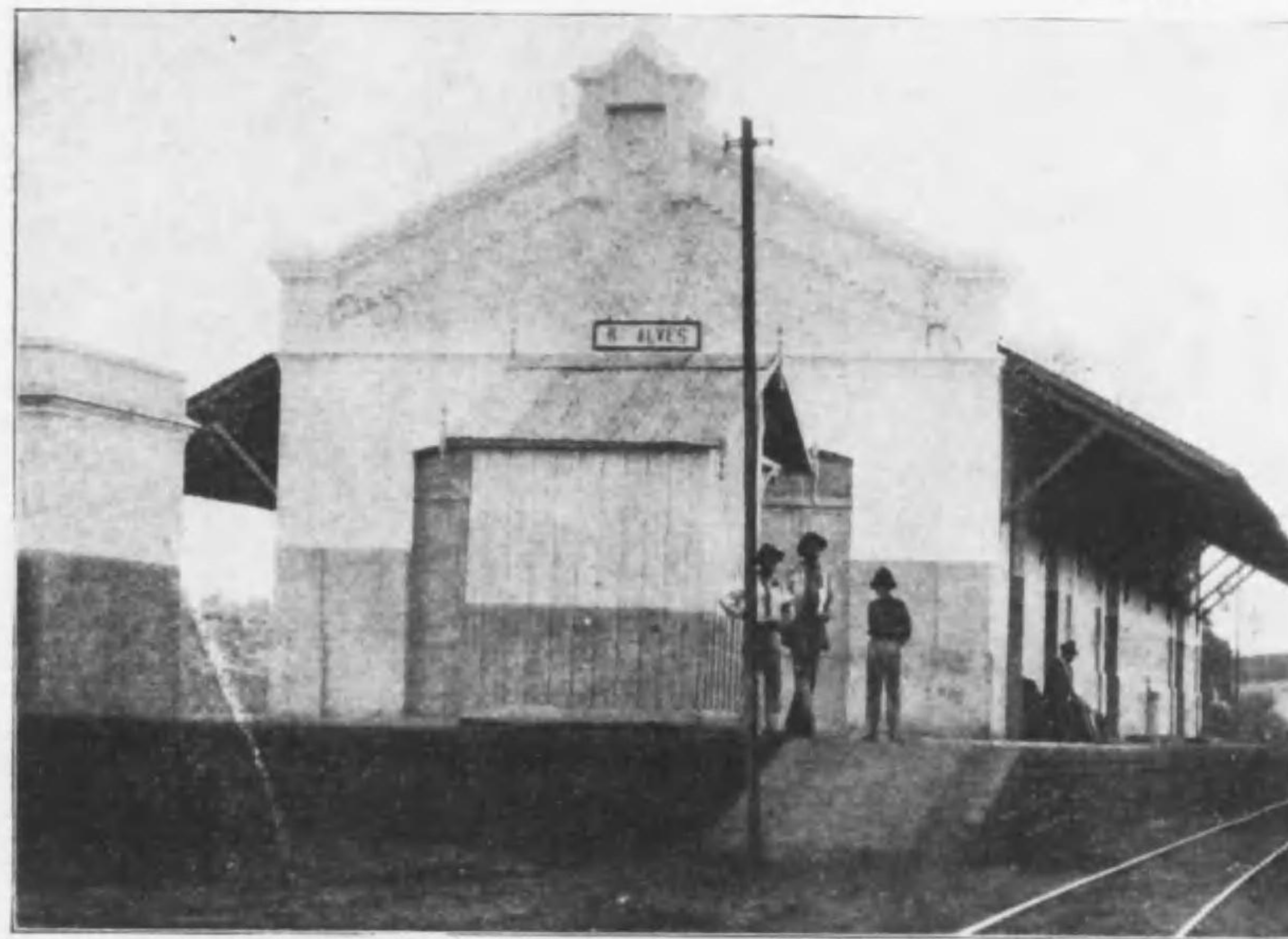
(二其) 上 同



名四民移本日ナアタンサルケ於ニ宅住人配支園アリマタンサラバタガ



場車停スエヅルア、スゲリドロ州ロウバンサ國伯



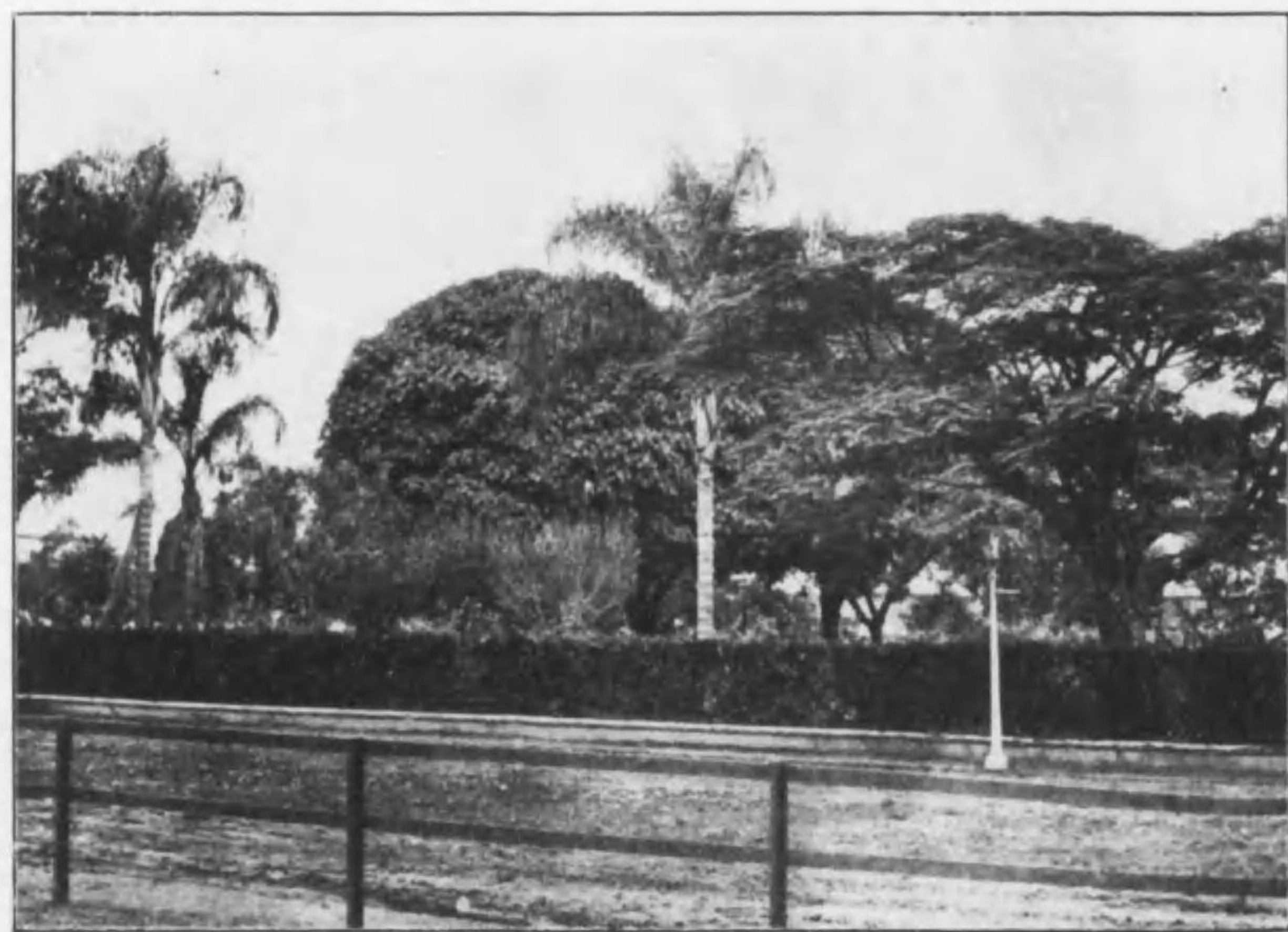
(一其) ム望ヲ地耕珮珈リヨ場車停、上同



場車停、アリトクヰヅ州、ロウバンサ、國伯



園公、テ、マ、ウ、タ、上、同



場車停、ヨイマデセレント、國伯



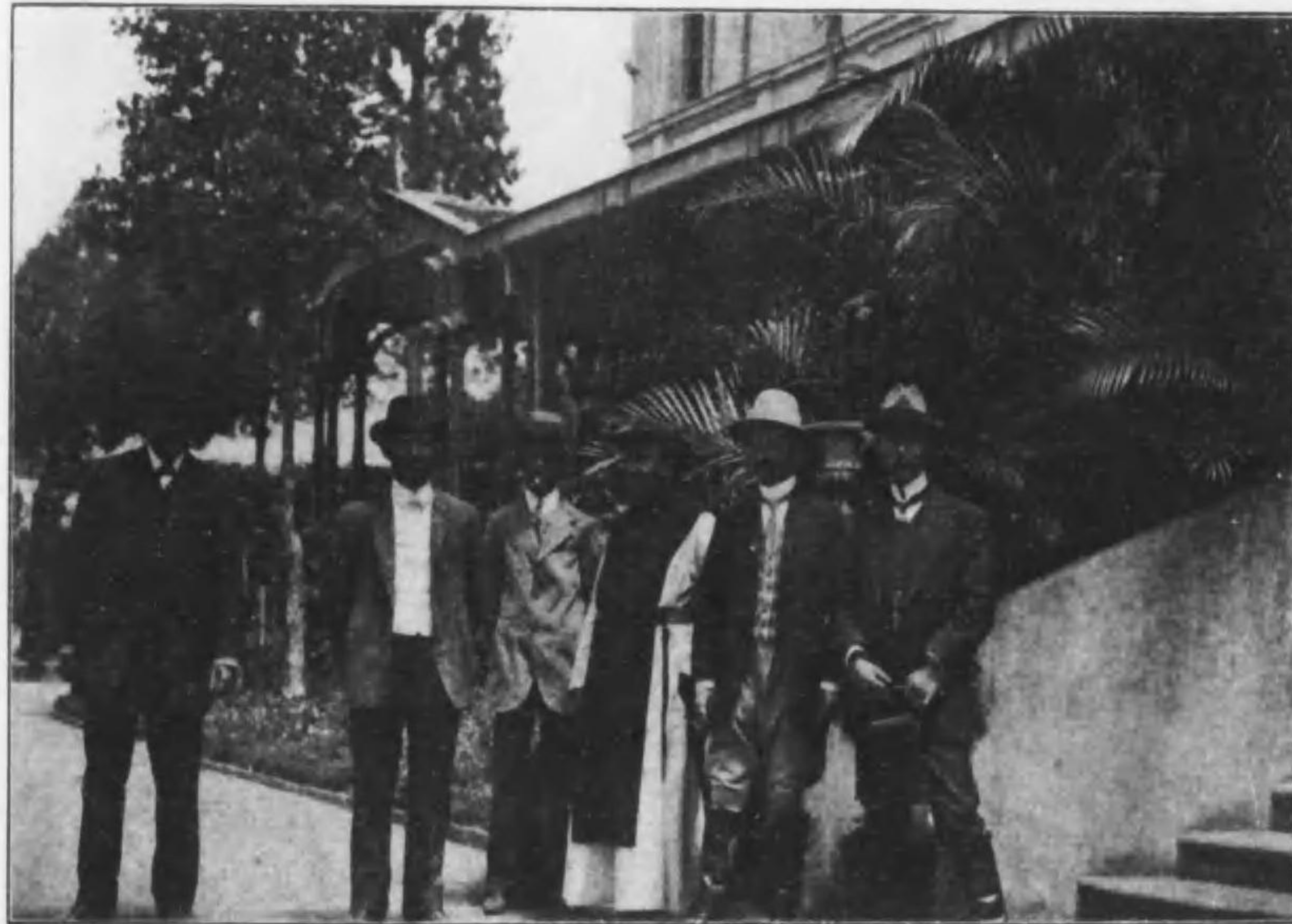
車馬行旅行一使公理代時臨伯在田藤ルケ於ニ前舎小夫人地耕、ラバタガ



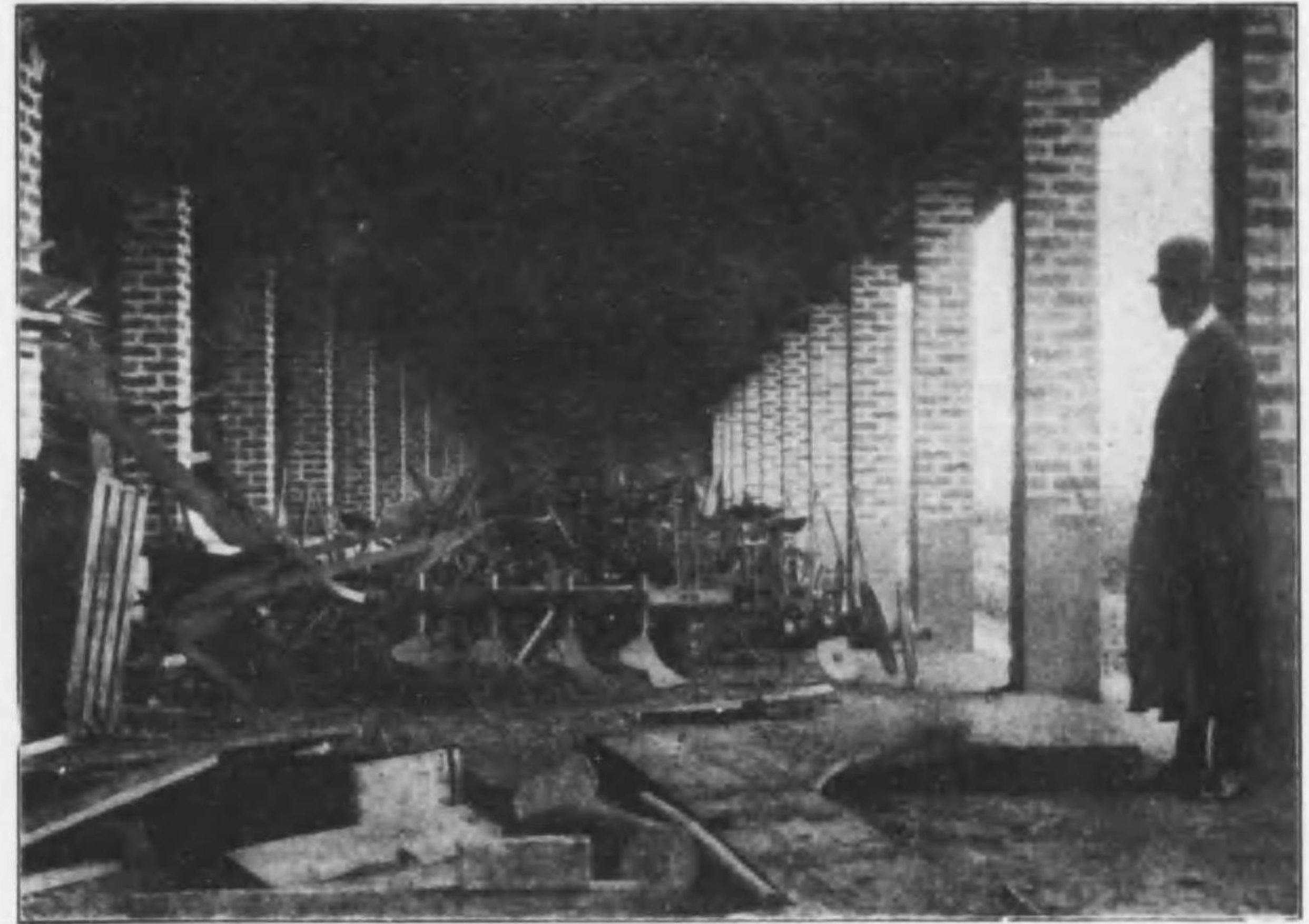
地作試場驗試事農、スナビンカ^州、ロウマンサ^州



等僧督監地作米、タスラト^ニ并師技、長所ルケ於ニ所務事上同



場置具農ノ地作米、タスピラト^{近附村}、ペンメレト^郡、テバウタ^州



ム望ヲ園公、テバウタ^{リヨ}、ルテホ、ライレベ^{地耕}、ラバタガ^州



(三其) 所造製タバ及屋小豚、上同



宅住人逸獨地民殖スレサスボンカ國伯



(バウマンノ住宅並ニ納屋)

(一其) 宅住築新ノ「スムニ」人逸獨地民殖「スレサスボンカ」國伯



(二其) 所蜂養ハ方左屋納ハ面正、園庭上同



所造製「タバ」ルケ於ニ「サッデオバノ」國伯



宅住人利太伊ルケ於ニ「サッデオバノ」



人物ハ「ビコニー」一家ノ家族ニシテ其内最左端ハ殖民事務官其右ハ濱口通譯生トス

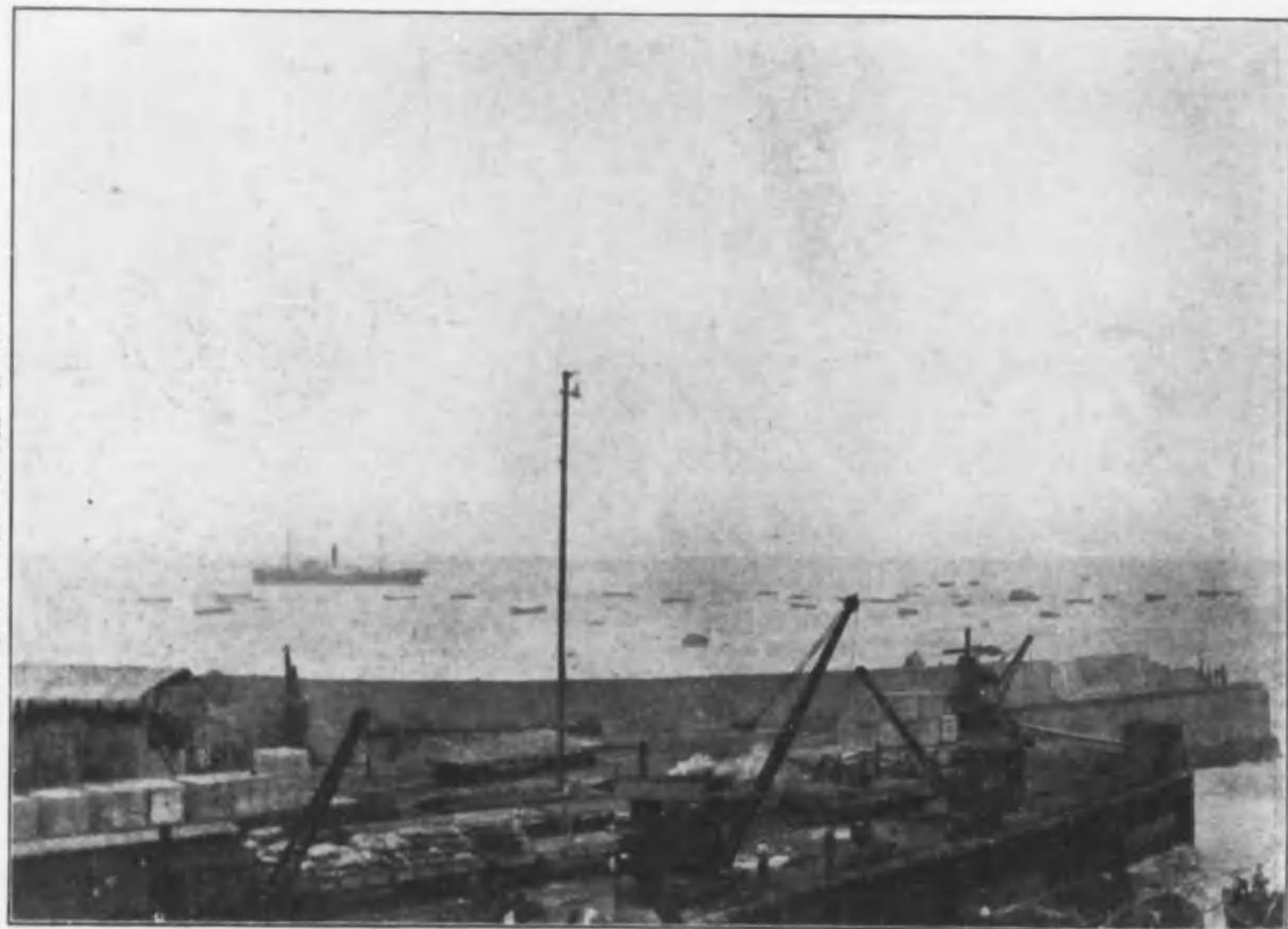
宅官務事地民殖「サッデオバノ」國伯



(右)屋小具農(左)厩及路道新ノ前宅官、上同



秘露國モイェン港



(以下所掲寫眞ニ關シテハ秘露國「ヤダン」
ガバタニ「護謨林」視察復命書記事參照)

同港ニテ船客上陸ノ圖



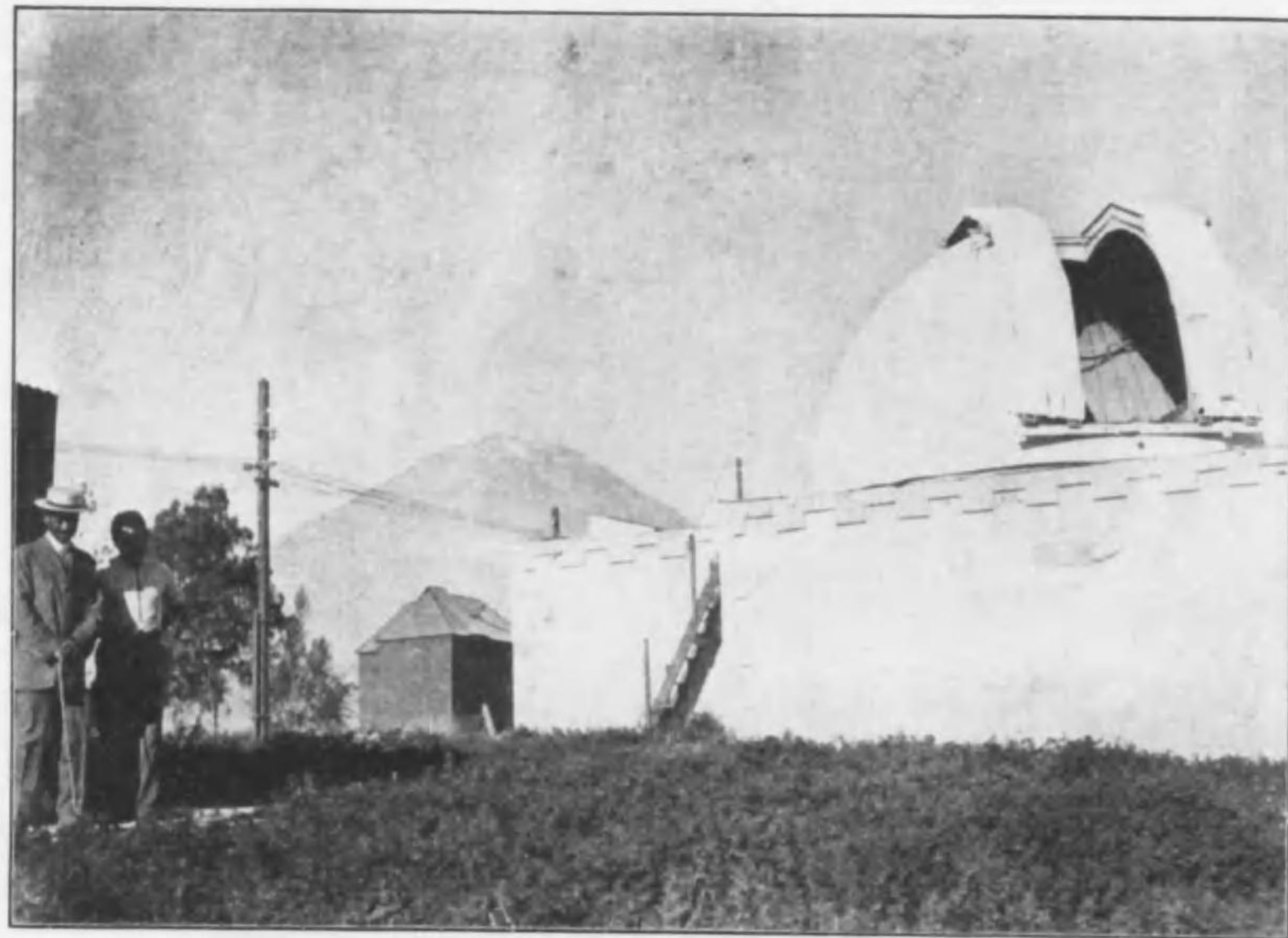
同上伊太利移民ノ物置小屋



伯國「ユヅモ」ト耕移小民舍前ニ於ケル藤田公使一行用馬車



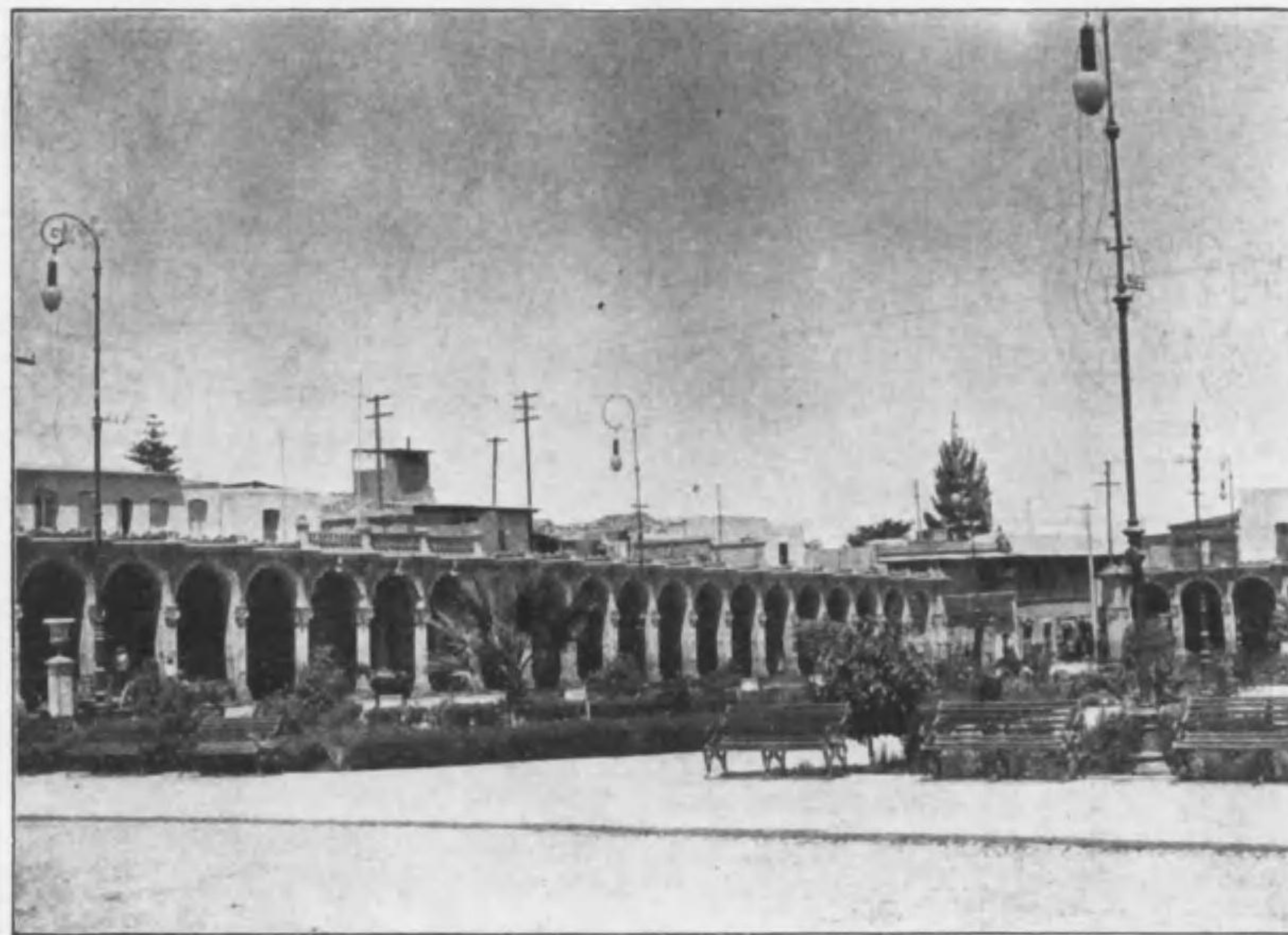
臺文天ノ外郊市バキレア
 スト屬附學大「ドーヴ」米北リ在ニトルア、シメルカ



ス稱ト士富バキレアノ景ノ山「サスミ」國露秘



(一其) 街市市バキレア國露秘



(二其)

上 同



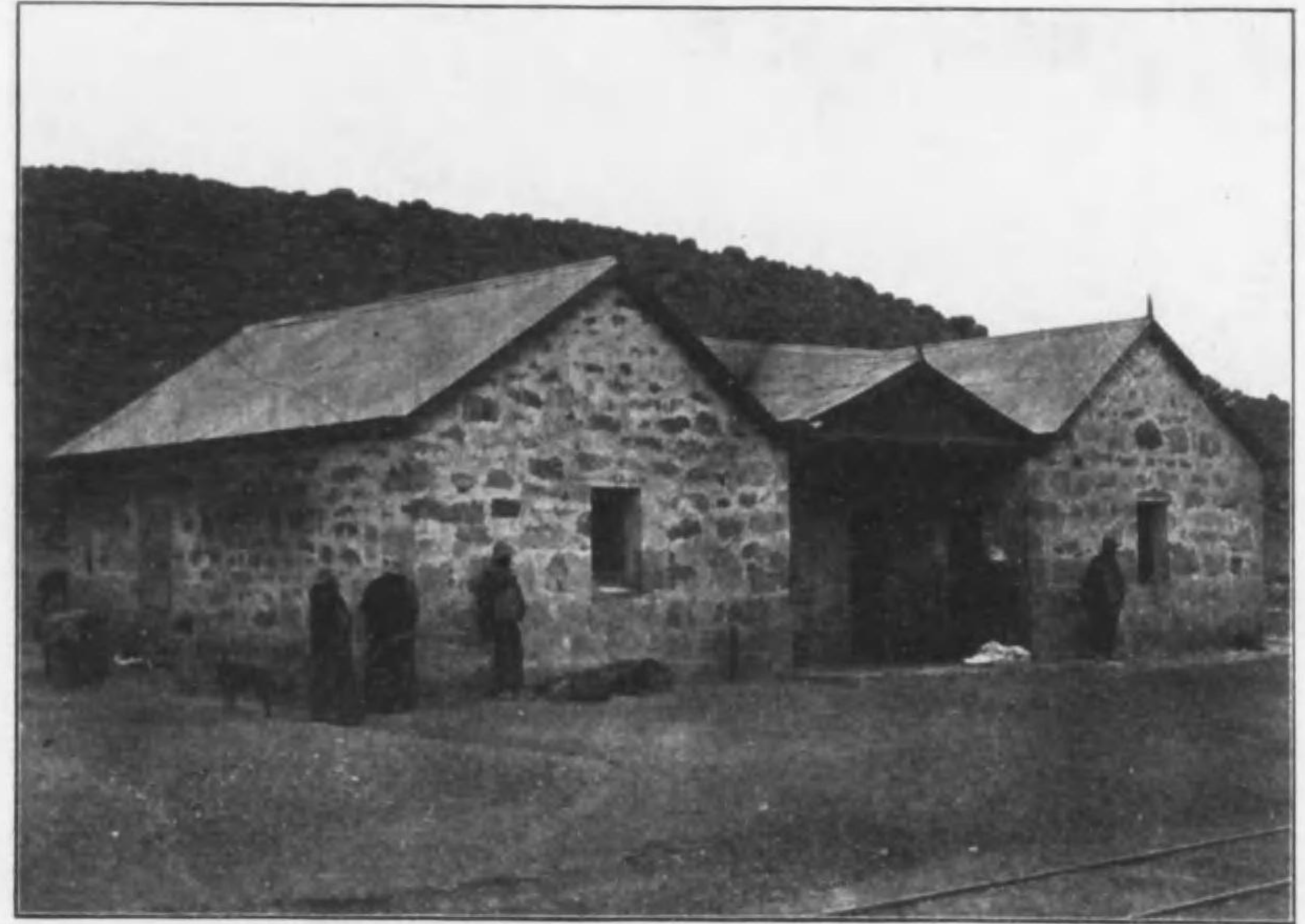
望遠ノ、タバライテ、國露秘



踊ノ人土、オィデンイ、ルケ於ニ、タバライテ



(呎六十六百六千四萬一拔海) 場車停、トルア、ロセルク、國露秘



前場車停、カアリフ、國同



秘露國トウリフナ



同國アエトル、アトルツロ



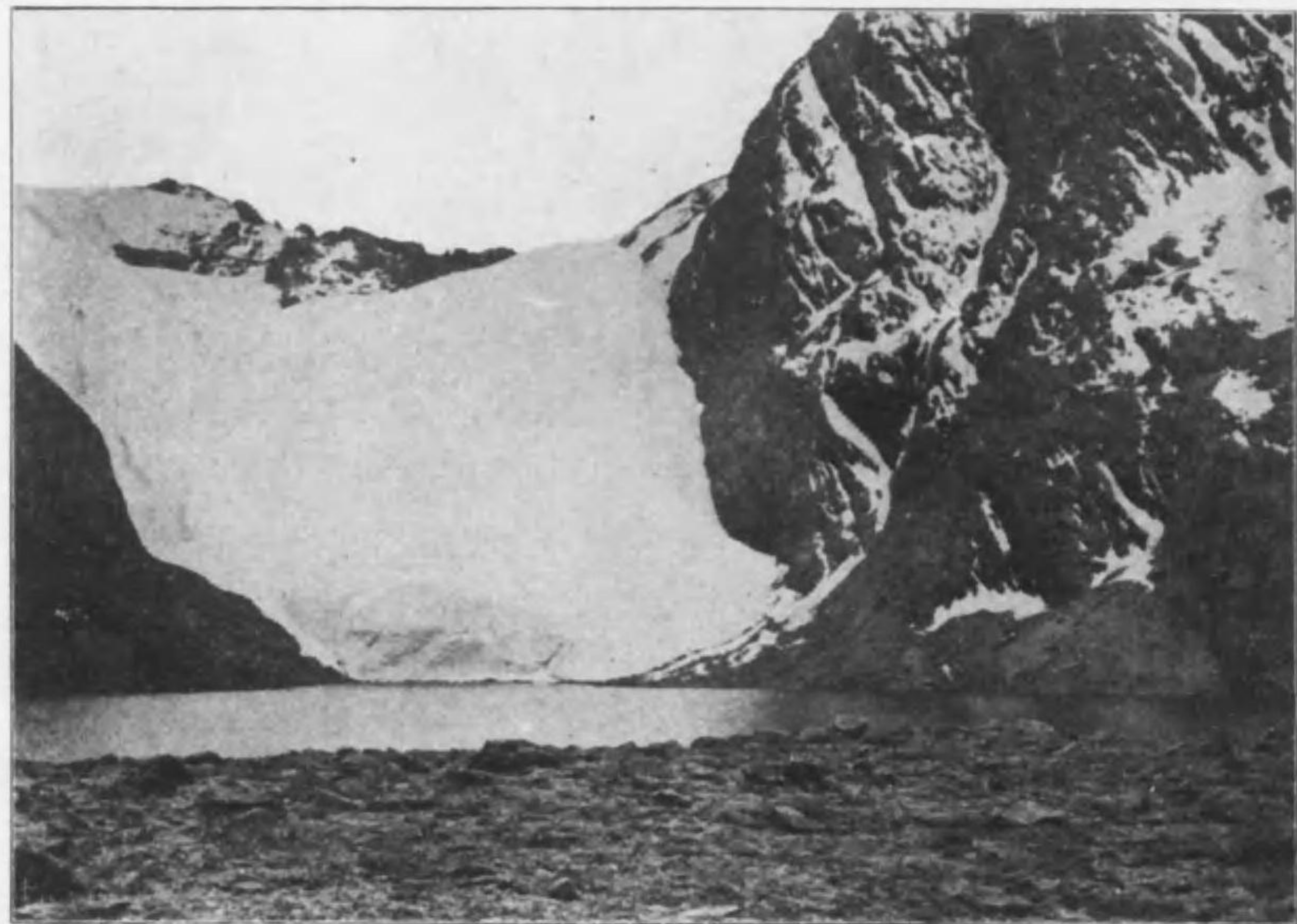
テライタニ於ケルマヤノ一群(羊ノ一種)



秘露國リベタル高地原地方ノ光景
(リベタル街ノ驛)



河氷ノ上山(マコリア)



驛(ニバン)ノ國露秘



ロセルク國露秘



嶺(マコリア)ノ國同



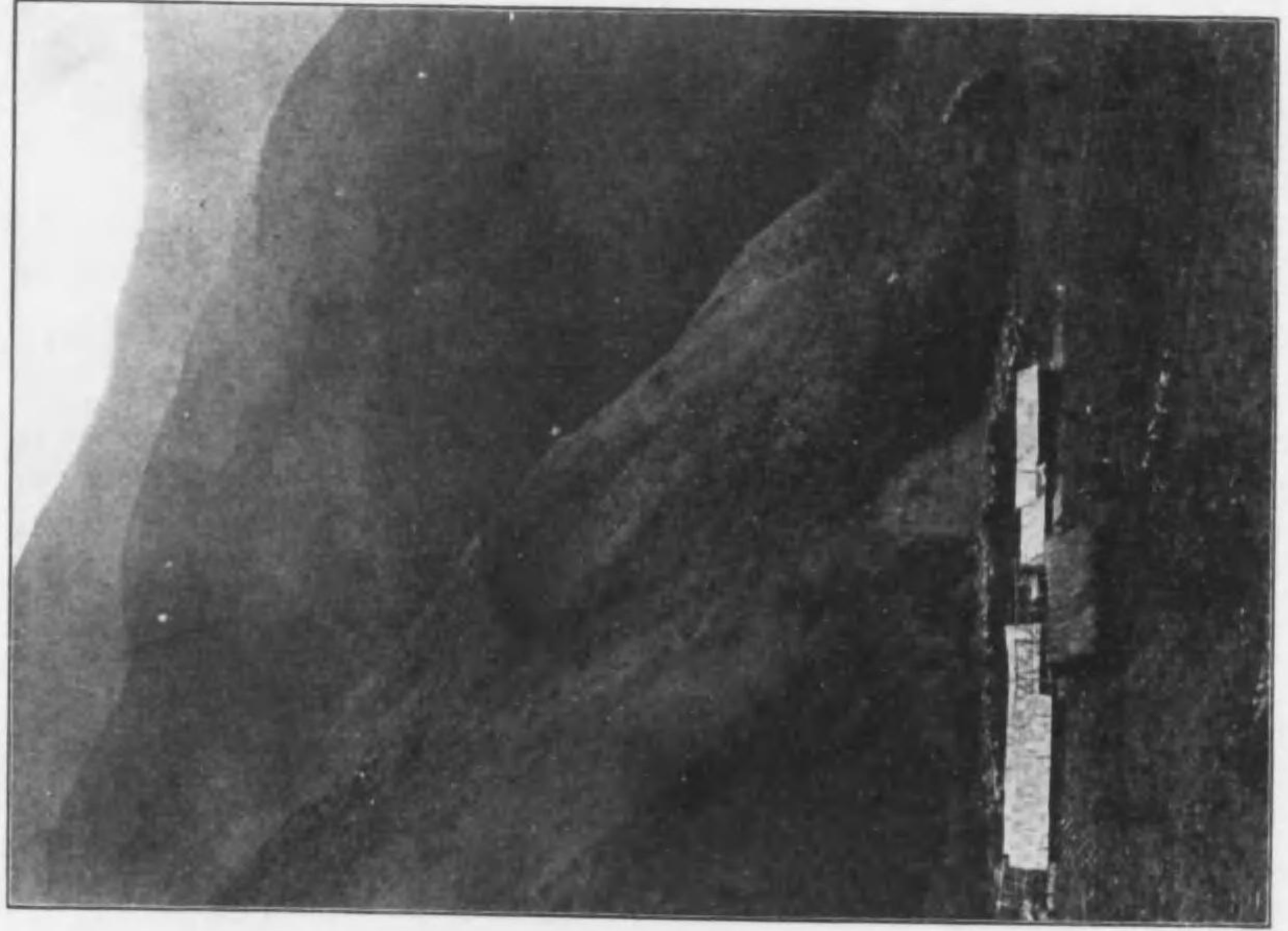
(其二) 部一ノ道街「カンイ」



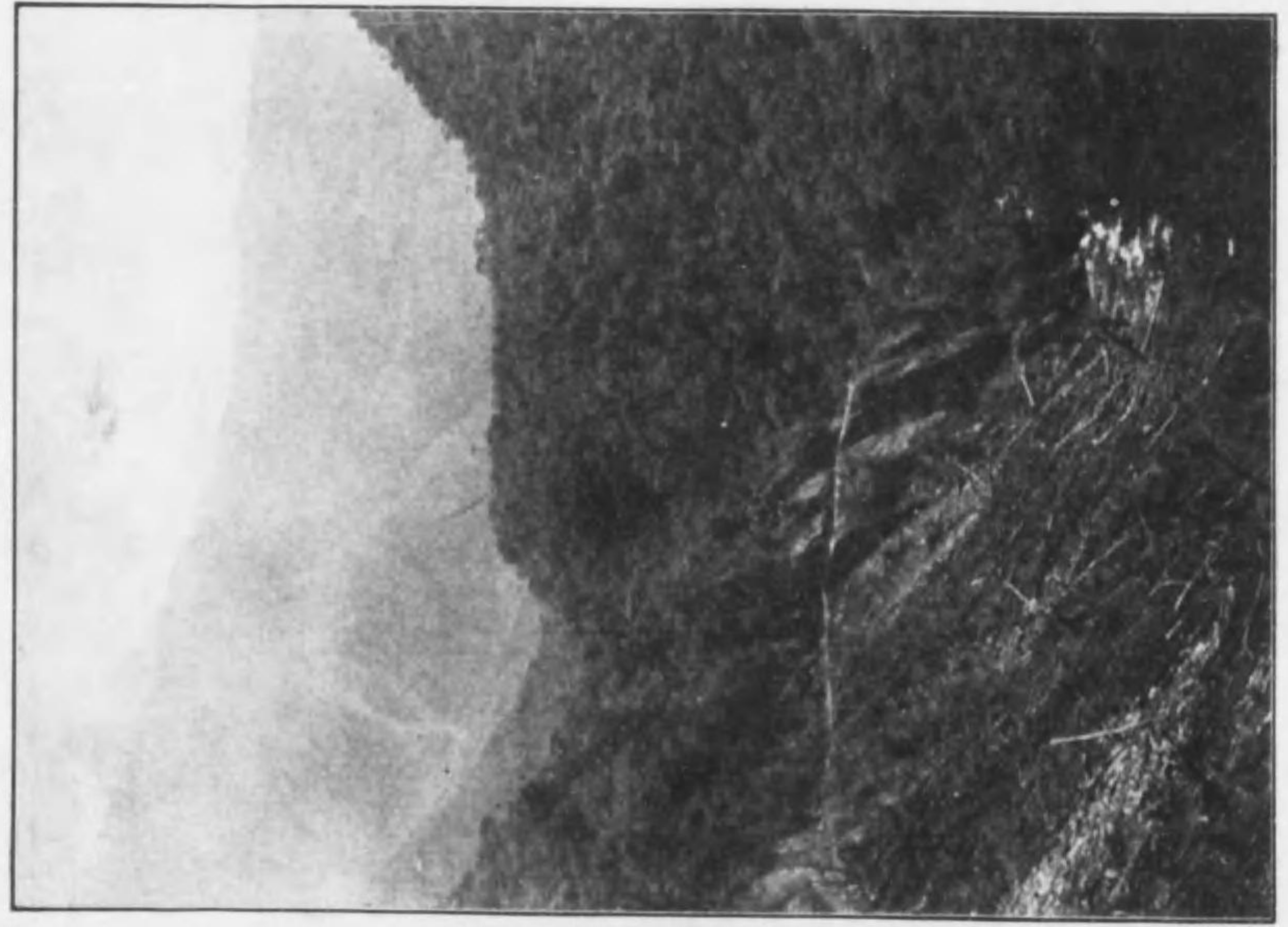
(ス架ニ河「リバンナイ」) 橋吊ノ「ヤロオ、ラ」國露秘



部支ノ社會「カンイ」ルケケ於ニ驛「ケネコ」國露秘



(一其) 部一ノ道街「カンイ」國同



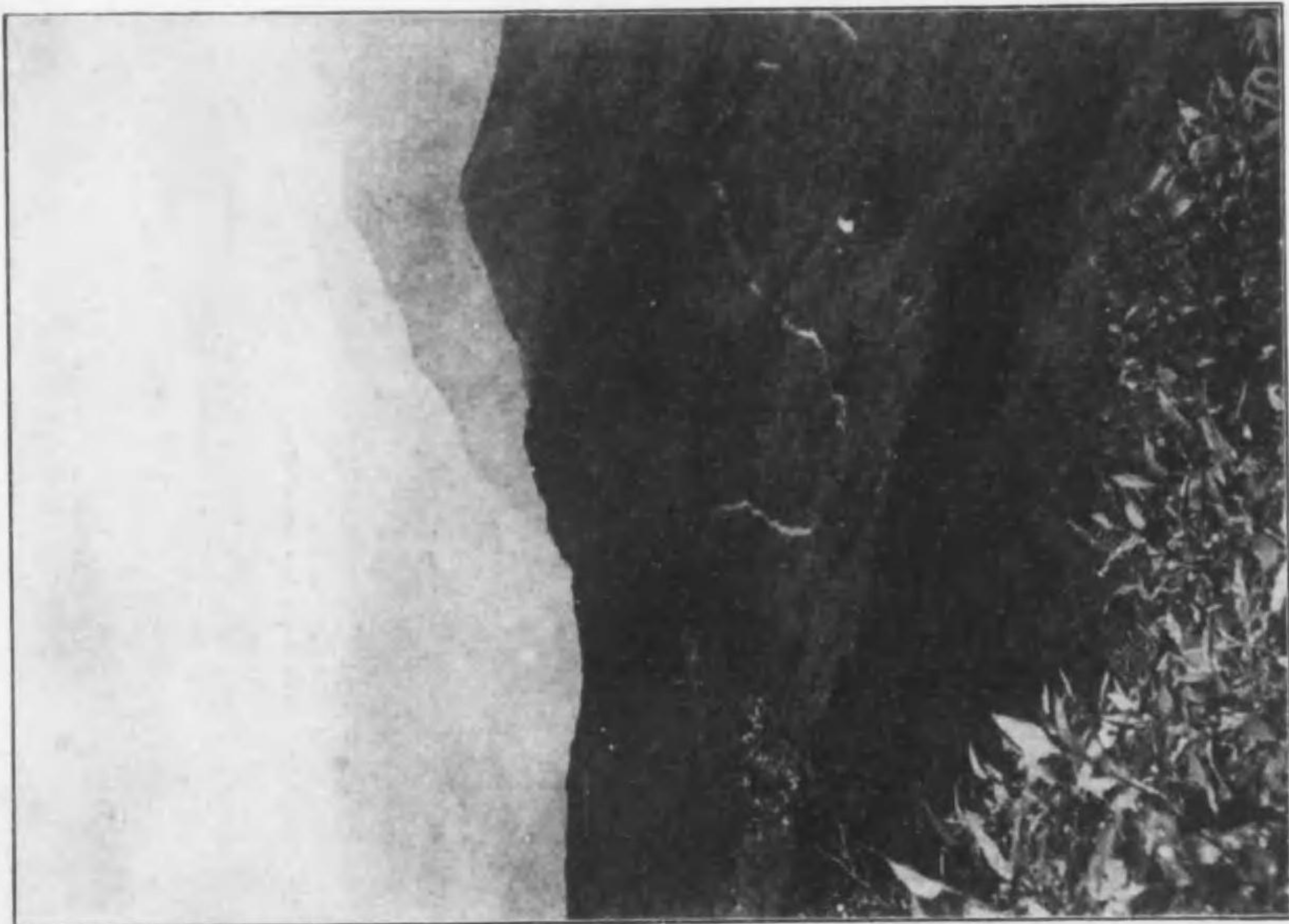
第三號「キヤン」



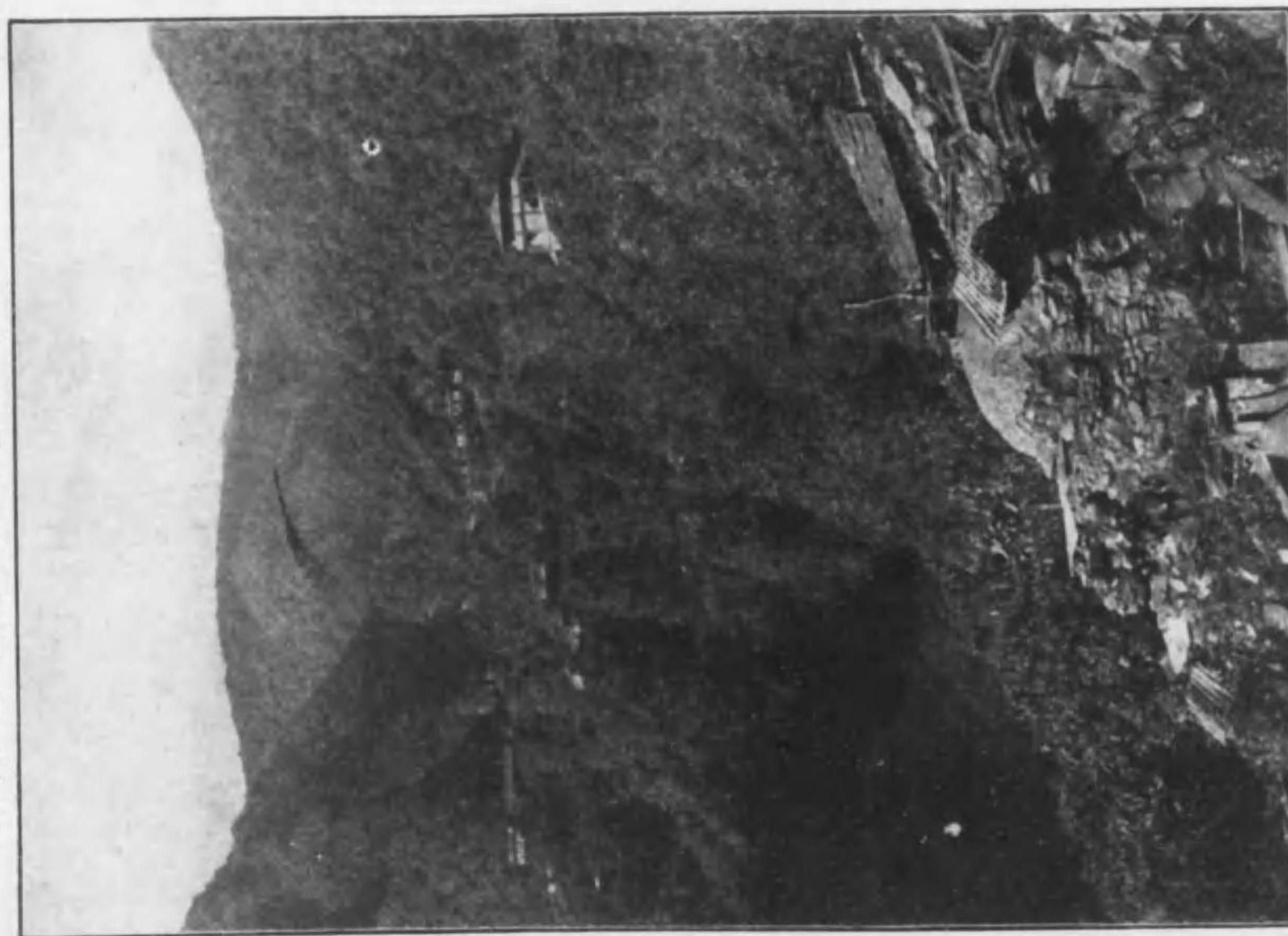
「キヤン」東山岳重疊ノ景



秘露國「サント、ドミゴン」山上九十九折



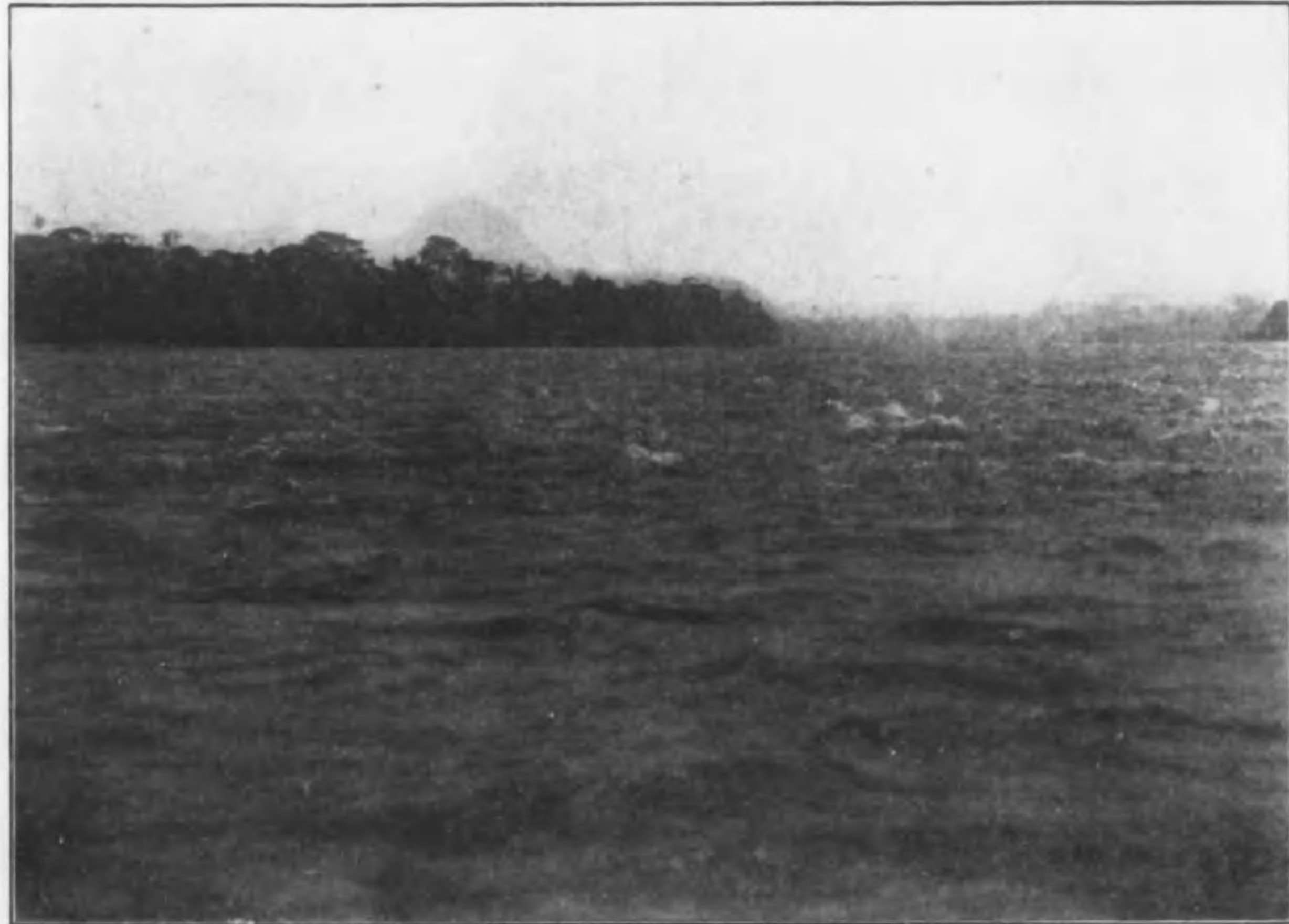
同「イカン」會社山鑛在



場牧「ロエイテスア」



河「タバボシタ」



「ロエイテスア」國露秘



部支社會「カンイル」在ニ「パンバ」國同

- (一) 支配人住宅
- (二) 病院
- (三) 事務所
- (四) 醫師住宅
- (五) 警察駐在所
- (六) 倉庫兼販賣所
- (七) 食堂及厨房



秘露國高原地方於ルケイデニス人



同上



アステラ港ニ於ルケイ獨木舟



同港ニ於ルケイカウコノ及チマヤニス人



具器其及集採謨護



樹謨護



アシキルセ開新ニ流下岸對ロエイテスア



民移本日ルケ於ニロエイテスア



伊國移民問題

屋小ノ屬附_レダラトスエ^ニ内林謨護



舟_ヨナウカ^ニルケ於ニ河_レタパボンタ^ニ



伊國移民問題

目次

一、緒論	一
(附緒論中ノ結論)	
二、移民ノ出稼先	三
三、移民ニ對スル伊政府ノ方針	五
四、移民反對意見	八
五、伊國内外ニ於ル移民ニ關スル慈善的團體	一一
六、移民ノ利益ノ爲ニ政府カ航海會社ニ對シ下セル命令條件	一三
七、「ナール」銀行カ移民ニ對シ負ヘル特種ノ義務	一四
八、移民ニ關スル諸統計	一五
九、移民ノ送金額	二二
一〇、參考及引用書	二六

目次

伊國移民問題

大使館二等書記官 今井忍郎

第一 緒論

移民問題ハ、伊國現時ニ於ケル重要問題ハ、一ニシテ特ニ其ノ移民數カ年々増加スル點ニ於テ然リトス、建國當初ノ移民數殆ント數フルニ足ラサル程ナリシモ一八七五年ニ十萬人、一九〇〇年ニ五十萬人ニ達シ一九〇六年ニ七十八萬八千人ニ達セリ

伊國移民區分

觀察方法ニヨリ區別スレハ移民ハ永久的、臨時的若クハ海外渡航者、歐洲移民及地中海移民ニ分チ得ヘシ、歐洲ニ於ケル移民ハ臨時的ナリ是レ伊國北部ト佛國、瑞西、奧國、白、獨等トノ交通ノ便宜多キニ起因ス、而シテ北米合衆國ニ渡航スル移民ノ大部分ハ同地ニ若干年間滯留シ特ニ土木工事多キ地方ニ於テ數年間引續キ鐵道工事、墜道、橋梁架設等ノ勞働ニ従事スルニ反シ「アルゼンチン」ニ渡航スル移民ハ伊亞交通ノ便年々増加スルニ係ラス大部分ハ永久ニ滯在シ農業ニ従事スル狀態ナリ

伊國民移出ノ原因

統計ノ示ス處ニヨレハ伊國移民ノ多數、而カモ永久的移民ノ大部分モ其ノ本國出發ノ當時ハ若干年後歸國ノ意思ヲ以テ出發スル者ノ如シ即チ男子ハ臨時的移民ノ九割ヲ占ムルモ尙ホ永久的移民ノ七割五分ヲ占ム、而シテ伊國內全人口ノ三割ヲ占ムル十四歳以下ノ小兒ハ永久的移民中五分、臨時的移民中二割ノ割ニテ渡航ス而シテ永久的移民中ノ二割ノミ其ノ家族ヲ携ヘテ渡航スルノ有様ナリ以テ彼等カ骨ヲ外國ニ埋ムルノ覺悟ヲ以テ移住セサルヲ證スルニ足ル

伊國移民ノ主タル原因ハ特ニ伊國南部ノ土地放棄ニアリ(重稅、土地耕作ノ薄利等相待テ然ラシム後ニ論評セン)現ニ伊國內地ニ於テ人民ハ漸次田舎ヲ去テ都市ニ集注スル傾向アルノミナラス北米合衆國ニ於ケル移民モ農業地ノ利益ハ彼等ヲ牽引スルニ足ラス益々都市ニ集合ス(紐育市ニ五十萬人、シカゴニ二十萬人、ボストンニ十五萬人)而シテ是等移民ノ多數ハ實ニ伊國南部ノ荒蕪セル土地假令ハ Bahia 等ヲ見棄テタル伊

國民ナリ」是等南都伊國農民ハ兇作ノ年ニハ其ノ所持セル額額の土地ヲ賣却スルカ將又最微ノ蓄積ヲ渡航費トナシテ移民スルモ南都都市ニ貧民ハ渡航費ヲ調達スルヲ得シタ本國ニ留マル狀態ナリ彼等ノ最低食料費ノミニテモ一日四十乃至五十「サンチム」ヲ要スルニ反シ其ノ勞銀毎日二十五「サンチム」ナルヲ見ハ彼等カ強盜若ハ無賴漢タルヲ避クル爲ニ海外移住ヲ企ツルハ止ムヲ得サルニ出ツ

他ノ伊國移民ヲ獎勵スル間接ノ原因ハ伊國北部ノ工業發展ナリ此現象ハ一見奇ナルカ如キモ事實ハ正ニ然リトス即チ北部工業ノ發達ハ單ニ農業的ナル南部地方發達ノ妨害トナリ而モ北部ノ工業ハ未タ南部ノ労働者ヲ吸收スル迄ニ發達シ居ラサルカ故ニ南部農民ハ本國ニ留マルモ自己ノ愛著スル土地ヲ購置シ得ル見込絶無ニテ已ムナク海外渡航ヲ企ツ之ニ反シ北部「ビエモン」ト「ロムバルデー」リ「グリア」ハ人口稠密ノ程度遙ニ南部ニ優レルニモ拘ハラス移民數極メテ少ナシ

附緒論中ノ結論

伊國移民ハ内國ノ工業發達ニ國內ノ労働者ヲ吸收シ得ルハ狀態ニ達セサル限り現状ヲ維持スルミナラス益々増加スヘシ而シテ伊國工業ノ發達ハ人口ノ増加ニ比シ寧ろ遅々タルカ故ニ南部労働者ヲ國內ニテ吸收スルハ殆ント不可能ノ狀態ナリ、前總理「ルサッチ」氏説テ曰ク伊國移民ノ多數ナルハ伊國現時ノ狀態ニ於テハ寧ろ伊國ノ爲ニ慰安タリ而カモ此カ爲ニ壯丁ヲ海外ニ送り老若ト小兒ノミヲ國內ニ殘スノ現象ハ由々シキ大事ナルモ之ヲ救済スルハ内國工業ノ發展ニ俟ツノ外ナシ、工業ノ一大發展急ニ望ム可ラストセハ移民ハ寧ろ伊國ニ取り必要ナリ況ンヤ彼等カ本國ニ送付セル金額ハ正ニ伊國々債償還成功ノ一大原因タリシニ於テヲヤト

伊國ノ移民ハ南米ニ向テ増加スルノ傾向絶ヘス是レ南米ニ於テハ少許ノ貯蓄ヲ以テ土地ノ所有者トナリ得ル機會多ケレハナリ

伊國移民ト資本ノ流出

伊國移民ト資本ノ流出ハ相伴ハス是レ資本ハ伊國內ニ勃興セル工業ノ爲ニ必要ナレハナリ、換言セハ伊國ノ工業發展シ全部自國労働者ヲ吸收スルノ域ニ達シ始メテ剩餘ノ資本ハ海外ニ流出シ移民カ現時ニ基礎ヲ据ヘタル事業ノ平和的經營ヲ

幫助シ得ヘシ而カモ是レ將來極メテ遠キ問題タルヘシ之ヲ要スルニ伊國移民問題ニハ利害相伴ヘリ現下ノ問題トシテハ政府ハ之ヲ保護シ指導スルト共ニ壯丁ヲ國外ニ驅逐スル最大社會的原因除去ニ努メサル可ラス即チ國家富原開發ニ努ムル事其ノ一ナリ、南部ノ農業教育ヲ獎勵シ特ニ輪換栽培法ヲ指示シ土地耕作ノ効果ヲ多カラシムルコト其ノ二ナリ、可成南部農民ノ負擔ヲ減スルコト其ノ三ナリ即チ移民問題ハ同時ニ伊國ノ財政、經濟、教育問題ト相關聯スル重要問題タリトス

第一 移民ノ出稼先

移民ノ出稼先

伊國移民特ニ南部ノ農民ハ好ンテ北米合衆國ニ出稼ス一八九〇六年ノ全移民七十八萬八千人中合衆國ニ赴ク者三十五萬人ナリ」是レ其ノ賃銀ノ高キコト、公共的労働事業ノ多キ事、航海日數ノ少キ事、交通ノ便利多キコト等相俟テ然ラシム、然ルニ是等移民ハ本國ニ於ケル農民ナルニ拘ラス出稼先ハ寧ろ米國大西洋岸ニ於テ農業的仕事ヨリモ寧ろ土地工事ノ労働ニ從事スルカ又ハ都市ニ於テ或職業ヲ發見シツ、アルハ一種奇異ノ現象ナリ

他ニ注視スヘキ事實ハ伊國ノ南米ニ赴ク移民ハ「アルゼンチン」及「ウルガイ」ノ「ブラタ」地方ニ滞在ス是レ彼等カ一面ニハ舊來ノ農業的仕事ヲ變更スルヲ好マサルト共ニ土地購買ノ容易ナルニ由ル其ノ他伯西政府ハ一九〇一年迄ハ伊國移民ヲ歡迎シ渡航費償還ノ方法ヲ以テ多數ノ伊國民ヲ吸收シ（特ニ「サンパ」地方）タリシカ一九〇二年三月二十七日首相「ブリネ」氏ハ移民ノ不幸ヲ利用シ暴利ヲ博スル移民會社撲滅ノ目的ヲ以テ航海會社ニ對シ伯西ニ移民送付ヲ禁止セシ以來伯西移民ハ一八九五年來漸次減少シ「ブラタ」地方出稼移民ハ一八八九年來同一狀態ヲ維持セルニ反シ合衆國移民ハ一九〇八年恐慌後年々増加シツ、アリ是レ一面ニハ同國ニ於ケル土地開拓ノ餘地十二分ニアルニ反シ其ノ政治的平和狀態ハ移民ヲ招致スルニ適スルモ南米多數ノ内亂革命等ハ移民ノ恐怖スル處タリ是レ南米ハ伊國移民ニ對シ極メテ有利ナル條件多キニ拘ラス「アルゼンチン」及伯西以外ニハ増加セス中央「アメリカ」ニヌラ移民ノ少キ理由ナリトス

伊國現農相「ニツチ」氏ハ二十年前ニ一書ヲ著シ南米ノ狀態ハ益々改良セラレ伊國移民ノ大部ヲ吸收スルヲ得ヘキ好希望

アルニ反シ合衆國行ノ移民ハ氣候人種ノ相違及獨人愛蘭人ノ競争上伊民ノ移住ニ適セスト論結セリ此ノ議論ハ今日尙ホ伊國爲政家中ニ切リニ唱道セラルル處ニシテ客年六月代議士「フエリー」氏ハ南米漫遊ノ結果ヲ議會ニ公言シテ曰ク南米ニハ伊國の精神充滿セリ其ノ南米ノ人種の智識的感化及經濟的狀態ハ確ニ拉典民族ノ擴張ニ利アリト痛言セリ要スルニ伊國ト南米トノ通商關係發達ハ實ニ移民ノ發展ニ負フ處多シ但シ伊國爲政家中有力者タル「ド、マリニス」氏ノ如キハ伊國ハ移民ヲ送リ南米開拓ニ資スルモ亞爾然丁ハ常ニ其ノ農產物ヲ英國ニ輸出シ伊國ニ害ヲ與フル旨極言シツ、アリ眞理ノ一部タルヲ失ハスト雖伊國南米ニ擴張ノ便宜多キヲ否定スルニ足ラス

亞弗利加移民

一種ノ論者又曰ク伊國移民ノ現排出先ハ北、東亞弗利加ナリ、伊民カ獨リ近ク「チウニス」ニ於ケルノミナラス埃及、「アルゼリ」モ「モロッコ」ニ於ケル商業的勢力範圍ヨリ見ルモ將又東部「アフリカ」ニ對スル伊國ノ將來政治的運命ヨリ見ルモ該地方ノ移民ノ必要ナルハ爭フ可ラスト、然リ若將來ニ於テ伊國屬地「エリトリ」及「ベナデル」ノ富源一層明白ニ知レ直リタル曉ニハ論者ノ希望ヲ達シ得ル日アラシモ今日ノ狀態ニ於テ此地方ニハ伊國ヲ吸收スルニ足ラス

歐洲各國へノ移出

北部伊民特ニ「グエニス」州民ノ歐洲各國及東方各國ニ於ケル移民ハ臨時的ニシテ年來ノ遺傳的習慣ニ從ヒ瑞西、佛、白、奧、巴耳幹、獨及英國等ノ都市ニ移民シ獨リ壯丁男子ノミナラス女子スラ同地都市附近ノ工業、土木工事、商業等ニ從事シツアリ伊國移民ノ五分ノ四ハ事口農民ナルカ其出稼先ハ常ニ都市附近ニ集注スル傾向ヲ有ス、而シテ北部移民ハ「アルゼンチン」地方ニ移住スルヨリモ車口近境歐土ニ於ケル勞動ヲ求ムルニ反シ南部移民ハ大洋橫斷ヲ試ムルヲ常トス「Broughton Brandebourg」ノ著書「Imported Americans」ニ曰ク伊國移民ノ七割七九ハ常ニ東部ニ滞在セリ即チ百分率中七二、七「ノルス、アトランチック」一、四北中央地方、八、三西部特ニ「カリフォルニア」及「コロラド」ニ五、四ハ南中央地方ニ、二、二ハ南大西洋附近ニ滞在ス「エリヲットロルド」(「Eliot Lord」)ノ半官的著書「亞米利加ニ於ケル伊國民」中「伊國民カ米國ニ於テ田舎ヲ嫌忌スル主タル原因ハ米國民カ伊國民ノ言語ノ不通及其ノ習慣態度ノ野卑ヲ輕侮スルニヨリ伊民ハ事口都市ニ集マルナリト殊ニ伊國南部地方民ノ特性トシテ極メテ社會的ナルニヨリ多數外國人ノ中ニ圍繞セラレ各處ニ散在スルヲ好マサルト且工場ノ勞銀ハ農業收入ヨリ多キニ由ル者ノ如シ

伊國移民部會集中ノ原因

左レハ逆伊國移民ハ農民タルニ適セスト云フニ非ス伊民ニ由テ創設セラレタル Carolina Trucking & development Co. ハ紐育及「フライデルフイヤ」市場ニ於テ極メテ好評ヲ有シ「カリフォルニア」ニ於ケル伊國民ハ葡萄栽培及葡萄酒商業ニ最モ成功セリ、一八一七七年桑港商業會議所ノ公報ニヨレハ四五、六二五人ノ伊民ハ悉ク農業ニ從事シ二、七二六人ハ小作地葡萄園ヲ所持シ八三七人ノ商業獨立家ハ合計資本一七、九〇八、三〇〇弗ヲ有スト尙ホ幾多米人ノ著書ニヨレハ伊民ハ土地開拓、庭園家ニ適スルコトヲ記載セリ之ヲ要スルニ伊民ハ農業移民トシテ後來成功ノ見込十分ナリトス

第三 移民ニ對スル伊國政府ノ方針

有名ナル博士「フランチェスキニ」ガ其ノ著書移民論ニ述ヘタル如ク殖民ハ平和的手段ニ由ルモ將又武功的結果ニ出テタリトスルモ常ニ勝利ノ表章タリ而シテ最初ノ殖民ハ困難ノ之ニ伴フヲ常トス國家ハ移民ヲ常ニ指導シテ最モ良ク移民ノ利益アル地方ニ其ノ運動ヲナサシメ同時ニ中間投機者ノ暴利ヲ排斥スルヲ要ス

伊國移民保護政策ハ僅カニ三、四十年來ノ方針ニシテ此ヨリ以前ニ歐洲各國ハ既ニ其ノ政策ヲ取レリ英國殖民局(Colonization)ハ一八三七年ニ創設セラレ各種私設協會ノ援助ト相俟テ移民ヲ保護シ獨逸ニテハ一八四八年「フランク」

「ルト」國民的移民協會、其ノ翌年ニ「ハムブルク」殖民協會設立セラレ爾來常ニ移民保護ヲ中止セス、伊國ノ移民保護政策ハ此ノ如ク最近ノ方針ナルニ拘ハラス政府ハ致々トシテ其ノ保護ヲ忘ラス本項冒頭ニ述ヘタル處ハ先以テ政府現下大體ノ方針タリ、乍然移民ノ保護ハ過度ニ失スルコトナキヲ要ス何トナレハ過度保護ノ政策ハ慈善的ニ陷リ常ニ内國ノ弱者無能者ヲ他ノ外國ニ送リ某地點ニ於ケル困難勤勉ノ結果タル最初ノ殖民ヲ害スルニ至ル可ケレハナリ

一八八八年十二月三日伊國移民法ハ移民ノ行動ヲ牽制スル目的ヲ以テ移民取扱人ノ行動ヲ成ルヘク禁止スルノ方針ヲ取リシカ一九〇一年一月移民法ニヨリテ國家ハ移民ニ對スル政治的經濟的社會的保護ノ方針ヨリ中間者ニ對スル干渉主義ヲ採リ可成其ノ取扱人ノ暴利ヲ抑制センコトヲ期待セリ

舊法實施ノ當時ハ幾多ノ移民取扱人ハ全國ニ散在セル「エゼント」ヲ通シテ移民ヲ獎勵シ之ヲ船會社ニ送り船會社ハ一移民ニ對シ二十乃至五十「リール」ヲ謝誼トシテ取扱人ニ贈與シ其ノ結果常ニ移民ノ渡航費ヲ高メ移民ノ困難ヲ加ヘタルカ新法ハ之ニ鑑ミ仲間取扱人ハ其ノ箇人タルト會社タルヲ問ハス一切船會社ト移民トノ仲介者タルヲ禁止セリ

移民ハ又外國政府又ハ外國ニアル殖民會社ノ獎勵ニヨリテ人造的ニ増加セラレタル事實アリ假令ハ伯刺西「サンパウロ」州ノ如キハ特約ニヨリ移民渡航費ヲ償還セルカ如キ是レナリ其ノ結果移民ハ不健康地ニ送ラレ苛烈ノ勞働ニ服スルカ如キハ屢見ル處ナリキ之ニ鑑ミ一九〇一年移民法ハ航海會社ニシテ移民ヲ運搬セントスル者ハ政府ノ規定セル特種ノ條件ヲ遵守シ特許證ヲ得且一萬利ノ保證金ヲ納付セシム、而シテ政府ハ前以テ移民ノ行先ヲ知り得ルカ故ニ其ノ氣候、風土及勞働契約條項ヲ精細ニ調査シ渡航ノ許否權ヲ常ニ保留ス

自由移民
保護方法

自由移民ニ對シ政府ハ各種ノ手段ニヨリ保護ヲ加フ即チ(一)移民ノ郷里、(二)出帆港、(三)渡航船中、(四)到着先ニ於テ十二分ノ保護ヲ努ム其ノ保護機關ハ外務大臣ノ部下ニ移民局ヲ置キ移民總長一名移民官三名其ノ他多數ノ掛員ヲ置キ移民局ハ又朝野ノ移民經驗者ヨリ成レル高等移民會議ノ決議ノ下ニ行動ス

(一)移民ノ原籍地ニ於テ移民局ハ支部協會ヲ設立セシメ協會ハ其ノ地方ノ令望アル人々ヨリ成リ領事及外國通信者ノ報告ニ基キ一定ノ公報ヲ造リ時ニ外國移民地ノ狀況ヲ詳報シ同時ニ移民ノ旅券受領ノ手續ヲ簡易ナラシメ、(二)出帆港ニ於テハ政府ハ移民ノ往復者ニ對スル保護宿ヲ設ケ同時ニ兩替店其ノ他ノ暴利ヲ抑制スル方法ヲ講セリ特ニ「ナーブル」、「パレルモ」ニ於テハ外務大臣ハ全力ヲ盡シ保護宿ノ効果ヲ圖リツ、アリ、(三)移民運搬船内ニハ一名ノ海軍軍醫必ス之ニ乗込ミ醫師タルト同時ニ船内ニ於ケル移民官ノ權能ヲ有シ船長ト渡航者間ノ紛議ヲ裁決セシム、(四)渡航先ニ於ケル保護方法ハ其ノ國ノ政治的社交的状態千差萬別ナルヲ以テ其ノ方法モ亦極メテ複雜セリ
合衆國內ニ於テハ伊國移民官移民到著港ニ滞シ新到著ノ移民ノ各種ノ困難ニ對シ幫助ヲ與ヘ且不法ニ上陸ヲ禁止セラ

レタル場合ニハ抗議ヲ申込ム等頗ル有効ノ保護ヲ加ヘシカ米國政府ハ外國移民官ノ駐在スルヲ喜ハス終ニ國際問題トナリテ移民官カ本國ニ引揚ケタル以來右ノ保護ハ在米國伊國移民協會ノ代表者ニ委託スルノ止ムナキニ至レリ

移民局

移民局ハ伊國內外ニ於ケル移民保護ノ目的ニヨリ成レル私協會ニ保證金ヲ與フル方針ヲ取り同時ニ右協會ノ行動ハ政府及領事并ニ移民監督官等ニ於テ其ノ監視ヲ怠ラス右ノ移民監督官ノ或者ハ現時「ゼノア」、「ナーブル」、「パレルモ」ニ駐在シ移民渡航船舶ヲ臨檢シ且移民ニ對スル警察官ノ職務ヲ執行ス又或監督官ハ政府ノ命ニヨリ年々諸外國ニアル移民労働地ヲ巡視ス、一昨年一移民官ハ加奈太ニ於ケル伊國人ノ鐵道工事労働及「マニトバ」州ニ於ケル農業労働、墨西哥及合衆國ノ南大西洋區域及玖馬ニ於ケル野菜及砂糖栽培ニ從事セル移民ノ状態ヲ視察シ又他二名ノ監視官ハ伯刺西爾ヲ巡視シ伊國移民ノ悲惨ナル状態ヲ報告シ他ノ監視官ハ南亞弗利加ニ於ケル伊國民カ黑人及支那人ノ競争ニ堪ヘサルヲ報告シ他ノ一名ハ佛國內ニ於ケル玻璃工場ヲ巡視シ右工場被備人タル伊國兒童取扱ニ對シ重大ナル改良ヲ備主ニ承諾セシメタリ

移民局支

數年前ヨリ伊國ハ瑞西「ジュネブ」及獨逸「コロシ」ニ支部ヲ設置シ「コロシ」支部ハ獨逸全國ニ互ル伊民ヲ保護スルニ不充分ナルヲ以テ更ニ伯林ニ通信者ヲ設ケタリ、此ノ支部ハ領事、労働者團體、移民保護協會、瑞西官憲及一箇人幫助ヲ得テ絶ヘス労働者ノ需要其ノ他萬般ノ状態ヲ探知シ公報ヲ造リテ移民保護協會及時トシテ移民取扱人及新聞ニ之ヲ送付ス此ノ公報ハ移民ノ働先ヲ指導シ同時ニ無職業者ニ労働ヲ與フル點ニ於テ重要ナル效果ヲ奏シツ、アリ移民局支部ハ同時ニ移民ノ衛生状態ヲ調査シ必要ノ場合ニハ移民ニ代リテ工場主ト交渉シ損害賠償ヲ請求ス「ジュネブ」支部ガ一九〇四年ヨリ一昨年迄ニ賠償金ヲ得タル高二百萬法ニ及ヘリ

伯林ニ於ケル支部通信者ハ特ニ獨逸國內ニ於ケル獨逸人ヨリ誘拐セラレル違法移民ヲ監視シ瑞、伊國境「キアソ」ニ於ケル移民官ハ國境通過ノ移民ニ保護ヲ加ヘツ、アリ「ツウリヒ」ニ於ケル領事ノ稟請ニ基キ移民局ハ一九〇五年來同地ニ移

民寄宿舎ヲ設ケ領事ノ監督ノ下ニ行動セシメ政府ハ年額五千乃至六千利ヲ補助ス
 合衆國內ニ於テハ紐育市ニ伊國移民局 (Italian Emigration office) アリ慈善移民局ト協同シ同市ノ伊國勞働民ヲ監視シ且伊國
 ニ歸還スル勞働者運搬船舶ニ對スル伊國法ノ適用ヲ監督ス其ノ他領事ニ附屬スル調査部アリテ移民局ヨリ年額三萬法ノ
 補助ヲ受ケ伊國勞働者ニ最必要ナル法律上ノ保護ヲ加ヘ且不法ナル兩替商ノ行動ヲ監視ス
 其ノ他「フライデルフイア」、「ニユオルレアンス」ニ移民支部アリテ同様ノ保護ヲ加ヘ「シカゴ」、「デンヴァア」、「桑港」、「ボス
 トン」ハ刻下領事ニ於テ其ノ職務ヲ取リツ、アルモ行々ハ移民局支部ヲ設ケル筈ナリト云フ
 伯刺西爾及亞爾然丁内ニ於テハ政府ハ一層直接ノ方法ニヨリテ移民ヲ監督ス即チ同國內ニハ最初ハ私人タリシカ今ハ領
 事ニ附屬セル Patronages アリテ政府ノ補助金二萬四千利ヲ以テ最モ重要ナル保護即チ保人ノ不法、兩替商ノ暴利ヲ防止
 シ伯刺西爾政府移民局ト不絶交通ヲ保チ新渡航者貧困者ヲ臨時保護院ニ入ラシム「サントス」ニ於ケル支部ハ年額六千利
 「リヲジャネル」支部ハ一萬八千利ノ補助ヲ以テ發着勞働者ヲ保護シ「ブエノザイル」保護者ハ年額補助二萬五千利ヲ以
 テ伊國貧民ノ宿所食料被服及汽車船舶ノ無料通過等ヲ取計ヒ居レリ其ノ他「ロサリヲ」、「バラナ」及「コルドバ」ニモ同様
 ノ保護者アリ伯刺西爾國內ニハ定住移民官アリテ不絶補助ヲ要スル伊民勞働先ヲ巡視ス政府ハ又小學教員ニ俸給ヲ給シ
 遠隔地方ニ於テハ之ニ移民官ノ權能ヲ與フ其ノ他政府ノ費用ニテ藥店ヲ設ケ醫師ニ保護金ヲ與フ亞爾然丁及「ウルガイ」
 ニハ許多移民小學及高等教育ヲ施ス學校スラ設置セラル、バラグワイ」ノ Assunção ニハ移民保護ノ組合アリテ移民局ハ
 之ニ年額三千利ノ保護ヲ加フ之ヲ要スルニ移民局ノ費用ハ各汽船會社カ移民一箇人ニ付八利ノ割ニテ納付スル金額ヨリ
 成リ會社ハ之ヲ船賃ノ一部トシテ各移民ニ賦課スルヲ以テ結局移民局ノ費用ハ移民ノ負擔ニ係ル最モ大陸ノ移民ノ費用
 ハ之ト異ナリ各移民カ三ヶ年有効ノ旅券下付手数料二利(一九〇九年十一月以來)ヨリ成立ス

第四 移民反對意見

前世紀ノ末頃伊國特ニ其ノ南部ニ於ケル移民ノ數益々増加セントスルヤ大地主間ニ非常ニ恐慌ヲ來シ耕作勞働者ノ欠乏
 ハ引テ所有地ヲ荒蕪ニ歸セシムルモノトシ政府モ亦移民流出禁止ノ方針ヲ採ラントシタル事アリキ
 伊國移民ニ關スル著者 Gioja, Minghetti Carpi, 等ハ其ノ議論ノ中心點ヲ凡テ「移民ハ伊國ヲ沈淪セシム」トノ辯見ニ置キ
 殊ニ合衆國及伯刺西爾ニ於ケル伊國移民ノ慘狀ヲ列舉セリ
 佛國經濟家「セービーセイ」曰ク毎年十萬人ノ移民ノ各自カ多少ノ貨幣ヲ有シ國境ヲ出ルハ恰モ十萬ノ内國兵士ニ武器ト
 糧食ヲ給シテ外國ニ放棄スルト同様ノ結果アリトシ英國經濟學者「ウエークフィールド」ハ毎年七萬五千ノ壯丁ヲ海外ニ流
 出スルノ結果數世紀ノ終リニ英國全體ノ人口減退ヲ來スヘシト痛論セリ
 伊國高等移民會議員ノ一人タル Villari 氏曰ク移民カ其ノ持歸レル富ニヨリ其ノ郷里ヲ繁榮ナラシメタリ (假令ハ伊國內)ト
 ノ議論ニ對シテハ予ハ極メテ悲觀的ノ眼ヲ以テ之ヲ觀察ス何トナレハ移民ハ其ノ歸國ト共ニ飲酒及放浪ノ生活ノ惡癖ヲ
 順朴ノ民ニ傳播セシメ加フルニ多年痼疾ノ氣候中ニ生活セシ結果其ノ健康ヲ害スルコト夥シ、氏ハ結論シテ曰ク移民ノ
 郷里ニ發狂的病氣増加シ兵役應募者ヲ減シ加フルニ其ノ郷里ノ一般衛生減退スルヲ常トスト
 移民ハ許多ノ金額ヲ海外ニ持去ルトノ反對論及移民モ亦一ノ資本ナレハ國境外ニ流出セシム可ラストノ論點ニ對シ伊國
 移民學者「フェルラ」答ヘテ曰ク移民カ其ノ郷國ニ於テ資本ト稱スルヲ得ヘキハ單ニ之ヲ生産的ニ使用シ得ヘキ場合ニ限
 ル加フルニ移民カ年々本國ニ送還スル金額及移民増加ニ伴フ海外貿易ノ増加ハ年々移民ノ携帶流出スル金額ヲ補フテ餘
 リアリ (統計ニヨレハ一九〇五年ニ於ケル移民
 ノ海外ニ持去ル金額千三百萬法ナリ)
 氏又曰ク歸國ノ移民ハ出發ノ移民ニ比シ其ノ教育ノ程度及社會上ノ地位遙ニ發達シ居ルヲ常トスト、現伊國農商務大臣「
 ニツチ」曰ク移民ノ増加ハ南部強盜ヲ減シ且外國ニ於ケル小兒販賣ノ惡弊ヲ著ク減セリト
 之ヲ要スルニ移民ニ關スル主タル反對論ハ左ノ數點ニ歸ス巨多ノ移民アリテ其ノ郷土ニ於ケル壯丁ノ減少ハ其ノ結果假
 令ハ「カラブリア」、「サルデニア」中部伊太利及北部伊太利「ヴェニス」州ニ於テ之ヲ見ルカ如ク若シ移民カ永久ノ場合

ニハ其ノ郷土ニ於ケル出生率ハ死亡率ニ及ハス又移民カ臨時的ノ場合ニハ郷土ノ土地ハ僅カニ婦人ニヨリテ耕作セラル此ノ兩者何レニシテモ郷土ノ農業ハ放棄又ハ等閑視セラル、ノ結果ヲ來タス
右ノ論據ニ資スル爲メ左ニ一八八一年及一九〇一年ニ於ケル人口調査表ニヨリ人口百人中二十一才乃至五十才ノ男子數ヲ比較スルニ左ノ如シ

	1881	1901	1881	1901
Piemont	38.69	35.72	Liguria	35.03
Lombardy	40.82	36.10	Venetia	39.03
Emilia	40.85	35.05	Toscana	40.32
Marche	38.72	32.92	Ombrie	39.58
Pouille	41.21	36.57	Basilicata	38.90
Calabria	40.05	31.56	Sicilia	40.66
Sardegna	40.08	34.61	Lazio	47.58
Abruzzi	38.77	31.82	Campania	40.54
計全國	40.29	35.59		33.96

右ニ付幾多ノ論客中移民ヲ禁止セスシテ寧ロ國內農地法制改良ヲ説ク者少ナカラス之レ一理ナキニ非サルモ去リ乍ラ不耕作地(中部)ハ左程ニ重要視ス可キ者ニ非ス何トナレハ此等ノ土地ハ全部悉ク開拓ニ適スル地ノミナリト稱スルヲ得ス其ノ耕作ニ適スルハ極メテ少部分ニ過キサレハナリ(統計學者ノ計算ニヨリハ十萬ノ壯丁ハ右ノ不開拓地ヲ耕スニ餘リアリト云フ)
移民流出ノ結果農業労働賃銀増加シ地主ニ損害ヲ加フルトノ非難ハ若シ此ノ如キ事實アリトスルモ國家經濟上寧ロ喜フヘキ現象タリ且地價ノ減少スルコトアリトスルモ之レ歸郷ノ移民ニ若干ノ土地購買ノ機會ヲ供シ是又悲觀スルニ足ラス(事實ハ之ニ反シ移民ノ性復最モ昂ナル地方ニ於テ其ノ移民住居地ニ接近ノ土地地價需要ノ盛ナル爲メ三倍ニ上ル)
假ニ移民カ如上ノ損害ヲ國民ニ與フルトスルモ飢ニ死セントスル壯丁ニ告クルニ愛國心ノ必要ヲ以テシ土地開拓ノ緊切ヲ説スルモ以テ彼等ノ海外移住ヲ防止スルヲ得ヘキ乎、土地其ノ物ハ彼等カ愛着スル處ナルモ地主ノ貪慾、富者ノ高

利貸等相俟テ彼等ニ土地所有ノ機會ヲ與ヘス移民ヲ防止セントセハ其ノ根本ノ原因即チ國民多數ノ無教育、租稅制度ノ缺點資本ノ貪慾等ニ向テ改良若ハ制裁ヲ加フルヲ要ス
其ノ他ニ注視ヲ要スル點ハ伊國民カ一旦海外ニ殖民地ヲ建設スルヤ同時ニ伊國ノ顧客トナリ又競争者トナル事是ナリ密柑、「シトロン」ノ栽培ヲ「カリフォルニア」及「フロリダ」ニ葡萄栽培ヲ「アルゼンチン」ニ盛ナラシメタルハ伊國民ナリ此ノ如キ伊民及其ノ兒孫ニ對シ本國ニ對スル愛着心ヲ永久ニ保持セシメントスルハ蓋シ不可能ノ事タルヘシ
移民ニ伴フ他ノ困難ハ臨時的移民ノ場合ニハ移民中立人カ不當ノ暴利ヲ占メンカ爲ニ將ニ本國ヲ出發セントスル移民ニ虛偽ノ移民地ニ關スル報道ヲ與フル事ナリ又永久の移民ノ場合ニハ外國ニ於ケル乞丐の放浪の生活、野合の結婚、兒子ノ放棄是ナリ是等ニ對シ移民官及領事ハ尙一層ノ保護ヲ加フルコト必要ナルヘシ
反對論者又曰ク伊國民ハ其ノ性來極端ニ節約的ニシテ海外ニ於テ富ヲ造リシ者モ尙ホ舊來ノ貧民の生活ヲ持續シ紐育市ニ於ケル多數ノ伊民ハ伊國內ニ於ケルヨリモ尙ホ一層劣等ノ生活狀態ヲ保チ居レリト左レトモ諸外國著書及米國政府ノ公報ニヨルモ特ニ南米ニ於ケル伊民ハ其ノ勤儉ト忍耐ト相俟テ最良ノ土地労働者タリト信ズ
又伊國政府ハ自國內ノ最惡民ヲ輸出スルコトヲ獎勵シツ、アリトノ米國內ノ非難ニ對シ伊國移民官ハ公報ニ於テ一九〇一年ノ伊國移民條例ヲ引證シ答テ曰ク伊國移民局ノ目的ハ寧ロ移民ヲ制限シ同時ニ内外國ニ於ケル移民虐待ヲ制止シ諸外國移民會社ニシテ其ノ本國ニ於ケルヨリモ低廉ナル賃銀ニテ移民契約ヲナスヲ絶對ニ禁止シ一九〇四年六月改正法ニヨリ特許移民渡航汽船會社ノ數ヲ制限セル事等ヲ列舉セリ
前記伊國移民官ハ更ニ附言シテ曰ク米國ハ一移民ノ養育料平均千弗ヲ費サスシテ其ノ労働ヲ收穫セリト、曾テ「ユルリス」島ニ駐在セル一移民官曰ク健全ナル一移民ノ流出ハ歐洲ノ損失ニシテ米國ノ利益ナリト
「アンドロリユ、カルネギー」曰ク予ノ實驗ニヨレハ予ハ伊國民ヲ尊敬シ最良ノ移民トシテ之ヲ歡迎スト

第五 伊國內外ニ於ケル移民ニ關スル慈善的圖體

第五 伊國內外ニ於ケル移民ニ關スル慈善的圖體

移民保護ニ關スル私設慈善團體ハ其ノ事業年々廣大トナリ且其ノ効果ヲ加フ例ヘハ「チウリシ」ニ本社ヲ有スル(一)歐洲及土耳其ニ於ケル伊國移民保護協會(二)「ブレイヤンス」ニアル大西洋外伊國移民保護協會(三)「ミラン」ニアル伊國移民保護團體等ハ内外國ニ無數ノ支團體ヲ有シ獨リ伊國移民ノ保護ノミナス又其ノ教育ヲ獎勵ス此等團體ハ移民局ニ對シ莫大ノ助力ヲ與ヘ政府モ亦之ニ金錢上ノ補助ヲ給シ移民ニ關スル報道ヲ交換ス今其ノ事業ノ一例ヲ示サンニ

(一)ノ團體ハ一僧侶ニヨリテ建設セラレ政府ヨリ年額補助三萬乃至四萬利ヲ受ケ内外國ニ永久ハ臨時支團體ヲ有ス、瑞西國內ノミニテモ其ノ支團體十二ヲ超過ス「パウル」ノ支團體ハ職業照會所經濟的料理店、無料寄宿舎及貯金局ヲ設ケ「ルセルン」ニハ伊國小學校、巡回圖書館及貯金局アリ「サンガル」ニハ小學校及青年女子寄宿舎アリ「デユネーグ」「ローザンス」「ツウリツヒ」「シャウハウゼン」等ニモ同様ノ設備アリ獨塊各國内ニモ同様ノ支社ヲ設ケアリ歐洲内ニ於ケル移民保護事業ハ瑞西ノ一例ヲ學ケ置キ更ニ轉シテ海外諸國ノ保護例ヲ舉ケンニ紐育市ニ於テハ合衆國東部ニアル多數ノ伊國移民保護ノ爲ニ此ノ種ノ團體ハ特ニ其ノ必要ヲ加ヘ一八八九年ニ「Italian Home」一八九一年ニ「Societa di San Raffaele」設立セラレシカ一九〇五年ニ兩者合併シ移民官ノ監督ノ下ニ行動スルコトニ決シタル以來現時同市ニ存在スル慈善團體ハ「Society for Italian Immigrants」アリテ政府ヨリ年額補助三萬乃至三萬五千利ヲ受取り新來ノ移民ニ對シ必要ナル各種ノ報道ト方針ヲ授ク此ノ協會員ハ主トシテ米國側ノ人々ヨリ成立シ特別ノ一家ヲ所有シ發着ノ伊民ニ對シ極メテ廉價ニテ食料及旅宿ノ便ヲ供ス(二)「Italian Benevolent Institute」ハ主トシテ伊國人側ノ會員ヨリ成立シ年額二萬五千利ヲ以テ主トシテ移民ノ病氣ニ對シ入院其ノ他治療上并ニ各種必要ノ補助ヲ加フ一九〇八年米國恐慌ノ當時此ノ協會ハ移民ニ對スル養料無料給養ニテ一ヶ月一萬利ノ割ニテ支出セリ之ニ附屬ノ「モルガー」ニ病院ニハ貧困病者ヲ無代治料ス(三)「サンラア」ニ「アエル」協會ハ八千利ノ年額補助ヲ以テ婦人及小兒ノ無代保護ヲナシ(四)「コロムビヤ」病院ハ五千利ノ補助ヲ得テ病者ニ保護ヲ加フ最後ニ設立セラレタル(五)「Labour information bureau for Italians」ハ米國政府ノ「Division of Information」ノ機關トシテ行動シ勞働者ニ職業周旋ノ勞ヲ執リ移民ヲ適處ニ指導スルコト及移民仲立人ノ暴利ヲ抑制スル等其ノ活動著シク

府ハ之ニ對シ年額十五萬利ヲ與フ其ノ他「ポストン」「シカゴ」「ピッツブルグ」「ニユオルレアンス」「デンヴァー」「モントリオール」「サンバウロ」等ニ於ケル同様ノ施設ハ年々其ノ活動ヲ加ヘツツアリ

第六 移民ノ利益ノ爲ニ政府カ航海會社ニ對シ下セル命令條件

航海獎勵法ハ伊國現時ニ於ケル議會ノ一大問題タリ左レ其未タ其ノ決議ヲ見サル今日ニ於テ同法ト移民ノ關係ヲ詳論スルハ蓋シ不可能ノ事ニ屬ス「ベットロ」航海獎勵法案ハ貨物ハ及旅客運送會社ニ對シ補助ヲ與フル條件中移民ノ運搬ヲ其ノ條件中ヨリ除外セリ右法案ノ主旨ハ若シ移民運搬カ補助下付ノ一條件タル場合ニハ各航海會社ハ相競フテ移民ヲ獎勵シ其ノ結果現行移民法ノ精神ニ背反スルニ至ルヘキヲ怖ルレハナリ急進派總理ニシテ此ノ種ノ問題ニ精通セル議員「バシタフ」氏曰ク國民ハ自家ノ手中ニ移民運搬問題ヲ納メ結局移民ニ轉嫁スヘキ最少ノ費用ヲ以テ國家ニ最大ノ利益ヲ與フル様移民ヲ指導保護セサル可ラスト

年々往還ノ移民數約五十萬人ニ達スル移民ノ運搬ハ伊國航海上ノ一大問題ナリ刻下運賃中三千萬利ハ外國會社ノ手中ニ掌握セラレ伊國ハ現時之ヲ自己ノ手中ニ收ムル事最大ノ急務タリ左ニ參考トシテ内外航海會社カ移民送還數ヲ示ス

1904		1900	
國籍	船數	船數	船數
伊	5	37	40,000
佛	2	19	7
英	3	11	44
美	2	5	20
西	1	7	3
其他	1	7	12
船主	5	18	9
外人船主	60	60,000	7
外國人計	17	97	44
		100,000	65,000
		16	20
		95	12
		135,000	9
			7
			3

以テ伊國船カ移民運搬ニ對シ漸次外國船カ手中ヨリ之ヲ自己ノ手中ニ納メ伊國現行法ノ規程ニ合格セサル外國船カ

ヲ驅逐スル状態ヲ見ルニ足ル

航海會社カ移民運搬ヲナサントスルニハ特別法ニテ制定セル條件ニ遵ヒ左記ノ件々ヲ記入シ移民局ニ願出ルヲ要ス(一)船
舶噸數(二)航路(三)寄港地(四)運賃、外務大臣カ右ノ出願ヲ許可セル場合ニハ會社ハ資本金每百萬利ニ對シ百利ノ割ニテ五百
利乃至三千利ノ特許許可稅ヲ納ムルヲ要ス此ノ他ニ外國會社ハ伊國代表者氏名ヲ届出テ併セテ伊國現行法ヲ嚴守スル旨
宣誓スルヲ要ス募集移民運搬ノ特許ニ付テハ政府ハ嚴密ナル調査ヲ遂ケタル後十二分ノ保證金ヲ提供セシメ各箇ノ場合
ニ之ヲ許可ヲ與フ此ノ如クシテ移民局ハ航海會社ニ對シ其ノ許可條件トシテ航海狀態、安全速度、各渡航人ノ占ムル場
所、衛生、食物等ヲ命シ爾來移民ノ取扱ハ大改良ヲ加ヘタリ

移民渡航運賃ニ付テハ外務大臣ハ各會社ノ申出ニヨリ毎三ヶ月毎ニ之ヲ制定シ且同一ノ場所ニ達スル運賃ハ各會社共均
一ニシテ之ヲ變更スルヲ許サス若シ運賃均一ナラサル場合ニハ或會社ハ最後ノ瞬間ニ運賃ヲ低廉シテ移民ヲ自己ニ吸收
シ其ノ結果彼等ニ對スル取扱ヲ低廉スルニ至ル可ケレハ也航海會社ハ尙代表者支店ノ行爲ニ付テ政府ニ對シ責ヲ負ヒ且
伊國內ノ港灣又ハ「ハーヴル」以外ノ諸港ヨリ移民ヲ運搬スルヲ得ス但シ移民ノ到着スルコト極メテ少キ地方ニ限リ政府
ノ特許ヲ得テ他ノ港ヨリ出帆スルヲ得政府ハ此ノ如クシテ出發ノ移民ニ對スル監督ノ注視ヲ懈ラズ

第七 新法規ニ從ヒ「ナール」銀行カ移民ニ對シ負ヘル特種ノ義務

一九〇一年一月移民法ノ制定前ヨリ「ナール」銀行ハ紐育、桑港及「サンパトロ」ノ三銀行ト連絡ヲ通シタリシカ該法制
定後該銀行ハ移民貯金ノ蒐集、送金及貯金ノ利用、移民ノ勘定トシテ小切手支拂等ノ業務ヲ執ルニ至レリ
一八三九年來該銀行ハ二百萬利ノ特別資金ヲ以テ如上ノ銀行業務ヲ執リ其ノ利益ヲ該行ト移民局之ヲ折半スルコトトセ
リ

其ノ連絡銀行及其ノ代表者トノ連絡及其ノ取引歐洲諸銀行ノ伊國中央金庫トノ關係ト相俟テ該行ハ一利乃至千利ノ手形
又ハ二百、三百、五百、千利ノ確定手形ヲ發行ス此ノ手形ハ相當保證金ノ準備アルカ故ニ伊國紙幣ト同様ノ價格ヲ維持シ

伊國內ノ諸銀行及支店ハ直ニ額面相當ノ金額ヲ支拂フ

送金人ニシテ右ノ手形ヲ銀行内ノ貯金局ニ送り貯蓄セントスル場合ニハ之ヲ無手数料トシ其他ノ場合ノ手数料額ハ郵便
電信大臣之ヲ制定シ尙其爲替相場ハ銀行ニ於テ嚴密ニ之ヲ定ム

伊國々内ノ郵便局ハ右送金手形ヲ直ニ貯金トシテ受取り若ハ内地ニ於ル郵便爲替手数料ノ半額手数料ニテ爲替送金ヲ取
扱ヒ又ハ現金支拂ニ應ズ「ナール」銀行ハ尙ホ此他ニ受取人ノ署名セル受取證ヲ送金人ニ送付ノ義務ヲ負フ該銀行ハ大
藏省監督ノ下ニ送金ニ關スル公報ヲ毎月及各會計年度末并ニ各種ノ時期ニ於テ之ヲ發表シ且可成其支店ヲ海外ニ増設ス
ルコトヲ努ム近年紐育市ニ一支店ヲ設立セリ銀行ハ又伊國出發ノ移民ニ對シ相當ノ伊貨ヲ提供セシメ米貨小切手ヲ交付
シ以テ兩替商ノ暴利ヲ占ムル事ヲ抑制ス

第八 移民ニ關スル統計

伊國移民統計ハ主トシテ移民ニ交付セル旅券數及伊國港灣及「ハーヴル」ヨリ出帆セル三等旅客表ニヨリテ編成セラル此
統計表ヲ簡人ノ編成セル伊國港灣出發統計表及他ノ歐洲諸國ノ港灣ヨリ出發セル伊國民ニ關スル統計表ト比較計算スル
ニ毎年大西洋ヲ渡航スル移民ハ先以テ平均二十七八萬人ト見積リ得ヘシ今之ヲ諸外國ニテ編成セル統計表ト對照スルニ
大差アリ米國丈ニテモ其統計數伊國側ノ統計ヨリモ三萬人以上増加シ居レリ此等統計不完全ナル原因ハ「ハーヴル」以外
ノ諸港ヨリノ渡航者ハ之ヲ實査スルコト難ク加フルニ一旦甲國ニ渡航セル伊國民カ現行法ノ規定ヲ逃レ更ニ第三國ニ轉
住スル事多キ事實ニ起因ス

次ニ伊國移民、渡航先統計表(次ニ添付セ)中備考トナルヘキ點左ノ如シ

一九〇三年迄ニハ伊國移民ハ歐洲及海外諸國ニ於ケル永久及臨時ニ區別シアリシガ同年後ハ其區別ヲ廢セリ

(A)ハ一ヨリ十三及十五ノ合計數ナリ

(B)ハ十四ヨリ二十六迄ノ中十五ヲ除外セル數ナリ

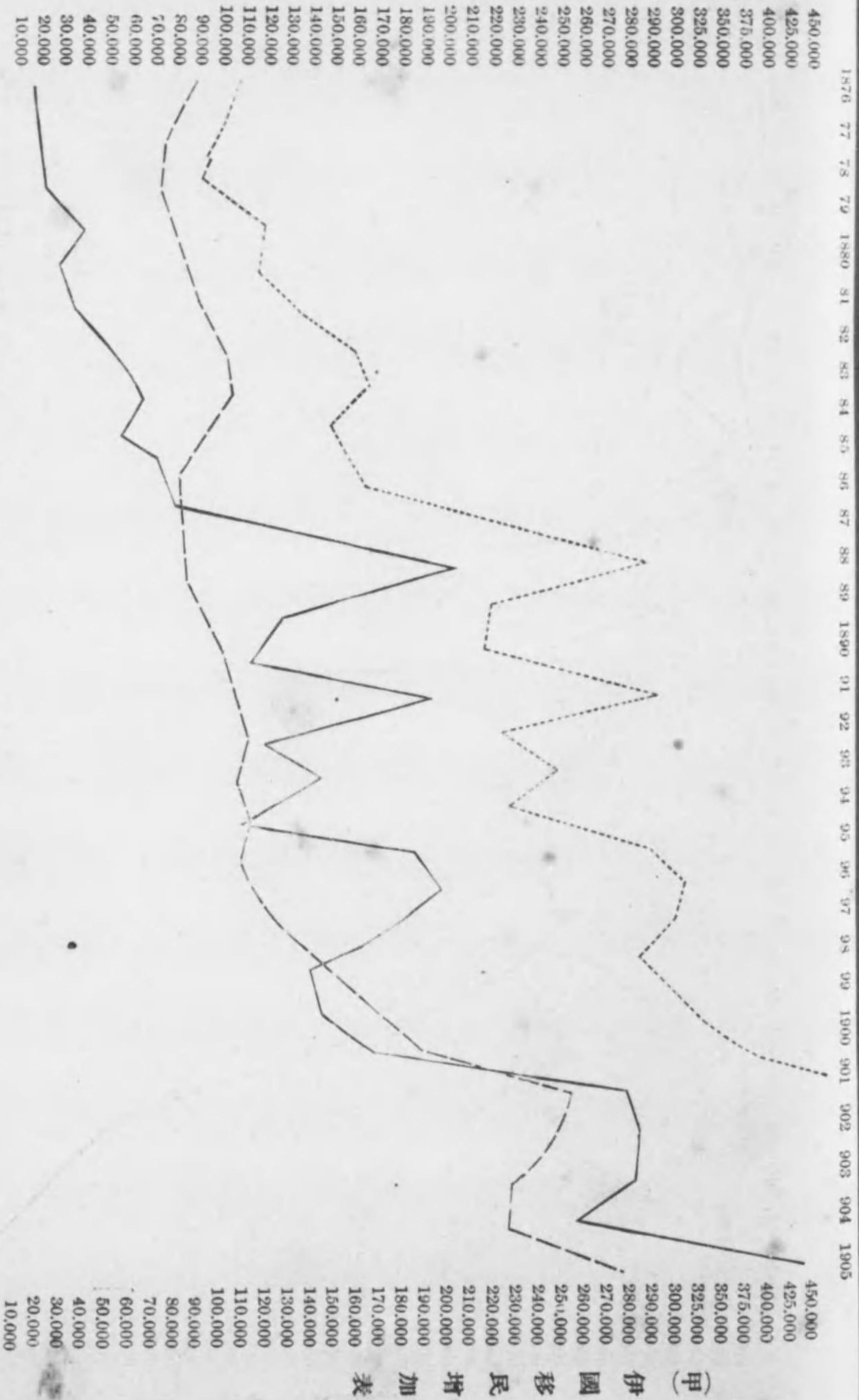
(C)「ルグセ」ハ一九〇三年迄ハ獨逸中ニ計算セリ

第七 新法規ニ從ヒ「ナール」銀行カ移民ニ對シ負ヘル特種ノ義務 第八 移民ニ關スル統計

- (D)「トリゴリー」ハ一九〇四年後ハ埃及中ニ計上ス
- (E)亞細亞土耳其ハ同年後ハ別ニ計上セリ
- (F)中央「アメリカ」ハ一九〇三年迄ハ「メキシコ」ト併合計算セリ
- (G)「アンチュー」ハ一九〇四及一九〇五年度ハ「ヴェネツウラ」ト共ニ計上セリ
- (H)巴拿馬ハ同年度ニハ中央「アメリカ」ト共ニ計上セリ
- (I)二以上ノ諸外國渡航ヲ請求セル移民ナリ

添付統計表左ノ如シ

- 甲、伊國移民増加表
- 乙、南北米ニ渡航セル伊國移民表
- 丙、諸外國ニアル伊國民表
- 丁、伊國移民出稼先表 二
- 戊、歸國移民表
- 己、伊國人口、移民及出生、死亡表以上



第八 移民ニ關スル統計

(丙) 諸外國ニアル伊國民表

第八 移民ニ關スル統計

EUROPE	1881	1891	1901
Allemagne	7,096	15,411	69,760
Autriche	39,357	46,312	63,064
Belgique	1,153	1,709	3,543
Bosnie-Erzégovine	726	614	5,500
Espagne	8,825	3,877	5,058
France	240,733	295,741	291,886
Grande-Bretagne et Irlande	8,831	12,117	30,222
Grèce	3,273	7,474	11,000
Hongrie	4,518	5,886	9,046
Roumanie	1,762	5,300	8,841
Russie d'Europe	2,938	3,200	3,423
Serbie	496	30	541
Suisse	41,645	41,881	117,059
Turquie d'Europe	11,781	12,812	15,321
Autres pays	7,278	9,479	19,784
Total	380,352	461,843	654,053

AFRIQUE	1881	1891	1901
Abyssinie	11	12	34
Algerie	33,693	15,165	33,791
Congo		60	170
Egypte	16,302	29,000	38,000
Erythrée			1,674
Maroc	130	50	70
Possessions anglaises	79	280	5,250
Tripolitaine	722	595	704
Tunisie	11,106	30,000	83,000
Autres pays	160	50	144
Total	62,203	75,212	167,837

ASIE	1881	1891	1901
Chine	143	158	418
Indes anglaises	841	549	1,010
Turquie asiatique	5,622	7,693	8,906
Autres pays	925	202	307
Total	7,531	8,602	10,641

OCEANIE	1881	1891	1901
Australasie britannique	2,535	4,309	6,096
Autres pays	436	96	45
Total	2,971	4,365	6,141

AMERIQUE	1881	1891	1901
Argentine	254,388	452,000	618,000
Bésil	82,196	554,000	1,100,000
Canada	1,849	6,738	10,901
Chili	3,078	10,300	7,587
Cuba	2,406	3,500	1,607
Etats-Unis	170,000	286,520	729,248
Mexique	6,103	5,000	5,000
Paraguay	3,000	1,800	4,000
Pérou	10,000	4,511	12,000
Uruguay	40,003	100,000	100,000
Venezuela	3,237	4,237	7,981
Autres pays	3,075	4,578	4,018
Total	579,335	1,433,184	2,500,342

Total général	1,032,392	1,938,206	3,439,014
---------------	-----------	-----------	-----------

(乙) 南北米ニ渡航セル伊國移民表

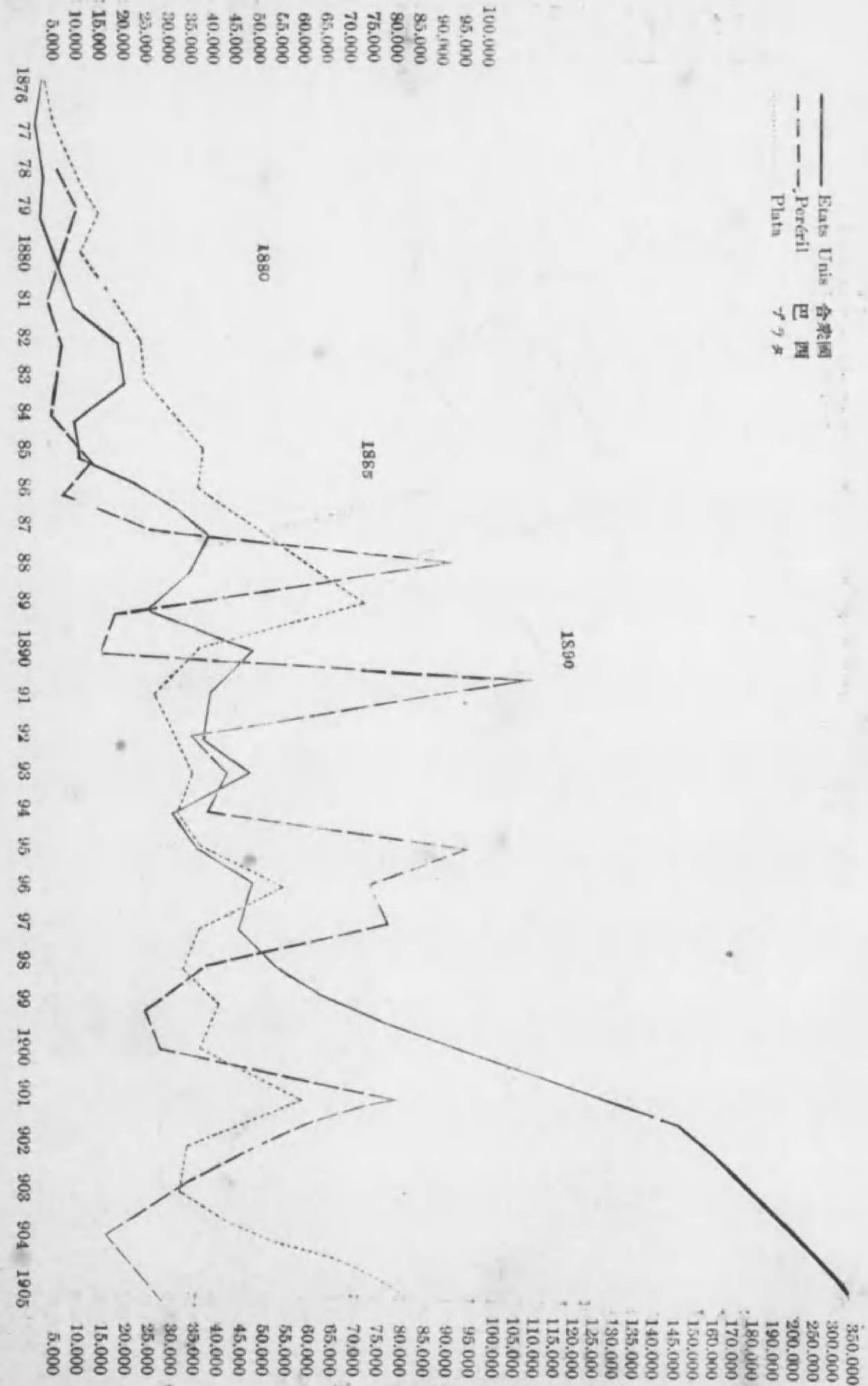


Table with columns for years 1901-1909 and rows for various countries and regions including Allemagne, Autriche-Hongrie, Belgique, Espagne, France, etc. Includes sub-totals for Europe, Asia, and Oceania.

(丁) 伊國移民先出

(戊) 歸國移民表 (伊國港灣及「ハーブール」到着者統計表)

Table showing return immigration statistics for 1902-1908, categorized by country (Plata, Brésil, Etats-U., Aut. Pays) and type of return (Retours, Départs, Proportion).

(己) 人口并移民及出生表

Table showing population, immigration, and birth statistics for 1902-1908, with rows (a) through (i) representing different demographic metrics.

- (a) 一月一日ニ於ケル伊國人口
(b) 出生
(c) 死亡
(d) 移民(不確定期間移住者)
(e) 移民歸國者及其他ノ外國ニ歸國者
(f) 出生ノ死亡ニ對スル超過
(g) 移民ノ歸國者ニ對スル超過
(h) 十二月三十一日ニ於ケル人口
(i) 人口千人ニ對スル増加率

第九 移民ノ送金額

移民カ其蓄財ヲ本國ニ送付スルニ際シ各種ノ機關ヲ利用スルカ故ニ其送金額ヲ精細ニ調査スルコト極メテ困難ナリ「ナ
 ーブル」銀行ノ送金取扱額即移民カ同行ノ支店又ハ「コレスボンデンス」ヲ經テ送付スル額ハ一九〇一年來年々増加スル
 事實ナリ左レトモ同行ノ支店設置未タ普及セズ從テ移民カ萬國郵便爲替又ハ相識ノ私設銀行家ヲ經高キ手数料ヲ支拂ヒ
 テ送金スルモノ尠シトセズ兎モ角一九〇二年ヨリ一九〇九年迄ニ移民ガ「ナーブル」銀行ヲ經テ送金セル額二億五千萬利
 ニ達ス

萬國郵便爲替ニ付テハ伊國側ヨリノ振出爲替ニテ外國ニ於テ支拂ハルヘキ金額二千五百萬乃至三千萬利ニ對スル伊國內
 ニ於ル外國爲替支拂高二億五千萬利ニ達ス此金額ノ大分ハ實ニ移民カ其ノ零細ノ貯金ヲ郵便爲替ニヨリテ家族ニ送付ス
 ル年額ヲ代表ス此他貯金局 (Caisse d'Epargne) 郵便局其他ノ機關ニ貯蓄セル金額一九〇八年末ノ調査ニヨレバ三十六億三千
 八百萬利ニ達セルガ此レ實ニ移民ノ送金ヨリ成レルモノトス此他ニ諸外國郵便局ハ伊國人ノ勘定トシテ預ル年額八千萬
 利ノ多數ハ又移民ノ貯金ナリ其他貨幣封入郵便及書留書狀ヲ計算スルニ前者ハ年額七千萬利後者ハ二千萬利ト見積リ得
 ヘシ

此ノ如ク移民貯金額ノ増加ハ以テ移民カ母國ニ對スル愛國心ノ強キヲ示スニ足ル一九〇一及一九〇二ノ兩年度ニ於ケル
 瑞西國振出ノ郵便爲替高ノ伊國內ニテ支拂ハレル金額八百五十萬利ニ達セルガ此中伊國ヨリ瑞西ヘノ輸出高二十五萬
 利ヲ差引ケル殘額八百二十五萬利ハ單ニ瑞西一國ニ於ル伊國労働者ノ蓄積額ナリ「フランチエスキニー」ノ調査ニヨレバ
 伊國労働者カ「シムプロン」墜道労働ニヨリテ得ル貯蓄高毎月平均三萬利ニ達ス
 教授「ローレンゾー」ニ「調査ニヨレバ「シシリ」島丈ニテモ一九〇七年ニ涉ル移民ノ送金額八千八百萬利歸國民ノ現金
 持歸リ高千八百萬利合計一億六百萬利ニ達ス
 高等移民局評議員「フアルチユナート」氏本件ニ付テ論シテ曰ク飢饉ト重税ニ責メラレ國外ニ移住セシ伊國民ハ尙望郷ノ

念ノ禁シ難ク若辛慘憺タル労働ノ結果ヲ本國ニ送付ス其額ニ汗セル賃金ノ蓄積ニヨリ伊國ハ奇蹟的ニモ公債借換ノ大業
 ヲ遂ケ得タリ三百萬人ノ伊民カ曾テ米國ニ移住セシ者一八九四乃至一九〇六年間ニ毎年平均二億五十萬乃至三億利ヲ本
 國ニ送金シ其三分二ハ貯金局ニ預金トナレリ伊國ハ其生産過多ノ商品タル壯丁ヲ米國ニ送付シ其報酬トシテ無數金貨ノ
 流入ヲ得タリ予輩ハ須ラク此金額ノ出處ト之ニ伴フ移民ノ涙ト汗ヲ記念シ忘却ス可ラズト
 伊國移民カ蓄積セル金額ノ送付ニ關スル統計ノ一節左ノ如シ

國別	年度	金額
合 計	一九〇〇年	一、八八七、一八八、八
伯 利 四 爾	一九〇〇年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇一年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇二年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇三年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇四年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇五年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇六年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇七年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇八年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九〇九年	一、八八八、一八八、九
伯 利 四 爾	一九一〇年	一、八八八、一八八、九

將又米國鐵道統計ニヨレバ一日ノ賃銀一弗五十錢ヲ得ル伊國労働者百人中九十五人ハ毎年七八ヶ月間毎月平均二十五弗
 乃至二十七弗ヲ蓄積ス

紐育洲移民調査員ノ報告ニヨレバ同市ノ三銀行、郵便爲替及通運使ニヨリ伊國ヘノ送金額左ノ如シ

一九〇六年	甲 一八、四五〇、〇〇〇・〇〇	乙 七、二五一、一五四・三二	丙 一六三、二九九・二六
一九〇七年	甲 二四、六五〇、〇〇〇・〇〇	乙 九、九二七、五九〇・〇五	丙 一二三、七六三・二六
一九〇八年	甲 七、一六〇、〇〇〇・〇〇	乙 六、四八六、一九四・七五	丙 九五、一一〇・〇七

備考 (甲) ハ三銀行送金額 (乙) 郵便爲替 (丙) 通運使

又右ノ調査委員ヨリ議會ニ送レル報告書ニヨレバ一九〇七年ニ銀行、通運及其他ノ機關ヲ經米國ヨリ伊國ニ送レル金額四億二千萬利ニ達ス此他ニ他ノ各洲郵便爲替額七千四百萬利ヲ計上スルヲ要ス

倫敦發行 National Review (一九一〇年四月) ニ「モウリスロウ」氏カ米國財政ヲ評論セル一節中ニ曰ク合衆國ハ年々二億七千五百萬弗ノ正金ヲ海外ニ流出ス此金額ハ實ニ外國移民ノ蓄積ニ成リ之ヲ其郷里ニ送リテ各自ノ負債ヲ償却スルカ又ハ母國ニテ適當ニ放資スル者アリ該金額ハ紐育移民調査員ノ報告ニ係リ十分精確ノ者ト目シ難キモ委員ハ銀行家ノ帳簿其他凡百ノ機關ニヨリ精細ニ調査セル者ナレバ先ツ以テ信ヲ置クニ足ルベシト認ム而シテ伊國ハ右金額中ノ大部分即ハ千五百萬弗ヲ輸入シツツアリト

「ジョルジ、エ、ドルセイ」氏ハ米國政府ノ命ニヨリ「ローマ」ニ滞在シ右伊國民ノ送金額ヲ調査シタリ其意見ニヨレバ移民ノ送金ハ少クモ年々一億弗ニ達ス之ニ加フルニ「カラブリア」若ハ「アブルツチ」州ニ於テ散見スルカ如ク歸國伊民カ攜帶スル米國通貨一人平均百五十弗トシテ十萬人ノ歸國者ニ對シ千五百萬弗ト見積リ得ベク此他ニ富有ノ移民カ持歸ル寶石類モ又輕視スベカラズト

「ナーブル」銀行ノ取扱ヘル送金ノ二分一以上ハ南部伊太利ニ五分一ハ「シシリ」島ニ其餘ハ中部伊國及「サルデニア」ニ分配セラル「グイラルリ」氏ノ調査ニヨレバ「Frion」洲移民ハ年々二千萬利「Baetica」移民ハ一千萬利ヲ送金スト此移民カ持歸リ若ハ送金セル金額中年々渡航移民カ海外ニ攜帶スル金額二千萬利(「教授」氏ノ調査ニヨル)ヲ引去ルヲ要ス以上ノ所説ヲ總合シ伊國移民ノ送金額ヲ概算スルコト左ノ如シ

五億利

千五百萬利

八千萬利

七千萬利

二千萬利

三千五百萬利

一億三千萬利

計 八億五千萬利

「ナーブル」銀行取扱年額平均
歐洲ニアル臨時移民二十一萬人一人一ヶ月百利八ヶ月間蓄積

米國移民送金年額

米國歸國民十萬人現金持歸リ高

伊國人勘定トシテ外國郵便局ニ預ケ入年高

貨幣封入郵便

書留郵便

以上

勿論右ノ計算ハ精確ヲ期ス可ラザルモ大體ニ於テ誤リナキヲ信ズ伊國當局ノ計算モ又殆ンド同一金額ニ出ヅ毎年邦貨約四億萬圓弱ノ流入ハ豈愕クヘキ額ニ非ズヤ況ンヤ移民ノ發展ニ伴ヒ伊國ノ對外貿易ノ増加ハ又疑々トシテ發達シツ、アルヲヤ

- Italiani (GF) in Tunisia, 1906
 Loth Gaston, Peuplement italien en Tunisie et Algérie, 1905
 Moretti U., Possibilità di una Azione coloniale degli Italiani a Tripoli, Ravenna tip. Ravennana 1904
 Mori, GF Italiani a Costantinopoli, 1906
 Pinon Rene, l' Empire de la Méditerranée, 1904
 Rossi G. B., GF Italiani in Provenza e nelle Alpi Marittime, Note ed Impressioni
 Sella E., Emigrazione italiana in Svizzera, 1899
 Bodio, Protezione degli Emigranti, Roma 1905
 Castelli, Trattamento igienico sanitario degli Emigranti ed i Medici di Bordo, 1900
 Matrogianni, Tutela coloniale italiana al Brasile, 1906
 Rossi Egipto, Patrouille degli Emigranti in Italia all' Estero, 1894

合衆國へ移民 (Emigration aux Etats-Unis)

- Broughton Brandeburg, Imported Americans, New York
 Commons J. R., Races and Immigrants in America
 Hall Prescott, Immigration and its effects in the United States, 1905
 Sitta, Le Problème de l' Immigration dans les Etats-Unis, Paris 1893
 Steiner, On the Trail of the Immigrant

政府刊行書 (Publications officielles)

- Ministère de l' Agriculture (Direction générale de la Statistique)
 Statistica della Emigrazione italiana per l' Estero, 1900—1907
 Ministère des Affaires Etrangères (Commissariat de l' Emigration)
 Emigrazione e Colonie, Raccolta di Rapporti, 3 vol. 7 Parties
 Bollettino dell' Emigrazione e Relazioni annuali, 1902—1909

雜誌 (Articles de Revues)

- Giornale degli Economisti: Montemartini, i Milioni degli Emigranti, 1904
 Italia all' Estero; Bernardy, Vita italiana agli Stati Uniti, 1908—1909
 Monde économique: Doucet, l' Emigration italienne, 1905
 North American Review: Tosti, Italy's attitude toward her emigrants, 1905
 Nuova Antologia: Mayor des Planches, Attraverso il Continente
 Nord-Americano, 1907; Nei Sud degli-Uniti, 1906—
 San Giuliano, l' Emigrazione negli Stati-Uniti, 1905—
 Villari, l' Emigrazione italiana negli Stati-Uniti, 1909
 Revue scientifique: Chaboseau, l' Emigration italienne, 1904
 Assistenze dei nostri operaj emigrati in Europa e nel Levante, 1900
 Avvertenze agli Emigrati per l' America, 1904
 Tutela del lavoro degli emigrati, 1899

第十 參考書 BIBLIOGRAPHIE

移民全般論 (Emigration en général)

- Arduino M., Emigrazione ed Immigrazione, Milano Hoepli 1910
 Bosco A., Correnti migratorie agricole fra i vari Stati e Collocamento degli Emigranti, Roma tip. Bertero 1905
 Duval, Histoire de l' Emigration européenne au XIX siècle, Paris Geffcken Politica della Popolazione, Emigrazione e Colonie
 (Biblioteca Economista, vol. XIII S. 3)
 Gonnard, l' Emigration européenne au XX Siècle, 1906
 Guillon, l' Emigration des Campagnes vers les Villes et ses Conséquences économiques et sociales, 1905
 Leroy-Beaulieu, Colonizzazione presso i Popoli moderni
 (Biblioteca delle Scienze politiche e amministrative)
 Lessona, l' Emigrazione, 1897
 Messedaglia, La scienza statistica della Popolazione
 Roscher & Jannasch, Politica coloniale ed Emigrazione, Berlino
 Thornton, l' Eccesso di Popolazione ed i suoi Rimedi
 Torlonia, Effetti economici dell' Espansione coloniale, 1904

伊國民移民 (Emigration italienne)

- Carpi, Emigrazione italiana all' Estero nei suoi rapporti coll' Industria, col Commercio e coll' Agricoltura, 1891
 Grossi, La Legge 31 Gennaio 1901
 Nitti Francesco S., l' Emigrazione italiana ed i suoi Avversari, Torino Roux Viarengo 1888
 Marcelli, Gli Emigranti e l' Italia, 1900
 Paoletti, l' Emigrazione italiana negli ultimi trent'anni, 1908
 Petrocchi, Condizione dell' Emigrazione italiana, 1903
 Preziosi, Il Problema dell' Italia d' oggi, 1907
 Rabbeno Prof. Aronne, Manuale dell' Emigrazione, Firenze Barbra 1901
 Beccherini, Il Fenomeno dell' Emigrazione agli Stati Uniti d' America
 Corridore, Una nuova Fase dell' Emigrazione italiana, 1908
 Lord Trenor Barrows, The Italian in America, New York 1905
 Rossi, Italian Immigration to the United States, New York 1899
 Campolieti, La Colonizzazione degli Italiani nell' Argentina, 1902
 Einaudi, Un Principe Mercante, 1900
 Franceschini Dott. Antonio, l' Emigrazione italiana nell' America del Sud, Roma Forzani 1908
 Graziani, l' Emigrazione italiana nella Repubblica Argentina, 1905
 Ojetti, l' America vittoriosa, 1899
 Parisi, Storia degli Italiani nell' Argentina, 1903
 Scarrone, La Repubblica Argentina Paese d' Emigrazione, 1904
 Bigiavi, Opera degli Italiani in Egitto, 1906
 Carrara, La Colonia Eritrea, 1893

「インビリアルヴァレー」ノ開發ト
棉花栽培ノ現況

「インペリアル、ヴァレー」ノ 開發ト棉花栽培ノ現況

目次

第一章 「インペリアル、ヴァレー」ノ 地理及灌溉組織	二九	第一節 棉花栽培ノ來歴及現況 (一) 試驗的栽培 (二) 營業的栽培 (三) 埃及種及「シーアイランド」種ノ試作	四二
第一節 位置及地勢 (一) 位置 (a) 米國側 (b) 「メキシコ」側 (二) 地勢 (a) 構成及高低 (b) 河川	二九	第二節 棉花栽培ノ方法 (一) 種子及栽培 (二) 播種及收穫ノ時機	四四
第二節 氣候 (一) 溫度 (二) 濕度 (三) 風雨	三五	第三節 棉花成育ノ狀況 (一) 天候地味 (二) 降霜病害虫ノ有無	四六
第三節 土壤	三七	第四節 土地分配ノ狀況及 資金ノ融通	四八
第四節 灌溉組織 (一) 灌溉會社ト南太平洋鐵道トノ關係 (二) 「コロラド」河水量	三八	第五節 勞働者供給ノ狀況 (一) 土地分配ノ狀況 (二) 資金ノ融通	五〇
第二章 「インペリアル、ヴァレー」ノ 棉作業ノ狀況	四二	第六節 產綿花ノ品質	五二
		第七節 棉作ニ關スル生産費及 收益ノ決算 (一) 從來公表セラレタル計算 (二) 一九一〇年度ノ收支決算	五四

第八節 平原産綿花ト市場相場トノ

關係及其消費先

五八

(一) 平原産綿花ト市場相場トノ關係

(二) 消費先

第九節 綿繰、荷造及運賃、保險料

五九

(一) 綿繰 (二) 荷造、運賃、保險料

第十節 平原交通及附近市村ノ發達

六一

結論

「インペリアル、ヴァレー」ノ開發ト棉花栽培ノ現況

領事官補 井田守三

第一章 「インペリアル、ヴァレー」ノ地理及灌溉組織
第一節 位置及地勢

位置、廣

現今「インペリアル、ヴァレー」ト總稱スル地方ハ從來一般ニ「コロラード、デザート」トシテ知ラレタル同河口「デルタ」ヲ云フモノニシテ其延長百〇一哩幅員廣キ處四十哩ニ達シ加洲東西隅「インペリアル」郡ノ中央ヲ貫キ境界線ヲ超ヘテ「ロア、カリホーニア」内ニ終ルモノトス、其地形ハ北西ヨリ南東ニ向ツテ半開扇狀ヲ爲シテ開展シツ、國境線ニ達シ更ニ同所ヲ超エルニ及ビ其兩邊ハ方向ヲ轉シ互ニ内ニ向ツテ折レ其相合スル處ニ終ルモノニシテ米國側ニ於ケル最北端ハ「コーチエラ、ヴァレー」(Conchella Valley)ト呼ビ頂角ノ位置ニ在リ地勢上「インペリアル、ヴァレー」ノ一部分ナレトモ現今ハ「リバーサイド」郡ニ屬シ普通「インペリアル、ヴァレー」トハ稱セズ此ノ「コーチエラ、ヴァレー」ヨリ南東ニ亘ル山脈ハ「チエカワラ、マウンテン」(Chocoma)ト稱シ南西ニ連ラナルヲ「サナシント」(San Jacinto)及海岸系(Coast Range)ト爲ス故ニ此側ニ於ケル平原ハ此等ノ二山脈ヲ兩邊トシ之レト境界線トニ依リ圍マレタル三角形ヲ爲ス地域ヲ云フ、尙右「コースト、レンジ」ハ「メキシコ」側ニ入り「コ、バマウンテン」(Cochise Mountain)ト稱セラレ東南ニ走り、一方ハ南東ニ在ル「チエカワラ」山系ノ溪間ヲ横斷シテ西南ノ方向ニ流ル、「コロラード」河ト合シ是又境界線ヲ基底トシテ一箇ノ三角形ヲ爲ス故ニ「インペリアル、ヴァレー」ト總稱セラル、ハ是等三方ヲ圍ム山脈ト東南方ニ在ル「コロラード」河トニ依リ包括セラレタル菱形ノ大平原ヲ爲スモノトス更ニ「インペリアル、ヴァレー」ナルモノハ地理上ハ一箇ノ廣漠タル大平原ナレト

第一章 「インペリアル、ヴァレー」ノ地理及灌溉組織

モ現今ハ米墨兩國ニ分屬シ國境線ヲ共通ノ底邊トセル二箇ノ三角形的地域ニ分割セラル而シテ兩者ノ面積ハ略相均シキモノトス

「インビリアル、グアレ」ナル名稱ハ當初一九〇一年「コロラド、デザート」ノ米國側ニ於ケル中央部ニ第一回ノ植民ヲ爲シ小都市ヲ建設シタルニ際シ之ニ「インビリアル」ナル名稱ヲ附シタルニ始マリ其後漠然ト平原全體ヲ「インビリアルグアレ」ト呼ブニ至リタルモノナルガ今日ニ於テモ之ヲ墨國側ニ適用セズ米國側ノミヲ指ス狭キ意味ニ使用スル人アルモ地形上寧ろ之ヲ米墨兩國ニ跨ル平原全體ノ總稱ト爲スカ適當ニシテ亦地方多數ノ慣習ニ合セルモノ、如シ

米國側

甲 米國側「インビリアル、グアレ」 「インビリアル、グアレ」ノ米墨兩國ニ跨ル大平原ナルコト及其ノ米國側ニ於ケル部分ガ「インビリアル、カウンチー」内ニ存在セルコトハ前述ベタル處ノ如シ抑モ此「インビリアル、カウンチー」ト稱スルハ元來「サンチエゴ、カウンチー」ノ一部ナリシカ九百〇七年分離シテ一郡ヲ組織スルニ至リシモノニシテ加州東南角ニ在リ東西八十四哩南北五十四哩面積四千五百三十六方哩ニシテ二百六十萬噸ノ地域ヲ有ス本郡ノ中央部ニ開展セル土地肥沃ナル大平原ハ前述ノ「インビリアル、グアレ」ニシテ國境ヨリ北西ニ四十哩巾三十哩ニシテ面積ハ全郡ノ約六分ノ一ニ當リ佳良ナル土地四十萬噸ヲ有シ目下己ニ農作ニ利用セラレツ、アルモノ約二十五萬噸アリ其建設中ナル「ラグナダム」式灌溉組織ニシテ全部完成セバ土地全體耕作ニ堪フルニ至ルベク更ニ「コロラド」河ニ密着シタル部分ニ於テ十萬噸ノ農耕地ヲ開拓シ得ベシト云フヲ以テ兩者合シテ五十萬噸ニ擴張スルコトヲ得ベシ

墨國側

乙 墨國側「インビリアル、グアレ」 墨國側ニ於ケル「インビリアル、グアレ」ガ「コロラド」河流及國境線並ニ「コ、バレンジ」ニ依リテ挾マレタル三角形ノ地域ナルコトハ前ニ述ベタリ是等ノ土地ハ既ニ大體ノ測量ヲ終リ其測量セラレタルモノニシテ約百萬噸アリ就中一等ノ農耕地ト爲シ得ベキ部分ハ約廿萬噸ニシテ「リオ、パレドン」(Rio Paraton)河及「インビリアル、カナル」(Imperial Canal)ニ挾マレタル國境ト平行キル大長方形ノ地方及國境線ニ接觸セル「メキシカリ」(Mexicali)附近ニシテ縱横小方形ニ畫セラレタル部分ヲ指ス其等ノ地域ヨリ更ニ南ニ位セル殘餘ノ地ハ毎年「コロラ

ド」河ノ氾濫スル處ニシテ堅牢ナル堤防工事ヲ爲スニアラサレバ耕作地ト爲スコト危險ナリ、之等墨國側ノ土地ハ殆ント「カリホーニア、メキシコ、ランド、アント、キャットル」會社 (The California-Mexico Land and Cattle Company) ノ有スル處ニシテ同會社ハ壹百萬噸ノ土地ヲ所有シ就中米國側ニ存在スル千噸ヲ除キテハ全部墨國內ノ部分ニ存在ス故ニ墨國側ノ「インビリアルグアレ」ハ「メキシカリ」ノ西南ノ一部分及卷頭所掲圖中赤色ニ染メラレタル中央ノ一劃ハ私人又ハ組合ノ所有スルモノナルガ之ヲ除キタル外ハ悉ク前記會社ニテ獨占スルモノト見做シ大過ナキガ如シ之等廣漠ナル地域中目下實際農耕ニ使用セラレツ、アル地域ハ圖中青色ニテ示ス部分ニシテ「メキシカリ」ノ附近及鐵道停車場ノ所在地ナル「バスクイナト」(Pasquitos) 附近ニシテ後者ハ砂糖黍等ヲ試作シ「メキシカリ」附近ハ大麥 (Wheat) 「アルファルファ」(Alfalfa) 或ハ棉花ヲ試作シ又ハ牧場ニ使用シ居レリ而テ之等ノ全面積ハ二萬噸内外ニ過キザルベシ故ニ墨國側ノ「インビリアル、グアレ」ヲ百萬噸トシ就中農耕ニ適スル地二十萬噸ト見積ルモ現在耕作使用セラレ居ルハ僅カニ其十分ノ一ニ過キス其他ノ部分ハ自然ノ情態ニ放棄セラレ小砂丘相連續シ所在灌木野草ノ雜生スルヲ見ルノミ

墨國側ニ於ケル「インビリアル、グアレ」ノ緯度ハ之ヲ米國南部諸洲ト比較スルニ前者ハ「アリゾナ」州「タスコソ」(Tucson) ノ北四十哩「テキサス」州「エル、パソ」(El Paso) ノ北六十哩「ニュー、オーレアンス」(New Orleans) ノ北二百哩「アラバマ」州「モントゴマリー」(Montgomery) ノ北二十五哩ニシテ海島種棉花 (Sea Island Cotton) 產地ノ中心タル南「カロライナ」州「チャラレストン」(Charleston) ト同一ノ緯度ニ位スト云フ

第二、「インビリアル、グアレ」ノ地勢

構成及高

甲 構成及高低 「インビリアル、グアレ」ハ際涯ナキ一帯ノ大平原ニシテ唯タ偶然ノ事實ニ依リ國境線ノ爲メ二分セラル、モノナルヲ以テ地形上之ヲ墨國側及米國側ニ分離シテ説明スルハ便宜ナラズ其構成上ヨリ考フルニ同地方ハ元來「カリホーニア」灣ノ一部ナリシカ遙カニ「ロッキー」山アリ濁流ヲ運搬シ來ル「コロラド」河ガ其泥土ヲ國境線ノ合スル處「ハンロン、ハツデング」(Hanson Healing) 附近ニ沈澱セシメ其三角島 (Delta) ガ漸次南西「ボルケーノレーキ」(Volcano

「メキシコ」ノ方向ヲ執リ「コ、バ、マウンテン」ニ達スル間ニ扇状ヲ爲シテ開展堆積シタル爲「カリホーニア」灣ハ此部分ニ於テ横斷セラレ尙土砂ノ爲阻止セラレタル水流ハ北西方ノ底地ニ入り或ハ南東ニ分流シ最後ニ現今ノ本流ヲ形成シ南方加州灣ニ注クニ至リタルモノナリ、而シテ遮斷ニ依リテ生ジタル内海ノ一種ハ蒸發作用ニ依リ次第ニ水量ヲ減ジ其極乾涸シ盡クルニ至レルモノニシテ現今「インペリアル、グアレー」ト總稱スル大平原中直接舊河口ニ當ル部分ハ墨國側ノ中腹部ニシテ同地ヨリ漸次傾斜シテ内海ノ乾涸シタル底地ニ達スル間ハ主トシテ米國側ノ部分ニ該當スルモノトス

「インペリアル、グアレー」地表ノ高低ハ其構成ヲ論スルニ依リ略梗概ヲ知得スルヲ得ベシ河口ニ相當スル「ハンロン、ヘッデイング」(Hanton Heading)ヨリ「ヴォルケーノ、レーキ」(Volcano Lake)ニ至ル地方ハ同平原ノ脊梁トモ目スベキ最高ノ地域ニシテ「ハンロン」ハ海拔壹百呎「ヴォルケーノ、レーキ」ハ海拔二十四呎ニシテ漸次西ヨリ東ニ低下ス此兩地點ヲ分界線トシテ平原ハ南北ニ分レ南方ニ向フ一帯ノ地ハ漸次傾斜シテ加州灣ニ終リ北方ニ向フモノハ國境線ヲ超ヘテ米國內ニ入り其北西端ハ海面以下二百八十七呎ナル「ソートンシー」ニ至ル之等東西及其左右ニ向フ三面ノ傾斜ハ殆ント同一ニシテ一哩ニ付約六呎ノ勾配ヲ有ス尙國境線ニ依リテ「インペリアル、グアレー」ヲ分割セハ高地ノ大部分ハ墨國側内ニ含マレ傾斜ノ地ハ主トシテ米國內ニ存ス墨國側ハ平均海拔四十呎ニ位シ米國側ハ平均海面以下百五十呎ニ在リ

乙 河川

(イ) 「コロラード」河 「インペリアル、グアレー」ガ「コロラード」河口ノ三角島ヨリ形成セテレタルハ前ニ述ベタルガ如シ現今「コロラード」河ハ平原ノ東南界ヲ流下シテ「カリホーニア」灣ニ入り其新開地トシテ主人ノ注目ヲ惹キツ、アル「インペリアル、グアレー」ノ地域ハ國境線ノ合スル處ヨリ本河ノ流水ヲ引用シテ開拓灌溉シタルモノニシテ「コロラード」河ハ平原ニ取リテ命脈ヲ爲スモノナリ

「コロラード」河ノ幹流ハ水源地ヨリ「カリホーニア」灣ニ注ク河口ニ至ル間延長二千哩アリ合衆國三大河ノ一ニシテ流水ノ同所ニ集注スル地方ノ面積ハ二十二萬五千平方哩ニシテ七州ニ跨ル殊ニ晩春ヨリ初夏ノ候ニ於テ大陸分界線ニ立ツ山脈ノ雪融解シテ「ワイオームン」「ユタ」「コロラード」等ノ諸洲ノ深山森林ヲ潜リ「グリーン」(Green)及「グラランド」(Grand)河トナツタ一時ニ「コロラード」河ニ落ち來ルヲ以テ濁流滔々トシテ若ニ激シ土ヲ崩シ泥土ヲ河口ニ沈澱セシムルコト夥シク之レガ爲「カリホーニア」灣ハ年々五寸宛ノ割合ヲ以テ南方ニ縮少シツ、アソト云フ

(ロ) Rio Paradoxus 及 Rio Posadero 兩河トモ「コロラード」ノ支流ナリ墨國側ノミヲ通過シ居ルモノニシテ初メ西南ノ方向ヲ取り更ニ南方ニ曲折シテ結局本流ニ合スルモノナルガ就中「リオ、パレドン」ハ此部分ニ於ケル支流中尤モ大ナルモノニシテ「コロラード」河ノ舊床タル三角島脊梁ノ地ニ在リ水源「コロラード」河「ハンロン」ニ於テ海拔壹百呎ニシテ漸次傾斜シ「ボルケーノ、レーキ」(Volcano Lake)ノ海拔二十四呎ニ至ル此「ボルケーノ、レーキ」ト稱スルハ同部「コ、バ、マウンテン」ニ近キ處ニ在リ洪水期ニ於テハ河水浸入シテ湖水ト變スルモ其他ノ時季ニ於テハ殆ント乾涸シテ湖床ヲ存スルノミ、氾濫シタル河水ハ同湖ニ充滿シ其一部ハ「ニュー、リバー」トナリテ北方米國側ニ入り他ハ「ハーディーリヴァー」(Hardy River)ニ依リテ「カリホーニア」灣ニ排泄セラレ、モノトス

(ハ) 「ニュー、リヴァー」(New River) ト稱スルハ「ヴォルケーノ、レーキ」ニ其源ヲ發シ國境ヲ越ヘテ「インペリアル、グアレー」ノ北西端ナル「ソートン、シー」ニ達スルモノニシテ水源ニ於テ海拔二十四呎ト「ソートン」湖ニ於テ海面以下二百八十七呎ナリ

(ニ) 「アラモ、リバー」(Armo River) 「コロラード」ノ支流ニシテ「ソートン」河トモ稱シ墨國側ニ於テハ西方ニ向ヒ「シヤープス、ヘッドインク」(Sharps Heading)ヨリ急轉シテ國境ヲ越ヘ西北ニ「インペリアル、グアレー」ノ中央ヲ貫通シテ「ソートン、シー」ニ終ル本河ハ從來「ニュー、リヴァー」ニ比シ河幅大ナリシモ出水毎ニ「アラモ、リヴァー」ノ河水ハ多ク墨國側ニ於ケル Bolran Garza 及 Pink Mountain ノ諸泥地ヨリ「ニュー、リヴァー」ニ流下セルヲ以テ「インペリアル、グアレー」ニ於テ「ニュー、リヴァー」ハ現今「アラモ、リヴァー」ヨリ大ナルモノトス尙兩河共洪水期ニハ濁流滔々トシテ流ル、モ平時ハ乾涸シテ水流ナシ

「ソートン、シー」同湖ハ「インビリアル、ヴァレー」ノ西南隅ニ在リ元ト乾涸シタル海床ニ過キザリシモ一九〇五年ヨリ一九〇六年ニ至ル間「コロラド」河ヲ記濫シタル洪水ハ「アラモ」及「ニュー、リヴァー」ニ依リテ同所ニ排泄セラレタル爲再ビ湖水ニ變シタルモノナリ延長四十二哩巾十五哩ヨリ十哩ニ至リ面積四百平方哩ニシテ海面以下二百〇五呎ノ處ニ在リ八十二呎ノ水深ヲ有ス同地方ハ乾燥甚シキヲ以テ再ビ洪水ノ浸入スルコトナクンバ二、三十年ニシテ再ビ蒸發シ盡スベシト云フ

第二節 平原ノ氣候

氣候

「インビリアル、ヴァレー」ノ氣候ハ概シテ言ヘハ高温ニシテ乾燥且ツ夏時長シト爲ス然レトモ氣候ト人體トノ關係ハ其他ノ湿度及風雨ノ量ヲ斟酌スルヲ要ス

(一) 温度 「インビリアル、ヴァレー」ノ如キ周圍山脈及砂帶ニテ取捲カル、地方ガ夏期ニ暑氣強ク又同一平原中ニ於テモ海面上ニ在ル高地ノ部分ガ他ノ低地ニ比シテ暑氣共比較的緩和ナルヘキハ地勢上明カナリ、故ニ「カレキシコ」、「ヒーバー」ノ如キ國境ニ近キ地ハ北部低窪ナル「インビリアル」、「ブローレー」ニ比シ暑氣共稍輕快ナリ一九〇六年合衆國政府ニテ觀測シタル温度左ノ如シ

「インビリアル」及「カレキシコ」觀測所温度表

千九百〇六年	「インビリアル」			「カレキシコ」		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均
一 月	九六	二四	五三、六	七五	三二	五二、九
二 月	八八	三八	六二、四	八一	四六	六二、四
三 月	一〇三	三六	六三、八	八四	四一	六三、
四 月	一〇六	三七	六九、二	九四	四八	六八、六
五 月	一〇七	五〇	七三、八	九七	五四	七三、九
六 月	一一三	五四	八三、二	一〇九	五八	八三、二

一ヶ年平均

七 月	八 月	九 月	十 月	一 月	二 月
一一六	一一五	一一〇	一一一	九八	八一
六二	六五	五五	三六	二八	二七
九二、四	九一、六	八一、四	七三、六	六〇、八	五三、六
一〇九	一一二	一〇二	一〇五	九〇	七三
七〇	六八	五八	四二	三二	三四
九一、三	八八、五	八二、二	七三、三	五九、九	五三、六
七一、〇					

即チ「インビリアル」ニ於ケル最高温度ハ七月中ノ百十六度「カレキシコ」ニ於テハ八月中ノ百十二度ナリ冬期ハ概シテ氣候温暖佳良ナルカ一九〇六年度ノ最低温度ハ「インビリアル」ノ二十四度「カレキシコ」ノ三十二度ニシテ稀レニ氷點以下ニ降ルコトアリ尙新開地ノ常トシテ荒茫タル原野カ漸次開拓セラレテ綠野菁畝ニ變換セララル、爲カ同所ノ氣候ハ次第ニ緩和セララル、傾向アリ一九〇九年「インビリアル」ニ於ケル政府ノ觀測シタル最低最高温度ハ左ノ如シ

一、一九〇九年度「インビリアル」温度表

一ヶ年最高七月一日百十五度	最高		最低		一ヶ年最低十二月十九日二十四度
	最高	最低	最高	最低	
一 月	八〇	三三	五	一〇五	九
二 月	八四	三二	六	一一二	十
三 月	八二	三五	七	一一五	十一
四 月	九九	四六	八	一一一	十二
				七二	
				七四	

(二) 湿度 「インビリアル、ヴァレー」ハ一帯ニ濕潤ノ氣極メテ少ナク且ツ夏時ハ多クハ微風アルヲ以テ其湿度ノ高キニ比シ人體ニ及ホス度少ナク同所百十度ノ湿度ハ「ロスアングルス」ノ九十五度、東部諸洲ノ八十五度ト比較シ得ベク且ツ乾燥ナル地方ノ常トシテ夜分ハ極メテ清涼ナリ一九〇八年ヨリ一九一〇年ニ至ル間「ブローレー」ニ於テ氣象ヲ觀測シタル合衆國技師「エイチ、エー、ジョンズ」ノ報告ハ左ノ如クシテ之ヲ東部諸洲ニ於テ湿度六十五「バセント」温度九十五度前後ニ昇ルコトアル蒸暑ニ比シテハ頗ル涼キ好シト云フ

一、一九〇九年「インビリアル、ヴァレー」湿度表 (「ブローレー」観測所)

一	月	四七	月	一八	月	一九	月	十	月	二二
二	月	四〇	月	一五	月	三七	月	十一	月	三五
三	月	三二	月	一四	月	二四	月	十二	月	四四
一ヶ年間	平均	二十九パーセント								

(三) 風雨 「インビリアル、ヴァレー」ハ數日ヲ除クノ外一ヶ年中殆ント晴天ニシテ雨量極メテ少シ降雨ハ主トシテ一月ヨリ三、四月ノ間ニ在リ又八、九月頃ニ輕雨十一月、十二月頃ニ沛雨來ルコトアリ且ツ乾燥シタル地方ノ常トシテ各年ノ雨量平均セズ一九〇二年ヨリ同六年ニ至ル「インビリアル」ニ於テ觀測シタル五ヶ年間ノ平均雨量ハ一ヶ年四時四五ニシテ此期間ニ於テモ後二ヶ年間ノ雨量ハ前三ヶ年ノ雨量ニ數倍ス又一九〇五年及同六年ニ「カレキシコ」ニテ觀測セルモノト「インビリアル」ノ雨量ヲ比較セバ一九〇五年度ハ兩者殆ント同シキモ一九〇六年度ニハ「インビリアル」ノ雨量ハ「カレキシコ」ニ二倍シ「インビリアル、ヴァレー」ノ雨量ハ地方的ニモ一定セズ

一、「インビリアル」及「カレキシコ」ニ於ケル雨量表

一九〇二年	一九〇三年	一九〇四年	一九〇五年	一九〇六年	一九〇五年	一九〇六年
三、四八	三、四四	三、三一	一、〇〇六	七、八〇	九、三三	四、二一
五ヶ年間平均			四、四五		六、七七	

尙「インビリアル、ヴァレー」ニ於ケル貯水蒸發力ハ頗ル強クシテ「ベック」(Beck)氏ガ「カレキシコ」ニ水精ヲ設置シ數年間試測シタルニ一ヶ年間ノ蒸發ハ六呎七三ナリシト云フ又前表ノ如ク近年雨量増加セルヲ以テ人ニ依リ之ヲ「ソートンシー」ノ蒸發ニ原因ストスルモノアルモ寧ロ他ニ氣象變化ノ原因存在スベク未タ同地方ハ氣象ニ關スル原則ヲ確定スル程永キ觀測ヲ爲シ居ラサルナリ、

「インビリアル、ヴァレー」ニハ重ニ西又ハ南東ノ微風アリ平和ノ晴天ヲ普通トス唯タ晚春初夏ノ候時ニ西及南西ノ強風砂土ヲ捲起スコトアルモ短時ニシテ止ム尙颯風雨ヲ伴ヒ霰電ヲ降ラシタルコトアルガ之等ハ過去三ヶ年間ニ於テ唯タ一

二回起リタル極メテ稀有ノ現象ナリ

第三節 平原ノ土壤

「インビリアル、ヴァレー」ハ地勢一般ニ南東ヨリ北西ニ傾斜シ土地ハ流水ニ依リテ構成セラレタル沈澱性肥土ナルガ爲細別セバ柔軟ニシテ水ヲ吸收スル力ニ富ムモノヨリ比較的硬質ニシテ水ノ吸收遲キモノ、數種ニ分ルベシ一九〇二年同地方ヲ調査シタル合衆國技師ハ「インビリアル、ヴァレー」ノ土質ヲ(一)砂地(Sand) 赤褐色ニシテ之ニ壤土ノ細片ヲ含ミ濕潤セラル、トキハ細片分解シテ佳良ノ農耕地トナルモノ(二)砂交リ壤土(Sandy loam) 「コロラード」沈澱土ノ粗キ部分ニシテ赤色ノ砂ヲ交ヘ居ルモノ(三)壤土(Loam) 「コロラード」沈澱土其者ニシテ窒素「ボツタシユ」及ビ多ク有機物ヲ含ムモノ(四)粘土(Clay) 「コロラード」沈澱土中殊ニ精微ナル部分ノ集合シタルモノ、四種ニ分ツテ報告セリ勿論平原ノ地質ハ器械的ニ區分スルコト能ハズ一地方乃至ハ數畝一耕地ニ於テモ數種ノ地味混淆錯綜シ居リ尙其大部分ノ土地ハ中位ノ硬質ヲ有スル密着性肥土ナルモ然レトモ大勢ニ基キ區別セバ南北兩端ニ於テハ著シキ地味ノ差異ヲ認ム即チ米國側殊ニ「インビリアル」、「ブローレー」等中部及西北ノ部分ノ地質ハ多クハ壤土及粘土質ニシテ比較的ニ密着性ニシテ粘力多ク水分ノ吸集ハ遲キ方ナルニ反シ「カレキシコ」附近ヨリ墨國境ヲ越ユルニ及ビテ地味ハ壤土及砂交リ壤土トナリ柔軟ニシテ水ノ吸收力早シ尙米國側ハ既ニ大部分灌溉組織ヲ實行シ野菜類「アルハルハ」棉花等栽植セラレテ綠圃相連ル現狀ナル墨國側ハ國境ニ沿フ小部分ノ外ハ悉ク自然ノ儘ニ放任セラレ二呎乃至四五呎ノ砂丘散在シ周圍ニハ「セイジ」(Sage) 「メスキット」(Mesquite) 「クレオソート」(Creosote) 等ノ雜草繁茂ス砂丘ハ殊ニ地質ノ柔軟ナル部分ニ多ク殊ニ其形大ニシテ附近ニ植物ノ多キハ地味ノ佳良スル標證ニシテ之ヲ開拓スルトキハ尤モ優良ナル耕地ヲ獲ベシト云フ

「インビリアル、ヴァレー」ハ地表ノ土質ガ前記ノ如ク佳良ナルノミナラズ是等ノ土質ハ層ヲ爲シテ深く地底ニ到ルモノニシテ曾テ「インビリアル」ニ於テ井戸ヲ穿テ地下六百呎ニ達スルモ岩石又ハ水脈ニ觸ル、事ナク又墨國側ニ於テ數所

ナ、アラソ
ナ、ニマ

ニ地下百呎以上ニ掘下ケ又ハ最深千百呎ニ及フ迄試験シタルコトアルモ總テ同一ノ地味ナリシト云フ又平原中ノ或ル部
分ニ於テハ鹽分ヲ含有スル處アリ重ニ硬質ノ土地ニ條文ヲ爲シ存在スルモノナルモ極少部分ノ土地ヲ除キテハ耕作物ニ
有害ナラズ之等ノ土地ハ重ニ野菜ヲ成長ス又或ル箇所ニハ「アルカリ」ヲ含有スル處アルモ數年試耕ノ成績ハ良好ニシテ
「アルファアルフォ」ヲ作ルニ適セリト云フ、要之平原ノ殆ント全部ハ良好ナル肥土ニシテ實際耕作ニ堪ヘサル地積ハ僅ニ
全面積ノ百分ノ一ナルベシ

地味ニ關シ尙ホ注意スヘキコトハ同平原ニ灌溉スル河水中ニ含マル沈澱土ノ價值ニシテ「アリゾナユマ」ニ於ケル農業試
驗所ニ於テ實驗セシ所ニ依レバ同所ニ於ケル「エーカーフート」ノ河水中ニ含マル、沈澱土ノ土地ヲ肥沃ナラシムル度
ハ之ヲ價格ニ改ムレバ一弗十一仙ノモノニ相當ス故ニ此沈澱土ノ半分ハ平原ニ至ル途中ニ於テ沈澱シ終ルモノトスルモ
尙平原ニテ使用スル一噎ニ付三「エーカーフイート」ノ河水中ニハ一弗六十五仙ニ相當スル沈澱土ヲ殘存シ居ル割合ニシ
テ平原ハ毎年此比例ヲ以テ肥料ヲ加エラレ居ルト同一ノ状態ニ在ルモノト云フヘシ

第四節 「インペリアル、ヴァレー」ノ灌溉組織

「インペリアル、ヴァレー」ノ灌溉ニ就テハ其灌溉會社タル「カリホーニア、デベロブメントカンパニー」(The California Develop-
ment Co.)ノ成立及同會社ト南太平洋鐵道會社 (The Southern Pacific Railway Co.)トノ關係及用水々源タル「コロラード」河ノ
水量ヲ知ルコトヲ必要トス

(一) 「カリホーニア、デベロブメントカンパニー」ト南太平洋鐵道會社トノ關係 「インペリアル、ヴァレー」ノ草分ケト
モ稱スヘキ開拓者ハ「チャールズ、ロビンソン、ロツクグオード」(Charles Robinson Rockwood)ナル者ニシテ氏ハ始メ合衆國技
師トシテ「ユマ」(Yuma)ニ來リ偶然平原一帯ノ地ヲ視察シ土地肥沃ニシテ傾斜ノ狀況亦「コロラード」河水ヲ引用スルニ有
利ナルヲ看破シ千八百九十一年即チ二十年前職ヲ辭シテ平原ノ開拓ニ一身ヲ任ネタルナリ爾來東奔西走シテ資金ノ募集

ニ腐心シ千八百九十六年ニ同志ノ士數名ト共ニ一開拓會社ヲ設立シタリ之即チ今日ノ灌水會社タル「カリホーニア、デベ
ロブメント、カンパニー」ナリトス、同會社ハ國境線ノ上ナル「ハンロン、ヘツヂンク」ヨリ河水ヲ引用スル目的ヲ以テ一九
〇〇年秋始メテ掘割ヲ爲シ一九〇一年始メテ平原ノ或ル部分ニ灌水スルコトヲ得テ第一回ノ殖民ヲ招致シタリ爾來平原
ハ急速ノ發達ヲ爲シ「インペリアル」其他ニ於テ千九〇三年ニハ二萬五千噎ノ土地開拓セラレ平原ノ人口八千ニ上レリ然
ルニ一方ニ於テハ掘割ノ工事ハ「ハンロンヘツヂンク」ニ於テ屢々「ゴロラート」河ノ高水ニ依ツテ防害セラレタルヲ以テ
一時取入口ヲ下流墨國內ノ一地點ニ移シ「ラワー、メキシカン、インテキー」ト稱スル掘割口ヲ設ケテ流水ノ取入ヲ按排シ
タルモ之レ又本流ノ破壊スル處トナリ一九〇五年ノ洪水ノ時ニ於テ會社ハ資金缺乏シ又如何トモスル能ハサル窮境ニ頻
シタルヲ以テ「ロツク、ウオード」等ニ遂ニ當時鐵道界ニ權威ヲ振ヘル南太平洋鐵道會社ノ「ハリマン」氏ニ援助ヲ求メタ
リ「依テ南太平洋鐵道會社ハ資金二十萬弗ヲ融通シ當時「カリホーニア、デベロブメントカンパニー」總株壹萬二千五百株
中六千三百株ヲ掌裡ニ納メ更ニ南太平洋鐵道會社ノ手ニ依リテ主要役員ヲ任命シタルヲ以テ後者ノ實權ハ全ク南太平洋鐵
道ノ勢力圈中ニ在ルコト、ナレリ、茲ニ於テ「カリホーニア、デベロブメント、カンパニー」ハ之等ノ新資本ヲ以テ捲土重
來ノ勢ニテ再ビ取入口ヲ「ハンロンヘツヂンク」ニ復舊シ茲ニ永久的ノ開門ヲ建設シタルモノナリ

灌溉組織ノ現狀ヲ述ブレハ其幹線ノ開門ハ前ニモ述べタルカ如ク國境線東端上ニシテ「バンロン、ヘツヂンク」(Hanton Hea-
ding)ト稱ス同所ヨリ南方ニ十四哩間掘割ヲ作り墨國側ニ於テ「アラモ、リヴァー」ノ水路ニ合シ其河床ヲ其儘ニ利用シテ
西方ニ延長スルコト四十哩國境線ノ南一哩「カレキシコ」ヨリ約七哩ノ距離ニ在リ「シャープスヘツヂンク」(Sharps Heading)
ニ到リ同所ニテ急轉シテ西北ニ向ヒ米國側「インペリアルヴァレー」ニ入ルモノトス、此ノ「シャープスヘツヂンク」ニハ
開門アリ水量ヲ測リ餘水ハ「ニューリヴァー」ニ排泄シ「ソートン、シー」ニ流レ去ラシム

此灌水幹路ハ「カリホーニア、デベロブメント」會社ノ所有スル所ナレトモ之ニ對シテ米墨兩側ニ於テ幾多ノ支線分岐
シテ耕地ニ給水シツ、アリ、之等ノ支渠ハ地方發達ノ順席ニ從ヒ次第ニ所在地主等ノ出資ヨリ成ル相互用水會社(The

Mutual water Co.) に依リテ敷設セラレタルモノニシテ用水者ハ同會社ニ申込ヲ爲シテ給水ヲ仰ク仕組ナリトス
 尙平原ノ灌水ニ關シ「コロラード」ノ河水引用權ハ前記「カリホーニア、デベロブメント、カンパニー」ニ確實ニ許サレ居ル
 モノニアラズ一千九〇三年同會社ハ掘割ヲ爲シタル後合衆國陸軍省ニ用水權ノ事後承認ヲ求メタルニ陸軍省ハ其權限外
 ナルコト及ビ「コロラード」河ノ航行ニ影響セサル上ハ會社ノ經營ニ關シ干涉ヲ爲サ、ルベシトノ意ヲ傳ヘタルコトアリ
 一九〇四年ニハ合衆國議會ニ此ノ用水權ヲ確保セン爲メ議案提出セラレタルモ通過セズ、今期加州々會ニ於テハ陸軍省
 ノ爲用水工事撤去ヲ命ゼラレン事アルヲ憂ヒ其用水權ヲ永久ニ確保セシ爲メ議會ニ請願セントノ決議書提出セラレタリ
 (二)「コロラード」河ノ流水 「インベリアルヴァレー」ガ加州ノ他ノ部分及合衆國諸地方ニ比較シ灌水ノ特殊ノ地位ニ在ル
 ハ後者ガ常ニ水量ノ不足ニ困メルニ反シ「インベリアルヴァレー」ニ於テハ「コロラード」ノ流水豊富ニシテ却テ灌溉スハ
 キ地域ニ限リアルコトナリ即チ國境線ニ依リ米墨ニ跨レル「インベリアルヴァレー」ノ全耕作可能地ヲ六十萬噐トシ一噐
 ニ付年三「エーカーフヒート」ツ、ノ水ヲ要スルモノトスルモ金額百八十萬「エーカーフヒート」ノ水ヲ灌溉セバ充分ナリ
 トス、而シテ「コロラード」河ノ流水ハ最近十年間ニ於テ其最少量ノ時ト雖モ年額五百萬「エーカーフヒート」以上ナルヲ
 以テ兩者ヲ比較シテ「コロラード」河水ノ供給ニ餘リアルカヲ知ルヲ得ベシ今左ニ一八九四年ヨリ一九〇四年ニ至ル同河
 ノ年額及平均月額流水表ヲ示セバ左ノ如シ

第一表 一八九四年乃至一九〇六年「コロラード」河一ヶ月間ノ平均流量

月	次	一ヶ月平均統計「エーカーフヒート」
一月	一	三一四、〇〇〇
二月	二	三三八、〇〇〇
三月	三	六二八、〇〇〇
四月	四	七四一、〇〇〇
五月	五	一八七〇、〇〇〇
六月	六	二、五三四、〇〇〇
七月	七	二〇、七〇〇
八月	八	八、七〇〇
九月	九	六、一〇〇
十月	十	六、一〇〇
十一月	十一	三、七五〇、〇〇〇
十二月	十二	三、七五〇、〇〇〇
平均	平均	三、八一〇、〇〇〇

第二表 一八九四年乃至一九〇六年「コロラード」河一ヶ月間ノ流量

年	次	平均一秒、立方呎	總計「エーカーフヒート」
一九〇六年	八	七、四〇〇	五、三九〇、〇〇〇
一九〇五年	九	九、九〇〇	七、一六二、〇〇〇
一九〇四年	八	九、〇〇〇	六、五一五、〇〇〇
一九〇三年	七	九、〇〇〇	九、〇三九、〇〇〇
一九〇二年	六	九、〇〇〇	六、五八一、〇〇〇
一九〇一年	五	九、〇〇〇	八、八七〇、〇〇〇
一九〇〇年	四	九、〇〇〇	九、七九八、〇〇〇
一九〇〇年	三	九、〇〇〇	八、四九五、〇〇〇
一九〇〇年	二	九、〇〇〇	六、一七二、〇〇〇
一九〇〇年	一	九、〇〇〇	一、三二九、〇〇〇
一九〇〇年	〇	九、〇〇〇	一〇、一一九、〇〇〇
一九〇〇年	〇	九、〇〇〇	一九七、一〇〇、〇〇〇
一九〇〇年	〇	九、〇〇〇	一九四、七五、〇〇〇
一九〇〇年	〇	九、〇〇〇	九、六五一、〇〇〇

「コロラード」河流ニ付他ノ注意スヘキ事ハ洪水ノ有無ニシテ同河ハ一九〇五年ヨリ六年ニ亘リ數度氾濫シ殊ニ一九〇六
 年ノ大洪水米墨兩國ヲ浸シ「カレキシコ」「メキシカリ」ノ如キ高地ニ於テモ其直下ニアル「ニュー、リヴァー」ノ濁水ハ滔
 タシテ溢出シ周圍ニ六呎ノ水止ヲ築キテ浸害ヲ免レタリト云フ椿事アリ現今ハ圖ニ示スガ如ク「ハンロン、ヘツヂング」
 ヨリ南方ニ向ツテ本河ニ沿ヒテ大堤防ヲ建設シ氾濫ヲ豫防シ居ルヲ以テ往年ノ如キ災害ヲ再演スルコトハナカルベキ

モ、然カモ「コロラド」河川ニ比較的近接セル墨國側ノ一帯ノ地ニ於テハ更ニ堤防ヲ延長シテ堅固ニスルニアラサレバ水害ノ危険ナシトハ言ヒ難シ

第二章 「インビリアル、ヴァレー」ノ棉作業ノ狀況

第一節 棉花栽培ノ來歴及現況

棉花栽培
來歴

(一) 試験的栽培 「インビリアル、ヴァレー」ニ於テ始メテ棉花移植シタルハ一九〇二年ニシテ米國農務局植物栽培課ガ「カリホーニア」「アリゾナ」兩州ノ農事試験所ト協力シ埃及種棉花ヲ始メテ移試シタルニ起ル其報告ニ依レバ初年度ハ好結果ナラサシモ爾後數年研究ヲ重ネ遂ニ品質良好ノモノヲ生産スルニ至レリト云ヒ又同時ニ「ユマ」及「インビリアル」試験場ニ於テモ「アブラハム」種ノ試作ヲ實行セリ當時平原ノ農夫間ニモ亦棉作ニ注意スル者生シ「エルセントロ」ノ近傍ノ「アイラ、エテン」氏ノ耕地 (The Ranch of Ten Acan) ニ於テハ數年間棉花栽培ヲ試ミタル事實アリ然レドモ是等ノ試作ハ小規模ニシテ重ニ庭園又ハ耕地ノ一隅ヲ使用セルガ如キ類ナリシガ一九〇八年即チ今ヨリ四年前「ロスアングルス」ノ人ニシテ平原ニ土地周旋ヲ業トセシ「ジョセフ、アール、ロフタス」ナル者始メテ米國南部ヨリ棉種ヲ輸入シ其所有ノ「メロランド」ノ耕地ニ百六十噓ノ試作ヲ爲シ成績良好ニシテ一噓ニ付純益四十九弗二十五仙ナリト云フ之レ同平原ガ棉作地トシテ世ニ傳ヘラル、ニ至リシ發端ナリトス

(二) 營業的栽培 千九百〇八年度試作ノ成績良好ナリシヲ以テ「ロフタス」氏ハ更ニ大規模ニ栽培シテ棉花ヲ營業的の產物トシテ企圖シ千九百〇九年ニ於テハ「テキサス」ヨリ多額ノ「メーベン、トライアンフ」(The Mebane Triumph) 棉種ヲ取合セ尙少量ノ「シヨルジア」産「シムス、インブル」(Sims Improved) ノ種子ヲ輸入シ之ヲ平原農業者ニ分配シ其他資金融通ノ途ヲ講シ棉作ヲ奨励シタルヲ以テ同年度ニ於テハ一躍シテ棉作地五百噓ニ達シタリ、而シテ「ロフタス」氏ハ同年收穫ノ結果ヲ報告シテ「インビリアル、ヴァレー」ノ棉作ハ頗ル好結果ニシテ棉作者中一噓ニ付一「ペール」半ノ實棉ヲ

得タルモノ尠ナカラス故ニ百六十噓ヲ栽培シタルモノハ二百四十「ペール」ノ棉花ヲ收穫シ尙一「ペール」ノ賣價ヲ八十弗ト見ルトキハ總收入一萬九千二百弗ニシテ生産費其他ノ費用八千弗ヲ控除スルモ尙一萬一千二百弗ヲ得ト云ヘリ、然レトモ氏ノ計算ハ一噓ノ收穫ヲ一「ペール」半ト爲シ一「ペール」ノ賣價ヲ八十弗即チ一封度十六仙ノ高價ニ見積リタルモノニシテ平均ノ收支計算トハ見做シ難シ實際ニ於テハ同年棉作地五百噓ヨリ得タル實棉ハ四百「ペール」ニシテ一噓ノ平均收穫ハ十分ノ八「ペール」ナリシナリ

千九百〇九年度ノ棉作ハ右ノ如ク平均一噓十分ノ八「ペール」ノ作柄ナルガ然カモ南部諸州ノ棉作ニ比セバ是等ハ上等作ト稱スヘク加之同年ハ耕作地域廣カラズ濫作ノ弊ナカリシ爲實綿ノ品質モ良好ニシテ耕作者ハ相應ノ收益ヲ得タリ茲ニ於テ棉花熱ハ平原一帯ニ勃興シ一九一〇年度ノ盛況ヲ見ルニ至レリ

一九一〇年度ノ棉作ニ用ヒラレタル地ハ「ブローレー」「インビリアル」「エルセントロ」「ヒーバー」「カレキシコ」「ホルトビル」「メロランド」等ノ附近ニシテ其面積ハ「ブローレー」二千噓、「インビリアル」一千噓、「エルセントロ」三千噓、「カレキシコ」「ヒーバー」ヲ合シ二千五百噓、「ホルトビル」及「メロランド」二千五百噓合計米國側一萬一千噓ニシテ之ニ墨國側ニ試作セラレタルモノヲ一千噓ト見積リ兩者ノ總計一萬二千噓ナリトス、而シテ平原ノ棉花收納ハ目下(一)殆ント終了シタルモノナルガ今日迄ニ取入レラレタルハ「エルセントロ」市綿油會社ノ計算ニ依ルト「ブローレー」千九百五十九「ペール」「エルセントロ」千九百二十九「ペール」(インビリアル)「ホルトビル」八百十五「ペール」「カレキシコ」七百七十五「ペール」合計四千四百七十八「ペール」ニシテ今後尙千「ペール」ヲ產出サルモノト見積ルモ全產額ハ約五千五百「ペール」ノ計算トナリ全耕作反別一萬二千噓ト對比セバ本年度平原ノ棉作ハ平均一噓ニ付先ツ半「ペール」ノ收穫ト云フベシ

(三) 埃及種及「シアーランド」種ノ試作 現時平原ニ於テ營業的ニ栽培サレ居ル棉花ハ米綿短纖維物ニ限ラレ埃及種及「シアーランド」種ノ如キハ尙試作中ニ屬ス「ロスアングルス」市ノ「イーストン」氏ハ墨國側平原カ「サウスカロライナ」州「チャーレストン」ト同緯度ニアルコト並ニ其地質カ埃及「ナイル」河畔ニ勝レリト基礎ヨリ「シアーランド」種及埃

及種「ミットアファイ」(The Mit Afri Egyptian cotton)ガ平原ノ栽培ニ適セリト説キ又豫テ「ジエムスタウン」及「セントルイ」博覽會ノ際綿織物審査委員タリシ「マズグレーブ」氏(C. G. Muehler)モ「ユーマ」及「インビリアル、ヴァレー」ハ米國中埃及種棉花栽培ニ最モ適セル地方ニシテ同地ニ於テ充分之ヲ栽培セハ米國ニ毎年埃及ヨリ二千萬弗内外ノ棉花ヲ輸入シ居ルモノハ之ヲ杜絶シ得ベシト稱シ平原人士間ニ於テモ埃及種「シーアイランド」種ノ栽培ハ熱心研究中ナルカ本年度試作ノ結果ハ良好ナラス余カ同地方視察ノ際「メロラント」ノ耕地ニ於テ之ヲ實見シ又當時開會中ナリシ平原共進會ニ出品セラレタル見本ニ付テ察スルモ此種ノ「ロンクスターブル」物ハ何レモ幹ノミ成長シテ高サ八呎乃至九呎ニ至レルモ綿花之ニ伴ハス結實小ニシテ數亦少ナシ

茲ニ一言注意シ置クヘキハ「インビリアル、ヴァレー」ハ前ニ述ベシガ如ク米墨兩國ニ跨レル一箇ノ平原ナルカ棉花栽培ニ就テハ凡テ米國側ニ付キ米國ノ材料ヲ以テ論スルノ止ヲ得サルコトナリ目下平原ノ開拓サレ居ル部分ハ主トシテ米國側ニシテ棉花ハ此方面ニ栽培セラル墨國側ニ於テハ國境線ニ沿フ小部分ノ土地ガ牧畜養作等ニ使用セラルノ外棉花ハ唯タ標本的ニ千噓内外試作セラレ居ルノミ從テ墨國側ニ就テ棉花ヲ論スルハ其風土、地味等ヨリ一般ノ推論ヲ爲スニ止マリ其以上具體的ノ斷案ヲ下ス能ハサルヘシ以下説明スル處ハ主トシテ米國側ニ於ケル情況ナルモ尙可成之ヲ墨國側ニ推論シテ兩者ノ比較研究ヲ試ムベシ

第二節 棉花栽培ノ方法

「インビリアルヴァレー」ハ棉花地トシテ未タ二三年ノ歴史ヲ有スルニ過キズ又新來ノ移住者ハ多クハ撰種、栽培等ノ經驗智識ヲ有セス殊ニ千九百十年度ニ於テ俄然棉花ノ増加シタル結果棉花ノ手入充分ナラサリ事情アリ爲メニ同年度ノ成績ハ豫想セラレタル程ノ良結果ヲ得ル能ハサリシナリ例ヘハ同一地方ノ耕作者ニシテ或者ハ一噓一「べール」收穫ヲ得居レルニ對シ或ル者ハ僅カニ一噓十分ノ四「べール」ニ過キザルモノアリ斯ノ如ク作物ノ不平均ナルハ天候地味ヨリモ事

○耕作者ノ不熟ニ責ヲ歸スヘキ理アルガ如ク平原ノ棉花ハ改良ノ餘地頗ル廣キモノトス

第一 棉種及栽培 平原ノ棉種ハ前述「ロフタス」氏ガ「テキサス」ヨリ「メーバーン、トライアンフ」種子三萬封度及ビ「シヨージア」産「シムス、インブルブド」四千封度ヲ輸入シタルカ始メニシテ一九一〇年ニ於テハ更ニ多量ノ種子ヲ「テキサス」「ラネツシー」「ミシシッピ」等ヨリ輸入シ之ニ前年度平原ニテ産出セル種子ヲ加ヘテ下種シタルモノナリ而シテ此等ノ種子ハ撰種シテ輸入セラレタルニアラズ特ニ同年度ハ平原ニ於テ種子不足シ需用ニ從ヒ數度ニ取寄セタルモノナルヲ以テ是等種子中ノ或ルモノハ既ニ採油原料トシテ綿油會社ニ交付セラレタルモノヲ其儘買取リタルモノアリ、又右諸地方ヨリ送附シ來レル種子ハ平原ノ停車場ニ於テ同一ノ場所ニ開ケ落シタルヲ以テ彼此混淆シ故ニ全部短纖維物タルニハ其相互ノ細別ハ無視セラレタルモノナリ之ヲ南部諸州ニ於テ同一種ニ付テモ數年間引續キテ撰種ヲ行ヒ其強壯ナルモノヲ撰ミ又播種ノ時ニ於テモ撰種器ヲ用非テ輕キモノヲ去ルガ如キ例ニ比セバ種子ノ取扱頗ル不注意ナリトスベク同年度棉樹不揃ナリシハ種子ノ撰種宜シキヲ得サル爲メナリト唱フル者アルモ之カ爲ナリ

又一九一〇年栽培ノ結果ニ依ルト棉種ハ平原産ノモノモ南部ヨリ取寄セタルモノモ發育上ハ殆ント同様ニシテ却テ平原産地種ヲ良好ナリト云フ故ニ例ヘハ米棉ヲ朝鮮ニ移植スルトキハ二三年ニシテ其質ヲ變シ其土地化スルガ如キ變化ハ平原ト南部諸州トノ間ニ於テハ起ラサルモノトス

一九一〇年平原ニ行ハレタル普通ノ栽培法ハ第一ニ耕地ノ荒草ヲ去ツテ掃除ヲ爲シ更ニ鋤返シ之ヲ肥耕シタル後四呎ノ間隔ヲ置テ溝ヲ造リ之ヨリ水ヲ取入レ或程度ニ浸潤シタル時ヲ俟テ中止シ之ヲ再ヒ適當ニ乾カシ同シク四呎ノ間隔ニテ畦ヲ造リ其畦上ニ一呎五、乃至二呎ノ間ヲ置キ一噓ニ二十封度ノ割合ニテ播種シタルモノナリ、播種後ハ發芽五六寸ノ頃間引ヲ爲シ三回ノ除草ヲ施行シタリ之レ南部諸州ニ行ハル、方法ト大差ナカルベシト思考スルモ當地農作者ノ不熟ノ爲或ハ勞働者不足ノ爲培養充分ナラザリシガ如シ殊ニ平原ノ如キ土地ノ肥ヘタル處ニテハ右ノ棉樹ノ間隔ハ一層擴張シテ樹枝ヲ周圍ニ伸ハシムルガ可ナリト云フ、尙平原ニ於テ新經驗トモ稱スヘキハ「イリグーシヨン、システム」ニテ水ヲ取入

レ居ルコトニシテ之レ米國棉作地中同所ノミ存スル特殊ノ事情ナリト云フ、而シテ該年度ノ狀況ニ就テ言ヘハ平原ノ或ル土地ハ重クシテ密着性ノモノアリ此種ノ耕地ハ給水スルト粘着的トナリ地下ニ水ノ浸潤スルヲ阻止シ又高温ノ爲容易ニ蒸發シ終ルヲ以テ其都度灌水シタル事實アリ之レカ爲、棉樹ハ深ク下根ヲ張ル機會ナク水アレバ生氣ヲ呈シ水盡クレバ直ニ衰弱スルガ如キ一種不健全ノ慣習ヲ成シタリ

第二 播種及收穫ノ時機 當平原ハ氣候温暖ニシテ一年間ノ變化少ナク植物成長期極メテ永キヲ以テ棉花ニ付テモ早キハ二月下旬ヨリ六月下旬迄下種シ得サルコトナシ然レモ最モ下種ニ適セル時期ハ「テキサス」、「ルイジアナ」州等同シク三月ニ初マリ四月ニ終ルヲ可トス一九一〇年度ニ於テハ種子不足ノ爲メ數度ニ之ヲ取寄セ順次播種シタルヲ以テ早キハ四月ヨリ始マリ遅キハ七月初旬迄ニ至リ其收穫ハ八月中旬ヨリ本年一月中旬ニ終リタルガ右ハ平原棉作カ初期ニシテ準備ノ隙ナカリシ爲メ一種ノ彌縫手段ニ出テタルモノニシテ之ヲ播種ノ標準トハ爲シ難シ、又茲ニ斟酌スヘキハ平原ニハ播種期ノミニ重キヲ置ク能ハサル事情アリ例ヘハ三月中ニ種子ヲ下スモノトセバ棉花ハ七八月ニ至リ摘取期ニ入ルモノナルガ平原ハ五月ヨリ九月迄ハ暑中ニシテ殊ニ七、八月ハ酷暑百十度ニ上ルコトアリ白人事業家ノ如キハ海邊ニ避暑スル候ニシテ同地ノ如キ勞働者ノ缺乏セル土地ニ於テハ此酷暑ノ際摘取人ノ供給ヲ受クルコト困難ナルベシ、左リトテ此點ノミニ留意シ播種ヲ六、七月ノ交ニ爲ストキハ收穫ハ九、十月頃トナルモ幼樹ノ成育期ガ酷暑ニ當ルヲ以テ其高温ニ堪ヘ得ルヤ否ノ疑問ト一方ニハ結實ノ期後レタル爲メ棉花ノ收穫ニ影響セサルヤノ憂アリ、余カ平原ニ到シハ十二月初旬ナルカ當時「アルファルハ」牧草青々トシテ生茂リ居リシモ棉樹ハ全ク成育ヲ中止シ且ツ其ノ「トツブクロツブ」ノ如キハ棉蕾ノ儘固結シ居ルヲ見受ケタリ要スルニ平原ニ於テハ收穫並ニ經濟上ノ計算ヨリシテ播種期ヲ何レニ定メテ可ナルヤハ尙未決ノ問題ニシテ今後二三年ノ經驗ニ俟ツノ外ナシ

第三節 棉花ノ成育

第一 天候、地味 平原ノ氣候ハ高温ニシテ植物成育期極メテ長キヲ以テ棉作ニ適セルモノトス、唯タ其缺點ヲ舉クレハ雨量頗ル少ナクシテ土地乾燥ニ過クルノ嫌アリ例ヘハ棉樹ノ成育期ニ於テハ時々適度ノ降雨ヲ要シ殊ニ夜雨新ニ霽レ日光新鮮ノ野ニ放射スルガ如キ最モ好キ處ナルモ平原ハ終始炎天ナルヲ以テ止ヲ得ス「イリグーシヨン、ジステム」ニ依リ灌溉ヲ以テ之等ノ缺陷ヲ補ヒ土壤並ニ空中ノ湿度ヲ緩和シ居レリ、乍併一旦成熟期ニ達スレバ棉樹ハ寧ろ乾燥シタル晴天ヲ可トスルヲ此時機ニ於テハ却テ平原ノ天候ハ適當ナルモノト云フベシ又平原ノ有利ノ側ヨリ觀察セハ平原ハ自在ニ給水シ得ルヲ以テ其度宜シキヲ得バ南部諸州ニ於テ見ルガ如キ降雨多量又ハ過少ノ爲メ棉樹發育ヲ不良ナラシムルガ如キ恐レナク又採收ノ後耕地ニ之ヲ放置シ居ルモ降雨ノ爲品質ヲ害セラル、コトナシ

地味ニ關シテハ棉花ハ氣温ノ適度ナル地方ニ於テハ何レノ箇所ニモ栽培セラレ且ツ土質ハ肥沃ナル程、良結果ナリト説ク人アルモ實際上ハ純砂地ハ收穫少ナク粘質的低地ハ株ノ成長ニ比シ綿花少ナシ、故ニ棉作ニハ壤土及砂質壤土ヲ最上トスベキモノニシテ當平原ノ大部分ハ此ノ壤土及砂質壤土ナルヲ以テ全平原ニ亘リ棉花栽培ニ適セルモノト云フヘシ、此等ノ中ニ就テ細別ヲ立ツレバ米國側平原北部低地ハ砂少クシテ粘土質ナルヲ以テ「トメト」カクタロー「ブ」等ノ野菜類ニハ最モ適當スヘキモ棉作地トシテハ第二位ニ在リ南方「エルセントロ」カレキシコノ方向ニ到ルニ從ヒ次第二土質ハ壤土及砂質壤土トナルヲ以テ棉花栽培ニハ一層良好ナリ目下收穫セル棉花ニ就テ見ルモ「カレキシコ」附近ノモノハ品質概シテ良好ナリ、墨國側ハ沈澱性砂質壤土ナルヲ以テ棉花ノ栽培ニ適シ目下研究セラレ居ル「シー、アイランド」種ノ如キモ經驗ヲ重ネルニ從ヒ或ハ此方向ニ適セルニ至ルヤモ知ル可カラズ

第二 降霜及病菌害虫ノ有無 「インビリアル、ヴァレー」ノ冬季ハ氣候温暖殊ニ清和ナリ正月中最モ寒キ時ト雖モ攝氏二十五度乃至三十度間ニ在リ降霜ハ一年中絶無ト言ヒ難キモ耶蘇降誕祭即チ十二月下旬迄ハ之レナキヲ以テ棉花地帯北部ニ見ルガ如キ霜害ヲ恐ル、ノ要ナク早熟、中熟、晩熟各種ノ棉花ヲ適宜ニ栽培スルコトヲ得

病菌及害虫ニ於テハ平原ハ新開地ナルガ爲メカ又ハ空氣ノ乾燥セル爲メカ現時南部諸州ニ傳播シツ、アルカ如キ病菌及

害虫ノ存在スルコトナシ殊ニ彼ノ「ボール、ウイグナル」(Ball Weevil)ト稱スル害虫ノ如キ目下「テキサス」「ルイジアナ」州及「オクラホマ」「アーカンソー」「ミシシッピ」ノ一部ニ繁殖シ年々米總收穫ノ約四分ヲ減少シ價格二千萬弗内外ノ損失ヲ起シツ、アリト云フニ當平原ガ之等ノ災厄ヨリ免レ居ルハ天幸トモ云ベク目下平原ニテハ棉種ノ輸入又ハ樹木ノ移植ノ際病菌害虫ノ有無ヲ嚴重ニ検査シツ、アリ將來トモ之等害毒ノ平原地方ニ蔓延スルカ如キハ恐ク之レナカルベシ

第四節 土地分配ノ狀況及資金ノ融通

(一) 土地分配ノ狀況 「インビリアル、ヴァレー」ハ其米國側ト墨國側ト土地分配ニ關シ大ニ情態ヲ異ニス例ヘハ米國側ニ於ケル總テ土地ハ「ホームステッドアクト」(The Homestead act) 又ハ「デザートランド、アクト」(Desert Land act)ニ依リ移住者ニ分與セラレタルモノナルヲ以テ多クハ百噓乃至三百噓ノ小區劃ニ分レテ所有セラレ、「カリホーニアデベロブメント、カンパニー」ノ如キ當平原ト深キ關係ヲ有スル會社ト雖モ土地ヲ占取シ居ルガ如キ事實ナク平原中唯タ南太平洋鐵道會社ガ北部ニ於テ線路ニ沿フ一部ノ地ヲ有スルノ外州立學校敷地等ヲ除イテハ悉ク公有地ニシテ既ニ農民ニ分與セラレタルモノアリ又ハ次第ニ分與セラレヘキモノトス、墨國側ハ土地所有ノ狀況之ト異ナリ初メ米國小數ノ企業家ガ墨國政府ニ交渉運動シ一手ニ拂下ケテ受ケタルモノナルヲ以テ土地ハ二三有力會社又ハ組合ニテ獨斷的ニ所有シ居ルモノトス其開發ノ度ニ付テモ米國側ハ年々永往的農民増加シ開拓ノ基礎漸ク強固ニ成行キツ、アルモ墨國側ハ廣大ナル地面ノ一部ガ會社事業トシテ經營セラレ之ニ日雇勞動者ノ耕耘ニ從事スルヲ見ル

(二) 棉作資金ノ融通 「インビリアル、ヴァレー」ノ土地所有ノ情態右ノ如クナルヲ以テ住民間ニハ自然二種ノ別アリ即チ一團ノ企業家多數ノ小地主及借地人之レナリ而シテ企業家ハ多クハ土地賣買等ニ關係ヲ有シ平原ノ開發ニ依リ自己ヲ利セサル可カラサル地位ニ在リ又多數農民ハ新移住者ニシテ資力充分ナラサルヲ以テ平原ニ棉作ヲ獎勵セントセバ勢ヒ農民ニ資金供給ノ道ヲ講スルノ要アリ、一九一〇年度ノ狀況ニ就テ述レバ同地棉作者ノ多數ハ前記「ロフタス」氏ノ社長

タル「アメリカ、ナイル、コットン、カンパニー」ヨリ資本ノ供給ヲ仰キタルモノナリ同會社ハ一九〇九年ニ成立シ其業務ハ善良ナル種子ヲ輸入シテ棉作者ニ販賣シ又「ジンニク、フアクトリー」ヲ建設シテ線綿ヲ請負ヒ其他農民ニ必要ノ資金ヲ貸與スルニ存シ同社ハ「サンジエゴ」市ノ諸銀行家ト特約ヲ結ビ其資金ヲ融通シテ更ニ之ヲ農民ニ貸付ケ一種仲介者的ノ地位ニ在リ平原全棉作者ノ約三分ノ二ハ同會社「モーゲージ」(Mortgage)ノ關係ニ立ツモノトス、此ノ「モーゲージ」關係ト稱スルハ農業者ガ棉作ニ着手セントスルニ當リ會社ヨリ資金ノ一部ヲ借受ケ收穫ヲ待ツテ元金ニ一割ノ利子ヲ附シテ返却スル約束ヲ云フモノニシテ又習慣上資金ノ融通ヲ受ケタル農業者ハ其生産シタル綿花ヲ會社ノ手ヲ經テ賣却シ更ニ手数料トシテ一俵ニ付一弗ヲ會社ニ出スヲ常例トス、故ニ多數ノ棉花ハ同會社ニ集リ來リ仲買人モ又會社ノ手ヨリ經テ買取り居ル事實ナリ然レトモ之ノ方法ハ勢ヒ平原棉花ノ運命ヲ「アメリカ、ナイル」棉花會社ニ獨斷セラル、如キ傾キアルヲ以テ近來ハ同會社ノ手ヲ經スシテ農業者自身仲買人ト直接賣買ヲ試ミルモノヲ生シタリ、尙目下棉作ニ投セラレ居ル資本ハ全部三十五萬弗内外ニシテ前記「アメリカ、ナイル」棉花會社ヨリ貸付ケ居ルモノハ棉作地七千五百噓ニ對スルモノ三萬六千弗ニシテ一噓貸付金平均ハ約四弗三分ノ二ニ當ルト云フ

米國側

- D. R. Crawford, 1800 acres. (中一半ハ數人ノ組合ニテ有ス)
- E. A. Perkins, 700 acres. The California Nile Cotton Co. 1300 acres.
- Mrs. Wiles, 200 acres. B. F. Mc Donald, 350 acres.
- M. Schlatter 350 acres.

墨國側

Wm. Brandenburg, 1000 acres.

此以外ハ百噓乃至五十噓程度ノ耕地ニ分割セラレ小農ニ栽培セラレ居ルモノトス

第五節 勞働者供給ノ狀況

棉作小勞働者

加洲一帶ハ合衆國中最モ勞働者ノ不足セル處ニシテ殊ニ「インペリアル、ヴァレー」ノ如キ新開地ニ於テハ其甚シキヲ見ル而シテ棉花ノ生産費中莫大ノ額ヲ爲スハ此勞働賃金ニシテ棉花生産費ノ三分ノ二即チ生産費ヲ假リニ一噓三十六弗トセバ二十四弗ハ勞働者ニ支拂フ割合トナル棉作ニ要スル勞働ハ此ヲ細別セバ栽培、摘取、綿繰ノ三種ナレトモ、栽培、綿繰ニ使用スルモノハ人員モ多カラズ其給料、待遇モ普通農業的勞働者ト異ナル處ナキヲ以テ茲ニ棉作ニ特殊ニシテ且ツ最モ重要ノ費目タル棉摘人足ノ供給狀態ヲ述ベシ

(一) 勞働者ノ人種及數 米國南部諸州ニ於テハ棉花ハ殆ント「ニグロ」ノ手ニ依テ採收サレ居ルモノナルガ當平原ニ於テハ地方的事情ノ異ナル爲メ目下各種勞働者ヲ混用シテ漸クニ需用ヲ充シ居ル有様ナリ、一九一〇年平原ニテ使用シタル勞働者ハ「メキシコ」人、白人、黑人(ニグロ)、東印度人、日本人及亞米利加印度人ニシテ採收ノ最モ盛ナリシトキハ使用シタルモノ一日二千人ニ上リ同年全期間ニ要シタル勞働力ハ約二萬七千五百人(一人一日ヲ單位トス)ナリ、而シテ最モ多數ニ使役シタルハ「メキシコ」人ニシテ各人種間ノ割合ヲ擧クレバ「メキシコ」人五十「バセント」、白人二十四「バセント」、黑人十五「バセント」、印度人五「バセント」、日本人四「バセント」、亞米利加印度人二「バセント」ナリトス

(二) 採收賃金及勞働力 採收賃金ハ平原ハ南部棉作地ニ比シテ一般ニ高價ナリ、南部ニ於テハ通常實綿百封度ノ採收費七十五仙ヨリ壹弗迄ニシテ稀ニ勞働者不足ノトキ壹弗十五仙乃至壹弗二十五仙ニ上ルコトアルモノトス、然ルニ當平原ニ於テハ當期採收ノ初ニハ普通百封度一弗二十五仙ナリシモ漸次騰貴シテ十月前後ニハ百封壹弗五十仙ノ相場ニ一定セリ故ニ前者ニ比シ約五割方高價ナリトス、採收賃金ノ斯ク高價ナルハ當地一般勞働者ノ不足ナルカ主因ナレトモ平原ノ棉花ガ滿開セズシテ採收期ニ到ルモ七八分開キタル儘成熟スルモノアリ摘取りニ手數ヲ要シ勞働者力之ヲ好マサルモ其

一因ナリト云フモノアリ

各人種間ノ勞働力ハ昨年ノ經驗ニ依ルニ(一)白人及黑人(ニグロ)ガ最上ニシテ一日ニ百三十封度乃至七十封度ヲ摘取シタリ、之等ノ勞働者ハ「テキサス」其他東部棉作地ヨリ移住セルモノニシテ採收ニハ充分ノ經驗アルモノトス(二)東印度人(ヒンズー)ハ摘取高ハ一日ニ百封度乃至百二十封度ニシテ前者ニ及ハサレトモ性質正直ニシテ忍耐力アリ(三)墨國人及亞米利加印度人ハ共ニ一日ニ百封度乃至百二十封度ヲ採收シ勞働力前者ト同シキモ怠惰ニシテ定住性ナク屢々場所ヲ變更ス(四)日本人ハ採收力ハ普通ナレトモ此種ノ勞働ヲ好マズ寧ろ他ノ事業ヲ望ミ從テ繼續シタルモノナシ

平原勞働者ニ關スル狀況ハ右ノ如ク其不足セル事情モ略察セラル、處ナルカ將來如何ニ之ヲ補充シ行ク可キカハ當平原棉作家ノ苦心スル所ナリトス、平原人士ノ中ニハ盛ニ南部ヨリ白人又ハ黑人ヲ勸誘セント計畫スルモノアルモ所期ノ如ク多數ノ勞働者ヲ招致シ得ルヤ疑問ナリ、又東印度人ノ如キモ綿摘人トシテハ不良ニハアラサレトモ加州ニハ東印度人ヲ排斥スル特殊ノ事情アリ結局多數ノ墨西哥人ヲ移住セシメ之ニ依ツテ欠陥ヲ填補スルノ外策ナカルヘシト思考セラルルモ同國人ハ定住性ナク勞働者トシテ劣等ナリ現今棉作地僅カニ壹萬噓ノ内外ノ時ニ在テ勞働狀態右ノ如シトセバ今後地域ノ擴張セラレ勞働者ノ需用倍加シ來ル場合ニ更ニ賃金ノ騰貴スルコトナキカ、如何ニシテ之ヲ解決スヘキカ棉作上最モ研究ヲ要スル問題ナリトス

(三) 棉作ト日本人 當地ノ如キ勞働者ノ拂底ナル處ニ於テハ多能ナル本邦人ハ職業ヲ求ムルコト左迄困難ニアラサルヲ以テ綿摘取ノ如キ勞働ニ安ンスルモノアラザルヲ以テ、之等摘取人足トシテ邦人ニ望ム可カラサル事情アリ、棉作家トシテハ邦人ハ相應ノ伎倆ヲ有シ現ニ「ブローレー」附近ニ於テ十數名之ニ從事シ五、六百噓ヲ栽培シ居レルカ作柄ハ概シテ良好ト云フベシ、然レトモ邦人ノ最モ得意トスル處ハ集約的ニシテ園藝ニ近キ例ヘハ「トメト」、**「カンタローブ」**其他ノ野菜類栽培ニハ獨特ノ長所アリ、將來其ノ何レノ方面ニ發展スルカ最モ有利ナルヘキカハ平原ノ棉作ノ地位カ確定スルニアラサレバ今日ノ處斷言シ難シ

労働ニ關スル此ノ節ヲ終ルニ臨ミ一言スヘキハ以上述べ來リタルモノハ現在耕作サレツ、アル米國側ニ就キ述べタルモノナリ然レトモ將來墨國側ニ於テ墨國人ヲ使用シテ耕作セントセバ勞働力ヲ得ルコトハ比較的容易ニシテ國境ニ近キ所ハ大差ナキモ少シク南方ニ入レバ約米國側ノ半額ニテ可ナリ

第六節 「インペリアル、ヴァー」産棉花ノ品質

棉花ノ良否ヲ定ムルハ技術的批判ニ屬シ尙現品ノ上ニ立論スベク永年ノ經驗ト豊富ノ材料ヲ有スルニアラサレバ精確ナル斷案ヲ下スコト難シ且ツ當平原ノ如キハ新開地ニシテ棉花作柄モ動搖シ又市場モ孤立シテ棉花ニ關シ一定ノ品格ノ附セラレタルモノナキヲ以テ此等ノ等級ヲ定ムルハ殊ニ困難ナリトス、而シテ平原ニ於ケル實際ノ事情ヲ述フルト同地ニハ二派ノ説アリテハ其棉花ノ品質ヲ優等ノモノト推獎シ又自身モ斯ク信スル人ニシテ企業家及之ニ近接シタルモノ之ニ屬シ他ハ寧ろ之ヲ控目ニ觀察セントスル一派ニシテ例ヘハ棉作者中ノ一部並ニ棉花仲買人ノ如キハ之ノ傾向ヲ有ス「ニューオーレアンス、コウトン、エキステンジ、ポード、オプ、クラツサース」[The New Orleans Cotton Exchange Board of Orleans]ハ平原産棉花ノ見本ヲ鑑定シテ形狀美麗ニシテ「テキサス」棉ト同シク、綿體ハ良好ニシテ且ツ纖維強ク長サ一時一六分ノ一ヨリ一時八分ノ一ノ間ニ在リ「グッド、ミッドリング」[Good Middling]ノ品格ナリト云ヒ又一昨年實業團員トシテ渡米セラレタル高辻工學士カ「エルセントロ」産ノ棉花ニ關シテ優ニ「ミッドリング」、アメリカン又ハ其以上ノ品質ナリト云ハレタルハ世人ノ知ラル、處ニシテ専門家ノ所説トシテ最モ傾聽スヘキ處ノモノナルガ、余ハ茲ニ唯ダ同地方ヲ觀察シ經驗家ノ意見ヲ叩キ又ハ自カラ實見シタル結果ニ付テ述レバ一九一〇年度「インペリアル、ヴァー」産ノ棉花ハ全部「アメリカン」アブランド「種」ニシテ其品質ハ先ツ「テキサス」棉ノ普通品(Middling)ニ相當スベキ品格ナリ尙詳シク言ヘハ棉花ノ毛足ニ於テハ「テキサス」棉ニ劣ラス或ハ稍長キモノアリ普通一時ノ毛足ヲ有スルモ纖維ノ強力ニ至リテハ餘程「テキサス」棉ノ下ニ在リ又同年度平原産棉花中ニハ純白ニシテ美麗ナルモノナキニアラザレトモ全産額ノ六十「バセント」

ハ薄キ黄色ノ「シミ」[Yellow spot]アリ此汚點ハ最初ハ昆蟲ヨリ來ル被害ナリト一般ニ想像セラレタルガ現今ハ「イリゲーシオン」ノ度宜シキヲ得ス給水不平均ナリシニ原因スルニアラズヤト云ヒ或ハ種子ノ撰擇ヲ無視シタルヲ以テ綿樹不揃ニシテ虛弱ナルモノ、混在シタルガ爲メナリト云ヒ又ハ汚點ハ重ニ種子ニ接着セル部分ニ存在シ居ルヲ以テ高熱ノ爲メ種子ヨリ油ノ浸潤シタルニ依ルト云フ説アリ未タ原因ハ判明セザレトモ棉花ノ光澤ヲ害シ製造後精品ノ上ニ影響ヲ遺スナキヤヲ懸念スルモノアリ、「エルセントロ」棉花會社ノ社長タル「ロフタス」氏ハ余ニ書簡ヲ寄セ棉花ノ品質ニ關シ左ノ如ク説明セラル、The quality of our cotton this season injured by a shortage of water, we believe with a sufficient supply of water, of which we are now assured, all our cotton will grade "middling" and better for all short staple varieties. Long staples we have been growing only in experimental way, though we believe we can grow all long staple varieties successfully, and it is our intention to grow long staple on a large scale this coming season. 之レ企業家ノ側ニ立テル「ロフタス」氏ノ意見トシテ參考ニ資スル處アルモノト信ズ尙ホ「ロフタス」ノ末段ニ述フル長纖維物ノ試作ニ就テハ前節ニ述べ置キタル通ニシテ本年度ノ結果ハ毛足ハ相當ニ長キモノヲ得タルモ纖維ハ頗ル弱カリシト云フ

棉花精製後ノ狀況ニ就テハ一昨年(一九〇九年)度産モノハ全部「オークランド、ミル」[The California Cotton Mills Company]ニ送リ同所ニ於テ精製シタルモノナルガ同所ニ於テハ該棉花ヲ以テ劣等ノ綿布ヲ製シ着色シタルヲ以テ前記「イエロー、スポット」ハ何等影響スル處ナカリシト云フ、昨年産出ノ棉花ハ一部ハ「オークランド、ミル」ニ賣却シ一部ハ本邦商人ノ手ニ依リテ始メテ十一月中天洋丸ニテ本邦ニ送附セラレタルヲ以テ既ニ製造後ノ狀況モ判明ニナリタルベシト思ハル、モ當地ニ於テハ之等ノ模様ニ就テ聞知スル處ナシ

要之昨年度産ノ棉花ハ光澤及産額トモ一昨年度ニ比シ共ニ劣リタルモノナルガ之レ昨年ハ棉作一時ニ増加シ濫作ニ流レタルト一ツニハ勞働者不足シテ棉花ノ成熟ニ從ヒ順次採收シテ「トツブクロツブ」ニ及ブト云フカ如キ方法ヲ採ルヲ得ズ適當ニ成熟シタルトキヲ俟ツテ一時ニ摘取タルニ依リ未熟ノ棉花モ混合シテ一體ノ品質ヲ不揃ナラシメタル事實アリ其

外立木ノ儘永ク摘取セズ或ハ採收シタルモ其儘耕地ニ放棄シ置キタル如キ又ハ綿繰場設備整ハス使用人モ無經驗ニシテ綿花取扱ヲ粗雑ニシタル等相合シテ品質ノ上ニ影響シタル所モ尠カラザルベシト思ハル

第七節 棉作ニ關スル生産費及收益ノ決算

棉作スル收支ノ問題ハ其盛衰ノ岐ル、處ナルヲ以テ何人モ先ツ知ラント欲シ又平原ノ棉作ニ關シ其ノ公表セラレタルモノ尠カラズ唯タ之等ノ計算表ニ於テ注意セサルベカラサルハ從來異口同音ニ平原ノ天富ヲ説キ産額ノ多大ナルヲ擧ケテ斯クノ如キ收益アリト論ジ居レル事ナルガ現今ニ於テハ平原棉花ノ産出率モ略ホ世人ノ了解スル處トナリ今ヤ此ノ計算問題ハ費用論トナリ如何ニシテ費目ヲ減少シ得ヘキヤヲ考慮スル時トナレリ、而シテ生産費中最モ多額ナルハ摘取費ナルヲ以テ労働者供給ノ問題ガ棉作ノ盛衰上甚大ノ關係ヲ有シ之レニシテ解決セラルレバ棉作問題ハ決定セラルベキモノナリ労働者ノコトハ第五節ニ論シタルヲ以テ之ヲ省キ茲ニハ從來標準トシテ取扱ハレタル決算書ノ内容ヲ短評シ尙一九一〇年度ノ收支計算ニ及ベシ

(一) 從來公表セラレタル計算書 「インビリアル、ヴァレー」ニ關シ從來棉作ノ標準的收支計算トシテ傳ヘラレタルモノハ墨國側埃及棉棉花ニ關スルモノト米國側ノ「アブラランド」種栽培ニ於ケルモノト二ツニシテ(一)墨國側ノ埃及棉花ニ關スル計算ハ一九〇七年合衆國土壤課技師「ホルムス」氏ガ「アリゾナ」農事試驗場ノ成績ヲ報告シテ優等埃及棉ヲ一噎ヨリ九百九十九封度即チ約二「ペール」ヲ産出シ得ト説キタルヲ基礎トセルモノニシテ例ヘバ「ロスアングルス」市ノ「エンジテアス、エキスプロレーション、カムパニー」ノ社長「イーストン」氏ノ如キ其印刷物ニ同氏ノ説ヲ引用シテ之ヲ墨國側全體ニ推論シ墨國側ニ於テ五十萬噎ノ埃及棉ヲ栽培スルハ遠キコトニアラズト説キ更ニ具體的ニ收支計算ヲ示シ噎ノ生産費五十二弗四十六仙棉花收入一九〇弗五十仙差引一噎ノ純益百三十八弗〇四仙ト論セルガ如キニシテ(二)米國側「アブラランド」種ニ關スルモノハ一昨年(一九〇九年度)「エルセントロ」附近ニ耕植セラレタル棉花ノ狀況ニ付キ「ロスアングルス、タイ

ムス」ガ「インビリアル、ヴァレー」ニテハ棉花一千噎ノ收穫ヲ爲シタルニ第一回ノ採收ニ於テ既ニ一「ペール」ノ收穫ヲ見タルヲ以テ爾後二回ノ摘取ヲ合セバ千噎ノ棉圃ヨリ千五百「ペール」ノ棉花ヲ産出スベキヲ説キ又同地實業家モ一噎一「ペール」半トシテ計算セルモノノ如キヲ云フ

以上ハ唯タ從來計算ニ用ヰラレタル根據ヲ述ベタルモノニシテ其當否ヲ論スル主意ニアラズ唯タ當平原ノ現狀ヲ擧ケレバ(一)墨國側ハ一部ノ外未開ノ情態ニ在リ右ノ計算ハ斯クアルヘシトノ豫想論ニ過ギス近年米國十州ノ平均一噎ノ産額ハ二百封度内外ニシテ殊ニ品質及價格高キモ收穫ハ稍少ナシトセル埃及棉ガ斯ノ如ク多額ニ産出セラルベキヤ「ヤズー」密州地「ミシシッピ」河畔ニテ一「ペール」乃至二「ペール」ヲ産出スル例外ヲ直チニ墨國側全體ニ推論シ得ルヤ否ヤ疑問ナリ(二)米國側ニ於テ短纖維物一俵半ヲ産出スト云フモ是又一九〇八年度ノ試作ノ結果及試作ニ准スヘキ一九〇九年度ノ作柄中上等工作ノモノヲ標準トシタルモノナルヲ以テ之ヲ純營利的栽培時代ノ平均標準トハ爲シ難シ

(二) 一九一〇年度棉作ノ收支計算 一九一〇年九月十五日ヨリ三日「ボーツマウス」ニ開會セラレタル「ナショナル、アソシエーション、オブ、コットン マニユファクチュアラーズ」(The National Association of Cotton Manufacturers)ノ前半期集會ニ於テ「アメリカン ナイル」棉花會社タル「ロフタス」ハ平原ノ棉花業者ヲ代表シテ出席シ一場ノ演說ヲ試ミ平原棉作ノ收支計算書ヲ發表シタルガ之レ同地、棉作家側ノ公示セル最近ノ代表的計算ナルヲ以テ列記スレバ左ノ如シ

(第一表)

一噎費用支出ノ部		同收入ノ部	
地代	七五〇	棉花五百封度(一封度十四仙)	七〇〇〇
用水	三〇〇	綿種子一千封度(一噸十五弗)	七五〇
肥料	四五〇	合	七七五〇
耕鋤、植付、及種子料	四〇〇		
耕耘、除草費	二〇〇〇		
收穫費(摘取、運搬)	三、五〇〇		
農具 其他 雜費	三、五〇〇		

第二章 「インビリアル、ヴァレー」ノ棉作業ノ狀況

合 計 四二、五〇

收支差引純益

三五〇〇

即チ一噎ノ純益三十五弗トナル計算ナルガ氏ハ一噎ノ産額ヲ「ベール」ト見積リタルモノニシテ之レ同年度平原ノ實況ト合ハス勿論氏ノ計算ハ昨年採收期ノ中頃ニ發表セラレタルモノト且ツ標準ヲ平原ノ上作ニ置カレタルガ爲メ此結論トナリシモノナルベシ而シテ余ガ氏ノ意見ヲ基礎トシテ尙右ノ事實ヲ綜合斟酌シ一噎半「ベール」ヲ平均産額トシ百封度ノ摘取賃ヲ一弗四十仙トシ試ミニ計算スレバ左ノ如シ

(第二表) 一噎ノ收支決算表(平均半「ベール」ノ收穫)

支 出		收 入	
地 代	七、五〇	棉花二百五十封度(一封度十四仙)	三五、〇〇
用 水	三、〇〇	綿種子五百封度(一噸十五弗)	三、七五
耕鋤、植付、及種代	四、五〇	合 計	三八、七五
耕鋤、除 草 費	四、〇〇		
摘取賃(百封度一弗四十仙)	一〇、五〇		
綿繰費(五百封度五弗割)	二、五〇		
綿繰場迄運賃(「ベール」二弗)	一、〇〇		
農具 其他 雜 費	三、五〇		
合 計	三六、五〇		
收支差引純益		二弗二五仙	

即チ收支ヲ計算シテ一噎ニ付二弗五仙ノ剩餘トナルモノニシテ之レ一九一〇年度實際ノ平均收得率ニ近キモノト信ズ又余ハ同地滞存中「エルセントロ」、「プロレレー」、「カレキシヨ」等ノ諸方ニ於テ棉作地ヲ實視シタルカ就中「メロラント」ノ「ロフタス」氏ノ棉圃ノ如キハ良作ニシテ一噎一「ベール」内外ノ收穫アルベク又或ル者ハ四十噎ヲ耕種シテ每噎三百七十五封度收入ヲ得タルモノアリ然レモ一方ニハ一噎ヨリ十分四「ベール」程度ノ收穫ノモノアリテ極メテ不平均ナルカ余カ「エルセントロ」郊外ニ於テ耕作セル一白人ニ依リテ得タル統計ハ比較的詳細ニ費目ヲ擧ケテ作柄モ中等ノモノナルヲ

以テ之レヲ示セバ左ノ如シ

(第三號) 一耕地百十噎ノ收支決算

支 出		收 入	
地代(「ベール」三、〇〇)	三三〇、〇〇	棉花二七、五〇〇封度(一封度十四仙)	三八五、〇〇〇
種 代	五五、〇〇	綿種子五五、〇〇〇封度(一噸十五弗)	四二二、五〇
用 水	二二〇、〇〇	一噎平均 收 入	三八弗七五仙
灌 水	四〇、〇〇	一弗九九仙	
開 闢	二〇、〇〇		
水 引	二〇〇、〇〇		
耕 地	二六四、〇〇		
荒 地	三八五、〇〇		
合 計	四、〇四四、〇〇	三六弗七六仙	

(備考此農夫ノ使用セル耕地ハ地代率安キモ、耕作費ニハ比較的多額ヲ支拂ヒタルガ如シ) 即チ一噎平均半「ベール」ノ作ニシテ百十「ベール」ニ總收入ハ四千二百六十二弗五十仙總支出四千〇四十四弗ニシテ差引純益二百十八弗五十仙一噎平均一弗九九仙宛ノ利得トナルナリ

一千九百十年度ノ棉作ハ實況概略右ノ如クニシテ平均收支ノ額殆ント相均シク僅カニ一噎ニ付二弗内外ノ純益アリタルノミ故ニ目下平原ノ棉作ハ之ヲ改良シテ更ニ産額ヲ増加スルカ又ハ勞働費ヲ省減シテ計算ノ上ニ餘裕ヲ遺スカ何レカニ活路ヲ開カサル可カラザルノ地位ニ在リ 尙參考ノ爲一千九百十年十二月合衆國農務省ノ發表ニ係ル各棉作地産額、産率及價格表ヲ擧クテハ次ノ如シ

一、各洲棉花産額、産率及平均相場表

第二章 「インペリアル、ヴァレー」ノ棉作業ノ状況

名	一九〇〇年	一九〇一年	一九〇二年	一九〇三年	一九〇四年	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年
「バーウニア」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「ノースカロライナ」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「サウスカロライナ」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「ウーロウ」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「フロリダ」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「アラバマ」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「ミシシッピ」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「ルイジアナ」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「テキサス」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「アーカンソー」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「オクラホマ」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
「カリホーニア」	二二七	二一〇	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
合衆國全部	一六九九	一五四三	一八四七	二一四二	二四〇〇	二六〇〇	二八〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	三四〇〇	三六〇〇

第八節 平原綿花ト市場相場トノ關係及其消費先

(一) 平原綿花ト市場相場トノ關係 「インビリアル、ヴァレー」ハ新開地ニテ綿花ノ產出モ一昨年、昨年ノ二期ニ過キス其額モ多カラサルヲ以テ平原產綿花ノ市場ナルモノナク從テ市場ニ於ケル標準價格ナルモノナシ紐育其他ノ市場ニ於ケル相場ノ高低ハ平原綿花ニ對シテハ間接ノ關係ニ立ツヲ以テ同地ニ於テハ之ニ關スルコト一般ニ遲緩ナリ故ニ例ハ當地ニ於ケル相場ヲ一封度十四仙ニ上ストキハ賣手ハ他市場ノ安値ナルニ拘ラス之ヲ其以下ニ引下クル事ヲ嫌ヒ買手モ又此綿花ニ對シテハ十四仙以下ノ安値ナシト斷定シ去ル傾キアリ、故ニ南部諸地方ノ市場ニ於テ綿花下落シ居ル時モ平原ノ

棉作者ハ依然トシテ十四仙臺ノ高値ヲ唱ヘ居ルト共ニ南部ニ於ケル相場騰貴シテ十四仙臺ヲ越ユルコトアルモ平原ノ農民ハ從來ノ十四仙相場ニテ之ヲ賣却スルヲ嫌ハサルノ風アリ要スル處平原ノ綿花ハ他ノ市場相場ヨリハ殆ント獨立シ居ルノ有様ナリ

(二) 消費先 平原產綿花ハ現在ノ地位トシテ其品質、生産費及運賃等ノ關係上之ヲ南部市場ニ輸送シ同地方產ノモノト競争スル見込頗ル遠シ故ニ本年ハ勿論將來共之等ノ綿花ハ加州ノ製造場及本邦ニ輸出スルノ外途ナシ、而シテ加州「オクラホマ」ノ「ミル」ハ現在ニテ一ヶ年約一萬五千「ペール」ノ綿花ヲ消費シ其材料ハ重ニ「テキサス」「オクラホマ」地方ヨリ相當ノ品質ノモノヲ取寄セ使用シ、アリ、一昨年（一九〇九年）平原產綿花全部四百「ペール」ガ同所ニテ使用セラレ着色布ノ原料ニ供セラレタルハ前ニ述ベタル處ノ如シ而シテ昨年（一九一〇年）產出ノ綿花ノ賣行ニ就テハ其十二月下旬迄ノ總輸出來高ハ約三千「ペール」ニシ内一千「ペール」ハ「オクラホマ」「ミル」ニテ使用シ、六百「ペール」日本ニ輸出、百五十「ペール」ハ「テキサス」ノ「ガルベストン」港ニ行キ外五百五十「ペール」ハ見本トシテ米國各地ニ分配セラレ殘千「ペール」ハ平原各地ニ散在シ居リタル狀況ナリ、尙其後今日迄二ヶ月間ノ取引高ニ就テハ知ルコトヲ得ス右昨年末ノ取引高ニ於テ本邦ニ輸出セラレタル額ガ割合ニ少ナキハ日本人仲買ガ綿花ノ撰擇ヲ爲シ比較的上等品ノミヲ輸出シ居ルガ爲ナリ、尙平原ニ於テ實際取引セラレタル相場ハ採收ノ初期ニ於テハ一定ノ價格ヲ出シ一封度十三仙七五ヲ普通トセシガ昨今ニ於テハ一般ニ幾分綿花品質ノ差異ヲ了解スルニ至リ十三仙二五ヨリ十四仙迄ノ間ヲ出シ居レリ

第九節 綿織、荷造及運賃、保險料

(一) 綿織 (Ginning) 綿織ト云フハ實綿 (Good Cotton) ヨリ繰綿 (Lint) ヲ得ル方法ヲ云フモノニシテ普通千五百封度ノ實綿トヲ得ル計算ナルガ本年度（一九一〇）ノ平原實綿ニ就テ云フト千七百封度乃至千八百封度中ヨリ五百封度ノ綿ヲ得ル割合ナリ而シテ此綿織料ハ普通棉作家ノ負担スヘキモノニシテ其率ハ一封度ニ付一仙即チ壹「ペール」五弗ナルガ右種子干

封度ヲ賣却スルトキハ平原ノ相場ニテ七弗五十仙ナルヲ以テ兩者ヲ相殺スルモノトバ結局綿五百封度ヲ得ル毎ニ二弗五十仙ノ利得トナル、右種子ノ相場ハ南部、チキサス、オクラホマ地方ニ於テハ一噸(二千封度)二十五弗乃至三十弗即チ千封度十二弗五十仙ヨリ十五弗ニシテ之ヨリ綿繰費ヲ差引クモ「ペール」毎ニ七弗五十仙乃至十弗ノ收益アリ此點ハ加州ヨリモ有益ナリトス、此種子ハ棉種油製造ニ使用セラル、モノトス

茲ニ注意スヘキハ綿繰場ニ於テハ實綿ヲ繰リ更ニ其「リント」(綿)ヲ内地向ニ包裝スル迄ヲ引受クルモノニシテ其費用ハ綿繰料ノ中ニ包含サレ居ルモノト見做ス習慣ナリ之後ニ述ブル荷造費ト關係アリ

(二) 荷造、運賃及其他附屬費用 荷造方法ハ棉花ニ關シ一般ニ云フトキハ二種アリ(一)内地向荷造 (Domestic Sale of unopen- Pressed Lint) 及(二)輸出向荷造 (Export or Compressed Lint) ナリトス而シテ此ノ内地向荷造ト云フハ繰綿場ニ於テ種子ヲ去リタル後包裝ヲ施シタルモノ其儘ヲ言フモノニシテ普通粗キ麻布ヲ以テ綿ヲ包ミ之ヲ六本ノ鐵圈ヲ以テ括リタルモノナリ此包裝ノ目方ハ鐵圈六本九封度(一本一封度)「カバー」用麻布四碼十二封度(一碼三封度)ニテ合計二十一封度トナルモノナルガ普通此風袋ヲ二十二封ト見積ヲ例トス、又輸出向荷造ト云フハ繰綿場ニテ包裝セラレタルモノヲ更ニ壓搾場ニ送リ壓搾シタル上鐵圈ノ重量十封度(一本一封度)「バツギング」十二封度ナルガ尙此上ヲ白木綿 (Cotton Lint) ヲ以テ蔽ヒ記標ヲ附スルモノナルヲ以テ結局三十封度内外ノ風袋トナル、木綿ニ關シテハ商慣習上此風袋ノ目方ヲ全體ノ六「バセン」ト爲スモノトス

以上ハ其名稱ノ示スガ如ク第一ハ内地ニ於テ販賣セラル、棉花ノ荷造ニシテ後者ハ輸出品ニ施サル、方法ナルガ「インビリアルヴァアレー」ノ棉花ニ付テ言フトキハ同地方ニ於テハ棉花壓搾場ノ設備ナキヲ以テ現今ニ於テハ内地向荷造ノ儘即チ「アンコンプレス」、ペール」ニテ輸出シ居ルモノトス、而シテ此種ノ包裝ハ繰綿場ニ於テ取扱フモノニシテ其費用ハ棉繰費ノ中ニ含マレ居ルヲ以テ目下平原ノ棉花ニ付テハ特ニ荷造ノ費目ナシ又加州ニ於テハ棉花取引ノ相場及運賃率ハ凡テ風袋ヲ込メタルモノニ就テ之ヲ立ツル慣習トナリ居レリ

運賃、目下「インビリアルヴァアレー」産棉花ハ本邦ニ輸出セラル、ノミナルヲ以テ桑港經由本邦ニ達スル間ノ運賃ヲ標準トシテ説明スレハ平原産地ヨリ桑港ニ至ル迄ハ百封度ニ付六十五仙桑港ヨリ本邦迄同百封度六十五仙ニテ合計壹弗三十仙トナル割合ナリ之ヲ南部諸洲ノモノト比較スルニ例ヘハ「チキサス、オクラホマ」地方ノモノハ凡テ桑港又ハ其他ノ港ニ到ル迄百封度ノ運賃八十五仙外ニ壓搾荷造ニ要スル費用十仙小計九十五仙ニシテ更ニ桑港ヨリ本邦迄ハ百封度四十仙ノ割ニシテ全部合計一弗三十五仙トナリ結局ニ於テハ平原産棉花ハ南部産ノモノニ比シ僅カニ百封度五仙宛安價トナル割合ナリ

平原産棉花ト南部諸州産棉花トノ間ニ運賃率ノ差異大ナルハ前者ハ前ニ述ベタル通り壓搾ヲ施サス「ドメスチツク、ペール」ノ儘輸出スルヲ以テ風袋大ニシテ運搬ニ多クノ面積ヲ取ルヲ以テナリ、故ニ平原ニシテ壓搾場ヲ設立シ南部同様ノ荷造ヲ爲ストキハ、百封度ノ「コンプレス」料十五仙桑港迄ノ鐵道賃四十五仙桑港ヨリ横濱迄四十仙即チ合計一弗ニテ本邦ニ達スル計算トナリ南部諸州ノモノニ比シ百封度ニ付三十五仙安價トナル
又保険料ハ棉花百弗ノ價格ノモノニ對シ普通八厘五毛ノ率ナレトモ保險會社ト荷主トノ交渉ニ依リ其以下ノ率ヲ以テ契約ヲ締結シ得ルコト勿論ナリトス其他棉花ハ原料品ナルヲ以テ輸出入ニ關シ税金ヲ負課セラル、コトナシ

第十節 平原交通及附近市村ノ發達

「インビリアルヴァアレー」ヲ横斷スル鐵道ハ一條ノ幹線及一箇ノ支線ヨリ成ルモノニシテ南太平洋鐵道ノ敷設スル處ナリ其幹線ト稱スルハ桑港、ニューオーレアニス間ノ直通線路ニシテ桑港ヨリ「ロスアレゲルス」ニ至リ更ニ平原ノ東南部ヲ貫通シテ「アリゾナ」州「ユマ」驛ニ達スルモノトス、此ノ幹線ハ平原ニ於テハ多クハ未開ノ地ヲ通過シ居ルモノナルヲ以テ更ニ「ソートンシー」ノ東少距離ノ處ナル「インビリアルヴァアレー」ヨリ支線ヲ敷設シテ平原肥沃ナル土地ノ中心ヲ貫キ國境「カレキシコ」ニ至リ尙墨國側ニ入り方向ヲ東方ニ轉シ楕圓ノ弧ヲ爲シテ墨國側平原有望ノ土地ヲ通過シテ

第二章 「インビリアルヴァアレー」ノ輸作業ノ狀況

「ユマ」驛ノ手前ナル「アンドレード」驛ニ於テ幹線ニ復歸スルモノトス、故ニ此部分ニ於ケル平原ノ鐵道線ハ恰モ半圓ノ周圍ノ如キ形狀ヲ爲シ底邊ハ直通幹線ニシテ弧ヲ畫クモノガ支線ト見ルベキナリ、而シテ此支線ハ殊ニ平原開發ノ爲ニ敷設セラレタルモノニシテ現今新開地ト稱スル部分ハ此線路ニ依リテ交通ヲ全フシ居ルモノナリ其運轉ノ狀況ヲ述ブレバ「ロスアレゲルス」ヨリ「インビリアルジャンクシオン」ニ至ル本線一八四哩約七時間ヲ要ス、更ニ支線ニ入ツテ「インビリアルジャンクシオン」「カレキシコ」間四十哩ニシテ二時間ヲ要シ日々三回ノ往復ヲ爲ス、「カレキシコ」ヨリ墨國側ニ入り前記「アンドレード」驛ニテ本線ニ復歸スル迄ハ五十三哩ノ延長ニシテ三時間ヲ要シ一日一回ノ往復ノ汽車アリ、尙目下前記「カレキシコ」ト「サンヂエゴ」港トノ間ニ直通鐵道ヲ敷設セント計畫スルモノアリ若シ此計畫ニシテ實行セラレバ「ロスアンジェル」ナル「サンビドロ」ノ築港ト相俟ツテ東洋ニ向フ二輪出港トナリ平原貨物ノ東洋ニ出ツル距離ヲ大ニ短縮スルモノト云ベシ

附近市村ノ發達 墨國側ニ於テハ都市ト稱スベキ程ノモノナシ唯タ「カレキシコ」ノ向側ニ於テ「メキシカリ」ト稱スル處アレト數十戸ノ人家二三ノ食物店等ノ在ルノミニシテ微々タル一寒驛ナリ

米國側「インビリアルヴァレー」ハ一九〇一年ニ始メテ「インビリアル」ニ移民サレタルガ始メニシテ未タ十ヶ年ノ短日月ニ過キサレトモ一帯ノ發達ハ非常ナルモノニシテ目下都市トシテ比較的著シキモノヲ「インビリアル」「エルセントロ」「ブローレー」「ホートヴィル」「カレキシコ」「メロラント」外二三トナシ農民ハ其周圍ニ散在ス殊ニ「エルセントロ」ハ平原ノ首府ニシテ學校、銀行、市役所、郡裁判所等アリ將來ハ平原ノ中心タルベシ、人口ハ統計ナキヲ以テ精確ニ知リ難キモ郡裁判所ノ言フ處ニ依レバ「エルセントロ」ニ千、「インビリアル」ニ千、「ブローレー」ニ千六百、「アレキシコ」ニ千四百、「ホルトヴィル」ニ千五百、「ビーバー」五十、「メロラント」二十五、ナリト云フ、平原全體ノ人口ハ目下約二萬灌漑耕作セラレタル地ハ米國側二十萬噐墨國側二萬噐内外ニシテ此等ノ耕地ニハ各種麥類「アルハルハ」牧草、野菜類ヲ栽培シ又大規模ニテ家畜類ヲ飼養シ「バター」ノ製造等頗ル盛ナリ

結 論

以上ヲ以テ「インビリアル、ヴァレー」ノ情況ヲ概説シタルガ余ノ研究ノ主眼トシタル棉花栽培ニ就テハ必スシモ從來「インビリアル、ヴァレー」ニ付キ世上ニ發表セラレタル説ト一致セス勿論平原ノ棉作ハ全ク初期ニシテ未タ其良否ヲ判斷確定スルニハ時期尙早キモノナルト並ニ余カ計算ノ基礎ハ一九一〇年度ノ平均作柄ニシテ此結論ニ到達セル理由ハ收入出費ノ部ニ詳説シ置キタルヲ以テ之ヲ再言セズ然リト雖モ余ノ觀察モ亦終局スル處ハ棉作ノ前途ヲ樂觀スルモノニシテ畢竟前者トハ程度ノ差アルノミ、平原ノ天候地味ガ良好肥沃ニシテ己ニ本年度ノ不熟練ナル栽培ニ於テモ一噐平均半「ペール」ノ收穫ニシテ之ヲ南部諸州ノ平均産額二百封度ニ比スレハ其額決シテ尠カラサルノミナラズ更ニ改良ヲ加フレバ收穫ヲ増加スル見込充分ナルニ於テ何人モ平原カ棉作ノ適地タルコトヲ疑フモノナシ唯タ平原ノ棉作ニ就キ憂慮スヘキハ勞働者ノ不足ナル事ニシテ摘取賃ニ多額ヲ費スガ故ニ決算ニ於テ純益ヲ遺スコト少ナキナリ故ニ同地ノ棉作ニ就テハ一方栽培法ノ改善ト共ニ勞働状態ヲ解決スルガ最モ急務ニシテ勞働者ヲ得ルコト容易トナルニ至ラバ其棉作ハ急速ノ發達ヲ爲シ全可能耕地六十萬噐ト見做シ其三分ノ一即チ二十萬噐ニ栽培セラレ平均半「ペール」ノ收穫トシテ年々十萬「ペール」ノ棉花ヲ産スルハ必スシモ難事ニアラサルナリ(明治四十四年二月末稿)

北米合衆國

ワ
イ
チ
ミ
ン
グ

州
日
本
人
事
情
報
告

北米合衆國「アイダホ」及「ワイ チミング」州日本人事情

目次

第一章 「ワイチミング」州	六五
第一 總 說	六五
第二 日本人ノ事業	六六
(1) 商業 (2) 農業 (3) 將來ノ見込	
(4) 日本人事業地方別表	
第三 日本人ノ労働	六七
(1) 鐵道労働 (2) 炭坑労働	
(3) 家内労働及其他ノ雜役	
第四 日本人ニ對スル州民ノ感情	七〇
第五 日本人營業者戸別表	七〇
第二章 「アイダホ」州	七二
第一 總 說	七二
第二 商業	七三

第三 農 業	七五
第四 勞 働	七八
(1) 鐵道労働 (2) 農園労働 (3) 家内労働	
(4) 労働者ノ風紀	
第五 日本人ニ對スル州民ノ感情	八一
第六 日本人營業者戸別表	八二
日本人營業者戸別表	八二

北米合衆國「アイダホ」及「ワイチミング」州日本人事情

在「ポートランド」

外務書記生 大山 卯次 郎

第一章 「ワイチミング」州

第一 總説

位置面積
人口産業

「ワイチミング」州ハ太平洋ヲ距ル事約一千哩ノ内地ニ位シ西ハ「アイダホ」州東ハ「ダユタ」及「チブラスカ」州ニ境ノ南ハ「ユタ」及「コロラド」州ニ隣接ス但シ「ロッキー」ニ連ル高原地帯ノ内ニ在リテ平均六千呎内外ノ地高ヲ有シ普通底地ト稱セラル、處ト雖モ尙且ツ五千呎以上ニ及ベリ面積ハ九萬七千九百方哩ニシテ大サ恰モ吾カ本土及九州ヲ併セタルモノト大差ナシ明治四十三年五月國勢調査局ノ調査スル所ニヨレバ人口僅ニ十四萬六千人ニシテ一方哩ニ付平均約一人半弱ナリトス、産業ノ主ナルモノハ牧畜及石炭採掘業ニシテ銅鐵ノ鑛脈頗ル豊富ナリト稱セラル、モ其採掘未ダ盛ナリト云フベカラス、農業ハ極メテ幼稚ニシテ今尙ホ牧畜時代ヲ脱ルス事能ハズ數年以前ヨリ低地ニ於テ盛ニ灌溉工事ヲ施シ耕地ノ増殖ヲ試ミツ、アルモ未ダ顯著ナル進歩ヲ示スニ至ラズ近年州立農事試驗所ニ於テ水利ノ便少キ地方ニ對シ乾燥農作法ヲ獎勵シ良好ナル成績ヲ得ツ、アリト云ヘバ灌溉農作法ト相待テ漸次麥作等ノ耕作盛ナルニ至ルベシ

邦人數

州内ニ於ケル日本人在留者ハ明治四十三年九月上旬調べニヨレバ其數約千二百五十人ニシテ内商業ヲ營ム者四十七戸其共同者及家族ヲ併セ人口六十六人、農業ヲ營ム者五戸其共同者及家族ヲ併セテ人口八人、其他ハ總テ勞働者ニシテ其九割五歩ハ鐵道及炭坑ノ勞働ニ從事シ家内勞働及其他ノ雜役ニ從事スル者ハ日本人商店等ニ使用セラル、者ヲ通算スルモ其數百人以上ニ昇ル事ナシ

日本人ニ對スル州民ノ感情ハ別記セルガ如キ理由ニヨリ一般ニ良好ニシテ何等排斥ノ傾向ヲ見ル事ナシ殊ニ炭坑夫ノ如キハ坑夫同盟ニ加入シ一般坑夫ト全然同一ノ待遇ヲ受ケ他ノ同盟員ニ對シ頗ル圓滿ナル關係ヲ有シ居レリ

第二 日本人ノ事業

商業

(1) 商業 州内ニ於ケル日本人ハ殆ト總テ勞働者ノミニシテ偶々商業ヲ營ム者ナキニアラスト雖モ其多數ハ日本人ヲ目的トセル小商人ノミニシテ米國人ヲ顧客トセル如キハ僅ニ四、五ヲ算スルニ過キササルノミ例ヘハ洋食店ノ如キハ他ノ諸州ニ於テハ米國人ヲ目的トセル日本人得意ノ事業ナリト雖モ當州ニテハ「シャイアン」府外一ヶ所ニ於テ僅ニ四ヶノ店舗ヲ見ルニ止リ洗濯店ノ如キモ「ケムマラー」及「スーベリヤ」兩地ニ各一アリ孰レモ完全ナル蒸汽機械ヲ利用シ同地附近一帯ノ業務ヲ獨占シ相當收益ヲ揚ケツヽアルモ其他ノ商店ニ至リテハ亦殆ト云フニ足ルベキモノナシ只「シャイアン」府ニ大陸供給會社ト稱スル食料及雜貨店アリ卸及小賣ヲ業トシ同地ヲ中心トスル大區域内ノ日本人ニ對シ日用品ヲ供給シ併セテ同地米人向雜貨ノ販賣ヲ爲ス蓋シ當方面一帯ノ地ニ於ケル日本人商店中ノ最モ大ナルモノ、一ナリトス

農業者

(2) 農業 農業ニ至リテハ商業ニ比スルニ更ニ振ハス南ノ方「フロンテア」、「シャイアン」ニ各一戸ノ農夫アリ其人口僅ニ三名ニ過ギス前者ハ土地四英反、後者ハ十英反及温室二棟ヲ借受ケ野菜及馬鈴薯等ノ栽培ニ從事セリ、但シ南方「ホイトランド」ニ一名北方「シセリダン」ト稱スル「バーリントン」鐵道最終停車場附近ニ二名ノ日本人農夫アリトノ事ナルモ未ダ詳細ナル報告ヲ得ル能ハス

(3) 將來ノ見込 之ヲ要スルニ在留日本人ノ事業ハ農商共ニ頗ル幼稚ナルモノニシテ今後ト雖モ未ダ俄ニ大ナル發展ヲ見ルベシトモ思ハレズ當州ノ主産業タル牧畜及採炭業ハ其前途頗ル有望ナルノミナラズ農業ニ至リテモ廣漠タル平野多ク地價非常ニ低廉ナルヲ以テ適當ナル土地ヲ買入レ穀類牧草等ノ大農の農作ヲ爲ス事極メテ有利ナルノミナラズ地價ノ騰貴ニヨリテ受クベキ利益大ナルベシト雖モ薄資ナル勞働上リノ者ニトリテハ容易ノ業ニアラズ然ラバ成ルベク規模ヲ

縮少シ日本人ノ最モ得意トスル野菜若クハ其他ノ園藝の耕作ヲ行ハンカ州内一般ニ都市ノ發達幼稚ナルカ爲メ自然好手ノ市場ニ遠ク且ツ冬期長キ爲メ早熟ニヨリテ受クベキ利益ヲ占ムル事能ハサルノ不利益アリ若シ夫レ商業ニ至リテハ地方ノ發達幼稚ナルカ爲メ一般ニ企業ノ機會極メテ少ク其前途甚ダ遼遠ナリト云ハサルベカラズ

(4) 今日日本人ノ事業種類ヲ地方別ニシテ示セバ左ノ如シ

「ワイオミング」州日本人事業地方別表

事業地	受資業										
	食料雜貨店	洋食店	日本飲食店	洗濯店	旅店	球突場	雜業	農業	合計	使用人	有業者
「フロンテア」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「サブレツト」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ケムマラー」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ナイグレイ」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ロツクスプリング」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「グレン」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「スーパヤ」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ハイン」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「シャイアン」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「サンライズ」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ララミ」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ホイトランド」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「シセリダン」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第三 日本人ノ勞働

當州ハ太平洋沿岸ノ諸州ニ比シ勞力ノ缺乏殊ニ甚シク日本人勞働者ハ至ル處地方事業家ノ歡迎ヲ受ク在留者ノ數ハ季節ニヨリテ同シカラザルモ明治四十三年九月上旬調ニヨレバ一千一百八十人ニシテ其内鐵道六百人、炭坑四百五十人、鐵

鐵道労働者

山三十人、家内労働及其他ノ雜役約一百人ナリトス

(1) 鐵道労働 當州内日本人鐵道労働者ハ西村島本工務局(四河鐵道及
熊本鐵道經營)ノ受負ニ係ル「ユニオン、バシフ井ツク」鐵道ヲ其主
ナルモノトシ「ボカテロ」工務局(大英三
郎經營)ノ手ニヨル「ラレゴン、ジョートライン」鐵道ノ一部及伴事務所(伴新三
郎經營)ノ取扱ヘル「パ
ーリントン」鐵道工事ノ用ニ使役セラル、モノニシテ明治三十三年「ユニオン、バシフ井ツク」鐵道ニ於テ約四百人ノ日本
人ヲ使用シタルヲ以テ其始トス、明治四十三年九月上旬調ニヨレバ日本人就働者ハ右三線ヲ通シ其數約六百ナルモ季
節ニヨリテ増減アリ其最モ多キ時ハ四月及八月ニシテ其數少クモ八百名ヲ下ラサルベシ但シ十一月中旬ヨリ五月上旬迄
並ニ七日中旬ヨリ九月上旬迄ハ鐵道ニ労働シ五月中旬ヨリ七月下旬迄及九月中旬ヨリ十一月月上旬迄ハ「コロラド」、「ユ
タ」、「アイダホ」又ハ「ネブラスカ」等適宜ノ地方ニ出テ甜菜ノ耕作ニ從事スルヲ常トスルモノナルガ冬季ハ氣候ノ關係上
充分ナル工事ヲ行ヒ難ク休業日多キモ他ニ職業ヲ得ル事困難ナルヲ以テ勤勉ナル者ハ嚴寒ノ候ト雖モ尙ホ甘ジテ其業ヲ
去ル事ナシ去ル三十九年中布哇ヨリ日本人轉航ノ盛ナリシ時ハ「ユニオン、バシフ井ツク」鐵道ノミニテモ尙且ツ二千五
百人以上ノ日本人ヲ使役シタル事アリタルモ翌四十年右轉航禁止セラレタル以來其數年一年ニ減退シ遂ニ現今ノ衰退ヲ
見ルニ至リタルカ彼等ノ多クハ或ハ「コロラド」州、「ネブラスカ」州等ノ内地ニ入り或ハ去テ「ユタ」又ハ「アイダホ」州ニ
赴ケルアリ或ハ又多少ノ貯金ヲ得テ既ニ本國ニ歸去シタル者モ少カラズ今後日本人移民ノ減少スルニ從ヒ如何ニシテ是
等労働者ノ供給ヲ繼續シ得ベキヤハ蓋シ當業者ノ最モ苦心スル所ナリトス、勞銀ハ目下ノ處十時間労働ニテ日給普通工
夫一弗六十仙、工場雜役一弗九十仙、火夫二弗五十仙、火夫助手二弗二十仙、人夫長月給七十弗乃至七十五弗ニシテ勞
働日數ハ一ヶ月二十日ヲ下ラズ、左レバ日給労働者一ヶ月ノ收入ハ三十二弗乃至五十弗ニシテ食料及諸雜費十五弗、二
十弗ヲ要スベシト云ヘバ若シ勤勉ナル者ナランニハ一ヶ年二百五十弗乃至二百八十弗ヲ貯金スル事ハ敢テ困難ニアラス
ト雖モ賭博ノ爲メニ消費シ盡ス者極メテ多シト云フ

炭坑労働者

(2) 炭坑労働 日本人ノ炭坑労働ノ起原ハ明治三十一年西山元ガ「ロツク、スプリング」炭坑ニ日本人坑夫ヲ供給シタル

ニ始リタルモノニシテ爾來坑主ノ歡迎スル所トナリ今日ニテハ右炭坑及「フロンテア」、「オークレー」、「サブレット」、「ガ
ン」、「スーベリア」及「ハンナ」ノ七ヶ所即當州炭坑ノ主ナル所ニ於テ悉ク日本人ノ就働スルヲ見ルニ至レリ明治四十三年
九月下旬調ニヨレバ日本人労働者總數四百五十人ナルモ冬期ハ六百内外外昇ルベシト云フ從來日本人坑夫ハ坑夫同盟
以外ニアリテ他ノ労働者ト均等ノ待遇ヲ受タル事能ハサリシモ去四十年以來坑夫同盟ニ加入シ爾來一般坑夫ト全然同一
ノ位地ヲ得ルニ至レリ蓋シ日本人坑夫ノ勢力頗ル強大ニシテ日本人ヲ同盟ヨリ除外スル事ハ却テ一般同盟ニトリテ危險
甚シキノミナラズ周圍ノ事情ハ寧ろ日本人ヲシテ之ニ加盟セシムルノ彼等ニトリテ非常ニ有利ナルベキ理由アリタルニ
ヨルモノニシテ當國ニ於テハ最モ特殊ノ顯象ナリトス、爾來歲ヲ累スル事茲ニ四年同盟員トノ關係頗ル圓滿ナルノミナ
ラズ坑主ノ信用モ亦極メテ厚ク労働ノ成績大ニ見ルベキモノアリ賃銀ノ公定ハ坑主同盟及坑夫同盟代表者會議ヲ以テ之
ヲ決定スルモノニシテ現行賃率ハ明治四十三年九月一日ヨリ向ニ二ヶ年間當州各炭坑ニ於テ實行セラルベキ約定ニテ既往
ノ賃率ニ比シ探炭一噸ニ付三仙ヲ増加セリ總テ八時間労働ナルカ其賃銀(日)ハ坑内労働ハ探炭者、機械援助手三弗四十
仙、爆裂探炭者、機械扱者三弗九十仙、坑内雜役三弗二十五仙、坑外労働(日)ハ火夫、炭車鋤手三弗、探炭者三弗四十仙、炭
車積荷者三弗二十五仙、坑外雜役二弗五十仙ナルカ労働高ニヨル賃銀ハ炭坑ノ場所狀況労働ノ難易等ニヨリテ同シカラ
ザルカ各自ノ伎倆次第ニテ三弗乃至七弗ノ日給ニ當ル(日本人ノ關係セザル勞
働者賃銀ハ之ヲ略ス)労働日數ハ人ニヨリテ異ルモ平均一ヶ月十五
日乃至二十日位ナリト云ヘハ其月收ハ平均五十一弗乃至六十八弗ナルベク生活費一ヶ月分ハ賄料十五弗其他ノ諸費十五
弗合計三十弗ヲ要スヘキニ付一ヶ月ノ貯金高二十一弗乃至三十八弗ヲ下ラサルヘク仕事高ヲ標準トシテ労働スル者ニア
リテハ一ヶ月五十弗ヲ貯金スルモノ少カラズ然レトモ場所ニヨリテハ賭博盛ニ行ハレ折角ノ貯金モ一夕ノ遊戯ノ爲メニ
費消シ盡スモノ亦頗ル多シト云フ、但シ炭坑ノ労働ハ他ノ労働ニ比シ賃銀高ク坑内ハ地上ニ比シ寒暑ノ差甚シカラザル
ノミナラズ一年中仕事ニ間斷ナク且ツ本州内各炭坑共健康状態極メテ佳良ナルヲ以テ此種ノ労働ニ慣レタル者ハ餘リ他
ニ轉職スル事ヲ好マズ鐵道又ハ家内労働者ノ如ク季節ニヨリテ農園ニ赴ク者極メテ少シ

③ 家内労働及其他ノ雜役 州内ニ於ケル日本人ノ家内労働者及其他ノ雜役ニ従事スル者ハ其數極メテ少ク日本人ノ商店ニ使用セラレ、者ヲ合スルモ尙且ツ百人ヲ越ル事ナシ蓋シ各地共發達ノ程度尙ホ極メテ幼稚ニシテ是等労働者ノ需要大ナラザルニヨルモノニシテ「シヤイアン」、「ロックスプリング」、「ララミ」ヲ除クノ外ハ一地ニ付僅ニ一兩人若クハ四、五人ヲ算スルニ過キサルノミ

第四 日本人ニ對スル州民ノ感情

日本人ニ對スル州民ノ感情

日本人ニ對スル州民ノ感情ハ一般ニ良好ニシテ何等排斥ノ聲ヲ聞ク事ナシ蓋シ當州ノ繁榮ハ鐵道及炭坑ニヨリテ保タルルモノニシテ日本人在留者ノ殆ト全數ハ是等會社ニ使用セラレ、モノナレバ勢ヒ地方ノ利害ト常ニ密接ノ關係ヲ有シ州民ノ之ヲ排斥スルガ如キハ蓋シ其考ヘ及バサル所ナルノミナラズ會社モ亦成ルベク之ヲ庇護スル事ヲ努ムルヲ以テ一般ノ感情モ亦從テ融和ヲ受クルハ蓋シ自然ノ勢ナリトス況ンヤ炭坑夫ノ如キハ一般炭坑夫ノ同盟ニ加入シ同盟員トノ關係頗ル圓滿ナルモノアリ而シテ鐵道ニ於テモ炭坑ニ於テモ日本人ハ概シテ勤勉敢爲ノ風アリ労働ノ効果頗ル優秀ナルノミナラズ生活ノ程度モ亦他ノ労働者ニ比シテ損色ナク南歐ヨリノ下等移民ニ比シテハ遙ニ優等ナル所アリ是本邦人ノ歡迎セラルル所以ナルガ是等日本人ハ都會ニ出入スル事アルモ其住所ハ都會ヨリ隔リタル偏僻ノ地方ニアルカ爲メ一般人ニ對シ異様ノ風俗ヲ曝露スルガ如キ事ナキノミナラズ州内一般ニ勞力ノ缺乏甚シク労働者間ニ競争ヲ生スルガ如キ憂ナシ是亦排斥ノ聲ヲ聞ク事ナキノ理由ナリトス

第五 「ワイオミング」州日本人營業者戸別表

地名	姓名	營業種別	家賃	使用人	資本金	取引高	備考
「フロンテア」	植田平太郎	炭坑夫監督	一	—	—	—	配下炭坑夫八〇人
「サブレツト」	植田典平	食店	九	—	—	—	ナシ、配下炭坑夫八〇人
「ケムマラー」	守屋鹿太郎	食店	二	二	一、〇〇〇	八、〇〇〇	ナシ、三〇人

第二章 「ワイオミング」州

地名	姓名	營業種別	家賃	使用人	資本金	取引高	備考
「オーグレイ」	日本人共同會代表者窪田次郎	雜貨店	〇	一	—	—	ナシ
「ロックスプリング」	窪田次郎	炭坑夫監督	〇	—	—	—	ナシ
	植田典平	炭坑夫監督	三	—	三、〇〇〇	一、二〇〇	ナシ
	中村竹造	炭坑夫監督	一	—	一、〇〇〇	—	ナシ
	向山甚内	洋服仕立業	—	一	一、〇〇〇	—	ナシ
	田島庄一	牛乳店	—	一	一、〇〇〇	—	ナシ
	豊原淺市	雜貨店	—	一	一、〇〇〇	—	ナシ
	古城實平	飯屋	—	一	一、〇〇〇	—	ナシ
	西村政五郎	飯屋	—	一	一、〇〇〇	—	ナシ
	藤崎近三	飯屋	—	一	一、〇〇〇	—	ナシ
	高山多三郎	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	ナシ
	砂田空次郎	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	配下炭坑夫三〇人
	砂田商店	食料并ニ雜貨商	—	一	一、〇〇〇	—	有
	同「ゴアナム」	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	同「玉」	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	同「玉」	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	同「玉」	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	支配人後藤達也	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	淺井幸三郎	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	鬼木悅藏	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	霧村賢治	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	霧村政次郎	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	橋本清太郎	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	三宅海太	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	谷田直昌	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	望月市太郎	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	榊水日吉	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	岡野新輔	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有
	鬼塚新次郎	炭坑夫監督	—	一	一、〇〇〇	—	有

「シャイアン」	熊本	「エービーホテル」	坂井初太郎	旅館	1	2500	ナシ
廣島	「ミカド」	沖本龍造	洋食店	4	1000	ナシ	
島根	「レストラント」	日高菊治	食料雜貨	4	10000	ナシ	
熊本	支配人	城平助	食料雜貨	3	10000	ナシ	
宮城	桑田	勝藏	下宿料理屋	3	1000	ナシ	
熊本	小笠原	常三郎	生魚野菜店	3	1000	ナシ	
廣島	松浦	鐵平	玉場煙草店	3	2000	ナシ	
岡山	上田	力藏	日本料理店	3	2000	ナシ	
廣島	三宅	海太	日本料理店	3	3000	ナシ	
岡山	平田	四二	鐵道工夫供給請負	3	3000	ナシ	
岡山	島本	地	鐵道工夫供給請負	3	3000	ナシ	
岡山	島本	町工務局	鐵道工夫供給請負	3	3000	ナシ	
岡山	小林	又三郎	鐵道工夫供給	3	3000	ナシ	
岡山	千葉	恵吉	鐵道工夫供給	3	3000	ナシ	
岡山	淺野	樽治	鐵道工夫供給	3	3000	ナシ	
岡山	支配人	政右衛門	鐵道工夫供給	3	3000	ナシ	
岡山	伴商店	出賣所	食料雜貨商	3	3000	ナシ	

第二章 「アイダホ」州

第一 總 説

位置面積 「アイダホ」州ハ北米合衆國西北部高原中ノ一州ニシテ西ハ「オレゴン」州東ハ「ワイオミング」州ニ隣接シ北ニ「モンタナ」州南ニ「ネバダ」及「ユタ」州ヲ控ヘ面積八萬四千六百萬方哩ニシテ其大サ恰モ吾カ本土ニ類スルモ明治四十二年五月國勢調査局ノ調査セル所ニヨレハ其人口僅ニ三十二萬五千五百九十四人ニシテ一方哩ニ付平均約三人八分五厘弱ナリトス産業ノ主ナルモノハ鑛業、林業、牧畜及ビ農業ニシテ農産物ハ主トシテ小麦、燕麥、大麥、牧草、果物、馬鈴薯、甜菜及野菜等ナリトス

本邦人數 常州内ニ於ケル日本人移入ノ歴史ハ差シテ近年ノ事ニアラサルモ其發達今尙頗ル幼稚ニシテ明治四十三年九月調ニヨレハ當時在留者ノ數約一千二百人内商業ヲ營ムモノ五十戸其共同者及家族ヲ併セテ約八十人農業ヲ營ムモノ百三十二戸其共同者及ビ家族ヲ併セテ約百八十人其他ハ總テ勞働者ノミニシテ鐵道農園及家内ノ雜役ニ従事ス其在留區域ハ「オレゴン」、シヨートライン」其他ノ鐵道沿線ノ地方ニシテ全州主ナル都市及村落ニ散在シ一ケ處ニ集合スルカ如キ事ナシト雖トモ割合ニ多數在留シ其ノ勢力ノ比較的大ナルハ東部地方ニシテ「アイダホ」、フォールス」「シユガー」、シチー」附近ノ地ヲ其主ナルモノトス

日本人ニ對スル州民ノ感情ハ農夫若クハ勞働者トシテ克ク日本人ノ價值ヲ了解シ其援助ヲ必要トスル事業地ニ於テハ都テ日本人ニ對シ非常ニ好良ナル感情ヲ有シ連リニ永住的移民ノ入來ヲ希望セルモ其他ノ地方ニ於テハ日本人ニ接觸スル機會極メテ乏シク都市ニ於テモ農園ニ於テモ何等特種ノ感情ヲ有スル事ナク日本及日本人ニ對シ特ニ好意ヲ認メサルト共ニ何等排斥ノ聲ヲ聞キシカ如キ事モ亦斷シテアル事ナシ

第二 商業

日本人ノ 州内ニ於ケル日本人ノ商業ハ極メテ幼稚ナルモノニシテ少數ノ日本人ヲ目的トセル日用品ヲ販賣スルニアラサレハ地方人ヲ顧客トセル半勞働的商業ヲ營ムモノ、ミニシテ其ノ基礎甚ダ薄弱ナルノミナラズ其將來ニ對シテモ大ナル發展ハ未タ容易ニ之ヲ期シ難シ、蓋シ地方一般ニ發達ノ程度極メテ低ク商業上企業ノ機會甚ダ少キノミナラス日本人ノ事業家ナルモノハ總テ商業ニ經驗ナキ勞働者上リノ者ノミニシテ其ノ頼ム所ハ勞働中ニ得タル僅少ナル經驗ト及若干ノ貯金トニ外ナラサルモノナレハ其ノ經營ハ傍觀者ノ思フカ如キ容易ナルモノニ非ズ是ニ於テ過大ナル希望ヲ屬スル事ハ寧ロ酷ナリト云ハサルベカラズ

日本人商業中最モ多數ヲ占ムルモノハ西洋料理店ニシテ當州中主ナル市街若クハ村落ニ於テハ殆んど至ル處日本人ノ洋

食店ヲ見サル事ナシ蓋シ料理人若クハ給仕人トシテ勞働中必要ナル經驗ト及若干ノ資金ヲ得ルニ從ヒ漸次獨立開店スルニ至リタルモノニシテ大抵ハ主人自ラ料理人若クハ給仕人トナリ兄弟若クハ友人ヲ共同者若クハ使用人トナシ普通千五百弗内外多キハ三千弗乃至四千弗ヲ投資シ相當收益ヲ揚ケ居レリ、次ハ洗濯業ニシテ是亦洋食店ト同ジク親族若クハ友人等相寄り或ハ共同者トシテ或ハ使用人トシテ共ニ勞働スルモノニシテ洗濯業者ニアリテハ五百弗若クハ六百弗内外ヲ投資スルモ中ニハ三千弗内外ヲ投ジ蒸汽機械ヲ使用セルモノアリ此ノ事業ハ多クノ場合ニ於テ競争者少ク新開地ニ於テハ一般人ニ取リ極メテ必要ナル企業ナリトシテ歡迎ヲ受ク此外ニ食料及雜貨店アリト雖モ總テ日本人向日用品ヲ販賣スル者ノミニシテ多少地方ノ商品ヲ取扱ハサルニアラサルモ其ノ大部分ハ日本ヨリノ輸入貨物ニシテ桑港若クハ「ボートランド」ニ於ケル日本人直輸入商ヨリ受繼販賣ヲナスモノニシテ其規模極メテ小、只僅カニ店舗ノ形體ヲ存スルニ過ギザルノミ次ニ少數ノ旅館、日本飲食店、球突店等アルモ日本人ノ事業トシテハ寧ロ望マシカラサルモノナリト思ハル今各地方ニ就キ日本人ノ營業種別ヲ示セハ左ノ如シ

「アイダホ」州日本人營業別戸數表

營業地	受賃業	食料店	洋食店	飲食店	洗濯店	旅店	球突場	雜業	合計	使用人ノ數	有妻者ノ數
「ナイン」									一		
「ボイセル」									二		
「カール」									二		
「エメット」									一		
「ウェズ」									一		
「シヨーン」									一		
「ミニッド」									一		
「アッシュ」									一		
「アイダホ」									二	四	二
「ウェン」									一		
合計	三	五	二	三	一	六	四	五	三	五〇	八〇
											九

第三 農業

「ヘーガーマン」	「アレンス」	「ソウイン」	「ビール」	「ミル」	「オールド」	「パル」	「ボカ」	「アイダホ」	「シユガ」	合計
										三
										五
										二
										三
										一
										六
										四
										五
										三
										五〇
										八〇
										九

農業

當州ニ於テ日本人農業ヲ經營スルニ至リシハ極メテ近年ノ事ニシテ去ル三十六年在桑港日米勸業社カ東部ノ新開地「アイダホ、フォールス」及「シユガ、シチー」ニ於テ「アイダホ」及「ユタ」製糖會社トノ契約ニ基キ其甜菜耕作ニ對シ日本人勞働者ヲ供給シタルヲ以テ其始トス、爾來年ヲ閱スル事茲ニ八年右兩地附近ハ勿論他ノ方面ニ於テモ廣ク日本人ノ農作ヲ見ルニ至リシカ四十四年九月上旬ノ調査ニヨレハ當時農家戸數百三十二戸其共同者及家族ヲ併セ人口約百八十人ニシテ其内有妻者ハ僅ニ十三人ニ過キス其耕地總面積ハ一一、四七〇英反、内現金借地六、四三四英反、收穫分配借地二、八九四英反、勞力供給受負二、一四二英反、耕作物ノ種類ハ甜菜七、七二八英反、麥七、八三三英反、馬鈴薯五、九三三英反、野菜一〇、三三英反其他三、三三英反ニシテ其ノ多數ハ右「シユガ、シチー」及「アイダホ、フォールス」兩地ヲ中心トスル農園一帯ノ地方ニアリ日本人農業ノ狀況ハ夫レ此ノ如シ而シテ之ヲ過去數年前ニ比較スルニ始メハ勞力ヲ供給シタルニ止リシモノ漸次收穫ヲ分配借地ヨリ更ニ進ンデ現金借地耕作トナリ當初ハ甜菜耕作ノミナリシモノ今ハ麥、牧草、馬鈴薯等ノ耕作ヲ爲スモノ

アルニ至リ其進歩頗ル顯著ナルニ相違ナシト雖モ其基礎ハ尙ホ極メテ薄弱ニシテ未タ差シタル成功者ヲ見ルニ至ラス却テ是等事業家ノ内ニハ商店地主等ニ對シ多少ノ負債ヲ有スルモノ甚タ少カラス今若シ直ニ其決算ヲ行ハシニハ假令多大ナル缺損ヲ示ス事ナシトスルモ眞ニ克ク相當ノ資財ヲ示シ得ヘキモノハ蓋シ極メテ寥々タルベシト察セラル

右ハ徒ラニ日本人ノ事業ヲ悲觀スルニ過キザルカ如キモ如何セン彼等現在ノ實情ハ未タ斯ノ如シト云フノ外ナキモノニシテ今後數年ノ内ニハ多少面目ヲ一新スルノ時機アルベシトハ思ハル、モ事業家タルモノ更ニ奮勵一番宜シク自己缺點ノアル處ニ注意シ深ク反省努力スルニアラスンバ成功ハ到底之レヲ期シ得ベカラス余ハ海外ニ於ケル事業ノ決シテ容易ナルモノニアラザルヲ思ヒ吾農業者諸氏ニ對シテ深ク同情ヲ表スルト共ニ忌憚ナク茲ニ其ノ缺點ヲ指摘スベシ

(一) 日本人ノ事業方法カ總テ永久的ナラサル事 當國ニ於テ農業ヲ營ムモノニトリ最モ不便トスル處ハ州ノ法律ガ外國人ニ對シテ土地所有權ヲ與ヘサルニアリ勿論長期ノ借地ヲ爲シ得ヘカラサルニアラスト雖トモ斯ル法律上ノ制限カ事業家ノ心理状態ニ對シテ大ナル影響ヲ與フヘキハ蓋シ自然ノ理ニシテ吾在留民カ永久的ノ考ヲ有スル能ハサル所以ナルヘシト雖トモ彼等自身モ亦始ヨリ出稼ノ考ヲ有シ事業中モ尙常ニ望郷ノ念ヲ去ルコト能ハス其結果トシテ自然ニ成功ヲ急ギ萬事一時的ノ考ヲ以テ計畫ヲ立ルカ爲メ土地ヲ租借スルニ當リテモ短期ノ借入ヲ以テ満足シ農作上最モ必要ナル輪播耕作法ヲ行ヒ之レニヨリテ受クヘキ特種ノ利益ヲ占ムル事能ハス器具機械其他ノ設備ニ於テモ永久ニ亘リ使用スル事ヲ目的トセサルヲ以テ常ニ不經濟ナル事ヲ免ル能ハス、(二) 虛榮心ノ大ナル事 事業家ノ多クカ虛榮心強ク常ニ身分以上ノ計畫ヲ行ヒ徒ニ耕地ノ大ナル事ヲ誇ラントスルカ如キ傾アリ而シテ此ノ傾向ハ日常ノ生活ニ於テモ亦同一ナルヲ以テ萬事ニ無理算段多ク事業費ノミ多クシテ收入ノ之レニ伴フ事能ハサルカ如キ弊アリ、(三) 主婦ナキ爲不經濟ナル生活ヲ爲ス事 多クハ無妻者ナル爲メ家事上充分ナル取締ヲ爲ス事能ハス從ツテ生活ノ爲メニ要スル濫費ヲ避クル事能ハス、(四) 事業計畫粗雜ナル事 事業家ノ多クハ一攫千金ヲ夢ミ事業計畫粗雜ニ過ギ收支計算明確ナラザル弊アリ但シ斯ル稼地ニ於テ事業ヲ創始スルニ當リテハ一種ノ決斷力ヲ要スル事勿論ナルモ計畫ノ基礎ヲ充分ナル計算ノ上ニ立テサルハ蓋

日本人農業者ノ欠點

シ大ナル誤ナリト云ハサルベカラズ而カモ或ル事業家ノ如キハ僥倖心極メテ強ク萬一失敗ヲ招クコトアルモ元來無一物ニテ渡來セルモノナレハ結局元々ナルベシト云フガ如キ考ヲ有スルモノアリ思ハザルノ甚シキモノト云ハサル可ラズ、(五) 日用品ヲ掛買スルヨリ生スル弊害 當地方ニ於テハ相當耕作ヲ爲スモノニ對シテハ店舗ヨリ自由ニ日用品ヲ供給スルノミナラズ日本人ノ商店等ハ所謂勢力ノ發展ト自稱シ互ニ其賣込ヲ爭フアリ而シテ代金ノ請求頗ル寛大ニシテ或ル程度迄ハ收穫ノ時迄其ノ仕拂ヲ猶豫スルヲ以テ日用品ノ購入ニ聊カモ困難ヲ感セズ知ラズ濫費ニ陥リ易キノミナラス此ノ如キ方法ニヨツテ買入レタル貨物ノ價格ハ夫レ丈ケ高價ナルヲ常トセルヲ以テ結局生活費ノ増加ヲ招キ以上列舉セル各種原因ト相俟テ豫期ノ成功ヲ得ル事能ハサルニ至ル

右ハ我事業家ニ通スル主ナル缺點ヲ示シタルモノナルカ當州農業ノ日本人ニトリテ最モ不利益ナリトスル所ハ地方一般ニ發達幼稚ナルカ爲メ近隣ニ繁榮ナル都市ヲ有セス從テ大市場ニ遠ク且ツ冬季長キカ爲メ野菜等ヲ耕作スルニ當リ早熟ヨリ生スル利益ヲ受クル事能ハサルニ在リ勢ヒ日本人ハ甜菜耕作ハ之レヲ別トシ其最モ得意トスル園藝的農業ヲ棄テ小麦、大麥、燕麥、牧草等ノ如キ大農的耕作ヲ撰ハサルベカラズ近頃日本人ハ漸次其方面ニ於テ成功ヲ求メツ、アリト雖トモ其成績如何ハ之レヲ彼等偉常ノ努力ニ待タサルベカラス

「アイダホ」州日本人農業者戶數及耕地反別表

地 名	戶 數	農 業 反 別			作 物 種 類 及 英 反 別			家 畜				
		現 金 借 債	收 益 分 配 借 債	勞 務 力 借 債	シ ン ン ン	麥	牧 草	馬 鈴 薯	野 菜	雜 種	鷄 數	有 無
「ナ」	六	1111	1001	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ヒ」	一	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「メ」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ト」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ル」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「フ」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ォ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ル」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「ス」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「アイダホ」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第二章 「アイダホ」州

「ブラツク、フート」	九	1,200	210	1000	1200	1	1	1	馬一	有妻一
「シヤレ」	三	100	0	0	0	0	0	0	馬五	
「ゴーシヨ」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬一	有妻一
「ハサー」	二	100	0	0	0	0	0	0	馬一	有妻一
「アイダホ、フオールス」	二	1,100	100	0	0	0	0	0	馬三八	同二
「ワイロー、クリキ」	二	100	0	0	0	0	0	0	馬一〇	同二
「アイオオナ」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬一〇	同二
「メナ」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬一〇	同二
「メナ、グロール」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬一〇	同二
「メナ、グロール」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬一〇	同二
「マクツト、レーキ」	二	100	0	0	0	0	0	0	馬一〇	同二
「アララ」	三	110	0	0	0	0	0	0	馬二	
「レキス、バーグ」	七	1,100	0	0	0	0	0	0	馬二	有妻三
「インデペンデンス」	三	100	0	0	0	0	0	0	馬二八	同二
「パカ」	九	100	0	0	0	0	0	0	馬四	同三
「ユニオン」	二	100	0	0	0	0	0	0	馬四	同三
「ワイル、ブード」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬一〇	
「ヒバ」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬四	
「チート」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬六	
「ライマ」	一	100	0	0	0	0	0	0	馬六	
計	111	11,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	馬二〇七	有妻一三

第四 労働

當州ハ隣接セル他ノ諸州ト同ジク多クハ廣漠タル無限ノ平野又ハ山林ニシテ農業牧畜伐木等幾多開發ノ餘地アルニ拘ハラズ人口稀薄ニシテ常ニ労働者ノ欠乏ヲ訴ヘ勞銀ハ殆ンド年々騰貴ノ一方ニ傾キ事業家ノ困難甚タシキヲ以テ日本人勞働者ハ鐵道ニ於テモ農園ニ於テモ至ル處其ノ歡迎ヲ受ク日本人労働者ノ數ハ季節ニヨリテ著シキ差違アリ明治四十三年九月上旬ノ調ニヨレハ當時在留者九百四十人アリタルモ九月中旬ヨリ十一月上旬迄ハ甜菜耕作ノ季節ナレハ之レガ爲メ「ユタ」州及「ワイオミング」州ヨリ入込ミ來ルモノ少クモ五百名内外アルヘシト思ハル労働者ノ種類ハ農業、鐵道及家内労働ノ三種ニシテ其ノ數ハ平常ハ鐵道労働者五百人、農業労働者二百人、及家内労働者二百四十人内外ナルカ農園繁忙ノ際ニハ鐵道及家内労働者中ヨリ農園ニ轉スルモノ其ノ數甚少カラス

本邦鐵道労働者

(1) 鐵道労働 鐵道労働ハ日本人ノ内地侵入ノ媒介ヲ爲シタルモノニシテ當州内ニ於テ日本人ヲ見ルニ至リタルハ蓋シ明治二十四年「オレゴン、シヨートライイン」鐵道ニ於テ少數日本人ヲ試用シタルヲ以テ其始メトス爾來一年ニ其數ヲ増シ一時ハ二千人ニ近キ日本人ヲ見ルニ至リタルカ孰レモ鐵道會社ノ費用ヲ以テ内地ニ侵入スルノ機會ヲ得タルノミニシテ鐵道ニ労働中地方ノ事情ニ通スルニ從ヒ或ハ去テ家内労働ニ從事スルアリ或ハ轉ジテ獨立ノ事業ヲ營ムアリ殊ニ近年製糖業ノ發達スルト共ニ甜菜耕作ノ時季ニ當リ出デ、農園ノ労働ニ從事スルモノ非常ニ多ク農作ノ終ルト共ニ再ヒ去テ鐵道ノ労働ニ復歸スルヲ常トスルニ至リタルカ農園主ニ向テハ必要ノ時季ニ當リ自由ニ労働者供給ノ道ヲ開キ労働者ニ對シテハ獨立ノ農夫トシテ農園ニ發展スル機會ヲ與ヘ兎モ角モ前ニ記載セルカ如ク州内各地ニ於テ日本人ノ農夫ヲ見ル事ヲ得ルニ至レリ而シテ是等労働者ノ内ニハ更ニ深ク内地ニ侵入シ或ハ「コロラド」州ニ入り或ハ「ネブラスカ」州ニ赴キ或ハ相當貯金ヲ得テ既ニ故山ニ歸去シタルモノモ少カラス然ルニ去ル四十年在布哇日本人ノ轉航禁止セラレタル爲メ是等労働者ノ減少ニ對シ全然補充ノ道ヲ失ヒ一時隆盛ヲ極メタル日本人ノ鐵道労働モ年一年衰微ノ一方ニ傾キ六、七年前迄普通工夫一日ノ勞銀一弗ナリシモノ今日ニテハ一弗六十仙ヲ仕給スルモ尙且ツ容易ニ希望者ヲ求ムル事能ハス明治四十三年九月上旬ノ調ニヨレバ當時日本人就働者ハ其數大凡五百人内外ニ止レリ現今賃銀八十時間労働ニテ普通工夫日給一弗六十仙工場雜役一弗九十仙火夫二弗五十仙火夫補助二弗二十仙工夫長ハ月給七十弗乃至七十五弗ナリトス而シテ一ケ年間ノ労働日數ハ平均二百五十日内外ニシテ一人一ケ年分ノ貯金高約二百五十弗乃至二百

八十弗ナルモ賭博等ノ爲メ浪費シ悉ス者極メテ多シ

(2) 農園労働 農園ニ於ケル日本人ノ労働者ハ季節ニヨリテ其數同シカラス平常ハ全州ヲ通ジ約二百人内外ナルヘシ而シテ農園ノ繁忙ナル時季ニ當リテハ「ユタ」州及「ワイオミング」州等ヨリ轉入スルモノ頗ル多ク其數六百名ヲ下ラサルヘシ、労働ノ種類ハ馬鈴薯野菜ノ耕作若クハ果物摘等ナキニアラサルモ其多數ハ甜菜ノ耕作及ビ收穫ニ従事スルモノニシテ當州甜菜ノ耕作ハ殆ンド是等日本人ノ手ニ獨占セラレ日本人ニ依ルニアラサレハ到底其ノ目的ヲ達スル事能ハサル事トナリ居レリ、而シテ其ノ労働期間ハ五月中旬ヨリ七月下旬迄間引及草取九月中旬ヨリ十一月月上旬迄ハ收穫ニ従事スルモノニシテ其總日數約百二十日内外ナリトス、勞銀ハ各自ノ労働高ニヨルモノニシテ一日ニ付少ナキハ二弗五十仙乃至三弗多キハ七弗内外ニ及ブモノアルモ普通ハ約三弗五十仙ニシテ生活費其他ノ經費ヲ除キ右期間中二百五十弗乃至三百弗位貯蓄スル事ハ差シテ困難ナラスト云フ

(3) 家内労働 家内労働ハ太平洋沿岸諸州ニ於ケルト同シク當州ニ於テモ日本人ノ労働ノ主ナル一ニシテ都市及主ナル村落ニ於テ料理、皿洗、掃除及其他ノ雜役ニ従事スルモノナリトス、孰レモ最初鐵道労働者トシテ右沿岸地方ヨリ移入シ來リタル者ナルカ就働ノ傍ラ地方ノ事情ニ通曉シ言語ヲ解スル事ヲ得ルニ從ヒ漸次轉業セルモノニシテ全州ヲ通シ此種ノ日本人労働者約二百四十人内外アルヘク「ボイセ」府「ナンバ」及「ボカテロ」市等ニ於テハ日本人ノ店舗ニ使用セララル、モノヲ併セ少キハ二十名多キハ四十名内外アルヘキモ其他ハ廣ク各地ニ散在シ一ヶ處ニ就キ兩三名乃至四五名位ヅ、労働シ多人數一處ニ集合スルカ如キ事アルナシ、蓋シ當州ハ發達ノ程度極メテ幼稚ニシテ家内労働地トシテ其需要頗ル少ク太平洋沿岸ノ都市ニ於ケルカ如ク多數日本人ノ在留者ヲ見ル事ナシ此種労働者一ヶ月ノ收得ハ食事付四十弗乃至五十弗ニシテ料理ノ手腕優秀ナル者ハ六十弗乃至七十五弗ヲ給セララル此等労働者ノ内事業心アル者ハ若干ノ貯金ヲ得店舗ノ經驗ヲ積ムニ從ヒ或ハ洗濯屋ヲ始メ球突業ヲ營ミ洋食店等ヲ開業ス

(4) 労働者ノ風紀 農園ニ於ケル労働者ハ風紀極メテ良好ナルモ都市ニ住スル者及鐵道ノ労働ニ従事スル者ハ多ク賭博

ニ耽リ粒々稼キ得タル折角ノ貯金モ一夕ノ遊戯ノ爲メニ煙霧消セシムルモノ少カラスト云フ、而シテ農園ニ在ルモノト雖モ甜菜耕作ノ爲メ臨時ニ入り込メル多數ノ者ハ一時ニ多額ノ勞銀ヲ得タル結果其集散ノ中心地タル「ユタ」州「オクデン」市「ソートレーキ」府ニ歸還ノ末賭博及酒食ノ爲メ浪費スル者は又甚タ少カラスト云ヘリ州内ニ日本人ノ醜業者ナシ

第五 日本人ニ對スル州民ノ感情

日本人ニ對スル州民一般ノ感情ハ曩キニ述ベタルカ如ク農夫又ハ労働者トシテ日本人ノ援助ヲ必要トスル或ル事業地ニ於テハ土着的日本人ノ移入ヲ希望シ吾ニ對シテ連リニ好感情ヲ表示スルモ其他ノ場所ニ於テハ日本及日本人ヲ知ル事極メテ乏シク特殊ノ親日的態度ハ之ヲ見ル事能ハサルモ同時ニ排斥ノ聲モ亦之ヲ聞ク事ナク一般外國人ニ對スルト其間何等差異ヲ見ル事ナシ詳言スレバ、(1)製糖業ハ當州ノ一大産業ニシテ其原料タル甜菜ノ耕作セララル處ハ東部ニ於テ「シエガシチー」、「アイダホ」、「フォールス」、「ブラツク」、「フット」、「南部」ニ於テハ「ナンバ」及「ナンバ」以上各地附近一帶ノ地方トス而シテ是等ノ地方ニ於テハ他ノ地方ニ於ケルト同ジク労働者ノ缺乏甚タシク日本人ニ據ル外他ニ適當ナル勞力供給ノ道ナキノミナラス甜菜耕作及收穫ニ關シ日本人ノ技術力特ニ優秀ナルモノアルニヨリ是等ノ地方ニ於テハ糖業維持ノ爲メニ是非共日本人ノ援助ヲ待タサルヘカラサル特殊ノ事情アリ加フルニ該製糖業ハ同地方ニ於テ政治上並ニ經濟上最モ勢力ヲ有スル「モルモン」宗、派ノ經營スル所ナルヲ以テ彼等ニヨリテ代表セララル親日論ハ常ニ克ク地方ノ輿論ヲ指導スルニ足ルベキモノナリ、(2)州内ニ於ケル日本人在留者極メテ少數ナルノミナラス多人數一ヶ所ニ集合セス廣ク各地ニ散在スルヲ以テ一般人ノ注目ヲ受クル事極メテ少ク地方人ニ取リ善惡共ニ之ヲ問題ト爲スノ程度ニ至ラス、(3)當州在留者ハ多クハ多年太平洋沿岸ニアリテ多少當國ノ風俗ヲ了解シ比較的言語ニ通ジ本國ノ習慣ヲ露出シ周圍ノ者ニ對シ異様ノ威觸ヲ與フルカ如キ事ナシ、(4)労働者缺乏ノ爲メ各種企業ニ伴フ必要ノ勞力ヲ得ル事能ハス從テ日本人移入ノ爲メ當國労働者トノ間ニ競争ヲ生スルカ如キ事ナシ殊ニ州内労働者同盟ノ勢力微弱ニシテ排日運動等ヲ誘起シ得ベキ實力ナシ

日本人ニ對スル一般ノ感情ハ夫レ此ノ如ク排斥ノ聲ノ如キ斷ジテ之レヲ開ク事ナシト雖モ一面ニ於テ日本人ノ實力未
 タ充分ナラサル事ヲモ示スモノニシテ漸次成功者ノ増加スルニ從ヒ地方人ヲシテ或種ノ恐怖心ヲ起サシメ自然ニ排斥論
 ヲ起サシムルカ如キ事ナシトセス然レトモ目下ノ狀況ハ甜菜耕作ノ最モ盛ナル東部地方ニ於テハ連リニ土着の日本人ノ
 入來ヲ希望シ他ノ地方ニ於テモ一時ニ多人數來集スルニアラサル以上ハ假令若干ノ日本人ヲ移入セシムルモ地方人ノ感
 情ヲ害スルカ如キ事斷ジテアル事ナカルベシ

第六 「アイダホ」州日本人營業者戸別表

地名	姓名	營業種別	家賃	使用人數	平均給料	資本額	一ヶ年取引高	妻の有無
福島	津村 慶雄	日米雜貨	二〇〇	一	五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	アリ
山口	梅田 雅吉	「シガー」突	一〇〇	一	一〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	ナシ
山口	木山 門三郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
山口	森本 達次郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	アリ
東京府	寺島 芳滋	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
東京府	坂井 定次郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
宮城	石本 友次郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
宮城	田村 豐三郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
山	佐藤 庄右衛門	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	アリ
山	守下 外吉	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
山	中柴 勢	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
山	片山 八三郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
山	則武 結真治	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
山	片山 廣正	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ

地名	姓名	營業種別	家賃	使用人數	平均給料	資本額	一ヶ年取引高	妻の有無
廣島	森岡 平太郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	長末 文次郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	長末 政太郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	澤田 吉太郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	出谷 角之助	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	三木 高太郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	竹井 幸吉	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	赤木 竹次郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	アリ
廣島	吉井 留吉	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	山岡 中	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	田中 靜造	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	岡崎 兼政	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	峰谷 兼次郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	古藤 藤次郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	青木 熊太郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	アリ
廣島	河野 兼吉	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	アリ
廣島	前田 兼吉	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	アリ
廣島	橋本 兼吉	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	西川 次光	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	石丸 善吉	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	多田 伊三郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	越見 藤兵衛	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	内町 定吉	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	大瀬 戸重助	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	隔田 常太郎	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ
廣島	山本 國藏	洋食店	一〇〇	一	一〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	ナシ

第二章 「アイダホ」州

第二章「アイダホ」州

郡名	耕作主名	現金	農園英反數	收分	勞力供	シユエー	作物種類及英反別	家畜數
廣島	島西岡泰助	一六八	五	二〇	一五	二	馬七頭、牛七頭、猪三頭、鶏二〇〇羽	
新島	小外源	一六	二	一五	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
廣島	向井外一	四五	三	一五	三	馬三頭、牛三頭、猪三頭、鶏三〇羽		
新島	星野計一	四五	三	一五	三	馬三頭、牛三頭、猪三頭、鶏三〇羽		
廣島	植松丑太郎	七五	五	一〇	四	馬四頭、牛四頭、猪四頭、鶏四〇羽		
廣島	藤井二	一五	四	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
廣島	古外兄弟	二〇〇	一六	一〇	四	馬四頭、牛四頭、猪四頭、鶏四〇羽		
廣島	武田義人	一四〇	一四	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	森田段次郎	一七二	一六	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	城正藏	六〇〇	七〇	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	知野邦太郎	二九〇	四〇	七〇	一〇	馬一〇頭、牛一〇頭、猪一〇頭、鶏一〇〇羽		
廣島	坂下彌太郎	二〇〇	二五	三〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
廣島	新中貞吉	二〇〇	二五	三〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
廣島	中村九一	二〇〇	二五	三〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
廣島	佐賀庄三	七〇	七	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	秋元正規	五五	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	四ヶ所熊藏	六五	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	安田善作	一七〇	一七	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
廣島	寺澤六之助	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	馬田勘藏	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	三宅祐一	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	高橋源之助	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	相澤某	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	鹽澤平次郎	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	山口富作	八〇	八	七	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	田島吉太郎	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	田中十郎	七〇	七	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
廣島	四ヶ所熊藏	七〇	七	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		

一、「アイダホ」州日本人農業家戸別表

地名	耕作主名	現金	農園英反數	收分	勞力供	シユエー	作物種類及英反別	家畜數
和歌山	カフエト	一六八	五	二〇	一五	二	馬七頭、牛七頭、猪三頭、鶏二〇〇羽	
和歌山	山崎商店	一六	二	一五	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	山崎商店	四五	三	一五	三	馬三頭、牛三頭、猪三頭、鶏三〇羽		
和歌山	山崎商店	四五	三	一五	三	馬三頭、牛三頭、猪三頭、鶏三〇羽		
和歌山	山崎商店	七五	五	一〇	四	馬四頭、牛四頭、猪四頭、鶏四〇羽		
和歌山	山崎商店	一五	四	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	山崎商店	二〇〇	一六	一〇	四	馬四頭、牛四頭、猪四頭、鶏四〇羽		
和歌山	山崎商店	一四〇	一四	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	山崎商店	一七二	一六	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	山崎商店	六〇〇	七〇	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	山崎商店	二九〇	四〇	七〇	一〇	馬一〇頭、牛一〇頭、猪一〇頭、鶏一〇〇羽		
和歌山	山崎商店	二〇〇	二五	三〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	山崎商店	二〇〇	二五	三〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	山崎商店	七〇	七	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	五五	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	六五	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	一七〇	一七	一〇	二	馬二頭、牛二頭、猪二頭、鶏二〇羽		
和歌山	山崎商店	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	八〇	八	七	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	五〇	五	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	七〇	七	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		
和歌山	山崎商店	七〇	七	五	一	馬一頭、牛一頭、猪一頭、鶏一〇羽		

第二章「アイダホ州」

「ウ イル フ ード」	「エ ニ オ ン」	「フ レ	「バ ー カ ー」	「イン テ、 ペン テ、 ランス」	「レ キ ス パ ー ク」
馬	馬	馬	馬	馬	馬
二	八	四	四	四	五

「シ ニ ガ ー シ チ」	「ア ラ ン ト」	「マ ク ツ ト レ キ」
馬	馬	馬
一	一	四

北米合衆國モンタナ州視察復命書

「ロ」	「チ」	「フ」	「イ」	「マ」	「シ」	「ト」	「ン」
滋賀桂田徳太郎	和歌山西川貞次郎	熊本坂戸正登	福島佐久間茂一	宮城千葉直吉	神奈川善最金太郎	福島横倉房市	前表中妻下同居セルハ寺澤六之助、村上幸次郎、原田折之助、菅野平治、棚本喜市、間山寛次、二瓶與一、高橋常三郎、花見新一、伊藤留重、中島二郎、宮本徳松、佐久間留吉、冠田源逸郎、千葉直吉ノ十五名ニ過キズ
九〇	三〇	六〇	四〇	四〇	九〇	四〇	
二〇	一一〇	六〇	四〇	五〇	四〇	九〇	
二〇	二〇	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	
九〇	馬四	馬六					

北米「モンタナ」州視察復命書

目次

緒言

第一章 地理

第一、總論

位置 面積 人口

第二、地勢

第三、概況

第四、氣候

第五、農業

水面及牧場面積 山嶽森林面積

耕地面積 主要農産物

第六、鑛業

第七、牧畜

第二章 重要都府ト在留本邦人

一、「ホアイトフサツシ」市 一、「キヤレス

ベル」市 一、「ハーバー」市

目次

九二

九一

九一

九二

九二

三三

九六

九六

九八

九八

第三章 本邦人狀況

一、鐵道勞働者 一、農業經營者

一、市内營業 一、市内勞働

一、「モンタナ」州ニ於ケル對日本人感情

一、「グレートホールズ」市 一、「ビリ

ングス」市 一、「リビンググストン」市

一、「ビユーテイ」市 一、「ヘレナ」市

一、「ミヅラ」市

一〇八

(終)

北米合衆國「モンタナ」州視察復命書

在「シヤトル」

外務書記生 大和久義 郎

緒言

「モンタナ」州ハ殆ンド我帝國全面積ニ等シク之レガ全部ヲ調査センニハ到底一、二ヶ月ニシテ全フスベキニ非ザルヲ以テ小官今回ノ視察ハ専ラ邦人ノ就働區域即チ太北線、北太平洋線ノ兩地方ニ於ケル事情ヲ視察スルニ留タリ其旅行日數十八日行程二千二百哩以下章ヲ分チテ其概況ヲ述ベシ

第一章 地理

面積及人口

第一 總論 「モンタナ」州ハ北米合衆國ノ西北部即チ經度百四度ヨリ百十六度、北緯四十五度ヨリ四十九度ノ間ニ位シ北ニ英領「カナダ」、西ニ「アイダホ」州、南ニ「ワイオミング」州、東「ダコタ」州ニ接シ東西約五百三十五哩南北二百七十五哩全面積十四萬六千五百七十二方哩ニシテ其大サ合衆國各州中第三位ヲ占ム其人口ハ一千九百十年ノ調査ニ依レバ總計四十一萬人ニシテ一平方哩ニツキ二人七分ノ割ナルハ如何ニ人口ノ稀薄ナルカヲ證スルニ足ルベシ

地勢ハ「ロッキイ」山ニヨリ東四ツ分ニ分セラル

第二 地勢 地勢ハ「ロッキイ」山脈北ヨリ南ニ縦斷セリ夫レヨリ以西ハ「アイダホ」州ニ接シ一面山嶽ヲ以テ覆ハレ岩石磊塊所々ニ河川沼湖ニ富ミ風景佳絶土地一般ニ高ク平均三千呎位ナリ氣候ハ太平洋上氣象ノ影響ヲ受ケ農業ニ適ス「ロッキイ」山以東ハ山嶽次第ニ減ジ高原地帯ニ變シ平均二、三千呎ノ地勢ヲ保チ荒陵萬里眼界ヲ遮ルモノナク此ノ如キ地勢ハ南「ワイオミング」ニ接スル地ヲ除ク外殆ド全面積ニ廣ガリ恰然沙漠ヲ横斷スルノ感アリ氣候モ太平洋上ノ氣象「ロツ

キイ」山ニヨリ斷タレ居レバ空氣ハ非常ニ乾燥セリ

「ロツキイ」山ヨリ西ニ流レル主ナル河ヲ「リーテナイ」川及「クラークホーク」川ニシテ「コロムビア」河ノ支流タリ「ロツキイ」以東ニ流ルハ「ミルク」河、「ミヅリ」河、「エローストン」河ニシテ共ニ「ミスシツビー」河ノ上流ナリ以上ノ流域ハ「モンタナ」州ノ動脈ニシテ土地開發ノ源泉トナレリ

第三 概況 今ヨリ五十年前以前ハ標標ナル印度人ノ勢力ヲ以テ壓セラレ白人種ノ西進スルモノ屢々彼等ノ毒及ニ斃レ交戦絶ヘザリシガ千八百八十二年北太平洋鐵道ノ此ノ州ニ通シ西部トノ連絡ヲ保ツテヨリ移民俄カニ増加シ今ヤ十一個ノ鐵道會社ヲ有シ其全距離四千二百二十六哩ニ及ビ人口四十餘萬ニ達シ各地ノ都邑頗ル繁盛ヲ極メ文明ノ設備一トシテ備ハラザル無ク三十年以前開拓移民トシテ此地ニ土着セシ今日白髮ノ老農寔ニ隔世ノ感アルベシ

第四 氣候 地勢一般ニ高ク平均二千呎ヨリ六千呎ノ間ニ在リ「ロツキイ」山中ニ往々一萬一千呎高度ヲ有スル所アリ加フルニ海面ヨリ最モ近キ處尙且四百三十哩ノ距離ヲ有スレバ空氣極メテ乾燥シ雨雪共ニ少ナシ氣候ハ「ロツキイ」山脈ニヨリ東西ニ分レ「ロツキイ」以西ハ夏期九十度ニ上リ冬期二十五度ニ下ル事アリ「ロツキイ」以東ハ夏期百度冬期零下四十度ニ下ル事不尠サレトモ一年四季ノ氣候ヲ查スルニ既シテ温和ニシテ昨年ノ氣温表ヲ示セバ次ノ如シ

一	月	十九度	七	月	六十六度
二	月	二十二度	八	月	六十五度
三	月	三十度	九	月	五十五度
四	月	四十四度	十	月	四十五度
五	月	五十三度	十一	月	三十五度
六	月	五十九度	十二	月	二十四度
一年平均		四十四度			

又雨期ハ主ニ四月ヨリ七月ノ間ニ在リテ農産物ニ主ナル關係ヲ有スル時期ナレバ其間ニ於ケル雨量ヲ知ルハ「モンタナ」ノ農業ヲトスルニ足ル可シ

一、「モンタナ」州雨量表

「エローストーン」郡	一年雨量	自四月至七月
「ガ」郡	一四八五	七九一
「ラ」郡	一六一四	八九七
「ト」郡	一四四二	八三四
「ローズバッド」郡	一四五一	七八一
「ブ」郡	一三一二	六九四
「ダ」郡	一五四四	八五一
「カ」郡	一四三九	八五六
「チ」郡	一四六九	七八四
「レ」郡	一二七七	六二七
「フ」郡	一九二九	一〇七二
「ア」郡	一三九八	七六七
「カ」郡	一三一七	七九〇
「バ」郡	一三二四	一一〇八
「マ」郡	一六一六	八八三

第五 農業 「モンタナ」州全面積ハ實ニ九千二百六十餘萬「エーカー」ヲ有シ中水面及牧畜ニ充テタル荒蕪ノ地三、四千

萬「エーカー」山嶽森林地帯二千六百萬「エーカー」耕作地三千萬「エーカー」ヲ有スル割合トナリ現今八百「エーカー」ヲ開拓シ内四百萬「エーカー」ハ耕作ニ從事セリ「モンタナ」州ノ地タル地味豊饒農業ニ適スル渺茫タル原野ヲ有スルニ不關土地乾燥降雨少ナク加フルニ土地高ク平均三千呎内外ノ高地ナレバ灌溉ノ便乏シク灌溉法ヲ以テ農作シ得ル土地ハ六百萬「エーカー」ニ不過ト云ヘバ他ノ二千四百萬「エーカー」ハ凡テ乾農法ニ因ラザル可カラズ

乾農法トハ年雨量十吋ヨリ一呎六吋ノ雨量アル場所ニ用井ラル、モノニシテ多ク冬ノ霜ヲ利用シ耕作スルモノナリ近年「モンタナ」各郡盛ニ乾農法ヲ行ヒ居レルニ其成績甚良好ナリト云フ

過去ノ「モンタナ」ハ牧畜及鑛業ヲ以テ知ラレタリシガ近年漸ク農業ノ時期ニ移リ資本家ハ西部諸州ヨリ積々ト入り込ミ

土地ヲ開拓シ或ハ灌溉ヲ施シ或ハ乾農法ヲ用ヒ農業ニ從事スルト同時ニ州ニ於テモ近來公地拂下法ヲ行ヒ荷、モ、米、國、人、ハ以上一農夫ニ對シ、三百二十「エーカー」ノ土地ヲ無償ニテ給與セラル、左レバ農業モ著シク進歩シ昨年ノ如キハ買ニ五千萬弗ノ額ニ達セリト雖モ其開墾セラレタル場所ハ農作區域ノ七分ノ一ニ足ラザルナリ將來此勢ヲ以テ農業開拓ニ從事セラレンニハ數年ナラズシテ一億萬弗ノ產物ヲ見ルニ至ルベシ其主ナル農產物ハ小麥、大麥、裸麥、燕麥、馬鈴薯、玉蜀黍、糖大根トス

今左ニ「モンタナ」ノ地味ヲ證セン爲一千九百八年度ニ於ケル農作物ニ對スル產出地ノ「エーカー」ニ對スル收穫ヲ示セバ左ノ如シ

收穫	日數	「ダウソン」	「ルーセバッド」	「エローストン」	「カスケード」	「チヨウテウ」	「ダウソン」	「ロースバッド」	平均
秋 小麥	三二〇	三六六三	五〇四一	二九〇三	三三〇二	一五〇八二	一五〇八二	三七、七一	
秋 燕麥	三二八	三二、五〇	三一、八二	三四、一一	×	一五、四三	一一、三八六	二八、四一	
春 小麥	一〇〇	一七、五二	二〇、八〇	一九、三二	×	二一、八三	九一、九二	一八、三八	
春 燕麥	九五	二〇、九〇	二八、三一	二二、三三	×	一一、九五	八九、〇六	一七、八一	
大 麥	九八	五一、〇〇	四〇、三〇	四一、九四	×	二一、七五	二七、〇六	一八、七、七八	
燕 麥	一〇五	一四、〇〇	一三、〇九	二〇、〇四	×	一〇、二九	八、五六	一二、〇一	
「アルファルファ」	×	×	×	〇、六七	×	一、二六	×	九、七〇	
馬 鈴 薯	一五一	一四七、五六	一六〇、七〇	九八、四三	×	八八、七八	×	一九、三〇	
糖 大 根	一八九	×	六二、二八	七、〇〇	×	×	×	四九五、四七	
玉 蜀 黍	×	×	四、四四	二、九〇	×	×	×	一三、二八	
計								七、三四	
「カスケード」郡		一一、八三		四、三三				四、一三	
「チヨウテウ」郡		二一、七五		七、五〇				八、八七	
「ダウソン」郡		一五、五七		×				三四、三八	
「ロースバッド」郡		一〇、二九		五、二一				一〇、五七	
計		九、三九		六、六一				六、六四	

一千九百八年「モンタナ」州各郡主要乾農地ニ於ケル州試驗所ノ成績ヲ示セバ左ノ如シ

收穫	「カスケード」郡	「チヨウテウ」郡	「ダウソン」郡	「ロースバッド」郡
春 小麥	一一、八三	四、三三	一、三三	四、一三
「シフキステイアイ」燕麥	二一、七五	七、五〇	二六、五一	八、八七
「ハルレリス」大麥	一五、五七	×	一五、六三	三四、三八
秋 燕麥	一〇、二九	×	一四、八六	一〇、五七
計	九、三九	六、六一	一〇、九三	六、六四

馬鈴薯 一〇八、五〇
玉蜀黍 一六〇、七〇
計 四、四四

一千九百八年ニ於ケル農務局ノ年報ニヨレバ「モンタナ」州ニ於ケル諸農產ノ額トシテ次ノ數字ヲ示セリ

收穫	面積	積	價值
春 小麥	三七〇三、〇〇〇	一五三、〇〇〇	三一、八五、〇〇〇
燕 麥	一〇、五五六、〇〇〇	二五四、〇〇〇	五、一七、七、〇〇〇
大 麥	八七五、〇〇〇	×	×
亞 麻	一〇四、〇〇〇	九、〇〇〇	×
馬 鈴 薯	二七六〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	×
乾 草	千五百萬弗	小	九百三十三萬七千弗
馬鈴薯其他ノ野菜	八百四十萬弗	果物及其他	七百五十萬弗
糖 大 根	七百八十四萬弗	麥	百六十萬弗
計	五千二百五十萬七千弗	燕 麥	百十八萬弗

又「モンタナ」州首府「ヘレナ」市發刊ノ商報ニ掲ゲラレタル一千九百九年中ノ「モンタナ」農產額ニハ次ノ數字ヲ示セリ

「モンタナ」主要農產物ト合衆國產トノ比例 (一千九百七年農務局年報ニ示ス統計ニヨル)

「エーカー」ニ對スル小麥ノ產額及價值	1898	1899	1900	1901	1902	1903	1904	1905	1906	1907
合衆國平均產額	77,264,172	77,264,172	77,264,172	77,264,172	77,264,172	77,264,172	77,264,172	77,264,172	77,264,172	77,264,172
「モンタナ」平均產額	16,3	12,3	12,3	15,	14,5	12,9	12,5	14,5	16,5	14,
全 其 價 値	29,5	25,7	26,6	26,5	26,0	28,2	23,9	23,8	24,	28,8
合衆國平均	8,92	7,17	7,61	9,37	9,14	8,96	11,58	10,83	10,37	12,26
「モンタナ」平均	17,2	15,68	16,23	17,76	16,12	18,61	21,23	16,90	15,26	23,32
全 燕 麥 ノ 產 額										

合衆國平均産額	28.4	30.2	29.6	25.8	34.5	28.4	32.1	34	31.12	23.7
「モンタナ」平均産額	40.6	38	39	42	41.9	46.4	37.7	1.3	43.2	49
全 其 價 値										
合衆國平均産額	7.23	7.62	7.63	10.29	10.60	9.68	10.05	9.88	9.89	10.51
「モンタナ」平均産額	14.3	14.82	16.28	15.3	15.08	16.24	17.34	17.76	14.01	22.54
全 大 産 ノ 産 額										
合衆國平均産額	21.6	25.5	20.4	25.6	22	25.4	27.2	26.8	28.3	23.8
「モンタナ」平均産額	36.0	35.0	38.3	39.0	37.2	29.9	29.9	23	33	28.6
全 其 價 値										
合衆國平均産額	8.93	10.28	8.32	2.57	13.23	12.05	11.40	10.80	11.74	15.86
「モンタナ」産額	20.52	17.85	18.62	22.23	18.87	23.32	18.54	18.48	18.48	23.53
全 鉛 産 額										
合衆國平均産額	75.2	83.6	80.8	65.5	96	84.7	110.4	87	102.2	95.4
「モンタナ」平均産額	10.4	14.1	13.4	15.7	15.3	17.6	14.3	12.0	15.2	15.0
全 價 値										
合衆國平均産額	31.2	34.60	34.78	50.27	45.22	51.99	42.96	53.67	52.29	58.86
「モンタナ」平均産額	67.20	74.72	71.02	114.61	76.50	77.44	87.23	70.80	92.72	79.00

第六 鑛業 「モンタナ」ト云ハハ鑛業牧畜ヲ思出サシムルガ如ク此地ノ開發ハ實ニ鑛山ニ因ル四、五十年前西部ノ米人「モンタナ」ノ山野ヲ跋渉シタル結果其鑛物ニ富メルヲ知り此レガ富源ヲ開發セントシテ次第ニ入り込ミシナリ其第一番ニ着手セラレシハ「シルバール」郡ノ「ビュテイ」金、銀、銅鑛トス今尙「モンタナ」州ノ鑛物ノ七割強ハ此ノ郡ヨリ産出ス其他「ロツキイ」山一帯ノ地即チ「フラットヘット」郡「カスケード」郡、「パーク」郡及「コーテアウ」郡、「エロストン」郡ハ銀、金、鉛、石炭ノ鑛脈ニ富メルモ未タ十分發掘セラレズ將來充分投資セラレンニハ慥ニ全合衆國各州中鑛物産額

トシテ第一位ニ列セラル、ニ至ルベシ

一千九百八年ニ於ケル「モンタナ」州ノ鑛物産額ハ其價四千六百八十萬三千八百四十一弗ニシテ合衆國各州ノ鑛物産額ニ比セバ第七位ニ在リ今次ニ主ナル鑛物産出州ヲ示サン(一千九百八年合衆國鑛務局調査年報ニ因ル)

「モンタナ」州	47,308,300弗
「オハヨウ」州	13,495,000弗
「イリノイ」州	12,290,000弗
「ウエストバージニア」州	7,746,500弗
「カリホリニア」州	6,513,700弗
「コロラド」州	5,862,900弗
「モンタナ」州	4,680,380弗
「ネブラスカ」州	4,573,000弗
「ニューヨーク」州	4,566,900弗
「アリゾナ」州	4,350,200弗
「ミシシッピ」州	4,199,000弗

「モンタナ」州ヨリ産出スル鑛物種類産額ヲ示セハ次ノ如シ(合衆國鑛務局年報ニ因ル)

種 類	千九百〇七年 價	千九百〇八年 價
粘 土	27,287.2	38,752.5
石 炭	2,101,685.8	3,771,248
銅	22,426,378.9	33,320,481
金	1,677,987	3,160,000
鉛	2,035	1,948.8
Lime	4,217	3,298.1
Precious stone	1,129,600	58,397
石	7,345,500	55,129,500
Tungsten	265,956	22,570
	22,270	

Zinc 四三一九三 九〇〇
 其他 六〇、六六三、五一一 一八、五二〇
 合計 四三一九三 四六、八〇三、八四一

一千九百九年度ニ於ケル「モンタナ」ノ礦業トシテ本州首府「ヘレナ」商業會議所ヨリ發行セル報告中ニ示ス數字ヲ見ルニ少シク過大ニ失スルノ恐アルモ他ニ適當ノ表ナキヲ以テ暫ク左ニ掲ゲン

銅	四三〇〇〇、〇〇〇弗	銀	八、〇〇〇、〇〇〇弗
金	四〇〇〇、〇〇〇弗	鉛	二、二五〇、〇〇〇弗
石炭	七五〇〇、〇〇〇弗	石	一、五〇〇、〇〇〇弗
計	六六二五〇、〇〇〇弗		

第七 牧畜 「モンタナ」州ノ合衆國ニ紹介セラレタルハ礦業ト牧畜ナリシ丈ニ此地ノ牧場ハ今ニ米國各州中第一位ヲ占ム牧畜ノ範圍ハ殆ド全州ニ覆ハレ其面積實ニ千數百萬噠ニ渡リ一牧場ニシテ數十里ノ區域ニ達スルアリ其主ナル地ヲ「テトン」郡、「コーテアウ」郡、「バレー」郡、「ダウソン」郡、「カスケー」郡、「ローズバット」郡トス

牛	一〇、〇〇〇、〇〇〇弗	羊	八、〇〇〇、〇〇〇弗
馬	八、〇〇〇、〇〇〇弗	猪	一、二五〇、〇〇〇弗
計	三五〇、〇〇〇弗		二七、六〇〇、〇〇〇弗

然シテ此等ノ家畜ハ主ニ「シカゴ」市ニ運ビ出サル、モノナルモ「モンタナ」各地ノ牧場ニ養ハレ牛酪ヲ製造シツ、アルモノアリ現ニ四十ヶ所ノ牛酪製造所アリ毎月ノ産額計三〇、〇〇〇〇封度ニ達スルト云フ

第二章 「モンタナ」州ニ於ケル重要都府ト同胞

(一) 「ホアイトフ井シュ」市 「ホアイトフ井シュ」ハ「モンタナ」州西北部太北鐵道ニ沿フ一小市街ニシテ「フラツドヘッド」郡ニ屬シ八年前太北鐵道ノ支部茲ニ設ケラル、ト共ニ生ル地勢山嶽ヲ以テ園マレ森林多ク且近傍ノ土質ハ「アルカ

日本人數 市ノ繁榮ハ全ク鐵道會社ニ依ル二個ノ學校一ノ公會堂二個ノ教會アリ將來ノ發展ハ此地ヨリ南約五十哩ノ「キヤレスベ」市地方「フラツトヘッド」平原ノ開發ニ待タザル可カラズト云フ此市ニ在留同胞二十人有婦ノ者一人モナシ其經營事業ハ次ノ如シ

理髮	業一軒	資本	二百五十弗	雇人	一人
洗濯	店一軒		二千五百弗		八人
球	場一軒		五百弗		二人
旅館	一軒		六百弗		一人

東洋貿易會社支部員三人ニシテ其他ノ市内ノ家内労働者ナリ 其地東洋人排斥ノ聲無ク同胞ト市民ノ間折台好ク以上理髮業洗濯業球場共ニ白人相手ニ相當ノ利益ヲ見ツ、アリト云フ 家内労働者一ヶ月ノ給料食料付四十五弗位ナリ

東洋貿易會社支部ハ鐵道労働ノ人夫受負並ニ其等人夫ニ食糧被服ヲ供スル會社ニシテ本社ハ「シヤトル」ニ在リ今ヨリ十數年前ノ設立ニ係リ現ニ十數萬弗ノ資産三千人ノ労働者ヲ有シ西北部同胞中第一流ノ成功者トシテ「シヤトル」ニ在留同胞中重キヲ爲セル高橋徹夫社長タリ

此地支部長ハ水谷龜三郎ト稱シ在住已ニ八年米國ノ事情ニ通ジ市民ノ信用厚ク現ニ事務ノ傍ラ個人トシテ前記ノ洗濯業ヲ營ミ居レリ氏ノ配下ニ受負トシテ鐵道ニ就働スルモノ二百四十八人内二人ノ有妻者ノ外皆獨身ナリ其給料一日十時間働キ一弗四十仙ヨリ一弗八十仙迄ナリ月ノ收入ハ時間外働キ日曜働アンバ一定セズト雖モ月額約四十五弗ヨリ六十弗迄ニ在リ又此等労働ハ數十人ヲ以テ一隊ヲ組織シ此レニ組長ヲ置ク此ノ月收八十弗内外ナリト云フ

同會社ハ人夫受負ト同時ニ食糧被服ヲ供給セリ然シテ同會社ハ此等労働者ノ賃銀ヲ鐵道會社ヨリ受ケ自己ノ會社ヨリ供給シタル食糧被服代ヲ差引支拂スル方法ナレバ會社ノ商業ハ頗ル手堅キト同時ニ労働者ノ受クル賃銀モ自己ノ費澤セザ

ル限リ殆ド全部貯蓄シ得ラル、等ナリ、然シテ東洋貿易會社ハ一人ニ付キ賣渡食料品七弗内外ニ受負手數料一弗事務費一弗五十仙ヲ差引結局三十弗ヨリ五十弗ノ間ヲ拂渡スト云ヘ、彼等ノ貯蓄ノ程度モ推知スルヲ得ベシ最モ多クノ勞働者ノ内ニハ賭博酒色ノ弊ニ陥ル者ナキニ非ザルモ其數昔日ニ比シ甚少ク多クハ貯蓄ニ熱心ナリト云フ、貯蓄ノ方法ハ一部ハ桑港正金銀行ニ預金シ一部ハ東洋貿易會社ニ托シ本國ニ送金スルモ其過半ハ米國郵便局ノ手ヲ經テ送金スト云フ

「キヤレスベル」市

(二) 「キヤレスベル」市 「キヤレスベル」市ハ「モンタナ」西北部「ホバイト」ヲ非シユ「南五十哩」ノ「フラットヘッド」郡ノ首府「フラットヘッド」平原ニ在リ地勢「ロツキイ」山脈ト其支脈ノ間ニ在リ「フラットヘッド」河ハ此地ヲ縱斷シ灌溉ノ便アリ其周圍ノ沃野二十五萬噓ヲ有ス(「エーカー」ノ農圃四十噓ヨリ七十五噓ノ相當ナリ)農業牧畜ニ適シ近來四方ヨリ資本家集リ土地ノ開發ニ努メ現ニ數千英町ノ林檎植付ラレ尙進テ地方開發ニ努メ居ルモ勞働者ノ缺乏ハ大ニ計畫ヲ阻害シツ、アリ

人口九千人市ノ繁榮ハ農業ニ伴フ九個ノ教會、圖書館公會堂各一、公學校三、高等學校一、勞働賃銀一弗九十仙位ナリ同胞ハ八名在リ共ニ市内ノ家屋勞働ニ從事スルモ別ニ記スルニ足ラズ

「ハーバー」市

(三) 「ハーバー」市 此地「モンタナ」ノ北部「チユータイ」郡ニ在リ大北線ニ沿ヒ鐵道會社ノ支部ノ所在地ナルガ爲ニ開發セラレタリ、地勢高原荒涼境界ヲ遮ルモノ無ク土地乾燥灌溉ニ便セズ市民乾農法ヲ以テ土地開發ニ努メ州モ又農民ヲ集メ農業ノ開發ニ努メ近年公地ヲ「ホームステッド」組織ニシ米國民ニシテ五ヶ年間一定ノ場所ニ住シ土地ヲ開拓セルモノニハ三百二十噓給與セラレベキコト、ナリタル爲一時多クノ貧民東部ヨリ移住シ來リシガ昨年度非常ノ旱魃ノ爲作物枯レ一敗又起ツ能ハズ空シク東部ニ引返シタリト云フ

人口六千人市ノ繁榮ハ鐵道會社ノ賃銀並ニ近傍產出ノ石炭及農業ニ俟ツモノ、如シ教會二個公會堂一、公學校一、高等學校一、此地ニ在ル同胞市内二十人鐵道ニハ東洋貿易支部配下ニ二百五十人ノ鐵道勞働者アリ其賃銀前記ト同率ナリ支部ニハ支部長外ニ支部員二名ニシテ勞働者監督並ニ食料品買込ヲ業トス外ニ一軒ノ

「グレートホール」市

西洋料理店アリ資本額三百弗位ノモノナリ其他ハ「ホテル」商店酒屋ニ就働シ月額食事室付五十弗位ノ高給ヲ得ツ、アリ勞働者ヨリ迫害ヲ被リ時ニ血ヲ流シタル事アリシト雖モ現在ハ毫モ彼我ノ衝突ナク日本人ヲ歡迎スルノ傾向アリ牧場ノ就働者ヲ一名「カウボーイ」ト稱シ野ニ家畜ヲ番シ時ニ野獸ト闘ヒ荒涼タル原野ニ起伏セル丈ニ氣質慍悍一種ノ馬賊的ニシテ鬪爭ヲ好ミ良民ニ危害ヲ加ヘ放縱ヲ專ニシ月收約五十弗位ナルガ此ノ金ヲ手ニ入ルルヤ直チニ市街ニ馳セ集リ酒色ニ快ヲ貪リツ、アリト云フ

(四) 「グレートホール」市 「モンタナ」州ノ中心大北線ノ支線ニ沿ヒ「ロツキイ」山下「カスケード」郡ニ在リ地勢高原ニ發展ヲ妨ケ居レリ人口二萬五千人教會堂十九圖書館一、公學校七、高等學校一、商業學校一アリ此市ノ生産トシテ注意スベキハ鑛業ニシテ「銅」ノ鑛鑛場トス、職工千二百人ヨリ千六百人ヲ使役シ其銅鑛原料ハ「ビユータイ」鑛山ヨリ運搬セララル次ヲ石炭鑛トス工夫千二百人一年産額百二十萬噸ニ過ザルモ今回別ニ新鑛探掘ニ着手中ナリト、聞ク此ノ炭脈ハ四尺ヨリ二十尺ノ厚サヲ有シ其面積百平方哩ニ廣ガレリト

然シテ以上各所ノ工夫ニ仕拂フトコロ一ヶ月給金實ニ三十五萬弗ニ上ルト云フ此地ニハ「ミスシツビー」河ノ支流即チ「ミズリー」河ノ橫斷セルアリ名稱ノ如ク大瀧ヲ形作り居レバ水力ノ利用モ又無限ナリ從テ將來此地ノ工業ノ發展ニハ尠カラサル助トナルベシ

此ノ市ハ勞働黨ノ勢力頗ル強ク十數年前市ノ決議ニ因リ東洋人ノ入市ヲ禁ジタリトテ七、八年前我勞働者ノ此市ニ入ルヤ白人ト大衝突ヲ來シタリトテ今尙一人ノ東洋人此市ニ入り込ムヲ得ザルハ嘆ズベキ事ナリ

「ピリントン」市

(五) 「ピリントン」市 「ピリントン」市ハ「モンタナ」南部「エローストーン」郡ニ在リ大北、北太平洋兩鐵道ノ交叉點ヲ爲シ且「エーロウストーン」河ノ水運ノ便ヲ有シ地方農作物ニ適スルヲ以テ近年著シキ發展ヲ見タリ

人口一萬六千人教會堂六、圖書館一、會堂一、公學校六、高等學校一、實業學校一アリ製毛會社、製糖會社アリ製糖會社ハ

第二章 「モンタナ」州ニ於ケル重要都府ト同胞

一千九百六年ノ創立ニ係リ其經費百二十五弗製糖會社(Cane Beet Factory)トシテハ「コロラダ」州「デンバー」市ノ工場ト共ニ合衆國中第一位ヲ占ム一ヶ年百二十日間働キ十一萬五千噸ノ大根ヲ使用スト云フ此地主要産物ハ糖大根、大麥、小麥、裸麥、野菜等トス

近年灌漑工事ヲ起シ農園ノ開拓ニ努メ居レリ同市ニ在留セル同胞ハ市内ニ約二十人内獨立經營者ハ旅館兼球場一(資本二千人三人主ニ日本人)「レストラント」一(資本金八百)「雜貨店」一(弗雇人無シ)何レモ微々タル者ニシテ記スルニ足ラズ其他ハ「ホテル」酒場ノ就働者ニシテ食事室自分持チ七十五弗内外ノ高給ヲ得居レルハ少シク他ニ比シ高給ナル如キモ此地近年ノ發展ニ係リ諸物價他市ニ比シ高價ナルヲ以テ結局大差ナキ譯ナリト云フ此ノ市ノ附近ニ農業ニ従事スル邦人無キモ此地ヨリ西南五十哩北太平洋線ニ沿ヘル「ジョイレット」地方ニハ同胞約百六十人内外大根畑ニ就働シツヽアリ今少シク其状態ヲ記サンニ同胞ニシテ同地方ニ土地ヲ租借シ耕主トシテ獨立經營スル者次ノ如シ

經營者	反數	農作法	作物
江藤 藤吉	八二	エーカー 借地	ポテト 二五 ヘイ 五〇 ストロベリ 果園 三
川上 熊次郎	六〇		甜菜
丸林 大島	六〇		甜菜 五〇 ポテト 一〇
大崎 越末	一八〇		野菜 八エーカー ヘイ 八二 牧場 八二
橋崎 島吉	一四〇		甜菜 九〇 ヘイ 三〇 牧場 一〇
長島 留次郎	四〇		野菜 一五 ビーンズ 二五 ポテト 一〇 牧場 一〇
長島 留次郎	四〇		甜菜
貝原 横次郎	三五		
大崎 越末	七〇		
齋藤 福次郎	七〇		
甲斐 朝一	五〇		
安場 朝一	三五		
安場 山崎	三五		

支出ノ部

一	五〇〇,〇〇〇
二	一七五,〇〇〇
三	七五,〇〇〇
四	七五,〇〇〇
五	二五,〇〇〇
六	一一,二五〇
七	一一,二五〇
八	一一,二五〇
九	一〇〇,〇〇〇
十	五四〇,〇〇〇

一、甜菜畑耕作精算表(但シ本年度ノ五十「エーカー」ニ對スル平均支出高ニヨリ起算ス)

三ヶ木 田代組	二〇		
池田 幸次郎	一五		
萩尾 陽太郎	一一九		
白川 長一	四〇		
阪本 信吉	一六〇		
松本 信吉	四〇		
野村 勤兵衛	五〇		
室常 彌三郎	四〇	甜菜	
武田 信太郎	四〇		
木村 保男	五〇		
久保 桂三	九〇		
小島 庄次	四〇		
野村 成吉	四〇		
遠谷 市太郎	五〇		

「レント」二「エーカー」ニ付拾弗宛
「プラア」代一「エーカー」ニ付三弗五十仙宛
地ナラシ及土コナシ代
種子代
種蒔代
「カルチベート」(草取)三回分
水引キ入夫拂
甜菜鋤起シ代二「エーカー」ニ付二弗五十仙宛
人夫仕拂、但シ一「エーカー」ニ付二十弗ニテ蒸切リヲ契約セシム
平均十三噸半ノ收穫(一噸ノ運搬費八十仙)

第二章 「モンタナ」州ニ於ケル重要都府ト同胞

十一、 100,000 諸雜費
合計 二、八六二弗五〇仙

收入ノ部

金參、八八一弗二五仙但シ一噓ヨリ十三噸半ノ收穫ヲ得一噸五弗七十五仙ノ割ニテ製糖會社ニ賣渡シタルモノ

差引 一、〇一八弗七五

純利益

「リビングストン」市

(六) 「リビングストン」市 「リビングストン」市ハ「モンタナ」南部「バーク」郡ニ在リ北太平洋鐵道線ニ沿ヒ鐵道會社支部在ルガ故ニ市街トシテ存立セルニ過ギズ地勢山嶽ノ間ニ缺マレ礫礫ノ高地農産物無ク將來共望少ナキ地ト云フベシ人口四千人教會二、公學校三、高等學校一、圖書館一アリ邦人ノ市ニ在ルモノ六、七人ニ過キス即チ東洋貿易支部員一名球場營業一、洋服業一、我労働者相手ノ下宿屋兼飯食屋一ノミ、日本人ノ事業ハ何レモ微々タルモノナリ、市民ノ日本人ニ對スル人氣頗ル好ク東洋人ニ對スル態度毫モ自國人ニ異ナラズ是レ東洋貿易支部長泉氏多年此地ニ勤務シ白人ニ信用ヲ博シ同邦ニ對スル誤解ヲ防グ事ニ注意シタル効驗カラス氏ノ配下ニ在ル我鐵道工夫二百五十人アリ其收入其他生活狀態前記ノ通ナリ

「ビユーテイ」市

(七) 「ビユーテイ」市 「ビユーテイ」市ハ「モンタナ」州「シルバポール」郡ニ在リ西南「ロツキイ」山脈ノ麓ニ位シ地勢四面山ニ覆ハレ僅ニ五哩半方哩ノ平地ヲ有スルニ過ギズ土地瘠毒ノ爲全ク荒廢ニ歸シ農業ニ適セズ人口七萬五千人「モンタナ」州中最モ人口稠密ナル都市トス、文明ノ設備他市ニ比シ殆ド完全ノ域ニ達セリ、鐵道ハ大北線北太平洋線「シカゴ」ミリオ「キ」線「ラレゴン」、シヨートライン、アナコーター「太平洋線」等共ニ此市ニ入り交通ノ便宜モ亦「モンタナ」州第一トス、此市ノ繁榮ハ全ク鑛業ニ依ルヲ以テ左ニ鑛業ニ關シ其概略ヲ述ブベシ

鑛業地

「ビユーテイ」ハ一千八百六十四年鑛物發見ニ依リ紹介セラレ爾來夥多ノ事業家入り込ミ鑛物發掘ニ努メ千八百八十五年ニハ五百萬弗ノ鑛物ヲ產出シタリ、其產出鑛物中銅ヲ以テ第一トシ金銀之レニ次グ、一千八百八十四年ニ於テ日掘出

スル鑛物ハ千八百七十五噸ニ上リ千八百八十年ニ於テハ一日ニ一萬五千噸ノ鑛物ヲ掘出シ工夫一萬人ヲ使役シタリ、一千九百零六年「ビユーテイ」鑛山ヨリ產出セシ銅額二億九千九百八十五萬封度ニ上リ一封度九仙二七八ニシテ其總價格五千七百八十萬五千八百三弗ヲ得タリ、同年ニ於ケル銀產額ハ一〇七五〇、〇〇〇「ヤンス」ヲ產シ次テ同年六萬五千「オンス」ノ金ヲ產ス

一千八百八十五年ニ「ビユーテイ」鑛ヨリ六七、〇〇〇、〇〇〇封度ノ銅ヲ一八九五年ニ一九〇、〇〇〇、〇〇〇封度ヲ一千九百零五年ニ三一九、〇〇〇、〇〇〇封度ヲ產シ「ビユーテイ」ニテハ全北米合衆國ノ銅鑛ノ三割ヲ占メ其產額ハ北米產ノ二割四分強ニ當リ世界銅產ノ一割七分ニ當ル

銀ハ合衆國銀鑛中第一流ニ位ス銀金ハ特ニ鑛山アルニ非ズシテ銅ニ含有セル即チ副產物ナリ
現今月々工夫ニ支拂フ賃金ハ月額百二十五萬弗ニ上ルト云フ

鑛山探掘ノ距離總計九百哩最モ深キハ直垂二千八百呎ニ及ブト云フ

現ニ開掘セル鑛山五十八ヶ所然シテ内半ハ銅ノ相場下落ノ爲休掘セリ

此ノ市ハ鑛山ノ中伏ヨリ麓ニ至ル一帯ニ位シ鑛物探掘ハ實ニ市街ノ間ニ散在シ加フルニ市中ニ一大鎔鑛アリ黃煙市街ニ覆ハレ爲ニ山脈ノ森林田圃ノ青草共ニ枯レ果テ鑛毒人類ニ及ビ其慘狀見ルニ忍ビザルナリ

市内同胞、此市ニ在ル日本人十五人獨立營業者トシテハ僅ニ労働組合事務所、下宿屋兼球屋アルノミ他ノ七、八人ハ無賴ノ遊人ナリ

労働組合事務所ハ久保澤悠策ナル者主任トナリ外二名ノ事務員アリ「シカゴ、ミリオキ」鐵道人夫受負ヲ爲ス事怡モ北太平洋鐵道、大北鐵道線ニ於ケル東洋貿易會社ノ如キ事務ヲ取扱フ現在同組合ノ手ヲ經テ就働セル人夫四百六十八人一日ノ賃金一弗六十仙ヨリ一弗八十五仙位ニシテ平均月收四十五弗ヨリ五十五六弗ノ間ニ在リ、内一人ノ組合費月一弗、口入手數料一弗計二弗ヅ、組合ニ支拂ヒ食料被服等ハ東洋貿易會社ヨリ供給ヲ受ケ居レリ其費用約十弗位ナレバ差引三十

第二章「モンタナ」州ニ於ケル重要都府ト同胞

五弗位ヲ貯蓄ヲ爲シ得ル割合ナリ

労働者ノ生活状態ハ衣食其他ノ本邦労働者ニ比シ遙ニ貧乏ニシテ白人労働者ニ比シ遜色ナシ只住所ニ至リテハ鐵道働キノ常トシテ貨車又ハ最モ粗末ナル陋屋ヲ家トシ一車ニ八人多キハ十人同宿シ一日ノ勞ヲ慰スルニハ甚足ラザルノ感アリ是レガ爲本邦労働者中屢々戀郷の氣鬱症ヲ出セリ、労働者間ノ風儀モ可成的好ク會社ノ信用厚ク本邦労働者ハ伊太利「グリーキ」ノ労働者ヨリ常ニ一割方高賃ヲ得居レリ五、六年前迄ハ労働者間ニ酒色ニ流レ無頼ノ徒真地目ナル労働者ヲ威嚇シテ金錢ヲ強奪シ或ハ憤怒ノ餘リ互ニ兇器ヲ弄スルモノアルナド「モンタナ」労働者ハ「アラスカ」行ノ労働者ト共ニ危險人物ノ如ク見做サレシガ現今ハ甚少ク勤直ニシテ専ラ貯金ニ熱心セルノ状態ナリ

次ニ旅館ヲ見ルニ同胞労働者相手ノ下宿兼遊球場ニシテ輪ズルニ足ラザル小規模ノモノナリ此旅館ニ起居セル邦人ハ多ク無頼ノ遊民ニシテ時ニ鐵道ニ働キ少シク金ヲ得バ直チニ賭博ニ夜ヲ徹シ甚好マシカラザル行爲多シト云フ當市ノ市民労働者大部分ヲ占メ労働黨大勢力アル丈ニ排日熱甚シク市内ノ労働ニハ一切關與セシメズト云フ

市「ヘレナ」

(八) 「ヘレナ」市 同市ハ「モンタナ」州ノ西部「トラーク」郡ニ在リ「ロツキイ」山ノ麓ニ位シ「モンタナ」州ノ首府タル丈ニ市街ノ設備完全セリ、人口二萬五千人教會二十四、小學校十二、圖書館二、其他市街電鐵布設セラレ工場トシテハ製糖會社、製毛會社アリ規模少ナリト雖モ將來大ニ發展ノ望アリ

地勢高原海拔四千五百五十呎四面山脈ヲ以テ圍マレ其平野約十萬噐アリ既ニ開拓セラレ小麥、燕麥、糖大根、馬鈴薯ヲ産ス風景又佳ナリ

日本人ノ狀況 此市ニ在留同胞僅ニ五、六人「ホテル」又ハ私人ノ家僕トナリ月給食事室付四十五弗位ヲ得ルト云フ邦人ノ人氣好ク由來白人ヨリ何等惡感ヲ受ケタル事ナシト云フ

市「ミヅラ」

(九) 「ミヅラ」市 全市ハ「モンタナ」州ノ西部北太平洋鐵道ニ沿ヒ「ミヅラ」郡ニ在リ人口六千人市ノ繁榮ハ農産物ノ發達ト鐵道會社ノ支部アルガ故ナリ十年前ニハ僅ニ千人ニ足ラザル憫レナル移民ノ土着地ニシテ煉瓦ノ家屋サヘ見ザリシ

本邦人ノ

ト云ヘルニ今ヤ六千ノ人口ニ達シ市街モ主ナル部分ハ「セメント」ヲ以テ堅メ巍然タル建築物ヲ見ルニ至レリ公會堂、裁判所、教會、大學校、高等學校、公學校、市街電氣鐵道アリ「ヘレナ」市ト共ニ「モンタナ」州中最モ美ハシキ市街ナリ地勢ハ「ロツキイ」山脈ノ西麓ニ位シ三面山脈ヲ以テ圍マレ南「ハミルトン」谷ニ臨ミ風景佳ク農産物トシテハ大麥、小麥、裸麥、野菜、林檎等ノ主ナルモノトス

同胞ノ事業 市内ニ於テ獨立ノ營業ヲ爲セルモノハ左ノ如シ

營業種類	資本額	雇人	營業主
日本人旅館	五〇〇弗	一	中川芳吉
人夫請負	五〇〇弗	二	中川芳吉
洋食店	二〇〇〇弗	六	中川芳吉
日本人旅館	七五〇弗	一	山本松二郎
日本人旅館	七〇〇弗	二	佐々木三郎
洋食店	六〇〇弗	一	原田彦三郎
洋食店	一〇〇〇弗	二	西田清一
洋食店	八〇〇弗	二	野村藤市
人夫受買業	一五〇〇弗	五	東洋貿易會社支部

又タ市外ノ農業者ハ左ノ如シ

農業種類	借地面積	雇人	資本金	營業主
野菜並ニ養豚	二〇「エーカー」	五	三、〇〇〇弗	中川芳吉
野菜並ニ養豚	一〇「エーカー」	一	一、〇〇〇弗	合同井上調
野菜並ニ養豚	一〇「エーカー」	一	一、五〇〇弗	河野好祐
野菜並ニ養豚	一〇「エーカー」	三	二、五〇〇弗	土井謙徳
野菜並ニ養豚	五「エーカー」	三	三、五〇〇弗	渡藤松、渡玉市

以上ノ事業中日本人旅館ハ鐵道ニ労働セル邦人ノ下宿又ハ飲食店位ノ處ニシテ到テ小規模ノモノナリ將來別ニ發展ノ見込ミナキ代リ又困難ニモ陥ラザル可ク一ヶ月純益五、六十弗位洋食店ハ白人労働者相手ノ安料理ニシテ一食二十五仙位

其成績頗ル好ク將來有望ノ職業ト見認メラル、玉突場モ又洋食店ト並テ相當ノ景氣アリ、以上ハ月百弗内外ノ純利ナリ人夫受負ハ主トシテ鐵道労働者ノ受負ニシテ東洋貿易會社支部此レヲ取扱ヒ目下約三百名ノ労働者ヲ有ス彼等ノ生活月收等ハ他地方ニ異ナラズ、市内労働者ハ食事室付月收四十五弗位又タ此等ヲ自便ノモノハ五、六十弗位ノ收入アリ農業經營者ハ主ニ野菜、養鶏等ノ如キ小規模ノ農業ニ屬シ小資本ヲ以テ着手セラル經營長キハ六年短キハ三年位ナレバ別ニ大成功者ヲ見ザルモ邦人労働者ハ手先キノ小器用ナル爲此種ノ農業ハ大ニ得意トスル所ナルヲ以テ何レモ相當ノ成功ヲ爲シ居レリ

在留同胞一般ノ人氣白人トノ折合共ニ良好ニシテ排日ノ傾向尠モナク「モンタナ」州中同胞ノ秩序比較的定マリ將來最モ有望ナルハ實ニ「ミソラ」市地方トス

第三章 本邦人ノ狀況

鐵道労働者

第一、鐵道労働 抑モ「モンタナ」州ニ本邦人ノ入り込ミシハ明治二十八年頃今ノ東洋貿易會社長高橋徹夫及山岡音高等ガ鐵道工夫受負者トシテ十數名ノ人夫ヲ大北鐵道線ニ入レタルヲ初メトシ次テ三十年頃ヨリ急ニ千五百人ノ數ニ増加シ三十四年ニ至リ一時六千人ノ多數ニ上リシ事アリ又北太平洋鐵道ニ於テハ明治三十年本邦受負業者熊本一二三ナル者興事會社ヲ興シ人夫數百名ヲ入レタルヲ以テ初メトス其後三十八年興事會社ハ倒レ大北鐵道、北太平洋鐵道共ニ東洋貿易會社ノ手ニ歸セリ、明治四十一年「シカゴ、ミリオキー、ビュジシトサウンド」線ノ通スルニ至リ此鐵道ノ人夫受負人トシテ久保澤悠策氏労働組合ヲ組織シ「ビュートイ」市ニ本部ヲ置キ現ニ四百十名ノ本邦労働者ヲ取扱ヒ居レリ然シテ現在「モンタナ」州ニ在ル鐵道労働者ハ千二百五十八人ニシテ其賃銀ハ初期即チ明治二十八年ヨリ三十年頃迄ハ僅ハ一日十時間働ニテ一弗ナリシガ三十二年頃ヨリ漸時十五仙若シクハ二十五仙位ヅ、賃銀ヲ値上シ現今ニ於テハ平均一弗七十五仙位ヲ得労働者ノ組長及取締ノ如キハ月給七十五弗以至八十弗ノ高給ヲ得ツ、アリ、然テ彼等ノ收得スル賃銀ハ夏秋労働

ノ激シキ時ハ時間外又ハ日曜ニモ働ク事多ク結局五十弗位ナルモ冬期三ヶ月ハ鐵道工事概シテ閑散ナレバ或ハ解雇セラレ或ハ隔日働位ニテ食料小使錢ヲ得ルニ過ギザルガ如シ彼等ノ食料ハ全ク鐵道人夫受負タル東洋貿易會社ヨリ供給セラレ日本米、日本醬油其他本邦雜貨類ヲ用ヒ純日本料理ヲ用ヒ居レリ、其理由ハ洋食ハ腹ゴタヘナク過激ノ労働ニハ日本食ニ非ラザレハ堪ヘ難シト云フニアリ平均一人一ヶ月ノ食料一切八弗外ニ小使トシテ三、四弗、事務所費、労働口入費トシテ二弗乃至二弗五十仙ヲ合セ計十五弗内外ヲ收入額五十弗ヨリ差引クハ時ハ三十四、五弗ノ貯蓄ヲ得ル割合ナルモ斯カル高額ノ給料ハ夏期ヨリ秋期ノ六ヶ月位ニシテ其他ハ漸ク時間通リノ働キヲ得ルカ又ハ冬期ノ如ク全ク労働口ヲ失スル事サヘアルヲ以テ平均一ヶ月ノ貯蓄額ハ三百弗位ト見テ差支ナカルベシ

彼等ノ生活セル家屋ハ補修工事又ハ新期工事ノ二種類ニ別レ前者ハ「セクシヨン」ト稱シ一定ノ場所ニ住ヒ其興行ハ二十四呎、幅十五呎位ノ陋屋然モ何等設備ナク頗ル殺風景ノ處ニ五、六人同居シテ共同ノ生活ヲ爲シ妻帯者殆ド無シ爲ニ彼等ノ勞苦ヲ慰スベキ道絶ヘ寂寥極マレル生活ヲ續ケザル可カラザレハ間々操作ヲ亂シ放縱ニ陥ル者ヲ出スハ免レザルナリ新設工事ニ就働セル労働者ヲ「ギヤング」ト稱シ貨車ノ内部ニ少シク間取ヲ飾リ労働者ヲ住ハシムルモノニシテ一貨車ニ八、九人同住シ新工事ノ起ル毎ニ軌道ヲ走り朝夕場所ヲ異ニセル生活ナレバ「セクシヨン」生活ニ比シ更ニ一層ノ無趣味ナル生活ヲ忍バザル可カラザルガ上ニ境遇上是又妻帯困難ナレバ只貯蓄ヲ樂シム以外何等慰安ノ道ナキハ甚タ遺憾ノ至リナリ是レ本邦労働者而已ニ限ラズ各國労働者皆然ラザルハ無シ

農業經營者

第二、農業經營者 當初「モンタナ」ニ入り込ミシ本邦人ハ凡テ鐵道労働者ニ限ラレ農業經營者ハ極メテ最近ノ事ニ屬ス彼等ハ元鐵道労働者ニシテ五、六百弗若シクハ千弗内外ノ貯蓄ヲ有シ比較的ノ地方ノ事情ニ通ジ言語等ニモ慣レタル時鐵道労働ヨリ退ヒテ土着的農業ニ轉ジタルモノナリ其最初ニ此種ノ事業ニ手ヲ出セシハ「ミソラ」附近ノ野菜畑次デ「ピリングス」附近ノ生菜農業者ナリ彼等ハ何レモ事業着手以來僅ニ五、六年ニ過ザレバ未タ成功ノ域ニ達セシ者ヲ見ザルモ手足ヲ勞スル小農的仕事ハ邦人ノ得意ニシテ白人ノ遠ク及バザル所ナレバ不日相當ノ成功者ヲ出スニ至ル可シ只「モンタ

ナ州ハ外人ノ土地所有權ナキガ爲本邦人ノ永住の事業起ラズ短キハ五、六年永キモ十年ヲ出デスシテ歸國ノ豫算ヲ立テ半腰掛の農業經營者多キハ嘆ズベキナリサレド縱令ヒ土地所有權ヲ得ザルモ永期ノ租借權ヲ得ルヲ以テ所有權ヲ得タルト何等差異ナキヲ以テ此後如斯ニシテ年月ヲ經ルニ於テハ出稼の考ヘノ薄ラグニツレ永住的ノ農民ヲ出スルニ至ルベシ

要スルニ本邦労働者中鐵道労働ハ純然タル労働者ニシテ僅ニ勞力ニ對スル報酬ヲ得ルニ留マリ何等趣味ナキヲ以テ事情ニ慣レズ言語ニ通セサル労働者カ又ハ月々得タル所ノ蓄財ヲ郷里ニ送り三年四年ヲ期シ二千圓カ三千圓ヲ儲ケ上グレバ直チニ歸國スルガ如キ至テ望ノ小ナル者及勞力以外ニ何等能力ナキ者ナリ然ラズシテ少シク事情ニ通ジ志アル労働者ハ次第二農業及其他小資本ノ商業ニ轉ズルガ如シ

只現今ノ成績ヲ見ルニ鐵道ニ而已働キ少シク蓄財ヲ得バ直チニ歸國スル種類ノ部ニハ大成功ナキモ十中八、九迄目的ヲ達シ得ラル、ニ反シ労働階級ヲ離レ事業ニ手出シセルモノ、中ニハ資本足ラザルト其種ノ智識經驗ナキ爲中ニハ一敗地ニ塗レ再ビ起ツ能ハズシテ資本家地主ノ借財ニ苦シミ夜逃ゲセルモノ等屢々耳ニスル處ナレトモ是創業ノ際トシテ免カレ難キ通弊ナリ

第三、市内營業 「モンタナ」各市ニ在ル本邦人獨立營業トシテ未タ相當ノ基礎ノ定マリシモノナク僅ニ鐵道労働ノ本邦人ヲ相手ニ陋屋ノ料理屋、蕎麥屋及白人相手ノ洗濯屋、西洋料理店、球屋位ノモノナリ何レモ數年ノ年月ニ止マリ未タ發展ノ域ニ達セザルモ白人相手ノモノハ何レモ氣受好ク大ニ賑ハヒ居レバ少シク信用ヲ重ジ確實ニ經營スルニ於テハ將來相當ノ成功ヲ見ルヲ得ベシ然シテ此種ノ經營者ハ凡テ元鐵道労働ノ労働者ガ少額ノ貯蓄ト地方事情ニ通セシ者ノ轉業セシモノナルハ前陳ノ通りニシテ將來此等ノ獨立經營者ノ成功ヲ見バ必ズ鐵道労働者ヨリ轉業スルモノ少カラザル可ク同時ニ獨立農業ノ方ニモ轉業セラルベク然シテ鐵道労働者ノ數ハ年々減少シ此レガ補充トシテノ新渡航ヲ絶チ居レバ本邦移民ハ此レヨリ出稼時期ヲ脱シ企業ノ時代ニ遷ルベキモノ、如シ

第四、市内労働 其他市内ニ在ル家内労働及酒屋働キノ労働者ハ多ク多少ノ英語ヲ解シ本邦ニテ相應ノ教育アル青年ナルモ其成績面白カラズ所得ノ給料ハ酒色賭博ニ浪費シ甚シキニ至リテハ遊民ノ隊ニ加入シ本邦人ノ名聲ヲ傷クルモアリ是レ市内ハ地方ニ比シ誘惑の機會多キト青年ハ漫然大志ヲ抱キタル者ノ事志ニ違ヒ半バ失望ノ結果ナル可シ

第五、「モンタナ」州ニ於ケル對日本人感情 明治二十八、九年頃初メテ邦人ノ入込ミシ頃ニハ各地迫害起リ「グレートホー」ル市、「ハーバー」市ノ如キハ彼我労働者ノ衝突甚シカリシガ鐵道労働受負主高橋徹夫等白人労働者ノ誤解ヲ解ク爲ニ非常ニ苦心セラレタルト鐵道會社側ノ努力トニヨリ僅ニ數年ナラズシテ彼我ノ誤解解ケ其後幾多ノ變遷ヲ經現今ニ至リテハ「グレートホー」ル市及「ビュートイ」ノ如キ労働黨ノ勢力激シキ市コソ日本労働者ノ迫害アルモ其他ノ地方ニ在リテハ殆ド迫害ノ聲ヲ聞カザルノミナラズ大ニ本邦人ヲ歡迎シ氣受頗ル可ナリ是ノ原因ニ就テハ種々ノ理由アルベケレトモ其主ナル點ハ同胞多數市内ニ集合セザルニヨリ白人ノ職業ニ影響ヲ及ホサザル事市内ノ獨立營業者間ハ何レモ七、八年位此地ニ在リテ米國ノ事情ニ通ジ居レバ同化ニ努メ可成米人ノ感情ヲ害セザラントシ市内ノ公共事業ニハ幾分ノ助力ヲ講ジ居レル事

料理屋、旅館ノ如ク同胞労働者相手ノ者ニ在リテハ兎角喧嘩ニ流レ酌婦ノ醜聞等ヲ耳ニスルハ太平洋沿岸各地ニ多ク見ル處ナルモ「モンタナ」州各地ニ於テハ此種營業者モ僅ニ夫婦位ノ小人數ニテ客ヲ遇スルニ過キザレバ結果頗ル好ク又時ニ多少ノ無賴の青年アルモ未タ白人側ノ注意ヲ惹クニ至ラズ

地方労働者ニ在リテハ「モンタナ」州各地共ニ近來事業大ニ起ラントスルニ際シ労働者不足ノ爲事業ニ頓挫ヲ來ス位ナレバ續夫以外ノ労働ニ於テハ何レノ方面ニ活動スルモ白人労働者ト衝突スル事ナク且労働者モ「シアトル」ヨリ七百有餘哩ノ「モンタナ」州ニ蹈込ミ國ニ妻子アル責任多キ者ナルヲ以テ其心掛ケ一段好ク仕事ニ勤勉ニテ事端ヲ醸ス事ナシサレバ至ル所米國ノ事業家ハ日本労働者ヲ歡迎シツ、アリト云フ

以上他州ニ比シ同胞ノ人氣好キ所以ナルベシ只近來太平洋沿岸殊ニ「シャトル」地方ノ秩序恢復シ取締嚴重トナリ同胞間

北米南部華盛頓州哥倫比亞河流域視察報告

ノ制裁カ比較的強マルニツレ惡徒ハ遠ク「モンタナ」州ニ飛込ミ善良ナル勞働者ヲ強迫セントスルノ傾向アルハ塞心ニ堪ヘザル事ト云フベシ

南部華盛頓州哥倫比亞河流域視察報告

目次

第一 華盛頓州地理大要	一一三
總論	
一、「オリムピック」半島	
二、「ビュージェットサウンド」沿岸地方	
三、「キヤスケード」山脈	
四、「オカノガン」高地	
五、哥倫比亞河流域	
六、「プリュー」山脈地方	
七、「ウヰラバ」灣地方	
第二 地味	一一六
第三 哥倫比亞河流域ト余ガ視察區域ノ範圍	一一七
第四 氣候	一二八
第五 人口分布ノ狀況	一三三
第六 交通	一三四
一、鐵道	
二、哥倫比亞河	
第七 灌溉工事	一三二
一、概論	
二、官營灌溉工事	
「サンニサイド」灌溉工事	
「チエトン」灌溉工事	
三、私營灌溉工事	
「ハンフォード」灌溉工事	
北太平洋灌溉工事	
「バスコ」灌溉工事	
「バーバンク」灌溉工事	
「ストラットフォード」灌溉工事	
第八 産業	一三八
一、華盛頓州ニ於ケル産業發達小史	
二、麥作	
三、牧畜	
四、酪農	
五、果樹栽培	
六、農業開始ニ關スル實際的方面ノ一般的狀況	
七、採炭業	
第九 日本移民ノ狀態	一六二
一、農業者	
二、鐵道労働者	
三、本邦労働者ノ群集ガ其集屯地ニ於ケル米人社會トノ關係	

北米南部華盛頓州哥倫比亞河流域視察報告

在「シアトル」
外務書記生 佐藤 魁 一

第一 華盛頓州地理大要

位置及面積

華盛頓州ハ北米合衆國本土ノ最西北部ニ位シ北緯四十五度三十二分ヨリ同四十九度ニ且リ西經百十六度五十七分ヨリ同百二十四度四十八分ニ至ル口字形ノ州ニシテ東西最長部三百六十哩、南北最長部二百四十哩面積陸地六萬六千八百八十九方哩、水面二千二百九十一方哩計六萬九千八百八十方哩ニシテ北ハ直線ヲ以テ英領加奈陀哥倫比亞州ニ接シ東ハ「アイダホ」州ニ隣リ南ハ哥倫比亞河ヲ隔テ「オレゴン」州ニ界シ西ハ太平洋ニ面シ西北端ハ「ジョージア」灣(Gulf of Georgia)及「ジョアンデ、フユカ」海峽(Straits of Juan de Fuca)ヲ挾ンテ英領加奈陀「ヴァンクーヴァー」島ニ對ス

東部高原

華盛頓州ハ州ノ中央ヲ北ヨリ南ニ貫走シ南方一萬四千五百二十六呎ノ「レニア」山(Cat. Rainier)、一萬二千三百五呎ノ「アダムス」山(Cat. Adams)九千七百五十呎ノ「セントヘレンス」山(Cat. St. Helens)トナリ北方一萬八百二十七呎ノ「ペーカー」山(Cat. Baker)トナリ一萬四百二十六呎ノ「グレンシア」山(Glacier Pk.)トナリ最廣地點ハ約百哩ノ廣キニ且リ平均五千呎ノ高度ヲ有セル「キヤスケード」山脈(Cascade Range)ニヨリ正ニ兩分セラル

「キヤスケード」山脈ノ東部地方ハ海拔一千呎ヨリ二千呎ニ達スル茫々タル高原ニシテ幾多東西ニ奔レル大小山脈ノ間ヲ縫ヒテ源ヲ英領加奈陀ニ發セル哥倫比亞川ノ水透施トシテ其中部ヲ迂繞曲折シ州ノ東南ノ「プリュー」山脈(Cline mountains)ニ源ヲ發セル幾多細流ヲ合セテ「アイダホ」州ヨリ來レル「スネーク」河(Snake River)及源ヲ「キヤスケード」連山ニ發セル「ヤキマー」川(Yakima River)ヲ州ノ南端ニ於テ併呑シ洋々トシテ「オレゴン」、「ワシントン」兩州ノ界ヲ劃シテ太平洋ニ注グ

西部平野

「キヤスケード」山脈ノ西部地方ハ概シテ平坦ニシテ殊ニ「ビユーゼットサウンド」灣(Crest Sound)ニ面セル地方ハ海拔二百呎ヲ超エスト雖モ太平洋ニ面セル方面ニハ「オリムピック」山脈ノ餘波ト見ルヘキ連々タル海岸山脈アリ南方ニ於テハ起伏甚シキモ最高點二千呎ニ達セス之ニ反シ北方所謂「オリムピック」半島(Olympic)地方ニヨリテ八千三百三十一呎ノ「オリムピック」山(Cmt. Olympus)七千七百七十七呎ノ「コンスタンス」山(Cmt. Constance)五千呎ノ「エリナ」山(Cmt. Ellina)等ノ聳立セルアリ頗ル高峻正ニ森林地帯ヲ形成ス而シテ北西部地方ニ於ケル稍大ナル河ヲ舉クレハ北英領哥倫比亞ニ近キ方面ニ「スカヂット」川(Chehalis River)アリ源ヲ「キヤスケード」山ニ發シ西流シテ「ジョーシア」灣ニ注グ南方「キヤスケード」山脈中ノ最高峯タル「レニア」山ニ源ヲ發シ西北上シテ「ビユーゼット」サウンド灣ニ入レル「ニスクオリー」河(Nisqually River)アリ「オリムピック」山脈ノ餘波タル海岸山脈ニ源ヲ發シ西流シテ「グレースハーバー」灣(Grays Harbor)ニ入レル「チエハリス」川(Chehalis River)アリ以上ハ州ノ中央ニ北ヨリ南ニ走レル「キヤスケード」山脈ニヨリ截然分割セラレタル

「オリムピック」半島

二大區劃ナルカ此二大區劃中ニモ亦自ラ地勢上別個ノ特質ヲ有スル區域アリ
一 「オリムピック」半島 「オリムピック」山脈(Olympic Range)ヲ中心トシ北方「シユアン」デフユカ「海峡」隔テテ英領加奈陀「ヴァンクーヴァー」島ニ對シ西方太平洋ニ面スルロ字形ノ半島ニシテ其特質トスル所ハ斧鉞未タ入ラサル鬱蒼タル深林ヲ有スルニ在リ「ポートエンゼルス」(Port Angeles) (人口二千二)「ポートタウンセンズ」(Port Townsend) (人口四千)ハ此地方ニ於ケル重要都市タリ「ポートタウンセンズ」ハ「ビユーゼットサウンド」稅關本部ノ在ル所ニシテ同灣ノ入口ニ在リ「ポートタウンセンズ」ノ對岸常ニ白烟ノ上ルハ「アイロンデール」(Ironde) (七十四)ニシテ最モ新進太平洋沿岸西北部ノ唯一ノ製鐵鋼市タリ

「ビユーゼットサウンド」沿岸地方

二 「ビユーゼットサウンド」沿岸地方 「オリムピック」半島ト「キヤスケード」山脈トノ間ニ横ハル長方形ノ地域ニシテ「ビユーゼットサウンド」(Puget sound)ト稱スル沿線二千哩ニ亘ル屈折縱橫ノ内海ヲ抱擁シ「シアトル」(Seattle) (人口廿三萬七)「タクマ」(Tacoma) (人口八萬五千)「オリムピック」(Olympia) (人口六千九)「エベレット」(Everett) (人口二萬)及「ペーリングハム」(Port Blakely) (人口四萬三千)等ノ重要都市タリ

「キヤスケード」山脈

(Chillingham) (人口貳萬四千) 等華盛頓州重要都市何レモ其沿岸ニ在リ、華州ニ於ケル政治、産業、教育ノ中心地帯ヨリ「ビユーゼットサウンド」灣ハ世界罕ニ見ル深キ海ニシテ水温寒冷極ム、此地方北ニ「スカヂット」川アリ南ニ「ニスハオリー」川アリ、中央ニ風光絶佳ノ華盛頓湖アリ「サンマニワシユ」湖アリ華州ノ誇トスル製材業、水産業ノ中心タリ

三 「キヤスケード」山脈 太平洋沿岸ヲ去ル東方約百二十哩ノ距離ヲ隔テ、州ノ中部ヲ北ヨリ南ニ斷續シツ、蜿蜒タル山脈ニシテ山嶺常ニ白雪ヲ戴キ山腹蒼鬱タル「ファー」(Fair)、**「シダー」**(Cedar)、**「ハムロック」**(Hemlock)及**「スプールス」**(Spruce)等ノ樹林ヲ纏ヒ截然タル州ノ分水嶺ヲ爲セリ、山腰ヲ繞レル是等圓錐形ヲ爲セル樹林ハ華州ヲシテ製材業ニ於テ全米各州ノ首班ニ位置セシムル重要ノ寶庫ナルガ其間ヲ縫ヒテ東西ニ急走スル幾多溪流ノ激洶タル水勢亦是レ當州産業ノ發達ヲ促進セシムル所以ノ要素タリ、若夫レ當山脈ノ包藏スル礦物ノ價值ニ至リテハ未タ正確ナル調査ヲ經ザルカ故ニ猶未知數ニ屬スト雖モ山腹ニ於ケル傾斜急ナラサル地帯ハ牧場トシテ頗ル望ミアリ

四 「オカノガン」高地 哥倫比亞川ノ北「キヤスケード」山脈ノ東ニ横ハル一帯ノ高地ニシテ森林最モ深ク且ツ金、銀、銅其他各種ノ礦物ヲ含有スルヤ多シ此地方穀作及果樹栽培ニ適スル地域之レナキニアラスト雖モ未タ不幸ニシテ適當ナル交通機關ノ設備ヲ缺ク

「コロムビア」河流域

五 「コロムビア」河流域 「キヤスケード」山脈ノ東「コロムビア」州本流及幾多支流ノ濕潤スル一望崖ナキ平野ニシテ面積ノ上ヨリ言ヘハ當州中各區ノ第一ヲ占ムルノミナラス、華盛頓州重要ノ產物タル小麦、及林、林、橋、ノ生産地トシテ最要ノ地位ヲ占メ Inland Empire ノ名ヲ以テ聞ユ、此區劃ニ於ケル商業ノ中心ハ「スポーケン」市(Spokane) (人口十萬四)ニシテ年ニ長足ノ發達ヲナシツ、アリ、其他「ワラワラ」(Walla Walla) (人口一萬九千)、「イスマヤキマ」(North Yakima) (人口一萬四)、「エレンスバーク」(Ellensburg) (人口四千)、「ウエナルチ」(Wenatchee) (人口五千)等ハ此地域ニ於ケル重要ナル都市ニシテ「ノースヤキマ」最モ新進且前途頗ル有望ノ都市タリ、吾人カ今回ノ行タル「コロムビア」河ノ支流タル「ヤキマ」河ヲ中心トスル地帯ノ觀察ヲ以テ主眼トシタリ、蓋シ此方面ニ於ケル各種産業ノ發達ハ近時世人ノ矚目ニ値シツ、アル處ナルヲ以テナリ

六 「ブリュート」山脈地方 州ノ東南隅ニ位スル比較的狭小ナル地域ナリ而モ土地頗ル肥沃風土亦甚タ可木材ノ産出望アリ

七 「ウヰラバ」灣地方 而シテ殘ル所ハ南「コロビア」河ニ面シ西太平洋ニ面スル西部華州ノ南西隅ニ位スル廣濶タル地域ニシテ海岸山脈ノ餘波ヲ受ケ森林普ク及ベルノ地タリ、此地方産業ノ中心ハ製材業ニ在リ、牡蠣培養及鮭鱈詰業亦之ニ次キテ重要ナル地歩ヲ占ム而シテ一般農作及果樹栽培業ニ至リテハ年々進境ヲ見ルモ未ダ甚ダ著シキモノナシ此地方北ニ「チエハリス」川アリ「グレースハーバー」灣 (Greys Harbor Bay) ニ注ク河口「アハチン」市 (Aahchin) (人口一萬五千) アリ木材ノ輸出ヲ以テ名アリ南ニ「ウヰラバ」川 (Wilaia River) アリ「ウヰラバ」灣ニ注ク河口「サウスベンド」市 (South Bend) (人口三千) アリ二川ノ流ルル中間ニ介スルモノ「チエハリス」市 (Chialis) (人口四千) アリ「セントラリア」市 (Centralia) (人口七千) (三百一十一) アリ

第二 地味

地球

人口稠薄

余ハ後章ニ於テ哥倫比亞川流域ニ於ケル産業中重要ノ地位ヲ占ムル農業ニ關シ少シク記述センコトヲ期スルヲ以テ茲ニ之ガ總説トシテ聊カ華盛頓州ノ地域ニ就テ説述シ置カント欲ス

華盛頓州ハ今日小麥ノ産出ヲ以テ聞ユト雖而モ面積約七萬方哩ニ垂ントスルニ反シ人口僅ニ百十萬ヲ數フル過ギス、況ンヤ是等ノ人口ハ主トシテ「シアトル」「タコマ」「スポーケン」「ワラ」等ノ「ペリシグハム」「エベレット」「セントラリア」「ノースヤキマ」等ノ都市ニ在リ一度汽車ニヨリテ市ノ圏外ニ出デンカ茫々トシテ汽車ハ唯其レ無人ノ野ヲ行クニ似タリ現時ト雖モ尙且ツ斯ノ如シ矧ンヤ幾千年ノ久シキ間何等人力ヲ加ヘラル、ナクシテ自然ノ姿ニ放置セラレタル華盛頓州ハ實ニ各般ノ農作ニ好適セル各種ノ土壤ヲ以テ蔽ハレツ、アリ

「キヤスケード」山脈ノ東ニ當リ起伏セル一帯ノ中央高地ハ火山灰ト崩壞シテ碎末トナレル柱石巖ノ土砂ト植物腐土トヲ以テ蔽ハレ降雨少ナク土地概テ乾燥水量ノ供給乏シキヲ以テシテ尙且ツ乾農法ニ據ル小麥、大麥等穀類ノ産出ニ適シ華

ヲシテ麥産地ノ名アラシム若夫レ灌溉ノ途開ケテ不斷ノ水量ヲ以テ湿润セララル、ニ至ラバ農勢一變乾農法ニ據ル收穫ニ倍スル生産ヲナシ管ニ穀作ニ於テ覇ヲ唱スルノミナラズ果樹蔬菜ノ栽培ニ可ナルヤ論ナシ

東部華盛頓州ノ北境及東南隅ニ於ケル「ブリュート」山脈地方ノ森林地帯ハ牧畜ニ最佳ナル粘土質ヨリナル所多シ

「キヤスケード」山脈ノ西部ニ於ケル起伏常ナキ丘陵的森林地帯ハ砂礫ト粘土トヲ混和シタル地層ヲ以テ成ル此故ニ斧鋏一度到リテ亭々トシテ矗立シ圓錐形ヲナセル「フアー」「シダー」「ヘムロック」及「スプルース」等ノ喬木タル森林伐木シ盡クサルノ時此一帯ノ地面ハ穀類牧草及果樹ニ適スルヲ見ルベシ而シテ其丘陵ト丘陵トノ間ニ介スル低地及溪谷トモ稱スベキ所ハ植物腐土ト滓泥トヲ以テ成ルガ故ニ此處ニ生育セル白楊、赤楊及樺ヲ一掃セラルトキハ蔬菜栽培及一般農地トシテ肥沃ノ地タルベキナリ、且夫レ此地帯ニ流ル、幾多ノ小河ノ沖積セル砂洲ハ概ネ平坦ニシテ其面積決シテ狭シトナサズ最モ所在海水ノ横溢ヲ防止センガ爲メニ溝渠開鑿ノ必要アルベキモ海水ノ加入ハ偶以テ鹽類ノ加味ニ外ナラズシテ如此状態ニ在ル土地ノ穀類、蘿蔔、大根及塊球物等ノ耕作地トシテ適當ナルヤ知ルベキノミ

第三 哥倫比亞川流域ト余ガ視察區域ノ範圍

太平洋沿岸第一ノ大河タル哥倫比亞川ノ華盛頓州ニ於テ其本流及支流ガ湿润スル「アダムス」「アソチン」「ベントン」「チエラン」「クラーク」「コロムビア」「カウリツ」「ドーグラス」「グラランド」「フエリー」「フランクリン」「ガーフ#」
 「キチタス」「クリキタツト」「ルイス」「リンコルン」「オカノガン」「バシフ井ツク」「スカマニア」「スポケン」
 「スタブンス」「ワキアクム」「ワラワラ」「ホワイトマン」及「ヤキマ」ノ二十五郡ニシテ州ノ分水嶺タル「キヤスケード」山脈ノ東部一圓ヲ抱括スルノミナラズ「キヤスケード」山脈ノ西部則チ西部華盛頓州ノ南部ニ亘リ華州全面積ノ三分ノ二以上ニ及ベリ、而シテ其位置ニヨリ分割セバ

北部ニ位置スルモノ「オカノガン」「フエリー」「スタブンス」「チエラン」「ドーグラス」「リンコルン」「スカケン」諸郡

第一 地球 第二 哥倫比亞川流域ト余ガ視察區域ノ範圍

郡名	地名	降雪年間 水總量	一ヶ月間於 クハ最多量	一ヶ月間於 クハ最少量	量最多 月	量最少 月	降雪年間 降雪量	日雨天 數	日晴天 數	日半晴天 數	日曇天 數	風位
Ferry	Kapublie	二六二八	二八九	四二六	九月	四月	〇二〇	七月廿一日	同	二月一日	同	同
Stavaus	Coloille	一六三五	一〇九	四六三	七月	七月	〇二二	同	同	二月一日	同	同
"	Northport	一九五〇	二〇	四二七	七月	七月	〇一八	同	同	二月一日	同	同
Spokane	Spokane	二九四三	二八	四八八	七月	七月	〇〇四	七月廿一日	同	二月一日	同	同
"	Chanay	二二五〇	二五	四八〇	七月	七月	〇〇六	同	同	二月一日	同	同
Whitman	Colfax	二二五〇	二七	四八〇	七月	七月	〇〇八	同	同	二月一日	同	同
"	Pullman	二二五〇	二七	四八〇	七月	七月	〇〇八	同	同	二月一日	同	同
"	Kosalia	二二七〇	二七	四八〇	七月	七月	〇〇九	同	同	二月一日	同	同
Chalau	Lakawie	一一一六	二八	五〇九	七月	七月	〇〇二	同	同	二月一日	同	同
"	Raxcrak	一一三五	二八	五〇九	七月	七月	〇〇三	同	同	二月一日	同	同
"	Wanatchee	一一六九	二八	四八八	七月	七月	〇一五	同	同	二月一日	同	同
Kititas	Clia-Elina	一九三〇	一〇	四五三	七月	七月	〇〇九	同	同	二月一日	同	同
"	Ellenstburg	一五七一	一〇	四七二	七月	七月	〇一五	同	同	二月一日	同	同
Douglas	Ephrata	一二六五	一〇	四七二	七月	七月	〇一五	同	同	二月一日	同	同
"	Triudad	九〇〇	一〇	五四〇	七月	七月	〇一五	同	同	二月一日	同	同
"	Wahluke	四一〇	一〇	五四三	七月	七月	〇一五	同	同	二月一日	同	同
"	Watenale	二六二四	一九	五四〇	七月	七月	〇一四	同	同	二月一日	同	同
Yakima	(u. yakima)	一〇〇〇	一七	五一〇	七月	七月	〇一六	同	同	二月一日	同	同
"	Moxaa	一〇〇〇	一七	五一〇	七月	七月	〇一六	同	同	二月一日	同	同
Benton	Sunnyside	七四〇	一四	五五一	七月	七月	〇一四	同	同	二月一日	同	同
"	Kennewick	三六七	一四	五五一	七月	七月	〇一四	同	同	二月一日	同	同
"	Kiona	四三〇	一四	五五一	七月	七月	〇一四	同	同	二月一日	同	同
"	Mottlagers	三〇七	一四	五五一	七月	七月	〇一四	同	同	二月一日	同	同
"	Kanach	三〇七	一四	五五一	七月	七月	〇一四	同	同	二月一日	同	同
IKhektiat	Lyla	六〇〇	一六	五二五	七月	七月	〇一三	同	同	二月一日	同	同
"	Sixpreng	一一四〇	二	五三三	七月	七月	〇一五	同	同	二月一日	同	同
Columbia	Hanstville	一四〇〇	二三	五一六	七月	七月	〇一六	同	同	二月一日	同	同
"	Dayton	一七〇〇	二三	四九九	七月	七月	〇一九	同	同	二月一日	同	同
Garfield	Pomeroge	一五〇〇	一七	四九九	七月	七月	〇一九	同	同	二月一日	同	同
Asotin	Zindal	七一五	一七	五七二	七月	七月	〇二二	同	同	二月一日	同	同
Adams	Aarlon	一一〇〇	三七	五一六	七月	七月	〇二二	同	同	二月一日	同	同
Walla	Walla	一一〇〇	三七	五一六	七月	七月	〇二二	同	同	二月一日	同	同
walla	walla	一一〇〇	三七	五一六	七月	七月	〇二二	同	同	二月一日	同	同

郡名	地名	降雪年間 水總量	一ヶ月間於 クハ最多量	一ヶ月間於 クハ最少量	量最多 月	量最少 月	降雪年間 降雪量	日雨天 數	日晴天 數	日半晴天 數	日曇天 數	風位
Okanogars	Chapaca	一四〇三	二八九	〇一二	五月	四月	三六五	六月六	一四九	一〇五	一一二	同
"	Twisp	一四二九	二五一	〇五〇	五月	九月	四二〇	八月六	二二六	五八	八二	同
Ferry	Kapublie	一三四二	二二六	〇八〇	同	同	三七八	八月一	一六七	七〇	一二九	同
Stavaus	Coloille	一八八九	三一一	〇一〇	同	同	六七七	八月二	一六六	八五	一三四	同
"	Northport	一一〇一	二二〇	〇一〇	同	同	二八六	八月二	九六	一三六	一三四	同
Spokane	Spokane	一三三四	二八二	〇一〇	同	同	二九五	八月二	二〇〇	四一	一二四	同
"	Chanay	一三七四	二八二	〇一〇	同	同	二九五	八月二	二〇〇	四一	一二四	同
Whitman	Colfax	一五二二	二七七	〇二二	同	同	一六〇	八月二	一三三	一〇三	一二七	同
"	Pullman	一七六〇	二八八	〇一〇	同	同	二六六	八月二	一三三	一〇三	一二七	同
"	Rosalia	七六九	一三六	〇四	一月	八月	三二四	五月二	一一六	一六九	八一	同
Chalau	Lakasiae	七六九	一三六	〇四	一月	八月	三二四	五月二	一一六	一六九	八一	同
"	Raxcrak	九三八	二〇〇	〇一	五月	九月	二九二	八月三	一一五	一三三	七八	同
"	Nanatchee	一九一五	四〇四	〇一	三月	八月	五三〇	八月三	二〇二	九一	七三	同
Kititas	Clia-Elina	八二〇	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Ellenstburg	四七五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Ephrata	四三八	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
Douglas	Triudad	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Wahluke	四三八	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Watenale	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
Yakima	(u. yakima)	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Moxaa	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Sunnyside	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
Benton	Kennewick	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Kiona	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Mottlagers	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Kanach	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
IKhektiat	Lyla	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
"	Sixpreng	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同
Columbia	Hanstville	四三五	一一七	〇〇四	七月	八月	一九九	八月三	三九	九六	六〇	同

Columbia	Dayton	八、八〇	三、五四	〇、三二	十月	六月	一五、二	八七	一五九	九六	一一一	南
Gosford	Pomeroye	一、三三六	二、六一	〇、一九	同	七月	七、五	五四	一四三	九四	一二三	北
Asotin	Zindel	六、〇〇	一、四五	〇、〇一	十月	九月	五、五	五四	一〇九	九一	一〇一	南
Adams	Aaston	一、六六	二、一一	〇、三二	十月	八月	五、九	九六	一四三	一一二	一一一	南
Walla	Walla											
Walla	walla											

第五 人口分布ノ狀況

人口ノ分

一九一〇年ニ於ケル國勢調査ノ結果ハ華盛頓州ニ於ケル人口總計百拾四萬一千九百八十五人ニシテ之ヲ一九〇〇年調査ニ比スレバ六拾二萬三千八百八十一人ヲ増シ十二割ノ増加率ヲ示シタリ是レヲ郡別ニヨリ表示シ州内人口分布狀況ヲ示シ併セテ前回及ビ前回ニ於ケル國勢調査ノ結果ヲ對照シテ所在増加ノ大勢ヲ示セバ左ノ如シ

一、哥倫比亞川流域諸郡ノ人口

郡名	一九一〇年	一九〇〇年
Adams	一〇、九二〇	四、八四〇
Asotin	五、八三一	三、三六六
Beaton	七、九三七	三、九三一
Chelan	一五、一〇四	一三、四一九
Clarke	二六、一一五	七、一二八
Columbia	七、〇四二	七、八七七
Govilg	九、二二七	四、九二六
Douglas	二、五六一	四、五六二
Ferry	四、八〇〇	四、八六
Franklin	五、一五三	三、九一八
Gardner	四、一九九	九、七〇四
Kititas	一八、五六一	六、四〇七
Klickitat	一〇、一八〇	一五、一五七
Lawie	三、二二七	

Tinwell	一七、五三九	一、九六九	九、三一二
Okanogan	一一、八八七	四、六八九	一、四六七
Pacific	一一、五三二	五、九八三	四、三五八
Skamania	二、八八七	一、六八八	七、七七
Spokane	一三、四〇四	五、七、五四二	三七、四八七
Stavrus	二五、二九七	一〇、五四三	四、三四一
Wahkikum	三、二八五	二、八一九	二、五二六
Walla walla	三、一九三	一、八、六八〇	一一、二二四
Whitman	三三、二八〇	二五、三六〇	一九、一〇九
Yakima	四、七〇九	一三、四六二	四、四二九
Grant	八、六九八		一五七、二三七
以上哥倫比亞川流域ニ於ケル人口總計	四九九、二〇一	二三八、四五七	

一、哥倫比亞川流域以外華州諸郡ノ人口

郡名	一九一〇年	一九〇〇年	
Chehalis	三五、五九〇	一五、二二四	一八九〇年
Jefferson	八、三三七	五、七一二	九、二四九
King	二八、四、六三八	一一、〇、五三	八、三六八
Kitap	一七、六四七	六、七六七	六三、九八九
Mason	五、一五六	三、八一〇	四、六二四
Island	四、七〇四	一、八七〇	二、八二六
Challam	六、七五五	五、六〇三	一、七八七
Pierce	一一〇、八一	五五、五一五	二、七七
Thurston	一七、五八一	九、九二七	五〇、九四〇
Snohomish	五九、二〇九	二、三、九五〇	九、六七五
Whatcom	四九、五一	二、四、一六	八、五一四
Silasit	二九、二四一	一、四、二七二	一八、五九一
Sanjuan	三、六〇三	二、九二八	八、七四七
總計	六四二、七八四	二七九、六四七	一九二、一五三
第五 人口分布ノ狀況	一一、四一、九八五	五一八、一〇四	三四九、三九〇

第六 交通

鐵道

第一 鐵道 一九一〇年末ニ於ケル華盛頓州内既成鐵道線路ハ幹線四千二百六十一哩支線一千八百八十四哩計五千四百四十五哩ニ達シタリ之ヲ郡別ニヨリ所在敷設ノ大勢ヲ哩數ニヨリ表示スレバ左ノ如シ

一、哥倫比亞流域内諸郡鐵道哩數表

郡	幹線	支線	計
Adams	一四〇、九〇九	二九、三四四	一七〇、二五三
Belton	一八〇、三三一	二一、二九八	二〇一、六一九
Chelan	七五、九七六	二四、五四〇	一〇〇、五一六
Clark	六八、七四五	二二、三四〇	九二、〇八五
Columbia	六四、二三三	一三、五五九	七七、七九二
Cowlitz	四〇、七八六	七、八九八	四八、六八四
Douglas	七五、六三五	七、六〇〇	八三、二三五
Ferry	一〇四、九七八	一九、五五九	一二四、五三七
Franklin	七四、六二二	三五、一九二	一〇九、八一四
Garfield	一六、〇五〇	一、七五〇	一七、八〇〇
Kittitas	一六八、六四九	六九、〇〇四	二三七、六五三
Lewis	七六、五四一	二一、一一五	九七、六五六
Lincoln	一六四、七〇〇	二二、九八三	一八七、六八三
Okanogan	四八、四三〇	九、九〇七	五八、三三七
Pacific	五九、一四三	九、三二七	六八、四六七
Skanania	四二、七八八	五、六三八	四八、四二六
Spokane	二五六、一六六	一一、六一一	三七一、五七七
Stevens	一四四、七六六	二二、二一一	一六七、九七七
Walla Walla	二六四、八五七	三五、四一一	三〇〇、二六九
Wahkiakum	一三四、七七六	二五、九五九	一六〇、七三五
Whitman	四一一、八一四	五六、三五一	四六八、一六五
Yakima	八九、三〇三	二九、〇八六	一一八、三八九
計	二、七六五、二六三	六二八、〇七四	三、三九三、九三七

二、哥倫比亞川流域以外諸郡鐵道哩數表

郡名	幹線	支線	合計
Chelan	九七、七一三	二四、四八〇	一二二、一九三
Jefferson	二六、四〇〇	九一〇	二七、三一〇
King	四一三、一四七	二〇八、八六六	六二二、〇一三
Thurston	一〇九、二九七	一八、一七一	一二七、四六八
Mason	四四、二八五	五、〇九〇	四九、三七五
Pierce	二一四、二三二	一四三、三九四	三五七、六二六
Snohomish	二六八、四六〇	七〇、三七三	三三八、八三三
Whatcom	一六一、五九三	四〇、八九八	二〇二、四九一
Skagit	一六〇、五六二	四三、七九四	二〇四、三五六
計	四九五、六八九	五五五、九七六	一、〇五一、六六五
合計	四、二六一、五五二	一、一八四、〇五〇	五、四四五、六〇二

而シテ同年中各郡課稅財產調査委員ノ報告ニ基キ之ヲ鐵道會社線名ニヨリ各社所屬ノ線路哩數並ニ其評價額及線路以外各種附屬施設物ニ對スル評價額ヲ示セバ左ノ如シ

一、華州各鐵道會社延長哩數及評價

鐵道名	幹線	支線	線路價額	其他設備價額
Northern Pacific	一、二二七、〇九五	一、一八八、七六三	二五、三八三、六七一	一六、一九七、八三六
Great Northern	七〇、一六六二	四四三、七五二	五六、四七七、六九五	四、八〇二、六一五
Oregon Railway & Navigation Co.	三八三、〇五〇	二七一、五〇〇	二六、一一九、五六四	一、三九五、九六七
Spokane Portland and Seattle	四四二、二二八	四六、七四〇	二五、一八二、九六八	一、四五五、六五六
Chicago Milwaukee and Puget Sound	四三五、八六二	—	一三、九五五、五六四	一、五六四、四一一
Tacoma Eastern	七九、七二五	三〇、二八五	一、六二一、九八一	二九六、四〇四
Bellingham Bay and British Columbia	三三、一九五	三〇、二一七	九〇、五三七五	一八九、〇四二
Columbia & Puget Sound	五一、一六八	三二、二六一	二六、九九六、三七三	三〇八、五五六

Spokane & British Columbia	三八、五〇〇	一四〇、六三六	一二七、〇〇〇
Iwaco Railroad	三一、三五〇	四〇七、七八八	四九、二九八
Cascade	三、五〇〇	九、二四〇	五、〇〇〇
Centralia Eastern	一〇、〇八四	六八、一七四	五、二二二
Laolo & Washington (c. p.)	六六、一九六	七八、一八四	二〇六、一〇八
Spokane International	二二、九二七	二九三、七八一	三七、四七七
Wash. Idaho & Montana	五、六〇〇	八二、七七九	三二、〇〇九
North Yakima & Valley	一四、三五〇	一九六、五五六	一〇、〇〇〇
Seattle Southwestern	五、〇五〇	六七、四一八	一八、五八五
Marysville & Northern	一三、〇〇〇	七五、九〇八	二五、五八三
Wenatchee Valley & Northern	一五、〇〇〇	九四、五五二	二五、二八七
Puget Sound & Baker River	二二、八二五	一六九、四〇七	一一、四九二
Peninsular	二〇、〇〇〇	一七〇、四四〇	六八、五〇二
Pacific Eastern	五、七五八	一〇一、〇七〇	一七、八三五
Black Hill & Northern	一六、〇〇〇	六七、五八四	二七、〇〇〇
Blakeley	二九、四六〇	一九六、三九四	二八、四一三
Canadian Pacific	一一〇、〇〇〇	一、九六、三九四	一三九、〇〇〇
Oregon & Washington	一七六、五六六	六、〇一二	七二、九一七
Baker River and Shuswap	一一、一三〇	三、四四六、六三七	五、〇〇〇
計	三、九七三、三八一	二、〇四九、〇三〇	二七、六四七、九二六

附記 本表鐵道幹支線哩數ノ別別敷設哩數ト多少相一致セザルモノアルハ調査時日ノ二者相同カラザルト別敷設哩數中ニハ現ニ建設中ニ關セシモノヲ包含セザルニ基因スルモノノ如シ

而シテ今之ガ鐵道交通ノ現狀ヲ概説スレバ華盛頓州ヲ東西ニ横斷シテ遠ク市俄古ニ到リテ東部諸州トノ聯絡ヲ保持スルモノ「グレートノーザン」鐵道線「ノーザンパシフィック」鐵道線「シカゴ、ミルウオーキー、エンド、ビュージェットサウンド」鐵道線ノニアリ

一、大北鐵道線ハ「キング」郡ニ於ケル「シヤトル」市ヨリ北上シテ「スノボキウ」郡ニ於ケル「エベレット」ニ到リ東折シテ「フランクリン」郡ニ於ケル「チエラン」郡「ドーグラス」郡「リンドン」郡ヲ通過シテ「スポーケン」郡ニ於ケル「スポーケン」ニ入り東走シテ「セントポール」(St. Paul)ニ達スルヲ以テ幹線トス。

一、北太平洋鐵道線ハ「シヤトル」市ヨリ南下シテ「アダムス」郡ニ於ケル「キチタス」郡ニ於ケル「ヤキマ」郡「ベントレ」郡ヲ經テ「フランクリン」郡ニ於ケル「バスコ」ニ到リ俄然北東上シテ「アダムス」郡「リンドン」郡ヲ通過シテ「スポーケン」郡ニ於ケル「スポーケン」ニ入り東走シテ「セントポール」ニ達スルヲ以テ幹線トシ支線ノ華州ニ縱横セルモノ舉ゲテ數ヲカカラズ。

則チ大北鐵道線ハ「哥倫比亞川」流域ニ於ケル北部地方ヲ東西ニ貫通シ北太平洋鐵道線ハ其南部地方ヲ東西ニ貫通シ「シカゴ、ミルウオーキー、エンド、ビュージェット、サウント」鐵道線ハ上記二線ノ駛走スル中間ヲ東西ニ貫通シテ東部諸州トノ交通連絡ヲ保持スルモノトス、以上三線ハ我華盛頓州ヲ東部諸州ニ連絡スル主要ノ鐵道ナルガ之外ニシ更ニ華盛頓州ニ於ケル地方的利益ノ性質ヲ帶ブルモノノ中大ナルモノヲ舉グレバ「スポーケン、ポートルランド、エンド、シヤトル」鐵道線アリ「オレゴン、ワシントン」鐵道線アリ「ノース、コースト」鐵道線アリ

一、「スポーケン、ポートルランド、エンド、シヤトル」鐵道線ハ「スポーケン」郡ニ於ケル「スポーケン」市ヨリ「ポロイトマン」郡「アダムス」郡ヲ經テ「フランクリン」郡ニ入り「哥倫比亞川」北岸ニ沿フテ走り、全川ノ通過スル「ベントレ」郡「クワキタツ」郡「スカマニヤ」ノ南端ヲ過ギテ「クワラック」郡ニ於ケル「グランドバー」(Grandview)ニ入り「哥倫比亞川」ヲ横ギリテ「オレゴン」州「ポートルランド」ニ達スルヲ幹線トス。

一、「ノース、コースト」鐵道線ハ「スポーケン」郡ニ於ケル「ノースヤキマ」ヲ通過シ四折シテ「レイス」郡ニ入り「ネシカ」郡ニ入り「哥倫比亞川」北岸ニ沿フテ「クワラック」郡ニ於ケル「クワラック」ニ入り其レヨリ「哥倫比亞川」ヲ横ギリテ「ポートルランド」ニ達スルモノト「アダムス」郡ニ於ケル「レオン」(Leon)附近ヨリ南下シテ「フランクリン」郡ノ東端ヲ直下シ「ワラワラ」郡ニ於ケル「ワラワラ」ニ至リ四折シテ「フランクリン」郡ニ於ケル「バスコ」ヲ通過シ「ベントレ」郡ニ入りテ幹線ニ合スルモノノ二支線ヲ有ス。

一、「オレゴン、ワシントン」航行鐵道線ハ「スポーケン」郡ニ於ケル「ホロイトマン」郡ヲ過ギテ「リバリア」(Riverside)附近ニ於テ「哥倫比亞川」ヲ横ギリ「コロンビヤ」郡ニ入り其南岸ニ沿フテ走り「ワラワラ」郡ヲ過ギテ「オレゴン」州「ポートルランド」ニ達スルヲ幹線トナシ「オレゴン」州「ペンデルトン」(Pendleton)ヨリ分レテ「ワラワラ」郡ニ入り「ワラワラ」ヲ經テ北上シテ「コロンビヤ」郡ニ入り「哥倫比亞川」南岸ニ出テ「リバリア」ニ於テ幹線ニ合スルヲ以テ支線トシ主タルモノトス。

更ニ太平洋ニ沿ヒタル西部華盛頓州ニ於ケル「キンゲ」郡ニ於ケル「シヤトル」ニ起リ直南下シテ「ピアス」郡ニ於ケル「タコマ」ヲ通過シ「サウストン」郡「レイス」郡「カウリツ」ヲ通過シ「クワラック」郡ニ於ケル「グアンターバー」ヲ經テ「オレゴン」州「ポートルランド」ニ達スルモノ線路將ニ完成セントシ北太平洋鐵道線ノ支線ト正ニ平行シテ走レリ。

其他特殊ノ地方的利益ヲ目的トスル幾多、小鐵道線ガ前記各鐵道線ノ間ニ錯綜介在シテ交通ニ任ジツツアルハ前記既ニ明示セシ所ニ據リ之ガ概念ヲ得ルニ於テ必ズシモ難事トナササルベキガ故ニ吾人ハ茲ニ這般ノ消息ニ關シ叙述ノ勞ヲ省キ進ンデ前記各鐵道線ガ我華盛頓州特ニ吾人ガ今回視察シタル哥倫比亞川流域ニ於テ活働シツツアル現狀ニ就テ敘述ノ勞ヲ執ラント欲ス

抑モ前掲五大鐵道線ヲ其勢力ニ依リ分類スレバ「ヒル」及ビ「ハリマン」ノ二大系統ニ屬ス則チ左ノ如シ

大北鐵道線

「ヒル系」北太平洋鐵道線

「スポーケン、ボートランド、エンド、シヤトル」線

「オレゴン、ワシントン」航行線

「ハリマン」系「ノース、コースト」鐵道線

「オレゴン、エンド、ワシントン」鐵道線

從來華盛頓州ニ於ケル交通ハ「ヒル」線ノ獨占スル所ニシテ故テ他線ノ窺審ヲ許サザリシニ「オレゴン」州ニ於ケル「ヒル」線ノ競争者タル「ハリマン」線ハ突如トシテ華盛頓州ニ於ケル哥倫比亞川流域ニ躍進シ來リテ茲ニ「ヒル」、「ハリマン」二大鐵道線ノ競争の活働ヲ現出スルニ至レリ是レ今猶建設中ニ屬シ殆ンド其半以上ヲ完成シタル「ノース、コースト」鐵道線ガ其建設着手ノ當初ヨリ其企業者ノ何人ナルヤヲ測知スル事能ハザラシメタルニ一九一〇年末ニ及ンデ「ノース、コースト」鐵道線ハ愈其黑幕ヲ撤去シ「オレゴン」航行鐵道及ビ「ワシントン、エンド、オレゴン」鐵道線ヲ合併シテ Oregon Washington Railway and Navigation Co. (「オレゴン、ハリマン」)ト總稱シ「ハリマン」勢力ノ下ニ在ルヲ聲明スルニ及ンデ這般兩大鐵道競争ノ舞臺ハ開展セラレタルナリ、請フ此「ヒル」及ビ「ハリマン」ノ二大鐵道線ガ哥倫比亞川流域ニ於テ歴々トシテ活躍セル混戰ノ狀況ニ關シ試ニ少シク之ヲ説カン乎
蓋シ「ハリマン」線ガ「ヒル」線ノ壇場タル哥倫比亞川流域ニ躡進シ來リテ之ト輸贏ヲ争ハントスルハ固ヨリ中部華盛頓州ニ於ケル富源ヲ開發シテ輸送上東部トノ連絡ヲ保テテ龍虎相搏タントスルモノナルベシト雖モ吾人ノ見ル所ヲ以テスレバ此點ニ於テハ「ハリマン」線ハ「ヒル」線ト戰ハントスルニ於テ頗ル困難ノ狀アルガ如シ

「パシフィック」各系鐵道ノ各線ニ於テ河川流域ニ

吾人ノ想像スル所ヲ以テセンカ「シヤトル」及ビ「タコマ」ニ輸入シ來ル貨物及此方面ヨリノ旅客ヲ東部ニ輸送セント欲セバ「オレゴン、エンド、ワシントン」線ニヨリテ之ヲ「オレゴン」州ニ於ケル「ボートランド」ニ輸送シ其レヨリ南下シテ「サウザン、パシフィック」線ヲ取リ「ユニオン、パシフィック」線ニヨリテ東部ニ輸送スル事其一也「ボートランド」ヨリ「オレゴン」鐵道航行線ニヨリテ「アイダホ」州ニ於ケル「ボカテロ」ニ到リ「オレゴン、シヨルト」線ニ接續シ「ワイヲミング」州ニ於テ「ユニオン、パシフィック」線ニ接續シテ以テ東部ニ輸送スル事其二也
而シテ前者ハ「ハリマン」線ニ取リテハ不利ノ極度タルベキガ故ニ固ヨリ愚昧ノ想像タルニ過ギザラン
若シ夫レ南部華盛頓州哥倫比亞川流域ニ於ケル一望涯ナキ兩岸ノ沃野ガ灌溉工事完成ノ曉ニ不斷ノ水量ヲ以テ灌溉セラレ、ノ時齎シ來ルベキ無量ノ生産物ノ輸送ニ於テ「ハリマン」線ノ取ルベキ輸送手段ハ「ノース、コースト」線及「オレゴン」鐵道航行線ニヨリテ「ワラワラ」(Walla Walla)ヲ經由シ「ペンデルトン」ニ出デ「ボカテロ」ヨリ「オレゴン、シヨート」線ニ移リ「グランデル」(Grand)ニ於テ「ユニオン、パシフィック」線ニ由ルヲ以テ最モ利アリトナスモノ、如シ
以上吾人ノ叙述シタル所ハ「ハリマン」線ガ「スポーケン」ヲ經由シテ東部トノ連絡ヲ保持セザルヲ前提ニ置キタル吾人ノ揣摩憶測ナルニ過ギズ是ノ故ニ「ハリマン」線カ東部連絡輸送ニ於テ「ヒル」線ト争ハントスル狀況ニ就テハ今姑ラク措キ吾人ハ現ニ此二大鐵道系ガ哥倫比亞川流域ニ於ケル富源ノ開拓ニ任ジテ競フテ新線ヲ敷設シ、優勝ノ地位ヲ占メント焦慮セルノ跡歴々トシテ活躍セルヲ見ル

- 一、「スポーケン」ヲ發シテ「オレゴン」州ニ於ケル「ボートランド」ニ到ル線路ニ在リテハ「ヒル」系ノ「スポーケン、ボートランド、エンド、シヤトル」線ニ對シテ「スポーケン」ヲ發シテ「オレゴン」州ノ東部ヲ迂回シ一度「コロンビア」運河ヲヨリ「ワシントン」ニ於テ哥倫比亞川ヲ横ギルヤ之ト哥川ヲ挾ンテ北岸ヲ走リ南岸ヲ兩相並ニテ走レル「ハリマン」系ノ「オレゴン」鐵道航行線アリ
- 二、「スポーケン」ノ南方十五哩ノ地點ニ在リ「マーシャル」(Marshall)ヨリ分レテ直南下シテ「ベルモント」(Belmont)「パルメス」(Palouse)ヲ經テ「レオン」(Leon)ニ達シ夫レヨリ「アイダホ」州ニ入レル「ヒル」系ノ北太平洋鐵道支線ニ對シテハ「マリアン」系ノ「オレゴン」鐵道航行線ノ幹線ノ走レルハ勿論「セネカ」ヨリ分レテ「オレゴン」州ニ於テ「オレゴン」線ト交リ「ワイノナ」(Waiyona)ニ於テ幹線ニ合スル支線ト「コルフアツタス」(Columbia)ニ分レテ「マニヤ」(Pullman)ニ於テ「パル」線ト交リ「アイダホ」州「モスコ」(Moscow)ニ於テ「ヒル」線ノ「プルマン」ヨリ來レル支線ニ合スル支線アリ

三、「スポケーン」ヨリ「シャットル」ニ到ル「ヒル」系ノ大北鐵道、北太平洋鐵道幹線ニ對シテハ「ハリマン」系ニ在リテハ日下建設中ニ屬スル「ノースコースト」線アリ

四、「シャットル」ヨリ「ポートランド」ニ到ル「ヒル」系ノ北太平洋鐵道支線ニ對シテハ之ト平行シテ走レル「ハリマン」系ノ「オレゴン」州シントン「鐵道線」アリ

斯クノ如クニシテ從來「ヒル」線跳梁ノ壇場タリシ南部華盛頓州哥倫比亞川流域ニ端ナクモ「ハリマン」系ノ蔓延ヲ見ルニ至リタルヨリシテ「ヒル」線ニ在リテハ更ニ羽翼ヲ伸バシテ左ノ新線ヲ敷設シ以テ「ハリマン」ノ勢力ニ備ヘントスルニ至レリ

哥倫比亞河ノ水運

一、「ヒル」系ノ大北鐵道線ハ「チエラン」郡ニ於ケル「ウエナツチ」ヨリ哥倫比亞川ノ西岸ニ沿ヒテ北進シ「オカノガン」郡ノ北端加奈陀ニ隣接スル「オロヴ」
 二、「ダケラス」郡哥倫比亞川ヲ距テ「チエラン」郡ノ南東端ト接セラル哥倫比亞「リバー」(Columbia River)ヨリ哥倫比亞川ト殆ンド平行シテ斜ニ「ドケラス」郡ノ北東向ニ一支線ヲ敷設セントス

三、北太平洋鐵道線ハ「スポケーン」ノ西直「アダムス」郡ニ於ケル「クランツ」ヨリ「キナタス」郡ニ於ケル「エレンスバーク」(Ellensburg)ニ達スル間ヲ短距離トナスノ新線ヲ敷カントス

四、「フランクリン」郡ニ於ケル「ロニネル」(Connell)ヨリ「グランド」郡ニ於ケル「クローリー」(Coley)ニ一新支線ヲ敷シテ「スポケーン」郡ニ於ケル「チエネー」(Cheyenne)ヨリ「マンロホム」郡ニ於ケル「ダズン」(Davenport)ヲ經由シテ來ル支線ト連結スルコトナセリ

斯ノ如クニシテ「ハリマン」線ノ幹線トモ云フベキ「ノースコースト」線ノ完成セラル、ト共ニ「ヒル」「ハリマン」二線ノ競争ハ愈々激甚ヲ加フベキナリ此二大鐵道線ノ相互錯綜シテ奮闘スルノ間ニ處シ其中間ヲ東西ニ走リテ華州ヲ兩斷セル「シカゴミル」ウオーキー、エンドヒューゼット「サウンド」線ハ「クランド」郡ニ於ケル「ウアーデン」(Wardell)ヨリ北東上シテ「アダムス」郡ニ於ケル「ハムリン」(Hamlin)ニ達スル一支線ヲ敷キ更ニ「キチタス」郡ト「グランド」郡トノ境界ヲナセル哥倫比亞川ニ於ケル「プリエスト、ラビッド」附近ヨリ哥倫比亞川ノ西岸ニ沿ヒテ「ヤキマ」郡ヲ過ギ「ペントン」郡ニ於ケル「ハンフォード」(Hanford)ニ達スル新支線ヲ敷シ以テ哥倫比亞川流域ニ於ケル富源ノ開發ニ努メントシツ、アリ

第二 哥倫比亞河、哥倫比亞川ハ處々飛瀑ノ懸カルアリテ末ダ舟行一貫ノ便ヲ缺ク、然レドモ流程九百五拾九哩水運ノ便決シテ少ナシトナサズ、外洋航行ノ汽船ハ河口ヨリ溯リテ哥倫比亞河ノ一支流タル「ウヰラメット」ニ沿ヒタル「オレ

ゴン」州「ポートランド」(Portland)ニ出入シツ、アリ、「ポートランド」ヨリ「クリキタツト」郡ニ於ケル「グランドダラス」(Grandlilas)ノ對岸「セダレス」(The Dalles)トノ間定期汽船ノ通ヘルアリ、「フランクリン」郡ニ於ケル北太平洋鐵道「スポケン、ポートランド、エンド、シャットル」鐵道線ノ交叉點タル「バスコ」(Basco)ヨリ西北方「ヤキマ」郡ト「グランド」郡トノ境界ニ於ケル「プリエスト、ラビッド」(Priest Rapids)ニ至ル間ニハ毎日一回汽船ノ通ヘルアリ、「プリエスト、ラビッド」ノ北方六十哩ノ處ニ在ル「チエラン」郡ニ於ケル「ブリッヂポート」(Bridgeport)ニ至ル間毎日一回汽船ノ通ヘルアリ

哥倫比亞川ノ一支流ニシテ源ヲ「アイダホ」州ニ發シ「ワシントン」州ニ入りテハ「プリュー」山脈ニ發セル幾多ノ細流ヲ合セテ「フランクリン」郡「ワラノー」郡及「ペントン」郡ノ相接セル所ニ在ル「エインス」(Ainsworth)ニ於テ哥倫比亞川ニ合流スル「スネーク」河ニ在リテハ「ハリマン」系ノ「オレゴン」鐵道航行線ノ哥倫比亞川ヲ橫斷セル處ニ位置セル「コロンビヤ」郡ニ於ケル「リバリヤ」(Elgin)ヨリ「ワシントン」州ト「アイダホ」州トノ境界ニ位置セル「アイダホ」州ニ於ケル「ルイス」(Lawiston)ニ至ル間毎日一回汽船ノ通ヘルアリ

哥倫比亞川ノ一支流ニシテ源ヲ「オカノガン」郡ノ北方ヨリ英領哥倫比亞ノ内部ニ亘レル「オカノガン」湖ニ發シ南流シテ「ダグラス」郡ノ西北端ト「オカノガン」郡ノ南端トノ隣接セルトコロ哥倫比亞川本流ノ將ニ方向ヲ直南ニ一轉セントスル處ニ於テ哥倫比亞川ニ合セル「オカノガン」川ニ在リテハ其本流ニ合セル地點ニ近邇セル「オカノガン」郡ニ於ケル「プリュー」(Prewitt)ヨリ北方五十哩ノ處ニ在ル「リバーサイド」(River)ニ至ル間水嵩高キ期間ニ限リ毎日一回汽船ノ通ヘルアリ

猶其他哥倫比亞川ノ流ル、地點ニ於ケル諸所ニ在リテハ短距離ノ間定期汽船ノ通ヘル所アリト雖モ要スルニ哥倫比亞川ハ河身頗ル大ナルモ所々激湍岩ヲ嚙ムノ所アリ飛瀑白沫ヲ吐クノ所アリテ舟行太ダ斷續ノ態アリ是ニ於テカ當局者ハ這般ノ激湍及ビ飛瀑ヲ撤去シ外洋ヨリ「リバーサイド」ニ至ル間舟行一貫ノ便ヲ開カントシ致々トシテ障礙撤去ノ工事ヲ計畫シ其作業ヲ繼續シツ、アリ

想フニ今後幾年昇等ノ障礙撤去セラレ外洋ヨリ汽船ノ深ク中部「ワシントン」州ニ自由ナル航行ヲ見ルニ至ラバ現ニ鐵道便ニヨリテ運搬セラレツ、アル哥倫比亞川流域ニ於ケル重要ノ產物タル穀類ヲ始メトシテ其他ノ重量貨物ハ主トシテ哥倫比亞川航行ノ汽船便ニ倚リテ運搬セラル、ヲ見ルニ至ルベキナリ

第七 灌溉工事

第一 概論 華盛頓州ニ於テ最重要ナル産業ハ農業ニ在リ、前述セル如ク當州ハ種々ナル土壤ヲ以テ蔽ハレ氣候亦各區域ニヨリ一樣ナラサルヲ以テ作物亦各區域ニ依リ自ラ異ルモノアリ、則チ州ノ東部ニ位スル地域ハ概ネ乾農法ヲ採ル茫々タル小麥耕作地ニシテ産額ノ多キ我華盛頓州ノ各州卓絶セル所タリ、州ノ西部ニ位スル溝渠ニヨリテ灌溉セラレツ、アル地帯ハ燕麥ノ產地トシテ聞ヘ壹噓ニ付平均百乃至百卅五「ブツセル」ノ産額アリ東南部ニ位セル地域ハ大麥ニ適シ産額品質他ニ抜クトコロアリ是ノ故ニ合衆國政府ハ素ヨリ華盛頓州ニ在リテモ全力ヲ傾注シテ一部森林ノ伐採、野兎徒ニ走レル「セージブラシ」ノ一茫涯ナキ平野ノ開墾ヲ促進スル手段トシテ州ノ中央ヲ南北ニ兩斷セル「キヤケチード」山脈以東ノ降雨少ナキ地方ニ對スル灌溉工事ノ完成ニ努力シツ、アリ、吾人ハ此處ニ其企劃ノ概要ト工事進捗歷程トヲ叙スルノ機ニ際會セルヲ思フ

華盛頓州ニ於テ灌溉ヲ必要トセル地方ハ「キヤスケード」山脈以東ニ於ケル哥倫比亞川本支流ノ溪谷ニ散在セル低地ナリ、太平洋上ヲ亘リテ不斷ニ多量ノ水蒸氣ヲ送り來レル西風及ビ西南風ハ四時白雪ヲ載ケル寒冷ナル「キヤケチード」山脈ニ觸レ凝潤シテ雨トナリ其齋ラシ來レル水量ノ大部分ハ常ニ「キヤスケード」山脈以西ノ華盛頓州ヲ潤フスモ未ダ以テ其以東ニ及ハサルナリ、然レトモ冬期「ジャバンカーレント」ノ濕氣ヲ含蓄セル暖風酷冷ナル山頂ニ觸ル、ヤ霏々トシテ白雪ヲ降シ、蜿蜒タル山脈ヲ包ムコト丈餘ニ及ブ此雪「チヌーク」風(Citrook Wind)ハ「ロツキー」山脈ヨリ吹キ下シ來レル暖風ニシテ「モンタナ」州「ワイオミング」州等ニ普ク及ベル一種ノ風ナリ一度到ルノ時若シクハ陽春四月不斷ノ暖風

吹キ來ルノ時ニ會セバ解ケテ水トナリ山脈以東ノ湖沼及ビ川河ノ源泉タルベキ低地ニ流下シ遠隔ナラザル地域ニ灌溉スヘキ用水トナル而シテ此地方ニ於ケル土地ノ傾斜緩慢ニシテ山嶺ヨリ五十哩以內ノ距離ニ於テ四千呎ノ勾配ヲ有シ主タル溪谷ノ兩岸ハ傾斜急激ナラサルガ故ニ此水ヲ以テ附近一帶ノ地域ニ灌溉スルニ於テ太ダ容易ノ業タリ

源ヲ「キヤスケード」山ニ發スル沿川ノ水ヲ灌溉シテ農作上顯著ナル成績ヲ擧ゲタルハ「コロンビヤ」河ノ一支流タル「ヤキマ」川ノ濕フス溪谷ヲ以テ第一トシ且其最初ノモノトナスノミナラス過去二三年間ニ於ケル灌溉工事ノ結果ハ更ニ驚クベキ成績ヲ齎シ來レリ他ナシ乾燥潤渴ノ故ヲ以テ何等經濟的價値ヲ認識セラレサリシ Wenatchee Enlist mason chelan 及 Olanogau 等ノ「キヤスケード」山脈ノ傾斜點ニ在ル地方ハ此水一度到リテ倫敦市場ニ濃紅ノ美ヲ誇ル赤色林檎ノ名産地タルニ至リタルニ非ズヤ

灌溉工事
經營者

而シテ我哥倫比亞川流域ニ於テ灌溉工事ヲ經營スルモノ之ヲ分ケテ二トス、一ハ合衆國政府ノ經營ニ成ルモノ他ハ私人ノ經營ニ成ルモノ是レナリ、吾人ハ先ヅ官營ニ成ルモノヲ説キ次テ私營ニ成ルモノニ説キ及ボサントス

官營灌溉
工事
「サンニサイ」
「ド」灌溉工事
「サニ」
灌溉工事

二 官營灌溉工事 (「サンニサイ」合衆國政府ガ華盛頓州ニ於テ初メテ灌溉工事ニ着手シタルハ一九〇六年ノ事ニ屬シ哥倫比亞川ノ一支流ニシテ源ヲ「キヤスケード」山脈ニ發セル「ヤキマ」川ノ水ヲ以テ其流域ニ於ケル「セーデブラツシ」ノ平野ニ灌溉セントスル「サンニサイ」灌溉工事ニシテ漸次其計畫ヲ擴張シ行キタルモノナリ、而シテ現時ニ於ケル計畫ハ「ヤキマ」川ノ利用シ得ベキ極度ノ水量ヲ以テ其流域ニ於ケル茫々タル土地ヲ濕フサントスルニ在リ、其工事猶未ダ完了セザルモ今日迄ノ經過ハ「ヤキマ」郡ノミヲ以テシテ三十萬噓ノ地ハ開墾セル灌溉用溝渠ヲ介シテ「ヤキマ」川ノ水ヲ利用スルコトヲ得ルニ至レリ

然レトモ三十萬噓ノ面積ハ未ダ以テ「ヤキマ」郡ニ於テ灌溉ノ必要トセル地域ノ半ニ過ギサルナリ、合衆國政府ノ企畫ハ「ヤキマ」川ノ水ヲ以テ可及的廣大ナル地域ニ濕潤ノ効ヲ及ボサントスルニ在リ

渠ノ維持費トシテ壹噓ニ付壹弗二十五仙乃至壹弗五拾仙ヲ徵收スルモノナリ、而シテ「ヤキマ」川流域ニハ Penton 郡ア
リ Kithira 郡アリ「ヤキマ」郡ト合シテ三郡トナス

仰モ「サンニサイド」灌漑工事ハ「ノースヤキマ」市ヲ去ル南方八哩ノ地點ニ位スル「ヤキマ」川ノ豁谷及井泉ヲ通ジテ「ベ
ントン」郡ニ至ル延長六十哩ニ亘ルモノヲ其幹線トシ其流域ニ沿ヒタル九萬噓ノ私有地ニ灌水スルヲ以テ目的トスルモ
ノニシテ素北太平洋鐵道會社ノ開設セル所ニ係リ千八百九十二年初メテ之レニ水ヲ通ジ漸次其規模ヲ擴張シ行キタルモ
ノニシテ千九百零六年合衆國政府ニ於テ之ヲ買收シ經營スルコト、ナリタルモノナリ、買收ノ際既ニ此運河ノ水ニ依リテ土
地ノ耕作セラレツ、アリタルモノ四萬噓ノ上ニアリキ、爾後合衆國政府ニヨリテ擴大セラレタルモノ、中ニテモ最重要
ナルモノハ「マプトン」(Maiton) ニ到ル支線ニシテ延長約六哩「マプトン」市附近ニ於ケル約壹萬噓ノ地ヲ潤シツ、アリ
「マプトン」支線ハ Grandview 附近ニ於テ五十二吋ノ直徑ヲ有シ水管ニ依ルトコロアリ「コンクリート」ニテ作りタル管ニ
依ルトコロアリ

「マプトン」支線ニ次デ著名ナルハ「アウトトルツク」(Outlook) 支線之ナリ、此線ハ唧筒仕掛ニシテ「アウトトルツク」市ニ而セ
ル幹線ノ上部ヨリシテ「サンニサイド」(Sunside) 及ヒ「グランケル」(Grandee) 市ニ至ル五千噓ノ地ニ灌漑スルヲ以テ目的
トス

「スナイブス」山 (Snijus mountain) 地方線ハ其中部ニ位スル「アウトトルツク」支線ト共ニ「グランゲル」ヨリ「サンニサイド」ニ
到ル約五萬噓ノ高地ニ灌漑スルヲ以テ目的トシ高壓力ヲ有スル唧筒仕掛ノ偉大ナル「サイフラン」ヲ使用シ其作用ニ倚リ
テ水ヲ吸ヒ上ゲ以テ此高地ニ注ガントスルナリ

「グランドヴェー」(Grandview) 支線ハ「クランドヴェー」市ニ於ケル運河ノ上ニ開展セル廣潤ナル面積ノ地ニ灌水スルヲ以
テ目的トス、幹線ノ水ガ「マプトン」支線ノ「サイフラン」ニ入ラントスル途中ニ於テ運河ノ外ニ溢ル、水力ノ利用ニ依ラ
ントスルモノナリ如斯「ヤキマ」川溪谷ヲ灌漑スルヲ以テ目的セル幹線ヨリ分レテ附近ノ廣漠タル乾燥地ヲ潤フサントス

ル是等延長支線ノ効果ヲシテ全カラシメンガ爲メニハ幹線ニ於ケル運河ノ大サキ加フルノ必要アリ是ニ於カ政府ハ更ニ
浚漑機ヲ用ヒテ之ヲ擴大シ水底四十八呎水面七十二呎ノ廣サヲ保タシメ以テ毎秒一千立方呎ノ水量ヲ運バシメントシツ
、アリ

「チエント」
灌漑
工事

「チエント」灌漑工事 「サンニサイド」灌漑工事ト相持チテ「ヤキマ」川流域ニ合衆國政府ノ力ヲ致シツ、アルハ「イスマ
キマ」ノ西方數哩ニ位スル「チエント」(Trenton) 高地一帶三萬四千噓ノ果樹園ニ灌漑スルヲ以テ目的トセル「チエント」灌漑
工事ニシテ、千九百零七年幹部運河ノ起工ニ着手シタルモノ是レナリ

「チエント」ノ地カ「キヤスケード」山脈ノ餘波傾斜急ナラサル處ニ於ケル海拔一千二百乃至二千一百呎ノ高地帯ニシテ火
山灰ノ厚キ堆積地タリ

灌漑工事ハ既ニ完成ニ近ヅキ幹部既ニ成リ重ナル支線工事モ殆ント落成セントシツ、アリ本工事ノ首部ハ「ナツチス」市
(Natchez) 北方二十哩ノ地點ニ在リ

幹部水管ハ厚サ四吋直徑八呎ニシテ延長十二哩ニ涉リ支線ハ總計七十八哩ニ達セントシ現ニ灌漑シツ、アル面積一萬四
千噓アリ、近キ將來ニ於テ灌漑ノ惠ニ霑フモノ七千噓ヲ算スベシト云フ、而シテ「チエント」地方ハ概ネ私有地ニシテ合
衆國政府併ニ華盛頓州廳所屬地ハ僅ニ四五千噓ヲ算スルニ過キズ

「チエント」灌漑工事費約二百萬弗ト稱セラレ「チエント」峽路ノ削ルカ如キ絶壁數哩ニ涉リテ懸ケラレタル鋼條入「コン
クリート」(Reinforced steel concrete) ノ幹部運水管ハ樗目ニ堪ヘタリト云フベク第一番目ニ灌漑スベキ地點タル Cowich 高原
ニ達スル二哩計リハ巨巖ヲ以テ骨トセル山ヲ裂割セルナド人力可能ノ極點ヲ示セルモノト云フベキナリ、而シテ幹部ヨ
リ分レテ側射セル支線ハ三ツアリ、主トシテ「コンクリート」造ニシテ「チエント」灌漑ノ主力タリ、思フニ今後幾年「チ
エント」地方ハ林檎ノ名産地トシテ「ヤキマ」市ニ隣ル「ノブヒル」(Nobhill) 及ヒ「フルートヴェール」(Fruitville) ト競争ノ地
位ニ立ツベキナリ

私營灌溉

「チエトン」灌溉工事ハ源ヲ「レニヤ、ナシヨナル、フオーレスト」(Rainier National Forest)ニ發スル「ヤキマ」川及ビ「ナツチス」川ノ最少水量ヲ限度トシテ設計シタルモノニ係リ設計費ハ工事完成ノ曉ニ於テ合衆國政府ハ其之ニヨリテ灌溉スル地域ノ土地割當テ十ヶ年賦無利息ニテ地主ニ納付セシメ完納ノ上ハ之ガ管理ヲ用水者ヲシテ一個ノ團體ヲ組織セシメ其手ニ委セントスルノ意ニシテ「チエトン」灌溉工事ノ費用ハ壹噓ニ付八十弗ノ豫定ナリト稱セラル

三 私營灌溉工事 「サンニサイド」運河トノ二大官營灌溉工事ニ加フルニ幾多私營ノ灌溉工事アリ吾人ハ茲ニ其重ナルモノニ就キ少シク叙述セザルベカラズ

「ハンフオード」灌溉工事 「ヤキマ」川流域ノ南部ニ位スル「ベントン」郡ノ東北部一帯ノ地ニ灌水スルヲ以テ目的トス現ニ灌溉シツ、アル面積一萬六千噓アリ、而シテ更ニ此ノ灌溉地ニ沿ヒタル全面積ノ地ヲ濕ハサントスル擴張工事設計既ニ成リ近ク起工セントシツ、アリ

「ハンフオード」灌溉工事ハ「コロンビヤ」河ノ水ヲ唧筒作用ニテ吸ヒ上ゲ給水シツ、アルモノニシテ其動力點ハ「ヤキマ」郡ト「グランド」郡トノ境界ニ於ケル「ブリエスト、ラビウド」ニ在リ「ハンフオード」灌溉工事ニ使用セラレツ、アル唧筒ハ一日八千三百萬瓦^{ワット}ノ水量ヲ吸ヒ上グルヲ得ル能力ヲ有ス

幹部運河ハ水底八呎、水面二十四呎ノ廣サヲ有シ延長十九哩ニ亘ル、「ハンフオード」灌溉工事ノ目的トセル地域ハ下層ニ岩ヲ有スル肥沃ナル砂土ニシテ果實、蔬菜及ビ「アルフアルフア」ニ好適ノ地タリ

北太平洋灌溉工事 「ベントン」郡ノ東南區ニ於ケル「ケンネウキツク」市(Kanawha)ヲ中心トシテ南方「コロンビヤ」河ニ到リ西方「ブラサ」市(Brasa)ノ東十七哩ノ所ニ在ル「キオナ」市(Kiona)附近ニ達スル一帯平地ニ灌水セントスルヲ以テ目的トシ北太平洋鐵道會社員ノ主トシテ經營スル所ニ係リ果樹馬鈴薯玉蜀黍及「アルフアルフア」等ノ栽培ニ好適ノ地ナリト稱セラル

「バスコ」灌溉工事 北太平洋灌溉工事ト相對シテ之ニ隣接セル地域ニ灌溉セントスルモノハ「バスコ」土地灌溉會社ノ計

畫セル工事ニシテ「ケンネウキツク」市ト三哩ヲ隔ツル「フランクリン」郡ニ於ケル「バスコ」市ヲ中心トシ「コロンビヤ」河ノ支流タル「スネーク」川ノ水ヲ灌キテ其附近一帯ノ地域ニ濕潤ノ効ヲ及ボサントスルヲ目的トス電動力ニ依ル「Turbine」^{タービン}ヲ以テ水ヲ吸上ケ主トシテ三十二吋乃至三十六吋ノ直徑ヲ有スル鋼鐵條捲水管ニヨリテ運水シ「コンタリート」ノ溝渠ニ據ルハ僅ニ二哩ニ過キズ、灌溉工事ノ目的トセル地域ハ面積一萬二千五百噓ニシテ「スネーク」川ノ水量ハ其最低度ノ時ヲ以テシテ猶且ツ毎秒二萬七千五百立方呎ノ給水ニ堪ユルハ曩ニ合衆國政府技師ノ調査ニヨリテ明瞭ナルモ現ニ灌溉シツ、アルハ未ダ五千噓ニ過キズ

本工事ノ目的トセル地域ハ「砂潮」ノ流ル、所ニシテ火山灰ヲ加味ス、果樹栽培地トシテ望アリ

「バーバンク」灌溉工事 前記北太平洋灌溉工事ノ目的地ト「バスコ」灌溉工事ノ目的地ニ直接スル「ワラワラ」郡ノ西部「スネーク」川ノ「コロンビヤ」川ニ注グ所ノ附近ニ於ケル一萬二千五百噓ノ地ニ灌溉スルヲ以テ目的トス地ハ右兩河ヨリ七十五呎ノ高處ニ開展スル「セージブラン」ノ叢生スル丘地タリ「スネーク」川ノ水ヲ吸上ゲ灌溉スルモノニシテ一哩ニ付キ十一呎ノ傾斜ヲ有スル地點ヲ以テ用水吸上ゲノ動力地點トシ、更ニ水底五十呎ノ廣サヲ有シ三十呎ノ水尋ヲ有スル一哩半ニ亘ル運河ヲ以テ動力ヲ起シ之ニ據リテ吸ヒ上ゲ得ル水量毎秒百十三立方呎ナリト云フ

「ストラットフオード」灌溉工事 「ブランド」郡ノ中部ニ位スル「イソップ」湖(Isope Lake)湖ノ南方ヨリカケテ大小鐵道線ニ沿ヒタル「アドリアン」(Adrian)市ヨリ西方約十哩ノ「エフスタ」(Ephraim)方面ニ開展スル地域ニ灌溉スルヲ以テ目的トシ「ストラットフオード」(Stratford)市ニ於ケル「Brook」湖ニ「トラブ」川(Crab Creek)ノ流入スル地點ノ水ヲ灌クニ在リテ「アルフアルフア」ヲ以テ主要作物トス

其他合衆國政府ノ經營ニ成ルモノ、中ニハ源ヲ英領哥倫比亞ニ發シ南流シテ「オカノガン」郡ノ中部ヲ貫キ「コロンビヤ」川ニ合スル「オカノガン」川ノ水ヲ灌溉シテ「オカノガン」郡ノ南部低地約五萬噓ノ地ヲ潤ハサントスルモノヲ始メトシ「キチタス」郡ニ於ケル「キチタス」高地連河會社ノ「カナス」湖(Kanata Lake)ノ水ヲ利用セントスル工事ノ設計アリ「フラン

クリン」郡ニ於ケル「ワシユツラナ」湖 (Washtucum Lake) 及「サルファ」湖 (Sulphur Lake) ノ水ヲ利用セントスル「パルース」灌漑工事設計アリ幾多記述スルベキモノアリト雖モ此處ニ之ヲ列記スルハ稍繁ニ過グルノ嫌アリ之ヲ省略ス

第八 産 業

華州産業
發達小史

第一華盛頓州ニ於ケル産業發達小史 華盛頓州ハ素ト「オレゴン」州ノ一部タリシカ一千八百五十三年三月二日分レテ華盛頓「テリトリ」トナリ更ニ一千八百八十九年十一月十一日華盛頓州ト稱スルニ至リタルモノナリ「テリトリ」時代ノ華州ハ今日ノ「モンタナ」州ノ一部及「アイダホ」州ヲ包含セル廣大ナルモノナリシモ人口ニ至リテハ僅カニ二千九百六十五人ヲ算スルニ過ギザリキ然ルニ「アラスカ」及「英領加奈太」コロムビア州ニ於ケル金礦ノ發見ニ次テ北太平洋鐵道ヲ始メトシ大北鐵道及其他各鐵道ノ建設ハ著シク移民ノ増加ヲ誘致シ五十六年後ノ今日ニ於テハ「テトリ」時代ノ面積ニ比スレハ遙カニ狭小ナルニ拘ラス一九一〇年ノ調査ニヨレハ其數百四十一萬一千九百九十人ヲ算スルニ至リタリ而シテ其間移民タル白人ノ増加ハ土人「インデア」ノ恐ル、所トナリ殘忍ナル彼等ハ白人ノ殺戮ヲ策スルニ至リテ其結果一八五五年ヨリ同五六年ニ亘レル華盛頓、「オレゴン」戦争アリ華盛頓「テリトリ」ト、英領加奈太「コロムビア」州トノ境界ニ關スル千八百七十二年ノ「ヘーロー」群島問題事件アリ華州ノ歴史ヲ叙スルニ於テ記述スヘキ重要事件二三ニシテ止マラズト雖モ此處ニ之ヲ叙スルハ吾人ノ目的ニアラズ維夫レ吾人ハ華州産業發達ノ徑路ニ關シ少シク叙述ノ筆ヲトラント欲スルノミ

千七百八十八年「キャブランメアス」(Captain John Meares) ハ「ビユーゼドサウインド」ニ於ケル「フアー」、「シダー」、「ヘムロツク」、「スプルス」等ノ蕪鬱タル森林ヲ見テ其良材ノ豊富ナルニ讚歎措ク能ハズ言ヲ爲シテ曰ク亞米利加ニ於ケル「ビユーゼドサウインド」灣地方ハ歐洲ニ於ケル各國海軍ノ總テニ良好ナル圓材ヲ供給シテ餘アリト實ニ「Gold」ハ華盛頓州ノ西部地方ニ圓錐形ヲナセル豊富ナル樹林ニ蓄積セラル、自然ノ富源ヲ歐洲ニ吹聴シタル第一人ニテアリキ「Meares」ハ如上ノ讚

華州西中
ノ大富源
ニシテ森林

辭ヲ發表シテ「ビユーゼットサウインド」沿岸ニ於ケル富源ハ莫大ナルニ歐洲人士ヲ驚嘆セシメタル後四年「キャブラン、ヴァンクラーグアー」(Captain George Vancouver) ハ世界ヲ周リテ「ビユーゼットサウインド」灣ニ來ルヤ偶々其船ノ前桅檣樓ニ破損ヲ生ジ之ヲ修理セザルベカラサルノ機運ニ際會シタリ我船ニ於ケル這般ノ破損箇所カ之ニ充用スルヲ得ル豊富ナル材料ヲ有スル國ニ於テ發見セラレタルハ至幸ト云フヘシ、唯夫レ世界カ供給スル最良ナル圓材ノ數千本中ヨリ我欲スル所ノモノヲ撰擇スルヲ以テ足レリトスルノミトハ彼カ其記録ニ於テ吾人ニ語ル所タリ

實ニ華盛頓州ニ於ケル最初ノ移住者ハ此地ノ富源ヲ享々トシテ高ク聳ヘ而カモ密叢セル圓錐形ノ樹林ニ在リトシタリ是時ニ當リ南方加州ニ於テハ金礦發見セラル、アリテ人氣頓ニ昂リ諸般ノ建設ノ事業ハ勃然トシテ起リ著シク木材ノ需要ヲ喚起シタリ是ニ於テ乎「Denry」ナル者千八百五十一年「シアトル」市ノ西端ノ一角タル「アルカイポイント」(Alki Point) ニ架木舎ヲ建設シ以テ這般ノ需要ニ應ズルノ策ヲ講ズルニ至リシカ是ヨリ先キ「キャブタン、ハワード」(Captain Daniel & Howard) ノ率フル兩桅船「レオニサ」號 (Lioness) ハ桑港ニ於ケル波止場建築ニ要スル木材丸太ヲ求メテ「アルカイポイント」沖ニ來リタルモ當時未タ其需要ニ應ズベキ何等ノ設備ナカリシカバ船員上陸シテ伐木シ赤手丸太ヲ岸ニ運搬シ之レヲ搭載シ行キタリシカ彼第二回ノ來航ニ於テ各種ノ必需品ヲ「シアトル」ニ齎シ來レリ是レ實ニ「シアトル」商業史ノ第一頁ニ叙述スベキ最初ノ事件ナルノミナラス實ニ華州産業發達史ヲ叙スルニ於テ輕視スベカラサル事件タリ 既ニシテ桑港波止場ノ建築終ルト共ニ丸太ノ需要減少シタルモ之ニ反シ鑛材ノ需要ハ加州、布哇、濠洲及支那方面ニ於テ多キヲ致シ其結果「ビユーゼットサウインド」ニ於ケル製材所ノ著シキ發達ヲ促シタリ

一八五一年一月華盛頓州ニ於ケル製材所ハ其數僅カニ一、「コロムビア」河ノ北ニ當リ「シムモンズ」(Michael F. Simmons) ノ設立シタル水力ニ依ル製材所アリタルノミニシテ一日ノ製材力約三千呎ナリキ然ルニ千八百五十五年十月一日ニ至リテハ其數著シク増加シ十六ヶ所ノ製材所ヲ見ルニ至リ一日ノ生産力八萬五千呎ヲ算スルニ至レリ即チ「オリムビア」附近ニ在ルモノ四、「ニスクオリ」(Nisqually) ニ在ルモノ一、「ポートラウドロー」(Port Tallow) ニ在ルモノ一、「ヘンダーソン」浦

(Henderson Inlet)、「バンナーズレー」浦 (Hammersley Inlet)、「ステラクーム」(Stellacoom)、「プヤラツプ」(Puyallup)、「シアトル」(Seattle)、「ポート、オーチャード」(Port Orchard)、「ポートガンブル」(Port Gamble)及「ウィーリング」(Weyling)、「ベリントン」(Bellevue)、「各」ヶ所アリキ、其後製材業ハ「グレースハーバー」(Grays Harbor)、「ウヰラバハーバー」(Wilapa Harbor)及「ロムビア」(Rombia)「河」ニ沿フテ森林深キ地方ニ發展シ千九百七年ニ及ンデハ五百三十五箇ノ製材所、四百十七箇ノ屋根板製造所ヲ有シ一ヶ年ノ製出高木材五、一〇五、九二五、〇〇〇呎、屋根板九、三七〇、〇〇〇個ヲ製出スルニ至レリ

「シアトル」知名ノ運送業者ニシテ木材業タル「シー、ゼ、スマス」(C. J. Smith)ハ華盛頓州ニ於ケル森林ノ富源ヲ語リテ曰ク合衆國政府ノ専門家ノ調査ニヨレハ「ダコタ」州ニ於ケル小麥ノ産出額ハ一噎ニ付平均約十二物ニシテ畑地ニ於ケル小麥價額ハ一物ニ付八十仙ナルヲ以テ一噎ニ對スル平均收穫ハ九弗六十仙ナリ然ルニ華盛頓州ニ於ケル木材産出ハ一噎ニ付平均四萬呎ヲ算シ伐木小屋ニ於ケル九太直段ハ一千呎ニ付八弗ナルガ故ニ一噎ニ對スル産出高ハ平均三百二十弗ニ當ル而シテ木材重量ハ一千呎ニ付三千三百封度ニシテ百封度ニ付四十仙ノ運賃率ナルヲ以テ鐵道會社ハ則チ一噎ニ付五百二十八弗ノ運賃ヲ收メ得ヘシ、則チ知ル華盛頓州森林ノ一噎ハ「ダコタ」州ニ於ケル小麥畑壹噎ノ三百六十七ヶ年間ノ收穫ニ匹敵スル産出高ヲ計上スルヲ、則チ亦知ル華州森林ノ一噎ヨリ收メ得タル運賃額ニ對スル利子假リニ一ヶ年六分ノ利率トスルモ三十一弗六十八仙ナルカ故ニダコタ州ニ於ケル平均壹噎ヨリノ産物ノ運賃額ノ二十二ヶ年分ニ相當シ華州森林一噎ヨリノ總産出高ニ對スル一ヶ年六分ノ利子ハ又以テ「ダコタ」州ニ於ケル二ヶ年間ノ小麥收穫高ニ相當スルヲ是故ニ華州ニ於ケル森林ハ如何ナル濫伐ノ方法ヲ以テスルモ尙且ツ「ダコタ」州ニ於ケル小麥産出額カ華州ニ於ケル木材産出額ヲ凌駕シ得ルニ至ルマデニハ三百六十年ノ歳月ヲ經過セサルベカラザルカ故ニ此長年月間ハ更ニ亦優ニ濫伐セラレタル地方モ蕪鬱タル森林ヲ以テ蔽ハルハニ至ルベキナリト

矧ンヤ千八百九十七年時ノ大統領「クリーブランド」ハ米國ニ於ケル森林保護ノ宣言ヲ發シ華盛頓州面積四千五百萬噎中八百萬噎ヲ以テ合衆國有森林トシ之ヲ保存スルコトヲ定メ以テ一方樹林ヲ伐採シテ木材産出ヲ圖ルト共ニ他方之カ保護

華州東中ノ牧畜ノ樹栽培

養成ヲ圖リ以テ華盛頓州ノ誇リトスル木材産出高ヲ永久的ノモノタラシメントノ森林保護政策ヲ採ルニ至リタルガ私有森林ノ所有主又此政策ニ倣ヒ保存ノ實ヲ擧グルニ至レリ

然レトモ華州ニ於ケル森林地帯ハ「キヤスケード」山脈ノ西部ニ位シ東部地方ハ吾人カ前章ニ於テ記述シタルガ如ク概ネ「セーデブラン」ナル灌木ノミノ所多キノミナラズ交通ノ便比較的宜シカラザルガ故ニ牧畜先ヅ茲ニ榮ヘ次デ麥作ニ移リ更ニ地方ニヨリ果樹栽培ニ専ラナルニ至レリ蓋シ西部華州ハ製材業ノ隆盛ヲ以テ鳴リ東部華州ハ農業ヲ以テ主要ナル産業トナスト雖モ然モ東部地方ハ亦太ダ良好ナル松材ノ産出ニ富ミ西部地方亦太ダ農業地トシテ肥沃ナル露谷ニ富ムコト夥シ、合衆國政府農業調査委員ノ報告ニヨレハ「スカークヤット」河ノ河口ニ於ケル三角稜洲ハ世界最肥ノ壤土ナリト「マクローリン」(Doctor McLaughlin)博士ノ言フ所ニ據レハ華盛頓州ニ於ケル農業ハ先ツ「キヤスケード」山脈ノ西ニ創マリ後年「ビユーゼットサウンド」農業會社ガ「カウリツ」(Cowling)及「ニスタオリー」(Kingsland)ニ大規模ノ農業ヲ經營スルニ至リタルガ「ビユーゼットサウンド」農業會社ノ設立セラレタル當時「ホワイトマン」博士(Doctor Whitman)ハ其傳教區域タル「ワラワラ」附近ノ溪谷ニ於テ農業ヲ創メ頗ル好良ナル結果ヲ收メ得タリ蓋シ彼ハ乾燥枯涸セル其農園ニ灌溉ノ途ヲ講ジタルカ爲メナリト而シテ之レ從來乾農法ニノミ頼リタル華州農事ニ一大變革ヲ招致シタル先驅トモ見ルベク華州灌溉工事ノ濫觴ニシテ華州農事發達史ヲ叙スル當リ特筆スヘキ事項ニ屬ス

彼ノ墨西哥及秘露ニ於ケル土人ハ白人ノ移入ニ先チ其茫漠タル平野ニ灌溉ノ途ヲ講ジタリシモ米國土人「インデアン」ハ何等灌溉ノ途ヲ講スルコトナカリキ千八百四十一年「ホワイトマン」農地ヲ訪問シタル旅客ノ記スル所ニヨレハ其地方ニ於ケル「インデアン」ハ素ト農地灌溉ノ途ヲ知ラザリシカ「ホワイトマン」カ自己ニ比シ數等優良ナル成績ヲ收ムルヲ見テ茲ニ灌溉ノ必要ヲ知覺スルニ至リ「ホワイトマン」ニ請フテ其井水ヲ利用スルノ特權ヲ求メタルモ「ホワイトマン」ハ之ヲ許サマリシヲ以テ彼等ハ「ホワイトマン」ニ倣フテ自ラ其附近ニ續々幾多ノ井ヲ掘リ其結果「ホワイトマン」ノ井ヲシテ噴水ヲ止メシムルニ及ヒ茲ニ兩者間井水ニ關スル紛擾ヲ惹起スルニ至リタルガ彼等モ竟ニ我人共ニ井水ノ必要ヲ悟了スル

ニ至リテ此處ニ二者ノ間ニ意思ノ疏通ヲ見ルニ至リ彼等亦「ホワイトマン」同様ニ良好ナル成績ヲ舉グルニ至リタリト
 「ナザニエル、ゼ、ワイエス」(Zachariah, J. Welch)ハ「ワラワラ」及「コルグキル」ノ溪谷 (Coloville Valley)ニ於テ若シ更ニ多ク
 ノ人口ヲ支ヘント致セハ灌溉ノ途ヲ講セザルベカラスト言ヒタル如ク「ワラワラ」ノ溪谷及「パルース」(Paroo)及「ビク
 ベンド」(Big Bend)地方ニ於ケル丘陵及起伏セル平原ハ敢テ灌溉セズトモ小麥ヲ産出スト雖モ而モ從來冷ク東部華州ニ行
 ハレ現ニ行レツ、アル這般ノ乾農法ガ灌溉ニ依ル耕作法ニ比スレハ原始的狀態ニ於ケル頗ル幼稚ナルモノト云ハザルベ
 カラス、斯クノ如クニシテ「ヤキマ」、「キチタス」及「ウエナツチ」溪谷ニ溝渠ヲ開鑿シテ附近一帯ノ乾涸セル農地ニ灌溉
 スルヲ以テ目的トスル幾多ノ灌溉工社設立セラレ、ニ及ビ合衆國政府亦其官有地ノ拂下ニヨル收入ノ一部ヲ割テ灌
 溉工事基金トナシ吾人カ前章ニ於テ記述シタル灌溉工社ヲ計畫スルニ至リタリ

如上ノ徑路ヲ履ミタル華盛頓州ノ農業ハ著シキ發展ヲ致シ營ニ麥作ヲ以テ開ユルノミナラス華盛頓州ヲ以テ赤色林檎ノ
 國タル名ヲ獲得セシムルニ至リタリ、其他桃、梨、李、葡萄及「ストロベリー」等ノ果實類乾草「ホップス」及馬鈴薯等亦重
 要ナル農産物タルニ至レリ是ト同時ニ他方鶏、羊、牛、馬及豚等牧畜等亦頗ル注目スベキ發達ヲ見タリ

漁業

華盛頓州ノ漁業ハ亦甚盛ニシテ常ニ一萬人以上ノ就業者ヲ維持シ米國東部諸州ニ鯉及鮭ヲ供給シツ、アリ若夫レ「ビュ
 ーゼットサウンド」灣及「コロムビア」河ヨリ輸出セラル、鮭鮭詰ニ至リテハ世界ニ普及シツ、アリテ華盛頓州官憲ハ鮭
 ノ種類中優良ナル種族ノ保護繁殖ニ力ヲ致シ合衆國政府亦同様ノ方法ニヨリ「ペーカー」湖 (Caker Lake)ニ之ヲ試ミ努メテ
 良種ノ繁殖ニ努力シツ、アリ而シテ特ニ近年ニ至リテ「ビューゼットサウンド」灣水産業中重要ノ地歩ヲ占メツ、アルハ
 牡蠣ノ産出ニ在リ

石炭

華盛頓州ハ亦太タ石炭ノ産出ニ富ミ一ヶ年ノ産出額約三百萬噸ニ達ス抑モ當州ニ於テ初メテ石炭礦ノ發見セラレタルハ
 一千八百五十一年ノ事ニ屬シ主トシテ「ペーリングダム」灣附近ヨリ採取セラレタルモノニシテ千八百六十六年迄ハ一ヶ年産
 出高五千噸ニ過キスシテ石炭産地トシテ未タ重キヲナスニ至ラザリシカ千八百八十年ヨリ八十五年ニ至ル間ニ於テ「キ

交通機關ノ發達

「ワラワラ」郡ニ於ケル「グリーンリヴァー」炭田、「キチタス」郡ニ於ケル「ロスリン」礦ノ開カル、ニ及ヒ産額頗ニ加ハリ一九一
 ○年ノ調査ニヨレハ三百五十七萬六千三百五十六噸、九百八萬五千九百四十一弗ノ産出ヲ見ルニ至レリ而シテ華盛頓州
 ニ於ケル最大産出地ハ「キチタス」郡、ニシテ「キング」郡「ビヤス」郡之ニ次ク「キチタス」郡ニ於ケル炭礦ノ八割五分ハ
 是レ北太平洋鐵道會社ノ採掘スル所ニ屬シ主トシテ會社用ニ供セラル、モノトス

蓋シ華盛頓州ニ於ケル經濟的發展ハ交通機關ノ改良ニヨリテ著シク促進セラレタルヤ勿論ナリ、「ビューゼットサウンド」
 ニ於ケル最初ノ移住者ハ獨木船、單桅船、「ブランヂャー」、「スターナー」及小船ヲ主トシテ使用シツ、アリタルヲ以テ
 若シ「コロムビア」州カ舟楫ノ便ニ於テ天然的障礙ナカリシナランニハ華盛頓州東部地方ニ於テハ河川ニ依ル交通ノ發達
 顯著ナルモノアリタリシナランモ不幸ニシテ哥倫比亞川ハ激湍岩ヲ噴ム所アリ飛瀑白沫ヲ吐クノ處アルヲ以テ彼等ハ勞
 ヒ河川運輸ニ於テ多クノ注意ヲ拂ハズ主トシテ鐵路ノ人工的交通ニ倚ラントスルニ至レリ

千八百六十八年「ワラワラ」ニ於ケル人士ハ「ワラワラ」鐵道會社ヲ創立シ千八百七十二年初メテ哥倫比亞川ノ東岸ニ於ル
 「ワラワラ」(Valley)ヨリ起工シ千八百七十五年十月廿三日ニ至リ「ワラワラ」ニ達スル線路ノ完成ヲ見タリ建設者ハ「ペ
 ーカー」博士 (Doctor J. G. Baker)ニシテ線路ヲ木ヲ以テ作り之ニ牛皮ヲ以テ捲キ附ケタルモノナリキ然ルニ線路ニ捲キ付
 ケタル牛皮ハ嚴冬到ルニ及ンテ夜食ヲ求メテ徘徊スル餓狼ノ貪食スル所トナリ了レリ此處ニ於テ牛皮ニ代ユルニ鐵條ヲ
 以テシタルガ往々ニシテ汽車進行中鐵條ヲ打著ケアル鐵釘ノ脱セルモノアリ一時汽車ノ進行ヲ中止シ火夫及車掌ヲシテ
 之ヲ修理セシムルノ不便ニ遭遇スルコト屢々アリタリ

千八百五十九年一月三十一日「キャスケード」鐵道會社ノ組織成リ千八百六十六年ニ線路ノ完成ヲ見タリ是亦木路ノ狹軌
 道ニシテ「コロムビア」州交通ノ障礙タル「キャスケード」山ヲ迂回シテ旅客及貨物ノ運送ヲ目的トスルモノナリキ、如上
 二線ハ素ヨリ微々タルモノナシト雖モ交通ノ便開ケザル當時ニ在リテハ亦太ダ有用ノモノナリシヤ疑ヲ容レズ是レヨリ
 先キ千八百三十四年「マサチューセツ」州ノ「バーロー」博士 (Doctor Samuel R. Barlow)ハ紐育ヨリ「コロムビア」河ノ河口ニ

至ル間鐵路ヲ敷設スベキコトヲ絶叫シタルニ初マリ千八百五十六年調査ノ結果千八百六十四年七月二日「リソコルン」大統領ハ國會ノ決議ニヨリ北太平洋洋鐵道線路ノ敷設ニ向テ之ニ要スル廣大ナル土地ヲ賦與スルコトヲ許セリ斯クテ北太平洋鐵道線路ハ華盛頓州ノ東西ニ貫通シテ「ワイルドウエスト」ト稱セラレタル華州ハ茲ニ始メテ東部諸州ノ連絡成リ各種ノ産業靡然トシテ興起シ面目ヲ一新スルニ及ベリ之ニ次ギ大北鐵道線成リ「シカゴ、ミルウオーキ、エンド、ビユーゼット、サウンド」線成リ、加奈陀太平洋線及「ユニオンバシフキツク」線亦華州ニ入り來レリ

斯クノ如クニシテ大陸橫斷鐵道ノ開通成リ東部諸州トノ交通開カル、ニ至ルヤ東部諸州ヨリ夥敷移住者ノ侵入ヲ見ルニ至リタルト共ニ千八百六十六年華州テリトリ議會ハ「アラスカ」領海内ニ於ケル漁業權獲得ヲ絶叫スルニ及ビ「アラスカ」買收問題ノ復活トナリ合衆國政府ハ竟ニ「スワード」(William H. Seward)ノ言ニ聽キテ千八百六十七年現ニ年々産出シツ、アル金採收高ノ約三分ノ一ニ過ザル七百二十萬弗ヲ投シテ之ヲ買收シタリ「アラスカ」ノ買收ハ華盛頓州ノ經濟的發達ニ著シキ刺撃ヲ與ヘタリ加之「アラスカ」ノ發達之ニ伴フ金産額ノ激增ハ愈々其發展ヲ促進シ千九百九年廣ク「アラスカ」ノ財源ヲ公告シ兼ネテ華州ノ産業的發達ニ資セントスル「アラスカユイコン」太平洋博覽會ノシアトル市ニ開催セラル、ニ及ビ華州ノ發達ハ茲ニ一大飛躍ヲ試ミタリト云フベク一九一〇年ニ於ケル華盛頓州廳ノ調査ニ依レハ課税ノ目的物タル動不動産總額ハ二十三億四千九十三萬五千五百廿八弗ニシテ其中課税スヘキ物體ノ總額ハ總計九億六百廿四萬七千九百四十四弗ニシテ一九〇九年ニ比シ一億一千五百八十萬弗ノ増加ヲ示シタルヲ見ル

左ニ一九一〇年ノ調査ニ基キ華州ノ經濟的狀態ノ一般ヲ示シテ本史ノ筆ヲ擱カントス

項	目	數	價	額
小	麥	二七、五〇〇、〇〇〇	二、三〇〇、〇〇〇	六、四七五〇、〇〇〇
其	他穀類	一五、〇〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	一、三五〇〇、〇〇〇
株	實	一、二五〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
果	實	同	一九〇、〇〇〇	一九〇、〇〇〇
產	物	同	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇

野	菜類	總收	一〇、〇〇〇、〇〇〇
牧	畜總收	一〇、〇〇〇、〇〇〇	
木	材產出	四、〇〇〇、〇〇〇	
木	材產出	六、五〇〇、〇〇〇	
屋	根板產出	七五〇、〇〇〇	
木	材類及製品總產出	一一、〇〇〇、〇〇〇	
鮭	鮭總產出	五、〇〇〇、〇〇〇	
水	產物總產出	八、五〇〇、〇〇〇	
石	炭總產出	一一、二五〇、〇〇〇	
礦	產物	一七、五〇〇、〇〇〇	
外	國產物	二、七五〇、〇〇〇	
外	國產物	二、六七五、二五〇	
沿	岸諸州	八五〇、〇〇〇、〇〇〇	
鐵	道諸州	一一、〇〇〇、〇〇〇	
東	方諸州	五、五〇〇、〇〇〇	
鐵	道諸州	一〇〇、〇〇〇	
屋	根板	一〇〇、〇〇〇	
麥	粉	一、一八六、八六九	
小	麥	三、八五一、六四二	
外	國貿易	二、五五四	
船	舶	二、二六七	
外	國	一、二四一、九九〇	
人	口	六、〇二二	
課	稅	四二、一九一	
綿	花	二四五、七二九、七二六	
鮭	鮭	九〇六、二四七、九四四	
鮭	鮭	三、〇〇八、四三七	
鮭	鮭	二、三八五、九八二	
鮭	鮭	一、三、四五、一八五七	
立	木	一九五、〇〇〇、〇〇〇	

麥作 第二 麥作 合衆國政府及幾多ノ私設會社ニヨリテ銳意經營セラレツ、アル前掲灌溉工事ノ目的タル哥倫比亞川流域ハ

概ネ砂地ニシテ柱石粉末ト植物性腐土トヲ混和シタル火山灰ノ厚包スル所ニシテ低地ハ高地ヨリモ堆積土砂深ク氣候温和ニシテ砂土ノ深サ八十呎ニ及ブ所アリ水分ノ蓄積ニ堪エ概ネ「セージブラツシユ」叢生スル所ニシテ往々「アリカ」性鹽類ノ過グル所ナキニ非ズト雖モ灌溉後ノ狀況ハ非常ニ好良ニシテ穀類、秣草、果實、蔬菜ノ耕作栽培上驚クベキ優良ナル結果ヲ齎ラシツ、アリ、抑モ華盛頓州ニ於テ主トシテ耕作セラレル、モノハ小麦、大麥、玉蜀黍、「ホツプス」、馬鈴薯、秣草、「アルファルフマー」及林檎、梨、葡萄、李、莓等ニシテ小麦、大麥及玉蜀黍等ノ穀類ハ専ラ「コロンビヤ」河流域ニ於ケル東南部地方ニ於テ耕作セラレタルモノナリト雖モ耕作地面積未ダ太ダ廣キニ至ラズ

穀類中第一位ニ在ル小麦ノ如キモ其耕地面積著シキ増加ヲ見ズ產出額亦甚タシキ増加ヲ見ズト雖モ小麦ハ當州就中余ガ巡視區域タル哥倫比亞川流域ニ於ケル主要ノ農作物ニシテ華州ヲシテ小麦産地ノ名アラシム

左ニ一九〇〇年以來一九〇九年ニ到ル十ヶ年間ニ於ケル產出額及ビ其價額ヲ生産地別ニヨリテ示スベシ

	一九〇〇年	一九〇一年	一九〇二年	一九〇三年	一九〇四年	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	十ヶ年間合計
Adams	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	17,000,000
Benton	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	15,000,000
Columbia	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	14,000,000
Douglas	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	13,000,000
Franklin	800,000	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	12,000,000
Garfield	700,000	800,000	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	11,000,000
Klickitat	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	10,000,000
Walla Walla	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	9,000,000
Whitman	400,000	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	8,000,000
Yakima	300,000	400,000	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	7,000,000
其他	200,000	300,000	400,000	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000	1,100,000	6,000,000
計	7,000,000	8,000,000	9,000,000	10,000,000	11,000,000	12,000,000	13,000,000	14,000,000	15,000,000	16,000,000	100,000,000

乃チ左表ニ於テ明白ナルガ如ク一九〇〇年ニ於ケル產出高ハ二千七百六十萬七千三百二十物ナリシニ十年後ノ一九〇九年ニ於テハ三千四百八十九萬五千物ヲ産シ僅ニ七百廿八萬七千六百八十物ヲ増加セルニ過ギス年ニ依リ凶不凶ノ差アリト雖モ而モ一九〇九年ニ於ケル產出高ハ一九〇一年ニ於ケル產出高ニ比ブレバ三百萬餘物ノ減收タリ、唯夫レ價額ノ點ニ至リテハ年々著シク騰貴シ來リテ亦昔日ノ如クナラザルヲ以テ一九〇〇年ニ於ケル一千四百七萬九千三十三弗ニ對シ一九〇九年ニ於テハ三千二百四十五萬二千三百五十弗ヲ計上シ數量ニ於テハ僅々七百二十八萬七千六百八十物ノ増加ヲナセルニ過ギサルモ價額ニ於テハ實ニ一千八百三十七萬三千三百十七弗ノ增收タリ、而シテ余ガ前掲統計ニ於テ表示セル所ニ據リ一九〇七年ハ產出高四千二百四十二萬五千八百五十四物ニシテ價額三千八百八十一萬九千三百九十一弗ヲ算シ實ニ十年間ニ於ケル最大豐作年タリ、之ニ對シ一九〇九年ノ產出高ヲ比較スル時ハ八百三十三萬六千三百五十四物ノ減收タルヲ見ルモ之ニ反シ價額ハ六十三萬二千九百五十九弗ノ増加ヲ致セルヲ見ル、又以テ小麦相場ノ比年向上シ行キツ、アルヲ知ルニ足ルベキ也

而シテ一九〇〇年ヨリ一九〇九年ニ至ル十ケ年間ニ於ケル總收穫高ハ三億二千三百四十二萬七千六百四十三物此ノ價額二億二千三百七十二萬九千八百二十六弗ニ達ス而シテ右ノ中哥倫比亞川流域以外ノ地方ヨリ總產出高ハ僅ニ五百四十四萬八千三百六十一物價額三百五十五萬六千四百七十弗ヲ計上スルニ過キズシテ哥倫比亞川流域地方ヨリノ產出高ノ六十分ノ一ニ過キザルヲ知ルベシ

哥倫比亞川流域ノ產出スル穀類中小麥ハ其第一位ニ居ルハ余ノ前節ニ於テ論述シタル所ナルガ余ハ更ニ華盛頓州穀物検査官「イ、シ、アームストロング」(C. G. Armstrong)ノ報告ニヨリ一九〇九年ニ於ケル燕麥及大麥ノ產出高ヲ郡別ニ依リ表示スレバ左ノ如シ

郡	燕麥	大麥
Columbia	11,114,000	1,413,600
Lincoln	11,000,000	960,000
Spokane	5,900,000	1,811,100
Walla walla	4,000,000	1,911,000
Wahitan	3,000,000	1,440,000
其他	5,000,000	1,400,000
計	41,900,000	4,411,100

第三 牧畜 華盛頓州ニ於ケル産業中牧畜業ハ又甚ダ重要ナル地位ヲ占ムルハ余ノ既ニ論述シタル所ナリ、就中牧畜業ハ哥倫比亞川流域ニ於ケル産業中特筆スベキ地位ニ在リ、抑モ華盛頓州ニ於テハ從來牧畜業者ハ合衆國政府官有地ニ在リテハ縱ニ之ヲ放牧スル事ヲ得ルノ特權ヲ有シタリキ、現今ト雖モ或ル森林地帯ニ限リ尙無償ニテ之ヲ放牧スルコトヲ得ルモ合衆國政府ハ其官有地ニ於テ無償ニテ放牧スル事ヲ得ベキ家畜ノ種類ニ一定ノ制限ヲ設ケタルヲ以テ牧畜業者ハ最早往時ノ如ク自由ナル能ハザルニ至レリ

是ニ於テカ近時ニ於ケル牧畜業ハ官有地自由放牧時代ニ於ケルト著シク其状態ヲ異ニスルニ至レリ、則チ官有地自由放牧時代ニ於テハ之ガ放牧區域廣漠タルヲ以テ自ラ其牧群大ナルヲ得タリシモ今ヤ則チ然ラズ當州ニ於ケル牧畜業ハ主ト

シテ小區域ニ限ラレタル個々ノ私有地ニ於テ營マレツ、アルガ故ニ往時ノ如キ大群集ノ獨立セル存在ヲ見ルコト罕ナリ然レトモ其結果ハ牧畜業者ハ競フテ優良ナル種類ノ牧養ニ努ムルニ至リタルニヨリ現時ニ於ケル牧群ハ其集團ニ於テ又自由放牧時代ニ於ケル集團ニ比シ遙カニ小群團タルヲ免レザルモ其實質ニ於テハ著シク改良セラレタル良種ノ群團タルヲ證スルニ至リタリ

而シテ現時田圃ニ於テ耕作上ニ使用セラル、モノハ森林ニ於テ伐木ヲ曳出スガ爲メニ使用セラルルモノ及當市ニ於テ荷車曳キニ使用セラルルモノ等ノ駄馬ハ其需用少ナカラズト雖モ是等ハ概ネ當州產ヲ以テ供給スルコトヲ得取テ他州產ニ待ツ必要ナキモノ、羊及豚等ノ如キ專ラ食料ニ供スルモノニ在リテハ其牧養必ズシモ盛シナラザルニ非ズト雖モ「ビューゼットサウンド」灣ニ面セル各都市ノ發達著シクシテ人口ノ激增ニ伴フ需要ノ増加ニ追隨シテ満足ナル供給ヲナスコト能ハズ近接セル各州ヨリノ供給ニ待ツコト少ナシトナサザルナリ

一九〇九年ニ於ケル家畜數ハ華盛頓州政府ノ調査ニヨレハ馬匹二十四萬七千七百二十五頭、牛十六萬六千九百七十頭、騾及驢八千三百七十七頭、羊及山羊三十九萬六千三百廿九頭、豚八萬七千二百四十頭、種馬千五十頭、種牡牛四千五百十四頭、種羊及山羊七千二百〇三頭及乳牛十四萬九千四百四十九頭總計百六萬八千八百五十七頭ニテ其中哥倫比亞川流域地方ニ在ルモノ馬匹十九萬四千九百九十九頭ニシテ全數ノ七割七分ヲ占メ牛十萬八千六百三十九頭ニシテ全數ノ六割五分ヲ占メ騾及驢七千六百三十九頭ニシテ全數ノ九割一分ヲ占メ羊及山羊三十五萬八千六百六十六頭ニシテ全數ノ九割ヲ占メ豚七萬四百三十三頭ニシテ全數ノ八割ヲ占メ種馬七百九十四頭ニシテ全數ノ七割五分ヲ占メ種牡牛二千二百五十頭ニシテ全數ノ五割ヲ占メ種羊及山羊三千三百九十七頭ニシテ全數ノ四割參分ヲ占メ乳牛七萬一千九百四十七頭ニシテ全數ノ四割八分ヲ占メ家畜總數八十一萬四千八百八十八頭ヲ算シ華盛頓州ニ於ケル總頭數ノ七割六分ヲ占ム

左ニ一九〇九年ニ於ケル哥倫比亞川流域ニ於ケル家畜ノ頭數及其評價額ヲ郡別ニヨリ表示シテ當州ニ於ケル家畜分布ノ大勢ヲ窺フノ資ニ供センコト、スベシ

郡	頭數	馬		牛		騾及驢		羊及山羊		豚	
		頭數	價額	頭數	價額	頭數	價額	頭數	價額	頭數	價額
Adams	1,171	1,171	1,500.00	750	2,000.00	75	1,875.00	19,330	3,866.00	2,500	1,000.00
Asotin	2,038	2,038	2,687.50	3,215	4,078.50	77	1,925.00	24,740	4,948.00	3,250	1,300.00
Benton	2,021	2,021	2,627.50	1,020	1,275.00	11	27.50	7,740	1,548.00	1,400	560.00
Chelan	1,211	1,211	1,513.75	1,124	1,405.00	21	52.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Clark	7,668	7,668	9,585.00	6,228	7,785.00	26	65.00	23,500	4,700.00	17,300	6,920.00
Clatsop	6,628	6,628	8,285.00	5,938	7,422.50	21	52.50	16,300	3,260.00	11,700	4,680.00
Colombia	6,628	6,628	8,285.00	5,938	7,422.50	21	52.50	16,300	3,260.00	11,700	4,680.00
Cowlitz	1,421	1,421	1,776.25	1,181	1,476.25	3	7.50	2,640	528.00	1,900	760.00
Douglas	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Franklin	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Lewis	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Garfield	6,628	6,628	8,285.00	5,938	7,422.50	21	52.50	16,300	3,260.00	11,700	4,680.00
Kittitas	6,628	6,628	8,285.00	5,938	7,422.50	21	52.50	16,300	3,260.00	11,700	4,680.00
Klickitat	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Linn	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Lincoln	6,628	6,628	8,285.00	5,938	7,422.50	21	52.50	16,300	3,260.00	11,700	4,680.00
Sherman	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Spokane	2,038	2,038	2,687.50	3,215	4,078.50	77	1,925.00	24,740	4,948.00	3,250	1,300.00
Wahkiakum	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Walla walla	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Whitman	1,711	1,711	2,138.75	1,204	1,505.00	3	7.50	3,880	776.00	2,700	1,080.00
Yakima	2,038	2,038	2,687.50	3,215	4,078.50	77	1,925.00	24,740	4,948.00	3,250	1,300.00
Grant	7,668	7,668	9,585.00	6,228	7,785.00	26	65.00	23,500	4,700.00	17,300	6,920.00
Yakima	2,038	2,038	2,687.50	3,215	4,078.50	77	1,925.00	24,740	4,948.00	3,250	1,300.00
計	76,000	76,000	9,500.00	62,000	7,750.00	260	650.00	235,000	4,700.00	173,000	6,920.00
合 計	1,020	1,020	1,275.00	1,020	1,275.00	70	175.00	7,000	1,400.00	5,000	2,000.00

郡	頭數	價額	頭數	價額	頭數	價額	頭數	價額	頭數	價額	頭數	價額
Asotin	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Benton	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Chelan	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Slevens	10	12.50	10	12.50	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Clarke	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Columbia	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Cowlitz	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Douglas	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Franklin	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Lewis	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Garfield	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Kittitas	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Klickitat	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Linn	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Lincoln	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Sherman	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Spokane	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Wahkiakum	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Walla walla	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Whitman	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Yakima	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
Grant	12	15.00	12	15.00	102	12.24	32	40.32	320	128.00	3,200	128.00
計	76,000	9,500.00	62,000	7,750.00	260	650.00	235,000	4,700.00	173,000	6,920.00		
合 計	1,020	1,275.00	1,020	1,275.00	70	175.00	7,000	1,400.00	5,000	2,000.00		

第四 酪農 華盛頓州ニ於ケル酪農ハ未ダ誇ルニ足ルベキ發達ヲ遂グルニ至ラズト雖モ天賦ノ各種狀態ハ酪農ニ好適スルモノタルハ夙ニ學者ノ唱導スル所タリ殊ニ西部華盛頓州東部、華盛頓州ノ西部地方及州ノ東北部地方併ニ東南部地方ハ氣候及地味等最モ乳牛ノ放牧ニ適シ「チモシー」、「クロバ」及「アルファルファ」ヲ始メトシ各種ノ牧草所在ニ繁生スルヲ以テ少シク適當ナル考慮ヲ迴ラスニ於テハ殆ンド十二月ヲ通ジテ綠草ヲ獲ルニ難シトナサズ特ニ「キヤスケ」

「D」山脈ノ西方即チ太平洋ニ面セル地方ハ最モ有利ナル状態ニ在リ余ハ前節ニ於テ牧畜業ヲ説キタル時哥倫比亞川流域ニ於ケル乳牛ノ頭數ヲ示シ以テ酪農ニ關スル状態ノ一端ヲ示シタルガ茲ニハ酪農ノ一分科タル牛酪製造業ニ就キ少シク語ル所アラントスルナリ

華盛頓州立大學工科ノ「ワラー」教授 (O. T. Waller) ハ其著述ニ係ル「華盛頓州ニ於ケル灌溉」ニ於テ一九〇六年ニハ華盛頓州ニ二百八十四個所ノ製酪所アリテ八百四十七萬三千六百十二封度ニ達スル牛酪ヲ産出シタルヲ語レリ余ハ不幸ニシテ其後ニ於ケル詳細ナル製酪業ニ關スル統計ヲ得ル能ハサルヲ以テ其経路ヲ茲ニ細叙スル能ハザルヲ遺憾トスルモ一九〇九年十月三十一日ニ終ル一ケ年間ニ於ケル華盛頓州ニ於ケル製酪業ニ關スル食物検査官「デビス」(D. Davis) 氏ノ報告ニヨレバ百九十一個ノ製酪所アリテ九百六十八萬一千六百六十八封度ノ「バター」ヲ製出シタリ即チ之ヲ「ワラー」教授ノ一九〇六年ニ於ケル報告ニ比較スルニ於テ製酪所ハ九十三個所ヲ減ジタルモ産出高ニ於テハ百二十萬八千五百六十六封度ヲ増加シタルヲ知ル「チース」製造所ハ五個所在リテ二十萬四千九百八十三封度ノ乾酪ヲ産出シタリ尙同年間ニ於テ華盛頓州ハ「コンデンスミルク」百十九萬五千八百九十三函價額四百八十八萬五千二百三十弗ヲ産出シタルガ之ガ製出ニ向ツテ使用セラレタル生牛乳ハ一億二千二百二十七萬二千三百二十五封度ナリキ、余ハ此中哥倫比亞川流域ヨリノ供給ニ係ル牛乳量ヲ明示スル能ハザルモ前節ニ於テ表示シタル乳牛ノ頭數ヨリ推スニ於テ其供給量ノ決シテ少量ナラザルベキヲ思ハズンバアラズ

左ニ一九〇九年十月三十一日ニ終ル一ケ年間ノ華州ニ於ケル製酪所數及其製出牛酪ノ數量併ニ其價額ヲ郡別ニヨリ表示シ以テ哥倫比亞川流域ニ於ケル酪業ノ大勢ヲ知ルノ資ニ供スベシ

一、哥倫比亞川流域諸郡牛酪製產高

郡	製酪所數	放牧額	數量	價額
Cowlitz	三	七,一〇〇,〇〇〇	一〇八,二二九	三四,五一四,三三三
Chelan	一	三,〇〇〇,〇〇〇	三,六四〇	一,四五六,〇〇〇

Charles	四	三六,三〇〇,〇〇〇	六〇,三八二八	一八二,四三四,三六
Perry	一	二,〇〇〇,〇〇〇	五六,七三五	一九,八一三,七九
Lewis	三	一五,五二五,〇〇〇	三一五,八九一	一〇四,四六〇,一七
Kittitas	四	一六,六〇〇,〇〇〇	五一六,八七九	一六三,八三〇,四九
Klickitat	一	三,〇〇〇,〇〇〇	四八,二〇六	一四,九四三,八〇
Pacific	二	四,三〇〇,〇〇〇	一四,九一四	四,五七六,一〇
Spokane	六	七,〇〇〇,〇〇〇	八九六,二四一	二九五,九四三,九〇
Stevens	五	一五,二二五,〇〇〇	一一,二八九	三六,二七七,〇二
Wahkiakum	一	四,〇〇〇,〇〇〇	一一,六九二	三三,三五〇,一一
Walla walla	三	一〇,五〇〇,〇〇〇	三七三,九五二	一四二,二一六,四七
Wahitan	二	九,〇〇〇,〇〇〇	六二,〇二五	二〇,一一一,〇〇
Yakima	二	七,〇〇〇,〇〇〇	四二,三一一	一三八,五七五,五四
計	六七	二〇一,四七五,〇〇〇	三,六六七,六八二	一一,一九二,四〇三,一八
哥倫比亞川流域外ノ諸郡	一一四	一七七,五九四,八四	六,〇一三,九八六	一九六八,〇九六,〇五
總計	一九一	三七九,〇六九,八四	九,六八一,六六八	三三,一六〇,五九九,二二

則チ哥倫比亞川流域ニ於ケル製酪所ハ六十七個所アリテ三百六十六萬七千六百八十二封度ノ牛酪ヲ製出シ華盛頓州ニ於ケル總産出高ノ三割九分ニ當レルヲ知ルベシ、哥倫比亞川流域以外ノ地方ニハ製酪所ノ數多ク産出高從テ多キハ是等ノ諸郡ハ概ネ太平洋岸ニアリ天興ノ狀況最モ酪農ニ適順セルヲ以テナリ、想フニ將來華盛頓州ニ於ケル酪農ノ發達ハ哥倫比亞川流域以外ノ地方ニ於テ顯著ナルモノアルベキナリ

第五 果樹栽培 果樹栽培ハ近年華盛頓州ニ於テ最モ矚目ニ値スル發達ヲナシツ、アリ就中哥倫比亞川ノ一支流ナル「ヤキマ」川流域ニ於テ最モ顯著ナルモノアリ、林檎、桃、梨、李、葡萄、櫻、莓等ハ栽培セラル、果樹ノ主ナルモノニテ土地ノ狀況ニヨリ栽培セラル、果樹ノ種類ヲ異ニス、華盛頓州ノ誇リトスル林檎ノ良種ハ哥倫比亞川流域ニ於ケル「ヤキマ」、「ウエナツチ」、「カシユメア」溪谷及「コルヅヰル」溪谷ノ高地等ノ如キ比較的高地ノ溪谷ニ出デ桃、李、葡萄ハ哥倫比亞川流域ノ低地ニ於テ良果ヲ結ブモノ、如シ

然レトモ華盛頓州ニ於テ產出スル果物中ニ在リテハ林檎ハ其王タリ桃、李、葡萄及ビ莓等ノ栽培亦頗ル有利ナルモノアリト雖モ林檎ニ如カザルモノアルガ如シ

一九〇八年華盛頓州園藝検査官「エフ、エ、ハント」(E. A. Hunt)氏ノ調査報告ニヨレバ林檎樹七百六拾七萬七千七十二本、梨樹百三十一萬二百九十本、桃樹二百拾二萬六千二百二十二本、櫻樹九十三萬八千七百四十四本、李樹百二十三萬八千四百九十一本等ヲ主ナルモノトシ各種果樹園總面積二十二萬七千五百噓ニ達セルヲ見ル、而シテ前記主ナル果樹、即チ林檎、梨、桃、櫻、李樹ノ哥倫比亞川流域ニ於ケル分布ノ狀況ヲ郡別ニヨリ擧示スレバ左ノ如シ

一、哥倫比亞河流域產出果實各郡分布表

郡	林檎	梨	桃	櫻	李
Asotin	八七、四一五	四六、二七一	八七、〇九六	二六、六六七	三七、〇八六
Benton	一八八、一八七	四三、一九七	一四八、六四八	四四、〇〇三	五、五八七
Chelan	一、一三八、〇一一	七七、四〇七	三三八、〇七三	五四、五六五	八、二一一
Okanogan	二七、一六七〇	二六、七〇四	四五、〇七四	二〇、六三九	一〇、三五七
Spokane	九六七、一九七	五四七、〇四	一五四、三二三	一六三、三二四	四〇、九四三
Slemons	二五一、八三九	二二、五八五	二二、九二八	三一、九五〇	一四、四六四
Walla walla	八四、四二九	二九、六一五	三〇、〇六四	二六、四七九	四〇、四七九
Whitman	二六六、一三三	三四、九四六	一一、二七八〇	四八、〇九〇	一〇、九〇五
Yakima	二、一一五、六九五	六六七、七〇四	八五七、三〇〇	一七九、一六六	二四、〇八一
計	五、三七〇、五七七	一、〇〇三、一三三	一、七九六、二八六	五九四、八八三	二九〇、二六一
其他郡計	二、三〇六、四九五	三三〇、一五七	三二九、三三六	三四三、八六一	九四八、二三〇
合計	七、六七七、〇七二	一、三三三、二九〇	二、一二六、六二二	九三八、七四四	一、二三八、四九一

即チ華盛頓州ニ於ケル果樹園ノ大部分就中其誇リトスル林檎ヲ始メ梨、桃及櫻ハ哥倫比亞川流域ニ於ケル前記九ヶ郡ニ在リ而シテ其中心地帯ハ「ヤキマ」郡ヲ首トシ「チエラン」郡、「スポーケン」郡ニ在ルヲ知ルベシ而シテ一九〇八年新タニ植付ケラレタル果樹ハ總計二百六萬七千八百五十三本ニシテ林檎樹百十六萬九千九百八十九本、梨樹二十三萬七千七百十九

本、桃樹三十六萬六千七百三十一本、櫻樹十九萬五千三百五十五本、李樹七萬二百本、其他合計三萬九千六百七十九本ナリキ、而シテ其哥倫比亞川流域ニ於ケル「スポーケン」郡ニ植付ケラレタルモノ三十九萬九千五百五十三本「ヤキマ」郡ニ植付ケラレタルモノ三十五萬八千四百七十七本「チエラン」郡ニ植付ケラレタルモノ三十萬一千七百八十四本ニシテ單ニ此レ等三郡ニ植付ケラレタルモノ、ミヲ以テシテ華州全體ニ植付ケラレタル總數ノ半以上ニ達セルヲ見ルベシ尙前掲一九〇八年ニ於テ新タニ植付ケラレタル主ナル果樹以外ノ諸種果樹栽培ノ目的ニ向ケラレタル土地ノ面積ヲ果物ノ種類ニヨリテ示セバ葡萄園二千五百噓、「ラスベリー」園二千四百噓、「ブラツクベリー」園二千噓、莓園九千噓、「グーヰベリー」園六百七十五噓、「クランベリー」園三百五十噓ナリキ

統計既ニ三年前ノ計數ニ屬シ年ニ長足ノ發達ヲナシツアル哥倫比亞川流域ニ於ケル果樹栽培業ノ現況ヲ示スニ於テ遺憾ノ點ナキニ非ズト雖モ不幸ニシテ信憑ニ値スルヨリ新ラシキ數字ヲ得ル能ハザルヲ以テ暫ラタ一九〇六年ニ於ケル哥倫比亞川流域ニ於ケル諸郡ヨリノ果物輸出高ヲ擧示シテ收穫ノ大勢ヲ知ルノ資ニ供スレバ左ノ如シ

一、哥倫比亞河流域各郡果實輸出表

郡	林檎	梨	桃	櫻	李	葡萄	莓及ベリー類	其他
Benton	二二、三二八	三、一五一	四、〇八七	三四	一、三三一	三二五	六、五〇〇	
Chelan	一九八、五四四	一六、九八〇	一五二、四〇〇	二〇、四〇〇	二七、〇八〇	三、六〇〇	一五、三六〇	
Clark								一〇八、〇〇〇
Cowlitz								八、六〇〇
Klickitat	一一、一		五六七					
Linn								一六二
Linnola	五、五〇〇	二、六〇〇	三〇、三〇〇	二、四〇〇	四、二〇〇			六、六九七
Okanogan	五、三九八	九一	四、七九一		一、二六六	一〇四		一、六五〇
Skamania	一、八三〇		一〇〇	六〇〇	五、三三〇			一、〇〇〇
Stevens	二、三〇〇六		五、〇四三	四、〇八一	一、四九〇			三、九七八
Tazewell								一、二六八
Walla walla								一九、九六八
Whitman	六一〇	五、二六七	二六、六三三	三、〇二〇	一一、九八〇	一〇、五五〇		六五〇

第八産 業

右表ニ據レバ「ワラワラ」郡ノ如キ林檎及梨、桃、櫻等ヲ輸出セザルニ似タルモ是レ偶々果樹栽培業發達ノ異常ナル趨勢ヲ
 語ルノ證左トモ見ルベク近時林檎産地トシテ頗ル名アリ前掲果樹現在數ヲ見ルノ時思半バニ過ギルモノアルベキナリ
 余ハ尙果樹栽培業ノ中心地帯トモ曰フベキ哥倫比亞川支流タル「ヤキマ」川流域ニ於ケル當業者ノ一九〇七年中ニ擧グ得
 タル成績報告ヲ蒐集シテ左ノ結果ヲ得タリ、亦以テ果樹栽培業ノ當業者ニ齋ラス實際的方面ヲ知ル確證トナスベキナリ
 一、「ヤキマ」川流域果樹栽培成績表

果樹栽培者	果樹名	果樹面積	果樹數	果樹年齡	收穫高	一噸ニ對スル收入額
W. F. F. Seibeck	桃	二〇四	二七五	三	三、七〇〇	一、一三三
J. Van Peyton	桃	二二六	二九〇	三	四、一三三	一、四三〇
G. Q. Scoboria	桃	三〇〇	四五〇	三	四、〇〇〇	一、〇〇〇
E. F. Perry	桃	二四〇	三二五	三	四、九〇〇	一、五三六
G. S. Hoff	桃	一七〇	一五九	三	一、八七五	一、二五〇
W. H. Strauss	桃	九〇	一二二	五	二、五六〇	二、一三三
A. H. Henry	桃	二〇	二二	七	四、八〇〇	三、八一
A. E. Glenn	桃	四〇〇	四四八	三	二、九〇〇	五、二九
G. O. Shupe	桃	一一二	一四	七	三、〇五	二、二八
W. M. Willer	桃	二〇	二八	五	六、〇七	四、五三
J. P. Balian	桃	五〇	六五	四	一、二三五	一、〇〇二
S. W. C. Haul	桃	一一〇	二七五	三	三、〇〇〇	一、〇〇二
Alexander Barham	桃	二五〇	三〇七	五	八、六二	二、五八〇
W. M. Nelson	桃	七五	一〇〇	二	五、〇〇	三、七五
M. I. Huxtable	桃	一一〇〇	一〇〇	二	三、一四	一、八三〇
J. Van Peyton	桃	一六	一	一	一、四〇	二、四〇
W. L. Gale	桃	一五〇〇	一、一〇〇	一	六、〇〇〇	六、六六
E. M. Roseland	桃	六〇〇	四〇〇	一	一、四〇〇	四、四〇
R. D. Herod	桃	五〇〇	二〇〇	一	一、〇〇	四、〇〇
* 標子附セルモノハ壹噸未満ニ對スル收入額ヲ示スモノ也						

果樹栽培者	果樹名	果樹面積	果樹數	果樹年齡	收穫高	一噸ニ對スル收入額
E. W. Brockett	梨	一七五	一七〇	二	一、〇二〇	一、二〇三
H. N. Fish	梨	一一〇	一二〇	二	五、一〇	一、〇五七
John Haeselstrom	梨	一〇〇	八四	五	七、〇	一、四〇
G. O. Shupe	梨	一二五	一三七	七	七、四三	八、八八
J. W. Durham	梨	七五	六〇	六	六、二四	一、〇六五
J. E. Wagner	梨	六〇〇	三二五	五	一、一七五	三、〇〇
J. H. Forman	梨	一五〇	一四〇	一〇	八、〇〇	八、〇〇
S. G. Moore	梨	五〇	六〇	七	六、〇〇	一、二〇〇
W. L. Gale	梨	五〇	六〇	八	三、〇〇	三、七五
W. P. Sawyer	梨	五五〇	六一六	一三	四、六二〇	一、五二四
Geo. Ia. Bissonette	梨	三〇	五〇	一〇	一、〇一一	三、〇〇
M. N. Pamington	梨	九〇〇	八六五	一〇	二、二〇〇	五、〇〇
J. H. Forman	梨	五〇	五四	一六	八、八三	三、六五〇
W. L. Gale	梨	一〇	一五	八	四、〇〇	二、四〇
E. W. Brackett	梨	一〇	一〇	八	一、〇〇	一、三五
Geo. Ia. Bissonette	梨	二〇	二〇	九	九、一一	六、五〇
H. H. Green	梨	二〇	二〇	九	三、一七〇	七、六〇
G. C. Mewhorter	梨	一、二五	六〇〇	三	一、〇〇〇	二、〇〇
H. M. Gilbert	梨	五〇	一	三	八、七三二	一、〇七一
N. T. Huxtable	梨	一八、〇〇	一	八	一、〇七一	五、七一
* 標子附セルモノハ壹噸未満ニ對スル收入額ヲ示スモノ也						

第六、農業開始ニ關スル實際的方面ノ一般的情況、華盛頓州ニ於ケル農業中主要ナル地位ヲ占ムルハ麥類耕作ニ在ルモ
 其耕地面積未タ甚タ多キニ至ラスシテ產出額ノ如キモ亦太シキ増加ヲ見ス發達ノ狀態極メテ遅々タルモノアルハ余ノ既
 ニ前節ニ於テ説述セル所ナルカ是レ抑モ故アリ
 蓋シ華盛頓州ニ於ケル方今ノ狀態ハ比較的大規模ノ麥作ニ從事スルヨリモ「ホツプス」馬鈴薯及果樹栽培ニ從事スル方比
 較的當業者ニ齋ス所ノ利益多キヲ稱セラレツ、アレバナナリ即チ「ホツプス」ノ如キハ生産費一封度ニ付七仙五厘位ニシテ

農家ノ所得實例

一噎ニ付一千五百封度乃至貳千封度ノ收穫ヲ見ルコト容易ニ馬鈴薯ニ至リテハ一噎ニ付三百物乃至五百物ノ收穫ヲ見ルヲ常トスレバナリ「アルフアルフ」ニ至リテハ一噎ニ付八噸乃至十噸ノ收穫ヲ見ルコトアリ市價時ニ高低アルモ一噸ニ付六弗乃至十二弗ニシテ頗ル有利ノ作物ナリト稱セラル、若シ夫レ林檎、梨、桃、李、葡萄及苺類ノ栽培ニ至リテハ一噎ニ付三百弗乃至五百弗ノ收穫アルヲ常トシ往々一千弗近クノ收穫ヲ見ルコトアリ此處ニ於テカ灌溉工事ノ中心地帯トモ云フヘキ我哥倫比亞川流域ニ於ケル中央地帯ハ主トシテ「ホツプス」馬鈴薯及果樹園ノ面積非常ノ速度ヲ以テ増加ヲ致シツ、アリ、唯夫レ「ホツプス」栽培ニ至リテハ今回華盛頓州ニ於テハ婦人ニ與フル選舉權ヲ以テシタルガ故ニ女子勢力ノ及ブ所酒類販賣禁止市(Dry Town)ノ増加トナリ麥酒釀造禁止制ノ發布ヲ見ルコトナキヲ保セズトノ杞憂ヨリシテ之カ耕作地面積ノ如キ或ハ幾分ノ減少ヲ見ルコトアラシカナレトモ其増加ハ姑ク期シ難キモノナラズンバアラス

左ニ余ハ華盛頓州ニ於ケル農業ニ關スル實際的方面ノ一般的事情ヲ知得センカ爲メニ親シク各農家ヲ叩キテ探リタル實例ノ内其二三ヲ掲ゲ併セテ其綜合的結果ヲ示スコト、スヘシ

「ヤキマ」河ニ沿ヒタル「キチタス」郡ニ於ル「エレンスバーク」市附近ニ於テ八十噎ノ地ヲ耕作シツ、アル一農家ニ就キ其本年度ニ於テ擧ゲ得タル成績ヲ尋ネタルニ其云フ所ニ據レバ彼ハ其ノ八十噎ノ地ヲ分チテ秣草(「チモシー」及「アル」)ヲ六十噎、燕麥ヲ十五噎而シテ殘五噎ヲ牧畜ニ充タル由ニテ左ノ如キ結果ヲ見タリ

第一回刈秣草	一五〇噸	拾六弗五拾仙	二、四七五
第二回刈秣草	六〇噸	拾貳弗	七二〇
燕麥	一五噸	貳拾八弗	四二〇
牧畜			一〇〇
計			三、七三〇
灌溉用水代			一六〇

灌溉用労働費	一五〇
耕耘地均及種苺費	四〇
種子代	一五
打糶費	三〇
秣草摺費	四〇〇
運搬費	二一五
堆積及刈入費	三〇〇
計	一、三二〇
差引純益	二、四一〇

「エレンスバーク」ヨリ「ヤキマ」河ノ流レニ沿フテ南下シ「ノースヤキマ」ヲ去ル西方貳哩ノ「フルートヴェール」ニ果樹園ヲ專業トセル一農家 E. C. Van Brunt ニ就キ果樹園ニ關スル實驗ヲ聞キタルニ千九百〇八年ニ於ケル成績ナリトテ語リタル所ニ據レハ四十噎ノ地ニ林檎、桃及葡萄ヲ植ニ林檎樹十年乃至十二年ノモノ八百本、桃四年乃至十年ノモノ一千本ハ其主ナルモノトス收穫ハ林檎六千參百箱、桃九千四百箱、葡萄三千籠ニシテ七千貳百弗ヲ擧ケタルカ實費支出ハ四千八百弗ナリキト

華盛頓州ニ於テ農業ヲ創メント欲スルニ方リテハ其多クハ「セーヂブラシ」ノ蕭條タル原野ヲ開墾シ之ニ水利ヲ通シ障垣ヲ造リ種子ヲ苺キ或ハ果樹苗ヲ植付ケ以テ收穫ノ途ヲ講ゼザルベカラス而シテ農地ノ状態及農作物ノ種類ニヨリ之カ創業費ト稱スベキモノ相同ジカラスト雖モ余カ今回視察シタル地方ノ當業者ニ就キ親シク研究シタル所ニ由レハ大約左ノ如キモノアリ

郡名	地	面積	草木	非転費	掃除費	地均費	植付費	種子及木代	灌溉費	雜費	合計	栽培種類
「ヤキマ」郡		10	50	50	—	150	50	—	50	10	350	林
「ノースヤキマ」		100	100	50	—	100	50	—	10	—	300	果
「グラントヴェール」		15	50	50	—	100	50	—	10	—	300	果
「マプトン」		15	50	50	—	100	50	—	10	—	300	果
「サンニサイド」		15	50	50	—	100	50	—	10	—	300	果
「マプトン」		15	50	50	—	100	50	—	10	—	300	果

第八産業

Table with 12 columns and 10 rows, listing various agricultural products and their quantities. The products include apples, peaches, plums, and various types of nuts and fruits. The quantities are listed in different units, possibly representing different grades or types of the products.

※ナ附スルハ海運開闢費中ニ「パイプ」代ヲ含ムモノトス

探炭業

第七 探炭業 華盛頓州ハ全米國ヲ通シテ「ロッキーズ」山脈ノ西部ニ於ケル諸州中ニ在リテ第一位ニ居ル石炭産出州タリ...

云ヘバ一九〇九年ニ於ケル産出額ハ九百八萬五千九百四十一弗ヲ計上シ一九〇八年ニ於ケル産出額六百二十九萬五千五百二十九弗ニ比スレバ二百三十九萬五千五百二十九弗ノ増加ニシテ探掘量ニ於テ約九萬噸ノ多額ヲ示セル一九〇七年ニ...

Table with 4 columns: 郡 (County), 炭産數 (Coal Production), 石炭産出高 (Coal Output), 作業日數 (Working Days). It lists data for counties such as Kittitas, Thurstons, King, Lawia, Pierce, Chatham, and Whatcom.

右ノ中哥倫比亞川流域ニ在ルハ「キチタス」及「ルイス」郡ナルヲ以テ哥倫比亞川流域ニハ十九個ノ炭産アリテ百六十五萬一千九百五十噸ヲ産シタルヲ知ルベク之ヲ哥倫比亞川流域以外ノ地方ニ比スレバ炭産數ハ遙カニ少ナキモ産出高ハ比...

メノスツ

石炭名	産出郡	塊炭	切込炭	粉炭
Black Diamond	「キ」	七〇〇	—	四二五
Superior	同	四、五〇	三、五〇	二、五〇
South prairie	「マ」	七〇〇	—	四二五
Newcastle	「キ」	四、七五	三、五〇	二、二五
Benton	同	五、〇〇	三、五〇	二、〇〇
Roslyn	「キ」	七、五〇	—	四、〇〇
Mendota	「ル」	四、二五	三、七五	—
Carbonado	「マ」	七、〇〇	—	四二五
Grand Ridge	「キ」	四、二五	三、五〇	一、五〇
Lady wellington	「マ」	四、二五	三、五〇	三、七五
Gem	「キ」	五、〇〇	四、〇〇	四二五

附記 夏期ニ於ケル相場ハ前記相場ヨリ五十仙乃至一弗方安シ

華盛頓州ノ産業ニ就キテハ尙説クベキモノ少ナシトナサズ中ニモ製材業ノ如キハ華州ノ誇リトスル所ナリ然レトモ是等産業ノ主タル中心點ハ余カ今回視察シタル區域ノ圏外ニ在リ他日機ヲ得テ華州全部ノ視察ヲナシ得タルノ時ニ於テ華州全體ノ産業ニ關シ更ニ權威アル系統的記述ヲ試ミンコトヲ期ス

第九 日本移民ノ状態

日本人ハ
借地耕作
ヲ爲セリ

第一 農業 華盛頓州ニ於テハ合衆國ニ歸化スルコトヲ得ザル外國人ハ土地所有權ヲ享有スルコト能ハサルヲ以テ本邦人農業者中土地ヲ所有セルモノナシ、唯夫レ表面上一部又ハ全部ノ權利ヲ懸念ノ米國人ニ與ヘ以テ法文ニ抵觸セザル様ニナシ事實上土地ヲ所有セルモノ往々ニシテ之ナキニ非ズト雖モ如斯ハ危險ノ分子ヲ含ムコト尠ナカラザルガ故ニ其數甚ダ多キニ至ラズ、要スルニ本邦農業者ハ借地耕作ノ外途ナキモノナリ
是故ニ本邦人農業者ノ目的トスル所ハ永遠ノ利益ヲ策スルニ在ズシテ眼前ノ利益ヲ目的トスル小規模ノモノナラザルベ

カラズ、是レ同胞農業者ノ發展ヲ遲々タラシムル所以ノ主要ノ原因タリ、然レトモ中等教育ノ課程ヲ履タル一部ノ青年ハ鐵道工夫トシテ製材所勞動トシテ或ハ家内若シハ農園勞動トシテ日給壹弗五十仙乃至二弗ヲ受タルノ境遇ニ永ク満足スルコト能ハズシテ向上ノ一路ヲ自營農業ニ覺メントスルモノ漸ク多キヲ致スニ至リタルヨリ本邦人農業者ノ借地面積ハ年々増加ノ勢力ヲ示シ、近年特ニ著シキモノアリ、即チ九〇七年ニ於テ耕地面積三千七百噓ナリシモノ一九〇八年ニハ五千五百噓トナリ一九〇九年ニハ六千二百噓トナリ一九一〇年ニハ壹萬噓ヲ超ユルニ至リタリ
而シテ本邦人農業者ノ最モ多ク割據セルハ「シヤトル」及「タコマ」市ヲ中心トセル地域ニシテ兩市ノ中間ニ開展セル延長四十哩ニ亘ル所謂白河流域 (White River Valley) 其一ナリ「シヤトル」市ノ西方「エリオット」灣 (Elliot Bay) ノ一小島嶼タル「ヴェーシヨン」島 (Vashon Island) 其二ナリ「シヤトル」市ノ東端「ワシントン」湖ノ東岸ニ沿ヒタル一帯ノ地域ニシテ所謂「ヴェルヴユー」村 (Bellevue) 其三ナリ「キヤスケード」山脈ノ東方「コロンピヤ」川支流ナル「ヤキマ」川流域其四ナリ、一九一〇年末ノ調査ニ係ル前記四域ノ本邦人農業者數、其耕作地面積及重ナル作物並ニ自營農業者ノ府縣別數ヲ示セバ左ノ如シ

地名	自營者數	農地面積	重ナル作物	自營農業者縣別數
Fife	一一〇	一、七六三	野菜、馬鈴薯	廣島〇、熊本八、愛媛一三、滋賀三、岡山三、山口一〇、高知九、福岡四、大阪三、和歌山四
Summer	八	三三五	苺、野菜、馬鈴薯、搾乳	廣島三、熊本二、長野、千葉、滋賀各一
Orling	七	三三〇	搾乳、野菜	廣島五、滋賀、香川、各二
Anhur	三六	九六七	搾乳、馬鈴薯、苺	廣島二二、滋賀一五、和歌山七、山口四、熊本、德島、各三、大阪、岡山、各一
O'Brien	二四	五三八	搾乳、馬鈴薯、野菜	廣島一一、熊本四、福岡三、香川三
Kent	二〇	四七二	馬鈴薯、搾乳	廣島一八、熊本二、福岡一、和歌山一
Christopher and Thomas	四五	一、一六一	馬鈴薯、苺、搾乳	廣島二〇、愛知五、山口五、福井五、熊本四、滋賀三、岡山二、東京一
Orilla	三六	一、一五四	馬鈴薯、野菜、搾乳	廣島二八、熊本四、和歌山二、愛媛一
以上白河流域計	二八六	六、七四〇	苺	熊本七、神奈川三、廣島二、福岡、岡山、和歌山、東京、沖繩、各一
「ヴェーシヨン」島	一七	三五一	苺、養蠶	熊本五、和歌山二、大分、山口、山梨、廣島、岡山、奈良、各一
Kaakland	一三	一一五	養蠶	新潟、山梨、滋賀、各一
Mt. Vernon	三	二〇五	馬鈴薯、搾乳	

第九 日本移民ノ状態

(City)	一	八七	毒「トマト」	熊本四、長野二、岡山、広島、愛媛、岐阜、福岡、各一
Belview	四	六四	毒「トマト」	岡山二、東京一、石川一、
以上十四ヶ年計	三一	四八一		
North Yakima	一三	一五一	野菜、牧畜、果樹	和歌山六、神奈川三、岡山、熊本、広島、福岡、各一
Sellah	一	八〇	馬鈴薯、葱	広島一
Kapato	二四	一、四八八	秣草、西瓜、甜瓜、	広島一四、兵庫三、熊本、静岡、山口、佐賀、岐阜、和歌山、各一
Toppenah	七	一、一八〇	馬鈴薯、果樹、	山口二、静岡二、広島、熊本、福岡、各一
以上「ヤキマ」河流域計	四五	二、八九九		

白河流域ニ於ケル農業ノ特色ハ蔬菜ノ栽培ト乳牛ノ飼養ニシテ「グエーシヨン」島及「ベルヴェー」村ニ於ケル農業ノ特色ハ毒ノ栽培「ヤキマ」川流域ニ於ケル農業ハ秣草、西瓜及馬鈴薯ノ耕作ナリトス而シテ農作ノ方法上ヨリ之ヲ見レバ白河流域「グエーシヨン」島及「ベルヴェー」地方ハ同一種類ニ屬シ「ヤキマ」川流域ハ自ラ別種ノ色彩ヲ帯ブ

白河流域及此種地方ニ於ケル農業ハ概ネ小規模ニシテ耕地面積ノ如キ五噓、十噓、二十噓、三十噓、位ノモノ多數ヲ占メ其多キモノニ在リテモ百噓ヲ超ユルモノ罕ナリ「ヤキマ」川流域ニ於ケル農業ハ比較的大規模ニシテ耕地面積、八十噓、百六十噓位ノモノ多數ヲ占メ其多キハ二百六十噓少ナキモ四十噓ヲ下ルモノ罕ナリ

而シテ農業者ハ品彙ニ就キテモ亦白河流域ニ於ケル農業者ト「ヤキマ」川流域ニ於ケル農業者トハ質異ナレル對照ヲ有ス白河流域ニ於ケル農業者ハ渡米以前本邦ニ於テモ既ニ農業者タリシモノ多ク從テ智識ノ程度低ク殆ンド無教育ノモノ少ナシトナサズ「ヤキマ」川流域ニ於ケル農業者ハ多ク渡米以前中等教育ノ課程ヲ履ミタルモノ多ク彼等當初渡米ノ目的ハ修學ニ在リシモ渡米後ノ事情ハ彼等ヲ驅テ修學ヨリモ致富ノ方面ニ轉ゼシメタルモノナルヲ以テ白河流域ニ於ケル農業者ハ主トシテ四十前後ノモノ多キヲ占ムルニ反シ「ヤキマ」川流域ニ於ケル農業者ハ二十歳時代ノ青年多キニ居ル、從テ二者ノ氣風大ニ異リ是レ地理的狀態ノ相同シカラザルニ依ルベケレトモ白河流域ニ於ケル農業ノ集約的傾向ヲ有スルニ反シ「ヤキマ」川流域ニ於ケル農業ノ粗架的ナル所以タルベシ、而シテ白河流域ニ於ケル本邦農業者ノ狀態ニ就キテハ今暫ク之ヲ「云ハズ」「ヤキマ」川流域ニ於ケル本邦農業者ノ中ニ在リテモ North Yakima ニ於ケルモノハ主トシテ North Yakima 市

ニ供給スル蔬菜ノ栽培ニ在リテ其規模稍少ニシテ白河流域ノ夫レニ類ス、「ヤキマ」川流域ニ於ケル本邦農業者ノ特色ハ「ヤキマ」市ノ南方ニ開展セル「ヤキマインデアン」保有地 (Yakima Indian Reservation) ニ於ケル稍大農組織ノソレニシテ「ワバト」及「タツベニツシユ」ニ於ケルモノ則チ是ナリ

「ヤキマ」川流域ニハ八萬噓ノ印度人保有地 (Indian Reservation) アリ然レトモ彼等ハ性來懶怠シテ力耕以テ之ヲ開拓スルノ途ニ出デズ茫々タル平原徒ラニ野兔ノ走驅ニ委シ其開墾セラレタルハ僅ニ二萬噓ニ充ダス而モ此二萬噓ノ地ト雖モ之ヲ開墾シタルハ彼等ニ非ズシテ白人主トシテ Scandinavians ニ在リ本邦農業者ノ手ニヨリテ開拓セラレタルモノ亦二千七百噓ヲ算ス、彼等ハ唯ニ其所有ニ屬スル土地ヲ白人若シクハ本邦人ニ賃貸スルヲ以テ足レリトスルノミ

而シテ「ヤキマ」川流域ニ於ケル印度人保有地ニ本邦農業者ノ初メテ入り來リタルハ一九〇三年ノ事ニ屬シ廣島縣人小林爲次郎ヲ以テ嚆矢トス爾來七年後ノ今日ニ至リ自營農業者ノ數三十一名ヲ算シ印度人ヨリ土地ヲ租借シ耕作シツ、アル面積二千七百噓ヲ算スルニ至リ猶ホ年ヲ經ルニ從ヒ其數多キヲ加ヘントシツ、アルモ是レ等農業者ノ多クハ概ネ小林ノ招致セル所ニ屬シ、彼等ガ獨立自營ノ途ヲ講ズルニ至レル以前一度ハ農業労働者トシテ小林ノ經營セル農園ニ日給二弗ヲ得テ就勞シタルモノニ係リ其互ニ貯蓄セル勞銀ヲ儲出シテ組合組織ノ下ニ自營ノ策ヲ立テ漸次發展シ來リタルモノ多キニ居ルヲ以テ彼等相互ノ間嫉視ノ陋態ナク極メテ敦睦收穫時期ニ際シテハ秣草ノ刈入レニ就キ互ニ助力シテ以テ勞力ノ不足ヲ補ヒツ、アル等殆ント一家族ニ類スルノ觀アリ、其耕作上ノ成績ニ於ケル熱烈ナル競争ハアリ、然レトモ彼ノ白河流域ニ於ケル本邦農業者相互間ニ見ユルガ如キ借地期限ノ滿了ニ方リ之ガ更新ヲ要スルニ際シ高價ナル借賃ヲ提供シテ我勝ニ之ヲ奪取セントシ徒ラニ地主ノ口腹ヲ肥スルニ終ルガ如キ不得策ニシテ且ツ醜陋ナル排他的競争絶テ有ル事ナシ、茫々タル平原人口稀薄ニ敢テ斯カル小策ヲ弄セズトモ其欲スル處ニ從ヒ借地スルヲ得ル四圍ノ狀態ニモ基因スベケレトモ抑モ亦前述セルガ如キ家族の親和ノ致ス所ナルベキナリ

此地方ニ於テ耕作上借地スルニ方リテハ借地面積八十噓ヲ以テ單位トス地ハ「セージプラン」ノ叢生スル犁鋤未ダ到ラザ

ル地ニシテ土地ノ狀況ト契約條件ノ如何ニヨリ借地料ヲ異ニスルモ五十仙以上壹弗ニ至ルヲ普通トス左ニ少シク説述スル所アルヘシ

- 壹噺ノ借地料五十仙ナル場合
- 一、住家及馬小屋ヲ建設シ、井戸ヲ掘ル事
 - 二、五ヶ年後借地期限ノ満了ト共ニ之ヲ持テ去ル事ヲ得ル事
 - 三、住家ハ四百五十弗位ノ建築費ヲ要スル四室ノ家タル事
 - 四、馬小屋ハ四頭ヲ飼養スルコトヲ得ル程度ノモノタル事
 - 五、借地上ニ種ニル農作物ハ借地者ノ隨意タル事
- 壹噺ノ借地料七十五仙ナル場合
- 一、住家及馬小屋ノ建設井戸ノ掘鑿ヲ必要トセザル事
 - 二、借地者ニ於テ隨意ノ住家及馬小屋ヲ建設シ、五ヶ年後借地期限ノ満了ト共ニ之ヲ持テ去ル事ヲ得ル事
 - 三、借地面積八十噺中六十噺ニハ「アルファアルファ」ヲ附付ク事
 - 四、他ノ二十噺ニ種ニル農作物ハ借地者ノ隨意タル事
- 壹噺ノ借地料壹弗ナル場合
- 地ヲノ條件ハ借地料七十五仙ナル場合ト同ク、只土地ノ位置交通機關ニ接近セル等前者ヨリモ便利ナル状態ニ在ルコトヲ廿五仙方高價ナル借地料ヲ拂フニ過キズ

然リ而シテ第一種條件ノ下ニ八十噺ノ土地ヲ借り受ケ之ニ「アルファアルファ」ヲ植付ケント欲スルニ方リ必要トスル創業費概略左ノ如シ

一 住家建築費	四百五十弗	一 馬小屋建築費	二百五十弗
一 井戸掘鑿費	二百五十弗	一 「セーヴララシ」及雜草刈掃費	二百六十弗
一 耕 耘 費	六十弗	一 地 均 費	百 弗
一 植 付 費	六十五弗	一 「アルファアルファ」種子代	二百二十弗
一 澆灌開墾費	二百弗	一 垣 作 費	百 弗
一 馬 四 頭	七百五十弗	一 馬車二臺	二百弗
一 草刈機二臺	百五十弗	一 草播集機一臺	三十七弗
一 草種播機一臺	五十弗	一 右附屬草種播機四臺	三十弗
一 農具雜費及修繕費 一ヶ年分	百 弗	一 馬料(秣草代) 一ヶ年分	二百五十弗
一 生活費(食料薪炭雜費) 二人分一ヶ年	四百弗	一 借地料(八十噺五十仙ノ制)	四十弗
合 計	四千六十二弗		

則チ「ヤキマ」川流域ニ於テ稍々大農組織ニヨル秣草作ニ着手セント欲スルニ方リテハ耕地面積ノ最少限度ニ於テ創業費

概算四千弗ヲ要ス、而シテ五ヶ年後期限ノ満了ト共ニ該地上ニ設定シタル住家、馬小屋、井戸、溝渠、垣ハ土地ト共ニ現狀ノ儘ニテ之ヲ地主ニ無償ニテ讓渡セザルベカラズ、創業當時ニ於ケル是等ノ建設費千二百五十弗之ニ蟠踞セル「セーヴララシ」等ノ刈拂費、地均費及耕耘費、五百二十弗ヲ加ヘテ千七百七十弗、之ヲ五分シ一年三百五十四弗之レヲ八十分ニスル時壹噺四弗四十仙、而シテ是レニ規定ノ借地料五十仙ヲ加フルニ於テ乃チ知ル蕭殺タル「セーヴララシ」ノ叢生セル地ヲ一噺五十仙ノ割ニテ五ヶ年間借地スル時、借地料ハ表面五十仙ノ少額ニ過キザルモ其實約五弗ノ借地料ニ相當セリ而シテ此地方ニ於ケル「アルファアルファ」收穫ノ模様ヲ見ルニ四月ノ候播種シ六月十日前後ニ於テ第一回ノ收穫ヲナシ七月末カ八月初旬ニ於テ第二回ノ刈入ヲナシ九月中旬第三回ノ刈入ヲナスヲ常トシ三回ニ渉ル刈入ヲ合スル時一ヶ年ノ總收穫概算一噺ニ付四噺ヲ普通トシ八十噺ヲ耕作スルニ於テ約三百二十噺ノ秣草ヲ收穫スルヲ得、而シテ秣草直段ハ市價時ニ高低アルヲ免レザレトモ既往ノ經驗ニヨレバ平均相場一噺ニ付十二弗位ナルヲ以テ結局三千八百四十弗ノ收入ヲ見ルコトヲ得ベシ

斯クテ一度播種シタル「アルファアルファ」ハ唯夫レ灌溉ノ途ヲ講ズルニ於テハ引續キ十五ヶ年間位迄ハ年々其儘ニテ收穫シ得ラル、ヲ常トス

是ニ於テカ左ニ掲グルガ如キ結果ヲ齎ラスベシ

三千八百四十弗	耕地面積八十噺ヨリノ總收入
一千三百六十九弗四十仙	右耕作ニ要スル總支出
内 際 二百五十弗	住家、馬小屋、溝渠及垣ノ建築費計千二百五十弗ヲ五分シ一年ニ割當テタルモノ
百〇四弗	「セーヴララシ」刈拂地均、耕耘費計五百二十弗ヲ五分シ之ヲ一ヶ年ニ割當テタル額
五十七弗	「アルファアルファ」種子代及植付費計二百八十五弗ヲ五分シ之ヲ一ヶ年ニ割當テタル額
九十三弗四十仙	馬車、草刈、草播集、草種播及草種播機代(五年後ニハ全ク破損シテ廢棄スベキ状態トナルモノトシテ)計四百六十七弗ヲ五分シテ一ヶ年ニ割當テタル額
百弗	農具、雜費及修繕費 二百五十弗
四十弗	借地料 七十五弗
	馬四頭中二頭養フモノトシテ此代三百七十五弗ヲ五分シテ一年ニ割當テタル額

第九 日本移民ノ狀態

而シテ創業當時資金四千弗ヲ銀行ヨリ借リ入レタルモノトスルモ當地方ニ於ケル銀行ノ貸附利子ハ年壹割二分ヲ以テ普
通トスルガ故ニ假リニ一年間ノ利子ヲ支拂フトスルモ猶且約二千弗ノ收益ヲ見ルヲ得ベキ也、又以テ「ヤキマ、インデヤ
ン、レザー、ペーシジョン」ニ於ケル本邦青年農業者ノ比年其數多キヲ加フル所以ノ理ヲ見ルニ足ルベシ

鐵道勞働者

第二 鐵道勞働者 余ハ茲ニ南部華盛頓州哥倫比亞河流域視察報告書ノ筆ヲ洗ハントスルニ方リ巡視區域ニ於ケル本邦
勞働者ノ状態ニ就テ聊カ記述スル所アラントス

抑モ今回ノ旅行タルヤ十一月二十五日「シヤトル」ヲ發シ十二月十三日歸沙シタルモノナルヲ以テ時恰モ初冬ニ屬シ田園
既ニ收穫ヲ終リタル後ナルヲ以テ離合集散常ナキ農業勞働者ノ状態ニ就キ仔細ニ之ヲ觀察スルコト能ハサリシハ頗ル遺
憾ニ堪エスト雖モ大體ニ於テ鐵道勞働者ノ生活ト同調ニ出ツルヲ信セント欲ス

余カ巡視區域内ニ於テ本邦移民ノ鐵道工夫トシテ就働シツ、アルモノ「ノーザンパシフィック」線ニ約六百人「スポーケ
ン、ポートルランド、シアトル」線ニ約三百五十人アリ本部ヲ「シアトル」ニ有スル東洋貿易會社ノ供給ニ係ルモノニ屬シ現時
ハ十時間勞働ニテ日給一弗五十仙ノ定メナルモ冬期ニ際シ晝間短キヲ以テ九時間ノ勞働時間ヲ有スルニ過キサカ故ニ
一弗三十五仙ノ實收入アルニ過キス月ニ四日ノ日曜日ヲ除キ二十六日間就働スルモノトセハ一ヶ月間ノ勞銀三十五弗十
仙ヲ得ルコト、ナル然レトモ彼等ハ其受負主タル東洋貿易會社ニ對シ其監督ノ下ニ勞働スル限リ其鐵道會社ヨリ受ケル
所ノ勞銀中ヨリ一日五仙宛ノ手数料ト一ヶ月一弗宛ノ事務所費ヲ會社ニ支拂フヘキコトヲ契約セルニヨリ今之ヲ彼等カ
一ヶ月間ノ總收入中ヨリ差引クニ於テ其實收入三十二弗八十仙トナル而シテ彼等勞働者ハ他日病ニ罹リタルトキハ同鐵
道會社所屬ノ病院ニ於テ療養ヲ受ケルノ特權ヲ有スルニ對シ毎月病院費トシテ五十仙宛ヲ鐵道會社ニ仕拂フコトヲ契約
セリ是故ニ彼等ノ實收入ハ更ニ五十仙ヲ減シテ三十二弗三十仙トナル譯ナリ、此外猶時ニ日曜就働時間外就働ヲ要スル
アリテ更ニ幾分ノ臨時收入ヲ得ベケレトモ之ニ反シ一時身體ノ不豫其他ノ事故ニヨリ就働ヲ廢スルコト之レナキニ非ズ

勞働者ノ
減少ト待
遇ノ向上

ルヲ以テ一ヶ年ヲ通シ先ツ一ヶ月平均收入三十二弗ト見テ差支ナキニ似タリ、轉ジテ支出ノ方面ヲ見レハ彼等カ生活狀
態ハ近年著シク向上シタリ勿論人口ノ増加ト土地ノ繁榮トニ伴ヒ物價ノ騰貴シタルニ幾分職由スルモノアリト雖モ今ヲ
去ル四、五年前迄ハ彼等鐵道勞働者ノ生活狀態ハ極メテ慘憺タルモノニシテ食費ノ如キ一ヶ月三弗五十仙乃至四弗ヲ出デ
ス生活費總額六弗位ニ過ギザリシモ現時ハ單ニ食費ノミヲ以テシテ六弗乃至六弗五十仙ヲ計上シ一ヶ月生活費總額十弗
乃至十二弗ヲ計上スルニ至レリ是ニ於テカ彼等カ得ル所ノ收入ト其消費スル所ノ支出トヲ對照スルノ時計數ノ上ヨリ見
レハ一ヶ年二百四十弗位ノ蓄積ヲ爲シ得ヘキモ其實眞面目ナル人格ノ者ヲ以テシテ二百弗ヲ出デサルモノ、如シ

我鐵道勞働者カ鐵道會社ヨリ受ケル所ノ待遇ハ近時大ニ改善セラレタリ以前ハ白人勞働者ニ比シ日給三十五仙乃至五十
仙方低位ノ勞銀ニ甘ゼザルヲ得ザル状態ナリシガ近年我ガ渡米移民制限ノ勵行ハ歸國者ノ數遙カニ渡米者數ノ上ニ出テ
其結果本邦勞働者ノ供給大ニ減少シ東洋貿易會社ニ於テモ鐵道會社ノ要求ニ應ジ其需要ヲ充タスニ足ルノ勞働者ヲ募集
スルコト能ハザルニ至リ一年有半以前ニ於テハ東洋貿易會社カ大北及北太平洋鐵道會社ニ供給シツ、アリタル勞働者數
三千六百ヲ算シタルニ漸次其數減少シ行キ目下ハ二千六百名ヲ算スルニ過キスシテ僅ニ一ヶ年半餘ノ時日ニ於テ一千餘
名ノ減少ヲ來タスニ至リ猶ホ時日ノ經過ト共ニ愈々減少ノ度ヲ昂メントスルノ形勢トナレリ我ガ勞働者ノ減少夫レ如斯
ニシテ其供給十分ナル能ハサルニ至リタルヨリシテ鐵道會社ハ漸次從來本邦勞働者ニ仕拂ヒ來リタル低位ノ勞銀ヲ騰メ
テ我勞働者ノ減退ヲ防止シ以テ其満足ナル供給ヲ得ントスルノ途ニ出ツルニヨリ竟ニ其白人勞働者ニ仕拂フト同額ノ勞
銀ヲ我ガ勞働者ニ提供スルニ至レリ

如斯ニシテ本邦勞働者輸入制限ノ勵行ハ一轉シテ我ガ勞働者ノ供給ノ減少トナリ再轉シテ勞銀ノ昂騰トナリ竟ニ白人勞
働者ト同等ノ待遇ヲ鐵道會社ヨリ受ケルニ至リタリ而シテ其結果ハ如何
本邦勞働者ハ其勞力ノ功程ニ於テ竟ニ白人勞働者ト競争スルコト能ハサルヲ證明スルニ至レリ抑モ鐵道會社カ從來ガ我
勞働者ヲ歡迎シタル所以ノモノハ其白人勞働者ニ比シ勞銀ノ低廉ナルニ比シ彼等カ齎ラス所ノ勞働功程ノ比較的優良ナ

リシニ在リ、然ルニ今ヤ則チ然ラス本邦労働者ノ受クル所ノ勞銀ハ白人労働者ト何等軒輊ナキニ至リタルヲ以テ鐵道會社ニ在リテハ唯夫レ彼等カ畜ス所ノ勞働功程ノ如何ニヨリテ兩者ノ優劣ヲ判シ其選擇ニ任スルニ過キサルコトナレリ、如斯同一勞銀ノ上ニ立チ勞働功程ノ如何ヲ以テ互ニ競爭スルノ外ナキニ至リタル本邦労働者ハ其天賦ノ體力及心神ノ力ニ於テ到底白人労働者ノ敵ニアラサルハ我レ人共ニ首肯セサルヲ得サル所ナルヘシ、蓋シ我労働者ハ一氣呵成ヲ要スル短時間ノ作業ニ於テ白人労働者ニ勝ル所アルモ繼續シテ長時間ニ亘ル作業ニ於テハ彼等ニ及ハサルヤ遠シ、而モ這般ノ一氣呵成的作業ニ於テモ我ガ労働者ノ白人労働者ヲ凌クニ足ルハ食料ノ供給十分ナル時ニ於テノミ然リ其然ラサル場合假令ハ線路故障ノ爲メ交通意ノ如クナル能ハスシテ正午ニ至ルモ食料到達セサルカ如キニ際シテハ我労働者ハ竟ニ何等用ヲ爲スニ足ラス徒ニ鋤鋤ヲ拋棄シテ空腹作業ニ堪ヘサルヲ訴フルノミ此際ニ於ケル我労働者ノ堪忍力ハ能ク一二時間ノ空腹ニ堪フル能ハサルナリ顧フニ我労働者ハ平常極メテ大量ノ食餌ヲ執リツ、アルカ故ニ彼等ノ多クノ者ハ其胃既ニ擴張ノ状態ニ在リテ胃裏或物ノ存在シテ胃ヲ滿タスニ非サルヨリハ彼等ノ身體ハ飄々乎トシテ存在ノ根底ヲ失ヒ又唯作業ニ堪ユルノ力ヲ出タス能ハサルモノ、如ク然リ、之ニ反シテ斯カル場合ニ於ケル白人労働者ハ能ク其空腹ニ耐ヘ時ニ一食ヲ省クノ止ムヲ得ザルニ至ルモ平然トシテ作業ヲ廢スルカ如キコトナシ是レ到底我労働者ノ學フ能ハサル所ニ屬ス是レ或ハ彼等ガ日常ニ於ケル習慣性ニモ依ルヘケレトモ余ノ信スル所ヲ以テスレハ這般堪飢作業力湧出ノ源泉ハ主トシテ彼我労働者ノ身體ノ營養程度如何ニ在ルモノ、如シ而シテ彼等カ身體ノ營養ノ良否ハ主トシテ其日常採リツ、アル食物ノ如何ニ在ルヤ言フ待タス人ハ我労働者ノ生活状態ヲ見テ之ヲ白人労働者ノ生活状態ニ比シ優ルトモ劣ル所ナシト主張スルモノアリ是レ或ハ彼等カ其生活費トシテ月ニ消費スル金額ノ多少ヲ以テ批判スルノ結果ナルニ似タリ、余ハ此點ニ就キ異議ナキ能ハス然リ本邦労働者カ毎月消費スル所ノ生活費ハ其特ニ飲酒ニ耽溺スル者ヲ除ケハ白人労働者ノ費消スル所ノ生活費ト大差ナキニ似タリ而シテ是等労働者ノ生活費中最大部分ヲ占ムルモノハ言フ迄モナク食費ナルヲ以テ白人労働者ノ費消スル生活費ト本邦労働者ノ費消スル生活費トヲ比較スルニ於テ二者生活程度ノ優劣ヲ批判スルハ難

シ然レトモ此二者カ殆ント同額ノ代價ヲ拂ヒテ取リツ、アル食物ヲ比較スルノ時余ハ其間少ナカラサル生活程度ノ差異ヲ見ル他ナシ本邦労働者ノ取リツ、アル食品ハ植物性ノモノ其主タル部分ヲ占メ白人労働者ノ取リツ、アル食品ハ動物性ノモノ其主タル部分ヲ占ムルモノ、如シ、本邦労働者ハ海外ノ異境ニ在リテモ習慣上本邦ニ於ケルト同シク常ニ日本食ヲ取リツ、アリ是故ニ彼等カ食品中ノ最大部分ヲ占ムルハ言フ迄モナク米ナリ而シテ其ノ副食物ニ在リテモ常ニ彼等ノ食卓ニ上ルモノハ味噌汁、干瓢、高野豆腐、其他ノ植物性乾物類、干油揚、海苔、澤庵、味噌漬、奈良漬、カラスシ、漬其他ノ漬物類、鹽漬、干鰯、鹽鮭、松茸、筍、蒟蒻、午券等ノ罐詰類、里芋、馬鈴薯、トコロ、汁、大根、蘿蔔ヲ主トシ牛肉、豚肉、羊肉、鶏肉及新鮮ナル魚肉ノ其食卓ニ上ルハ往々ニシテ之アルヲ見ルノミ然ルニ白人労働者ノ食卓ニハ牛肉、豚肉、羊肉而シテ其或者ノ金曜日ニハ新鮮ナル魚肉ハ殆ント缺タベカラザルモノナルニ似タリ、彼等ハ必シモ肉類ノ上等ナルヲ望マサルモ而モ肉食ヲ斷ツコト能ハサルモノノ如ク然リ本邦労働者ハ主トシテ植物性ノ食物ヲ取リ白人労働者ハ比較的少量ノ動物性食物ヲ取ル是レ兩者身體營養程度ノ異ナル所以ニシテ兼テ體力特ニ體力 *Physical Power* ノ異ナル所以タリ、吾人ハ必スシモ植物性食品ノ動物性食品ニ比シ營養分少量ナリトハ云ハズ然レトモ菜食論者ノ誇ル處ハ心神ノ平靜頭腦ノ明快ニシテ體的獸力ハ其説ク所ニ非サルナリ是レ即ガテ朝食廢止、晝食廢止等ノ減食論者ノ説ク所タリ、而シテ肉食論者ノ誇ル所ハ體的獸力ノ不斷激烈タルニ在リ、是故ニ思索推理ニ專ラナラントスルニハ主トシテ植物性食料ヲ執ル或ハ可ナリ然レトモ殆ント心神ノ特種ナル發作ニ俟タズ終日營々トシテ精力ヲ揮フニ過キサル労働者ノ食料トシテハ比較的刺戟昂奮性ニ富ミタル動物性食料ヲ取ルノ可ナルヲ信セント欲ス

唯夫レ然リ本邦労働者ハ主トシテ植物性食料ヲ採リ白人労働者ハ比較的少量ノ動物性食物ヲ取ル、而シテ二者カ毎月費消スル所ノ生活費ニ於テ殆ンド大差ナキナリ、是ニ於テカ吾人ハ一個ノ疑問ニ逢著スヘシ何ンヤ他ナシ殆ント同額ノ代價ヲ拂ヒテ白人労働者ハ與奮性多キ動物性食物ヲ擇フニ反シ本邦労働者ハ好シテ與奮性少キ植物性食物ヲ採ルハ抑モ何か故ソヤト云フコト是ナリ、余ハ之ヲ以テ彼等カ嗜好ノ異ナルヨリ來ル結果ナリト云ハンヨリモ寧ロ其習慣性ニ基因ス

ル結果ナリト云フノ妥當ナルヲ信セント欲ス、蓋シ是等本邦労働者ノ多クハ其本國ニ在ルノ日多クハ田園ニ在リテ犁鋤ヲ執リ芋、大根、午葱等ノ野菜類、高野豆腐、干瓢等ノ乾物類、干鰯、鹽鮭等ノ乾鹽魚ヲ常食トシ是等食料品ノ極メテ低廉其或物ニ在リテハ自作ニ係リテ殆ント無代價ニ等シキモノタルヲ知了シ牛肉、豚肉、羊肉及鮮魚等ノ頗ル高價ニシテ之ヲ其食用トナスハ贅澤ニ失スルモノナリト知了セルノ習慣性ハ深ク彼等ノ腦裡ニ染透シ海波洋々四千余哩ヲ隔テタル此異域ニ在リテモ這般ノ觀念ハ牢乎トシテ根底動カズ運賃ト輸入税トニ加ヘテ之カ取扱商店ノ高價ナル家賃、店員ノ俸給其他各種ノ營業費ヲ負擔スルノ結果、本邦ニ於ケル是等食料品直段ニ數倍スル高價ニシテ是等本邦產野菜、乾物及干鹽魚ハ米國ニ於ケル牛肉、豚肉、羊肉及鮮魚類ニ比シ決シテ低價ナラザルノミナラズ寧ろ或ハ遙カニ高價ナル場合アルニ拘ラズ彼等ハ性來ノ習慣上低價ナル動物性食料品ヲ捨テ比較的高價ナル植物性食物ヲ取リ以テ生活費ノ節約ヲナシ得タリト思惟シツ、アルナリ其愚構ムニ堪ヘタリト雖モ彼等ノ根底ニ蟠踞セル習慣性ハ容易ニ其改遷ヲ許サ、ルナリ而シテ又一方ニハ是等本邦労働者ニ競フテ食料品ノ供給ヲ爲シツ、アル在「シアトル」等ノ本邦人商店ハ是等本邦產野菜、乾物、鹽乾魚、及各種罐詰及漬物類ヲ營々トシテ彼等ニ賣付ケツ、アルヲ以テ彼等ノ合宿所ノ厨房ニハ常ニ是等本邦產植物性及鹽乾魚類ノ食料品存在スルヲ以テ彼等ハ勢ヒ財囊ヲ提ケテ賣肉店ニ馳ルヨリモ其厨裏ニ堆積セル是種食料品ヲ以テ其食卓ヲ飾ラントスルニ至ルモノ、如シ

而シテ如上ノ結果ハ殆ント同額ノ生活費ヲ費消シツ、アルニ拘ラス本邦労働者ノ體質ハ概シテ白人労働者ノ體質ニ劣ルノ結果トナリ延ヒテ其齋ス所ノ労働功程ニ於テ本邦労働者ハ竟ニ白人労働者ニ一籌ヲ輸セザルヲ得ザルノ結果トナリ更ニ他方本邦労働者排斥ノ一大原因ヲ醸成スルノ結果トナル余ハ後章ニ之ヲ縷述スルノ機會アルベキヲ信ス
 既ニ然リ我労働者ハ其體力及心神ノ力ニ於テ竟ニ白人労働者ニ其產出スル労働功程ニ於テ遺憾ナガラ一籌ヲ輸セザルヲ得サルノ外更ニ我労働者ヲシテ其労働功程ヲ減退セシムル所以ノ一自覺ヲ喚起セシメタルコトアルハ何ソヤ他ナシ我労働者ハ本邦労働者渡米制限ノ結果ハ労働者ノ供給ヲ乏シカラシメタルガ故ニ此労働供給ノ十分ナラザル際ニ於ケル自己

鐵道ニ於
 於本邦
 人労働者
 之不足
 補人ヲ
 希シト
 コトナ
 レリ

ノ有無ハ唯夫レ一人タリト雖モ鐵道會社ニ取リテハ頗ル重要視シツ、アルナラントノ慢心ヲ起スニ至リタルト一面我労働者ノ供給不充分ナルヲ以テ肯テ鐵道労働ヲ因襲セザルモ容易ニ他ノ職業ヲ求メ得ヘシトノ考ヲ起スニ至リタルコト是ナリ、其結果ハ彼等ガ自己ノ職務ニ對スル誠心ヲ薄ラゲ叨ダリニ監督者ノ指揮ニ逆ラヒ延ヒテ其労働功程ニ少ナカラザル影響ヲ及ホシ鐵道會社ヲシテ又太本邦労働者ヲ歡迎吸收スルノ念慮ヲ甚深ナラザラシムルニ迫ベリ是ニ於テカ鐵道會社ハ漸次本邦労働者ノ缺乏ヲ補フニ白人特ニ希臘人ヲ以テスルニ至レリ

蓋シ我ガ移民ノ輸入ハ如斯嚴ニ制限セラレツ、アリト雖モ之ニ反シ歐洲移民ハ滔々トシテ懸河ノ如キ勢ヲ以テ大西洋岸ニ移入シ來リ就中希臘人伊太利人最モ多シ此故ニ一方太平洋沿岸ニ於ケル本邦労働者ハ年々其數減少スト雖モ而モ職ヲ求メテ東部ヨリ來レル歐洲移民ノ労働者ハ所在ニ群集セルノ狀態ナルヲ以テ鐵道會社ニ取リテハ一面我ガ労働者ヲ失フモ他面殆ント限リナキ白人労働者ノ供給アルヲ以テ必シモ之ニヨリテ甚シキ不便ヲ感ゼザルナリ、而シテ是等伊太利及希臘労働者ハ性頗ル堅實ニシテ一度占居シタル職業ハ飽迄之ヲ確守シ猥リニ他ヲシテ之ヲ窺伺スルヲ許サハラントスルノ風アリ我労働者ノ如ク轉職移動ヲ好マサルカ故ニ本邦労働者ガ其性來ノ通弊タル移動ノ結果一度其棄テタル地位ヲ彼等ニヨリテ補順セラレ、ニ及ベハ最早ヤ永久其職ヲ喪失シタルニ等シク之ヲ我ガ手ニ復歸センコト亦容易ノ業ニ非ザルナリ然レトモ現時我鐵道労働者ノ多クハ自己同系ノ労働者ノ供給十分ナラザルノ事實ノミヲ知リテ未ダ這般ノ緊要ナル自覺ヲ有セザルニ似タリ斯クノ如クニシテ北西部、太平洋沿岸ニ於ケル本邦労働者カ主トシテ其生命ヲ托シタル鐵道工夫ノ職ハ漸次歐洲新來ノ是等白人労働者ニヨリテ占居セラレ、ニ至ラントス

第三 本邦労働者ノ群集ガ其集屯地ニ於ケル白人社會トノ關係 余ハ既ニ前章ニ於テ本邦労働者ノ鐵道會社ニ對スル關係ヲ概説シタリ余ハ更ニ轉シテ本邦各種労働者ノ群集カ其所在地ニ於ケル一般住民即チ米人ニ對スル關係ニ就キ少シク記述スルノ要アルヲ信セント欲ス

本邦労働者
 其地

一言以テ之ヲ評セハ我労働者ノ群集ハ其鐵道労働者タルト農業労働者タルト將タ製材所労働者タルトニ論ナク其散居就

トノ米人ノ
利益ノ關係
トノ米人ノ
利益ノ關係
トノ米人ノ
利益ノ關係

働セル地方ノ米人ヨリシテ毫モ歡迎セラレ居サルモノ、如シ其理由如何ト曰フニ是等ノ我ガ労働者ノ群集ハ其所在地
方ノ米人ト何等經濟的利益ノ關係ニ立タザレバナリ、換言スレハ我労働者ノ集屯セル地方ハ概テ人口五、六百多キモ一
千ヲ算スルニ過キササル一小都邑ナリ、而シテ此一小都邑ニ三十名乃至五十名ノ一團タル我ガ労働者ノ群集アリ、彼等ハ
其集屯地ニ於ケル白人社會ト嚴ニ一劃ヲ形成シテ籠居シ敢テ彼等ト交渉ノ地位ニ立タサルナリ即チ彼等ハ日常ノ食料品
全部ヲ鐵道労働者ハ其受負主タル東洋貿易會社ヨリノ供給ニ委シ農業労働者及製材所労働者ハ其食料品及其他日用必需
品ノ殆ント總テ「シアトル」ニ於ケル古屋商店又ハ日米仲買會等ノ本邦人商店ヨリ購求シツ、アルノ状態ニシテ古屋
商店及日米仲買會ノ如キハ常ニ數名ノ店員ヲ地方ニ於ケル本邦労働者ノ所在地ニ派遣シ互ニ競争シテ其注文ヲ強取シ
ツ、アリテ是等注文取店員ノ足跡ハ山間僻地ニ於ケル本邦労働者ノ群集其數僅カニ十名ニモ滿タサル處ニモ到レルナリ
加之彼等労働者ハ襪衣、靴、足袋等ノ如キニ至リテモ其集屯地ニ於ケル合宿所ヲ去ル僅カニ一丁ニモ充タサル處ニ在ル
其地ノ白人店舖ニ就キテ之ヲ買ハス郵書ヲ飛シテ前記本邦商店ヨリ鐵道便ニヨリテ其供給ヲ受クルノ途ニ出テツ、アル
モノ多シ斯クノ如クニシテ我労働者ハ日常必需ノ食料品タル米、醬油、味噌等ハ素ヨリ靴、足袋、襪墨甚タシキハ使所
用紙ノ末ニ至ル迄一切ノ必需品ヲ舉ケテ全部「シアトル」地方ニ於ケル本邦人商店ノ供給ニ委シツ、アルノ状態ナリ彼等
ハ其需用品ノ殆ント一物スラモ其所在所ニ於ケル米人等ノ經營ニ成ル店舖ヨリ購求スルコトヲ敢テ爲サス又前記本邦人
商店ハ彼等ヲシテ爾カセサラシメントスルニ汲々トシテ努メツ、アルニ似タリ是故ニ本邦労働者ノ群集假令其數三十、
五十、百人多キニ達スルモノアリトスルモ彼等ノ存在ハ其所在地ニ於ケル經濟關係トハ殆ト沒交渉ノ地位ニ立チ其地ノ
住民タル米人トハ何等經濟的利益ヲ有セサルナリ白人労働者ハ之ニ反シ彼等ハ其日用品殆ト總テ其屯集地ニ於ケル店
舖ニ就キ購求スルヲ以テ彼等ノ三十、五十又ハ百名ニ達スル一團ノ群集ハ其集屯地タル一小都邑ニ取リテハ著シキ經濟
的關係ヲ有シ該群集ノ購買力ハ其ノ集屯地ヲ調スコト決シテ少シトナサ、ルナリ是レ本邦労働者カ其所在地ニ於ケル米
人社會ヨリ排斥セラレ、主要ノ原因タリ余ハ其最モ適切ナル一例ヲ本年六月「スノホミツ」郡 (Shoshonah County) ニ於

ケル一小市邑タル「ダーリントン」(Darrington) (シヤトル州北約八十哩)ニ起リタル事件ニ於テ之ヲ見タリ「ダーリントン」ハ未タ市ヲ
形成セサル人口八百ニ充タサル一小村落ニシテ茲ニ「United States Lumber Co.」社ノ經營ニ成ル製材所アリテ白人労働者
七十餘名ヲ使用シツ、アリタルカ今製材所ニ於テハ偶々其ノ使用ニ係ル白人労働者ノ移動多キヲ遺憾トスルノ意ヨリ他
ノ製材所ニ做ヒ本邦労働者ヲ試用セントシ六月初旬本邦労働者ニシテ同業ニ經驗アル者二十一名ヲ備役スルコト、ナシ
タリ然ルニ是等本邦人労働者ノ群集ハ該地到著ノ日ヨリ其必需品ノ一切ヲ舉テ「シアトル」ニ於ケル日米仲買會ヨリノ
供給ニ委シ同地ニ於ケル米人店舖ヨリハ一物ノ購買タモ爲サ、リシヲ以テ從來同製材所ニ於ケル労働者ノ群集ヲ以テ大
切ナル得意トナシツ、アリタル一小村落タル該「ダーリントン」ノ住民ハ若シ斯ノ如クニシテ本邦労働者ノ移入多キヲ致
シ白人労働者ノ數減退スルニ於テハ彼等ガ直接蒙ルベキ經濟上ノ損害少ナカラサルヘキニ顧ミ竟ニ「ダーリントン」ノ住
民一致シテ同月十四日日本邦労働者ヲ襲ヒテ即刻同村ヲ立退クベキヲ強制シ武器ヲ以テ彼等群集ヲ同村外ニ放逐シ爾後同
製材所ヲシテ再ヒ本邦労働者ヲ便役スルコト能ハサラシムルニ及ヘリ余カ今回巡視シタル地方ニ於テハ未タ斯クノ如キ
極端ナル本邦労働者排斥ノ實例ニ接セサルモ而モ本邦労働者カ到ル處其集屯地ニ於ケル米人社會ヨリ忌憚セラレツ、ア
ルハ如何ナル好辭ヲ以テスルモ之ヲ蔽フヘカラス世々々ニシテ本邦労働者排斥ノ根據ヲ主トシテ労働組合ノ勢力ニ置ク
者アリ然レトモ今日ニ於テハ本邦労働者排斥ノ聲ハ何等「レーボルユニオン」ノ勢力存在セサル山間ノ一小村落ニモ聞ユ
ルヲ報道セサルヲ得サルヲ遺憾トス而シテ其理由ハ本邦労働者ノ群集ハ其集屯地ニ於ケル米人ト何等經濟的利益關係ヲ
有スルノ地位ニ立タサルニ在リ、而シテ是レ我労働者固有ノ孤立的性辭ニモ幾分由ルヘケレトモ他面主トシテ「シアト
ル」等ニ於ケル本邦人商店ノ競争的活動ノ招致スル所ナラサルヤ恐ル余ハ此點ニ於テ「シアトル」其他都市ニ於ケル食
料雜貨ヲ主トシテ取扱フ本邦人商店ノ發展ハ地方ニ於ケル本邦労働者排斥ノ根據ヲ強固ナラシムル所以ノ最大原因ナル
ヲ信シ彼等カ競フテ其氣ノ利キタル店員ヲ地方ニ特派シ若クハ其受負監督ノ下ニ就働スル労働者ニ一切ノ必需品ヲ舉ケ
テ供給シ之ヲ其勞銀ノ中ヨリ差引ク等ノ方法ニ依リ汲々乎トシテ所在ニ散布セル本邦労働者ノ購買力ヲ吸收シ彼等ヲシ

馬哇島視察報告書

一七六
テ一仙タリトモ他ニ消費スルコトナカラシメント魔心シ以テ其ノ大ヲ致シツ、アル本邦人商店ノ得々タル状態ヲ見ルノ
時本邦移民政策上喟然トシテ長大息ヲ禁セサラント欲スルモ能ハサルモノアリ

馬哇島視察報告書

(布哇本邦移民現狀一斑)

目次

第一章 概 說	一七七
第二章 甘蔗耕地	一七八
第一節 砂糖製造會社ノ現況	一七八
第一目 事業ノ大要	一七七
第二目 製造所	一七八
第三目 灌 溉	一七八
第四目 附屬設備	一七八
第五目 使用勞働者國籍別	一七八
第二節 本邦勞働者狀態	一八八
第一目 勞働人員	一八八
第二目 收 支	一八八
第三目 貯 蓄	一八八
第四目 永住ノ傾向	一八八
第五目 住居ト雇主トノ關係	一八八
第六目 其他ノ設備	一八八
第七目 教育ト宗教	一八八
第八目 娛樂機關	一八八
第九目 風 俗	一八八
第十目 將 來	一八八
第三節 外國勞働者	二〇一

第三章 鳳梨耕作及製造業	二〇二
第一節 耕作及製造ノ現況	二〇二
第二節 本邦人鳳梨經營事業ト將來	二〇三
第四章 護謨栽培事業	二〇四
第一節 事業ノ概要	二〇四
第二節 本邦勞働者ノ現況	二〇五
第五章 玉蜀黍耕作事業	二〇六
第一節 本邦勞働者ノ現況	二〇六
第二節 將 來	二〇七

馬哇島視察報告書

在「ホノル、帝國總領事館

外務書記生 中

村

修

第一章 概説

面積及人口

東南端ハ
平野少ク
陸路交通
ノ便チ欠

馬哇島 (Maui) ハ布哇群島中ノ一ニシテ其廣袤布哇島ニ亞キ大ナルモノニシテ「ホノル、」港ノ東南ニ位シ布哇 (Hawaii)「モロカイ」(Molokai)「ロー内」(Lanai)「カホーラウキ」(Kahoolawe) 諸島ノ間ニ介在セリ、廣袤七百二十八平方哩人口約二萬五千ヲ算ス、地形西北ニ狭クシテ東南ニ廣ク中央ノ狭キ地頭ヲ以テ之ヲ連結シテ一島ヲ形成ス、其最モ狭キ所ハ七哩ニ過キス古昔ハ二島ニ分レタリシガ後噴火岩ニ依リテ地陝ヲ埋積シテ今日ノ地平層ヲ構成シタルモノナリトノ傳説アリ、東南部ノ中央ノ較ヤ東ニ偏シテ「ハレヤカラ」(Haleakala)ノ熄火山時チ高サ一萬〇〇三十二呎其山勢緩舒殆ント東南部ノ過半ヲ蔽ヒ其西北山麓ト地頭部ニ連亘シテ廣大ナル沃野ヲ形成シ此所ニ「ポールドウヰン」一家ノ經營ニ係ル偉大ナル甘蔗耕地アリ山嶺ノ背後ニ位セル東南端ハ狭小ナル海邊ノ平坦地ヲ除クノ外ハ殆ント山嶺重疊交通ノ便ヲ缺ク、此狭小ナル地域ハ所謂多雨地帯ニシテ全ク降雨ニ倚賴シテ「ハナ」(Hana)及ヒ「キパフル」(Kipahulu)ノ兩甘蔗耕地及ヒ「ナヒク」(Naihi)ノ護謨栽培地アリ、又タ前記地頭ノ西北部ハ中央ニ高サ數千呎ノ山嶺アリ之カ西南及西北部ニ開ケタル平原ニ「ラハイナ」(Lahaina)「カアナバリー」(Kaunapali)及ヒ「オロワル」(Olowalu)ノ甘蔗耕作地ヲ見ル「ラハイナ」ハ地形上風雨少ク暑熱強キヲ以テ名アリ其他前記各耕作地ハ概ネ涼風ヲ以テ暑氣ヲ緩和シ一般ニ「ホノル、」地方ヨリ温度低ク市港ハ右「ラハイナ」及地頭ノ北部ニ「カフルイ」(Kaunahu)西端ニ「ハナ」(Hana)ノ三港アリ「ラハイナ」及「ハナ」ハ良港ト稱スヘカラス船客貨物ノ積載上陸端舟ニ依ラサルヘカラサルモ「カフルイ」ハ港内水深ク且ツ防波堤ヲ築キ既ニ數萬弗ヲ費シテ各般ノ設備ヲ整

交通

太平洋沿岸ヨリ直通ノ汽船モ直チニ横着ケニスルコトヲ得ヘク前記「ポールドウキン」一家ノ事業タル「ブウネネ」(Paine)及ヒ「パイア」(Pain)ヨリ砂糖搬出ノ爲メ此港ヨリ中央都市タル「ワイルク」(Waialua)ニ亘リ鐵道ヲ布キ「カフルイ」鐵道會社 (Kahului Railroad Co.) 此港ニアリ「ホノル」港ヨリ「ラハイナ」(此距離七哩)、「カフルイ」(九十哩)及ヒ「ハナ」(百二十哩)ヲ經テ布哇島ヲ往來スル Inter Islands Steamship Company ノ汽船二隻一週二回「ホノル」港ヲ發ス前記「ワイルク」及ヒ「ラハイナ」ノ兩市港ハ市街ヲ構成シ人口數千稍ヤ繁盛ノ象ヲ呈セリ其他ハ各耕地内ニ労働者其他カ便宜ノ地位ニ一群ヲ爲シテ散在シ之ニ附屬セル店舗、學校、寺院等並設セラル、ト其他各處ニ於テ野菜耕作ニ従事セル小農所々ニ散住シ其他前記「ハレヤカラ」ノ山嶺ニ據リテ Haleakala Ranch Company ノ經營ニ係ル牧羊事業アリ是レ亦タ「ポールドウキン」一家ノ附屬産業ノ一ニシテ地域一萬餘噓ヲ蔽ヒ牧羊ノ數八千餘頭ニ及フ、交通ノ便ハ前掲鐵道十二哩ノ外各耕地内ハ坦路縱横ニ開ケ交通自由ナルカ唯タ「ハレヤカラ」山嶺ノ東南部ハ山嶺崎嶇殆ント二十餘哩間ハ前記西麓曠野灌溉ノ爲メ山ニ依リ路ニ沿ヒ隧道ヲ鑿チ莫大ノ經費ヲ以テ近年竣成シタル溝路 (Glehn Road) ニ沿ヒ馬背ニ依ルノ外陸上交通ノ路ナシ、其他河川交通ノ便無シ

第二章 甘蔗耕地

第一節 砂糖製造會社ノ現況

第一目 事業ノ大要

砂糖製造會社

馬哇島ニ於ケル砂糖會社ノ現在セルモノ左ノ如シ

- (1) Hawaiian Commercial & Sugar Company
- (2) Maui Agricultural Company
- (3) Pioneer Mill Company
- (4) Waialuku Sugar Company
- (5) Olowalu Sugar Company

糖業ノ隆盛ノ原因

布哇ニ於ケル砂糖製造事業ハ一千八百九十八年其北米合衆國ニ合併セラレタルヨリ以來長足ノ進歩ヲ示シタリト謂フヘク右合併以前ニ於テハ各島ヲ通シテ生産額二十二萬九千噸ニ過キサリシカ千九百一一年ニ於テ三十六萬噸ヲ示シ本年豫想額ノ如キハ五十六萬噸ヲ超ユルニ至レリ蓋シ米布合併以來合衆國政府ノ獎勵ト事業家ノ經營ト相俟チテ耕作法ノ改良製造機械ノ改良、灌溉法ノ進善ト各會社カ共同ノ利益ニ向テ歩調ヲ齊一ニシテ之カ目的ヲ以テ耕主組合ヲ組織シ農事試驗所ヲ設ケ銳意本産業ノ興隆ニ向テ努力シタルカカ發展ノ主因ヲナスモノニシテ各耕地ニ於テハ上記産業振作ノ爲メ必要ナル設備ノ整頓ヲ圖ルノ外漸次其労働者家屋ノ改良ト之ニ附屬スル教育、宗教、衛生及ヒ娛樂機關ノ整備ニ注目シ且ツ附帶事業トシテ孤兒院、養老院其他ノ慈善事業ヲ興シ着々トシテ直接間接ニ労働能力ノ増進ト其品業ノ改善トニ努力セントスル傾向ヲ示シ來レリ今ヤ馬哇島ニ於ケル各砂糖會社ニ就キテ其經營セル事業ノ大要ヲ左ニ概叙セントス

「マウイ」ニ於ケル砂糖會社ハ其規模最大ニ

(1) Hawaiian Commercial & Sugar Co. 千八百七十七年「スプレケル」(Speake)ノ創設シタル後ヲ承ケ本砂糖會社ノ耕地ハ前記本島地頭部ニ近ク北海岸ヨリ南海岸ニ亘リ一方「ハレヤカラ」山嶺ノ麓ニ亘リ十數哩ニ跨ル廣漠タル地域ヲ擁シ曾テ獨立シタル「キイ」(Kilauea) 耕地ヲ併合シ約二萬三千噓ニシテ此中甘蔗耕地ニ適セル地積凡一萬八千噓ニ及フ布哇群島ニ於ケル各耕地ヲ通シテ規模最大ヲ以テ稱セラル製造所其他主要機關ハ「ブウネネ」、「ラハイナ」(Waialua) 種其大部分ヲ占ム其他「ローズバンブー」(Rose Bamboos) 等ノ品種ヲモ試植セルモ僅カニ一部分ニ過キス本年ノ收穫ハ近年ニ稀ナル豐作ニシテ約五萬五千噸ナルベシト云フ、本耕地ニ於テ收穫シタル黍ハ耕地内ヲ通シテ縱横ニ布設セラレタル輕便鐵道(八十哩)ニ依リ之ヲ搬送シ前記「カフルイ」鐵道會社ノ汽車ニ依リ之レヲ「カフルイ」港ニ運送ス「カフルイ」港ヨリ太平洋沿岸ニ直通ノ汽船ニヨリ之ヲ運送スルモノトス「パイア」(Paine) ニアル Maui Agricultural Company トハ耕地相接シ本鐵道會社トモ皆ナ「ポールドウキン」一家ノ經營ニ係ルモノニシテ實ニ本島ニ於ケル事業ノ最モ樞要部分ヲ占メ實際ニ於テ産業上一島ヲ支配スルノ狀ヲ呈セリ斯クノ如ク事業ノ隆盛ヲ來セシ主腦タリシハ「エツチ、ビー、ボ

「ルドウイン」(H. E. Iahwin) ニシテ全氏ハ砂糖王ノ稱アリシガ本年六月死亡シ本會社ハ目下其子「エフ、エフ、ボールドウ井ン」カ支配人トシテ經營シ居レリ本會社ノ資本其他ヲ示セハ左ノ如シ

- 一、資本 千 萬 弗
- 一、千九百〇九年支拂配當額百三十六萬弗
- 一、同年純益 百五十八萬三千四百九拾九弗七拾六仙
- 一、同年一噓産額 八噸三一
- 一、一株價格 二十五弗

(2) Maui Agricultural Company 本砂糖耕地ハ Hawaiian Commercial & Sugar Co. ニ隣接シテ「パイア」(Paia)ヲ主屬トシテ「ハマクアボコ」(Hamakua piko)ヲ併有シ千九百四年ノ創立ニ係リ目下全會社ノ所有ニ係ル地域ハ合計約三萬三千噓ニ亘レトモ實際耕作ニ用ヒラレ居ルハ凡ソ一萬二千五百噓ナリトス蔗種ハ重ニ「ラハイナ」種ナリトス目下ノ支配人ハ前記「エツチ、ビー、ボールドウ井ン」氏ノ長子「エツチ、エー、ボールドウ井ン」氏ナリ今マ本會社ノ資本其他ヲ示セハ左ノ如シ

- 一、資本 四百九十萬弗
- 一、千九百九年收穫 二萬八千八百〇八噸
- 一、一株價格 百 弗

(3) Pioneer mill Co. 當會社ハ「ラハイナ」ニ其製造所ヲ置キ二萬五千噓ヲ有シ其中耕作ニ充テラレタル地積八千噓餘ニ及ブ土壤ハ赤色ノ冲積層ニシテ頗ル甘蔗ノ栽培ニ適ス此地ニ在リテハ甘蔗ハ海拔二千呎ニ至ル迄耕作スルコトヲ得ヘシ當地ニ於テハ「カレドニア」(Caledonia)其他ノ異種アレトモ「ラハイナ」種最モ地味ニ適ス此耕地ニアリテハ殊ニ本種最モ蠅ノ如キ害蟲ノ侵蝕ヲ被ルコト少シト稱セララル

當會社ノ資本其他左ノ如シ

- 一、資本 二百七十五萬弗
- 一、千九百九年純益 七十一萬九千六十八弗一仙
- 一、同年收穫 二萬七千五百十四噸
- 一、一株價格 百 弗
- 一、同年利益配當 六十六萬弗
- 一、支配人 L. Weizhauer

(4) Waialuku Sugar Co. 本會社ハ其淵源遠ク五十年前以前ニ發シ最初當群島ノ王カ之ヲ經營セシ所ノモノナリトス目下甘蔗耕地ニ用ヒラレ居ル面積約五千五百噓ニシテ「ワイルク」(Waialuku)「ワイハイ」(Waiahi)及ヒ「ワイカブ」(Waikapu)ヲ併轄

ス、當耕地ハ布哇各耕地中最モ産額豐饒ナル地方ノ一ニシテ地質ハ高地ニ在リテハ黑色重粘土ニシテ低地ニアリテハ較ヤ砂質ナリ一噓ノ收穫平均七噸ニ上ルトイフ

資本其他左ノ如シ

- 一、資本 百五十萬弗
- 一、千九百九年純益 五十四萬五千五百七十三弗三十三仙
- 一、同年配當 四十七萬二千五百弗
- 一、同年收穫 一萬七千七百六十噸
- 一、支配人 H. B. Penallow

(5) Olowalu Sugar Co. 本耕地ハ「ラハイナ」ノ東六哩「ワイルク」ノ西南十八哩ニ位シ所有地積一千噓實際耕作面積僅カニ五百噓ニ過キサル小耕地ナレトモ比較的有利ナル會社トシテ知ラル土質ハ粗鬆ニシテ「ラハイナ」種大部分ヲ占メ小地面「カレドニア」種ヲ栽エ起原ハ約三十年以前ニシテ海拔二百呎以上ニテハ望無シト云フ

資本其他左ノ如シ

- 一、資本 十五萬弗
- 一、一株價格 百 弗
- 一、千九百九年純益 四萬千八百八十六弗三十六仙
- 一、同年配當 一割九分
- 一、同年收穫 千八百二十九噸
- 一、支配人 「ジョージ、ギッブ」(George Gibb)

(6) Kaeleku Sugar Co. 本會社ハ元ト「ハナ、ブランドーシオン、コムバニー」(Hana Plantation Co.)ト稱セラレタルヲ千九百五年ニ至リ現今ノ名ニ改メラレタリ耕地ハ「ハナ」(Hana)及「カレク」(Kaeleku)ノ兩地ニ分ル本島ノ東部山嶺ノ海ニ迫レル一帯ノ地ヲ占メ地面傾斜多雨地帯ニシテ全ク降雨ニ依ル所有地積約三千噓、内凡二千八百噓ヲ耕作ス内「カレク」千五百噓、「ハナ」千二百噓トス目下一年ノ製造高五千五百噸位ナリ支配人ハ「ジョン、チャルマース」(John Chalmers)ナリ

(7) Kipahulu Sugar Co. 全耕地ハ前記「カレク」砂糖會社耕地ノ南海岸ニ沿ヘル狭小ナル地域ヲ占メ約一千噓ヲ有シ蔗種ハ主ニ「カレドニア」種ナリトス、砂糖ノ産額ハ本年ハ約二千三百三十噸ニ上ルヘキ豫想ナリト云フ支配人ハ「アービン」ト稱スル支那人ニシテ各局ヲ通シテ此等會社ノ事務ヲ管理スル唯一ノ清國人ナリトス本耕地ハ降雨ノ外灌溉ヲ要セサル

コト「カエレク」會社ニ同シ

砂糖製造

第二目 製造所 Hawaiian Commercial & Sugar Company、ハ前項ニ記載セルカ如ク布哇各地ヲ通シテ各砂糖會社中規模最モ雄大ヲ以テ稱セラレ隨テ製造所ノ如キモ亦規制最モ整備シ最モ新式ノ機械ヲ据付ケ諸般ノ設備モ亦々模範トスルニ足ルヘキモノアルヘキニ依リ先ツ本會社製造所内部組織ノ概要ヲ擧ケ以テ一般ヲ推サントス

現今ノ製造所ハ千九百年ヨリ千九百二年ニ亘リ建設セラレ長サ四百呎幅三百呎ニシテ砂糖製造所トシテハ世界最大ヲ以テ稱スヘカラサルモ其製造高ニ於テ群島各地製造所ニ冠タリ、砂糖製造機械ハ所謂十二輾機「ローラー」ニ臺ヲ裝置シタル製造所ニケ所ヨリ成リ其大サ長サ七十八呎幅三十四呎ニシテ斯クテ蔗莖ハ適宜ニ截斷シテ鐵道車輛ニヨリ製造所ニ搬送シ旋轉截斷機 (Revolving Knife) 及壓碎器 (Crusher) ニ轉置セラル次ニ蔗莖ノ殘滓ハ自動的ニ火爐ニ運搬セラル、モノトス汽罐室ニアリテハ長サ二十呎幅七呎、汽罐十四臺二列ニ配置セラレ尙六臺丈ケヲ据ユル餘地アリ第一製造所ノ輾機六臺及壓碎器ハ七百五十馬力ヲ有スル「ハミルトン、コーリス」(Hamilton Corlies) 機關ニヨリテ運轉セラレ他ノ三臺ハ別ニ二百五十馬力ヲ有スル機關ニヨリ運轉ス、而テ第二製造所ハ第一製造所ト同様ノ機關ニ依リ運轉ス壓搾シタル糖汁ハ上層ニ在リテ各三千五百瓦ノ容積ヲ有スル貯槽「ギルド」(Gird) ヒ及「カリソン」(Garison) 唧筒ヲ通シテ汲上ケ此處ニ於テ石灰ヲ加ヘ且ツ之ヲ計量シタル後更ニ蒸熱器ヲ通シテ間歇沈澱器二十八個ニ導キ以テ混塵ヲ沈澱セシム、斯クテ純潔ナル糖汁ハ之ヲ濾過器十個ヲ通シテ蒸溜器ニ流下セシム又タ沈澱器底ニ沈下シタル混塵ハ他ノ沈澱器十個ニ移シ之ヲ石灰ト混和シ壓澱器ニヨリ純汁ト泥塵トヲ別チ泥塵ハ耕地ニ送リテ肥料トナシ純汁ハ上層ニ送リテ上記ノ純精糖汁ト混合シテ之ヲ蒸溜器ニ送ルナリ「リリー」(Lille) 式ノ蒸溜器ニ臺ハ二十四時間ノ糖汁四十五萬瓦ヲ蒸溜セシムルノ力ヲ有シ而シテ蒸溜器ヨリ蒸發スル糖汁ノ分量ハ僅ニ全量ノ三割ニ過キス他ハ合利別トナリテ殘ル、之ヲ「キルビー」(Kilby) 式ノ乾糖三十五噸ヲ容ル、ニ足ルヘキ真空鍋 (Vacuum Pan) 四個ト二十五噸ヲ充スヘキ「デーレー」(Deley) 式ノモノ一個ニ導キ之ヲ煮沸シテ後徑四十吋ノ遠心爐 (Centrifugal) 二十八個ニ移シ以テ乾燥ス斯クテ第一種ノ砂糖及糖蜜ヲ得ルコトハナルカ

糖蜜利用

廿四時間
百七十五
噸ヲ得ル
トナルコト

此砂糖ハ直チニ之ヲ袋ニ入レ機械ノ力ニヨリテ之ヲ閉鎖スルモノトス此機械ヲ用ユルトキハ一人ニシテ能ク一分間ニ三袋ヲ縫上クルコトヲ得ヘク之ヲ他ニ轉置スルニハ二人ヲ要ストイフ、此第一種ノ糖蜜ハ十二個ノ結晶器ニ移シ約六日間攪拌シタル後遠心爐ニ依リ乾燥セシメ斯クテ第二種砂糖及第二種糖蜜ヲ得ルナリ第二種砂糖ハ再ヒ加工シテ第一種砂糖ヲ製シ第二種糖蜜ハ劣質ナレハ燃料又ハ家畜ノ飼料ニ供ス良質ノ場合ニハ更ニ三十吋ノ遠心爐八臺アリテ之ニ容レ乾燥ヲ加ヘ第一種砂糖トナスナリ本製造所ニ於テハ毎二十四時間ニ於テ蔗莖ノ種類ニヨリ二千四百噸乃至二千七百噸迄ヲ製造スルコトヲ得ヘク又ハ砂糖ノ分量ヲ以テセハ同時時間二百七十五噸乃至三百七十五噸迄ヲ製造スルコトヲ得ヘキナリ

灌溉

蔗莖重量、搾汁容量、糖分検査等ノ結果ハ毎日之ヲ製造所ノ主任ニ報告スルコト、ナリ化學的實驗所、事務所、機械、鍛冶、大工場、砂糖貯藏庫(九萬五千袋)等皆ナ此製造所内ニアリ

第三目 灌溉 馬哇島ニ於ケル各砂糖耕地ニ於ケル耕作用水ハ前記ノ如ク「カエレク」及「キバフル」ノ二耕地即チ全島中東部山背ノ多雨地帶カ全然降雨ニ倚賴スルモノヲ除ク外ハ降雨ノ外水揚唧筒 (Artesian) 及ヒ山間ノ露水ヲ疏穿シテ之ヲ耕地ニ導ク水溝 (Irrigation ditch) ニ依ルモノトス而シテ剩水ハ之ヲ貯水池ニ引キ之ヲ貯溜ス Reservoir 是レナリ、水揚唧筒ハ其濫觴千八百七十九年尾和府島ニ發シ其中最モ大仕掛ケナルハ馬哇島 Hawaiian Commercial & Sugar Co. ノ「キヤイ」(Kiahi) ニ在ルモトス、此水揚唧筒ハ管身三百呎ニ達シ二臺ノ唧筒アリ合セテ一日一千七百萬瓦ノ水量四百呎ノ高サニ汲上クル力ヲ有ス全耕地ニハ斯クノ如キ水揚唧筒工場數ヶ所アリ次ニ最モ大仕掛ケナルハ水溝ノ設備ニシテ前記耕地中「バイア」及「ブウネ」ノ Maui Agricultural Co. 及 Hawaiian Commercial & Sugar Co. ノ兩耕地最モ規模ノ大ヲ見ル、此兩耕地ハ前項記述セルカ如ク「ハレアカラ」ノ山系ニ沿ヒ山ヲ穿チ露ヲ渡リテ遠ク五十哩ニ亘リ工事ヲ竣成シタル長溝道ニ依リ灌溉水ノ供給ヲ受クルモノニシテ其中「コーラウ、デッチ」(Koan ditch) ノ如キハ余「バイア」ヨリ「ハナ」ニ通スル山谿ニ沿ヒ馬背ニ依リテ僅カニ通スル道路ニ沿ヒ全地ニ向ヒタル際親シク之ヲ視察スルコトヲ得タルカ或ハ合シ

或ハ離レ常ニ此溝道ト始終シタルニ幅凡ソ二間深サ四、五呎山勢ト相屈曲シ懸瀑及細流ヲ承ケテ之ヲ合流セシムルノ設備ヲ爲シ或ハ「セメント」ヲ以テ兩側ヲ築成シタル等其工事ノ偉大ニシテ堅固ナルヲ思ハシムルモノアリ此距離五十哩ノ間ニ三、四ヶ所ノ中央事務所及監水所アリ各水番ヲ置キテ水深、雨量其他ヲ測定セシメ電話ヲ以テ朝夕之ヲ中央事務所ニ報シ其命ニ依リ水堰 (Dam) ヲ開閉シテ深度ヲ調整ス水番ハ大抵本邦人ヲ以テ之ニ充ツ此等水溝穿設ニ關シテハ別ニ灌溉會社 Irrigation Company アリ内部ニ於ケル事業經營ノ關係トシテハ「ボールドウキン」一家ノ事業ト關聯スルモ表面ハ獨立シテ各會社ニ供給シタル水量ヲ測定シ其費用ヲ課スルモノトス、右「コーラウ」水溝ハ千九百三年三月起工翌年九月竣成ヲ告ケ今ヤ毎日八千五百萬瓦ノ水量ヲ供スルニ足ル、此他「ハマクア」(Hamakua) 水溝アリ相俟テ兩耕地ニ必要ナル灌溉用水ヲ送ル而シテ「バイア」耕地ヘハ約一日六千萬瓦ノ水ヲ送ルト云フ、尙ホ「ハマクア」水溝ハ約工事費三十一萬六千餘弗ヲ要シ而シテ「コーラウ」ハ凡ソ四十四萬弗ヲ費シタリト云フ

第四目 附屬設備 各砂糖會社ハ近年銳意其從業者及一般勞働者ニ對スル必需品ノ供給並ニ健康、安寧及慰樂機關ノ設備及改良ニ力メ其他餘財ヲ割キテ慈善的團體ヲ設クル等大ニ見ルヘキモノアリ先ツ「ブウネネ」ニ就キテ之ヲ見ルニ製造所及事務所ニ近接シテ圖書室、球戯場、投球場、水泳貯溜所其他ヲ包容セル俱樂部及廣大ナル運動場アリ此等ハ本邦人ニシテ勞働者以外ニ相當ノ地位ヲ有スル者少キカ爲メ實際此等設備ヲ利用スルモノ少ナキモ外來旅客等ニシテ相應ノ地位アル者ニ對シテハ門戸ヲ開放シ之レカ使用ヲ許シ一般勞働者ヲ顧客トスル百貨ノ供給ニ關シテハ本地及「バイア」ニ於ケル耕地ニアリテハ土地カ「ボールドウキン」一家ノ所有ニ係ル故ヲ以テ耕地内ニ他ノ店舖 Plantation Store ヲ設ケ之ヲ會社直接經營ノ下ニ置キ耕地内ニ在住スル各國經營者其他ノ需要スル貨物ヲ供給セリ而シテ此耕地店舖ノ特色トスル所ノモノハ一般他ノ此等類似ノ産業補助機關ト全シク力メテ利益ヲ局限シテ實際價格ニ近カラシムルヲ主トシ顧客ニ對シテハ現金賣買ノ法ニ依ラス毎月賣高ヲ支拂フヘキ勞銀ヨリ差引ク仕組ミナリ最モ右耕地内ト雖モ他ノ本邦商人其他力單ニ注文ヲ取リテ物貨ヲ耕地以外ノ各自店舖ヨリ供給スルコトハ認容スルモ耕地内ニ他ノ店舖ヲ置クコトヲ許サハルハ利

物貨供給

「バイア」ノ「ボールドウキン」ノ「セメント」

病院

弊相伴ハサルモノト謂フベシ、固ヨリ近來「バイア」其他ノ耕地店舖ニアリテハ運賃其他ヲ節省スルノ目的ヲ以テ近來多クノ物貨ハ直接日本ヨリ輸入スルノ方針ヲ執リ神戸其他ニ代理店ヲ置ケルモノアリ之カ結果ハ一方ニ於テハ多少物價ヲ低廉ニシ勞働者ヲシテ幾分カ安價ニ物資ノ供給ヲ受ケシムルノ便益アルヘキモ此場合ニ於テハ「ホノル」ノ卸問屋ヨリ本邦物貨ヲ移入シ更ニ之ヲ勞働者ニ供給スル一般島地本邦商人商賈ニアリテハ幾分ノ打撃タル事ヲ免レサルモ實際ニ於テハ此等耕地店舖ハ勞働者ノ便宜ヲ主眼トスルヨリモ寧ロ附帶營利事業ヲ目的トスルコト大ナレバ實價ニ於テ左マテ低利ヲ主トスルコトナク隨テ耕地外ノ店舖ト相並立シテ拮抗スルコトナク且ツ他ノ店舖ハ一方ニ於テ月末勞銀差引等ノ制ナク勞働者ニ取リテハ假令幾分カ高價ナルモ之カ支拂ヲ永ク督促セサル等ノ點ハ大ニ悅フ所ナリト云フ、尙ホ本島中耕地店舖ノ設備完全セルハ「バイア」ニシテ全所ニ就キ取調アル所ニ依レハ毎月ノ賣上高約三萬五千弗内外此内本邦物貨約一萬弗ナリトイフ、又耕地内ニハ數軒ノ支店ヲ設ケ車輛ヲ供ヘ毎日朝夕物品ノ注文取リ及ヒ配送ヲ爲セリ

其他各耕地概ネ病院ノ設備無キハ無ク特ニ「バイア」ノ病院ノ如キハ宏大ナル醫院ヲ新設シ病室治療所其他ノ設備完備シ居リ醫員一名、看護婦一名、助手(本邦人)及ヒ厨夫等ニテ用務ヲ辨シ居レルガ患者數十名ヲ收容スルコトヲ得ルノ設備アルモ通例十數名ノ患者アルニ過キス、病疾ノ種類ハ外部若シクハ輕微ノ病患多ク稀ニ盲腸炎、腸室扶斯、「マラリア」等アリ勞働者ノ員數ニ對スル罹病ノ率ハ一般ニ對シ低キ方ナリトイヘリ、而シテ本邦人中腸室扶斯ニ罹ルモノ割合ニ多キハ本邦人ハ水溝ノ邊リニ揭示ヲ以テ生水ヲ飲用セサル様注意ヲ與フルモ尙ホ意ニ介セス之ヲ煮沸セスシテ飲用スルモノ多キ爲メナリト醫師ノ予ニ語ル所ナリ、尙ホ本邦人ハ言語上ノ關係上ヨリ耕地病院ニ在リテハ費用ヲ徴セス治療スルモ尙ホ本邦醫師ヲ好ム傾向アリ之カ爲メ本邦醫師ニシテ耕地ニ近ク營業セルモノ少ナカラス

其他外國勞働者ニ對スル教會堂及ヒ一般協同學校及日本人學校等ハ耕主ニ於テ全部ノカ費用ヲ供シ又ハ之ヲ補助シ其他本邦人ノ爲メニ學習用俱樂部ノ建設ヲ承諾シ近ク之レカ工事ニ着手セントスルノ向アリ尙ホ「ボールドウキン」一家ニテハ巨資ヲ投シ養老院ヲ設ケ將ニ老羸者ヲ收容セントスルノ運ニ至レリ

勞働者國別員數

第五目 使用勞働者國籍別

本島各耕地ニ於テ現今使用セラレ居ル各勞働者員數ヲ國別(若ハ地)表示スレハ左ノ如シ

1 Hawaiian Commercial & Sugar Co.

人種別	員數	人種別	員數
米國	五二	朝鮮	一六八
葡國	二八六	ポルトリコ	三五
露國	四	比律賓	四九
西班牙	三九	支那	二六二
日本	一一一	女子(多クハ日本人)	二二二
計	一九九三	小兒	一一三
	三三四四		

2 Maui Agricultural Company

人種別	員數	人種別	員數
米國	四八	朝鮮	七七
葡國	二五二	ポルトリコ	一二六
露國	六	比律賓	一一七
西班牙	四	支那	一四〇
日本	八七	女子(多クハ日本人)	一六五
計	一、四四八	小兒	八〇
	二、五五〇		

3 Pioneer mill Co.

人種別	員數	人種別	員數
布哇土	二二〇	支那	一一〇
露國	六	朝鮮	八〇
西班牙	二〇	ポルトリコ	一二
日本	五〇	日本	一、五〇〇
計	二、五五〇	概算	

四、Waialua Sugar Co.

人種別	員數	人種別	員數
日本	七四八	葡國	一四八
支那	七二	西班牙	一八
朝鮮	五二	露國	一
米國	二六	比律賓	九八
布哇土	二〇四	其他	二
ポルトリコ	五二	計	一、四二二

五、Olowalu Sugar Co.

人種別	員數	人種別	員數
日本	五五	葡國	四
支那	一一	比律賓	一一
朝鮮	一〇	朝鮮	三〇
布哇土	一一	ポルトリコ	一三五
ポルトリコ	一一	計	一三五

六、Kaeleku Sugar Co.

人種別	員數	人種別	員數
日本	二七九	支那	三六
布哇土	四七	比律賓	二二
朝鮮	九三	ポルトリコ	九
計	四八六	計	九

七、Kipahulu Sugar Co.

人種別	員數	人種別	員數
日本	一〇六	朝鮮	三〇
支那	二五	比律賓	二五
布哇土	一〇	計	一九六

第二章 甘蔗耕地

第二節 本邦労働者状態

本邦労働者数

第一目 労働人員 本島各甘蔗耕地ニ就勞セル本邦労働者ノ員數ハ前節ニ於テ掲記セシ如ク約六千一百名餘ナルガ右ハ各砂糖會社ニ登簿サレ居ル人員ニ止マリ此外臨時ニ雇入レラレテ就勞スル婦人及ヒ野外労働ニ從事セス各「キャンブ」(Cane Cutters)即チ各月別別又ハ一棟チ區劃シテ數百又ハ(數十月占住シテ一部落ヲ遺レル一郡居地ノ稱)内ニアリテ炊事、洗濯、裁縫、浴湯其他ノ雜役ニ從事シテ賃銀ヲ取得スル女子労働者アリ其他ハ一般内ニアリテ家事ヲ整理スル婦女及子女ナルカ今各耕地ニ就テ現住者ノ數ヲ取調ヘタル結果ハ一般在住者ノ數實ニ一萬二千餘人ニ及フ今布哇全島ヲ通シテ各甘蔗耕地ニ勞働スル本邦人ノ員數約二萬八千人ニシテ之レヲ前記労働者ノ員數ニ比スレハ此内本島ニアルモノ約四分ノ一弱ニ當リ又タ布哇各島ニ居住スル本邦人全數約八萬ニ比スレハ本島居住本邦人ハ凡ソ六分ノ一強ニ當ル而シテ此等耕地ニ在住スル本邦人ヲ通觀スルニ近時本邦ヨリ妻ヲ呼寄スルモノ頗ル多キカ爲メ昔時ニ比シテ若年ナル婦女多キヲ加ヘタル外父母及子女ヲモ呼寄セテ一家ヲ構成スルモノ増加シタルト一方本地ニ在リテ出生スルモノ頗ル多數ニ上リ之カ爲メ老幼ノ兩階級増殖シタルハ事實ナルモ呼寄ニ依リ來航スル父母ニアリテモ尙ホ異風土ノ生活ニ堪ヘ多少自ラ勞作スルノ餘力アルモノニアラサレハ多ク進ンテ渡來スルモノアラサルカ故全般ヲ通シテ老弱者少ク中年ノ強壯者ノミヲ以テ組織セラレ居ルヲ認ムヘク隨テ死亡者ノ率ハ出生率ニ比シテ頗ル低キヲ見ルナリ

近時本邦労働者ノ平均賃銀ノ實情ヲ示セリ
請負労働者ノ賃銀ノ占ム

第二目 收支 第一 收入 本邦労働者ノ收入ノ現況如何ハ最重要ナル問題ナルカ故ニ各耕地ニ就キテ最モ精細ナル調査ヲ試タルカ概括シテ之ヲ言ヘハ耕地ニヨリ多少ノ高下アリ又タ労働ノ種類ニヨリ幾何ノ不均衡無キニアラサルヘキモ要スルニ近時賃銀率一般ニ上騰シ殊ニ本邦人ニ最モ適當ナル請負労働ノ方法ニ依ルトキハ勤勉ニシテ熟練ナル労働者ニアリテハ相應ノ收入ヲ得ラルベク收入率ハ平均數年前ニ比シテ増加ヲ示セルノ事實ヲ見ルベク労働ノ種類ハ(一)製造所

労働ノ種

及唧筒工場ニ於ケル労働(二)野外ニ於ケル労働ノ二種ニ分ツコトヲ得ベク前者ハ機械ノ運轉、製糖ノ充袋、燃火、油差其他ノ労働ニシテ後者ハ耕地ノ鋤返シ、地均シ植付、灌溉、草取り、苜取り、積込ミ水番等ノ一般労働ニシテ其他ハ理髮其他附屬ノ労働ナルカ製造所ノ労働ハ皆ナ日給ニシテ他ハ日給ト受負ノ方法ニ依ルモノトアリ製造所ハ労働時間十二時間野外労働ハ大抵十時間ニトス、婦人ノ労働ハ草取り、植付ケ等簡易ノ勞務ヲ執ルヲ常トス、勞銀ハ製造所ニ於ケル労働者ノ賃銀ハ會社ニヨリ多少ノ異動アリ「ラハイナ」砂糖會社ニ於テハ普通勞銀一日八十五仙乃至九十仙トス一月ノ勞働日數ハ二十六日トシ一月別ニ割増配當金(Bonus)トシテ二弗ヲ増給ス最モ砂糖充袋等ノ勞務ニアリテハ日給一弗乃至一弗五十仙ヲ給ス時間外労働ハ大抵一時間十仙ヲ普通トス、但シ増給ノ制ナシ、又タ野外日履勞銀ハ最低月額十八弗ナレトモ時間外及休日労働等其他慰勞金、補給等ノ爲メ最低二十二弗ヲ下ラス而シテ一般ノ傾向ハ俗ニ受泰ト稱スル受負労働ヲ擇フ者多ク右ハ一人又カ一組或ル一定ノ噓數ヲ擔當シ鋤返シ植付ケヨリ收穫迄ヲ受負フ仕組ニシテ之レカ爲メニハ毎月十五弗乃至十六弗ノ前借拂ヲナシ植付ケヨリ收穫迄十八ヶ月間之レヲ繼續シ右期間ノ終リニ於テ收穫高ニ應シ精算支拂ヲナス組織ナルカ之レ者爲メニ好成绩ヲ舉ゲンカ爲メ労働者ヲ身力ヲ盡シテ熱心ニ從事スルヲ常トシ殊ニ本邦人ハ特ニ此方法ニ依ルヲ適當トスルガ如ク本島各耕地ヲ通シテ調査シタル結果ニ依レハ「ブウネ」最モ多額ノ收入アリ現ニ本年ノ如キハ本邦人受負労働ノ平均收入月額三十四弗餘ニ上ル此方法ニヨリ現ニ「バイア」ニ於テ最近最モ多額ノ利益ヲ收メテ歸國シタル一例ハ或ル夫婦者ニテ一季間(十八ヶ月)ニ純利中九百弗ヲ剩シ歸リタルモノアリト聞ケリ尙ホ「ブウネ」耕地ニ於ケル昨年及本年六月の中本邦人ニ支拂ヒタル利益配當額ヲ示セハ左ノ如シ

男

女

四十二年	二、〇九六弗	一八四弗
四十三年	一、九九三弗	二二二弗
四十四年	一、九九三弗	二二二弗

右ハ一般砂糖耕地ノ通慣ヲ舉ケタルカ「ハナ」及「キバフル」地方耕地ニ於テハ耕作方法ニ關スル雇傭兩者間ノ關係ヲ異ニ

第二章 甘蔗耕地

スルヲ以テ左ニ之カ方法及収入額ヲ略説スベシ
 「ハナ」ニ於テハ労働者ノ希望ニ應ジ一定ノ土地ヲ租借セシメ前借金トシテ一噎ニ對シ利子ヲ併セ一收穫(普通十八ヶ月)ニ付九十六弗ヲ前借シ馬(Cart)一日使役料一弗「バック、ミュール」(Pack mule)一日五十仙ノ割ニテ貸與ス、但耕作期間一噎ニ付平均七頭ヲ要スト云フ肥料ハ實費(Cost)ニテ給與ス但シ代價ハ大抵一俵ニ付二弗七十五仙乃至二弗八十五仙位ノ割合ニシテ一噎ニ付約上等肥料(High grade fertilizer)及磷酸肥料(PHOSPHATE)ヲ併セ十俵ヲ要スルヲ常トストイフ、而シテ右等土地賃借ニ關シテハ會社ニ受負者(代表者ニシテ此者カ別ニ自己ノ)トノ間ニ契約ヲ締結ス其要旨ハ凡テノ權利ヲ會社ニ於テ保留シ甘蔗ノ收穫期ヲ決定スルノ權モ亦然リ、而シテ完全ナル黍二千斤即チ一噸ヲ三弗二十五仙ニテ買取ル前記前借金ニ對スル利子ハ馬、肥料及器具、器械使用料ヲ併セ一年一割二分ナリトイフ、今年々首迄ハ右等契約ニ依ラズ一月二十六日ノ労働ニ對シ十二弗宛ヲ前貸スルノ仕組ナリシカ一方ニ於テ労働者ニ於テ勞作日數ヲ伴リ書出ス等ノ弊害アリシカ爲メ現今ノ契約締約制度ニ革メタルナリトイフ又タ別ニ數人協同シテ契約ヲ結フ例アリ即チ百噎ヲ十人ノ組合ニテ借受クル場合ニハ連名契約ノ方法ニ依ルモ貸金ハ之カ代表者ヲ定メ之ニ貸與ス此方法ニ依ルモノハ普通一人ニテ三噎迄ハ擔當スルコトヲ得ルトイフ

第二 支出、當地方労働者一般生計費及ヒ全體支出額如何ヲ取調フルニ大約左ノ如シ

(甲) 獨身者生計費

(一) 食費

(イ) 米	一俵六弗六十五仙 通常一ヶ月一人中俵 三弗三十仙也
(ロ) 醬油	二瓶乃至三瓶 一瓶二十仙ヲ、即チ四十仙乃至六十仙
(ハ) 肉	通常一東十仙
(ニ) 魚	一定セテ 漁獲如何ニテ高低ス
(ホ) 牛	一羽一弗二十五仙乃至壹弗五十仙
(ヘ) 鶏	一合貳仙半
(ト) 卵	一個四仙乃至五仙
(チ) 豆	一個五仙
(リ) 糖	一封度十仙
(ル) 砂糖	一封度五仙
(レ) 鹽	二封度五仙

即チ綜合スレハ米以外ノ食費殆ソト米ト匹敵シ純粹ノ食料約六弗五十仙

(二) 酒 (イ) 日本酒 一瓶四合入並品四十仙 (ロ) ウヰイン 二十五仙

(三) 衣類

(イ) 労働衣服	一揃九十仙位 但シ婦人用ハ八九十仙
(ロ) 洋服	一着 二十弗内外
(ハ) 靴	一足 一弗六十仙(野外用)
(ニ) 全	三四弗(外出用) (レッギンス) 上等一弗

- (乙) 夫婦者 純粹生計費 平均十弗内外
- (丙) 小兒三人ヲ有スル夫婦者同上 平均十八弗内外
- (丁) 獨身者全體支出最低額 平均十弗内外
- (戊) 夫婦者同上 平均十八九弗内外

第三目 貯蓄 前目ニ於テ布哇各島ニ於ケル本邦労働者ノ平均收入及支出ノ關係ヲ概説シタリ進ンテ彼等カ幾何ヲ貯蓄シ得ルヤヲ調査スルニ順序トシテ彼等一般ノ近時生活ノ状態ヲ攻究セサルベカラス本邦労働者カ近時ノ收入額ヲ之ヲ十數年以前即チ契約労働者トシテ群集シタル時代ニ比スレハ其各般ノ設備ニ於テ非常ニ差異アルノミナラス之レカ渡來ノ主ナル目的タル收銀ノ點ニ於テモ頗ル其額ヲ増シタルハ事實ニシテ之ヲ數年以前ニ比スルモ幾分カ有利ノ境界ニ置カ

レタルモノト謂フヘシ是レ一ハ近時各砂糖會社カ前項叙述セルカ如ク耕作製造灌溉及協同經營方法等ニシテ事業ノ擴張振作ニ力ヲ盡シタル結果頗ル各利益ヲ増進シタルカ爲メ一般ノ勞働者待遇方法ノ改善ヲ圖ルモ亦之カ原因ナルカ爾ヲ我勞働者ノ側ヲ觀察スルニ近時彼等ハ漸次永住ノ計ヲ立テントスルノ風潮ヲ呈シ來リ爲メニ妻ヲ迎ヘ子ヲ擧タルモノ大ニ増加シタルト共ニ一方ニ於テハ堅實ナル家庭ヲ作り從テ從前ノ惡習慣タル浪費ノ傾向ヲ改メ貯蓄ヲナサントノ念ヲ生スルモノ増加スルト共ニ他方ニ於テハ未タ十分妻ヲ迎フルノ餘資ヲ貯ヘサルニ一般ノ風潮ニ趁ヒ無理算段シテ迎妻ノ計ヲ爲シタルモノアリ

送金ヨリ貯蓄ノ率増加セリ

此等ハ永ク累ヲ爲シテ貯蓄ノ餘裕ヲ生セサルモノモ無キニアラス又タ家族ヲ携フルモノ増加スルニ隨ヒ比隣ノ交際頗ル複雑ナル關係ヲ加ヘ爲メニ衣食其他贈答ノ費用増嵩シ且ツ近時稍々奢侈ノ傾向ヲ生シタルハ事實ニシテ余ハ巡視ノ機會ヲ以テ之レカ節制方法ニ對シ警告ヲ加ヘタルカ此等風習ノ爲メ幾分カ送金又ハ貯蓄ノ餘裕ヲ殺カレタルモノモ亦タ之レアルベキモ一般ニ通觀スレハ貯蓄ノ傾向ハ衰退スルコトナク却テ増進ノ傾向アルヲ爭フベカラサルコトニシテ同時ニ送金ヨリモ貯蓄ノ割合ニ其率ヲ増加シタルハ家族ヲ郷里ヨリ呼寄セ舉家居住スルモノ、如キハ送金ノ必要歇ミ之レヲ貯金ニ轉スルガ故ナリトス、送金及貯蓄機關トシテハ送金ハ郵便局及橫濱正金銀行支店及「ビショップ」(Bishop)銀行ニヨリ貯金ハ専ラ右等銀行ニ依ルモノトス、而シテ之レカ取扱者ハ各耕地ニ在テ本邦人ニシテ之ヲ擔當セル者アリ取纏メ一旦「ホノル」ニ於ケル上記郵便局(郵便局ニ托スルモノニアリテハ直ニ在島ノ郵便局ニ送ルコトヲ得)及銀行ニ送金スルモノトス、而シテ各耕地ニ於テ至ル所流行スル所ノ一種ノ金融機關ハ即チ頼母子講ニシテ中ニハ多額ノ金額ノ掛金ヲナス者アリ依テ歸國及迎妻ノ費用ヲ辨スル者少ナカラストイフ

頼母子講ノ流行

我勞働者送金及貯蓄ノ總額及割合ヲ知ルコト困難ナルカ前記收入支出ノ割合ヨリ打算スレハ製造所ニ勞働スルモノハ

貯蓄ノ割合

一例、一月三十五弗ノ收入アリトスレハ月費二十弗トシ十五弗ヲ貯蓄スルコトヲ得

二例、獨身者ニシテ三十弗ノ收入アルモノハ支出ヲ十弗(最低)トシ二十弗ヲ剩スコトヲ得

三例、夫婦及小兒三人ヲ有スル者三十五弗ノ收入トスレハ支出三十弗トシ僅カニ五弗ヲ節省スルニ過キス

貯蓄ノ點ハ之レヲ概觀スルコト頗ル困難ニシテ中ニハ却テ負債ヲ爲セルモノモ少ナカサル由ナルカ平均一家族毎月十弗以上ノ餘財ヲ蓄フルコトヲ事實ト見ラルヘク中ニハ既ニ數千弗ヲ貯ヘ居ルモノモアリト聞ケリ

永住ノ傾向

第四目 永住ノ傾向 本島其他布哇各島ニ於ケル本邦人カ逐年永住ノ傾向ヲ生シ父母妻子ヲ呼寄スル者益多キヲ加フルハ前項記述セシ如クナルカ余ノ各耕地ニ於テ殆ント各戸ニ就キ取糺シタル結果ヲ綜合スルニ略ホ左ノ如ク分類スルコトヲ得ヘキカ如シ

(一) 歸國ノ意思ヲ有スル者

(二) 何時カハ歸國スヘキモ成ルベク永住セントスル者

(三) 歸國ノ意思ヲ有セサル者

最初ヨリ一定ノ金額ヲ貯蓄セントスルノ希望ヲ有シ來島シタル者ニシテ既ニ暗其目的ヲ達シタルモノ、如キ此種類ニ屬セシムルコトヲ得ベク然ラサルモノ單ニ望郷ノ念ニ驅ラレ居ル係累ナキ獨身者ノ如キハ亦然リ

(一) 何時カハ歸國スヘキモ成ルベク永住セントスル者

此種類ニ屬スル者最モ多數ニシテ殊ニ近時當地渡來ノ容易ナラザルヲ顧ミ成ル可ク永ク此地ニ止マラントノ念ヲ起セルモノモ増加シタルカ如シ而シテ此階級ニ分類スベキ者ヲ再別スレハ左ノ如シ

(イ) 當地在留久シキニ連レ漸次ニ最初抱持セシ希望ヲ擴大ニシ尙ホ更ニ多額ノ貯蓄ヲ爲ス迄ハ歸國セザラントスル者

(ロ) 兒女ヲ生シ家族干渉ト土地トノ干係深キヲ加ヘ即チ兒女後來ノ計ヲス爲メニハ寧ロ本地ニ永ク留マル方得策トスル者

(ハ) 豫期貯蓄ヲ爲シ得テ故郷ヲ念フコトモナク寧ロ一定ノ目的無クシテ其日ヲ遊リ居ル者

右ノ内來項ニ屬スルモノノ少數ナルハ勿論第一項及第二項ニ屬スルモノ最モ多シ

(三) 歸國ノ意思ヲ有セサル者

此部類ニ屬スベキモノハ既ニ永ク當地ニ住シ當地ノ氣候風土ノ生活ニ適セルヲ愛好スルノ念ト郷里ニ於テ既ニ親族故舊ノ無ク假令之レ有ルモ相互ノ關係次第ニ疎隔ヲ加ヘ風馬耳曹ナラザルモノノ如キ一方ニ於テハ本邦生活ノ比較的困難ナルヘキト今日ニ於ケル彼等ノ總體傾向ト相通セサルヘキヲ思ヒ

殆ント全ク無思ナキ者ナリ而シテ此種ノ者ハ比較的少數ナルカ如シ

新舊兩式家屋

第五目 居住ト雇主トノ關係 本邦人ノ家屋設備ハ近年漸次改善セラレ十數年以前ニ於ケルモノト之ヲ比較スルトキハ殆ント同日ノ談ニアラサルカ如シ今馬哇島各耕地ニ於ケル本邦人住家ノ構造其他ヲ左ニ概叙セントス

先ツ本邦人ノ住屋ヲ大別シテ舊式及新式ノ兩者ニ分ツコトヲ得ヘク舊式家屋ハ所謂兵營式ノ棟割長屋ニシテ短キハ十數間長キハ殆ント一町餘ニ延亘スルモノアリ此等家屋ニアリテハ多クハ腹背ニ居室ヲ構フルカ故ニ空氣光線ノ透過宜シカラス且ツ一方ニ於テ各家旅一棟ノ下ニ群居スルヲ以テ自ラ風俗ヲ紊シ喧噪ヲ醸シ財貨ヲ浪費スルノ媒ヲ爲スコト多キヲ缺點トス新式ハ一軒建ニシテ體裁上ハ勿論上記ノ弊害ヲ少ナカラシムル點ニ於テ長所アリ居室ハ前者ハ地方ニ依リ各構造一定セサルモ普通ハ床ヲ高クシ廻廊ヲ設ケ各室障壁アリ板敷ヲ設ケ其上ヲ花莖ヲ布キ詰メアルヲ通例トシ夫婦者ハ大低一室一家族獨身者ハ多ク二人乃至五六人同居スルモノトス、一軒建ノ家屋ニアリテハ構造各所ニヨリ差異アレトモ普通通ハ一軒ニ二室ヲ設ケ一家族ヲ住マシムルモノトス、三室若シクハ四室ニ仕切りテ一夫婦者、二夫婦者若シクハ一夫婦者ニ獨身者トヲ混住セシムルモノトアリ後者ハ弊害アレハ成ルベク別居セシムルヲ可トスルヲ以テ之カ注意ヲ耕主ニ陳ヘ置キタリ、炊事場ハ一軒建ノモノニアリテハ屋内ニ之レ有ルモノト別ニ屋前ニ設ケラレタルモノトアリ又タ獨占ノモノト協同使用ノモノトアリ屋根ハ板葺ト亞鉛葺トノ兩者アリ板葺ノ方當地ノ如キ暑氣烈シキ地ニハ好適ナリトイフ、而シテ屋内ノ設備ヲ通看スルニ千差萬別ニシテ一律シ難シト雖トモ夫婦者ハ比較的洒掃ニ注意シ整頓シ居ルヲ見ル中ニハ簞笥、戸棚、書箱、神棚、佛壇等其他家具ヲ整ヘ居ルヲ見受ケタリ

居住ハ勞動者身神上ノ重大ニ影響ヲ及ホシ其品位ト風俗ノ上ニ及ホス關係頗ル深キヲ以テ之カ改良ニ關シテハ特ニ意ヲ加ヘ周密ナル觀察ヲナシタルカ各耕地ニ就テ之レヲ見ルニ全體最モ改良ノ實ヲ擧ケ居ルモノハ最大耕地ノ稱アル「ブウネネ」ニシテ最モ劣リタルハ選遠ノ小耕地タル「ハナ」及「キバフル」ナリキ而シテ平均シテ皆ナ改良ノ實ヲ擧ケ居ルハ

家内ノ設備

「オロワル」ニシテ同地ノ如キハ戸數僅カニ百ニ滿タサルガ悉ク一軒建ノ新式家屋ニ改築セラレ一戸毎ニ電燈ヲ裝設シタルハ他耕地ニ見サル所ナリ「ワイルク」モ亦舊式家屋ヲ改築シテ新式ノモノニ改ムルノ計畫ヲ爲シ若々之カ實行ヲナシ居ルヲ目撃シタリ「ブウネ」及「バイア」ノ兩耕地ハ大耕地ノコト、テ前者ノ如キハ「キャンブ」(Camp)ノ數二十五ニ及ヒ耕地延長十數哩ニ亘ルカ故ニ一朝之ヲ改築スルコトノ難事ナルハ勿論ナルカ製造所ニ近キ「キャンブ」ノ如キ殆ント理想ニ近ク大低一家一軒ヲ占有シ家屋ノ周圍ニ木柵ヲ設ケ空地ニハ蔬菜果樹及花卉ヲ栽ヘ別ニ獨立附屬ノ炊事場アリ其他圃、給水等遺憾ナキニ近カリキ、而シテ右等菜果等ヲ栽植スルコトハ衛生、風趣、慰樂ノ上ニ好良ノ影響ヲ及ホスヘキ傾向ナルヨリ余ハ機會ヲ以テ之カ獎勵ヲ試ミ且ツ耕主ニ向テ之カ爲メ漸次若干ノ地域ヲ供給スルニ力メンコトヲ求メ彼等ハ漸次ニ之カ實行ヲ承諾セリ尙ホ「ブウネ」ニ於テ漸次家屋改良ニ銳意セルノ證トシテ余ニ示シタル最近六ヶ月間勞動者家屋新築及改築費用支出高左ノ如シ

修繕費	二二二、二四九、一二
新築費	二二、七七五、〇五

給水

第六目 其他ノ設備 家屋以外ノ勞動者ニ對スル設備ヲ略叙センニ

第一 給水 給水ハ大抵鐵管ヲ布設シ「キャンブ」内適當ノ場所ニ噴水口ヲ設ケテ炊事場及浴槽並ニ洗濯場ニ導クコト、ナセリ之レカ爲メニハ少ナカラサル費用ヲ要シタル所アリ尙ホ洗濯ハ水溝(Ditch)カ「キャンブ」ヲ沿ヒテ流ル、場處ハ頗ル便利ナリトス又ハ排水設備ハ昨年各地多少熱病流行シタルニ鑑ミ數千弗ヲ費シテ「キャンブ」内ヲ貫流セシムル漆喰工事ヲ施シタルハ「ブウネ」及「バイア」ノ各所ニ見ル所ナルカ未タ一般ニ實施セラル、ニ至ラス

浴槽

第二 浴槽 「キャンブ」ノ大小ニヨリ一ヶ所若シクハ數ヶ所本邦風ニ建設セラレタル浴槽アリ勞動者妻ノ付帶營業トナセルモノ多シ

第三 薪木 耕地ニヨリ一定ヤセルモ多クハ之レヲ給ス浴湯用ノモノモ亦之ヲ會社ヨリ給與スルモノ少ナカラス
 第四 圃 多キハ各軒少キハ數十軒毎ニ適當ナル地位ニ建設シ衛生上十分注意ヲ加ヘ居ルモノ多シ
 療病及物資供給ノ機關ニ關シテハ前節一般附屬設備ノ項ニ之ヲ叙シ尙ホ宗教教育ニ關スル設備ニ關シテハ次目別ニ之ヲ
 説クベキニヨリ茲ニ之ヲ省ク

布哇全體
 通シ日
 本小學校
 數九十
 六

學校創立
 維持方法

第七目 教育ト宗教 本島其他ニ於ケル一般本邦兒童教育ノ現狀ヲ概説センニ布哇各島ヲ通シテ本邦人學校ノ數九十六
 ニ達セリ此等ハ皆ナ本邦兒童ノ爲メ日本語ヲ以テ日本風ノ教育ヲ施スヲ目的トシ起リタルモノニシテ本願寺布教所若シ
 クハ各派基督教傳導所ニ附屬セルモノト此等ト關係ナク全然獨立ノモノトアリ、最モ佛耶兩教附屬ノ學校ト雖モ教育上ニ
 於テハ全ク宗教ノ旨義ヲ加味スルコトナキハ勿論ニシテ教學ノ嚴正分離ヲ維持シ居レリ、此等學童ハ義務教育トシテ各
 土地ノ米國公立學校ニ就學スルコトヲ要シ其傍ラ當國政府ノ默認シタル右日本學校ニ通學スルモノニシテ一旦該米國學
 校ニ於テ大抵午前九時ヨリ十二時午後一時ヨリ二時迄通シテ四時間ノ學課ヲ受ケ此課外ニ於テ幼兒ハ午後三時ヨリ五時
 迄年長兒童ハ午前七時ヨリ八時半迄日本學校ニ於テ教育ヲ受クルヲ通例トシ即チ五時間半乃至六時間修學ヲ要スルコト
 ハナル而シテ彼等ハ修業年限六年ヲ畢レハ高等ノ學校ニ入ル即チ日本學校ニ在リテハ「ホノル、」市ニ設ケラレタル日本
 人學校中學部又ハ高等女學部カ或ハ本願寺ノ附屬中學校又ハ高等女學校ニ入ル順序トナル尤モ右兩校ハ前記校數ノ外ニ
 アリ而シテ此等高等ノ學校ヲ終了スルニハ十年ヲ要ス今マ當地ニ於テ日本小學ニ通學セルモノヲ通觀スルニ彼等ノ多數
 ハ當地ニ於テ生レタルモノニシテ其本國ヲ親睹セザルヲ以テ此等ニ本邦ノ地理、歴史其他一般國情ニ關スル觀念ヲ養成
 スルニハ教師ノ困難想像ノ外ニアリ而シテ兒童ハ時間ノ關係ヨリ見ルモ其他周圍ノ事情ヨリ考フルモ米國學校ニ於ケル
 方多クノ精力ヲ注クノ傾向アルハ自然ノ勢ナレトモ尙短時間ニ於テ修身、國語、歴史、地理、習字、作文、其他本邦振ノ學課
 ヲ習得シ而カモ教師カ一人又ハ二人ニシテ各科級ニ亘ル長幼各生徒ヲ一堂ノ下ニ區別教育スルノ止ムヲ得サル不便
 アルニ拘ラス良好ノ進域ヲ示シツ、アルハ頗ル人意ヲ強フスル所タラスンハアラス今此等日本學校創設及維持方法ニ關

シ左ニ之ヲ畧説セントス

各島ノ市港及耕地内必要ノ箇所ニ於テ獨立若シクハ布教所附屬ノ學校與ル場合ハ利害關係者ノ寄附金即チ耕主及労働者
 其他ヨリノ鑿金ニヨリ創設セラル、モノ多ク土地ハ多ク耕主ヨリ割與又ハ貸與スルモノトシ中ニハ校舍建設費ノ全部ヲ
 耕主ニ於テ負擔スルモノアリ而シテ維持費用トシテハ教員給料備品及教授用書冊、物品購入費其他ノ修繕費等ナルカ之
 カ收入財源トシテハ(一)生徒ノ授業料又ハ父兄其他一般ノ負擔(二)耕主ノ補助ニシテ授業料ハ處ニヨリ種々アリ一定セス尋
 常科(初年)高等科ニ依リ之ヲ分チ尋常科五十仙高等科一弗トシタルモノアリ或ハ階級ニヨリ二十五仙以上一弗トシタル
 モノアリ或ハ一家二人以上若シクハ三人ナレハ一人ニ對スルモノヲ徵シ他ハ免除スルモノアリ次ニ學費ノ負擔モ學童ヲ
 有スルモノ、家族ニノミ之ヲ課スルモノアリ或ハ之レアルモノトナキモノトノ論ナク之ヲ課徵スルコト我カ一種ノ教育
 課税ノ如クスルモノアリ、耕主ハ生徒員數ニヨリ一校ニ付十弗乃至二十弗位ノ補助金ヲ毎月給與スルヲ例トス左ニ馬哇
 島各耕地内小學校ニ於ケル教員及生徒數ヲ表示スベシ

(一) 「ラハイナ」	(イ) 本願寺附屬	一	教員 二名	生徒 七十名
	(ロ) 基督教會附屬	一	教員 二名	生徒 七十名
(二) 「オロワル」	本願寺附屬	一	教員 一名	生徒 二十二名
(三) 「ワイルク」	(イ) 基督教會附屬	一	教員 一名	生徒 六十五名
	(甲) 教員	一名	生徒	三十六名
	(乙) 本願寺附屬	一名	教員 一名	生徒 七十名
	(ロ) 獨立	一名	教員 一名	生徒 四十九名

第二章 甘蔗耕地

(四)	「ブウネ」	獨立(甲)ハ日本學校ト米國學校ト 全校内併合(乙)ハ(甲)ノ分校)	三	生徒	百八十名
(五)	「バイア」	獨立	三	生徒	八十名
(六)	「ハイク」鳳梨耕作地(後出)	獨立	一	生徒	三十七名
(七)	「クラ」玉蜀黍耕地(後出)	獨立	一	生徒	三十餘名
(八)	「ハナ」	獨立	一	生徒	二十三名
(九)	「キバフル」	獨立	一	生徒	十八名

宗教 次ニ宗教問題ニ關シテハ各耕地ニハ佛教ニアリテハ本願寺(派)ヲ主トシ其他淨土宗及眞言宗等寺院ヲ耕地ニ置キ布教ニ從事シ基督教ニアリテモ亦然リ然ルニ或ル耕地ニアリテハ基督教以外ノ宗派カ其教會堂又ハ寺院ヲ自己ノ地内ニ設クル

コトヲ好マサルモノアリ是等ハ未タ其設ケ無シ此等寺院ノ建設費ハ重ニ勞働者ノ寄附ニ成ルモノ多ク而シテ布教者等ハ布教ノ傍ラ葬祭及佛事等ニ參與スルモノナルカ概スルニ市港ニ於テハ基督教ノ方廣ク行ハレ耕地ノ如キ重ニ農民ヲ以テ組成セラレタル地方ニ在リテハ佛教ノ方歸依者多キニ似タリ

第八目 娛樂機關 耕地勞働者ニ對スル娛樂機關トシテハ今日ニ於テハ略ホ備ハレルカ如シ即チ近來家庭ヲ組織セル向キ多キヲ加ヘタルカ爲メ自然一家團樂ノ慰安ヲ取ルモノ多キヲ加ヘタルヲ第一ノ原因トシ次第ニ被酒荒蕩ノ弊風ヲ革新セントスル傾アリ、而シテ其他「ホノル」、「市ヨリ演劇、浪花節、角力、活動寫眞等ノ興行物ハ常ニ各島各耕地ヲ巡回シ居リ寧ロ其頻々ニ過クルヲ覺ユル位ニシテ其他日常生活ニ要スル物品食料品等ハ殆ント本邦ニアルト異ナラサルカ故ニ今日ニ於テハ彼等郷里避難ノ地ニアルヨリハ寧ロ多クノ娛樂ヲ有スルモノト謂フヘク此點ニ於テハ彼等ハ不平ヲ訴フル理由無キヲ信スルナリ

第九目 風俗 本邦勞働者ハ野外ニ勞働スル場合ニハ大抵汚レ目ノ立チ難キ色合ノ棉織勞働服ヲ纏ヒ婦人モ亦之レニ相應シタル服ヲ着シ男子ハ革製靴ヲ穿チ又ハ跣足ニシテ縁廣ノ蓑帽ヲ戴ク而シテ家屋内ニ在ル際ハ男子ハ日本服ニ着更ユルヲ常トシ婦人ハ多ク日本衣類ニハ「ホーロク」ト稱スル寬裕ナル洋服ヲ纏フ頭髮ハ束髮ヲ通例トシ本邦風ニ結髮セルモアリ野外ニ出ツル際ニハ自家又ハ獨身者ニアリテハ「大コック」ト通稱スル彼等ニ朝夕ノ食膳ヲ供給スル賄方ヨリ鐵葉製取手アル二重圓形ヲ行厨ト玻璃瓶ニ充シタル飲用水又ハ茶等ヲ携ヘテ出ツルヲ常トス、業ヲ歇メテ歸家スレハ大抵ハ毎日浴ヲ取ル夜間ハ家内團樂又ハ相集リ雜話スルアリ或ハ飲酒ニ樂ヲ取ルアルモ一般ニ夜間ハ早ク就寢スルモノ多ク「キャンブ」内頗ル閑肅タルヲ見ルナリ、而シテ昔年ニ於ケル如キ獨身勞働者ノ數婦人ニ倍從シタル際ニ於テ往々耳ニシタル類風汚俗ハ次第ニ其面目ヲ革メ堅實修齊ノ風漸ク起ラントスルノ傾向アルハ頗ル喜フベシトナス但タ一方ニ於テ近時婦人ノ衣服其他ノ奢侈ノ風無キニアラサルカ之レ一時ノ風向ニ過キサルベク漸次有識者ノ警告ト相待チテ其俗ヲ改ムルナルベシ

將來

第十目 將來 本邦勞働者ノ現狀及其雇主トノ關係ハ上述セル所ヲ以テ推知シ得ヘキカ如クシテ要スルニ彼等ノ多數ハ皆ナ永ク當地ニ居住セルモノニシテ其永キハ三十年短キモ十年ニ滿タサルモノ少ク斯クテ彼等ハ當地ノ風土習俗ニ同化シ絶ヘテ身ノ異邦土ニ在ルヲ感セサルモノ、如ク而シテ其主タル目的タル勞銀ノ關係ハ如何トイフニ之ヲ平均スレハ米國本土ノモノニ較テ讓ル所アルコトハ事實ナルモ前項記載セルカ如ク近年漸次其率ヲ高メ其家計方法宜シキヲ得ハ優ニ數十金以上ノ剩餘ヲ見ルコト容易ナルノミナラス其雇主ノ彼等ヲ見ルコト他ノ外國勞働者ト何等軒輊スル所アルヲ見ス、最モ近來葡萄牙西班牙其他西歐地方ヨリ來着スル移民ニ對シテハ新規増設シタル優良ナル家屋ヲ給スルコトトナシ居レルモ是レハ來移ノ年次ニ新舊ノ別アルカ爲メ止ムヲ得サル所ニシテ本邦人ト雖トモ前記ノ如ク漸次改良セラレタル家屋ニ移住セシメ其他ノ生計上須要及娛樂機關ニ至テモ力メテ其要求ニ應セントスルノ傾向ヲ示シ勞銀ニ至テモ其平均率ヲ以テ之ヲ歐洲移民ニ比較スルニ多ク讓ル所アルヲ見ス又タ一方ニ於テ彼等ノ他外國勞働者トノ關係ヲ見ルニ大抵ハ各一區劃ヲ爲シテ別居スルト雖トモ尙一「キャンブ」内ニ雜居スル箇所少カラサルモ其關係頗ル圓滑ニシテ絶エテ爭鬪不和ノ形跡無ク且ツ一般勞働者全體ノ數ヲ以テ比較スルトキハ本邦人ノ數ハ渾テ他ノ外國人ヲ合シタル總數ニ超ユルノ有様ニシテ何等本邦人ニ對スル排斥若シクハ僻見ノ聲ナキノミナラス之カ萌芽ノ認ムヘキモノナキハ彼等ノ生活ヲシテ安固寛裕ナラシムル所以ニシテ而カモ目下布哇各島ニ於ケル産業興起ノ現狀ト一般經濟社界ノ發展トノ關係ヲ觀察スルトキハ尙ホ甘蔗耕地ノ事業力資本ト勞力トノ増加ニヨリ尙ホ一般ノ擴張ヲ爲スノ餘裕アルハ充分ニシテ現ニ余カ各耕主ニ面談ノ機會ニ於テモ皆ナ勞力ノ缺乏ヲ云ハサルナク彼等ノ口吻ニヨリ實情ヲ觀察スルニ各島ニ亘リ尙凡ソ現在數ノ三分ノ一ノ勞力ヲ要スルモノ、如シ而シテ本邦人ハ勞働者トシテ其他ノ孰レノ現在勞働者ニ比スルモ劣ル所ナキノミナラス其勤勉、銳敏、巧緻、遵法、清潔ノ點ニ於テ或ハ他ノ勞働者ニ一頭地ヲ拔クモノアルカ故ニ雇主等ハ孰レモ満足ノ意ヲ表セサルナク永ク其地ニ留ランコトヲ希望シ之カ引留ノ一策トシテ近時迎妻者ノ多キヲ好傾向トシテ喜ヒ居レリ而シテ一方ニ於テ布哇ノ經濟的運命ヲ支配スルノ位置ニアル資本案ハ事實上當縣政策ヲ動シ當縣移民課ハ此等事實家カ稅金ト

勞力ノ缺

本邦人氣
受其好

シテ納ムル資金ヲ基トシ吏員ヲ歐洲ニ派シ重ニ西班牙及葡萄牙其他露國、比律賓、「ポートルコ」等ヨリ勞働者ヲ招請スルノ計畫ヲ立テ此等移民ハ近來多キハ數百名少キハ數十名當地ニ來着シ居ルモ此等移民中現今ニ於テ最モ望マシキ勞働者トセラル、葡萄牙移民等ハ土地遠隔其他勞働ノ關係ニヨリ到底一時ニ多數ヲ雇ムコト能ハサルノ事情アリ而シテ東洋人殊ニ日本勞働者ニ對スル一部ノ批評即チ土着シ難キノ點ト土地ノ利害ニ疎隔スルノ虞トハ近時彼等カ家族ヲ迎ヘ永住ノ傾向アルト漸時兒女ヲ擧ケ米國風ノ教養ヲ受ケ土地ノ俗情ニ全化セントスルノ形勢アルコトニヨリ事實ニ於テ之カ杞憂タルニ過キサハ多數有識者ノ齊シク唱フル所トナリ 隨テ遽カニ「白人的布哇」(Whitemen's Hawaii)ヲ實現スルコトノ不可能ニシテ且ツ不必要ナルヲ認メ居ル以上本邦勞働者ノ地位ニ變革ヲ來スノ虞ナキヤ明白ナリ唯タ要ハ本邦勞働者ノ現狀ヲ永ク維持シ且ツ其地位ヲ高ムルノ計ヲナスニアリ而シテ目下本邦勞働者ノ歸國スル者多カラストセス此等ノ多數ハ再ヒ渡來スル者ナリト雖トモ尙ホ其然ラサルモノモ亦タ少カラズ斯クテハ本邦勞働者ノ數ハ漸次遞減スルノ一方ナル理ナレトモ一方ニ於テハ呼寄セニ應シテ渡來スル少年ハ年所ヲ經ハ一箇ノ壯丁トナリ且ツ舊ク當地ニ於テ生レタル兒童ハ既ニ生長シテ青年トナリツ、アリ而シテ近時本邦人ノ布哇、各島ニ於ケル出生數ハ實ニ每月三百ヲ以テ算シ而シテ死亡率ハ之カ五分ノ一ニ過キズ斯クテ徐々ニ歸國勞働者缺陷數ノ幾分ヲ充スノミナラス事實上之ヲ補充スルノ形勢ニアリ而シテ當地ニ於テ生レタル本邦兒童ハ一方ニ於テ米國の教育ヲ受ケ能ク英語ヲ解シ國情ニ慣レ使用上便宜多キハ事實ナルモ動モスレハ幾分カ本邦人ノ固有性タル堅實敏捷ノ長所ヲ失ハントスル傾向ナキヲ得ス、而シテ普通ノ教育ヲ受モ尙ホ永ク良好ノ勞働者トシテ父祖ノ業ヲ繼承セシムルコトモ亦必要ノ點ナルガ此等ハ一般教育上注意ヲ加ヘ此等ノ趨クル勢ヲ善導スルコト最モ須要ナルト同時ニ此等ノ長所タル土地同化ノ智識ト經驗トヲ利用シテ進シテ勞働者以外ニ資本案ノ地位ヲ握取スルモノヲモ生センコト希望ニ堪ヘサル所ナリ

本邦勞働者
地位ノ
現狀維持

シテ納ムル資金ヲ基トシ吏員ヲ歐洲ニ派シ重ニ西班牙及葡萄牙其他露國、比律賓、「ポートルコ」等ヨリ勞働者ヲ招請スルノ計畫ヲ立テ此等移民ハ近來多キハ數百名少キハ數十名當地ニ來着シ居ルモ此等移民中現今ニ於テ最モ望マシキ勞働者トセラル、葡萄牙移民等ハ土地遠隔其他勞働ノ關係ニヨリ到底一時ニ多數ヲ雇ムコト能ハサルノ事情アリ而シテ東洋人殊ニ日本勞働者ニ對スル一部ノ批評即チ土着シ難キノ點ト土地ノ利害ニ疎隔スルノ虞トハ近時彼等カ家族ヲ迎ヘ永住ノ傾向アルト漸時兒女ヲ擧ケ米國風ノ教養ヲ受ケ土地ノ俗情ニ全化セントスルノ形勢アルコトニヨリ事實ニ於テ之カ杞憂タルニ過キサハ多數有識者ノ齊シク唱フル所トナリ 隨テ遽カニ「白人的布哇」(Whitemen's Hawaii)ヲ實現スルコトノ不可能ニシテ且ツ不必要ナルヲ認メ居ル以上本邦勞働者ノ地位ニ變革ヲ來スノ虞ナキヤ明白ナリ唯タ要ハ本邦勞働者ノ現狀ヲ永ク維持シ且ツ其地位ヲ高ムルノ計ヲナスニアリ而シテ目下本邦勞働者ノ歸國スル者多カラストセス此等ノ多數ハ再ヒ渡來スル者ナリト雖トモ尙ホ其然ラサルモノモ亦タ少カラズ斯クテハ本邦勞働者ノ數ハ漸次遞減スルノ一方ナル理ナレトモ一方ニ於テハ呼寄セニ應シテ渡來スル少年ハ年所ヲ經ハ一箇ノ壯丁トナリ且ツ舊ク當地ニ於テ生レタル兒童ハ既ニ生長シテ青年トナリツ、アリ而シテ近時本邦人ノ布哇、各島ニ於ケル出生數ハ實ニ每月三百ヲ以テ算シ而シテ死亡率ハ之カ五分ノ一ニ過キズ斯クテ徐々ニ歸國勞働者缺陷數ノ幾分ヲ充スノミナラス事實上之ヲ補充スルノ形勢ニアリ而シテ當地ニ於テ生レタル本邦兒童ハ一方ニ於テ米國の教育ヲ受ケ能ク英語ヲ解シ國情ニ慣レ使用上便宜多キハ事實ナルモ動モスレハ幾分カ本邦人ノ固有性タル堅實敏捷ノ長所ヲ失ハントスル傾向ナキヲ得ス、而シテ普通ノ教育ヲ受モ尙ホ永ク良好ノ勞働者トシテ父祖ノ業ヲ繼承セシムルコトモ亦必要ノ點ナルガ此等ハ一般教育上注意ヲ加ヘ此等ノ趨クル勢ヲ善導スルコト最モ須要ナルト同時ニ此等ノ長所タル土地同化ノ智識ト經驗トヲ利用シテ進シテ勞働者以外ニ資本案ノ地位ヲ握取スルモノヲモ生センコト希望ニ堪ヘサル所ナリ

第三節 外國勞働者

第二章 甘蔗耕地

本報告ニ於テハ本邦労働者ノ現状ヲ觀察スルヲ主眼ニシタルヲ以テ外國労働者ノ現状ハ率ロ之ヲ概叙スルニ止メントス、本邦人以外ノ労働者ハ前項記述セシ如ク、露國、西班牙、葡萄牙、清國人、比律賓、「ポートルコ」人、布哇土人、米國人及朝鮮人(便宜本邦人以外ニシテ之ヲ括ク)等ニシテ之カ員數ハ前章記載スル所ノ如シ此内葡萄牙人ハ風土ニモ慣レ勤勉、從順ナル好労働者トシテ歡迎セラレ居リ「ルナ」(Luna)ト稱スル労働者ノ組長ハ同國人最モ多シ清國人モ亦當地最古ノ移民ニシテ從順、勤儉ナル労働者トシテ氣受良好ナリ露國人ハ一時當地労働者ノ缺陷ヲ充サシカ爲メ一昨年以來二千有餘名ノ同國移民ヲ招致シタルモ其後四割餘ハ米本土ヘ轉航シ當地ニ殘留スルモノハ種々ノ紛擾ヲ生シ其成績良好ナラス殊ニ葡國移民カ貯蓄心ニ富ムニ反シ露國人ハ此風ニ乏シク此等傾向ノ爲メ現今ハ露國移民ノ招誘ハ之ヲ中止シ單ニ既來移民ノ家族ヲ渡航セシムル位ノ程度ニ止メ居レリ比律賓人ハ一般ニ怠惰ニシテ衛生ニ注意セス且ツ盜心アルモノ多ク他ノ労働者ノ平和ヲ亂スモノ多シトテ一般ノ好感ヲ博スルニ至ラス「ポートルコ」人モ亦好労働者ト目サレ居ラス布哇土人ハ當地風ノ普通教養アルモノハ順良ノ労働者トシテ待遇セラレツ「アリ朝鮮人ハ清國人、比律賓人ト同シテ家族ヲ携帶セルモノ至テ少ク一ケ所ニ定着セサルカ爲メ非難アリ労働者トシテ一般ノ本邦人ニ及ハサルモ特ニ厭忌セラレ、ノ資質ヲ顯ハスコトナシ一般本邦人トノ折合ハ目下未ダ融和スルニ至ラサルモ次第ニ相親近スルノ傾向アリ

第三章 鳳梨耕作及製造業

第一節 耕作及製造ノ現況

鳳梨耕作及製造業

馬哇島ニ於ケル鳳梨 (Pineapple) ノ耕作地及製造所ハ「ハイア」甘蔗耕地ニ近キ「ハイタ」(Haita)ニ在リ全地ハ地味鳳梨ノ耕作ニ適シ米國人ノ經營ニ係ル分ハ「バイク、フルート、エンド、パツキング、コムパニー」(Haku Fruit & Packing Co.)アリ頗ル大仕掛ケニカ製造及ヒ輸出業ヲ經營シ居レリ此會社ノ所有地約一千噓アリ別ニ米國人其他所有耕作地約七百噓アリ播付ヨリ二十六ヶ月目ニシテ初マテ、一番作ヲ得ラルヘク一株果實一噸ヲ着ケ一噓ニ凡九千株ヲ栽培シ得ラルヘク一噸ノ平均重量ハ六斤ナリ、一番作ヲ收穫シテ後根元ヨリ更ニ二葉ヲ生シ二十ヶ月ニシテ一葉毎ニ一噸ヲ得ラルヘク三番作ハ更ニ十八ヶ月ヲ要ス、産額數ニ番作ニ全シ、土質ハ輕鬆ナル砂土ヲ宜シトシ灌溉ヲ要セス植付ケハ引續キ循環スルカ故ニ製造ハ之ヲ停止スルヲ要セストイフ、最モ多量ノ製造ヲ爲スハ毎年七、八月ノ交ナリトス、耕作ニハ大抵一人ニシテ七噓ヲ擔當スルコトヲ得ヘク之カ買上ケハ一封度一仙ノ割合ニシテ平均一日ノ耕作高一弗五十仙ニ當ルトイフ

罐詰製造方法

全會社罐詰製造所ニ至リ製造ノ模様ヲ實視シタルニ其設備頗ル整頓シ果實ヲ耕地ヨリ搬來シテ之ヲ罐詰ニ仕上クル迄人工ヲ要スル部分極メテ少ク事實上機械ノ力ニ依リ果實カ其儘上市スルニ足ルヘキ罐詰トナリテ自然ニ現出スルノ狀アリ即チ (一) 外皮ヲ擺脫スルコト (二) 内核ヲ穿出スルコト (三) 罐詰ノ大サニ截斷スルコト (四) 之ヲ適宜ノ間隔ニ切斷スルコト (五) 罐内ニ裝入スルコト (六) 罐内ニ糖液ヲ充實スルコト (七) 罐蓋ヲ密緘スルコト (八) 煮沸スルコト (九) 罐ノ外部ニ商標紙ヲ貼裝スルコト等ハ勿論其他罐ノ製造、糖液ノ調合ヨリ剩液及ヒ切り屑ヲ集メ別ニ罐詰ヲ製スルコト等殆ント皆全部機械ノ仕掛ケニヨリ成就シ人工ヲ用フル部分極メテ稀ナリ、而シテ使用人員ハ現今二百五十七名内日本人百名(女ハ四十八)ヲ占メ外ニ葡萄牙人、布哇土人、比律賓人、支那人及ヒ朝鮮人ヲ用フ内労働者取締其他重要部分ハ本邦人ヲ以テ充サル女ハ果實ノ截斷、入罐其他比較的容易ナル仕事ニ當ル、賃銀ハ普通労働一月十九弗乃至三十五六弗、女子ハ十三弗乃至十四弗ニシテ砂糖會社ノ賃銀平均十二弗ニ優ル労働時間ハ十時間ヲ普通トス、當製造所ノ製造スル罐詰數ハ一日多キハ四萬九千個、平均二萬五六千個ナリト云フ、尙ホ當製造所ノ製出罐詰ハ大部分之ヲ直チニ米本土ニ移出ス、一函内ニハ罐ノ大サニ依リ十二個(打)、二十四個(打)及四十八個(打)ヲ詰ム、一罐ノ卸相場十五仙乃至十九仙ナリ、而シテ二十四個入最モ普通ナリトイフ、當會社ノ支配人ハ William Baldwin ナリ

第二節 本邦鳳梨經營事業ト將來

全地ニ於ケル日本人經營ノ鳳梨製造業ハ昨年ノ創設ニ係リ其事業未ダ幼稚ナルモ前記外國同業者ト拮抗シ若々經營ノ歩

ヲ進メ前途發達ノ見込アルカ如シ會社名ハ「マウイ、パインアップル、コムパニー」(Maui Pineapple Co.)ト稱シ資本金貳萬弗
 ニシテ本邦人ノ耕作地二百噓計アリ之カ小作人ヲ多ク株主トシテ協同利害ノ關係ヲ保タシム中ニハ少數ノ葡萄牙人モ株
 主中ニ加ハレリトイフ、製造所ハ規模外國人會社ニ比スレハ小ナリト雖モ略ホ同一ノ裝置ヲ設ケ發動汽罐(石油)ノ動力
 ハ寧ろ外國會社ヲ凌クトイフ、今年既ニ約一千函ヲ米本土ヘ移出シタル筈ニシテ特質ハ甘味ニ於テ優レタルカ如ク經營
 方法宜シキヲ得ハ將來有望ノ事業ナリト謂フヲ得ヘシ因ニ云フ布哇各島ニ於ケル本年鳳梨事業ハ最モ隆盛ヲ極メ移出額
 七十五萬函乃至八十萬函ニ及フヘシトイフ

第四章 護謨栽培事業

第一節 事業ノ概要

當島ニ於ケル護謨栽培地ハ布哇各島ニ於ケル最モ大規模ノモノニシテ布哇ニ於ケルモノ之ニ亞ケリ當島ハ東南海岸「ナ
 ヒク」(Nahiku)ニ在リ空地ハ多雨ニシテ防風ノ好地位ヲ占メ排水宜シク季候其他護謨栽培ニ適セルカ故事業起リタルモ
 ノニシテ目下護謨會社四アリ

- (1) Nahiku Rubber Co. (2) Hawaiian American Rubber Co.
- (3) Kolan Rubber Co. (4) Nahiku Sugar Co. (元ト製糖事業)

ニシテ約六年前相前後シテ起リ (1)ハ目下栽植地積五百噓所有地面ハ八百七十噓ニ及フ (2)ハ所有地六百噓其内三百噓
 ヲ使用シ (3)ハ三百噓ヲ栽植シ (4)ハ二百噓内外ニ及フ此(1)中ハ最モ大仕掛ニ經營シ他ノ諸會社ハ寧ろ其成績ヲ觀望シ
 居ルノ狀アリ支配人ハ W. A. Anderson ニシテ(2)ノ支配人ヲモ兼ヌ、植付種類ハ (一)伯國產ノ (Cavendish) (二)全 Hawaii (三)墨國
 ノ (Castillo) 等ニシテ數年以前栽植シタルモノハ昨年來既ニ出液ヲ始メ合衆國農事試驗場ヨリ技手ヲ派シテ取調ヘ且ツ教
 示スル所アリタリ Nahiku Rubber Co. ハ既ニ機械場ヲ据付ケ製造ニ着手シ居ルヲ見ル目下ハ恰モ護謨ノ價格低廉ナルカ

爲メ一頓挫ヲ來セルモノ、如キモ漸次機會ヲ見テ事業ヲ進歩セントスルノ狀アリ勞銀ハ目下凝液ヲ「ガソリン」機械ニ掛
 ケ精製シタルモノニテ一封度五十仙ナリトイフ目下各會社ニ使用セラル、各國勞働者ノ數ヲ擧クレハ左ノ如シ

(1) Nahiku Rubber Co.			
日 本 人	八 人	布 哇 土 人	五 人
比 律 賓 人	十六人	葡 萄 牙 人	八 人
支 那 人	一 人		
(2) Hawaiian American Rubber Co.			
日 本 人	三 人	布 哇 土 人	五 人
(3) Kolan Rubber Co.			
日 本 人	三 人	米 國 人	一 人
(4) Nahiku Sugar Co.			
日 本 人	八 人	布 哇 土 人	四 人
朝 鮮 人	四 人		

尙ホ Nahiku Rubber Co. 支配人ニ會シ聞ク所ニ依レハ本地護謨ハ頗ル良質ニシテ曾テ之ヲ紐育ニ送リ評價セシメシニ伯
 國產良種一封度一弗六十六仙ニシテ之ニ比シ十仙ノ下位ニアリトイヘリ又タ既ニ滴汁ニ適スル樹數二萬三千餘株ニ上レ
 リ尙ホ資本金ハ十二萬五千弗ナリ

第二節 本邦勞働者ノ現狀

本護謨栽植地ニ於テ近年護謨植付ケノ盛ナリシ時期ニアリテハ本邦人ノ就勞セシモノ二百人ヲ超ヘタリシカ既ニ略ホ植
 付了シタルト一方ニ於テ本邦人ト雇主トノ間ニ利益配當上面白カラサル關係生シタル等ノ爲メ離散シテ上記ノ如ク少
 數トナルニ至レリ最モ目下本業ハ漸ク試驗時代ヲ經過シタルニ止リ目下本邦人其他ノ從事シ居ル樹皮ヲ傷ケ滴液ヲ採集
 スル等ノ業モ漸次多ク人手ヲ要スルコト、ナルヘク又タ事業ノ形勢ニ依リテハ更ニ新ニ植付ケヲ爲スニ至ラハ更ニ勞力

ノ必要アルベク之カ爲ニハ本邦人ハ最モ適當ナル勞働者トシテ之カ需要アルヘキ旨前記支配人ハ余ニ語リタリ、而シテ目下ハ頗ル本邦人勞働者ノ歎心ヲ買ハントスルノ底意ヲ洩シタリ、尙ホ勞銀ハ滴汁ノ分量ニ依リ差異アルモ多量ノ場合ニハ一人七十五仙乃至一弗ニ上ルコトアルモ時ニハ半封度ニ滿タサルコトアリ、植付ケハ一株十仙ノ割合ニテ深サ二呎ニ達スルヲ條件トシテ契約ヲ爲シ一時ハ受負者ニシテ一日三弗ニ達シタルコトアリトイフ、又タ雇主ハ勞働者ニ對シ家屋ヲ供給シ其他關係略ホ砂糖會社ニ倣ヘリ

第五章 玉蜀黍耕作事業

第一節 本邦勞働者ノ現狀

玉蜀黍耕作事業

第一章ニ説述シタル本島ノ東部ニ偏シテ巍立シタル「ハンヤカラ」ノ山嶺ノ西面ヲ上ルコト三千呎ヨリ四千五百呎ノ山腹ヘ沿ヒ横サマニ數哩ニ亙リ一帯ノ耕地アリ玉蜀黍ヲ主産物トシテ間作又ハ傍作トシテ馬鈴薯、五月豆、大豆等ヲ栽エ人家其間ニ點在シ倚仄セル山路ニ沿ヒテ空地ヲ設ケ馬ヲ飼ヒ、豚ヲ養ヒ、鶏ヲ蓄ヘ以テ副業ト爲シ各家既ニ妻子ヲ有シ、夜間ハ盛暑六十度ヲ上ラス井ナク天水ヲ引イテ之ヲ貯溜シ頗ル太古の生活ヲ營メル一日本村アリ地名ハ「クラ」(Kra)ト總稱シ之ヲ分チテ (1)「オモヒオ」(Omohio) (2)「ブレフ」(Pulafu) (3)「ワイヤロ」(Wiyako) (4)「ロノウル」(Konoulu) 等ト爲シ (1)ハ二十九家族人口約百人 (2)ハ十四軒四十八人其他四十六軒計三百餘人アリ最初ハ支那人ガ玉蜀黍耕作ニ從事シ居リタルヲ二十余年前頃ヨリ本邦人ニシテ此地ニ來リ之ガ試作ヲ爲スモノ相違キタルニ氣候頗ル健康ニ適スルヨリ漸次此地ニ轉移スルモノ増加シ今日ニ於テハ支那人ハ反對ニ倍々其數ヲ減少スルノ一方トナリタリ、玉蜀黍ハ頗ル此地味ニ適シ全ク降雨ニ倚賴スルノミニシテ灌溉ノ勞ヲ要セス之ヲ家畜ノ飼料トシテ賣却スルモノニシテ平均一噓ノ收穫ハ平均二十俵ニ上ル(一俵百斤)一俵相場ハ約一弗ナリ而シテ他作物トノ割合ハ全反別ノ一割乃至一割五分ヲ以テ他作物ノ耕作ニ充ツ馬鈴薯ハ平均一俵二弗ニシテ一噓ニ付平均八十俵ニ當ルトイフ、本耕地ハ全體ノ收入ニ於テハ甘蔗耕地ニ及ハサル

モ獨立ノ事業トシテ種々甘蔗耕地ニ見ルガ如キ冗費ヲ節スルコトヲ得ヘク且ツ比較的堅實ナル一農村ヲ組織セル點ニ於テ頗ル人意ヲ強フスルモノナキ能ハス而シテ必要物資供給機關トシテハ雜貨店アリ且ツ各勞働者自カラ馬ヲ馱シテ山下リテ「バイア」ニ出テ、之カ供給ヲ受ケ教育機關トシテハ日本人學校二アリ兒童ヲ收容セリ其他寺院ノ設備モアリ左マデ生活上不便ヲ感セサルモノノ如シ、而シテ本地ノ「オモヒア」及「ブレフ」ノ一部ハ「ハレヤカラ」牧畜會社 (Halekaka Ranch Co.) ノ所有地ニ屬シ前者ハ一戸最大四十噓最小十二噓ヲ租借シ前者總地積四百九十一噓三九後者二百六十五噓一六ニシテ借地料ハ前者二千八十弗七十五仙平均一噓四弗三仙餘ニ當リ後者ハ千二百九十七弗九十仙平均四弗八十七仙ニ當ル而シテ右會社カ本邦人等ノ玉蜀黍耕作以來土地ヲ荒蕪ニ歸セシムルト一ハ最要地部ガ牧場ノ中間ニ在スルガ爲メ牧畜業發展上防碍ヲ與フルトノ事由ノ下ニ數年以前ヨリ立退ヲ申請シ來レルモ斯クテハ永住ノ地ヲ退散スルガ爲メ頗ル困難ノ事情ノ生スベキヲ憂ヒ年々延期ヲ請求シタルガ昨年ニ至リ遂ニ止ムヲ得ス既ニ土地ノ一部ヲ返還セシモノ合セテ三百三十噓ニ及ヒタリ

第二節 將來

將來

然ルニ余ノ同地巡視ヲ機トシ同地本邦人中利害關係者ハ事情ヲ訴ヘ立退延期方ニ付陳情スル所アリタリ依リテ余ハ詳カニ事情調査ヲ遂ゲ一應右牧畜會社ト關係アル前記甘蔗會社ノ一支配人ニ面會シテ懇談スル所アリタリ之カ結果ハ尙ホ未定ニ屬スルモ既定事實トシテ相互契約ノ一部ヲ履行シタル今日ナレハ或ハ早晚立退ノ止ムヲ得サルニ至ランカ其時ニ際シテ右兩地ノ本邦農民ハ一時多少困難ヲ感スベキモ其際地主トノ間ニ移轉ニ關シ適當ノ措置ヲ取リ右會社ノ地域以外ニ住セル本邦人ノ住地ノ南部ニ沿ヒテ近時「ホノル」ニ於ケル本邦人カ合資購求シタル千噓餘ノ地域アレハ或數ハ右地方ニ轉移スルコトヲ得ベク本地特殊農作事業ノ荒蕪ニ歸スルコトナキヲ信スルナリ

英領哥倫比亞州北部沿岸地方事情並
在留日本人ノ狀態

英領哥倫比亞州北部沿岸 地方事情並ニ在留日本人 ノ状態

目次

第一 北部沿岸地方ノ位置	二〇九
第二 北部沿岸地方ノ産業	二一〇
第三 北部沿岸地方ノ産業ト本邦人	二一一
第四 鐵道	二一三
第五 當地方ニ於ケル重ナル市邑	二一四
第六 交通	二一五
第七 結論	二一六

附屬表

- 一、銚罐詰製造高
- 一、鑛山會社株式價格
- 一、本邦人漁夫數
- 一、「ロッキー」山横斷鐵道勾配比較

英領哥倫比亞州北部沿岸地方事情並ニ在留日本人ノ状態

第一 北部沿岸地方ノ位置

領 事 矢 田 長 之 助

鮭漁漁區

茲ニ北部沿岸地方ト稱スルハ素ト當國固有ノ名稱ニアラス只當領事館所在地タル晚香坡市ヨリ見又州全體ヨリ見テ北方ニ存在シ而シテ本邦人ノ居住スル地方ハ悉皆江灣又ハ河川ニ沿ヒ居ルカ故便宜上斯ル名稱ヲ付シタルノミ其地方ハ「リヴアース、インレット」ニ始マリ「ボートランド、カナル」ニ終ル即チ北緯約五十一度ヨリ五十六度ニ至ル間ヲ云フ

英領哥倫比亞州鮭漁ノ漁區ハ別チテ五トナス(一)「フレザー」河區ト云ヒ(二)「スキーナ」河區ト云ヒ(三)「リヴアース、インレット」區ト云ヒ(四)「ナース」河區ト云ヒ(五)「其他ノ區ト爲ス、茲ニ云フ北部沿岸地方トハ即チ「スキーナ」河區、「リヴアース、インレット」區及「ナース」河區ノ三區ヲ含ミ併セテ其北方「アラスカ」トノ境界線迄ヲ總稱スルモノナリ

此地方ハ海岸線ノ屈曲殊ニ甚敷江灣ノ重ナルモノトシテハ「リヴアース、インレット」「パーク、チャンネル」「(ベラク)」「デーン、チャンネル」「(キムス)」「ドグラス、チャンネル」「(キチマ)」「オブサーベトリ、インレット」「(ペーグ)」「(ボートランド、カナル)」「(スチヴ)」「(ボートランド、カナル)」ノ如キハ實ニ延長九十五哩ヲ算ス河川ノ重ナル者ハ「スキーナ」河及「ナース」河ノ二ニシテ「スキーナ」河ハ延長三百哩ニ達ス

如斯廣漠タル地方ナルニ不拘現ニ土人以外ノ居住氏ヲ有スル地方ハ(一)「リヴアース、インレット」(二)「ベラクラー」(三)「ナミュー」(四)「ベラベラ」(五)「キムスタイ」(六)「キチマート」(七)「オーシアン、フオールス」(八)「スワンリンペー」(九)「ロー、インレット」(十)「スキーナ」河(十一)「プリンス、ルバート」(十二)「ボート、シンブリン」(十三)「ナース」河(十四)「グーズ、ペー」(十五)「スチワート」等ノ數者ニ過キス

第一 北部沿岸地方ノ産業

當地方ハ殆ント未開ノ状態ニ在リ漁業ヲ除キテハ何等記述ノ價值ナシ
漁業ニ關シテハ當地方ハ實ニ天與ノ好地位ニ在リ前記ノ好ク其海岸線ノ長キ江灣ノ無數ナル好ク各種魚屬ノ生存ニ適シ
而シテ其平和ナル江灣、河川ハ又好ク漁撈ニ適スレバナリ

高ノ産出

當地方ニ於ケル鮭ノ罐詰高ハ附屬第一號表ノ如ク昨年ノ産出高、「スキーナ」河區二二三、〇三五箱、「リグアース、インレ
ット」區二一九、三九八箱、「ナース」河區三九、七二〇箱合計三九一、一五三箱ニシテ當州産出鮭罐詰高ノ半以上ニ達ス漁
業ノ外現ニ多少着手セラレタル事業ハ

- 第一、製材及「バルブ」製造
- 第二、農業
- 第三、鑛業

農産地

ナリ而シテ第一農業ハ「ベラクローラ、ヴァレー」ヲ中心トシテ着手セラレ其入口ナル「ベラクローラ」ニハ州政府ニ於テ延長
二哩餘ノ棧橋ヲ架シ汽船ノ發着ニ便セシメ以テ農民ノ移住ヲ奨励シツ、アリ而カモ此地方ハ人跡未タ到ラサルノ地多ク
可耕地ノ面積サヘ詳カナラス州政府ハ毎年夏期ニ於テ探險及測量隊ヲ出シテ其報告ヲ印刷シ廣ク坊間ニ分布ス、而シテ
此等農産地ト稱スルハ實ニ沿岸ヲ去ル十五哩以上ノ地ヨリ起算シテ二三百哩ノ奥ニ至ル地方ヲ云フモノニシテ「ベラク
ーラ」及其他有望ナリト稱セラル、沿岸地方ニ於テモ殆ント着手サレ居ラス

製材業

第二 製材業及「バルブ」製造業 當地方ハ一帯ニ樹木ノ鬱生スルヲ見ルモ其木材ハ晚香坡市附近又ハ晚香坡島等ノモノ
ト比シテ材質貧劣ニシテ且少量ナリト稱セラル去ル卅九年ヨリ「グランヴィル、チャネル」ノ「スワンリンペー」ニ一ノ
製材會社ヲ創設シ製材及「バルブ」ノ製造ヲ企テタルモノアリ其結果餘リ面白カラサリシカ如キモ昨年以來新タニ英本國
資本家ノ加ワルアリ目下ハ資本金三百萬弗ト稱シ製材及「バルブ」製造ヲ爲シ居レリ又本年ヨリ新タニ「フツジャー、チャ

ンネル」ノ「オーシアソフオールス」ニ製材會社ヲ起シタルモノアルモ未タ營業ノ期ニ達セス

其外小規模ノ製材所ハ「スキーナ」河「オブサーベートリー、インレット」「デイン、チャンネル」並ニ「ナミュー」ニ各壹個
所宛アリ

鑛業

第三 鑛業 鑛業ハ當地方ニ於テ最モ有望ナリト稱セラル而シテ今日迄世上ニ發表セラレタルモノハ左ノ如シ

- (1) 「メーブル、ペー」(銅)
- (2) 「グーズ、ペー」(銅)
- (3) 「ボートランド、カナル」
 - a 「ボートランド、カナルマイニング、コンパニー」(銅、銀)
 - b 「エプニング、サン、コロンビア、エンドグニー」(銀)
 - c 「スチワード、マイニング、エンド、デヴィロツセンタ、コンパニー」
 - d 「ボートランド、ワオランダ、マイニング、コンパニー」
 - e 「オー、チャー、メイ、タイ」
 - f 「ルーズグエルト、グローナ」(銅)
 - g 「レックト、クワフ」(銅)

其内目下着手及探掘中ノモノハ(×)ヲ付シタル四種ニ過キス、其産出高ハ詳カナラスト雖トモ各會社株式ノ市價ハ別表第
二號ノ通りナルカ故現時ノ状態ニ於テハ何レモ好望ナリト云フヲ得ス

第二 北部沿岸地方ノ産業ト本邦人

前記ノ如ク北部沿岸地方ニ在テハ産業ノ種類僅カニ前記四種ニシテ其間本邦人ノ就勞スルモノハ

- (一) 漁 撈
 - (二) 製材及伐木勞働ノ二種ニ通キス他ノ農業及鑛業ニハ何等關係ヲ有セサルナリ而カモ製材及「バル
ブ」伐木業者ハ前記ノ如ク頗フル幼稚ナルカ故最モ重大ノ關係ヲ有スルハ只漁業ノ一ノミ
- 漁業トハ鮭ノ漁撈ナリ當地方ハ別表第一號ニ明示スル如ク數十ノ鮭罐詰會社アリテ其製產品ヲ世界各地ニ輸出シツ、ア

第二 北部沿岸地方ノ産業

第三 北部沿岸地方ノ産業ト本邦人

リ而シテ之ニ詰メラル、鮭ハ少數ノ土人漁者ヲ除キ殆ント全部本邦人ナリトス、本年度當地方ニ出漁セル漁夫ハ別表第三號ノ如ク而シテ例年ノ數亦之ニ下ラス

漁夫ハ當地方ニ定着スルモノニアラス全部晚香坡市及其附近ヨリ漁期(六月ヨリ八月迄)ニ雲集シ來ルモノニシテ漁期ヲ了レハ全部霧散ス「スキーナ」河ノ如キ地方ニ於テモ四季ヲ通シテ定着スル本邦人ハ僅カニ十四名ヲ算スルノミ

此等ノ漁夫ヲ招集スル爲メ各鐘詰會社ハ一名或ハ數名ノ日本人「ボツス」(頭)ヲ置ク「ボツス」ハ其年度漁期中會社ニ於テ必要トスル漁夫ノ員數ヲ定メテ募集ス、會社ハ「ボツス」ニ招集手數料トシテ漁舟一艘(一漁舟ニハ漕手ト稱手ト二人乘ナルヲ故一漁舟ハ即チ二人乘ニ付五弗乃至拾五弗ノ手數料ヲ支拂フ)

漁夫ノ状態ハ好良ナラス彼等ハ晚香坡市ヲ去リテ北方「スキーナ」河方面ニ向フニ際シ先ツ漁撈ニ必要ナル油服、雨具「ゴム」靴等ヲ購入セサル可カラズ(舟及ヒ網ハ鐘詰會社ヨリ供給ス)或ハ冬期間ノ寢食料ヲ支拂ハサルヘカラサルモアリスルハ「ボツス」即チ募集人ヨリ其要求スル金額ヲ借受ケ(本年頃ハ漁夫少ナキ爲メ前借二百弗ニ達シタリ而カモボツスハ漁夫ノ請求ヲ容レ前借金ヲ貸與ス)運賃ヲ支拂ヒ目的地ニ出發スルナリ

平年漁ニ於テハ一艘ノ漁舟二人ニテ一漁期間五千尾ヲ撈スルハ中位以上ナリ之ヲ鐘詰會社ニ於テハ「サカエ」(重ニサカエニ尾十仙ノ割ニテ買上ク其合計五百弗之ヲ二分スレハ一人ノ取揃二百五十弗ナリトス、此全收入ヨリ「ボツス」ニ食費トシテ月十五弗ヲ支拂ヒ外ヒ油衣「ゴム」靴ノ再調衣服調度等ヲ購入セハ殘ルトコロ百五十弗ニ達スレハ實ニ上々ナルモノナリ然ルニ當地方ハ從來漁夫ノ氣風頗フル惡シク賭博ハ必ス行ハレ飲酒モ亦必要ノ交際トナリ殊ニ晚香坡市附近ニ居ル所謂ゴロ付、賭博手ナルモノハ此期ニ乘シテ必ス當方面ニ出動シ來リ各「キヤムブ」(漁夫ノ共ニ同宿所)ヲ荒シ回ハルカ故ニ善良ナル分子モ之ニ同化セラレテ賭博ト飲酒ニ耽リ其收入ノ大半ハ擧テ之ニ投シ三、四個月ノ難行何等得ル所ナク空拳再ヒ晚香坡市ニ歸還スルモノ甚タ多シ此苦キ經驗ニ懲リ而シテ覺醒セルモノハ再ヒ當方面ニ來ルヲ好マス確實ナル製材労働伐木労働或ハ鐵道労働等ニ向フカ故當方面行ノ漁夫ハ漸次減少スルノ傾向ヲ生シ進シテ之ニ向ハントスルモノハ前記ノ如ク

「ボツス」ニ前借金ヲ要求スル徒輩ニシテ之等ハ未タ覺醒セサルモノ或ハ到底覺醒ノ機ナキモノトス

然レトモ當方面ノ漁夫ハ盡ク無賴漢ノミニアラズ元來當方面ノ漁獲高ハ他ノ地方ト比シテ優秀ノ地ニアルカ故若シ好運ニ際會シテ多數ノ鮭魚ヲ漁獲スル時ハ一節間ニ四百弗或ハ五百弗ヲ貯蓄シ得ルコトアリ故ニ眞面目ナルモノト雖トモ此好運ヲ期シテ當方面ノ漁撈ニ從事スルモノモ亦尠ナシトセス

製材及伐木等ニ從事スル本邦人ハ「スワン、リンペー」製材會社ノ約二十名「ナミュー」製材會社ニ約二十名「オーシアン、フォールス」製材會社ニ約五十名アリ何レモ日給一弗七十五仙ヨリ二弗五十仙迄ナリ此等ハ仕事ノ性質上漁夫ノ如ク一攫千金ヲ夢ムルコトナク着實ニ就勞シ居ルカ故賭博及飲酒ノ弊少ナシ

第四 鐵 道

(一) 「グラント、トランク、バシフイック」鐵道 本鐵道ハ前内閣即チ「ロリエー」郷ノ自由黨内閣カ千九百三年中北部加奈陀ノ開發ニ資センカ爲メ現ニ東部加奈陀及合衆國間ニ約四千五百哩ノ鐵道ヲ有スル「グラント、トランク」鐵道會社ト交渉シ「マニトバ」州「ウエニベク」以西太平洋ニ至ル一千七百五十六哩間ハ會社ヲシテ鐵道ヲ布設セシメ其以東大西洋ニ至ル一千八百哩間ハ政府ニ於テ布設シ其線路ヲ會社ニ貸與スルコトト爲シ資本金四千五百萬弗ヲ以テ此「グラント、トランク、バシフイック」鐵道會社ヲ組織セシメ第二ノ加奈陀大陸橫貫鐵道ヲ布設セントシタルニ始マル故ニ本鐵道ハ前内閣ノ最モ苦慮シテ其開通ノ一日モ速カナランコトヲ祈リ「ロリエー」郷ハ此鐵道ノ開通ヲ以テ一生命トセリ

本鐵道ノ太平洋岸ニ於ケル終點ハ即チ當地方「スキーナ」河ノ河口ニ近キ「ブリンズ、ルバート」ニシテ今ヤ既ニ市ノ建設ヲ見鐵道工事モ同所ヨリ「スキーナ」河ニ沿ヒ壹百哩餘ヲ布設シ終リ「ブリンズ、ルバート」ヨリ約壹百哩ノ西方「ヘーゼルトン」迄ハ二週二回ノ客車ヲ運轉スルニ至レリ

本鐵道ハ明年度ヲ以テ全部竣工スヘキ契約ナルモ「ロブキー」山橫斷工事及當地方ニ於ケル労働者ノ缺乏ハ到底豫期ノ通

リニ行カス恐ラク全部ノ開通ヲ見ルハ今後三ヶ年ノ後ナル可シ
 本鐵道ノ開通ハ當地方及ヒ中部英領哥倫比亞州ノ開發ニ多大ノ影響ヲ與フ可シト豫期セラル「プリンス、ルバート」市及
 中部ノ貨物集散停車場ト豫定セル「フォート、ジョージ」ノ土地ハ相應ノ高價ヲ以テ市場ニ賣出サレ居レリ
 本鐵道開通ノ曉ニハ東洋方面ト西部加奈陀及合衆國トノ最逕路トナリ加フルニ本鐵道ハ比較的平坦ナル土地ヲ通過スル
 カ故貨物ノ運搬上ニモ多大ノ利益アリ貨客共ニ本線ヲ取ル可シト期待セラレ其結果加奈陀、太平洋鐵道ト本線トノ優劣、
 晚香坡市ト「プリンス、ルバート」市トノ成敗ハ一時實業家並ニ論客間ノ一大問題ナリシカ互ニ一長一短アリ現時ニ於テ
 ハ兩々相俟テ發展スヘキモノトセラレ
 會社ノ計算ニ由レハ「プリンス、ルバート」ト横濱トノ船行ハ晚香坡市ト横濱トノ航海ニ比シ二日間早ク又「プリンス、ル
 バート」ト「ウエニベツク」間ノ鐵道運轉ハ晚香坡市ト「ウエニベツク」間ノ鐵道運轉ニ比シ二日間早キカ故横濱ト西部加
 奈陀並ニ合衆國トノ交通ハ四日間短縮セラルヘク且「ロツキー」山ノ横斷モ比較的の低所ヲ選ヒタルカ故荷物ニ對スル運賃
 モ大ニ減少シ得可キ見込アリ東洋方面ノ貿易並ニ旅客ハ必ス本線ニ於テ吸收シ得ルモノトナセリ「ロツキー」山横斷ニ關
 スル各大陸横貫鐵道ト本線トノ比較ハ別表第四號ノ如シ
 (二) 「ボートランド、カナル、シヨート、ライン」鐵道、「ボートランドカナル」ノ終點「ステewart」ヨリ鐵坑區域ニ達スル約
 三十里ノ鐵道ニシテ専ラ鐵坑關係品ノ輸送ヲ目的トス、前記ノ如ク目下同地方ノ鐵山ハ殆ント睡眠状態ニ在ルカ故ニ本
 鐵道モ亦午睡シアルモノ、如シ但シ本鐵道ハ只鐵山ノ關係ノミニシテ山林、農業等トハ全ク無關係ナリ
 此外當方面ニ於テ三、四ノ鐵道布設ノ計畫アルモ未ダ着手セラレタルモノナシ

第五 當地方ニ於ケル重ナル市邑

重ナル市邑

(一) 「プリンス、ルバート」市 「プリンス、ルバート」ハ即チ「グラランド、トランク、バシフィック」鐵道ノ終點ニシテ將來

太平洋岸ニ於ケル一大貿易港ヲ以テ任スルモノ其市街、港灣等建設ノ計劃ハ頗フル遠大ナルモノアリ

「グラランド、トランク、バシフィック」鐵道會社カ領政府ト鐵道布設ノ契約ヲシタル後更ニ當州ノ沿岸各地ヲ踏査シ遂ニ其
 終點ヲ「プリンス、ルバート」ト決定シ更ニ當州政府ト交渉シテ千九百五年中一萬英町ノ州土ヲ貰受ケ外ニ一萬四千英町
 ヲ買得シ全市街ノ面積ヲ二萬四千英町トナスノ計畫ヲ立テ差當リ内二千英町ノ市街ヲ建設スルコト、ナシ州政府ヨリハ
 水道下水及道路等初期建設費ノ中ニ二十萬弗ヲ補助シテ千九百六年ヨリ起工シ昨年ニ至ツテ一先ツ市街ノ體裁ヲナシタ
 ルヲ以テ土地ヲ賣出シ今日ニ於テハ既ニ住民四千ヲ算シ自治體ノ市トナレリ

同港ハ既ニ一千五百呎ノ埠頭ヲ有シ同下尙船渠、政府ノ埠頭、市街道路ヲ築造中ナリ

同市ノ將來ハ「グラランド、トランク、バシフィック」鐵道ト運命ヲ終始ス現時同市附近ニハ漁業ノ外殆ント産業ノ見ルヘキ
 無キカ故ニ市街ノ發達速々トシテ進マサルモ鐵道ノ開通ヲ見「ビー、シー」州中部開發ノ曉ニハ著シキ膨脹ヲ期ス可シ

(二) 「ステewart」、「ボートランド、カナル」ノ終點ニアリ同地ノ鐵山ト成敗ヲ共ニス目下ノ住民ハ三百ニ足ラス商況等
 全ク閑散ナリ

(三) 「ボート」、「エツシングトン」、「スキナー」河畔漁撈地ノ中心ニアリ夏期ハ鐵詰會社ノ繁盛ト共ニ雜踏ノ地ト化スルモ
 冬期ハ眠レルカ如シ常住者約百名

此外第一章末段記述ノ地ニハ漁期以外ニ定住スルモノ十名以下ニ過キス
 但シ製材會社ニハ冬期ト雖モ尙定住者多シ

第六 交通

當地方ヘノ交通ハ一ニ汽船便ニ因ル其航路ニ當ル汽船會社ハ

第一 「グラランド、トランク、バシフィック」鐵道會社

第五 當地方ニ於ケル重ナル市邑 第六 交通

約四千噸ノ新造客船二艘ヲ以テ「シヤトル」、「グイクトリア」晚香坡、「プリンス、ルバート」、「スチワート」間チ一週二回往復ス

第二 「ユニオン」汽船會社 客船一艘ヲ以テ前全地チ一週一回往復ス

第三 「ボスコウツチ」汽船會社

客船二艘ヲ以テ「グイクトリア」晚香坡、「プリンス、ルバート」其他ノ小邑ニ寄港シ二週二回ノ往復ヲナス

第四 加奈陀、太平洋汽船會社

「アラスカ」行及「クインシャーロット」行ノ定期船チ「プリンス、ルバート」ニ寄港セシム

以上ハ何レモ定期船ニシテ此外數種ノ不定期船アリ交通ハ至便ナリ

第七 結 論

北部沿岸一體未開ノ状態ニアルハ前述ノ如シ斯ルハ一ニ當州人口ノ稀少ナルニ歸因ス其富源ヲ云ハハ水産業ノ外各種ノ事業ヲ發見スヘキモ目下晚香坡市附近ノ豊饒ナル土地ヲモ尙モ荒蕪ニ委セラレ居ル今日進ンテ此方面ノ開拓ニ從事スルモノ無カルヘケレハナリ殊ニ水産業ト雖トモ鮭ノ外ハ殆ント棄テ、顧ミス

當方面ニ對スル本邦人移住ノ最大故障ハ「グランド、トランク、バシファイツ」鐵道ノ建設ニ一切ノ亞細亞人ヲ使用セサルコト是レナリ初メ鐵道會社カ當州内ニ鐵道ヲ布設セントスルニ當リ州政府ト利益ノ交換代價トシテ鐵道ノ建設工事ニハ一切ノ東洋人ヲ使用セサルコトヲ條件トシタリ爾來會社ハ労働者ノ不足ニ苦シミ屢々此約束ヲ破ラント試ミタリシモ州ハ頑トシテ之ニ應セス爲メ今日ニ於テモ依然白人労働者ノミヲ以テ布設シツ、アリ若シ此制限ナク鐵道會社ニ於テ本邦人労働者ヲ使用スルニ於テハ必スヤ之ニ随付スル宿屋食料品商等「プリンス、ルバート」市ニ向フモノヲ生ス可ク又「スキーナ」河、「ナース」河等ニ出漁スル邦人漁夫モ遠ク五百五十哩ヲ隔ツル晚香坡市附近ヨリ往復スルノ必要ナク同地方ニ定住スルモノヲ生ス可ク定住ハヤカテ根據ヲ構フルコト、ナルヘキモ今日ニ於テハ殆ント此望ナシ

第一號表 (千九百十年註産産製造高)

一 「スキーナ」河漁區

産出高

産出高	産出高
「ビー、シー、パツカース」	六、二二六九
「エー、ビー、シー、パツキング」	三三、六一九
「ゼー、エツチ、トツド」	二〇、三八五
「ビー、シー、キヤンニング」	二一、一四九
「キルダラ、パツキング」	一九、五二七
「ワレス、アロツス」	三四、二七三
「スキーナ、リグアー、キヤンニング」	一一、六六七
「キヤシア、パツキング」	一九、一五〇

一 「リグアース、インレット」漁區

「ビー、シー、パツカース」	四三、九〇一
「エー、ビー、シー、パツキング」	一六、四九〇
「ゼー、エツチ、トツド」	一八、八一
「ビー、シー、キヤンニング」	一九、五〇二
「キルダラ、パツキング」	一五、四三〇
「ストラスコナ、パツキング」	一五、二六四

一 「ナース」河漁區

「ジョン、ワレス」	一〇、四七一
「ネルソン、キヤンニング」	八、六〇九
「キンソレス、パツキング」	一二、四九〇
「フエアレーション、キヤンニング」	八、一五〇

第二號表 嶺山會社株式賣買價 (十月廿九日)

「ボートラント、カナール」(一弗)	五仙 ³ / ₄
「レント、クリフ」(一弗)	六拾五仙

第三號表 本邦人漁夫數 (四十四年)

第七 結 論

COMPARISON OF SUMMIT ELEVATIONS, MAXIMUM GRADIENTS AND TOTAL ELEVATION ASCENDED FOR VARIOUS TRANSCONTINENTAL RAILWAYS.

Name of Railway	Highest Summits	Maximum gradient in feet per mile		Total Ascent in feet overcome	
		East-bound	West-bound	East-bound	West-bound
Grand Trunk Pacific	1 summit				
West. Div. Winnipeg to Pr. Rupert...	3712	21	26	6990	6890
Eastern Div. Winnipeg to Moncton...			31		
Canadian Pacific	2 summits				
	5299	237	116	23106	23051
	4308				
Great Northern	3 summits				
	5202	116	116	15987	15305
	4146				
	3375				
Northern Pacific	3 summits				
	5569	116	116	17830	17137
	5532				
	2849				
Union Pacific System Omaha to San Francisco	3 summits				
	8247	116	105	18575	17552
	7017				
	5631				
Omaha to Portland	5 summits				
	8247	106	116	18171	17171
	6953				
	3537				
	3936				
	4204				
Western Pacific	2 summits				
	5712	52.8	52.8	9385	5076
	5018				
Santa Fe System	6 summits				
	7510	175	185	34003	34506
	7453				
	6987				
	7132				
	2575				
	3819				

第四號表 「ロッキーマウンテン」山横断鐵道ノ勾配比較

「スキナ」河區
「リッヂ」アイズ、インレット」區
「ナース」河區

壹千〇卅二人
二百十人
百五十人

伯國「サンパウロ」州巡回報告書

目次

第一章 移民労働耕地ノ情態	二二九
一、「ロドリゲス、アルヴェス」耕地	二三〇
(イ) 「サンタマリア」珈琲園	
<small>「サンタマリア、ラゲア」部落紛擾事件</small>	
(コ) 「サンタアナ」珈琲園	
(ハ) 「サンフランシスコ」珈琲園	
二、「ジャタイ」耕地	二三八
三、「ソブラド」耕地	二三三
四、「グワタバラ」耕地	二三六
五、附屬「シユミツド」耕地	二四一
第二章 都會ニ於ケル移民ノ情態	二四二
一、「サンパウロ」市在留民	二四二
二、「サントス」港在留民	二四四

「サントス」港、築港、棧橋、珈琲輸出、其他ノ情況	
第三章 官設殖民地ノ情態	二四七
一、「カンボスサレス」殖民地	二四八
二、「ノバオデッサ」殖民地	二五一
三、附屬官設諸殖民地ノ經濟情態表	二五三
第四章 私設殖民地「トラピスタ」宗派米作地ノ情態	二五五
第五章 結論	二五六
一、移民ノ定住	二五七

伯國「サンパウロ」州巡回報告書

在伯臨時代理公使 藤田敏郎

第一章 移民労働耕地ノ情態

移民現在 第一回并ニ第二回移民ノ配置及ヒ四十四年三月移民ノ耕地現在數ハ左ノ如シ

耕地名	第一回配置數		第二回配置數		現在數		合計
	第一回	第二回	第一回	第二回	第一回	第二回	
「カナン」(サンパウロ咖啡會社)	160	170	21	14	160	144	304
「イツー」(カンボスネット會社)	170	90	1	1	170	91	261
「グアマパラ」(ブラード會社)	90	90	1	1	90	91	181
「サンマルチーニヨ」(全上)	98	106	1	1	98	107	205
「デユモンド」(デユモンド咖啡會社)	201	1	1	1	201	2	203
「ツエ」	1	1	1	1	1	1	2
「ボア」	1	1	1	1	1	1	2
「セルラ」(フレルミアノ、ピント氏所有)	1	1	1	1	1	1	2
「サン」	1	1	1	1	1	1	2
「シ」	1	1	1	1	1	1	2
「ソブラド」(アラクワ農業會社)	62	1	1	1	62	2	64
「アラクワ」(ロドリゲス、アルヴェス會社)	1	1	1	1	1	1	2
「サンタ、マリア」(全上)	1	1	1	1	1	1	2
「サンタ、アナ」(全上)	1	1	1	1	1	1	2
「サン、フランシスコ」(全上)	1	1	1	1	1	1	2
「サンヘッドロ」(バウワサーレス氏所有)	1	1	1	1	1	1	2
合計	1192	541	11	11	1192	122	1314

第一章 移民労働耕地ノ情態

民ニ對シ伊國人ヲ召集シ其攻撃ニ備ヘタルハ輕卒不謹慎ノ極ナルニ付充分之ヲ責メ尙ホ大ニ將來ヲ戒メタリ依テ再ヒ斯ル事件ノ起ラサルヲ信ス

(二) 「ラゴア」部落即チ日本移民等ノ人夫長ヲ他ノ人夫長ト交迭セシメンカ人夫長ハ各其部署アリ事業ノ能不能アリ地理ノ不知不知アリ事甚タ複雑ニシテ小時日間ニ斷行スルコト能ハス今回ノ事件ハ斯ル困難ヲ冒シテマテモ交迭ヲ行フ程ノ價値アリト信スル能ハス今交迭ヲ行ハントセハ日本移民ノ爲メナル旨ヲ宣言セサレハ兩人夫長ハ理由ナクシテ交迭セシムルヲ得ス若シ其理由ヲ述フレハ少數日本移民ハ人夫長ヲ交迭セシムル權能ヲ有スルカ如キ看ヲ呈シ兩人夫長ハ日本人ニ對シ惡感ヲ抱クヘシ斯ル事ハ日本人ノ爲メニ不得策ナリ

(三) 日本人ヲ其人夫長「ベルナルド」ノ監督ヲ脱セシメ他ノ人夫長ノ下ニ置クコトハ必スシモ行ヒ難キコトニ非ラサルモ如何セン日本人ヲ移スヘキ家屋ナシ假リニ他部落ノ移民ト交迭セシメンカ既ニ耕地除草及珈琲樹手入レ區域ノ分配ハ定マリ居リ夫々作業中ナリ其分配珈琲樹數及反別ハ家族ト力量トニ依リ差違アリ且樹間ニ栽培シタル豆、玉蜀黍ハ生育中ナリ故ニ東區ノ分配ニ預リタル者ハ西區ニ家屋ノミヲ移スモ除草及ヒ手入ノ場合ニハ東區ノ分配區域ニ行カサル可ラス斯ル場合ニハ依然元ノ人夫長ノ監督ヲ受ケサルヘカラス且家屋ヲ移ストスルモ各家族ニハ借入セル菜園アリ豚小屋アリ鶏部屋アリ一々移轉セシメントセハ多大ノ費用ヲ要シ假リニ日本人ハ之ヲ忍フトスルモ事無キ他國移民ハ農期末ナル十一月以前ニハ決シテ移轉ノ交渉ニ應セサルヘシ云々

支配人ハ移民ノ苦情ニ關シ竹村移民會社代理人上塚ニ對シ左ノ條件ヲ申出テ日本人ニ忍耐勞動センコトヲ勸告セリ

第一 家屋ノ狭キ分ニ對シテハ夫々廣キ家ヲ貸與スヘシ

第二 大掃除、除草手数料、日雇賃錢ノ違算ニ對シテハ整算ノ上誤謬アレハ訂正スヘシ

第三 人夫長ハ日本人ニ對シ將來一層ノ注意ヲ以テ取扱ハシムヘシ

第四 珈琲收穫期ヲ終リタルトキ(即チ來ル十一月)ハ日本人ノ好ムニ任セ部落ノ何レノ方面ニテモ移轉セシムヘシ

第五 日本人ニ對シテハ摘採珈琲一袋ニ付二百「レイス」(十四錢)ノ割増ヲ實行スヘシ

支配人ハ是レ以上ノ請求ニハ應セスト申出テ移民一同モ承服シ兎ニ角公使館員ノ出張迄ハ依然勞動スヘシト申出テタリ小官移民ノ家長十一名ヲ召集シ支配人ノ誠意ヲ傳ヘ其申出ハ眞實ナレハ各自之ヲ承諾シ夫々本分ヲ盡スヘシト懇々説諭シ一同承服シタリ移民ノ或ル者曰ク人夫長ハ近頃我移民ニ對シ多少其取扱振ヲ改善シタル看アレドモ一伊國泥醉漢ヲ使嗾シ我移民ノ家屋ニ來ラシメ金錢酒食ヲ乞ハシメ若シ與ヘザレバ小銃ヲ差向ケ威嚇スルモノ、如シ依テ一同ハ同人ノ意ニ逆ハヌ様ナシ居ルモ若シ邦人中殺傷サル、者ヲ生ゼバ公使館ハ如何ニ所置サル、ヤ一人ニテモ殺サレタルトキハ斯ル耕地ニ勞動セシメラル、公使館ノ責任ナラン云々、支配人ノ云フ所ニ依レバ泥醉漢ハ決シテ人夫長ノ命ニテ人々ヲ煩ハスニアラス平生善人ナルモ泥醉ノ極スル惡戯ヲナスモノニテ伊國人及ビ西班牙人モ均シク困却スル所ナレバ何トカ處分スベシ云々、小官移民ニ其由ヲ告グ且曰ク若シ移民ニ對シ暴行スル者アレハ決シテ復讐ヲナス可ラズ若シ然ララズシテ復讐スレバ伊國人側モ多勢援助ニ來リ由々敷大事ヲ惹起シ何レカ正當防禦ヲナセシヤ判明セズ途ニ殺サレ損、負傷損、トナリ了ルコトアラン充分其邊ヲ辨ベシ暴行ニ出會セシトキハ直チニ支配人ニ訴フベシ全人必ズ曲直ヲ判定シ夫々所分スベシ此事ハ支配人口ヲ極メテ保證シタリト支配人傍ラニ在リ其事ヲ繰返セリ

人夫長ナルモノハ素ト伊國移民ニシテ多年耕地ニ勞動シ珈琲栽培ノ經驗ヲ有スルモ無學文盲ニシテ言語風俗ヲ同フスル全國人ニ有利ナル田畑ヲ貸與シ、容易ナル勞役ヲ課シ、多數ノ珈琲樹ヲ受持タシメ多額ノ受負賃ヲ交付シ物品ヲ運ブニモ自國人ヲ先ニ少數日本人ヲ後ニスル等ノ行爲アリ是レ下等社界ニハ不可免通弊ナルガ如ク日本人ハ斯ル事ニハ頗ル鋭敏ナル感覺ヲ有シ二三ノ事ニヨリテ猜忌ノ眼ヲ以テ百事ヲ觀察スルノ風アリ且多數結合シ自己ノ意思ヲ遂行セントスル弊アリ本耕地支配人ハ同人夫長ノ偏頗ナル取扱アルヲ感得スルモ人夫長ヘ委任セル些事ニ一々干渉スルコトヲ得ス今日マデ看過シタルモノ、如シ

日本移民 本耕地ニ住スル本邦人ハ客歲六月ニ到着シ七月上旬ヨリ就役セシ第二回移民ニシテ年末總勘定ノ際一家族三四百「ミル」

勞働ノ現

ノ殘金ヲ有シ本年一月マデ本邦へ送金セシモノ七人此金額一「コント」四百二十「ミル」此外現金ヲ所有スルモノ多々アリ
新着者六ヶ月ノ殘金トシテハ好成績ト云ハザルベカラズ

本耕地ニテハ一家族ノ男一人女一人ヨリ成ルモノニハ珈琲樹四千五百本、二男一女ヨリ成ルモノニハ六千五百本ヲ受持
タシメ間作ヲナサハルモノニハ千本ニ付百十「ミル」、間作ヲナスモノニハ千本ニ付九十「ミル」ヲ交付シ別ニ畑地ヲ珈琲
四千本ヲ受持ツモノニ半「アルケール」(「アルケール」ハ「五反」)、六千本ノモノニ四分ノ三「アルケール」、八千本ノモノニ一「アル
ケール」ヲ貸與シ各自ノ好ムニ從ヒ豆、米、玉蜀黍等ヲ耕作スルコトヲ許ス、珈琲實摘採ハ一「アルケール」即五十「リート
ル」ニ付契約額ハ四百「レイス」ナレ共昨年ハ日本人ニ限リ四百五十「レイス」ヲ與ヘタリ、其ハ未經驗者ニテ一日一袋以上
ノ摘採困難カレバ食費料ヲ支辨スルニ足ラザルヲ察シ特ニ増給セリト云フ又本年ハ珈琲ノ市價上騰且作柄昨年ヨリモ優
レザルニ付一「アルケール」五百「レイス」ヲ交付スルコトヲ得ルナラント云フ然ルニ日本人ハ耕主ノ恩惠の増給ヲ知ラズ
シテ既得權ノ如ク心得増額ヲ請求スルハ誤レルノ甚シキモノナレバ小官其邊ヲ説明シ一同モ了解シ好意ヲ謝セリ
本耕地ノ日雇給料ハ一日二「ミル」(拾餘錢)ナリ
本耕地ハ近傍ニ「ロドリグス」アル「グエス」村及「サンマノエル」市アリ出入便利ナレバ自由ニ物品ヲ購入スルコトヲ得
且移民ノ收穫物モ亦タ勝手ニ賣却スルコトヲ得
本耕地附近ノ物價ハ左ノ如シ

日用品ノ
物價並ニ
生活費

一 白米	一袋六十「キロ」	二十二「ミル」乃至二十五「ミル」
一 豆	全	十五「ミル」
一 牛	肉	五百「レイス」乃至六百「レイス」
一 豚	肉	七百「レイス」乃至八百「レイス」
一 石	油	八「ミル」
一 鹽		十「キロ」入袋
一 全糖		二十「キロ」入袋
一 砂糖		二十「ミル」乃至二十四「ミル」

一 餅	一「キロ」	一「ミル」乃至二「ミル」
一 小麦粉	一袋四十五「キロ」	十三「ミル」乃至十五「レイス」乃至十四「ミル」
一 燒酎	一立突	一「ミル」

大人一ヶ月ノ食料十五乃至二十「ミル」ヲ要スト云フ此地方ノ我移民ハ疎食ニ甘ンジ牛豚肉ヲ食スルハ甚ダ稀ナリ、然レ
ドモ強キ燒酎ヲ飲ムノ癖アリト云フ依テ燒酎ヲ廢シ滋養ニ富メル肉類ヲ食スベキヲ勸告ス
(ロ)「サンタ、アナ」珈琲園

本園ニ勞働スル本邦移民ハ愛媛縣人三家族十三人ニシテ客歲七月到着ノ第二回移民ニ屬シ最初六家族ナリシガ廣島縣人
三家族ハ收支價ハズトノ口實ノ下ニ「サンパウロ」市ニ逃亡セリ

現在移民三家族ハ勤勉温順、耕地支配人并ニ人夫長ノ愛顧スル所ニテ移民等モ満足シツ、アリ然ルニ耕地主ノ貸與スル
畑ノ面積一家族ニ對シ五反歩ナレバ玉蜀黍ノ收穫僅々七八俵ヲ出デズ此賣價七八「ミル」ナリ又間作ニハ一家族ニ付豆
二千本ヲ許可スルノミナシ一家族ノ食料ニモ不充分ナリサレバ移民ノ所得ハ珈琲摘採ト珈琲樹手人及除草受負料トニ
過ギズ之ヲ全一持主ニ係ル隣耕地「サンタ、マリヤ」ニ比スレバ頗ル不幸ト云フ、ベシ此耕地受負ハ一家族男一、女二人ニ
付五千本男二人、女一人六千本間作ヲナサバ千本ニ付九十「ミル」間作ヲナサハレバ百十「ミル」ヲ受クルノ定メナリ依之
小官ハ總支配人ニ貸與畑ノ面積ヲ増加センコトヲ相談セシニ全人曰ク全耕地ニハ貸スベキ餘地ナシ移民ニシテ希望セバ
來ル十一月農期末「サンタ、マリヤ」耕地ニ移リ他ノ日本人十一家族ト共ニ勞働スベシ全耕地ニハ貸與スベキ餘地充分ア
リトノコトニテ移民一同大ニ喜悅多謝セリ

此地方一體健康地ニシテ疾病少ク日本人中九歳ノ小童一人腎臟炎ニテ死亡シタルモノアリシノミ然ルニ全人ノ發病スルヤ
醫師ハ一診十「ミル」ヲ請求(宅診五「ミル」住診ハ)シタレバ移民ハ其高價ニ驚キ他日疾病ニ罹ラバ莫大ノ費用ヲ要スベシトナ
シ恐怖ノ色アリ因リテ「グワタバラ」耕地ノ例ニ倣ヒ疾病ト否トニ拘ハラズ一人一ヶ月五百「レイス」ヲ耕地支配人ニ拂ヒ
罹病トキハ幾回ノ診察ヲ受クルモ別ニ料金を仕拂ハザルコト、ナシテハ如何ト提議セシニ一同其有利ナルヲ信シ承服

ス依テ小官ハ總支配人ノ意見ヲ問ヒシニ全人曰ク主義トシテ頗ル善良ニ付賛成ナレドモ先ツ醫師ニ相談シ且耕地ノ經濟ニ關係ヲ及ボス事件ナレバ持主ノ許可ヲ受ケザルベカラズ維フニ醫師ハ少數日本人移民ノミニテハ不引合ヲ唱ヘ耕地全體各人種ニ及ボサンコトヲ請フナラシ本件ハ早速醫師ノ意見ヲ聞キ不日耕主來着ノ上相談決定スベシト

伯國ニ於ケル醫師往診ノ高價ナルハ可驚モノアリ大概「レグア」(凡我五十町)二十五「ミル」ニ「レグア」六十「ミル」三「レグア」百「ミル」ヲ徵收スルニ付移民ノ重患殊ニ長病ニ罹ルモノハ非常ノ困難ヲ感ズ彼ノ伊太利、西班牙等ノ政府ガ契約移民即補助金ヲ受ケテ伯國ニ渡航スル移民ヲ禁止シタル重ナル原因ハ伯國ニ於ケル移民ガ適當ノ醫療ヲ受クル能ハザルニアリ

本耕地本移民中十二歳ノ娘ト弟ヲ呼寄セ又從弟夫婦ヲ呼迎ヘント欲スルモノアリ總支配人ニ旅費ノ貸與ヲ乞ヒシニ承諾シタル如キモ不充分ナル言語ナレバ誤解ナキヲ保セズトテ確答ヲ得ンコトヲ申出ツル者アリ小官總支配人ニ問ヒシニ三家族ノモノガ保證セバ右四名ハ勿論六七人ノ旅費タリトモ「サンバウロ」來着ノ上汽船會社若クハ移民會社ニ仕拂ヒ月々其所得中ヨリ漸次拂込ミ償却スルコトヲ諾スト答フ移民三家長欣諾移民船來伯ノ際移民會社ニ依頼呼寄ヲナスベシト云ヘリ此類ノ呼寄ハ双方ノ便宜ナレバ許可シテ差支ナキモノト思ハル

日用品物價
移民ノ食
物及生活
費

此地方ノ物價ハ「サンタマリア」耕地ト大空小異ナリ

此地移民ノ食物ハ米飯、小麦粉團子(鹽豆、豆ノ類ニ砂糖ナシ)天然ニ生長スル京菜ニ類スルモノ、鹽漬、干鰯ノ燒キタルモノ、鹽玄豆ノ煮タルモノ、菜ノ煮タルモノ、豚肉ト雜煮シタル温飽ノ類ナリ、飲物ハ珈琲ナリ茶ハ高價ニシテ移民ノ口ニ入ル能ハズ、味噌、醬油等ハ高價ニシテ用ヒ難ク食物ノ味付ニハ一切鹽ト砂糖ノミヲ使用ス移民ノ食費并ニ衣服其他ノ生活費ハ男二人、女一人ノ一家族五十「ミル」(我三十 四五圓)ヲ要ト云フ

ハ)「サン、フンシスコ」珈琲園

本園ニ勞働スルモノハ廣島縣人三家族十一人ニシテ一家族六千二百本ノ珈琲樹手入ヲ受負ヒ間作ニ豆三四千本、玉蜀黍二百本ヲ耕スコトヲ許サレ珈琲千本ニ付一ヶ年受負料九十「ミル」ヲ受ケツ、アリ耕地ノ貸與スル畑ハ僅々一家族半畝ヲ越ヘズ自用野菜ヲ耕作スルニモ不充分ナリ

移民ノ食
物及生活
費

黍二百本ヲ耕スコトヲ許サレ珈琲千本ニ付一ヶ年受負料九十「ミル」ヲ受ケツ、アリ耕地ノ貸與スル畑ハ僅々一家族半畝ヲ越ヘズ自用野菜ヲ耕作スルニモ不充分ナリ

移民三家族トモ鶏、豚、羊ヲ飼養シツ、アリ豚ハ三四ヶ月位ノモノヲ五、六「ミル」ニテ購入シ半ヶ年餘飼養シ屠殺前一ヶ月計リ玉蜀黍ヲ多量ニ與フルトキハ暫時ニシテ肥大トナリ八十乃至百「ミル」ニ賣却スルヲ得中ニハ屠殺シ鹽漬トナシ半ハ自用トナシ半ハ他ニ賣却スルモノアリ

此耕地本邦人ノ食物ハ米飯、豚ノ脂ヲ入レ煮タル豆、米ニ豆ヲ入レタル赤飯、京菜ノ煮付、大根ノ鹽漬、黃瓜漬、蕪ノ餅、休日ニハ河ニテ漁獵ヲナシ魚類ヲ食ス一ヶ月一家族三人ノ費用ハ四十五、四十七乃至五十「ミル」ニシテ珈琲樹手入費(凡ソ五百五)ノミニテ生活費ヲ支辨スルニ餘アリ咖啡實摘採賃(凡ソ五六)日雇賃、間作及家畜ノ收入ハ貯蓄金トナルモノナリ本耕地モ「サンタアナ」ニ均シク借入畑地狹少伊國人及西班牙人ニ比シ不利益ノ待遇ヲ受ケツ、アリト訴フ是レ又支配人ニ相談ノ上來ル十一月「サンタマリア」耕地ニ移シ他ノ十四本邦人家族ト共ニ勞働セシムルコトニ決定シ移民一同承諾ス本耕地移民中兵卒タリシモノ一人アリ本邦ニテハ中流ノ農家ニ屬シ土地ヲ所有シ作男ヲ雇ヒ耕作シ自己ハ稀レニ鋤鋤ヲ執リシノミニテ當國ノ如キ終日ノ勞働ニ堪ヘ難キニ付滿期ノ上ハ妻ヲ其弟ニ托シ本人ハ亞爾然丁ニ赴カント願出ヅ依テ同國行旅券ヲ交付シ難シ依然當耕地ニ留マツテ相當貯蓄ヲナシ然ル後植民地ニ入り地主トナル計ヲ立ツルヘシト勸告ス他ノ二家長曰ク當耕地ノ勞働ハ本邦ニ比シ敢テ難事ト云フヲ得スト、本耕地ノ物價ハ「サンタマリア」「サンタアナ」ト同一市場ニ於テ購入スルモノナリ

醫師診察料高價ナルコトハ本耕地移民モ驚ク所ニシテ毎月五百「レイス」又ハ其以上ヲ拂ヒ往診ノ都度仕拂ハサルコトヲ欲スルニ付其旨總支配人ニ通知セリ

本耕地三家長ハ十一月、十二月分勘定ノ誤謬ヲ訂正センコトヲ乞フ支配人ハ人夫長ニ命シ調査セシムヘキヲ約ス「サンタマリア」耕地ハ毎二ヶ月ニ計算ヲナシ咖啡樹手入受負賃ハ十二ニ分チ毎月交付スル定メナレハ將來誤算ノ虞ナカラシカ、

總計算ハ十一月ニシテ日雇賃其他ハ月々支拂ハスシテ總計算ノ際交付スルヲ一般ノ例トナス

一、「ジャタイ」耕地

本耕地ハ「サンパウロ」州「サンシモン」郡ニ在リ交通頗ル不便「モジアナ」鐵道「サンシモン」驛ヨリ五「レグワ」即三十基米突ノ所ニアリ

本耕地ニ勞働セシ本邦人ハ客歲六月末到着セシ第二回ノ移民ニシテ最初配置セシトキハ二十三家族八十三人ナリシカ本年一月末ニテ二十一家族七十五人トナリ居タリ(二家族ハ他ニ退轉)本耕地ニ於ル移民引上事件ニ關スル大要ヲ左ニ記載スヘシ

移民引上事件

本耕地ニテハ我移民一家族三人ニ對シ咖啡三千本乃至四千本ノ手入ヲ受負ハシメ此取扱賃千本付九十「ミル」ナレハ一ケ年二百七十乃至三百六十「ミル」ニ當リ此一ケ月分二十二「ミル」半乃至三十「ミル」ヲ各家族ニ交付ス然ルニ此地ハ前述ノ如ク市場ヲ去ル我七里半ノ不便ナル土地ニシテ只一ノ商店アリ表面耕主ノ親戚之カ持主タレ共其實耕主ノ出資ニ係レリ同店ノ物價ハ非常ニ高ク例ヘハ豆一袋六十「キロ」三十五「ミル」、米六十「キロ」二十八「ミル」、麥粉一袋四十五「キロ」入り十六「ミル」ノ如キ相場ニテ到底一家族二三「ミル」ニテハ生活困難ニシテ月々借金ヲ増スノミ、依テ客歲十二月末一家族ノ負債少キハ九十多キハ三百「ミル」ニ上ルモノアリ移民等失望ノ極、勞働ヲ肯セサルモノアリ日本人監督等ニ移民會社代理人等百方説諭シテ移民ノ借入畑ニ於ケル收穫ハ米三百二十俵(此實價一俵)豆七十五俵(此實價一俵)玉蜀黍五十車(一車價十七「ミル」)アル見込ナレハ此總價格ヲ八千「ミル」トシ是ヲ二十家族(一大家族ハ大工)ニ分配スレハ一家族四百「ミル」宛ノ割合トナリ外ニ客歲十二月以降咖啡受持賃二百五十「ミル」ヲ合スレハ四十四年度農期末即本年十一月末合計六百五十「ミル」トナリ一家族一ケ月六十「ミル」ヲ費ヤスモ殘餘アリ加之五月以降咖啡實摘採料一家族平均五百「ミル」内外アルヘク此計算ニテハ負債平均百「ミル」ヲ拂フモ尙ホ四百「ミル」内外ノ純益アルヘシト鼓舞獎勵シ移民モ之ヲ諒トシ忍耐勉強ヲ約シ左ノ四條件ヲ提出シタリ

移民提出條件

第一、水管ヲ大クシテ吸水ヲ便利ナラシムコト 第二、板ヲ各家族ニ分與シテ寢臺、棚、食卓等ヲ造ラシムルコト 第三、日雇勞働ヲ一家族中ノ一人ニ毎月少クトモ七日以上ヲ與フルコト 第四、外國人并ニ日本人ニ耕地ニ於テ一切武器ヲ携帶セシメサルコト

右四條件ハ移民代理人「サンパウロ」市ニ於テ耕地主ノ承諾ヲ受ケタリ(此條件ハ遂ニ實行セザリシ)一般ノ耕地ニテハ良キハ煉瓦造又ハ木造ノ二軒又ハ四軒割長家ヲ移民ニ交付シ甚シキハ椰子樹ニテ建築シ壁ハ土ヲ塗リタル堀立小屋ヲ給シ同家屋ハ根太ハ勿論家具一切ヲ有セス移民到着ノトキハ當分土間ニ起臥シ暇時耕主ノ給スル板ヲ以テ寢臺其他ヲ各自調製スル例甚タ多シ本邦移民ハ「サンパウロ」市到着ノトキ移民收容所ニテ過分ノ優遇ヲ受ケ浴スルニ熱湯アリ眠ルニ「シート」毛布ヲ具フル寢臺アリ清潔ナル食卓ニテ一日一二「ミル」ノ美食アリ耕地ニテモ斯クアルヘキヲ豫期セシニ豈計ラシヤ到着セハ堀立小屋ヲ給セラレ寢臺ハ云フニ及ハス根太床板無ク失望落膽セシモノ比々皆然リ、本耕地ニテハ床板並ニ家具ヲ給セザリシノミナラス板マテモ與ヘザリシニ由リ第二條ニ特記シ給與ヲ乞ヒシナリ第三ノ日雇役云々ハ一家族二三千本ヲ受持ツ者ハ毎月十日以上空シク手ヲ束ネテ消光スルヲ常トシ善キ耕地主ハ道路ノ修繕、牧草ノ蒔入其他ノ勞役ヲ命シ日給ヲ與フ然ルニ本耕地ニテハ伊國人、西班牙人ニハ其恩典ヲ與フレトモ本邦人ハ常ニ後廻ニセラレシナリ、第四ノ武器云々ハ移民監督人夫長其他「ビストル」又ハ小銃、小刀等ヲ携ヘ移民ノ逃亡セントスル者又ハ命ヲ奉セサルモノ、抵抗セントスルモノ等ヲ威赫スルノ用ニ供シ本邦人モ不用心ト思ヒ各自武器ヲ携帶スル風ヲ養ヒ斯クテハ些少事ニテ殺傷ヲ來スコトアルヘキヲ豫期シ武器徹廢ヲ提出セシナリ

移民逃亡ノ眞想

期クシテ本年一月上旬ニ至リ移民一同逃亡ヲ企テタリトテ耕地ヨリ移民代理人ニ打電シタリ代理人上塚同地ニ出張シ事實ヲ取調ヘシニ全ク耕主ノ不注意ニ依リ事件ヲ發生セシナリ其大要左ノ如シ

耕地主牧場ノ牛馬多數一夜日本人ノ耕作セル米畠ニ侵入シ前ニ述ヘシ三百二十俵ノ收穫ヲ豫期セシ稻ヲ悉皆喰ヒ盡シタレハ移民ハ耕主ニ談判シ責メテ豫期ノ半額ニテモ交付セラレ度ト請求セシニ耕主之ニ應セス移民ハ大不平ノ極逃亡ヲ企

テタレハ通譯并ニ耕主ヨリ移民會社代理人ヲ召寄せタルナリ代理人ハ移民等ハ米作ヲ重大ナル收入トナシ豫算ヲ立テ居ル事ナレハ耕主ノ不注意ヨリ其牛馬ノ荒シタル點ニ對シ豫期收穫ノ半額ヲ交付スヘシト請求セシニ耕主ハ各家族ニ米半俵ツ、ヲ給スル外何物ヲモ與ヘスト主張シ頑トシテ移民及代理人ノ要求ニ應セス代理人及移民ハ此上ハ詮方ナシトテ沈黙セリ本年一月二十五日通譯ヨリ事件容易ナラストノ旨ヲ發電シ代理人ニ出張ヲ請ヘリ其事件ノ真相ハ左ノ如シ

一月末支拂期トナリ移民各自受取ルヘキ金額平均一家族四十五「ミル」ニ當レリ耕地内唯一ノ商店ハ耕主ヨリ直チニ商店ニ其金額ヲ交付セサレハ移民カ將來何等ノ要求ヲナストモ應セス若其金額ヲ負債償却ノ一部トシテ提出セハ爾後物品ノ供給ヲナスヘシト申込ミタレハ通譯ハ其言ヲ信シ移民ノ請取ルヘキ金額ヲ直接耕主ヨリ商店ニ支拂ハシメタリ然ルニ其翌日同商店ハ日本移民ニ對シ掛金ニテハ品物ノ供給ヲナス能ハスト通告シタレハ移民ハ商店ノ詐偽手段ニ弄セラレタルヲ憤リ斯ル耕地ニ留マルトキハ益々窮境ニ陥ル外ナシトテ逃亡ヲ企ツル至レリ(代理人ハ「サンパウロ」ヲ出發スル前日耕主ノ父トゾ、ハ前借ヲ許スコトヲ請セシメ打電セシニ商店ハ其電報ヲ受取リ之ヲ通譯ニ交付セサリキ元來各耕地ニテハ耕主及商店ヨリ毎日一圓騎馬使ヲ附近停車場ニ遣ハシ郵便物及電信ヲ受取リ來ルカ故ニ同耕地内ニ住スルモノハ事務所又ハ商店ニ至リ受取ルナリ故ニ郵便電信ヲ交付スルト否トハ事務所及商店ノ欲スルカナリ)

耕主ハ此企ヲ探知シ耕地在住ノ各國移民四十名ヲ催シ武器ヲ携帯セシメ本邦移民ノ逃亡ニ供ヘシメタリ、然ルニ移民中松原某ナルモノ深夜便通ノ爲メ外出シタルニ(因曰當國耕地ニハ便所ノ設備無ク移番兵タル黒奴ノ一人武装ノ儘突然出現松原ヲ拘フ同人抵抗セシニ合圖ニヨリ四十人許四方ヨリ現ハレ來リ松原ヲ取圍ミ亂打セントセシトキ本邦人移民ハ此事ヲ知り又各々獲物ヲ携ヘ之ニ對抗セントセシカハ香山某(譯)現場ニ赴キ鎮撫シツ、アリシニ耕主モ武器ヲ携ヘ出テ來リ松原ニ向ヘリ香山ノ盡力ニテ双方共血ヲ流スニハ至ラサリキ移民一同ハ耕主ノ斯ク暴威ヲ逞フセシコトヲ憤リ斷然勞働セズト主張シ止マズ香山通譯通夜説諭シテ漸ク翌日悉皆勞役ニ就ケリ然ルニ耕主ノ決心頗ル堅ク日本移民ニシテ勞働ヲ肯セザレバ「サン、シモン」ヨリ兵士ヲ呼ビ壓制的ニ服務セシメ若尙ホ承服セザレバ牢獄ニ投入セント宣言ス移民會社代理人上塚ハ耕主ニ前借ノ約束實行ヲ迫リシニ耕主ハ其實行ヲ諾シタルモ移民ハ尙ホ三條件ノ實行ヲ迫リテ開カズ曰ク武器ノ携

移民解放ニ關スル三條件

帶ヲ禁ズル約束ナルニ昨夜ノ爲體ハ如何、斯ル有様ニテハ危險云フ可カラズトテ容易ニ承服セズ耕主ハ借金ノ返済、商店ニ對スル負債償却ノ方法立タザル内ハ如何ナル手段ニ訴フルモ移民ヲ解放スル能ハズト極力主張シ移民ハ如何ニ説諭スルモ反抗心ノ爲メ到底止マルヲ肯ゼズ上塚代理人双方ノ間ニ立テ進退ニ窮シタリ、其ハ耕地ノ若主人ハ「サンパウロ」州農商工務省總務長官ノ養子ナレバ本耕地ヲ長官ノ耕地ト云フモ不可ナク此耕地ヲ出デタル移民ニ對シテハ移民收容所長ハ之ヲ同收容所ニ收容シ若クハ再ビ他ノ耕地ニ周旋スルコトハ斷ツテ爲サザルベク斯クテハ今此耕地ヲ出セハ他日一層大ナル窮狀ニ導ク結果トナルベシト思ヒ百方説諭スルモ移民ハ骨ヲ路傍ニ墜ストモ如此耕地ニ止マラズト宣言ス上塚代理人ハ斯ル耕地ニ移民ヲ置クハ人道上忍ビ難ク、又幸ニ移民ガ勤續スルトスルモ耕主及商店ガ物品ヲ供給セザルトキハ再ビ紛擾ヲ生ズベク幸ニ食料品ヲ供給スルモ斯ル收入ニテ斯ル無法ノ高價ヲ拂フトキハ移民ノ借金ハ本年度内辨濟ノ見込ナク從テ十一月以降更ラニ一年度間契約ヲ繼續セザルベカラズトセバ移民ノ窮狀不快ハ益々加ハル可キ道理ナリ現今ノ情勢ヨリ察スレバ移民ハ耕地ヲ出デントシ耕主ハ飽マデ防ガントシ到底感情融和ノ機無ク若シ此儘ニ放任スレバ流血ヲ免カルベカラズト信ジ耕主ニ三條件ヲ申出デタリ、第一、移民ノ負債ハ後日代理人ノ責任ヲ以テ耕主及商店ニ支拂ハシムベキ事、第二、現在所有スル移民ノ食料品及器具ハ悉皆耕主及商店負債ノ一部トシテ提供スルコト、第三、以上二條件ヲ信據シテ移民ヲ來ル一月三十日午前六時マデニ解放スルコト、此條件ハ移民一同ノ大ニ満足スル所ニシテ前途如何ナル困難ニ遭遇スルモ忍耐勤勉シテ負債ヲ消却スベシト誓約シ耕主及商店ハ代理人ガ責任ヲ負フナレバ解放スベシトテ漸ク承諾シタリ其負債ハ十七家族共計千八百二十七「ミル」四百「レイス」凡ソ我千二百圓ニシテ其内最モ少キハ四十九「ミル」、最多額ハ二百十二「ミル」ナリ

右二十家族ハ約束ノ通り、一月三十日解放ヲ受ケタリ、此外ノ一家族段村ハ大工ニシテ雇主ニ於テ切ニ留住ヲ希望シテ止マズ本人モ異存ナキヲ以テ殘留スルコトニ決定セリ

二十家族六十餘名ハ一旦「サンパウロ」市ニ來リ代理人ノ周旋ニテ西北鐵道、鐵工所、鐘詰會社、「パウリス」鐵道「ブリ

解放移民ノ概況

キ」會社、紡績會社、硝子製造所、「チビリサ」耕地(名)ニ就役シタリ初メ隣耕地「グワタバラ」耕地ニ於テ右六十餘人ノ
雇入ヲ希望シ本邦人モ亦タ異議ナカリシガ農商工務省總務長官ノ耕地ニ勞働スル本邦人ヲ誘惑シ解放セシメ然ル後雇入
レタリ等ノ風説傳播セバ後日如何ナリ崇リアルベキヤ難計且來ル十一月以前ニハ咖啡樹ノ受持ヲナサシムルコト能ハズ
單ニ日雇役ヲ命ジ一日貳「ミル」ノミヲ給スルコトナレバトテ移民ノ不平ヲ顧慮シ一旦申出デタルコトヲ取消シ雇入レサ
ラキ

移民引上
ヲ是認ス

右移民會社代理人ノ處置ハ其當ヲ得タルモノニシテ小官ハ左ノ理由ニ依リテ之ヲ是認セリ
第一、耕主ハ移民ノ一家ヲ支フルニ足ラサル咖啡樹受持役ヲ授ケ(一家族三)第二、耕主ノ營業トモ云フベキ地方只一ノ商
店ハ近傍數里間ニ同業者ナキヲ利用シ物品ヲ甚シク高價ニ賣渡シ且移民ガ市場遠クシテ收穫物ヲ賣却シ能ハサルニ付込
ミ著シク廉買シ加之十一月決算期前物品ノ供給ヲ斷テ移民ヲ苦シメ、第三、耕主側ノ過失ニヨリテ其牛馬ガ移民ノ耕
作セル米凡ソ三百二十俵分ニ當ル稻ヲ食盡シタルニ對シ僅カニ移民二十家族ニ米半俵宛即チ合計十俵ヲ交付シ移民ノ經
濟ニ大打撃ヲ與ヘ、第四、耕主ハ州政府ヨリ與ヘラレタリト稱スル警察權ヲ濫用シ伊國移民等四十餘人ニ武器ヲ携帯セ
シメ抵抗セザル本邦移民ヲ壓迫シタリ、第五、移民ノ住家ニ必要ナル寢臺、床板、棚、食卓等ノ材料タル木材ヲ供給セサ
リシ等ハ許スベカラザル罪過ト云ハザルベカラズ移民側ニハ屢々不從順ノ行ヒアリ且同盟罷工ヲ企テ或ハ逃亡セントセ
シハ不良行爲ニハ相違ナケレ共必竟生活難ト壓迫ノ苦ミトニ堪ヘ兼テ企業畫セシモノニシテ事件ノ重モナル原因ハ寧ろ雇
主側ニ在リ移民ハ之ニ應ジタリト云フモ不可ナシト信ズ(耕主ノ米作賠償ノ不足ヲ憤リ牛一頭ヲ耕ニ屠殺シ食ヒ盡シ又夜陰十數人ヲ
小官同耕地附近「リベロン、ブレート」郡數耕地ニ於テ世評ヲ聞クニ「チャタイ」耕地ノ本邦人ニ對スル處置ハ良シカラサ
リシ耕主及長男等ハ比較シテ善良ナレドモ常ニ「サンパウロ」市ニ住シ現情ニ通ゼズ從ツテ萬事ヲ支配人ト商店主ニ一任
シ其云フ處ヲ悉ク信ゼシニ付斯ル事件ヲ生ズルニ至レリト云フ蓋シ真相ト思ハル

二 「ソアラド」耕地

「ソアラド」耕地ハ「サンマノエル」郡ニ在リ「ソロカバナ」鐵道ニ沿ヘル「グキタトリア」驛ニテ下車シ更ラニ分岐セル狹軌
鐵道ニ乗替ヘ「トレゼデ、マイヨ」驛ニテ降りニ「レグワ」即十二「キロメートル」(凡我)間馬車又ハ乘馬ニテ旅行スルヲ順
路トス

耕地ノ概
況及移民

本耕地ハ隣耕地「アラクワミリン」ト共ニ *Companhia agricola unguia* 會社ニ屬シ耕地ノ面積六千「アルケール」(「アルケール」
地球樹數六十一万本、毎年平均收穫七八萬「アロバ」(「アロバ」ハ十五基)アリ使用移民百二家族内日本移民第一回十一、第二回十
三合計二十四家族アリ客歲七月ニハ第一回十七、第二回二十家族アリシガ日本人某ノ誘惑ニヨリ「リオデジャネイロ」ニ
逃亡セシ者ト亞爾然丁國ニ轉航セシ者アリシニ由リ斯ク減少シタリ

移民ノ苦
情

本耕地新任支配人ハ逃亡セシ本邦人ヲ口ヲ極メテ罵倒シ分配セシ受持咖啡樹ヲ遺棄シタレバ中途他ノ移民ヲ雇入レ受持
タシノタル等ノ不利益ヲ蒙リタリ日本人ハ其等ノ點ヨリ信用スル能ハズト云ヘリ然レドモ現今殘留スル移民殊ニ第一回
移民ノ勞働ニハ頗ル満足シ居レリ同人ハ勞働者ヲ機械視シ殆ンド人類ヲ以テ同情ヲ寄スルコトナク耕地ノ條件ニ從フモ
ノハ止マルベク然ラザル者ハ滿期後勝手ニ去ルベシト宣言シ居レリ
移民中種々ノ苦情ヲ唱フル者アルモ多クハ些事ナリ左ノ四件ハ利害ノ關スル所大ナレハ之ヲ取上グ支配人ニ交渉シタリ
第一、毎月十四、五日間ハ受持樹數少ナキ爲メ用事ナク無聊ニ苦シムニ付其間日雇役ニ就カシメラレタシ
第二、一家族六千五百本ノ受持樹數ハ少キニ過グルニ付來ル十一月以後ハ力量ニ應ジテ増加セラレタシ
第三、來ル年度(明治四十五年)ノ契約ハ七月ニ締結スル慣例ナルガ日本人ニハ出奔ノ恐アリトテ咖啡樹受持ヲ許サザル風聞アリ
若シ事實ナレバ一同他ノ耕地又ハ都會ニ轉ズルノ準備ヲナサザルベカラズ(準備トハ假令ハ豚、羊、馬、畑作等ヲ十一月マデニ處分セザル
等ヲ云フ)

支配人ノ
答辭

第四、本耕地ニテハ些細ノ事ニ罰金ヲ科スルノ風アリ將來ハ濫リニ罰金等ニ處セザルコト
支配人ハ第一提案ヲ承諾シテ以來ハ成ルベク日本人ニモ日雇役ヲ命ズルコト、スベシ

第二案モ承諾シ各人ノ力量ハ既ニ分明シ居レバ來年度契約ヲ繼續セバ夫々受負珈琲樹數ヲ増加スベシ、第三案即チ來年度日本人ニ契約ヲ許サズ云々ハ誤聞ナラン但シ新來日本人ハ逃走ノ弊アルニ付本耕地ハ第三回移民ヲ雇ハザル決心ヲナシタリ蓋シ移民ハ此事ヲ誤リ傳聞セシナラン現住移民ニシテ勤勞ヲ希望セバ本耕地ハ喜ンデ契約ヲ更新セン、第四ノ罰金云々ハ本耕地秩序ヲ保ツ上ニ於テ不得止シテ爲ス事ナリ決シテ濫用セズト、小官曰ク契約書ニ明記セル事柄ニ違反シタル罰金ハ移民ニ於テ快ヨク承服スルモ然ラズシテ罰金コトハ如何、一例トシテ移民ノ云ヒシ事ニ由リ云ハンニ過日隣地日本移民ノ一夜來泊シタルニ對シ宿主ニ十「ミル」ノ罰金ヲ科シタルハ如何、用談アリテ來話シ深夜トナリ一泊セシメタルモ職務ヲ怠ラザレバ罰金ニ及ブ間敷カト思ハルト支配人答ヘテ曰ク耕地間ニハ移民ヲ誘惑シ奪ヒ去ルコト多シ故ニ他耕地ノモノハ一切移民ノ小舎ニ宿泊スルコトヲ得ザラシム日本人ハ斯ル事ヲ知ラズシテ爲セシモノト思ヒ斟酌シテ僅カニ十「ミル」ノミヲ科シタリ西班牙人ニハ同様ノ件ニ對シ過日二十五「ミル」ノ罰金ヲ命ジタリト又日本移民ガ自宅ニテ金錢ヲ賭セズンテ花札ヲ弄セシニ四人中三人ニ各五「ミル」ヲ課シタルハ如何、支配人曰ク移民ハ毎日十時間必ズ受持珈琲園ニ於テ働クベク期待セラル然ルニ其園ノ用事ヲ了リタリトテ日中自宅ニ歸リ遊戯スルハ違法ノ行爲タリ罰金ハ弄花ニアラズ勞働時間中耕地ヲ離レタルニ對シテナリ要スルニ各耕地支配人ハ習慣上州政府ヨリ警察權ヲ附與セラレ居ルガ故ニ之ヲ施行スルニ外カナラズト警察附與ノ事ハ支配人ト談話スルモ要領ヲ得ザリシニ付キ州政府當局者ニ尋問スベシト思ヒ深ク論難セザリキ

次ニ日本移民ノ人夫長ハ伯國人ニシテ乘算ヲ知ラズ一々實地ニ臨ミ珈琲樹ヲ算ヘ始メテ本數ヲ知ル如キ愚人ニシテ喜怒哀度ナク移民ノ迷惑少ナカラズト訴フルモノアリ依テ小官ハ支配人ニ來年度人夫長ヲ交迭セシムル意思ナキヤ日本人ハ前年度ノ人夫長ヲ大ニ好メリト問フ、支配人色ヲ起シテ曰ク移民ニシテ現人夫長ニ満足セザレバ何時ニテモ耕地ヲ去ルニ若カス耕地ハ勤勞ヲ希ハザルナリト小官曰ク其ハ移民ノ希望ニアラズ單ニ拙者ガ貴殿ニ斯ル意思ナキヤ問ヒシノミト、蓋シ人夫長ハ耕地ノ重ナル株主又ハ支配人自身ノ親戚ナラン

耕主ハ警
察權ヲ有ス

移民ノ情
態

耕地支配人ノ移民ヲ遇スルコト如斯ナレ共爾テ我移民ノ情態ヲ見ルニ不思議ニモ本耕地ニハ左ノ特色アリ、第一、珈琲ノ受持樹數ハ伊國人、西班牙人ニ比スレバ少ケレ共一家族三人ニテ平均六千五百本ハ他ノ耕地ニ比シテ多ク且賃銀モ千本ニ付百「ミル」ニシテ大概ノ耕地ヨリ十「ミル」多ク珈琲實採賃ハ一袋一「ミル」ナリ第二、貸付ノ畑ハ珈琲一千本ノ受負ニ對シ土地五分ノ一「アルケール」ノ割合即五千本ヲ受負フ者ハ一「アルケール」ノ畑(五反)ヲ受ケ豆、米、玉蜀黍等ヲ自作シテ各自ノ所得トナスコトヲ得之ヲ他ノ耕地ニ比スルニ本耕地ノ貸地面積ハ頗ル廣ク所得利益亦大ナリ、第三、大概ノ耕地ニ於ケル日雇賃金ハ一日二「ミル」ナルニ本耕地ハ一日二「ミル」半ヲ拂フ、第四、本耕地附近ニハ二三市場アリテ物ヲ自由ニ賣リ且買フコトヲ得ルニ付キ物價低廉ナリ加之ニ耕地ニ於テモ利益ヲ見ズシテ移民ニ需要品ヲ賣リ若其收穫物ヲ買ハンコトヲ希フ者アレバ「サンパウロ」市相場ヨリ運賃ヲ減ジタル價格ニテ買上グル制ヲ立テ居レリ故ニ移民ノ經濟ハ頗ル有福移民モ亦タ勤勉ナル者多ク第一回移民ノ一家族三人ニテ客歲末千五六百「ミル」即チ我千圓以上ヲ剩シタル者多クアリ本耕地ノ第一回移民中其貯蓄ヲ以テ政府ノ殖民地ニ入り十「アルケール」ノ土地拂下ヲ受ケ永住ノ策ヲ講ゼント欲スル者二三家族アリ小官大ニ同情ヲ表シ「サンパウロ」市ニ出デ移民收容所ニ到リ殖民地ノ所在ヲ尋ネ政府ヨリ無ハ賃乘車券ヲ得テ實地ニ就キ土地ノ良否、交通ノ便否、水利ノ有無、衛生上ノ良否ヲ調査シ然ル後拂下ヲ受クベシト手續其他ヲ詳示シ他ノ移民モ亦タ斯ク有リタシトテ大ニ其企畫ヲ賞揚シタリ實ニ斯ル移民ハ最モ望マシキ者ニテ最初渡航ノ趣旨ニ叶ヘルモノト云フベシ

移民中喧
嘩ニ入
ラシム
コト
ナラ
ズ

本耕地移民中亞然丁ニ轉航シタル者アリ其勸誘書狀ニ依リ二三家族ヲ除キ全部亞國行旅券ノ交付ヲ願出デタリ因テ公使館ハ轉航ノ不可ヲ諭シ且旅券ヲ交付スルヲ得ザル旨ヲ通達シタルモ彼等ハ之ヲ了解スルコト能ハズ若亞國ニ行クヲ得ザレバ「サンパウロ」市又ハ「リオ」市ニ赴カンコトヲ希ヒ有利ナル養豚鶏及借用畑ノ耕作等ヲ怠リ耕地退轉ノ準備ト都會生活及收益ノ空想ニ日モ亦タ足ラザル有様ナリト聞キシカバ小官等ハ本耕地ニ來リ更ラニ亞國行ノ不可ヲ細說シ料理店其他都會ノ勞働ハ一見自由且逸樂ニシテ利益多キガ如クナルモ結局ハ不利益ニ了ハル實例ヲ示シ然ルベキ耕地ニ於テ一二

年間辛抱シ貯蓄ヲナシタル上殖民地ニ入り地主トナリ永年ノ計畫ヲ立ツレバ數年ナラズシテ相應ノ資産ヲ起スコトヲ得ベシ是レ彼等伯國渡航ノ理想的目的ナラズヤト懸念シタリ移民ノ多クハ耕地ニ止マリ、來ル七月來年度ノ契約ヲ結ブベキ旨ヲ述ベシモ或者ハ「サンパウロ」市又ハ「リオ」市ニ出デントスル決心ヲ翻ガヘサルモノ、如シ

四 「グワタバラ」耕地

視耕地ノ概

「グワタバラ」耕地ハ「リベロン、ブレト」郡「グワタバラ」驛ヨリ九「キロメートル」ノ所ニ在リ「サンパウロ」市ヨリ「パウリス」線鐵道ニ乘リ同驛ニ至リ更ニ耕地ノ荷物用列車ニテ其本部ニ達スルコトヲ得本耕地ハ Da. Alberta Prado e Filho 即「アルベルチナ、ブラド」未亡人ト二男子ノ共同經營ニ係リ支配人「JOSÉ DE SAUTON」全權委任ヲ受ケ之ガ總轄ヲナセリ本耕地ノ面積ハ六千七百「アルケール」(一萬六千七百「アロバ」)アリ珈琲園凡ソ千「アルケール」アリ珈琲樹數百八十二萬九千本一ケ年ノ收穫十五萬乃至二十五萬「アロバ」(十五「キロ」)即チ六十「キロ」入三萬七千五百俵乃至六萬二千五百俵アリ千九百十年ノ收穫ハ十八萬「アロバ」即チ四萬五千俵ナリシ、元ト本耕地附屬ノ「ブレジョー、グランデー」區、此珈琲樹數二十五萬本ハ客歲ノ初メ「ブラド」未亡人ヨリ其男子二人ニ讓與シ別個經濟トナセリ、本耕地ニ常住スル小作移民ハ二百五十家族千二百人、日雇移民百家族五百人弱、内本邦移民ハ五十七家族二百八人ニシテ伊太利移民百五十家族、西班牙移民四十家族黑人三家族ナリ

移民ノ狀

本邦移民ノ受持珈琲ハ三人家族ニテ五千本即珈琲園一枚トス一園トハ二「アルケール」半ノ面積ヲ有シ葡語「タリヨーン」ト稱シ一方ニ五十本他方ニ百一本ヲ植ヘ樹々ノ間約一間半アリ一枚ノ畑ニ五千五十本ヲ植ヘ之ヲ三人家族ニ受負ハシム畑一枚ノ樹數ハ「サンパウロ」州全體ヲ通ジテ同一ナリトス、而シテ本耕地ノ受持賃ハ一ケ年千本ニ付百「ミル」ナリ、又三人家族ニ貸與スル畑ノ面積ハ三反トシ我移民等重ニ玉蜀黍、豆ヲ耕シ一部ニ菜園ヲ設ケ大根、瓜類、玉菜、葱等ヲ作リ又住居ノ近傍ニ豚及鶏舎ヲ造リ之ガ飼養ヲナス

移民ノ收

日本移民三人家族ノ收入支出ヲ聞クニ珈琲受持ニテ五百「ミル」(前)日雇給(前)一人一日二「ミル」半合計千三百「ミル」内三人一ケ年生活費(五「ミル」半乳ヲ含ム)五百四十「ミル」、醫師診察料(三人一ケ月半「ミル」)十八「ミル」小計五百五十八「ミル」ヲ減却セバ殘七百四十二「ミル」トナリ之ニ耕作物、家畜等ノ賣却益金ヲ加フレバ優ニ一ケ年千「ミル」ヲ剩シ得ベシ以上ノ計算ハ最少限ヲ掲ゲタルモノニシテ第一回移民中昨年度千四、五百「ミル」ヲ貯ヘタルモノアリ第二回移民ハ最モ不利益ナルトキ到着セシガ七月中旬ヨリ十二月三十一日近六ヶ月未滿ニ多キハ一家族四百余「ミル」少キハ五、六十「ミル」ヲ剩シ五十余家族中只八家族ハ疾病出產其他ニテ少額ノ負債ヲ生ゼシモノアリシ蓋シ本年ノ農期末ニハ皆済シテ猶ガ餘リアルベシ

本耕地附近ノ物價ハ近時公平トナリ本年三月上旬ノ相場ハ左ノ如シ

日用品物價

一白米	一袋	六十「キロ」入	二十一「ミル」
一白米	一袋	四十五「キロ」入	十三「ミル」
一豆	一袋	六十「キロ」入	二十「ミル」
一肉	一「キロ」		三百五十「レイス」(二十二錢一英斤十一錢)
一牛乳	一瓶	四合	百五十「レイス」(九錢七五、一合二錢四三)
一油	一箱	二罐「アゴース」	十五「ミル」
一砂糖	一箱	六十「キロ」入	十八「ミル」
一純白砂糖	一「キロ」		二十六「ミル」
一干糖	一「キロ」		一「ミル」
一「マンデオカ」	(寫字取リタル後ノ糖ノ如キモノ)	五十「キロ」	八「ミル」六百
一鹽	一袋	六十「キロ」	八「ミル」五百
一瓜	一「キロ」		五百「レイス」
一哇	一「キロ」		五「ミル」
一燒酎	八十「リートル」		十八「ミル」

商店專横

移民一人一ケ月ノ費用ハ十四五「ミル」乃至十七、八「ミル」ヲ普通トス
本耕地ニハ外國語學校出身ノ平野運平氏アリ元ト通譯トシテ來リシガ支配人ノ信用ヲ得テ漸次登用セラレ今ヤ副支配人

ノ一人トナリ日本人ノミナラズ伊西國人等ヲモ指揮ス最初日本人等ノ此耕地ニ到着セシトキ移民ハ金錢ノ代用タル耕地ヨリ發スル手形ヲ以テ耕地附屬ノ商店ヨリ物品ヲ購買スル慣習ナリシガ其價格ノ高キコト驚クベキモノアリ移民ハ該手形ヲ以テ「グワタバラ」其他ノ市場ニ至リ購品セントスレバ諸商店ハ之ヲ受取ラズ且市場ヘノ距離大ナレバ勢ヒ耕地ノ商店ヨリ買ハザルベカラズ平野氏ハ該商店ガ不當ノ利益ヲ收ムルヲ快トセズ支配人ニ協議シテ數十年來因襲セル萬障ヲ排シ移民ニ現金ヲ交付スルコトニ改メ平野氏自ラ移民ヲ代表シ「グワタバラ」其他ノ市場ニ到リ多額ノ需要品ヲ購入シ耕地ノ荷物用列車ニ載積シ耕地ニ持歸リ移民ヘ分配セシニ其價耕地商店ノ半ニ相當シタリ爾來耕地商店ハ大恐慌ヲ來シ種々奸策ヲ施ラセシガ失敗ニ終リ目下價格ヲ大ニ引下グ只管移民ノ好願ヲ希フモ本邦移民ハ殆ンド顧ミズ伊國移民等ヲ相手ニ漸ク生存スル有様ナリ、而シテ今ヤ日本人中食料品及雜貨ノ商店ヲ設ケントスル氣運ニ向ヘリ、當國ノ多クノ耕地ニ於テハ金錢ニ代用スル小切手ヲ發行シ移民ニ交付スルヲ通常トシ該手形ノ流通區域ハ極メテ狭少ナルニ付耕地ニ於ケル商店ハ之ヲ利用シ物品ヲ貴賣シ移民ハ手形ノ他ニ通用セザルヲ以テ恨ヲ吞デ法外ニ高價ナル物品ヲ買フベク餘儀ナクセラル、モノ比々皆然ラザルハナシ本耕地ニ於テ多年ノ慣習ヲ打破シ情實ヲ顧ミズ現金ヲ移民ニ交付シ到所勝手ニ購品セシメシハ頗ル英斷ト云フベク獨リ本邦移民ノミナラズ伊、西其他ノ移民モ均シク此慶ニ頼ルナリ

日本人
監督
メ移民
ナル特
及便益
享ク

本耕地ニハ平野副支配人ノ外カ二名ノ日本人々夫長アリ日本移民ハ非常ナル便宜ヲ得ツ、アリ今二三ノ例ヲ舉レバ高嶺清潔ナル宿舍ヲ得宿舍ヨリ半里以内ノ珈琲園(耕地ノ面積廣クハ宜キ園ハ)ヲ受持テ宿舍ニ近キ肥沃ナル面積廣キ畑ヲ借用シ一家族中男子一人ハ大概日雇役ニ出デ日給ヲ受ケ、受持珈琲園ノ仕事(一ヶ年五回草取及大桶)サヘ終ラバ勝手ニ借入ノ畑ヲ耕作シ又ハ自用ヲ辨ズルコトヲ得疾病ノトキハ他ノ本邦移民ヲシテ其受持園ノ仕事ヲナサシム(因日雇賃金場合ニハ受持月々一人五百「レイス」(三十四)ヲ耕地ニ仕拂フトキハ幾回ニテモ無料診察ヲ受クルコトヲ得毎月計算ヲナシ希望ニヨリ現金ヲ交付シ又ハ必要ノ場合ニハ相當金額ノ前借ヲ許可ス以上ハ本耕地獨特ノ恩典ヲ列擧シタルモノニシテ畢竟支配人ノ公平能ク日本移民ヲ信用シ副支配人及人夫長ニ多クノ事務ヲ委任スルガ故ニ外カナラズ隨ツテ日本移民モ好感情ヲ抱キ

勤勉勞働シ双方ノ間互ニ相満足シ諸事圓滑ニ進行シツ、アリ現ニ全支配人ハ第三回移民百家族ヲ引受ケタシト希望シ居レリ

本邦移民
ノ不攝生

本耕地ノ一部ニ小川及泥濘地アリ客歲十一月ヨリ本年一、二月ノ間降雨少ク水量減少シタル爲メ蚊屬發生シ日本移民中休日漁獵ニ出ヅルモノ多ク隨テ蚊ニ整レ麻刺利亞熱ニ罹ルモノ輩出シ遂ニ三月下旬迄ニ二百餘ノ日本移民中壯幼二十人(幼兒數人)死亡シタリ支配人等ハ種々豫防法ヲ講ジ全病ノ撲滅ヲ計リ低地ノ米作ヲ差止メ今ヤ新患者ヲ出サズスルコトバ二十年間耕地開發以來未曾有ノコトナリト云フ、支配人ハ日本移民ニシテ全病ニ罹ルヲ恐ル、モノハ自由ニ他ノ耕地ニ退轉スルコトヲ得ル旨宣言シタレド未ダ本耕地ヲ去リシモノナシ、本邦移民ハ頗ル不攝生ニシテ醫師ノ禁ズルニモ拘ハラズ病人ニシテ未熟ノ果物瓜類ヲ食シ或ハ熱ノ未ダ去ラザル間ニ冷水浴ヲナシ疾病ヲ重カラシムル等ノ事多シ又肉類ヲ食セズシテ穀類野菜類ヲ多食シ却テ「ビンガ」ト稱スル甘蔗ヨリ製スル強キ燒酎ヲ飲ミ體力ヲ弱ムルモノ多シト云フ小官ハ移民ノ或者ヲ説諭セシ外副支配人及人夫長ヲシテ漏レナク各移民ニ對シ攝生ニ注意スベキコトヲ懇々傳達セシメタリ移民中滿期後「サンパウロ」市、亞爾然丁等ニ赴カントスルモノ多キニ付亞國行旅券ハ交付シ難ク且都會ノ生活ハ結局ノ利益ニアラズ本耕地ノ如キハ稀ニ見ル良耕地ナレバ一、二年辛抱シ相當ノ貯蓄ヲナシ然ル上殖民地ニ入り地主タルベシト説諭セリ

珈琲栽培
法及精製

「グワタバラ」耕地ニ於ケル珈琲栽培法ヲ聞キタルニ付參考ノ爲メ茲ニ記載ス
先ヅ「パウダリヨ」ト稱スル木ノ繁茂スル赭色草口爛紅トモ稱スベキ地質ヲ撰ミ其深林ヲ伐採シ材木ハ之ヲ他ニ運搬シ小キ樹木ハ火ヲ放チテ燒棄スルモノニシテ樹木ノ大小多寡ニ由リ一様ナラザレドモ概ネ一「アルケール」(ニ「エクタ」)ニ付百五十「ミル」ヲ要シ而シテ之ニ珈琲ノ種子ヲ蒔付ク或耕地ニテハ開拓費百五十「ミル」ヲ拂ヒ更ラニ移民ニ珈琲ノ播種栽培ヲ受負ハシメ四年ノ後地主ニ引渡シ一樹ニ付四百乃至五百「レイス」即チ凡我二十七、八錢ヨリ三十四、五錢ヲ交付ス右四年間ハ移民無料ニテ其間ニ耕作スルコトヲ得ルモノアリ、既ニ繁茂セル珈琲園中ノ枯樹ハ苗圃ニテ生育スル八九ヶ月

ノ幼苗ヲ移植ス(雨ノ多キニ三月ヲ換ミ)ルモ新園ハ實植トナス普通トス、珈琲樹ハ四年ヨリ收穫ヲ始メ八九年ヲ滿稔トシ千本ニ付百五十乃至二百「アロバ」(「アロバ」ハ「十五キロ」)即チ一本ニ「キロ」四分ノ一ヨリ三「キロ」ノ精製珈琲ヲ生ズ然レドモ五六年ヨリ二十年マデノ樹ハ平均産額ヲ一「キロ」半ト算スルヲ一般トス、珈琲樹ノ二十年以上ニ達スルモノハ産果減ズルニ付幹ヲ伐リ更ラニ新芽ヲ出サシム斯クスルトキハ二、三年ニシテ再ビ多額ノ産出ヲナス

珈琲實ハ五、六月頃大部分黒色トナリタルヲ度トシ枝ニ結實スルモノヲ手ニテ抜キ落シ丁寧ナル耕地ニテハ布ヲ敷キ然ラザルモノハ豫テ地均ヲナセル所ニ落下セシメ等ニテ掃キ集メ疎キ篩ニ入レ土砂及枯葉等ヲ除キ布袋ニ入ル珈琲樹ノ高キ所ハ一間半ヨリ二間アルニ付段梯子ヲ用井採實シ梯子ニ上ルモノハ男子ニシテ婦女ハ地上ニ立テ達シ得ベキモノヲ摘ミ小供ハ低キ枝ヨリ摘採ス斯クシテ摘採シタル珈琲ハ各自ノ番號又ハ姓名ヲ書記スル麻袋ニ入レ廣キ道ニ出シ置ケバ人夫長來リテ各家長ノ口坐ヲ設クル手帳ニ記入シ記入済ノモノハ荷馬車來リテ之ヲ精製場ニ送ルベキ輕便鐵道又ハ運河ノ傍ニ運ビ或ハ其馬車ガ直接乾燥場ニ送致ス、珈琲ノ枝ハ平滑ナラザレバ掌ノ軟カキ者ハ速カニ扱クコト能ハズ從テ一日ノ摘採高僅少ナリ故ニ斯ル仕事ハ農業ニ經驗アルモノニアラザレバ出來ザルモノトス、日本人ハ指ノ先キ器用ナレバ第一回ノ移民ハ既ニ大ニ熟練シ以、西其他ノ移民ヨリモ多額ノ摘實ヲナシ一家族夫婦ト小供三人ニテ一日八袋ヲ摘ム(即チ「金」)コトハ敢テ難事ニアラズト云フ尤モ凶作ノ時ハ屢々樹々ニ移ル必要アレバ摘實ノ量從テ減少スルハ勿論ナリ

輕便鐵道、馬車又ハ運河ニテ送ラレタル珈琲ハ洗淨ノ後皮剝器械ニテ果肉ヲ去リ煉瓦ヲ敷詰メ又ハ「セメント」ニテ固メタル「コールタル」或ハ「アスファルト」ヲ流シ作レル廣場ニ散布シ充分乾燥ノ上(五日乃至七日ヲ要スルコトアリ)更ラニ薄皮ヲ去ル爲メ清磨器械ニ掛ケ然レ後一種ノ唐箕ニ移シ圓形ノモノ、大、小、輕重ニ由リ分類シ更ラニ種類ヲ記載セル袋ニ入レ倉庫ニ移ス、或ル大耕地ニ於テハ皮剝ヲナサズ直チニ乾燥シ然レ後乾キタル果肉ト内部ノ薄キ皮ヲ全時ニ剝去ルノ方法ヲ用ユ然レドモ此方法ハ果肉及薄皮ノ小部分殘留スル爲メ一見形狀良シカラズ市場ニ於テ價格安シ因曰ク樹上又ハ落チテ既ニ乾固セルモノハ皮剝器械ニ掛ケ十日計乾燥ノ上清磨器械ニ掛ク

皮剝、清磨器械及大小ヲ撰別スル唐箕ハ英國製ノモノ多ク又「サンパウロ」市ニ於テ製作スルモノアリ原動力ハ重ニ薪ヲ用ユル蒸氣機關ヲ使用シ小耕地ニテハ七八馬力ノ易搬汽機(輕便)ヲ用ユ

五 附屬「シユミツド」耕地

「フランシスコ、シユミツド」耕地ト稱スルモノハ三十四耕地ノ總名ニシテ「フランシスコ、シユミツド」氏ノ所有ニ屬シ耕地ノ總面積一萬五千「アルケール」(「アルケール」ハ「二エクタール」)凡ソ我三萬七千五百町步珈琲樹數八百餘萬本、一ヶ年ノ産額七八十萬「アロバ」(「アロバ」ハ「十五基瓦」)收牛三千頭、甘蔗畑三百十二「アルケール」一ヶ年ノ産出砂糖三萬袋(「袋六十」)使用人ハ平時九千餘人珈琲摘採ノ時ハ臨時ニ二三千人ヲ増雇ス其使用労働者ハ重ニ伊太利人ニシテ小數ノ西班牙人、伯國人、黑人ヲ雜ヘ日本人ハ未ダ一人モ使用セズ

以上三十四ノ耕地ハ「シユミツド」氏一人ノ所有ニシテ各耕地ニハ養子又ハ親戚ヲ配置シ支配人トナシ各々經濟ヲ異ニシ互ニ利益ヲ競ハシメ持主ハ君主獨裁的ニ細大ノ事務ヲ一々裁斷シ其命令ノ嚴肅ナル、秩序ノ整然タル事務ノ敏捷活潑ナルコト他ニ類例ヲ見ズ、耕地内ノ道路廣濶ニシテ修繕ノ行届ケル、移民宿舍ノ清潔衛生ニ適セル眞ニ獨逸流ナリ

珈琲耕地ノ多クハ鐵道會社ノ獨占ノ運賃ニ苦メラル、ヲ常トスレ共本耕地内ニハ「モジアナ」線ト「パウリスダ」線ノ二鐵道アト尙ホ「モジアナ」線ハ不日耕地内ニ支線ヲ延長スル筈ナリ、耕地主ハ斯ル優勢ノ地ヲ占メ二鐵道ヲ競争セシメ低廉ナル運賃ニテ珈琲及砂糖ヲ「サンパウロ」又ハ「サントス」港ニ輸送セシメ便利ト利益ヲ併有ス

「シユミツド」耕地ノ本部ハ今ヤ「リベロンブレト」市ヲ距ル西北三「キロ」ノ小丘上ニ在ル「モンテ、アレグレ」ニ置キ各廣大ナル居宅ヲ構ヘ、耕地總事務所鐵工場、鋸材場、器具機械其他材料倉庫、珈琲乾燥場、珈琲精製場、精米場、及發電所アリ耕地内縱横ニ輕便鐵道ヲ架シ運搬ヲ便ナラシム

「シユミツド」氏ハ獨逸人ニシテ四十年前移民トシ來伯シ三四年ノ後多少ノ貯蓄ヲ得テ「リベロンブレイト」郡「ボンタ

ト忍耐ト
在リテ
運之ヲ
助ケタル
ナリ

ル」村ニ地味肥沃ナルト他ニ類例ナキ土地ヲ相シ小區劃ヲ購ヒ珈琲及甘蔗ノ栽培ヲ創メ獨逸流看實秩序の頭腦ト勤勉忍耐トヲ以テ事ニ當リ恰カモ當時珈琲ノ價格高カリシカバ大ニ氏ノ發展ヲ助長シタリ爾來氏ハ強固ナル基礎ノ下ニ事業ヲ擴張シ革命及珈琲大下落ノ際耕地主中倒産セシ者輩出シタレバ氏ハ機ヲ逸セズ其等ノ耕地ヲ廉價ニ買取シ漸次其數ヲ加ヘ今日ノ大ヲ致シタルモノニテ其由テ來ル處ハ獨逸流看實ト忍耐ニ基因シ幸運ト先見ノ明之ヲ助ケタリト云フベシ世人氏ヲ稱シテ珈琲王ト云フ以テ珈琲界ニ氏ノ勢力ノ大ナルヲ見ルベシ

耕地ハ一
個獨立國
ノ如クアリ

本耕地ハ南北四五里東西二三里アリ隱然一獨立國ノ觀ヲ呈シ各般ノ事項ニ耕主ノ欲スル處ニ決シ警察力モ司法權モ殆ンド之ニ及バサルモノ、如ク一大墻壁内ノ邸宅ニテ事ヲ執ルヨリモ尙ホ一層ノ自由ヲ有シ現ニ警察權ノ大部分ハ耕主ニ委任セラレツ、アリ恰カモ治外法權ヲ有スルト同様ナリ

當國多クノ耕地持主ハ相當ノ資産ヲ得レバ「サンパウロ」又ハ「リオデジャネイロ」市等ニ住シ屢々歐洲ニ遊ビ事務ハ支配人ニ委任シ時々耕地ヲ見回ルニ過ギズ其二世三世ニ至リテハ其耕地ニ來リシコトナキ輩少ナカラズト云フ、然ルニ「シユミツド」氏ハ常ニ耕地ニ住居シ都會ノ地ニ出ヅルコト稀レニシテ本國ハ機械購入等本人ノ出張ヲ必要トスル場合ノ外カハ赴カズト云フ以テ精勵他ノ人々ニ優越スルヲ見ルニ足ルベシ

第二章 都會ニ於ケル移民ノ情態

第一 「サンパウロ」市在留民

移民ノ總
數

「サンパウロ」市ニ在留スル本邦移民ハ本年三月二十日現在二百十六人(小兒ヲ除ク)内大工「ペンキ」、鍛冶、其他職工男女八十人、家庭労働男女九十六人(男六十六人、女三十人)日本人合宿所ニ止マリ或ハ一家ヲ持テ小供ノ世話ヲナシツ、裁縫其他ヲ内職トスル女子四十人アリ

労働者ノ
數

「サンパウロ」市ハ當國第二ノ都會ニシテ此一二二年珈琲價格ノ騰貴ニヨリ一層繁榮ヲ來シ各地方ヨリ入込ムモノ甚ダ多ク

移民ノ都
會集中

客歲中新築家屋六千軒ノ多キニ達シ各種ノ職工及家庭ノ労働者欠乏ヲ來シ賃銀大ニ上リタレバ本邦移民中大工其他多少ノ腕前アルモノ、職工タラントスル者、耕地ノ労働ニ堪ヘザルモノ、耕地ノ労働ヲ厭ヒ家庭ニ入ラントスルモノ、耕地ニテ虐待ヲ受ケシ者等一昨年來珈琲耕地ヲ逃亡シ或ハ契約ノ破棄又ハ滿期ニ因リ「サンパウロ」市ニ來リ數人又ハ十數人申合セ合宿所ヲ借入レ労働先ヲ探索セシニ工場及家庭ノ需要頗ル多ク高給ヲ得テ夫々就職シ日本職工ノ勤勉一ノ世評トナリ隨テ來ラバ隨ツテ雇ハル、有様トナリ耕地ニ在ル者通信又ハ風説ニ由リ其情況ヲ傳聞シ小才智アルモノニシテ耕地ニ於テ意ノ如クナラザルコトアレバ種々ノ方法ヲ講ジ耕地ヲ出デ都會ニ來ルモノ隨テ接セシガ今ヤ耕地ニハ純農者ノミ殘留シ都會ニ來ルモノ大ニ減少シタリ

本邦人ハ概シテ手指器用、純農者モ十數日ノ練習ニ因リテ大工、「ブリキ」職、紡績職工、「ペンキ」職工トナリ植木職工鳩人足等ハ最モ得意トスル所ナリ

生活情態

市内日本人合宿所ハ三軒アリ各百乃至百五十「ミル」ノ家賃ヲ拂ヒ二三十人合宿シ食事ハ共同ナルアリ一家族毎ニ自炊スルアリ一様ナラズ生活費ハ耕地ヨリ高價ナレ共「リオ」、「ベトロボリス」等ニ比較スレバ遙ニ低廉ナリ大人一人一ヶ月凡ソ十七八「ミル」此外一人ノ負擔スル家賃六「ミル」合計一人前二十三「ミル」ヲ必要トス
市内在留者ハ概シテ勤勉、住々飲酒スルモノアレ共放蕩無賴者無ク殊ニ二百餘人ノ在者中一ノ醜業者ヲ出サザルハ最モ慶スベキコトトナス

日本人ノ
給料表

左ニ本邦人ノ現ニ得シツ、アル給料表ヲ掲グ

職 業	人 員	給 料	食 事 及 室 費
大 工	四十二人	日給自三「ミル」中至六「ミル」	自辨
「ペンキ」職	五人	同 三「ミル」至五「ミル」八百	同
「ブリキ」職	十一人	同 二「ミル」中至三「ミル」中	同
「ビスケット」工場	十三人	同 上	同
果物罐詰工場	九人	同 二「ミル」中至三「ミル」	同

第二章 都會ニ於ケル移民ノ情態

ト忍耐ト
ニ在リテ
助ケタル
ナリ

ル」村ニ地味肥沃ナルト他ニ類例ナキ土地ヲ相シ小區劃ヲ購ヒ珈琲及甘蔗ノ栽培ヲ創メ獨逸流看實秩序の頭腦ト勤勉忍
耐トヲ以テ事ニ當リ恰カモ當時珈琲ノ價格高カリシカバ大ニ氏ノ發展ヲ助長シタリ爾來氏ハ強固ナル基礎ノ下ニ事業ヲ
擴張シ革命及珈琲大下落ノ際耕地主中倒産セシ者輩出シタレバ氏ハ機ヲ逸セズ其等ノ耕地ヲ廉價ニ買取シ漸次其數ヲ加
ヘ今日ノ大ヲ致シタルモノニテ其由テ來ル處ハ獨逸流看實ト忍耐ニ基因シ幸運ト先見ノ明之ヲ助ケタリト云フベシ世人
氏ヲ稱シテ珈琲王ト云フ以テ珈琲界ニ氏ノ勢力ノ大ナルヲ見ルベシ

耕地ハ一
個獨立國
ノ視テ

本耕地ハ南北四五里東西二三里アリ隱然一獨立國ノ觀ヲ呈シ各般ノ事項ニ耕主ノ欲スル處ニ決シ警察方モ司法權モ殆
ンド之ニ及バサルモノ、如ク一大墻壁内ノ邸宅ニテ事ヲ執ルヨリモ尙ホ一層ノ自由ヲ有シ現ニ警察權ノ大部分ハ耕主ニ
委任セラレツ、アリ恰カモ治外法權ヲ有スルト同様ナリ
當國多クノ耕地持主ハ相當ノ資産ヲ得レバ「サンパウロ」又ハ「リオデジャネイロ」市等ニ住シ屢々歐洲ニ遊ビ事務ハ支配
人ニ委任シ時々耕地ヲ見回ルニ過ギズ其二世三世ニ至リテハ其耕地ニ來リシコトナキ輩少ナカラズト云フ、然ルニ「シ
ユミツド」氏ハ常ニ耕地ニ住居シ都會ノ地ニ出ヅルコト稀レニシテ本國ヘハ機械購入等本人ノ出張ヲ必要トスル場合ノ
外カハ赴カズト云フ以テ精勵他ノ人々ニ優越スルヲ見ルニ足ルベシ

第二章 都會ニ於ケル移民ノ情態

第一 「サンパウロ」市在留民

移民ノ總
數

「サンパウロ」市ニ在留スル本邦移民ハ本年三月二十日現在二百六十六人(小兒ヲ除ク)内大工「ペンキ」、鍛冶、其他職工
男女八十人、家庭労働男女九十六人(男六十六人、女三十人)、日本人合宿所ニ止マリ或ハ一家ヲ持テ小供ノ世話ヲナシツ、裁縫其他ヲ
内職トスル女子四十人アリ
「サンパウロ」市ハ當國第二ノ都會ニシテ此一二二年珈琲價格ノ騰貴ニヨリ一層繁榮ヲ來シ各地方ヨリ入込ムモノ甚ダ多ク

常用者ノ
數

移民ノ都
會集中

客歲中新築家屋六千軒ノ多キニ達シ各種ノ職工及家庭ノ労働者欠乏ヲ來シ賃銀大ニ上リタレバ本邦移民中大工其他多少
ノ腕前アルモノ、職工ヲラントスル者、耕地ノ労働ニ堪ヘザルモノ、耕地ノ労働ヲ厭ヒ家庭ニ入ラントスルモノ、耕地
ニテ虐待ヲ受ケシ者等一昨年來珈琲耕地ヲ逃亡シ或ハ契約ノ破棄又ハ満期ニ因リ「サンパウロ」市ニ來リ數人又ハ十數人
申合セ合宿所ヲ借入レ労働先ヲ探索セシニ工場及家庭ノ需要頗ル多ク高給ヲ得テ夫々就職シ日本職工ノ勤勉一ノ世評ト
ナリ隨テ來ラバ隨ツテ雇ハル、有様トナリ耕地ニ在ル者通信又ハ風説ニ由リ其情況ヲ傳聞シ小才智アルモノニシテ耕地
ニ於テ意ノ如クナラザルコトアレバ種々ノ方法ヲ講ジ耕地ヲ出デ都會ニ來ルモノ隨テ接セシガ今ヤ耕地ニハ純農者ノミ
殘留シ都會ニ來ルモノ大ニ減少シタリ

本邦人ハ概シテ手指器用、純農者モ十數日ノ練習ニ因リテ大工、「ブリキ」職、紡績職工、「ペンキ」職工トナリ植木職工
塙人足等ハ最モ得意トスル所ナリ

生活情態

市内日本人合宿所ハ三軒アリ各百乃至百五十「ミル」ノ家賃ヲ拂ヒ二三十人合宿シ食事ハ共同ナルアリ一家族毎ニ自炊ス
ルアリ一様ナラズ生活費ハ耕地ヨリ高價ナレ共「リオ」、「ペトロポリス」等ニ比較スレバ遙ニ低廉ナリ大人一人一ヶ月凡
ソ十七八「ミル」此外一人ノ負擔スル家賃六「ミル」合計一人前二十三四「ミル」ヲ必要トス
市内在留者ハ概シテ勤勉、住々飲酒スルモノアレ共放蕩無賴者無ク殊ニ二百餘人ノ在者中一ノ醜業者ヲ出ササルハ最モ
慶スベキコトトナス

日本人ノ
給料表

職 業	人 員	給 料	食 事 及 室 費
大 工	四十二人	日給自三「ミル」中至六「ミル」	自辨
「ペンキ」職	五人	同 三「ミル」至五「ミル」八百	同
「ブリキ」職	十一人	同 二「ミル」中至三「ミル」中	同
「ビスケット」工場	十三人	同 上	同
果物雜詰工場	九人	同 二「ミル」中至三「ミル」	同

第二章 都會ニ於ケル移民ノ情態

紡織工場	女 八人	同	一「ミル」中至二「ミル」中	自辨
織工	四人	同	四「ミル」中至六「ミル」	同
硝子工場	二人	同	三「ミル」中	同
自動車扱夫	二人	月給	百「ミル」 五十「ミル」	雇主持
下	女 二十四人	同	四十「ミル」乃至八十「ミル」	同
料	女 十九人	同	中小供二十「ミル」至十五「ミル」	同
理	女 一人	同	二十五「ミル」至六十「ミル」	同
園	一人	同	百「ミル」	同
		同	五十「ミル」	同

家庭労働者ノ貯蓄ハ概シテ職工ニ及バズ
 純農業者ハ田圃生計ニ於テ貯蓄ノ目的トナシ
 純職工ニシテハ職工ノ貯蓄ニ於テ工場其他ニ労働スル者ハ多額ノ給料ヲ得レ共今ヤ却テ田圃ノ生活ヲ興味アルモノトナシ當分本市ニテ労働貯蓄シ本邦ニ於ケル負債ヲ消却シタル後ハ最初伯國渡般ノ時目的トセシ永住ノ覺悟ヲ以テ政府又ハ個人ヨリ土地ヲ買入レ自ラ耕主トナリ耕作セント欲スルモノ少ナカラズ

第一「サントス」港在留民

附「サントス」港築港、棧橋、珈琲輸出其他ノ情况

日本移民ノ情報
 「サントス」港ニ於ケル本邦人ハ男百三十四人、女二十八人合計百七十二人重ニ琉球人ニシテ男子ハ波止場ニ於テ擔荷(重ニ)労働ニ従事シ女子ニシテ小供ナキモノハ下女ニ雇ハレ小供アル者三四人ハ珈琲ヲ容ル、麻袋ノ裁縫ヲ内職トナシ其他ハ家内ニテ炊事裁縫ヲナス仲仕人足ノ賃金ハ一日十時間ノ労働ニテ五「ミル」夜業ハ四時間ニ付二「ミル」五百「レイ」スレ六時間ハ五「ミル」ナリ、珈琲請負運搬ハ棧橋ノ入口ヨリ歩板ニテ船ニ上リ船艙内ニ運搬スルモノニシテ常ニ四十人ヲ一組トナシ之ニ従事シ一袋六十「レイ」ヲ得之ヲ總人員ニ分配ス仲仕労働ハ高給ヲ得レ共頗ル過激ニシテ日本人中強壯且熱帯ノ氣候ニ堪ユル沖繩縣人ニアラザレバ殆ンド不可能ナリト云フ
 仲仕労働ハ珈琲輸出期即七月ヨリ翌年一二月マテ忙シク身體強健ナル者ハ一ヶ月百五十「ミル」ヲ得ルコトハ容易ナレ共二三月ヨリ六七ヶ月マテハ閑散ニシテ收入大ニ減少スルガ故ニ之ヲ一年ニ通算スレバ一ヶ月ノ收入ハ百二十「ミル」位ナルベシト云フ
 下女ノ給料ハ「サンパウロ」ト大差ナク衣食共雇主負擔ニテ一ヶ月二十五「ミル」乃至六十「ミル」ヲ得ツァアリ
 「サントス」港ハ「サンパウロ」州ノ門戸ニシテ輸出入貿易ハ云フヲ俟タズ同州ニ來ル移民モ亦本港ヨリ出入ス本港ニハ移民検査所ナルモノアリ船舶入港スレバ吏員直チニ出張シ移住者ノ有無傳染病者ノ有無等ヲ取調ベ且移民ニ各種ノ報告書ヲ與ヘ又説明ヲナス而シテ内地ニ入ラントスル移民ニハ一々鐵道切符ヲ無代價交付シ若二百人以上アルトキハ特別車輛ヲ付スルカ又ハ別ニ列車ヲ仕立晝夜ニ不拘(「サントス」州「サンパウロ」州)市移民收容取ニ送致シ「サントス」港ニテ労働セントスル者ハ其周旋ヲナス
 過去六年間「サンパウロ」州移民ノ出入ハ左ノ如シ

年次	歐洲ヨリ	伯國他州	合計	歐洲へ	伯國他州	合計
一九〇五年	四二、七六〇	二、〇九二	四七、八五二	二一、六〇五	一〇、八三六	三二、四四一
一九〇六年	四一、五二五	三、五九六	四九、四二一	二二、一九九	一六、二四八	三九、四四七
一九〇七年	二一、六三九	五、八八五	四、一五七	三、一六八	九、〇四〇	三、六七六
一九〇八年	二六、二〇八	七、九〇四	六、一一三	四〇、二二五	一七、七三一	四、三五六
一九〇九年	二八、一八八	四、七六二	六、七二三	三九、六七四	一〇、七八四	四、五〇二
一九一〇年	二六、六五三	四、四四二	二、一九六	三三、二九一	一七、七五八	三、二〇七
右ノ内歐洲及「ラブラタ」河沿岸地方ヨリ來着シ又同地方へ赴ク移民ハ重ニ「サントス」港ヲ經由ス						
「サントス」港ハ川口ニアリ元ト泥沼地ナリシカ一方ヲ浚渫シテ深キ川トナシ市ニ近キ河岸ハ埋立ヲナシ巨石ニテ築ケル						

棧橋ヲ造リ其延長三基米突アリ其上ニ二條或ル所ハ四條ノ鐵道アリ各倉庫及停車場ニ通ス棧橋ノ傍ニ廣大ナル倉庫十八棟目下建築中ノモノ四棟アリ一棟ニ優ニ珈琲三十五萬袋ヲ容ルニ足ルト云フ最新建築ノ倉庫數棟ニハ倉庫ヨリ棧橋マテ大圓筒ヲ通シ壓搾空氣ニテ珈琲ヲ送致シ人力ヲ省ク仕掛ケナリ目下建築中ノモノニモ亦タ此裝置アリ棧橋ヨリ船艙内ニハ電氣荷揚卸機ヲ使用シ珈琲ヲ積込ム設計ナリ故ニ完成ノ上ハ本邦人等ノ仲仕業ニ影響スルコト大ナルヘシ

「サントス」港ノ棧橋倉庫埋立淺深等ハ佛國資本ヨリ成ル「サントス」機橋會社(資本金四百萬磅社債四百萬磅合計八百萬磅)ノ獨占事業ニシテ鐵工場、電氣變壓所、二基米突ノ輕便鐵道(埋立土石運搬用)既述棧橋及倉庫等ヲ有シ規模甚タ大「サントス」港事ハ一ニ本會社ノ左右スル所ト云フモ不可ナシ電力ハ「ギンレイ」氏ノ水力發電所ヨリ送付スルモノニシテ一萬五千馬力ヲ使用シツ、アリ棧橋、倉庫、鐵工場ハ不及云埋立工事用石材伐出場ニ於ケル壓搾空氣ノ穿孔機其他ニ應用ス

「サントス」港ハ珈琲輸出港ナレハ「サンパウロ」州各地ヨリ同港ニ集リ來ルモノ一ケ年一千萬袋ニ達シ各輸出業者ハ大ナル倉庫ヲ構ヘ珈琲ヲ清淨(塵埃ヲ去ル)珈琲ノ大小良否ノ撰擇及各種珈琲ヲ混和シ所謂「グード、アペレージ」(並等)ヲ出來シ袋入等ヲ取扱フカ故ニ各社種々ノ機械ヲ備付ケ殆ント再製ニ近カキ事ヲナス

珈琲ノ輸
出及運和
ノ方法

珈琲ノ輸
出業者
者要輸
出業者

- Theodor willet Co. Nossack & Co.
- Michaelson wright & Co. Leon Israel & Barros.
- Prado Chaves & Co. George Rosenbain.

- Hase Raudo & Co. Levy Alvaro & Co.
- Naumann Gepp & Co. E. Johnston & Co. I'd.
- Baldwin & Co. Barbosa & Co.
- Societe Financiere et Commerciale Franco Bresillenne.
- Roxo & Co. Arbuche & Co.
- Krische & Co. Halwothy Ellis & Co.
- Zerrener Bulard & Co.

珈琲輸
出業者
維持價格
稅場輸出
州

珈琲ハ當館ヨリ屢々報告セシ如ク近年生産過多ヲ來シ價格大ニ下落シタレハ世界ノ八割ヲ供給スル伯國殊ニ伯國ノ生産高ノ六割即チ世界ノ需要高ノ半額ヲ產出スル「サンパウロ」州政府ハ大ニ之ヲ憂ヒ中央政府ノ保證ヲ得テ公債千五百萬磅即一億五千萬圓ヲ募集シ多額ノ珈琲ヲ買收シ「サントス」港、佛國「アーブル」、紐育、白國「アントワーブ」等ノ倉庫ニ貯藏シ各國ノ需要供給ヲ見計ヒ賣出ス方策ヲ實施シツ、アリ之ヲ珈琲價格維持策(「プロセ」ト稱ス)又別ニ歐米ニ官公吏私人ヲ派出シテ有ユル手段ヲ講シテ珈琲販路擴張策(「プロセ」ト稱ス)ヲ進歩シツ、アリ費用極メテ大ナレハ同州政府ハ珈琲一袋ニ對シ佛貨五法ノ輸出稅ヲ課シ是等ノ費用ニ充ツ、過去二年間珈琲不作ノ爲メ產出高減少シ本年ノ收穫豫想高亦多カラサル爲メ近日價格騰貴シ州政府ハ現今多額ノ利益ヲ得ツ、アリ然レトモ斯ル好況永續シ人爲的價格維持策カ結局ノ成効ヲ收ムヘキヤハ大ニ講究スヘキ問題ナリト思惟セラル

「サントス」港ハ十數年前ハ黃熱「マラリヤ」其他ノ熱帶傳染病常ニ流行シ極メテ不健康地ナリシガ最近七八年間惡水ヲ疏通シ上水、下水ヲ設ケ河渠ヲ浚深シ各家ニ惡水ノ停滯セシムルヲ許サス常ニ吏員ヲ巡回取締ラシメ且前記築港工事ヲ起シタル等ニテ五六年間絶ヘテ黃熱病患者ヲ出サス頗ブル健康地トナレリ惡水疏通工事ノ如何ニ大規模ナリシカヲ示サンカ爲メ寫眞ヲ附屬ス

第三章 官設植民地

一、「カンボス、サレス」官設殖民地

植民地ノ
區劃

本殖民地ハ今ヨリ十三年前即チ千八百九十七年ノ創立ニシテ「サンパウロ」州政府ハ私有地千四百「アルケール」ヲ買上ケ道路ヲ開キ狭軌鐵道ヲ「カンピナス」ヨリ延長シタリ

右地積中「コスモポリス」市區ヲ除キ他ノ土地ヲ二百四十五區即チ一區六「アルケール」(一「アルケール」ハ二「エタカ」ニ分チテ内八區ハ農事試驗所其他ノ爲メ政府ニ保有シ其他ハ各國移民ニ拂下ケタリ

今昨四十三年末ノ殖民地人口ヲ左ニ記載セン

獨逸	人	百八十九人	丁	抹	人	十四人	
伊太利	人	百八十七人	露	國	人	七人	
瑞 國	人	四十三人	波	蘭	土	人	十人
澳 國	人	八十六人	葡	萄	牙	人	七人
西 班	牙	三十四人	佛	國	人	四人	
瑞 典	人	二十二人	其	他	人	二人	
計		六百五人					

植民ノ定
着當時ノ
特典

之ニ伯國人ニシテ植民地附近ニ住スル者七百三十八人ヲ加フレハ千三百四十三人トナル現今ノ植民地ハ二百三十三家族ニヨリテ二百三十九區ヲ占有シ居レリ

各植民地ハ一地區六「アルケール」ヲ地味其他ニヨリ千乃至千五百「ミル」ニテ拂下ヲ受ケ七八十「ミル」ノ小家掛ケ料又ハ家屋及納屋建築費半額ノ貸與ヲ得、農具、牛馬、若クハ騾ノ購入代ヲ借入レ各々五年賦ニテ返納スル定メナリ又農産物種子、苗木類ハ今ニ至ルマテ無代價交付ヲ受ツ、アリ、植民中無資力者ハ到着後一週中半分ハ政府ヨリ日雇人足ニ雇ハレ一日二「ミル」半ヲ受ケ道路ヲ開キ或ハ監督官ノ周旋ニテ珈琲摘實其他ノ用務ニ從ヒ他ノ半分ノ時日ヲ拂下ヲ受ケシ土地ノ開拓ニ費ヤシ中ニハ第一期ノ收穫マテ一人一日食料トシテ六百「レイス」ノ補助ヲ受ケ小屋掛ケ及ヒ土地ノ開作ニ從事シタルモノアリ

各個人ノ
職業種類

本植民地ハ地味氣候等牧畜ト玉蜀黍、豆、米、甘蔗、葡萄等ノ耕作ニ適セリ獨逸人ハ重ニ牛豚ノ牧畜ヲナシ「ハタ」ヲ製シ且人畜ノ食料トシテ米、玉蜀黍、豆、米、甘蔗ヲ耕ヤシ伊國人ハ専ラ米、黍、豆ノ耕作ヲナス

獨逸人ハ到ル所團結力強ク本植民地内購買組合アリ各植民所産ノ「バタ」豚、鶏、卵、野菜、穀物等ヲ「サンパウロ」市又ハ「カンピナス」市等ニテ賣捌キ植民ノ需要スル木棉、油、砂糖、鹽其他日常品ヲ大都會ヨリ仕入レ會員ニ賣捌キ且同團體ノ事業トシテ精米所アリ且一ノ獨逸語小學校ヲ開キ其子弟ヲ教育ス

伊國人ハ
各自行動

伊國人其他ノ植民中ニハ斯ル團結ナク各自其思フ所ニ從テ行動シ子弟ノ教育ヲ怠リ中ニハ葡語ヲ以テ教ユル一個ノ官立小學校ニ通學セシムルモノアリ

小官「カンピナス」市ヲ距ル一基米突ノ所ニ在ル農事試驗所ニ至リ各種作物、種苗所、昆虫學ノ實驗、各農産物標本等ヲ參觀シ更ニ同所長以下米、獨、伯技師數名ノ案内ニテ本植民地ヲ巡回シタリ今獨逸植民ニ就キ親シク聞キ得タル情態ヲ左ニ記載セン

第一例

「フレドリヒ、ニームス」(Frederich Nieme)ハ十二年前本植民地ニ入り一區六「アルケール」ノ地ヲ申受ケ地代千「ミル」家屋代價五百「ミル」合計千五百「ミル」ヲ五ヶ年賦ニテ返納シタリ最初入地ノトキハ政府ヨリ食料費一日六百「レイス」宛ヲ受ケ政府ヨリ貸與ノ小屋ニ住シ先ツ手初メニ小舎掛ヲナシ且二三ノ雇入黑人ト共ニ樹木ノ伐採ヲナシ鐵道ノ便アルヲ以テ大ナルモノハ材木トシ小ナルモノハ薪トナシ「カンピナス」市ニ販キ開拓費以上ノ收入ヲ得(一「アルケール」開拓費八十乃至百二十「ミル」)初年數町歩ノ地ヲ開キ玉蜀黍及豆類ヲ耕作シ三ヶ年目ヨリ牛及豚ヲモ飼養シ且耕地ヲ増加シ今ヤ二區(一區ハ二町歩)十二「アルケール」即チ三十町歩ノ地主トナリ借金ナク牛十二頭、馬及騾各一頭、豚二十頭、鶏、家鴨、鷺鳥百餘羽、蜜蜂數十箱ヲ飼養シ所有耕地ノ内牧場ヲ除キ其他ハ概ネ玉蜀黍、豆、米、動物飼料甘蔗ヲ耕作シ邸内ニ種々ノ果樹野菜ヲ植付ケ目下接客室、書齋、寢室等ヲ有スル家屋ヲ新築シツ、アリ煉瓦積ト家根葺ノ爲メ職工數人ヲ雇ヒシ外ハ一切主人自ラ建前ヲナスト云フ而シテ落成ノ上ハ先キニ政府ヨリ借金シテ建テシ家屋ハ附屬屋トナスト云フ又邸内ニ穀物ヲ入ル、倉庫アリ、

タ」製造用小舎アリ、豚及鶏類ノ小屋、牛舎等アリ(嘗て所掲ノ)頗ル有福僅々十二年間ノ經營トハ思ハレサル程ナリ、同家ニハ子女七人アリ五六歳以下ノモノ三人ヲ除キ其他ハ晝間獨逸學校ニ通學シ餘暇養鶏等ノ用務ニ從ヒ各々其業ヲ樂ミツ

ハアリ
搾乳ハ家妻及長女ノ任務ニシテ「バタ」製造ハ主人農業ノ餘暇ニナスモノニシテ購買組合ヲ經テ賣捌キ目下一「キロ」ニ「ミル」半ヲ得ルト云フ

本殖民ハ自作ノ物ヲ食シ只購買スルモノハ砂糖、鹽、醬、罐詰物、衣服、茶其他輸入食料品位ナリ肉ハ重ニ飼養ノ豚ニシテ時々屠殺シ鹽漬及「ハム」トナシ貯蓄使用ス大人一ヶ月ノ生活費用ハ二三十「ミル」ノ間ナリト云フ

第二例

「ジュリオ、パウマン」(Julio Baumann)ハ獨逸人ニシテ十一年前本殖民地ニ入り夫婦ト長シタル男子二人下女一人ト同棲三區十八「アルケール」ノ地ヲ占メ大ナル家屋一棟納屋二戸、馬六頭、牛二十頭、豚三四十頭、鶏五六百羽、馬車二輛、荷車二臺ヲ有シ前者ニ優ル有福者ナリ同人ノ住スル家屋ハ頗ル大且清潔寢室六、食堂、書齋、接客室各々一アリ多少ノ材木ヲ購ヒタル外ハ所有地内ノ木材ヲ用非數人ノ職工ヲ雇ヒシノミニテ重ニ主人並ニ男子雇人等ノ建築シタルモノナリ(嘗て所掲ノ)同人ノ不動産及家畜ノ價格ハ外見上三萬圓計ノモノアリ之ニ貯蓄金ヲ加フレバ蓋シ數萬トナリ十一年前ノ殖民ノ資産トシテハ可驚大ナルモノト云フベシ「パウマン」一家ノ産出スル「バタ」卵、豚、鶏、穀物等ハ前述ノ購買組合ノ手ヲ經テ賣捌クト云フ同人ノ供給ヲ他ニ仰グ物品ハ鹽、砂糖、干鹽魚、衣服、瓦、金物等ノ類ニシテ米、玉蜀黍、鶏及卵、豚肉、野菜ノ類ハ自作品ヲ用非一切購入スルコトナシ

獨逸人各家ニハ必ズ獨逸皇帝、皇后、「ビスマルク」公、「モルトケ」伯ノ寫眞ヲ掲ゲ同國人間極メテ親密ナル交際ヲナス或人曰ク寫眞ハ國ヲ出ヅルトキ帝室ヨリ貰受クルモノナラント蓋シ同國人ハ帝室ヲ尊崇スルガ故ニ各人期セズシテ同様ノ事ヲナスナラン

獨逸人ノ成功ノ主

中途歸國シ或ハ他ニ退轉スル者ノ地所ヲ廉買シテ益々事業ヲ擴張シ資産ヲ増加シ一本ノ果樹、一羽ノ鳥モ自分ノモノト思ヘバ注意シテ栽培且飼養シ其勞ヲ惜ムコトナク各々趣味ト快樂ヲ以テ其業ヲ勤ム故ニ彼等ノ成功スルハ不足怪ナリ獨逸人ハ、珈琲、甘蔗其他ノ耕地ニ移民トシテ入込ミ勞動スルコトナク伯國ニ來ル者ハ必ズ多少ノ資金ヲ携ヘ、殖民地ニ入ルカ然ラザルモノハ、商業ヲ營ミ何レハ途獨立ノ業務ニ從事スルヲ常トス是レ伊、西其他ノ移民ト異ナル所トナス

創立

區畫

新「オデツサ」殖民地ハ私有地千〇三十一「アルケール」ヲ買上ゲ一九〇四年即チ六年前露國人ノ爲メニ開キシモノナリ新「オデツサ」村ハ「カンピナス」市ヲ距ル北部三十一基米突ノ地ニアリ「パウリスト」鐵道ニ沿ヒ運輸ノ便アリ
本殖民地ニハ九十七區アリ一區ヲ十「アルケール」(凡ソ二エタール中チ)トス既ニ八十六區ヲ拂下グ、本殖民地ヲ五六區ニ分チ第一ヲ新「オデツサ」第二ヲ「ビネイロ」第三ヲ「巴拉イゾ」第四ヲ「ファゼンダ、グエラ」第五ヲ「エウゼニオ、グエラ」ト稱シ本部ヲ「巴拉イゾ」ニ置ク、第一、第二、第四、第五ハ既ニ滿員トナリ第三ノミ只僅カニ五六區ヲ餘スノミ
本殖民地ハ元ト露國人ノ爲メニ開キシモノナレ共同國人ノ來住遲々タレバ他ノ國人ノ來住スルコトヲ許可シタリ目下ノ居住者ハ左ノ如シ

露國	四百三十四人	西班	十三人
伊太	百十四人	獨逸	六人(一家族)
伯國	四十七人	佛人	五人(一)
澳國	二十一人	其他	十五人
合	六百五十五人		

本殖民地ニ於テハ米、玉蜀黍、豆、棉花「ジャガ」芋、水瓜及牧畜ヲ專ラトス、伊太利人ハ米ト玉蜀黍耕作ヲ專ラトシ露國人ハ牧牛ヲ主トス

殖民地内「ノバ、オデツサ」村ニ州立「バタ」製造所アリ米國製最新式「シムブレツキス」製乳機械、檢乳器、製氷機、及十馬

力機關ヲ備ヘ殖民ノ搾取スル牛乳ヲ買入レ製乳シ「サンパウロ」市其他ニ送付販賣セシム同所長ノ説明スル處ニ由レバ露國人ハ怠惰ニシテ農業ヲ勤メズ拂下ゲテ受ケシ土地ヲ其儘牧場トナシ終日無爲ニ暮ラシ製乳ヲナスモノ少ク偶々製乳スルモノアルモ販賣ノ方法ヲ知ラズ州政府ハ不得止ニ萬餘「ミル」ヲ費ヤシ製乳所ヲ建設シ殖民ヨリ牛乳ヲ購入スルコト、セリ然ルニ露國人ハ牛乳ニ水、麥粉其他ヲ混入シ幾何程説諭スルモ惡策ヲ廢セサレバ嚴重ニ檢乳器ニテ検査シ又ハ分拆シ一立突ノ牛乳ニシテ五歩ノ「バタ」ヲ含ムモノヲ百「レイス」(即六錢)ニ買上ケ其以下ノモノハ比例ニヨリ遞減スル規則ナリ代價一々通帖ニ記入シ一週一回現金ヲ交付ス而テ露國人ハ二三千「ミル」ノ貯積ヲ得レバ耕地ヲ賣却シ南方「リオグラ」ンデ、ドスール」亞國又ハ其他ニ退轉スルモノ多ク頗フル忍耐方ニ乏シキ殖民ナリ云々

家畜飼育

本村ニハ内外國種牛、馬、羊、野羊ノ試育場アリ家畜ノ試育ヲナス傍ラ殖民ノ求メニ應ジ乳牛、肉牛、其他ノ買入ヲ周旋シ一家族ニ對シ九頭マデハ家畜代價ヲ五ヶ年賦ニテ返納スルコトヲ許ス、伯國產「カラク」種ノ價格ハ牝牡共百「ミル」内外ナリ出乳ノ分量ハ一日漸ク六七立突(一「リットル」)ニ過ギザレ共、氣候ニ堪ヘ飼育上安全ナリト云フ

殖民ノ特

本殖民地ニ入ルモノハ一家族三四人ニ對シ土地十「アルケール」價格地味ニヨリ七百乃至千五百「ミル」ヲ十ヶ年賦ニテ拂下ケ七八十「ミル」ノ價アル小舎ヲ無代價交付シ家屋建築費及鋤、鋤、耕作馬又ハ騾、乳牛、垣根用鐵線(十「アルケール」ノ土地ヲ圍フ)等ノ價ハ五ヶ年賦ニテ返納セシメ殖民ガ煉瓦ニテ家屋ヲ造ラントコトヲ希望セバ煉瓦ヲ一千個三十「ミル」ニ拂下ゲ各殖民ニシテ資力乏シキ者ニハ第一期收穫マデ毎日大人一人ニ付六百「レイス」(四十錢)ヲ交付スルカ道路其他政府ノ工事又ハ殖民自身ノ小屋掛ニ使用シ一日二「ミル」半(十餘錢)ヲ給與シタリ(給料ヲ支出シ本人ヲ使用シ木材ヲ交付ス)資金アル殖民ハ黑人其他ヲ雇ヒ材木伐採ヲ急ギ開拓スレ共然ラザルモノハ一週中二三日政府ノ日雇ニ出デ得ル所ノ給料ニテ食料ニ充テ三四日ノ餘暇ヲ以テ伐木及開拓ヲナセリ斯ル場合ニハ耕作ヲナスマデ少カラザル時日ヲ要ス、殖民ニシテ資金千乃至二千「ミル」ヲ携フル者ハ入地早々開拓ニ着手シ二三ヶ月ノ後ニハ牧草ノ播種及鋤耕ヲ開始スルコトヲ得ベシ本殖民地監督官「カムボス」氏ノ案内ニテ殖民地ノ大部分ヲ巡視シ且殖民ヲ訪ヒ親シク其住居ト労働ノ情態ヲ見タリ此

地方陸米、玉蜀黍、木棉及瓜類ノ耕作、牧牛ニ適シ「エクタール」(凡我)ノ土地ヨリ粉米一袋六十「キロ」入七八十袋玉蜀黍、五六十袋ヲ收穫シ、牧草ノ繁茂良好牛ノ發育大ニ善シ然レドモ珈琲ハ地味ト氣候ノ關係上「リベロン、ブレト」等ニ及バスト云フ

殖民ノ情

本殖民地中最モ成功セル伊國人「Aniello Pisoni」ノ住居ヲ訪ヒシニ家族九人(長ヲタル男三人アリ)アリ政府ヨリ三區即三十「アルケール」七十五町歩ノ拂下テ受ケ煉瓦造大家屋一(從首所場)七室ヲ有シ不潔ナレ共二千餘「ミル」レイスヲ費ヤシタリト云フ納屋三棟、大荷馬車三臺、輕便馬車一輛、牛六頭、豚二十、鷄五六十羽ヲ所有シ重ニ米、玉蜀黍、甘蔗(牛豚ノ飼料)、豆等ヲ耕作シ牛乳及「バタ」ハ自家用ニ供スルヲ專ラトス、同人ハ移民トシテ十數年前來伯珈琲耕地ニ労働シ相當ノ貯蓄ヲ得テ三年前本殖民地ニ入りシト云フ其内耕地ヲ賣ルモノアレバ土地ヲ増買シ事業ヲ擴張セン企劃ナリト聞ク

第二例露

露國人ノ所有地數ヶ所ヲ見タリ多クハ手入不充分ナル牧場ニシテ其傍ラニ飼料ニ供スル甘蔗ヲ耕作セリ孰レノ點ヨリ見ルモ伊太利人ノ農業ニ劣ルコト數等ナリトス
監督官ノ官宅ハ「バライズ」ニ在リ其傍ニ苗圃、農具ノ倉庫等アリ種苗ハ殖民ノ希望ニ依リ無代價交附シ農具ハ年賦又ハ即金拂下グルモノナリ

監督官曰ク殖民地ヲ開クニハ土地ノ測量道路ノ開鑿、市街地ノ上水、農事試驗場、官舎、倉庫、車馬、殖民小屋掛料、其他ニテ少ナカラサル費用ヲ要スルニ付政府ハ凡ソ移民一家族ニ對シ二千「ミル」許ヲ豫算スト云フ又月々ノ俸給其他モ少額ナラズト聞ク

三 官設植民地ノ經濟情態

目下植民地(未ダ獨立シテ町村トナラザルモノハ)七個所アリ其經濟情態ヲ表示スレバ左ノ如シ(殖民ノ占有スル小區數ト耕作物ノ見價ハ一九〇九年末、但シ年末ニ終ル統計ニ據ル)

植民地	既ニ政府ヘノ納金ヲ終リ獨立町村ニ編入セラレタルモノ	左ノ如シ
小區數(既ニ占有)	一九〇九年未交付植民地	二五七
土地 價額(植民所有)	三一七、一六〇	九八、七五八
耕作物ノ見積額	一四八、二一五	一一二、四三八
土地改良 價格	一七六、七三二	一五〇、〇〇〇
家畜 價格	一三七、七三五	一七、五九〇
農具 價格	一一、八二七	二八、九九五
車輛 價格	二〇、九二五	三、三二〇
動物ヨリ生産スル物品ノ價格	四五、〇一〇	一、八〇〇
既ニ收穫セル農産物	五、三五〇	一一、二〇〇
合	八六二、九五四	四一八、四七一
植民ノ政府ヨリ負債消却	一三九、一一八	七、三五一
高一九〇九年未		一五、四一六
		六六、五〇〇
		一〇、三〇六
		二八二、五九七
		六一〇、四四〇
		一七、七八八

植民地	名	土地ノ面積	植民國名	沿道	設立年次
「カ」	「カ」	未詳	伯、伊	「イグリハ」河港	一八六二年
「サンカエタノ」		五〇	葡、伊	「サンパウロ」市附近	一八七七年
「アロー」		未詳	伊、葡、波、伯	同	同
「サンペルナルド」		三、八〇七	同上	同	同
「カスナ」		四八四	伊、葡、伯	中央 鐵道	一八八五年
「カスナ」		二八六	同上	同	同
「リマロンピレス」		二八〇	伊、伯	「パワリス」鐵道	一八八七年
「ナントニオアラ」		五八九	伊、太利人	「サンパウロ」鐵道	同
「ロドリゴ、シルグア」		五五五	伊、白、伯	「モウアナ」鐵道	同
「パライ、デ、ウニョアイ」		二一一	伊、太利人	「ソロカバナ」鐵道	同
「サ」		二、二三九	伊、四、伯	「サンパウロ」鐵道	同
「キ」		四六八	伊、太利人	中央 鐵道	一八八九年
「ピ」		四〇九	伊、澳、伯	同	一八九〇年
					一八九二年

第四章 私設殖民地

「トラビスタ」宗派米作地ノ情態

米作地ノ一般情況

「システルシエンセ」(Osterriense)一名「トラビスタ」(Trippista)派(羅馬教ノ一派ニシテ勞動者ヲ以テ現世ニ處スルヲ主義トス)米作殖民地ハ「サンパウロ」州「タウバテ」郡「トレメンベ」村「ピリザル」部ニアリ「バライバ」河ト稱スル大河ノ沿岸ニシテ「タウバテ」町ニ十二「キロ」ト「トレメンベ」町ニ三「キロ」アリ鐵道停車場ハ右兩町ニ在リ運輸交通ノ便極メテ良シ本事業ハ伊、佛、葡其地歐州人ナル僧侶五十三人ノ組合事業ニシテ政府ヨリ五千「アルケール」(一萬二千)ノ土地ヲ購入シ(購入セシカ無代價ニテ)最寄町村ノ勞働者ヲ使用シ水田米作ヲナス其資本金ハ在佛國ノ本部ニ仰グト云フ

本植民地ハ八年前一年有半ヲ費ヤシ總理「ヴヰロツト」氏ノ發見シタルモノニシテ六年前事業ヲ始メ今ヤ二百「アルケール」開拓シ水稻、玉蜀黍、豆ノ耕作及牧場ニ使用シツ、アリ水田ハ目下小川ノ水ヲ導キ使用中ナレ共數月ノ後ハ當時据付中ナル六百馬力ノ瀉閘ニテ唧筒二臺ヲ動カシ(其一ハ一秒時五百立突他ハ)肥料ヲ含ム「バライバ」河ノ水ヲ吸上グ縱横ニ溝渠ヲ通ジテ灌溉スル筈ナリ

本米作地ニテハ凡テ新式ノ耕作法ヲ採用シ耕鋤其他ニ牛、馬、騾ヲ使用シ播種器、耕鋤機、草取器、收穫機、脱粒器、乾燥機、精米器、引上機、機關、貯穀大圓筒庫等ハ米國製ヲ用ヒ發電機ハ瑞西國製、吸水大唧筒ハ佛國製ヲ使用ス是等諸機械ノ價額ハ少ナク見積ルモ二三十萬圓ヲ要セシナラン小官ヲ案内シ說明セシ僧侶ハ其等詳細ヲ知ラズト云ヘリ

現ニ耕作シツ、アル水田ハ凡ソ百餘町歩ニシテ昨年ノ收穫ハ粗米一萬二千袋(六十基)ニシテ資金ヲ得ルニ從ヒ漸次擴張ヲナス企劃ナリト云フ建築中ノ貯穀庫ハ優ニ二萬袋ヲ容ルベキ容積アリ貯穀ハ新陳代謝シ且收穫ノ時期三四ヶ月ニ涉レバ現今ノ耕地ヲ二三倍大トナスモ充分ニ餘裕アルベシ

此地方九月ヨリ十一月ニ播種シ二月乃至五月ニ收穫スルヲ常トス然ルニ收穫期ハ恰カモ雨期ニシテ穀物ヲ腐敗セシムル

コト多ク依テ主任者ハ特ニ乾燥機ヲ備付ケ收穫スルヤ否ヤ脱稈機ニ掛ケ其粃米ヲ乾燥機ニ移シ然ル後引揚機ニテ貯穀庫ニ運入スル設計ナリ

僧侶ノ云フ處ニ由レバ本耕地ハ「サンバウロ」州政府ヨリ牛馬ノ購入ニ關シ周旋ヲ受ケ、種子苗木ノ分配ヲ得、中央政府ヨリ機械ノ無税輸入ヲ許サル、外カ何等官邊ノ補助ヲ受ケズト云フ

稻ノ耕作

此地方水田ハ苗代ヲ設ケズ驟ニ頭曳播種機ニテ撒種ス種子ハ「アルケール」ニ付百二十立突ヲ要シ收穫ハ一袋六十基入二百乃至二百五十袋ノ粃米ヲ得粃米ト白米ノ差ハ四ト六ナリト云フ米質甚ダ佳良他ノ陸米ニ比スレバ大ナル相違ナリ

（因田同部「モレイワ、セザル」ニ於ケル「サンバウロ」州米作試験所ニテハ「アルケール」ノ土地（二町半）ヨリ「白米三百十九アルケール」ハ四立突「二町半」ハ我五合）即六十四石ヲ得タリト云フ

「トラビスタ」派ノ僧侶五十人、組頭二人、總理一人ハ一日八時間（食事休息禮拜ノ時間ナリ）長靴ヲ穿テ労働者ニ率先シテ指揮シ労働スレバ雇人等ノ勤勉他ニ其比ヲ見ズ故ニ其支拂フ所ノ給料モ普通ヨリ多ク一日「ミル」五百「レイス」乃至三「ミル」ナリ

健康地

本耕地ハ海面ヨリ六百米突ノ高地ニテ「バライバ」河ニ沿ヘル低地殊ニ水田ヲ耕作スル土地ナレ共頗ブル健康ニ適シ外國人ナル五十三人ノ僧侶中疾患ニ罹リシコトナシト蓋シ排水ヲ良クシ腐水ヲ長時停滞セシメザルニ基クナルベシ

隣接
ンダモン
バニヤガ
地植民豫定

此地ハ昔テ第一回日本移民ノ爲メ特設セントシテ中途一般植民ノ入り得ベキ植民地ト變更セシ「ビンダモンニヤガバ」植民地ニ接近シ共ニ「バライバ」河ノ水掛リ地ニシテ地味、土質、氣候、高度等相均シ小官等同豫定植民地ヲ巡視スル筈ニテ州政府農工商務長官ノ紹介狀ヲ携ヘ關係技師ヲ「タウバテ」市ノ官宅ニ訪問シタルニ折悪敷「リオ」市ニ出張不在中ニテ五六日歸宅セズト云フ然ルニ他ニ同人ニ代リ案内スベキ人無カリシニ由リ「ビンダモンニヤガバ」植民地ニ至ラザリシ同豫定地ハ未タ測量ヲ終ラズ又道路ノ開鑿等ニモ着手セズト云フ

第五章 結 論

欠

秘露國「タンボパタ」護謨林視察復命書

欠

秘露國「タンボバタ」護謨 林視察復命書

目次

一、「インカ」護謨會社ノ起原並ニ護謨 林ノ位地及面積	二五九
二、「アステイエロ」港	二六〇
三、「タンボバタ」ノ風土、氣候及本邦移 ノ衛生状態	二六〇
四、交通、運輸、通信	二六一
五、「タンボバタ」ニ於ケル本邦移民移 動ノ状況	二六四
六、護謨採集法	二六六
七、護謨採集ニ關スル會社ノ内規	二六八
八、護謨採集業ノ状況	二七〇
九、「タンボバタ」ニ於ケル農業、牧畜	二七二

目次

十、移民ノ生活状態	二七三
十一、移民ノ郷里送金	二七四
十二、今後移民送出ニ關スル注意	二七四

附 録

別表第一、	移民移動表
別表第二、三、四、	護謨採集高表
別表第五、	「アステイエロ」ニ於ケル物價表
別表第六、	移民所得及消費高比較表

秘露國「タンボバタ」護謨林視察復命書

副領事 相 羽 恒 次

一、「インカ」護謨會社ノ起原並ニ護謨採集地ノ位地及面積

會社ノ起原

「インカ」護謨會社ハ「インカ」鑛山會社ト同シク北米合衆國「ユニオン、オイル」會社ノ大株主タル四、五人ノ人士ノ合資ニヨリテ經營セラル、處ニシテ資本金ハ百五十萬弗ナリト云フ

護謨採集地

今ヲ距ルコト約十年前「サント、ドミンゴ」ニ在ル「インカ」鑛山會社ノ青年輩中「タンボバタ」河方面ニ向ヒ探險ヲ試ミタルモノアリ最初ノ一隊ハ「カンダモ」附近ニ於テ「チユンチヨ」(未開ノ土人)ノ來襲ニ遭ヒ之ヲ擊退シ尙ホ進ム所アリシモ何等奏功セス空シク歸還シタルカ第二回ニ派遣シタル探險隊ハ「タンボバタ」沿岸ノ一大護謨林ヲ發見セリ、次テ鑛山會社ハ之ヲ獲得條件ニ付秘露政府ト協議スル所アリ結局「サント、ドミンゴ」ヨリ此原野ニ達スル道路ヲ開築スル報償トシテ下渡セラル、事トナリ乃チ更ニ「インカ」護謨會社ヲ組織シ道路開築及護謨採集ニ當ラシメタルモノナリ、而シテ護謨採集地トシテ得タル「コンセツション」ハ「タンボバタ」河兩岸ニ跨リ其面積ハ一百萬噶餘ナリト云フ即チ西ハ「タンボバタ」河ヨリ東ハ「ポリビヤ」國境「ヒース」河ニ至リ南緯十三度ヨリ以北「マードンデ、デイオス」河ニ至ルニ四四、四六〇「エクタレア」及ヒ「インカ」鑛山會社ノ名ヲ以テ「タンボバタ」河西岸「マードレ、デ、デイオス」河近クニ得タル八三、五〇〇「エクタレア」ニ加フルニ尙新タニ「タンボバタ」河ト「ヒース」河トノ間南緯十三度以南ニ得タル一〇〇、〇〇〇「エクタレア」ニシテ總面積四二七、九六〇「エクタレア」(「エクタレア」ハ「風平友メートル」)ナリトス、然リ而シテ「ヒース」河ノ位置ハ未タ確タル測量ヲ經タルモノニ非サルヲ以テ他日實地測定ノ曉ニハ右面積ニ變更ヲ生スヘシト云フ

一「インカ」護謨會社ノ起原、護謨採集地ノ位地及面積

一、「アステイエロ」港

「アステイエロ」港ハ「タンボバタ」河ノ西岸ニ位シ「インカ」街道ノ終點タリ「インカ」護謨會社ノ開キタル處ニシテ實ニ同會社ノ本據地ナリ家屋二十餘棟アリ多クハ「バルメト」割材ヲ以テ建築セラレ葺クニ亞鉛板ヲ以テ悉ク「インカ」會社ノ所有スル所ナリ傍ニ同會社附屬ノ牧場アリ牛羊ヲ飼フ此港ハ「マードレ、デ、デイオス」方面ヘノ要衝ニシテ出入ノ客貨此地ヲ經由セサルナク「テイラバタ」ヨリ輸入セラル、貨物及「マードレ、デ、デイオス」地方ヨリ輸出セラル、護謨等ノ中繼港タリ

當地ニハ特ニ旅宿ノ設備アルナク「インカ」會社所屬ノ宿舍ヲ借ル、コト能ハサルモノハ帳幕ヲ張リテ之ニ起臥スルヲ常トス

此地方ハ猛獸毒蛇ノ危害皆無ナレトモ日中ハ蚋子多ク夜ニ入りテハ人畜ノ生血ヲ吸フ一種ノ蝙蝠アルカ故ニ是等ノ害ヲ防カンカ爲メニ綿布製ノ蚊帳ヲ用フ

二、「タンボバタ」ノ風土氣候及ヒ本邦移民ノ衛生狀態

「タンボバタ」護謨林ノ氣溫雨量等ニ就テハ何等統計記録ノ據ルヘキモノナク之ヲ數字のニ示スコト能ハサルモ人々ニ就キ聞ク所ニヨレハ溫度ハ年中七十度ヨリ九十五度位ノ間ヲ昇降シ雨量ハ頗ル多ク殊ニ二、一、二ノ三ヶ月ヲ最トスト云フ、或人曰ク當地方ノ雨量ハ吠ヲ以テ測ルノ適當ナルヲ覺ユト蓋シ其降雨ノ如何ニ多量ナルカヲ形容セルナリ同地方ハ多少ノ「マラリヤ」熱ナキニ非サルモ海岸地方ニ比シテ甚タ少ナク其他何等特殊ノ疾疫アルヲ認メス移民等ノ言ニ徴スルモ健康地ナルモノノ如シ明治四十年第一回移民入山以來今日ニ至ル罹病者ノ統計ニ就テハ何等ノ材料ナキヲ以テ遺憾ナカラ茲ニ掲クルヲ得サルモ死亡者ノ數ハ左ノ如シ

明治四十年中	肺炎	一	腸炎	一	溺死	一
同四十二年	腎臟炎	一	結核性骨髄炎	一		
同四十二年	急性「マラリヤ」	四	脚氣	二	溺死	一
同四十三年九月末日迄	急性「マラリヤ」	一				

即チ過去約參ケ年半ニ於テ病死シタル者十一名ニシテ内悪性「マラリヤ」五名首位ヲ占メ脚氣二名之ニ次キ其他ハ各一名ナリ

尙ホ四十三年九月末日ニ於テ入院治療中ノモノ

脚氣 一 貧血 一 結核 一 凍傷 一 (アリコマ) 嶺山越ノ際受ケタルモノ 一 手指ヲ折りタルモノ 一
 結核性ノ爲メニ脚ヲ切断シタルモノ 一 「ダイナマイト」ニテ一腕ヲ失ヒタルモノ 一

都合七名ニシテ外ニ院外ニ於テ治療中ノモノ「マラリヤ」二名合計九名ノ患者現存セリ、同地ニ於テハ十一月ヨリ三月ニ至ル所謂雨期ノ間死亡者多ク前記十一名ノ中七名ハ此期間ニ死亡セリト云フ

四、交通、運輸、通信

里馬市ヨリ「アステイエロ」ニ至ル道程ハ海路「モイエンド」港ニ至リ同港ヨリ秘露南部鐵道ニヨリ「アレキバ」市及「フリアカ」驛等ヲ經「テイラバタ」ニ出テ同地ヨリ馬車ニテ「ワンカラニ」ニ至リ「ワンカラニ」ヨリ馬背ニヨリ「アステイエロ」ニ達スルモノトス、今各驛間ノ距離ヲ示セハ左ノ如シ

「モイエンド」	「アレキバ」	鐵道	一七二、	基米突
「アレキバ」	「フリアカ」	同	三〇五、	基米突
「フリアカ」	「テイラバタ」	同	六七、	五同
「テイラバタ」	「ワンカラニ」	同	一七二、	同
「ワンカラニ」	「ワンバニ」	馬車	一〇、	同
「ワンバニ」	「オコネケ」	同上	一五、	同
「オコネケ」	「キツン」	同	一〇、	同

二「アステイエロ」港 三「タンボバタ」ノ風土氣候及ヒ本邦移民ノ衛生狀態 四 交通、運輸、通信 二六一

「キツン」 「サントドモンゴ」 同
 「サント、ドモンゴ」 「メロ、シッコ」 同
 「メロ、シッコ」 「パンバ」 同
 「パンバ」 「カンダモ」 同
 「カンダモ」 「アステイエロ」 同

三〇、基米突
 二五、同
 三九、同
 三六、同
 三二、同

「モイエンド」ヨリ「アレキバ」ニ至ル間ハ概ネ沙漠ニシテ只水流ニ沿ヒテ所々ニ纒カニ綠蔭ヲ認ムルノミ「アレキバ」ヨリ先キハ所謂高原地方ニシテ「フリアカ」ニ至ル鐵道停車場中海抜約壹萬五千呎ノ高地ニ在ルモノアリ「フリアカ」「テイラバタ」等亦何レモ一萬二千呎以上ノ海拔ニシテ空氣稀薄ナルカ故ニ不慣ノ旅人ニ在テハ多クハ高山病(ソロチエ)ニ襲ハレ頭痛ニ感シ嘔吐ヲ催シ或ハ鼻口ヨリ出血スル事アリ、第一回本邦移民入山ノ際ハ多數ハ此「ソロチエ」ニ罹リ「テイラバタ」ヨリ内部ニ進行スル能ハス不得止四、五日同地ニ滞在シ健康ノ回復スルヲ待チタリト云フ、本官出張ノ際モ「アレキバ」「フリアカ」間ノ汽車中ニテ同病ニ襲ハレ烈シキ頭痛ヲ感シ飲食セサルコト四日「テイラバタ」ニ於テ静養ノ後始メテ旅行ヲ繼續スルコトヲ得タリ同地以東「トリウンフ」及ヒ「クルセロ」ヲ經テ海拔一萬七千呎ノ「アリコマ」嶺ヲ踰ユル迄約百哩ノ間ハ一萬呎以上ノ高原ニシテ少シク急歩スルトキハ呼吸逼迫動悸ノ激甚ヲ覺ユ、而シテ「アレキバ」以東ハ一ノ樹木ノ目ヲ娛マシムルモノナク只霸王樹ト或ル特種ノ雜草アルノミ當地地方ノ特産タル「ヤマ」(Yam)ト稱スル羊ノ一種ハ重ニ此高原地方ニ牧養セラル「アリコマ」嶺ヲ踰ヘ漸次低下シ海拔約一萬一千呎ノ「リンバニ」ニ至レハ所々ニ矮少ナル樹木ヲ見茲ニ始メテ森林帯ニ近キタルヲ覺ユ尙進ムニ從ヒ益々低下スルト同時ニ樹木繁茂ノ度ヲ増シ「イナンバリ」河岸「ラ、オロヤ」附近ニ至レハ山々全ク樹木ニ密蔽セラル

「リンバニ」ヨリ「アステイエロ」ニ至ル間十餘ノ吊橋アリ「カンダモ」ニ在ルモノ最モ長ク約百十五米突アリ次ヲ「ラ、オロヤ」ノ九十五米突トス是等ノ吊橋ハ同時ニ二頭ノ馬匹ノ通過ヲ許サス一頭ノ渡リ終ルヲ待テ順次渡橋セシム故ニ數十頭ノ駄馬一時ニ來ル時ハ其時間ヲ費スコト少カラス且「リンバニ」以東ノ道路ハ大半纒カニ馬ヲ通スルニ足ルノミナラス險路峻坂多ク所ニヨリテハ馬ヲ廻スノ餘地ナキ所アリ東西ヨリ駄馬ノ出會ヒタル際相通過スルニ困難スルコト尠カラス

通行税

道路ナリ「インカ」會社ハ此道路ヲ使用スル者ヨリ左ノ通行税ヲ徴收ス

鞍 付 馬	一「ソル」	空 馬	五十仙
鞍付又ハ荷付馬	八十仙	空 驢	四十仙
荷付「ヤマ」	五十仙	荷無シ「ヤマ」	廿五仙
牛 群 每頭	五十仙	羊 群 每頭	二十仙
豚 群 同	二十仙	荷付歩行者	廿五仙
荷無シ歩行者	無 料		

運賃

又同街道ニ於ケル運賃ハ左ノ如シ
 但シ全道路者ハ半分以上使用ノ者ハ全額、半分若クハ四分一以上使用ノ者ハ半額、四分一以下使用ノ者ハ四分一ヲ納ムルモノトス

馬 車	「テイラバタ」 「ワンカラ」 同	片道壹臺	六十「ソル」
馬	「テイラバタ」又ハ「ワンカラ」ヨリ「アステイエロ」迄	同 壹頭	六十「ソル」
荷 馬	「テイラバタ」 「アステイエロ」 同	同 壹頭	六十「ソル」
	但シ荷物ハ馬一頭ニ付三百斤ヲ限リトス		

「インカ」街道ノ運送業ハ從來殆ント「インカ」會社ノ獨占ナリシカ社務ノ改革ト共ニ運搬業ノ規程ヲ著シク縮少シ飼養ノ馬匹モ減數セリト云フ

郵便

郵便、「イカン」街道沿道及ヒ「タンボバタ」下流「マードレ、デ、デイオス」地方ノ郵便物ハ秘露政府ヨリ毎月三百「ソル」ノ補助金ヲ得テ「インカ」會社之レカ送達ノ任ニ當リ毎月少クトモ二回發送ノ義務アリト云フ、但シ外國ヨリ來ル小包郵便ハ關稅徴收ノ都合上「テイラバタ」ニ送付セラレス「ブノ」郵便局ニ回送セラレ同局ニ於テ檢査ノ上相當ノ關稅ト規定ノ手數料(小包一個ニ付六十仙)トヲ徴收シタル上ニアラサレハ下渡サス、在「テイライバタ」、「インカ」會社ニ於テハ「ブノ」市ト相距

四 交通、運輸、通信

因ニ高原地方ニ住スル土民ハ通俗「インテイオ」ト稱スルモノニシテ牧畜耕作ニ從事シ極メテ柔順ナリ其飼養スル所ハ綿羊「アルバカ」及ヒ「ヤマ」等ニシテ馬鈴薯ハ其耕作ノ主ナルモノナリ「アドベ」又ハ石ヲ以テ築ミ上ケタル燒屋ニ住シ羊毛手ニテ織キタル糸ヲ以テ織リタル粗布ノ衣ヲ纏ヒ男女トモ多クハ既足ナリ森林地帯ニ下レハ「チンチヨ」ト稱スル蠻民アリ多クハ森林中ニ隱レ射弓ニ巧ニシテ鳥獸ハ勿論魚類モ之ニヨリテ捕獲スト云フ時々同種族間ニ於テ爭鬪スルノミナラス白人ヲ襲ヒテ殺害ヲ擅ニスルコトアリト云フ此種族ノ精々文化シタルモノチ「チヤマ」ト稱シ各種ノ勞役ニ服ス

ルコト遠キカ故ニ本邦移民ノ爲メニ如上ノ手數ヲ取連ヒ難ク爲メニ「タンボバタ」在留本邦人ノ不便鮮少ナラズ本邦ヨリ同地方在留者ニ小包送付ノ際ハ一應里馬「カヤオ」若クハ「アレキバ」在留ノ知人ニ送り同人ヲシテ納税其他ノ手續ヲ了セシメ更ニ内國小包トシテ送付セシムルヲ便トス

電信電話

電信、電話 「テイラバタ」「サント、ドミンゴ」間ニハ從來「インカ」會社私設ノ電話線アリ「トリウソフ」
「クルセロ」
「ンカラニ」「オコネケ」「ラ、オロヤ」等ニ電話所ヲ置キ自家ノ用ニ供スル外一定ノ手數料ヲ以テ公衆電報轉達ノ用ニ供ヘタリシカ今回同線ヲ延長シ「アステイエロ」ニ及ホシ途中「パンバ」「カンダモ」ニ電話所ヲ置キタルヲ以テ手數料ヲ引上ケ二十五語ニ付「ソル」二十五語以上一語毎ニ四仙ニ改定セリト云フ

「アステイエロ」ヨリ下流及ヒ「マードレ、デ、ディオス」地方ニ送ルヘキ郵便物及電信ハ「アステイエロ」駐在「コミサリオ」(政府派遣)ニ渡シ其取計ニ任スト云フ

因ニ「アステイエロ」ヨリ下流「バルチモア」「マルドナド」及ヒ「サンフランシスコ」等ノ哩數ハ明ナラサルモ其舟行日數ハ大略左ノ如シト云フ

「アステイエロ」	「バルチモア」	下	二日	上	五日
同	「マルドナド」	同	三日	同	十二日
同	「サンフランシスコ」	同	四日	同	十五日

五、「タンボバタ」ニ於ケル本邦移民移動ノ狀況

本邦移民ノ
三十八年
初メ入山

本邦移民ノ「インカ」護謨會社ニ雇用セラレタルハ曩キニ明治殖民會社カ五ヶ年間ニ五千名ノ移民ヲ送ルノ契約ヲナシ其第一回トシテ去ル四十年一百名ヲ送出スルニ先チ之カ受入準備ノ爲メ其前々年即チ三十八年十二月全會社ニ備ハレ里馬市ヨリ入山シタル十二名ノ移民ヲ以テ嚆矢トス、之レ等ノ移民ハ追テ來ルベキ一百名ノ移民ノ住屋ノ建築、道路ノ開築其ノ他開拓等ニ從事シタリシカ、其後同護謨林就働ノ爲メ明治殖民會社ノ手ニヨリ本邦ヨリ送出セラレタル移民ハ第一回四十年一月五日横濱出帆笠戸丸ニテ百名、第二回四十年九月二十六日同港出帆「カラベラス」號ニテ四百二十七名、第

三回同年十月三十一日同港出帆嚴島丸ニテ三十六名都合五百六十三名ナレトモ「カラベカラス」號及ヒ嚴島丸ニテ渡來ノ移民ハ當時悉ク直ニ入山スル能ハス明治殖民會社ノ爲メニ海岸耕地ニ就働セシメラレタルモノアリ或ハ同會社ノ契約違反ヲ憤リ歸朝シタルモノアリ今「インカ」會社ニ就キ取調ヘタル處ニヨレハ同會社カ明治殖民會社ヨリ受取りタル移民ノ員數及其年月左ノ如シ

第一回	明治四十年三月	一〇四名
第二回	同 年十月	一八名
第三回	同 年十二月	一四名
第四回	同 四十二年六月	六五名
第五回	同 年十月	四五名
第六回	同 四十三年一月	四五名
第七回	同 年四月	五五名
合計		三四六名

而シテ四十三年九月末日ニ於ケル現在數ハ百四十一名(内女三名)ナルカ之ヲ其入山期ニヨリ區分スレハ左ノ如シ

第一回	一〇四名ノ内	二二名
第二回	一八名ノ内	三名
第三回	一四名ノ内	一名
第四回	六五名ノ内	三一名
第五回	四五名ノ内	一六名
第六回	四五名ノ内	二八名
第七回	五五名ノ内	四〇名
合計		一四一名

即チ死亡者十三名ヲ除キ百九十二名ノ出山者ヲ見ル是等ノ中ニハ相應ノ貯蓄ヲナシ歸朝セルモノアリ又ハ海岸地方ニ出ラ農商業ニ従事スルモノアレトモ其數五十ヲ出テ多クハ「タンボバタ」下流「マードレ、デ、ディオス」ニ下リ船乘業、農

五「タンボバタ」ニ於ケル本邦移民移動ノ狀況

業又ハ家内労働等ニ従事スルモノニシテ遠キハ「ボリビヤ」國「リベラアルタ」（マードレ、デ、デ、イオス）ニ下リタルモノアリト云フ斯ク多數ノ移民カ「インカ」會社ヲ去リ交通不便ノ「マードレ、デ、デ、イオス」方面ニ下リタルハ同地方ニ於ケル本邦移民ニ對スル賃銀比輕的良好ナルカ故ナリ同地方ニハ「ブライヤド」、「ゴンサレス」、「モレー」、「ロドリゲス」及ヒ「リベロ」等ノ大會社アリ重ニ「カウチヨ」護謨ノ賣買ニ従事スルモノナルカ貨物ノ運送ハ悉ク河川ノ便ヲ利用セサルヘカラス乃チ獨木舟又ハ本邦川船ニ似タル「パテロン」ト稱スル船若クハ所ニヨリ小蒸汽船ヲ使用シ土人ヲシテ運漕セシメ居タリシモ彼等ハ激流奔濤ニ於テ臨機應變ノ術ヲ知ラス屢々顛覆セシメテ貨主ノ損害ヲ來スコト多ク之ニ反シ本邦移民ハ比較的漕舟ノ術ニ巧ニシテ覆舟極メテ稀ナルヨリ一旦本邦移民ヲ試ミタル以來土人ニ比シ大ニ安全アルヲ知リ賃銀ノ不廉アルニ拘ラス爭フテ歡迎スルノ風ヲ生セリ其賃銀ハ通常糧食料付一ヶ月六十「ソル」（採取ハ同九十「ソル」乃至百「ソル」ニシテ此外家庭又ハ店舗ノ「ボーイ」ノ如キモ賄付ニテ一ヶ月四十五「ソル」ヲ得ルト云フ目下同地方ニ在留スル本邦人ハ約二百名ニシテ内二十名内外ハ「リベラアルタ」ニ在ルヘシト云フ

要スルニ同地方ニ於テハ少シク頭腦ヲ要スル職業ニ従事スル労働者ニ乏シク爲メニ本邦人ヲ歡迎スト雖モ素ト人口稀薄事業家少キカ故ニ其需要ノ程度ニ限リアリ今後續々本邦人ノ下ルコトアランニハ其賃銀ノ低落スヘキハ明ナリ

「インカ」會社ニ殘留セル移民ノ就働地ハ道路修築ニ従事スル者ハ「サント、ド、ド、ミンゴ」ヨリ「アステイエロ」迄ノ間ニシテ護謨採集者ハ「アステイエロ」對岸ノ森林及ヒ「バルチモア」地方ヲ主トシ漕舟ニ従事スルモノハ「アステイエロ」及「マルドナド」間ヲ上下ス

六、護謨採集法

護謨採集方法

護謨採集法ハ「へべ」即チ「シリंगा」ニ在テハ之カ採集ニ着手スル前ニ森林中ニ入りテ護謨樹ヲ搜索シ甲樹ヨリ乙樹、乙ヨリ丙ト順次樹々ノ間ニ小徑ヲ開キ百五十本ノ（「インカ」會社ニテハ當初ハ百二十本ナリ）護謨樹ヲ連絡スルノ通路ヲ作ル之ヲ「エ

ストラダ」ト云フ、此「エストラダ」ハ可成的捷徑ヲ取り短少距離ノ中ニ百五十本ヲ連結シ兩端ヲ接近セシメ之ヲ一周スレハ出發點附近ニ復歸スル様開カサルヘカラス而シテ斯ノ如ク開キタル數箇ノ「エストラダ」ノ中央ニ小屋ヲ設ケ採集者ノ起臥ニ供フ小屋ニ對スル「エストラダ」ノ數ハ護謨樹ノ繁否ニヨリテ一定セス少キハ二三箇多キハ八、九箇ニ達スル者アリト雖モ通常一箇ノ小屋ニ四箇乃至六箇ノ「エストラダ」ヲ附屬セシメ得ルモノ、如シ護謨採集ニ要スル器具ハ「テチエラ」（「アリス」製ニテ口径、深サ共約「マチャデイン」（軟製ニテ及幅約）「ブロンゴ」（「アリス」製ニテ牛乳配）及ヒ「バルデ」（「アリス」製ニテ二吋中底徑一吋中ノ水筒形ノモノ））「マチャデイン」（軟製ニテ及幅約）「ブロンゴ」（「アリス」製ニテ牛乳配）及ヒ「バルデ」（「アリス」製ニテ二吋中底徑一吋中ノ水筒形ノモノ）等ニシテ「テチエラ」ハ「エストラダ」ニ付五百乃至七百其他ノ器具ハ一人一箇宛トシ悉ク會社ヨリ貸與ス採集者ハ各自擔當ノ「エストラダ」ニ於ケル各護謨樹ノ下ニ其樹幹ノ大小ニヨリ必要ノ「テチエラ」ヲ備ヘ置キ早朝起床採集ニ從事ス其法ハ自身ノ手ノ達シ得ル限り高ク樹幹ノ周圍ニ約六吋ノ間隔ヲ以テ「マチャデイン」ニテ下ヨリ上ニ向ケ切傷ヲ附ケ其下ニ「テチエラ」打込ミ傷口ヨリ泌出スル液汁ヲ受ケシム（幹ノ細キモノハ二、三箇、太キモノハ十箇以上ノ「テチエラ」ヲ附ケ得ヘシテ漸次下方ニ下リ樹根ニ近ケハ更ニ上部ニ戻リ前ニ切ケタル傷口ト傷口トノ中間ニ新タニ切傷ヲ附ケ前ノ如ク漸次下方ニ下リ再ヒ樹根ニ近ケハ此「エストラダ」ヲ採集者ニシテ他ノ「エストラダ」ニ移ル通常「エストラダ」ヲ採集シ終ルニニヶ月ヲ要ス）「テチエラ」ヲ附ケ終レハ小憩ノ後「ブロンゴ」ヲ携ヘ先キニ樹々ニ打込ミ置キタル「テチエラ」ニ溜リタル液汁收集ニ廻ハリ小屋ニ歸リテ後兼テ築キ置キタル土竈内ニ特種ノ燃料（煙ノ中ニ成ルヘク多量ノ「クレソット」ヲ含有スル樹木「マ」ヲ燻シ上部ノ孔口ヨリ出ツル煙ニヨリテ液汁ヲ凝結セシム之ヲ行フニハ「ブロンゴ」即チ「バケツ」ニ集メ來リタル液汁ヲ「バルデ」即チ小盥ニ移シ棒又ハ篋ノ如キモノニ塗り付ケ煙ノ上ニテ乾カシ其上ニ又塗り付ケ斯クシテ當日採集シタル全部ノ液汁ヲ凝結セシム、而シテ之ニ要スル時間ハ熟練シタルモノニ在テハ「エストラダ」ニ「テチエラ」ヲ附ケ終ルニ約二時間液汁收集及燻凝ニ四、五時間即チ六、七時間ニテ「エストラダ」ノ仕事ヲ終ルコトヲ得故ニ勤勉ナル者ニ在テハ「エストラダ」ヲ以テ満足セス一箇ヲ擔當スルモノアリト雖モ未熟者ニ在テハ「エストラダ」ニ八、九時間以上ヲ要スルモノアリト云フ

採集期ハ場所ニヨリ多少相違アレトモ多クハ十月若クハ十一月ニ開始シ六、七月ノ頃ヲ以テ閉終ス即チ一ケ年ノ内九ケ

月間ハ就業シ得ルモノトス、而シテ十二、一、二ノ三ヶ月間ハ降雨ノ爲メ屢々妨ケラルル事アルモ然カモ一ヶ月月中二十日間ハ就働シ得ルト云フ

因ニ右ノ如ク人工ニヨリ煙霧シタルヲ「ヘベ、フイノ」(Celastrus)ト稱シ自然ニ凝結シタルヲ「ヘベ、セルナンゴ」(Tete, sramah)ト云フ

「カウチヨ」護謨ハ其採集法全ク前者ト異ナリ「インカ」會社ニ於テハ未着手ノモノナリ(最モ之カ實買ニ)只本年七月「ヘベ」採集ヲ終リタル後本邦移民中十數名ノモノ之レカ採集ヲ企テ該樹搜索ノ爲メ入林シタルモ中途「チエンチヨ」ノ襲撃ニ遭ヒ多數ハ「アステイエロ」ニ歸リ僅カニ三人丈尙繼續シ居ル趣ヲ聞ケリ「カウチヨ」護謨採集者ハ各自相應ノ食料ヲ用意携帶シ深林中ニ入り込ミ同樹ヲ搜索スルモノニシテ「ヘベ」採集ノ場合ノ如ク豫メ切開キタル通路アルニアラズ絶エス荆棘ヲ開キツ、人跡ナキ地ニ進マサルヘカラス斯クシテ發見シタル「カウチヨ」樹ハ之ヲ伐倒シ其横ハレル地上ヲ清掃シ樹幹ノ周圍ニ輪形ニ幾條トナク並行ノ切傷ヲ附ケ樹液ヲ地上ニ滴出セシメ自然ニ凝結セシムルモノニシテ之ヲ「カウチヨ、セルナンビ」ト云ヒ又右ノ如ク滴出セル樹液ヲ深サ三、四十「サンチメートル」ノ穴ニ集メ石輪ト「グイテイイヤ」(Vellia)ト稱スル一種ノ植物ノ液汁トヲ以テ凝結セシメタルヲ「カウチヨ、ブランチャ」ト稱ス當地方ニ於ケル「カウチヨ」採集ハ重ニ土人及「ポリビヤ」人ノ從事スル所ニシテ本邦人ノ着手シタルハ實ニ前記三名ヲ嚆矢トシ「インカ」會社ニ於テモ其成績如何ヲ待チ居ルモノ、如シ

七、護謨採集ニ關スル會社ノ内規

護謨採集ニ關シ契約條項中ニ協定セルモノ、外會社ニ於テ規定セルモノアリ即チ

一、「エストラダ」開キ及ビ全附屬小屋建設ニ對スル賃銀

「エストラダ」開キハ前ニモ述ヘタル如ク森林中ニ入りテ護謨樹ヲ搜索シ百五十本ヲ連絡スル通路ヲ切り開クモノナルカ護謨樹ヲ見出スノ一事既ニ不慣ノ者ニ在テハ容易ノ業ニアラス況ンヤ方位ヲ誤ラス所要ノ樹數ヲ連絡シ一周シ

テ出發點近クニ復歸スルカ如キハ經驗アル者ニアラサレハ爲シ能ハサル所ナリ故ニ「エストラダ」開キハ少クトモ經驗アル者一名ト外二名都合三名一團トナリテ之ニ從事スルヲ常トシ多クハ三日以内ニテ一箇ノ「エストラダ」ヲ開キ終ルト云フ又附屬ノ小屋ハ附近ニアル「バルメト」ヲ伐倒シ之ヲ地ニ打込ミテ柱トナシ其割材ヲ以テ周壁及ヒ床板ニ充テ其葉ヲ以テ屋根ヲ蔽フ大概三人ニテ一、二日ニ建了スト云フ極メテ粗造ナレトモ附近「エストラダ」ノ護謨採集ヲ終ルマテ二、三ヶ月間ノ用ニ供スルノミ而シテ會社ハ「エストラダ」一箇ニ付二十五「ソル」小屋一棟ニ付三日分ノ日給(一日ニソル)ヲ支給スルノ規定ナリ

一、護謨採集監督

護謨採集法ニ一定ノ順序アリ皆之ニ則ラサルヘカラス即チ前ニ述ヘタル如ク横六吋堅二三吋ノ間隔ヲ以テ樹幹ニ切傷ヲ附ケ逐日下方ニ下リ地上約一呎ノ處ニ至レハ更ニ上部ニ戻リ前ノ切傷列ノ中間ニ於テ以前ノ如ク繰返シ再ヒ地上ニ一呎ノ處ニ至レハ該樹ノ採集ヲ止メ他ニ移ルモノニシテ斯クシテ採集ヲ終リタル樹ハ翌一年ハ休息ヲ與ヘ採集セズ是レ蓋シ其樹ノ保存上必要ナルノミナラス液汁ヲ多量ニ得ル良法ナルモノ、如シ、樹幹ニ切傷ヲ附クルニ上部ヨリ順次規則正シク行フトキハ漸次液汁分泌ノ慣習ヲ養ヒ下部ニ下ルニ從ヒ其分泌量ヲ増スト云フ、然ルニ未熟者ニアリテハ其理ヲ曉ラス初メ上部ヨリ豫期ノ分量ヲ採集シ得サルヲ以テ直ニ下部ヲ試ミルモノアリ又ハ一時ニ數多ノ切傷ヲ附スルモノアリ然カモ好結果ヲ得サルヲ以テ之ヲ放棄スルニ至ルト云フ此ノ如キハ徒ラニ樹木ヲ損傷スルノミナルヲ以テ會社ハ監督ヲ置キ時々各「エストラダ」ヲ巡視セシム

一、護謨煙凝用燃料

護謨ノ煙凝ハ其保存上缺クヘカラサルモノニシテ之カ腐敗酸酵ヲ防クニ足ルヘキ「クレオソート」ヲ要ス故ニ煙凝用ノ薪ハ特種樹木ニ限ラレ他ノ燃料ヲ用ヒルヲ許サズ

一、採集護謨ノ受授法

七 護謨採集ニ關スル會社ノ内規

移民ノ採集シタル護謨ハ二週間毎ニ一定ノ場所ニ運搬納付セサルヘカラス最モ會社ハ各「エストラダ」ニ最モ便利ナル地點ヲ選ミ假倉庫ヲ設ケ日用品販賣所ト爲セル傍ラ護謨收受所ニ充ツルヲ例トス

八、護謨採集業ノ狀況

本邦移民カ護謨採集ノ爲メ「インカ」會社ニ備ハレ入山シタルハ約四年前ニアリト雖モ重ニ開拓、道路修築等ニ從事シ護謨採集業ハ四十二年ニ至リ始メテ着手セリ彼等ノ斯業ニ不慣ナルハ勿論會社ノ監督者ニ在ツテモ精通者ト稱スルニ足ルモノナカリシ由ニテ其成績良好ナリト云フヲ得ス別表第二、第三ハ會社ノ記録ニ就キ調査シタル成績表ニシテ前者ハ昨年迄ニ入山シタル舊移民後者ハ本年入山シタル新移民ノ採集高ナリ而シテ昨年ハ乾燥期トシテ寧ロ採集ヲ閉塞スヘキ時期タル七月ヨリ護謨採集ニ從事セシメタルカ故成績甚タ不良ナルモノアリトノ事ナリシヲ以テ昨年中ノ統計モ之ヲ得ント欲シタルモ當時關係帳簿類ハ在「モイエンド」港社長ノ手許ニ回送セラレタリトテ遂ニ調査スルノ機會ヲ得サリシハ遺憾ナリ幸ニ當地明治植民會社支店ヨリ入手シタル一部移民ノ昨年中ノ採集高表アルヲ以テ之ヲ掲出シ參考ニ資セン別表第四即チ是ナリ

前記三表中第三、第四ハ寧ロ採集見習中ニ係ル成績ナルヲ以テ之ヲ省キ第二表ニ就キ採集ニ從事シタル期間ニヨリ人員ヲ區分スレハ左ノ如シ

採集期間	人員	一人分トシテノ相當期間
一ヶ月	三人	三ヶ月
二ヶ月	八人	一六ヶ月
三ヶ月	一〇人	三〇ヶ月
三ヶ月三分一	二人	六ヶ月三分二
四ヶ月	一三人	四二ヶ月
五ヶ月	二四人	一二〇ヶ月
五ヶ月三分一	二人	一〇ヶ月三分二

六ヶ月 四一人
六ヶ月三分一 二五人
計 九一人

備考 七月十日迄採集シタルヲ以テ同月分ハ三分一ノヶ月トシテ計算シタルモ其他ノ月ニ於テハ一日若クハ一週間丈採集シ全月ニ亘ラサルモノモ總テ一ヶ月ト見做シテ計算セリ

即チ九十一人ノ労働月數ヲ通算スレハ一人ニテ四百十ヶ月三分二ノ労働ニ相當ス今之ニ由テ一ヶ月一人ノ採集高如何ト見ルニ「ヘベ」ハ六十九斤七餘「セルナンビ」ハ八斤四餘ニ當レリ、而シテ尙精細ニ檢スルニ一ヶ月ヲ完全ニ働キタルモノニシテ平均額「ヘベ」五十斤以上ニ達セサルモノハ僅カニ二、三名ニ過キス即チ其採集額平均一ヶ月五十斤以上ニ達セサルモノハ多クハ月ノ半途ニ中止シタルモノナルヲ以テ之ヲ省キ完全ニ働キタリト認メ得ヘキ五十斤以上ノ者ニ就キ更ニ其平均額ヲ求メシニ

一ヶ月平均採集高	人員	計
五十斤以上	一人	五五〇斤以上
六十斤以上	一人	七二〇斤同
七十斤以上	二人	八四〇斤同
八十斤以上	七人	一、三六〇斤同
九十斤以上	五人	四五〇斤同
百斤以上	一人	一〇〇斤同
百斤以上	一人	一〇〇斤同
合計	五九人	四、一三〇斤同

備考 百三十斤以上ノ者ハ其労働力ニシテ月ニ止マリ百四十斤以上ノ者ハ夫婦二人分チ一人分トナセルモノナルヲ以テ是等特殊ノモノハ省ク即チ五十九人ニテ一ヶ月四千三百三十斤以上ノ採集ニシテ之ヲ一人ニ平均スレハ七十斤以上ニ相當セリ今假リニ之ヲ七十斤トナストキハ一斤ノ採集高六十仙ニシテ「インカ」會社ハ契約規定ノ「メルマ」即チ水減ヲ引去ラサルカ故ニ一ヶ月ノ賃銀四十五「ソル」之ニ「セルナンビ」ノ賃銀ヲモ加フレハ約五十「ソル」ニ達スヘシ然リ而シテ其技ノ練熟スルニ從ヒ採集額ノ増加スヘキハ疑ナキ處ナレトモ未熟ナル移民ノ多數ハ直ニ護謨採集業ノ特ムヘカラサルヲ悲觀シ寧ロ副業タル日給労働ヲ擇ムノ風アリ蓋シ後者ニ從事スルトキハ一日十時間ノ労働ニテ二「ソル」五十仙、一ヶ月ノ労働日數ヲ二十六日ト

八 護謨採集業ノ狀況

シ六十五「ソル」ヲ得ラル、モ護謨採集ニ在テハ百斤以上ヲ採集スルニアラサレハ到底此額ヲ得ル能ハス而シテ日給勞働ノ種類ハ道路修復ヲ主トシ其他開墾耕作等ニシテ是等ノ勞役ハ精勤、惰懶ノ別ナリ十時間ノ就業ニ對シ等シク二「ソル」五十仙ヲ給セラレ護謨採集ノ如ク各自ノ力量如何ニヨリテ差違アルニアラス故ニ未熟者殊ニ懶惰ナル者ニ在テハ特ニ日給勞働ヲ好ムノ傾キアリ事情此ノ如キカ故ニ「インカ」會社ニ於テハ護謨採集獎勵ノ一法トシテ本年三月ヨリ護謨採集者ニ限リ食料品ノ價格ヲ低減シ次テ同五月ニ至リ更ニ毎半ヶ月ニ最少量ノ護謨ヲ採集セル者ニ賞金ヲ與フルノ法ヲ設ケタリ即チ新舊移民ヲ區別シ昨年來斯業ニ從事シ稍々其技ニ熟セル舊移民中ノ最少量採集者ニハ十「ソル」本年入山シタル新移民中ノ最少量採集者ニハ五「ソル」ヲ賞與スルモノニシテ日常勤勉ナル者ハ益々奮勵シタモ懶惰ナル者ニハ何等ノ効力ナキノミナラス如此キ者ニ採集ヲ強フルハ徒ラニ護謨樹ヲ損傷スルノ虞アルヲ以テ「インカ」會社ハ不得止彼等ヲ日給勞働ニ使役シタリト云フ

九、「タンゴバタ」ニ於ケル農業、牧畜

農業

「タンゴバタ」附近ニ於ケル農業及ヒ牧畜ノ現況ハ極メテ微々タルモノニシテ何等特ニ記載スヘキモノナシト雖モ土地豊饒ナルヲ以テ將來望ナキニアラサルベシ農業トシテハ目下「アステイエロ」對岸ニ於テ「インカ」會社カ本邦移民ヲシテ耕作セシメ居ルモノニケ所アリ一ハ夫妻二人、他ノ一ハ父娘二人ニテ擔當シ會社ヨリ受クル所ノ賃銀ハ男一日二「ソル」五十仙、女ハ一「ソル」ナリト云フ重ニ「ユカ」ト稱スル芋ノ一種「バナナ」及ヒ烟草等ヲ耕作シ其他「トマト」、胡瓜、西瓜、球菜「チサ」、大角豆等ヲモ産セサルニアラサルモ雜草ノ成育速カナルト虫害トノ爲メ其煩勞ニ堪エサルモノ、如シ先年陸米ヲ試作シ相應ノ收穫ヲ見タルモ適當ナル糧曰ナク移民ヲシテ造ラシメタルニ精米ニ用ヒルカ如キ然カモ不完全ナル杵臼ルナヲ以テ糧ヲ除カント試ミタルモ米粒粉重スルノミニテ其用ヲ爲サス不得止糧米ノ儘飼料ニ充テ居レリ同地ハ河水潤澤ナルヲ以テ水田ヲ開クコトヲ得ヘク若シ幸ニ經濟的ニ米作スルヲ得ハ米ヲ常食トスル本邦移民ハ勿論「インカ」會社

ニモ利便鮮少ナラサルヘシ同會社新總支配人ハ北米「テキサス」州ニ於テ米作ノ經驗アル由ナレハ早晚此方面ニモ企及スルナラント信ス

移民契約ニハ農作セントスルモノニハ無料ニテ土地ヲ貸與スルノ條項アレトモ移民中未タ曾テ發意シタル者ナシ只本年自由渡航者トシテ來秘シタル島田某アリ「インカ」會社ノ傭人ニアラサルモ同地方ノ有望ナルヲ聞キ單身「アステイエロ」ニ赴キ會社ニ請ヒテ若干ノ土地ノ無料貸與ヲ得烟草其他本邦人向キ野菜ノ栽培ヲ試ミツ、アリ同氏ハ別ニ農事ノ知識アルニアラサレハ其成功ヲ見ルニ至ル迄ハ幾多ノ經驗ヲ要スヘク其苦難ノ度モ尋常ナラサルヘシト雖モ幸ニ素志ヲ達スル事ヲ得ハ移民中其範ニ倣フ者ヲ生スルニ至ラン若シ適當ナル技師ヲ派シ研究セシムル所アラハ得ル所鮮少ナラサルヘシ牧場ハ「インカ」會社カ「アステイエロ」ニ於テ牛羊各數十頭ヲ養ヒ食料ニ供シ居ル外此附近ニハ絶無ナリトス

十、移民ノ生活狀態

牧場

住屋 「アステイエロ」ニ於ケル本邦移民ノ住屋ハ四棟アリ一棟ハ舟夫、一ハ「コック」及「ボーイ」等ニ充テ他ノ二棟ハ普通勞働者ノ起臥スル所ナリ其用材ハ悉ク「バルメト」ニシテ屋根ニハ其葉葎ノ類及亞鉛板ヲ用ウ大ナルハ六七十八小ナルモ十人ヲ入ルヘシ道路修築ニ從事スル者ハ沿道各所ニ設ケアル小屋ニ起臥シ護謨採集ニ從事スル者ハ「エストラダ」附屬ノ小屋ニ住ス

飲食物 食料ノ主ナルモノハ米ニシテ副食物トシテ「チャロナ」ト稱スル鹽藏乾羊肉ヲ主トシ時ニ鮮牛肉ヲ用ウ野菜ニテハ「ユカ」ヲ最モ多ク食シ飲料ハ茶ヲ用井珈琲ハ殆ント顯ミルモノナシ、酒類ハ價頗ル高ク「ホンスキイ」壺瓶八「ソル」秘露產麥酒壺瓶貳「ソル」五十仙等ナルカ故ニ之ヲ用フル者殆ント皆無ニシテ多クハ壺瓶三「ソル」ノ地製「アルコール」ヲ用ス肉類 野菜 果物等ノ罐詰類モ亦頗ル高價ニシテ寧ロ費澤品タルヲ免レス故ニ勤儉ナル者ニ在テハ米ニ少量ノ「チャロナ」ヲ混煮シテ常食トナスト云フ、烟草ハ同地方ニ於テモ產出セラル、モ多クハ里馬市ニ於テ製造セラル、モノヲ喫用ス

被服 被服ハ年中綿製「ブボン」一、木綿「ジャツ」一枚ニテ凌クコトヲ得ルカ故ニ極ノテ簡單ナリ履物ハ靴ヲ穿ツモノナク多クハ附近森林中ニ入り或ル種ノ樹皮ヲ剥キ取り之ヲ酒シテ得タル麻ノ如キ織緯ヲ以テ製造シタル草鞋ヲ用ウ娛樂 娛樂トシテハ何等ノ設備ナク時ニバ森林ニ入り禽獸ヲ獵シ或ハ川河ニ漁魚ヲ試ミ或ハ一杯ノ「アルコール」ニ微酔ヲ催シ俗語ヲ放吟スルノ類ノミ賭博モ絶無ニハアラサルカ如キモ「インカ」會社カ信銀支拂ニ現金ヲ用ヒサルカ故ニ他ノ地方ノ如ク行ハレス醜業婦ハ入り込ミタルコトアル由ナルモ久シカラスシテ放逐セラレタリト云フ参考ノ爲メ「アステイエロ」ニ於ケル物價表及各移民ノ所得及消費高比較表ヲ掲ク別表第五、第六即チ是ナリ

十一、移民ノ郷里送金

「タンボバタ」在留移民ノ郷里送金ハ從來明治殖民會社ニ於テ取扱ヒ來リシカ一旦全會社ノ失態曝露シテヨリ移民ハ其便ヲ失ヒ頗ル迷惑セリ「インカ」會社ハ「アステイエロ」ノ護謨會社「サントドミンゴ」ヲ鑛山會社ノ本據トシ別ニ「テイラバタ」ニ兩社ヲ統轄スル事務所ヲ置キ現金取引ハ重ニ前兩社ヨリノ通告ヲ待テ「テイラバタ」事務所ニ於テ取扱ヒ里馬市ノ銀行トハ取引ノ開始ナキヲ以テ是亦本邦送金ノ便トナラス昨年六月頃數十名ノ移民カ約貳萬五千「ソル」ノ郷里送金ヲナサントシ「インカ」會社ノ爲替券ヲ得テ之ヲ橫濱正金銀行ニ送托シタルモ北米合衆國「ブラッドフロード」拂ヒノ手形ナリシヲ以テ該銀行ヨリ返送シ來リ其後種々行違ノ爲メ其儘ニナリ居リ偶々出山スル者ニ托シタル者ノ外ハ全ク送金中止ノ姿ナリシカ小官出張ノ際「インカ」會社ニ談シテ里馬市ノ銀行ト取引ヲ開始セシメ移民ノ送金ハ今後本館ニ宛テ里馬拂ヒノ「チエツキ」ヲ發行セシムルコトトシ尙歸館ノ際ハ四萬餘「ソル」ノ郷里送金ノ依托ヲ受ケタリ

十二、今後移民送出ニ關スル注意

「タンボバタ」護謨林ノ狀況ハ概略前述ノ如クニシテ本邦移民ノ成績ハ未タ満足ヲ表スル能ハサレトモ風土氣候惡シキニ

アラス護謨採集業亦困難ナルモノニアラス要ハ只採集者自身ノ技量如何ニ在リ但今後移民ヲ送ラント欲セハ多少契約條項ノ變更ヲナサ、ルヘカラス其重ナル點ハ無論賃銀ノ上ニ在リ現行契約ニヨレハ護謨採集賃ハ「ヘベ」一斤六十仙「カウチヨ」四十五仙ニシテ一割五分以内ノ「メルマ」即チ水減ヲ引去ルコト、ナリ居レリ此賃率ハ「タンボバタ」ニ限ラス「インバリ」河附近ニ於テモ同様ナリト雖モ聞ク所ニヨレハ「ボリビヤ」ニ於テハ「「ボリビヤ」ノ（移賃約八十仙ニ相當ス）ナリト云フ即チ當地方ハ他ニ比シ幾分低廉ナルモノ、如シ「インカ」會社カ契約ノ規定ヲ固執セス「メルマ」ヲ引去ラサリシハ會社自身モ賃銀ノ低廉ヲ認メタルニ因ルナラン左レ本年新總支配人ノ入山スルヤ移民ヨリモ賃銀値上ケノ請求アリタルコトトテ「ヘベ」一斤八十五仙「カウチヨ」六十仙ニ引上ケ一割二分ノ水減ヲ課スルノ案ヲ起シ其代價トシテ日給勞働ノ保證ヲ撤回シ若シ日給勞働ヲ與フル場合ニハ一日二「ソル」五十仙ヲ支拂フコト、シ移民等ト直接契約シ之ヲ以テ一ケ年間護謨採集ヲ試ミントセリ本官出張ノ際右ニ付内相談アリシモ右ハ移民ニ不利ナルノミナラズ明治殖民會社ヲ度外視セル處置ナルヲ以テ右條件ノ不適當ナルコト及ヒ契約條項ノ變更ハ明治殖民會社ト交渉スヘキモノナルコトヲ告ケタリシカ結局移民等モ右條件ニハ承服セス何等協定ヲ見サリシカ元來乾燥期ニ於テ必ス日給勞働ヲ與フヘシトノ保證ハ「インカ」會社ニ取リテ過重ノ負擔ナルカ如シ契約調印當時ニ在テハ道路ノ開築ハ勿論沿道各地ニ農園ノ開墾等ヲ設計シ護謨採集閉終後ハ是等ノ事業ニ使役スル豫定ナリシナランモ道路全通ノ今日之レカ修復ニ要スル人員ニ四五十人ヲ以テ充分ナルノミナラス會社ノ方針變更セリト見エ會テ開拓セラレタル各地ノ農園ハ全ク放棄セラレタルカ故ニ自餘ノ移民ニ與フルノ勞役ナシ昨年七月ヨリ護謨採集ヲ開始シタルカ如キ會社ノ不案内ニモヨルヘシト雖モ其重ナル原因ハ實ニ此點ニ存スト信ス、左レハ當時移民等カ護謨採集額ノ餘リニ少量ナルヨリ他ノ勞役ニ就カンコトヲ請ヒタルモ會社ハ之ヲ承諾セス護謨採集ヲ望マサルモノニハ土地ヲ無料貸付スヘキニ付自身ノ耕作ニ從事セヨトテ更ニ顧ミサリシト云フ此ノ如キハ明カニ契約違反トシテ大ニ責メサルヘカラサルモ會社現今ノ事情モ亦大ニ察セサルヘカラス同會社ノ主ナル事業ハ護謨採集ニ在リテ道路修築ニアラス後者ハ單ニ附隨ノ事業タルノミナラス之ニヨツテ直接收益ヲ見ル能ハサルカ故ニ會社ハ之ニ

向テ多大ノ出費ヲ悦ハス農園ノ如キモ日給ニテ多數ノ労働者ヲ使役スルニ於テハ其收支相償フモノニアラス殊ニ前述ノ如ク道路全通農園放棄ノ今日多數ノ労働者ニ與フルノ勞役ナシ而カモ百人以内ノ少數ナランニハ或ハ之ヲ處分スルノ法アランモ百ヲ以テ數フルノ大數ニ至テハ到底之ヲ日給労働ニ使役スルノ途ナキナリ本年「ポリビヤ」人七百八人雇入ノ契約ヲナシタルモノ其ノ動機ハ蓋シ此邊ニ存セン元來「ポリビヤ」人ハ本邦移民ニ比シ護謨採集ニ長セルノミナラス採集期間終後ハ直ニ歸國スルカ故ニ日給労働ヲ與フルノ必要ナク契約期限満期ノ後賞與金ヲ與フルノ義務モナク「インカ」會社ニ取リテハ最も都合キ労働者タラスンバアラス故ニ「ポリビヤ」人備使ニシテ成功セハ爾後本邦移民ヲ入ル、コトハ絶望ナリト云ハサルヘカラス然レトモ彼等ハ契約ヲ重セス若干賃銀ノ前借ヲナシテ逃亡スルヲ常例トナス趣ナレハ其成功ハ蓋シ覺東ナキナリ、翻ツテ本邦移民ノ日給労働ニ對スル意向如何ト見ルニ多數ハ之ヲ以テ彼等ノ生命トシ一日ニ「ソル」五十仙ノ賃率ヲ以テ凡テノ標準トスルモノ、如キモ三、四十名ノ護謨採集熟達者ニ在テハ日給労働ハ寧ろ之ヲ度外ニ置キ偏ニ採集賃ノ値上ケヲ切望セリ今後移民ヲ送ラントセハ是等ノ點ハ須ラク熟慮講究セサルヘカラス

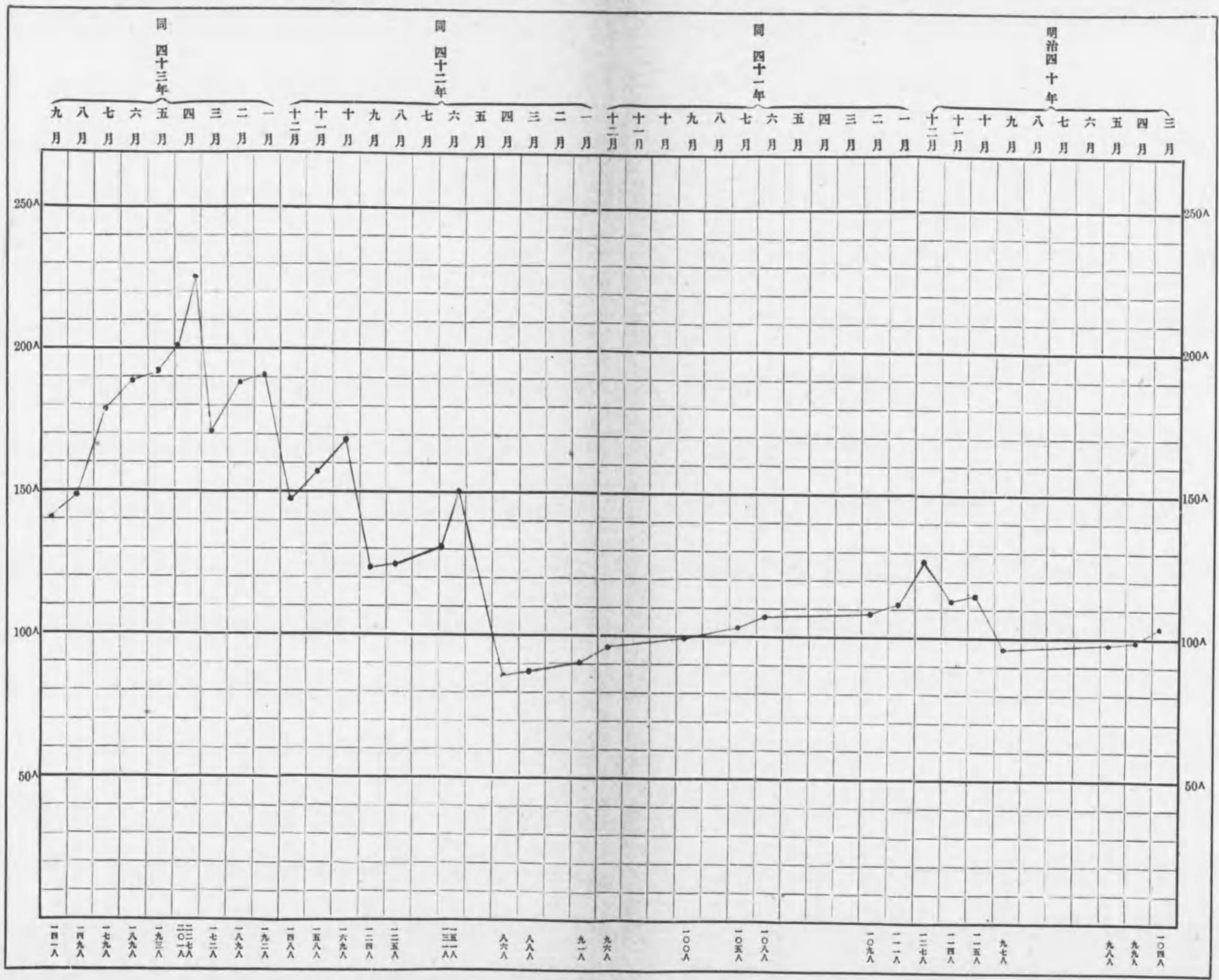
其他最も必要ナルハ適當ナル代理人ヲ「アステイエロ」ニ駐在セシムルノ一事ナリ同地ハ交通不使ナルヲ以テ何等葛藤ヲ生スルコトアルモ咄嗟ノ急ニ應スル能ハサルカ故ニ常ニ代理人ヲ駐在セシメテ雇主被雇者間ノ調和ヲ計ラシメサルヘカラス而シテ其人選ハ極メテ慎重ナルヘク忽諸ニ附スヘカラス

尙「インカ」會社カ今後所要ノ移民數如何ト見ルニ同會社所屬護謨採集地ノ面積ハ約壹百萬噶餘ニシテ其護謨樹ノ數三三萬本（タンゴバタ）ニテハ「エーカー」ニ付平均千五百本即チ百五十本ノ「エストラ均六本ノ計算ナルモ假リ其半數ト見テ）トナス時ハ之カ採集ニ要スル人員ハ二千一人（一人ニ付平均千五百本即チ百五十本ノ「エストラ採集スルモ毎年開闢ナク）ヲ下ラス而シテ會社ノ經營ヲ維持スルニハ毎年ノ採集高少クトモ二十五萬斤ヲ要スト云ヘハ採集人員最小限度ハ三百五十人（一季節ノ採集高平均一）ヲ下ルヘカラス然ルニ昨年來採集ニ從事シタル人員ハ僅カニ百餘名ニシテ其採集總額約三萬斤内外ニ過キス加フルニ護謨ノ市價著シク低落シタルヲ以テ會社經濟ノ困難ハ察知スルニ難カラス若シ斯業ノ經營ヲ以テ相應ノ收益ヲ見ント欲セハ勢ヒ採集人員ヲ最少限度以上ニ増加セサルヘカラスナルナリ

生スルコトアルモ咄嗟ノ急ニ應スル能ハサルカ故ニ常ニ代理人ヲ駐在セシメテ雇主被雇者間ノ調和ヲ計ラシメサルヘカ
 ラス而シテ其人選ハ極メテ慎重ナルヘク忽諸ニ附スヘカラス

尙「インカ」會社カ今後所要ノ移民數如何ト見ルニ同會社所屬護謨採集地ノ面積ハ約壹百萬噶餘ニシテ其護謨樹ノ數三百
 萬本(均六本ノ計算ナキモ假リ其數ト見テ)トナス時ハ之カ採集ニ要スル人員ハ二千一人(一人ノ付平均千五百人即千五百本ノ「エストラ
 採集ニ從事セシメバモ」ヲ下ラス而シテ會社ノ經營ヲ維持スルニハ毎年ノ採集高少クトモ二十五萬斤ヲ要スト云ヘハ採集
 人員最小限度ハ三百五十人(一季節ノ採集高平均一)ヲ下ルカラス然ルニ昨年來採集ニ從事シタル人員ハ僅カニ百餘名ニシ
 テ其採集總額約三萬斤内外ニ過キヌ加フルニ護謨ノ市價著シク低落シタルヲ以テ會社經濟ノ困難ハ察知スルニ難カラス
 若シ斯業ノ經營ヲ以テ相應ノ收益ヲ見ント欲セハ勢ヒ採集人員ヲ最少限度以上ニ増加セサルヘカラスナリ

第一、「タンボバタ」護謨林契約移民異動表



第二 明治四十三年自一月至七月十日舊移民保護採集高表

移民當數	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月十日迄	計
一三六	六〇	二九	八六	七六	九三	三三	二〇	八九
二〇一	九五	三四	八六	七六	六三	三三	二九	三九
二〇二	三三	二八	四七	二一	一五	二二	二八	二八
二〇三	四五	三三	四七	一九	一五	二二	二七	四七
二〇六	一一	一一	二五	二二	二二	二二	二二	二九
二〇七	一八	二七	一五	三二	四七	四	二二	一九七
二〇八	六三	一九	八五	三六	二二	二二	二二	二二
二〇九	一一	二六	六三	一八	九	二二	二二	二二
二一〇	二二	二二	一六	一五	二二	二二	二二	二二
二一一	九	二	二	二	二	二	二	二
二一二	四	八	四	二	二	二	二	二
二一三	五	四	四	二	二	二	二	二
二一四	七	四	四	二	二	二	二	二
二一五	八	四	四	二	二	二	二	二
計	六〇	二九	八六	七六	九三	三三	二〇	八九

附錄

二七七

附 録
二八二 二八一 二八〇 二七九 二七八 二七七 二七六 二七五 二七四 二七三 二七二 二七一 二七〇

.....

五九 八四 六三 六四 一〇 七二 一〇 五六 八七 六三 五八 六一 二六 四六 七六
六 / 九 / 九 / 六 / 六 / 〇 / 二 / 六 / 七 / 九 / 五 / 四 / 四 / 六 / 四 / 六 / 九 /

四七 一六 七三 五〇 三七 四九 四八 三六 六〇 三五 六三 二五 二七 五三 五三
二 / 七 / 六 / 四 / 七 / 八 / 五 / 一 / 五 / 三 / 三 / 〇 / 五 / 七 / 五 / 三 /

五六 九四 五九 一〇 八一 八五 四六 九 一〇 八〇 八 七二 五八 八四 四〇 八二
五 / 六 / 七 / 五 / 〇 / 七 / 七 / 九 / 五 / 〇 / 八 / 七 / 四 / 八 / 八 / 〇 / 五 /

一〇 一〇 八八 八五 一八 一六 一七 二四 七〇 二二 五三 五七 六八 一八 四一 七一
二 / 〇 / 二 / 一 / 九 / 九 / 八 / 一 / 七 / 四 / 七 / 〇 / 二 / 三 / 七 / 六 / 八 / 一 / 四 / 七 /

七 一四 一〇 一〇 一六 一〇 三六 一〇 一八 一六 一八 一一 五七 四三 一〇 七一
一 / 七 / 五 / 六 / 二 / 五 / 〇 / 四 / 三 / 六 / 〇 / 一 / 七 / 二 / 一 / 九 / 九 / 二 / 一 / 七 /

五七 二六 五二 五六 六五 五九 七九 八七 七八 五二
一 / 七 / 六 / 五 / 五 / 六 / 七 / 九 / 八 / 七 / 八 / 五 / 二 /

三九 七六 四二 二七 二六 三五 一〇 六 四二 三九 六四 一八
一 / 三 / 七 / 四 / 二 / 二 / 七 / 二 / 六 / 三 / 五 / 一 / 〇 / 六 / 四 / 二 / 三 / 九 / 六 / 四 / 一 / 八 /

二八一
四四九 四〇九 三八一 四四六 五六二 一八六 六〇九 三七二 五〇五 五六一 五三九 一五四 三四三 五四三
二 / 五 / 八 / 九 / 一 / 四 / 三 / 八 / 一 / 四 / 六 / 二 / 六 / 〇 / 九 / 七 / 二 / 五 / 〇 / 五 / 六 / 一 / 三 / 九 / 四 / 七 / 三 / 〇 / 三 / 三 / 〇 /

二六九 二六八 二六七 二六五 二六四 二六三 二六二 二六一 二六〇 二五九 二五八 二五一 二五〇

.....

八〇 四〇 七五 一〇 一四 四一 二二 二二 六一 七一 六四 一六 八二 一九 六六 八〇 六九
五 / 〇 / 二 / 〇 / 七 / 五 / 一 / 〇 / 一 / 四 / 四 / 一 / 二 / 二 / 二 / 六 / 七 / 一 / 六 / 四 / 一 / 六 / 八 / 二 / 一 / 九 / 六 / 六 / 八 / 〇 / 六 / 九 /

八〇 三三 五九 三三 一〇 七三 六五 二七 六六 一九 一七 一六 一七 一七 二二 二二
五 / 〇 / 三 / 三 / 九 / 三 / 三 / 一 / 〇 / 七 / 三 / 六 / 五 / 二 / 七 / 六 / 六 / 一 / 九 / 一 / 七 / 一 / 六 / 一 / 七 / 一 / 七 / 二 / 二 / 二 /

九九 二五 七九 二五 二八 二四 八五 二〇 一〇 二二 二二 九二 二二 二二 二二 二二 二二
九 / 九 / 二 / 五 / 七 / 九 / 二 / 五 / 八 / 二 / 四 / 八 / 五 / 二 / 〇 / 一 / 〇 / 二 / 二 / 九 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 /

五七 四八 八六 一七 二七 二四 七一 三五 四〇 一〇 九二 二二 二二 二二 二二 二二 二二
六 / 七 / 四 / 八 / 八 / 六 / 一 / 七 / 二 / 七 / 二 / 四 / 七 / 一 / 三 / 五 / 四 / 〇 / 一 / 〇 / 九 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 /

一九 三三 九 一三六 一八 二六 一〇 二二 八五 一一 五二 四五 二二 二二 二二 二二 二二 二二
一 / 九 / 四 / 三 / 三 / 九 / 一 / 三 / 六 / 一 / 八 / 二 / 六 / 一 / 〇 / 二 / 二 / 八 / 五 / 一 / 一 / 五 / 二 / 四 / 五 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 / 二 /

七八 八四 八二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二
一 / 七 / 八 / 八 / 四 / 八 / 二 /

二八〇
五八九 二六六 三三四 五二八 三三四 五三三 七二二 二〇三 一四一 三二二 二八四 一四一 一四三 一四〇 二〇 一三三 二〇 七三 六七 四五〇 四六三 六九
四 / 四 / 九 / 二 / 六 / 六 / 三 / 三 / 四 / 五 / 二 / 八 / 三 / 三 / 四 / 五 / 三 / 三 / 七 / 二 / 二 / 〇 / 三 / 一 / 四 / 一 / 三 / 二 / 二 / 八 / 四 / 一 / 四 / 一 / 四 / 三 / 一 / 四 / 〇 / 二 / 〇 / 一 / 三 / 三 / 二 / 〇 / 七 / 三 / 六 / 七 / 四 / 五 / 〇 / 四 / 六 / 三 / 六 / 九 /

附
錄

三七一
三六九
三六八
三六七
三六六
三六五
三六四
三六三
三六一

.....

.....

.....

二五
三八
二六
〇
二八
二五
〇
二
二五
三七
二二

五七
七二
五九
四五
五八
七
〇
四
二五
一
四四
一六
六四

三八
四九
七六
四二
六六
三九
七
八
九
〇
三
二
八九

二八七

二〇
七
二九
九
〇
四
九
八
二六
七八
二
五四
七
一
四七
二
二六
五
〇
一
一
三四

三五九
三五八
三五七
三五六
三五三
三五二
三五
三五〇
三四九
三四八
三四七
三四六
三四五

.....

.....

七
五
六
三
二
五
一
三
四
二
五
一
四
六
八
三
一
六
一
七
〇
二
七

四
二
二
四
一
九
八
五
七
四
三
一
七
五
二
六
一
六
六
三
三
二
二
一
七
一
二
〇
二

一九
七
三七
七八

.....

二八六

六
七
二
七
一
九
一
六
一
三
八
七
五
二
三
二
五
一
〇
四
二
八
四
一
七
七
九
一
〇
三
五
二
四
一
三
一
三
一
八

附
録

四〇六 四〇五 四〇四 四〇二 四〇一 四〇〇 三九八 三九八 三九七 三九六 三九五 三九四 三九二



三 四七_二 三八 二八 二五 三八 || | 二二_二 二五 二二 一〇 | 二九_二 二五 三八 ||

| 三〇_二 | 一七 | 三一_二 | 二四 | 二九_二 | 七七 | 四〇_二 | 二二_二 | 一五 | 六四 | 五七 | 七九_二 ||

|| | 三六 三六 || | 三 | 五 三一 六 三六_二 || | 一四_二 | 一六 | 二 | 三八 | 三

二八九

三 七八 三八 八 八五_二 二五 六二 三 二九_二 五 二〇_二 六 一〇二 二 四四_二 一 二九_二 | 一〇九_二 | 九五 一 一五五_二 | 三

三九〇 三八九 三八六 三八四 三八三 三八二 三八一 三八〇 三七九 三七八 三七七 三七六 三七五



五 三九 || 七 二〇_二 | 七 | 三三_二 | 一九_二 五 四〇 三 三二_二 | 一六 四 四 四 三三_二 | 二四_二 二 二五_二

| 六一 | 八_二 | 四一 | 一八_二 | 五六_二 | 四二 | 二二_二 | 五三_二 | 二八_二 | 一七_二 | 二二_二 | 四三_二 | 三六_二

|| 四六 七 二七_二 || | | 五 二八_二 三 二〇_二 五 三二_二 | | 一九 七 二〇 五 三二_二 | 一六_二

二八八

五 一〇〇 四 一四_二 一四 八九 | 二七_二 | 九〇 五 八九 八 三 六 一 二六_二 | 四 四 五 〇 一 七 四 五 一〇〇_二 二 七八_二

「ハキ」
「セリヤン」

第五

「アステイエロ」ニ於ケル物價表

備考 昨四十二年ハ七月ヨリ護謨採集ヲ開始シタルモノニシテ本表十月分ハ其開始以來十月ニ至ル迄ノ採集全額ヲ示スモノナリ

品名	單位	契約當初 「インカ」會社力 明治殖民ニ約束シタル價	現在賣價	護謨採集者ニ對シ本年三 月ヨリ値下ケシタル者
白米	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
麥粉	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
馬鈴薯	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
茶	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
砂糖	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
鑛詰「コンビーフ」	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
生肉	一斤	二五〇	三五〇	四〇
生肉	一斤	二五〇	三五〇	四〇
「マツ」	一斤	二五〇	三五〇	四〇
靴	一足	一〇〇	一〇〇	五〇
「ホツアシャーツ」	一枚	二五〇	三五〇	四〇
「ツボン」下(木綿)	一足	二五〇	三五〇	四〇
紙卷 烟草	一包	二〇〇	二〇〇	二割引
「チャロナ」(乾鹽羊肉)	一斤	五〇〇	六〇〇	三五
豆	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
餅	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
鹽	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
鐵詰	一斤	三〇〇	四〇〇	三五
靴	一足	一〇〇	一〇〇	五〇
下燭	一斤	二〇〇	二〇〇	一〇〇
煙草	一斤	六〇〇	六〇〇	二九三

二三八	「ヘベ」	一七	六六	五七	一四〇
二四一	「セルナンビ」	三三	七四	六	二〇〇
二四八		三五	九	四九	一五五
二三三		六	八	七五	一八
二三三		六	八	二	三三
二三四		六	八	五〇	二二
二〇三		四三	八	九	一三五
二〇八		三三	八	五〇	二二
二〇九		四三	八	八	二二
二〇六		五六	八	九	二二
二〇七		四〇	八	四	二八〇
二六四		九八	二	四九	二二
二四五		四七	七	一	二二
二四五		八	六	五	二二
二四七		九	八	一	二二

第六ノ一、明治四十三年五月六月間舊移民各月所得及消費額比較表

移民番號	三 所得	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	計	剩餘(前月ノ欠)
三	77,500	70,000	77,500	75,000	69,000	60,000	42,900	429,000	429,000
六	66,877	67,500	72,500	68,750	72,500	64,900	62,500	410,622	27,902
八	66,877	67,500	72,500	71,250	71,250	64,900	62,500	410,622	27,902
一七	62,000	56,000	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000	410,622	27,902
一八	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	600,000	56,550
二四	84,000	80,500	72,000	81,000	85,600	78,000	78,000	548,100	31,470
二七	34,000	40,500	30,800	25,200	18,300	17,600	17,600	166,400	31,470
二九	62,500	60,000	72,000	62,500	71,250	70,000	35,000	363,250	24,885
三〇	21,500	9,000	64,400	65,000	70,000	70,000	67,500	114,400	25,468
三一	19,400	66,000	62,000	87,000	42,500	2,800	30,920	132,820	3,271
四三	72,000	66,000	62,000	65,000	65,000	85,500	81,000	469,500	14,240
四五	20,300	16,000	20,300	20,300	24,700	21,250	7,300	142,400	24,000
四六	90,000	84,000	93,000	90,000	90,000	93,000	90,000	540,000	40,750
四七	77,500	70,000	77,500	75,000	75,000	77,500	75,000	452,500	45,250

附 錄	五三	五四	七七	七八	八四	九二	九七	一〇一	一〇三	一一〇	一一四	一一五	一二八	二〇二	二二二
	65,000	29,250	62,500	26,800	75,000	37,100	62,500	29,400	62,500	19,000	62,500	62,500	78,000	49,322	40,800
	67,500	32,400	67,500	19,500	70,000	20,300	65,000	33,300	65,000	11,650	67,500	67,500	66,000	28,150	40,600
	65,000	17,850	65,000	11,800	75,000	35,800	62,500	33,300	62,500	14,600	65,000	65,000	87,000	11,600	16,900
	65,000	18,900	65,000	17,900	75,000	26,400	67,500	12,900	67,500	9,500	65,000	65,000	81,000	24,490	9,200
	65,000	21,120	67,500	21,400	75,000	40,500	65,000	30,700	65,000	24,000	65,000	65,000	85,500	32,550	21,600
	67,500	31,220	67,500	20,700	75,000	52,500	67,500	27,260	67,500	7,300	65,000	65,000	90,000	29,300	15,400
	395,000	150,740	388,750	118,100	445,000	212,600	390,000	147,160	376,000	122,300	460,500	386,250	71,500	378,750	174,500
	244,260	270,650	232,400	223,240	242,840	253,700	290,300	357,450	314,750	235,800	304,920	290,390	209,920	273,450	108,150

附錄
 二九五 二九三 二九二 二九一 二九〇 二八九 二八七 二八六 二八五 二八三 二八二 二八一 二八〇 二七九 二七八

四七、三二 三三、三〇 五四、〇〇 七八、〇〇 九八、四〇 四四七五 三五五、七七
 三〇、五〇 二二、二〇 三二、六〇 二二、一五 二一、七二 一五四九 一四五一、一六
 四一、〇〇 二五、五七 五三、一〇 五五、〇五 七二、一五 三七〇〇 二八二、八七
 三二、八五 三一、四〇 四二、五〇 四二、五四 三二、五〇 五六二五 二二五、八四
 四〇、五〇 三三、一〇 二五、五〇 五七、一五 七〇、二〇 二四八、五五 二〇八、一七
 四五、六〇 三三、八〇 三三、八〇 三三、八〇 一九、二五 四七、一五 二八三、七七 二八三、七七
 五八、八〇 五二、二二 二八、〇〇 二八、〇〇 二六、五五 五二〇 一五九、四五 一五九、四五
 三五、〇〇 三三、六二 二九、六二 二九、六二 二六、五五 五二〇 一五九、四五 一五九、四五
 四三、三〇 四二、三〇 四二、三〇 四二、三〇 四二、三〇 四二、三〇 四二、三〇 四二、三〇
 四六、八〇 三〇、一五 四四、二〇 四四、二〇 四四、二〇 四四、二〇 四四、二〇 四四、二〇
 四三、四〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇
 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇
 三六、八〇 二七、一五 四七、五〇 四七、五〇 四七、五〇 四七、五〇 四七、五〇 四七、五〇
 四三、四〇 一七、〇〇 一六、〇〇 一六、〇〇 一六、〇〇 一六、〇〇 一六、〇〇 一六、〇〇
 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇 二一、二〇
 三二、四〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇
 四八、八〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇 三三、七〇
 三〇、八〇 三三、九〇 三三、九〇 三三、九〇 三三、九〇 三三、九〇 三三、九〇 三三、九〇
 六三、三五 五七、六〇 五七、六〇 五七、六〇 五七、六〇 五七、六〇 五七、六〇 五七、六〇
 三一、四〇 三八、五五 三八、五五 三八、五五 三八、五五 三八、五五 三八、五五 三八、五五
 四〇、五〇 二〇、一〇 二〇、一〇 二〇、一〇 二〇、一〇 二〇、一〇 二〇、一〇 二〇、一〇
 五二、〇〇 二六、五五 二六、五五 二六、五五 二六、五五 二六、五五 二六、五五 二六、五五
 二六、六〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇
 五二、六〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇 二一、三〇
 三七、九〇 三五、二〇 三五、二〇 三五、二〇 三五、二〇 三五、二〇 三五、二〇 三五、二〇

二七七 二七六 二七五 二七四 二七三 二七二 二七一 二七〇 二六九 二六八 二六七 二六五 二六三 二六二 二六一

所得
 四三、七二 一七、三二 七五、八二 一七、四三 二七、三〇 一三三、七三 四一五、五二
 八七、三〇 四六、二〇 二七、九五 四二、三六 五三、一〇 四〇、二四 二九七、一五
 四二、三〇 四、七〇 五二、九〇 二五、八〇 三六、一五 九八、三五 二九七、二〇
 三三、二〇 二七、九〇 三三、五〇 三九、一〇 一〇、六五 五三、七〇 四七、八五 二二一、四二
 一三、五〇 四六、二七 三五、六〇 一四、七〇 一八、五〇 一七、三五 五二、四七 一六四、五〇
 二五、三五 四六、六三 一八、〇〇 三三、〇〇 九九、一五 二九、四〇 一九一、九二 一六四、五〇
 四、四四 四三、七〇 二〇、四七 四九、四二 四四、一〇 三三、七〇 二九、四〇 二一八、五五
 四一、〇五 二〇、四七 一〇、〇〇 四九、四二 四四、一〇 三三、七〇 二九、四〇 二一八、五五
 二六、二〇 一〇、〇〇 一八、五五 一八、五五 一八、五五 一八、五五 一八、五五 一八、五五
 二五、四二 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇
 二八、八〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇 一三、七〇
 五〇、五五 五〇、二五 六三、四五 三三、二〇 一九、六五 一三、二五 四九、五〇 九四、二〇
 一五、二〇 一五、〇〇 二五、〇〇 二五、〇〇 二五、〇〇 二五、〇〇 二五、〇〇 二五、〇〇
 四七、九二 二七、二〇 二七、二〇 二七、二〇 二七、二〇 二七、二〇 二七、二〇 二七、二〇
 三九、五〇 三九、一五 三〇、九〇 三〇、九〇 三〇、九〇 三〇、九〇 三〇、九〇 三〇、九〇
 七六、九二 二一、〇〇 一五、〇〇 一五、〇〇 一五、〇〇 一五、〇〇 一五、〇〇 一五、〇〇
 三九五〇 三八、二五 五〇、二五 五〇、二五 五〇、二五 五〇、二五 五〇、二五 五〇、二五
 三五、五七 二六、一〇 二六、一〇 二六、一〇 二六、一〇 二六、一〇 二六、一〇 二六、一〇
 三〇、一〇 二二、二七 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇
 一七、七〇 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇 一四、三〇
 三八、一〇 三一、三五 一〇、〇〇 一〇、〇〇 一〇、〇〇 一〇、〇〇 一〇、〇〇 一〇、〇〇
 二六、二〇 一九、〇〇 一八、九〇 一八、九〇 一八、九〇 一八、九〇 一八、九〇 一八、九〇

第六ノ二、明治四十三年自七月間新移民各月所得及消費額比較表

附録	計	三〇九	三〇八	三〇七	三〇五	三〇三	三〇二	三〇〇	二九八	二九九	二九七	二九六
所得	二,一〇八,七六六	二,九一三,〇〇〇	五,〇二一,七六六	二,八八八,八八八	四,八七三,五八八	二,三八八,九五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五
消費	二,一〇八,七六六	二,九一三,〇〇〇	五,〇二一,七六六	二,八八八,八八八	四,八七三,五八八	二,三八八,九五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五
計	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇

附録	計	三二四	三二三	三二二	三二一	三二〇	三一九	三一八	三一七	三一六	三一五	三一四	三一三	三一二	三一
所得	二,一〇八,七六六	二,九一三,〇〇〇	五,〇二一,七六六	二,八八八,八八八	四,八七三,五八八	二,三八八,九五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五
消費	二,一〇八,七六六	二,九一三,〇〇〇	五,〇二一,七六六	二,八八八,八八八	四,八七三,五八八	二,三八八,九五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五	二,二八〇,二五五
計	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇

第六ノ三 明治四十三年自五月間新移民各月所得及消費額比較表

移民番號	所得	消費	計
三五六	三〇〇五	五五、二〇	八五、二五
三五七	二七、二五	四九、九〇	七七、一五
三五八	二一、八五	三二、五〇	五八、八〇
三五九	二四、〇〇	二四、五五	四六、四〇
三六〇	三一、五五	七三、三五	七三、三五
三六一	二四、二五	三三、〇五	八六、五〇
三六二	三〇、一五	一九、八〇	八七、六〇
三六三	二四、五〇	四三、二二	八七、〇八
三六四	二四、四〇	二九、八〇	七二、四〇
三六五	二八、五〇	二九、八〇	一一、七五
三六六	二八、五〇	四二、七五	七二、五五
三六七	二五、二五	二九、八〇	七二、五〇
三六八	二二、七〇	二〇、一〇	七二、五〇
三六九	二二、七〇	二〇、一〇	九八、七七
三七〇	二二、四〇	二〇、一〇	一一〇、二〇
三七一	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三七二	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三七三	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三七四	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三七五	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三七六	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三七七	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三七八	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三七九	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三八〇	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三八一	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三八二	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇
三八三	二二、四〇	二〇、一〇	九二、二〇

三〇四

剩餘(印ハ不足)

八、一〇
 一、二、四〇
 * 一、三、一五
 一、四、六八
 四、四、二〇
 一〇、六、九四
 * 二、一、四三
 一、七、二〇
 * 七、六、六九
 七〇
 * 一、八、三六
 * 一、二、〇九

移民番號	所得	消費	計
三六九	五八、一〇	五九、二〇	一六九、〇〇
三七〇	二四、五五	六〇	五四、六〇
三七一	三三、七〇	三二、六五	九四、三五
三七二	二二、四〇	三二、二〇	六六、六五
三七三	三三、二五	四二、七〇	一〇三、九〇
三七四	二二、四〇	二六、八〇	一一〇、六二
三七五	二二、四〇	二二、七五	一〇四、〇〇
三七六	二二、四〇	二二、七五	七三、八七
三七七	二二、四〇	二二、七五	一一三、六五
三七八	二二、四〇	二二、七五	八三、五五
三七八	二二、四〇	二二、七五	一三三、六五
三七八	二二、四〇	二二、七五	八八、二二
三七八	二二、四〇	二二、七五	一〇七、四四
三七八	二二、四〇	二二、七五	五四、三五
三七八	二二、四〇	二二、七五	五四、五五
三七八	二二、四〇	二二、七五	七九、六〇
三七八	二二、四〇	二二、七五	一五二、九〇
三七八	二二、四〇	二二、七五	五七、九五
三七八	二二、四〇	二二、七五	一一三、一五
三七八	二二、四〇	二二、七五	八八、三五
三七八	二二、四〇	二二、七五	七五、九五
三七八	二二、四〇	二二、七五	七三、〇五
三七八	二二、四〇	二二、七五	一四六、七九
三七八	二二、四〇	二二、七五	六八、七〇
三七八	二二、四〇	二二、七五	一二九、八五
三七八	二二、四〇	二二、七五	九七、五八
三七八	二二、四〇	二二、七五	三〇〇、五一

三〇五

一、二、四四〇
 二、七、七〇
 * 六、七二
 三、〇、一三
 三、〇、一〇
 * 四、六六〇
 二、八、一
 * 七、三、三〇
 * 一、五、五、二〇
 一、二、四〇
 * 七、三、七四
 * 六、一、一五
 * 二、〇、二、九三
 三〇五

所得

三九八	三九七	三九六	三九五	三九四	三九三	三九二	三九一	三九〇	三八九	三八八	三八七	三八六	三八五	三八四
二四,二〇〇	六九,八〇〇	六〇,〇〇〇	四三,七五〇	二〇,四五〇	一七,四〇〇	六二,五〇〇	三二,〇〇〇	三五,六五〇	一〇,〇〇〇	五〇,五五〇	三〇,六五〇	一九,八五〇	六八,七五〇	三二,〇〇〇
一一,五五〇	五五,一二〇	二八,二〇〇	二〇,八五〇	六七,五〇〇	二九,三二〇	八五,八五〇	三五,一九〇	五,五五〇	二二,一五〇	四二,九〇〇	二一,六〇〇	五五,〇〇〇	二六,四〇〇	五七,七五〇
六二,二五〇	二二,七〇五	四九,六五〇	二四,五五〇	四二,五五〇	八三,七五〇	三五,五九〇	二四,一〇〇	四二,七〇〇	二六,八〇〇	四二,八〇〇	六〇,〇〇〇	二〇,六五〇	二二,二五〇	二二,五〇〇
四二,〇〇〇	二五,一九七	四二,〇〇〇	二五,三三五	二二,二五〇	二二,三三五	二二,三三五	二二,三三五	二二,三三五	二二,三三五	二二,三三五	二二,三三五	二二,三三五	二二,三三五	二二,三三五
一九,二二三	三九,八八五	二二,三九五	一六,三三〇	八六,三五〇	一〇,八一六	五三,四四〇	六五,三三五	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇

附錄

三九九	四〇〇	四〇一	四〇二	四〇三	四〇四	四〇五	四〇六	四〇七	四〇八	四〇九	四一〇	計	剩餘(印八不足)
三七,五〇〇	三六,四〇〇	三〇,〇〇〇	二六,四四〇	二二,五五〇	一九,五五〇	四九,〇〇五	四八,二五〇	六〇,〇〇〇	四五,四〇〇	二一,七〇〇	二五,七五〇	一七,一五〇	六五,三〇〇
三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇	三三,八〇〇
二六,一〇〇	二二,九三〇	五二,一五〇	四三,九〇〇	一七,七〇〇	四六,六〇〇	二二,三二五	五九,一九〇	五七,五〇〇	一七,一〇〇	二一,一五〇	二八,六〇〇	一一,一〇〇	四八,六五〇
四七,一〇〇	三二,一五〇	四三,三三五	一四,三三五	一五,一〇〇	二一,三三七	三六,二五〇	一五,八〇〇	五四,三〇〇	一三,八五〇	三五,三〇〇	三五,〇〇〇	三一,四〇〇	一二,〇〇〇
一一,〇七〇	九一,四七〇	一二,四五〇	八四,六九〇	五五,三〇〇	八七,五二〇	一〇,八五五	一二,三二四	一一,七五〇	六二,二五〇	九七,一五〇	六八,二〇〇	六三,五五〇	一四,八九五
一九,二二三	三九,八八五	二二,三九五	一六,三三〇	八六,三五〇	一〇,八一六	五三,四四〇	六五,三三五	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇	三二,一〇〇

秘露國「マドレ、デ、
ダイオス」河附近ニ於ケル狀況一斑

秘露國「マドレ、デ、デオス」河附近ニ於ケル狀況一斑

外務書記生 伊 藤 敬 一

「マドレ、デ、デオス」河 (Rio Madre de Dios) ハ當國「アンデス」山東地タル「プノ」縣 (Departamento de Puno) 及ヒ「クスコ」縣 (Dept. de Cuzco) トノ間ヲ貫通スル大河ニシテ下流ハ「ポリグイア」國 (Peruvia) ヨリ來ル「ペニ」河 (Rio Beni) ト合シ更ラニ「マデーラ」河 (Rio Madeira) トナリ伯刺西國ニ入りテ「アマゾン」河ニ注ク、而シテ「タンボバタ」河 (Rio Tambora) ノ合スル地點ヲ「マルドナド」河港 (Pto. Maldonado) ト稱シ此地方一帶ニ於ケル民刑事裁判、軍事、警察、稅務、郵便、其他一切ノ行政事務ヲ兼掌スル長官^{ゴバヤノ}所在地ニシテ隣邦「ポリグイア」國トノ境界問題ニ關聯シ此地方ハ大ニ世人ノ注目スル所トナレリ、且又商業其他一般事業ノ策源地ニシテ同地方ニ於ケル本邦人モ亦此河港ヲ中心トシテ發展シツ、アルナリ、抑モ此地方カ今日ノ繁盛ヲ見ルニ至リシハ最近四五年來ノ事ニシテ今ヲ去ル事十年前位ヨリ弗々「カウチヨ」護謨 (Cauchos) ノ採取始マリ最初ハ頗ル微々タルモノナリシカ近年「カウチヨ」相場ノ騰貴セルニ從ヒ此地ニ入り込ムモノ年々増加シ吾レモト森林中ニ遺棄セル寶物ヲ發見スル爲メ突進セル有様ナリケレハ「インカ」護謨會社 (Teca Rubber Co.) 「ブライヤード」商會 (Brillhart & Co.) 其他内外國人競フテ商品ヲ輸入シ之ヲ販賣スルト同時ニ「カウチヨ」買收ニ勉メタルヲ以テ活氣ハ次第ニ勃興シ來リ明治四十一年頃ニハ「カウチヨ」採取者ノ數二千五百名以上ニ達シ尙ホ其後モ「アレキバ」市方面ヨリ續々入り來リ且ツ日本人モ「タムボバタ」方面ヨリ進入スルモノ多ケレハ現今ハ三千人以上ヲ數フヘシ、而シテ「カウチヨ」ノ産額ハ一ヶ年平均七百萬斤ニシテ斯ノ如キ多量ノ「カウチヨ」ハ各會社商店ニテ買取リ十一月ヨリ翌年四五ノ頃ニ互リテ「ポリグイア」方面及「アスチロ」或ハ「イキトス」方面ニ向テ河上汽船又ハ獨木舟ニヨリテ運搬セラレ、モノニシテ歸航路ニハ又タ多數ノ商品ヲ積載シ來ルモノトス、當地ニ於ケル昨年末ヨリ本年ニ入ル「カウチヨ」ノ相場ハ一匁

荷牙「アローバ」(凡ソ我が三)二十五「ソル」ヨリ三十「ソル」ヲ往來シタリ(尤モ現今ハ多)又「カウチヨ」採取者ハ最少一千五百斤ヨリ多キハ三千斤最モ多キハ五六千斤ヲ五六ヶ月間即チ六月ヨリ十二月ノ間ニ森林ニ入りテ採取シ終ルモノニシテ其收入モ亦他ニ比スヘキモノ無キ程多額ニ上ルト雖モ一月ヨリ六月迄ノ間ハ開散無爲ニ苦ム結果鯨飲暴食折角半歲間ニ蓄積セルモノヲ蕩盡スルモノ多シト云フ

現今日本人カ經營セル農場十二ヶ所アリ其外外國人秘露人等ニシテ二十ヶ所計リテ所有ス

此地方ニアル日本人ハ最初明治殖民合資會社カ「インカ」護謨會社ニ周旋シタル移民ノ契約滿了者又ハ契約半ハノモノ等カ此地方ノ情況ヲ知り大ニ將來ノ有望ナルニ屬マサレ河流ノ危險ヲ冒シテ降り來リ「リベロ」酒精製造場「インカ」會社支店、「ゴンサレス」商會及「モレイ」商店等ニ就キ月給四、五十「ソル」位ニテ被備サレ(明治四十一年頃)タルモノニシテ以上ノ商店會社等カ經營セル農商業ノ頗ル有利ナルニ着眼シタル者等カ相謀リテ各自ノ得タル賃金ヲ集メテ資本トナシ農場ヲ經營シ又タ資本ナキモノハ生産物ヲ抵當トシテ食料衣類其他ノ必需品ヲ商店ヨリ買入レ以テ森林ヲ開墾シ「ユカ」米、煙草、馬鈴薯等ノ耕作ヲ始メタルガ抑モ今日ノ基礎ヲ爲スモノニシ當時ハ僅カニ二三ヶ所ヲ開キタルニ過キス又其生産品ノ賣行キニ付テハ大ニ氣遣ヒタリシカ案外ニ賣行キ良ク尙ホ不足ヲ告ケシ有様ニ各人意外ノ利益ヲ得タルハ其結果トシテ昨年及本四十四年ニ互リテ九ヶ所ノ増加ヲナシ號フテ土地ノ拂下ヲ願出テ開墾ニ從事シ目下ハ合計十二ヶ所ノ日本人農場アリ尙ホ昨今ハ日本人ニシテ其農産物ヲハ水運ヲ利用シテ「ボリグア」國「リベラルダ」(Tribuna)ニ送り販賣セントスル仲買商モ出來又河流ヲ遡リテ「カウチヨ」ノ産地「マヌリベ」(Manulibe)ニ送ルモノモ出テタレハ今ハ賣行ニ付毫モ氣遣フコトナシ此勢ニテ進ミ行カハ兩三年ニシテ海岸地方ヨリ米穀ヲ輸入スル必要ヲ認メサルニ至ルヘシト察セラル尙ホ山梨縣人三名ハ農業ノ傍ラ食「パン」ヲ製造シ河流ヲ上下シテ各商店ヲ巡廻販賣シツ、アルカ一ヶ月三百「ソル」以上ノ純收益アリ其他仕立職二名モ同所ニ寄寓シテ相當ノ賃仕事ヲナシツ、アリ運送業ヲナス者ニシテ四五千斤ヲ積載シ得ル船二三艘ヲ作り「アスチエロ」ニ往復スルモノ三組アリ、次ニ單獨事業トシ

テ「カウチヨ」採取ニ從事シ居ルモノ又ハ他人ニ雇ハレ同業ニ從ヒ食事付キ月給八十「ソル」位ヲ得ルモノ商店農場ニ雇ハル、モノ、板挽キ、汽船ノ燃料タル薪伐リ出シ、料理人等ヲ數フレハ目下「マルドナド」河港附近ニアル本邦人ハ二百五十ヲ下ラサルヘシ

要之同地方ハ物價ノ高キニ比スレハ所得勞銀左程ニ高シト云フ可ラサルモ市街地ト異ナリ全ク消費スルノ機關ナキヲ以テ自然貯蓄スルノ餘義ナキニ至ル唯賭博ニ耽リ一夜ニ數百金ヲ消盡スルモノアルハ甚タ遺憾ト云フヘシ
今後吾カ同胞ニシテ同地方ニ入ラントスル者ハ旅費トシテ百圓ヲ用意スル外出來得ル丈ノ衣類及日用必需品ヲ里馬又ハ「アレキバ」ニテ買求メ携帶スルヲ要ス何トナレハ物價ハ海岸地方ニ比シ常ニ五倍乃至十倍ナレハナリ(例ヘバ「シヤツ」一枚然リト雖モ格外ニ多量ノ携帶品アル時ハ多額ノ運賃ヲ要スル付是亦注意セサル可ラス、尙ホ「アスチエロ」ヨリ河ヲ下ル船便ヲ待タスシテ筏ヲ組ミテ下ルモノアリト雖モ非常ナル困難ニ陥リ時トシテハ生命ヲ失ヒタル者スラ數名アル由ナレハ各人ノ注意ヲ要ス又タ今後有望ナル仕事ハ最初ハ「カウチヨ」採取ヲナシ段々資金ヲ集メテ開墾ニ從事シ一月ヨリ五六月迄ハ農業ニ從事シ残りノ期間ハ「カウチヨ」ヲ採取スルコト最モ得策ニシテ且利益多シト雖モ凡テ何事ノ業ニ於ケルヲ問ハス我カ同胞ノ缺點トシテ指摘スヘキハ常ニ一攫千金ヲ夢ミ折角一事業ニ着手スルモ半歲一年ノ内ニ好果ヲ得サルハ忽ニシテ失望落膽シ更ラニ進ンテ奮闘スルノ勇ニ乏シキコト並ニ他人カ一ノ事業ニ成功セリト聞ケハ吾レモ「ト同一ノ事業開始シ結局同胞互ニ競争ヲナシ所謂血ヲ血ヲ洗フ様ナル陋態ヲ演シ揚句ノ果テハ吾レモ彼レモ共倒レトナルコトナリトス、左レハ今後山林地方ニ進入セント欲スル者ハ前記ノ如キ有望ナル事業ハ一朝一夕ニ發見サレタルニ非ラスシテ先ツ先鋒トシテ進ミタル同胞カ幾多ノ艱難辛苦ヲ嘗メ忍耐ニ加フルニ熟慮深究ノ結果漸ク今日ノ境遇ニ達シタルコトヲ思ヒ自己モ亦充分ノ用意ト覺悟トヲ要スルコトニ傾心シ且ツ他人ト同一ノ事業又ハ同一ノ地點ニ向フコトハ必ス後日ニ至リ相互ノ不利益トナルコトヲ常ニ念頭ニ置クコト肝要ナリ海外ニ於テ同胞互ニ争フハ醜醜ノ極ト云ハサル可ラス今參考ノ爲メ同地方ニ於ケル農産物ノ相場ヲ掲ケレハ左ノ如シ

終

